

# 金井下新田遺跡

## 《古墳時代以降編》

(国)353号金井バイパス(上信自動車道)  
道路改築事業関連埋蔵文化財発掘調査報告書

遺構一覧表・遺物観察表編

2021

群馬県渋川土木事務所  
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

# 金井下新田遺跡

《古墳時代以降編》

(国)353号金井バイパス(上信自動車道)  
道路改築事業関連埋蔵文化財発掘調査報告書

遺構一覧表・遺物観察表編

2021

群馬県渋川土木事務所  
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

# 金井下新田遺跡

## 《古墳時代以降編》

### 遺構一覧表・遺物観察表編

## 目 次

凡例

第1表 遺構一覧表

1. 竪穴建物一覧表	1
2. 掘立柱建物一覧表	2
3. 平地建物一覧表	2
4. 竪穴状遺構一覧表	2
5. 祭祀遺構・土器集積遺構一覧表	2
6. その他遺構一覧表	3
7. (1)人の足跡・馬蹄跡群一覧表	3
(2)人骨および馬体一覧表	3
8. 囲い状遺構・網代垣一覧表	3
9. 道・垣根・畔状遺構一覧表	4
10. 土坑一覧表	4
11. ピット一覧表	6
12. 溝一覧表	7
13. 畠一覧表	7
14. 焼土・炭化物集中・集石・屋外炉他一覧表	7
15. 炭窯一覧表	8
16. 不明遺構一覧表	8
第2-1表 6区Hr-FP下面馬蹄跡計測一覧	9
表2-2表 1～5区Hr-FA/S <sub>2</sub> 上面人の足跡・馬蹄跡計測一覧表	9
第3表 赤玉計測一覧表	24
第4表 ガラス製玉類計測一覧表	24
第5表 土器・石器・鉄器観察表	25
第6表 勾玉計測一覧表	163
第7表 管玉計測一覧表	163
第8表 石製模造品計測一覧表	163
第9表 白玉計測一覧表	167
第10表 粒状礫計測一覧表	207

# 凡 例

## 第1表 遺構一覧表

1. 遺構一覧表は、遺構種ごとに作成し、報告書本文編1・2の掲載順に並べた。
2. 遺構名称および番号は本文を記載した報告時のものである。  
整理作業時に欠番が確認された遺構についてはその旨本文編に記載した。  
番号を付け替えた遺構は本文編1P.40第8表に旧遺構番号を併記し対照できるようにした。
3. グリッドは遺構が含まれる範囲の南東隅の国家座標交点を座標値下三桁で表示した。
4. 遺構の計測値は、重複等で計測できないものは計測不能とした。( )を付したものは残存長である。
5. 本文編頁は本文掲載の最初頁、挿図番号は掲載図の最初番号、写真P Lは遺構写真の掲載P Lの最初番号を記載した。

## 第2表 人の足跡・馬蹄跡計測一覧表

1. 本表は、6区Hr-FP下面で検出された馬蹄跡、1～5区Hr-FAS<sub>2</sub>上面で検出された人の足跡と馬蹄跡の計測一覧表である。人の足跡と馬蹄跡の番号は通番で、種別を記した。
2. いずれも区ごと・検出層位ごとに1から番号を付し、番号順に大きさや前後等の観察内容を記録した。番号は本文編遺構図と一致する。
3. Hr-FAS<sub>2</sub>上面で検出された人の足跡と馬蹄跡は、区ごとに調査年度が異なり、観察項目に異同があるが、そのまま掲載した。馬蹄跡で一部観察した保存度は、A：遺存度良好、前・後識別、計測値に信頼がおける、B：中間的遺存度、C：馬蹄であることは間違いがないが前後跡、計測値は推定の3種である。(群埋文1996報告書第207集『白井北中道Ⅱ遺跡・吹屋犬子塚遺跡・吹屋中原遺跡』参照)

## 第5表—1 土師器・須恵器等観察表

1. 種類  
文化庁文化財部記念物課監修2010年『発掘調査のてびき』に準じて土師器、須恵器、黒色土器、施釉陶器(奈良三彩、灰釉陶器、緑釉陶器)、土製品等に種別している。  
なお、古墳時代に黒色処理を施された土器については、その成整形から土師器とした。
2. 器種  
文化庁文化財部記念物課監修2010年『発掘調査のてびき』に準じて杯、椀、高杯、盤、皿、鉢、埴、器台、壺・瓶(長頸壺、短頸壺、平瓶、横瓶、提瓶、甕)、甕、硯等の名称を使用している。なお、杯と椀の区分は、器高/口径比が大きいものを椀としているが、明確に数値化できていない。壺と甕との区分は、頸部/胴部最大径比によって区分しているが、例外として胴部最大径より頸部系径の大きい形態である広口壺と呼称しているものも存在する。
3. 出土位置・残存率  
出土位置は、遺構内の位置と床面・底面からの比高を一部記載した。残存率は、おおむね全体の比率で「完形」、「3/4」、「1/2」等を表示している。なお、1/4以下については、「口縁部片」、「底部片」等の部位片で表示している。
4. 計測値  
計測カ所は、以下のように省略している。  
口：口径、底：底径、高：器高、台：高台径、摘：摘径、カ：杯蓋等のカエリ径、頸：頸部径、胴：胴部最大径、孔：甕・有孔鉢などの底部に設けられた孔径等である。この他の略称についてはそれぞれ備考等に表示した。

なお、単位はcmである。

5. 胎土

記載中の表現にある細砂粒は、径2mm以下、粗砂粒は2～5mmのものを表す。5mm以上は、礫と表示した。

6. 焼成

土師器は、比較的硬質に焼成されているものを「良好」、軟質や脆い状態のものを「軟質」、「不良」で表示してある。  
須恵器は、「還元焰」、「酸化焰」で表示してある。

7. 色調

農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修『新版 標準土色調帖』に準拠している。

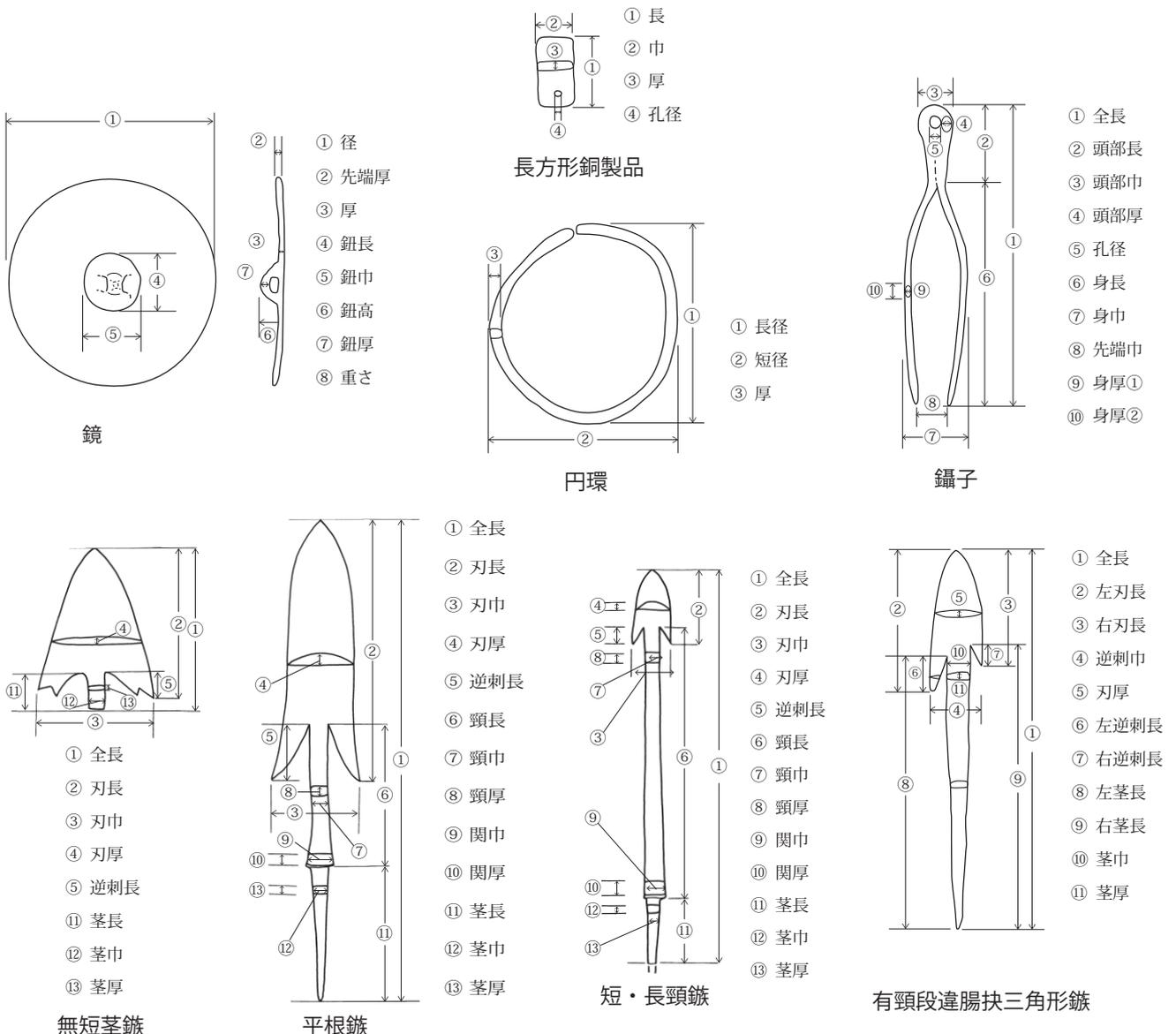
8. 特徴

成整形を中心に記載している。

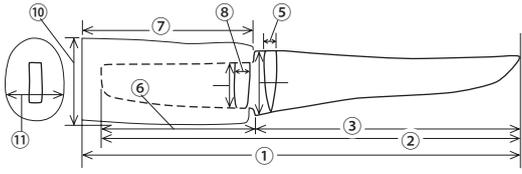
第5表—2 鉄器・銅製品観察表

1. 鉄器・銅製品は下図の通り、計測した。

計測部位略図

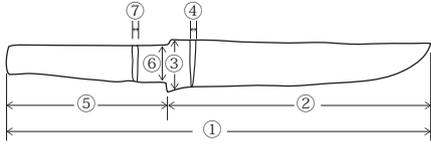


刀子

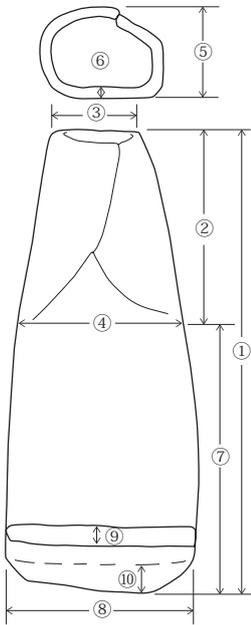


- ① 全長
- ② 身長
- ③ 刃長
- ④ 刃巾
- ⑤ 刃厚
- ⑥ 茎長
- ⑦ 茎巾
- ⑧ 茎厚
- ⑨ 鹿角裝具長
- ⑩ 鹿角裝具巾
- ⑪ 鹿角裝具厚

刀子

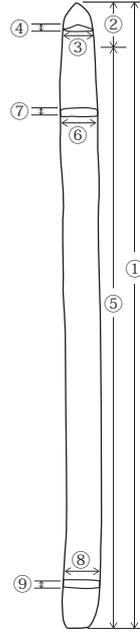


- ① 全長
- ② 刃長
- ③ 刃巾
- ④ 刃厚
- ⑤ 茎長
- ⑥ 茎巾
- ⑦ 茎厚



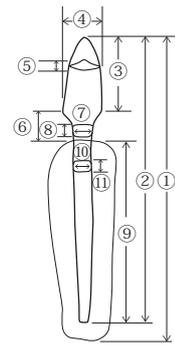
- ① 全長
- ② 袋部長
- ③ 袋部元巾
- ④ 袋部先巾
- ⑤ 袋部高
- ⑥ 袋部厚
- ⑦ 刃部長
- ⑧ 刃部巾
- ⑨ 刃部厚
- ⑩ 刃部先端長

袋柄斧



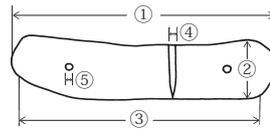
- ① 全長
- ② 刃長
- ③ 刃巾
- ④ 刃厚
- ⑤ 茎長
- ⑥ 茎上巾
- ⑦ 茎上厚
- ⑧ 茎下巾
- ⑨ 茎下厚

鉋(2類)



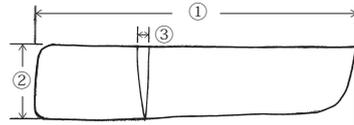
- ① 全長
- ② 身長
- ③ 刃部長
- ④ 刃部巾
- ⑤ 刃部厚
- ⑥ 頸部長
- ⑦ 頸部巾
- ⑧ 頸部厚
- ⑨ 茎部長
- ⑩ 茎部巾
- ⑪ 茎部厚

鉋(1類)



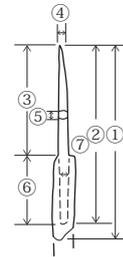
- ① 全長
- ② 身巾
- ③ 刃長
- ④ 棟厚
- ⑤ 穿孔徑

摘鎌



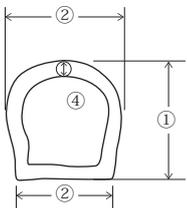
- ① 全長
- ② 巾
- ③ 厚

鎌



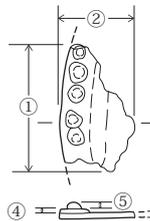
- ① 全長
- ② 身長
- ③ 刃長
- ④ 刃巾
- ⑤ 刃厚
- ⑥ 茎長
- ⑦ 茎巾

錐



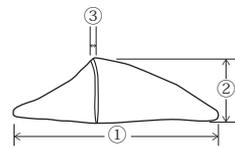
- ① 全長
- ② 最大巾
- ③ 元巾
- ④ 厚

鉸具金具



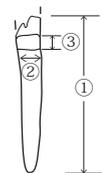
- ① 長
- ② 巾
- ③ 地板厚
- ④ 鑄金板厚
- ⑤ 鉸高

馬具鉸板・杏葉片



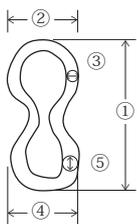
- ① 長
- ② 巾
- ③ 厚

三角形状品



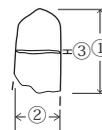
- ① 長
- ② 巾
- ③ 厚

棒状品



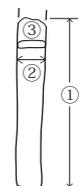
- ① 全長
- ② 輪巾1
- ③ 輪厚1
- ④ 輪巾2
- ⑤ 輪厚2

吊金具



- ① 長
- ② 巾
- ③ 厚

円弧形状品



- ① 長
- ② 巾
- ③ 厚

板状品

### 第5表—3

1. 実測した石製品(勾玉・管玉・石製模造品・白玉・粒状礫)の観察は、遺構ごとに第5表に記載した。

### 第3表 ガラス製玉類計測一覧表

1. ガラス製玉類はすべての資料を図化した。長さ・幅・孔径は2倍もしくは4倍の実測図を計測した。分析結果は論考編に掲載予定である。

### 第4表 赤玉計測一覧表

1. 赤玉はすべての資料を図化した。試料が脆弱であることから、直径・厚さの計測は等倍の実測図からおこなった。分析結果は他の赤色顔料と共に論考編に掲載予定である。

### 第6表 勾玉計測一覧表

1. 勾玉はすべての資料に登録番号を付し、長さ・幅・厚さ・重さ・孔径を計測し、石材を同定した。そのうち、実測し写真を掲載した資料には各挿図内の遺物番号を付した。掲載図番号は遺構一覧表から検索願いたい。

### 第7表 管玉計測一覧表

1. 管玉はすべての資料に登録番号を付し、長さ・幅・厚さ・重さを計測し、石材を同定した。そのうち、実測し写真を掲載した資料には各挿図内の遺物番号を付した。掲載図番号は遺構一覧表から検索願いたい。

### 第8表 石製模造品計測一覧表

1. 石製模造品はすべての資料に登録番号を付し、長さ・幅・厚さ・重さを計測し、石材を同定した。そのうち、実測し写真を掲載した資料には各挿図内の遺物番号を付した。掲載図番号は遺構一覧表から検索願いたい。また、形態分類を備考欄に記載した。

### 第9表 白玉計測一覧表

1. 白玉はすべての資料に登録番号を付し、長さ・幅・厚さ・重さ・孔径を計測し、石材を同定した。そのうち、実測し写真を掲載した資料には○印を付した。

### 第10表 粒状礫計測一覧表

1. 粒状礫はすべての資料に登録番号を付し、長さ・幅・厚さ・重さを計測し、石材を同定した。そのうち、実測し写真を掲載した資料には○印を付した。





遺構面	調査区	遺構No.	遺構名称	遺構X座標	位置Y座標	平面形	主軸方位	長軸m	短軸m	最大壁高m	床面積㎡	本文編頁	挿図番号	写真PL
黒色土中	5	8	竪穴建物	57371~57375	-75507~-75511	長方形	N-10°-W	4.48	3.57	0.28	(14.76)	857	675	412
黒色土中	5	9	竪穴建物	57368~57373	-75503~-75508	方形	N-20°-W	4.09	3.64	0.29	14.26	860	678	414
黒色土中	5	10	竪穴建物	57370~57374	-75515~-75520	長方形	N-138°-W	4.07	3.46	0.56	14.12	862	679	415
黒色土中	5	11	竪穴建物	57378~57383	-75514~-75519	方形と推定	N-26°-W	5.18	(3.45)	0.2	計測不能	866	682	419
黒色土中	5	16	竪穴建物	57361~57365	-75511~-75516	長方形	N-102°-W	5.18	3.6	0.58	18	869	686	421
黒色土中	5	18	竪穴建物	57351~57361	-75527~-75536	正方形と推定	N-17°-W	9.37	(6.80)	0.5	計測不能	874	691	425
黒色土中	5	20	竪穴建物	57342~57347	-75517~-75522	長方形と推定	N-47°-E	(2.76)	4.49	0.7	(12.30)	881	698	428
黒色土中	5	22	竪穴建物	57343~57349	-75524~-75530	ほぼ正方形	N-60°-E	4.68	4.56	0.48	20.89	885	701	430
黒色土中	5	23	竪穴建物	57349~57354	-75507~-75513	ほぼ正方形と推定	N-29°-W	(4.18)	(4.15)	0.31	計測不能	890	705	433
黒色土中	5	24	竪穴建物	57347~57353	-75520~-75526	不整正方形	N-61°-E	4.46	4.29	0.46	19.48	892	708	435

## 2. 金井下新田遺跡掘立柱建物一覧表

遺構面	調査区	遺構No.	遺構名称	位置X座標	位置Y座標	柱間	主軸方位	桁行m	梁行m	本文編頁	挿図番号	写真PL
S <sub>1</sub> 下面	1	4	掘立柱建物	57615~57619	-75525~-75529	桁行2間×梁行2間	N-22°-W	2.77-2.91	2.68-2.88	204	135	109
S <sub>1</sub> 下面	1	5	掘立柱建物	57619~57623	-75525~-75527	桁行2間以上×梁行2間以上	N-4°-W	計測不可	計測不可	207	137	110
S <sub>1</sub> 下面	5	1	掘立柱建物	57373~57382	-75519~-75528	桁行3間×梁行3間	E-27°-W	4.70-4.77	4.20	401	286	193
S <sub>1</sub> 下面	5	2	掘立柱建物	57344~57351	-75524~-75532	桁行3間×梁行3間	N-27°-W	4.92-5.06	4.34	429	309	199
S <sub>1</sub> 下面	5	3	掘立柱建物	57347~57354	-75517~-75525	桁行5間×梁行3間	N-22°-W	8.40	4.50	321	221	157
S <sub>1</sub> 下面	6	1	掘立柱建物	57403~57411	-75498~-75509	桁行5間×梁行3間	E-8°-W	8.00~8.05	5.92~5.94	337	234	164
黒色土中	1	1	掘立柱建物	57567~57573	-75519~-75526	桁行3間×梁行3間	N-31°-E	4.68	4.68	607	453	280
黒色土中	1	2	掘立柱建物	57573~57578	-75516~-75521	桁行2間×梁行2間以上	N-47°-W	4.60以上	2.23以上	608	455	282
黒色土中	1	3	掘立柱建物	57559~57563	-75512~-75517	桁行2間×梁行2間	N-36°-W	不明	3.10	610	456	283
黒色土中	2	1	掘立柱建物	57465~57470	-75469~-75474	桁行2間×梁行2間	N-31°-E	3.07-3.20	2.84-2.95	740	571	354
黒色土中	5	4	掘立柱建物	57345~57350	-75515~-75518	桁行1間以上×梁行2間	N-75°-W	不明	3.47	898	712	400

## 3. 金井下新田遺跡平地建物一覧表

遺構面	調査区	遺構No.	遺構名称	位置X座標	位置Y座標	平面形	主軸方位	長軸m	短軸m	最大壁高m	床面積㎡	本文編頁	挿図番号	写真PL
S <sub>1</sub> 下面	1	1	平地建物	57625~57632	-75537~-75546	長方形	N-59°-E	5.78	4.57	0.19	24.16	175	110	83
S <sub>1</sub> 下面	1	2	平地建物	57620~57625	-75534~-75538	ほぼ正方形	N-49°-E	3.59	3.3	0.02	9.65	188	121	95
S <sub>1</sub> 下面	1	3	平地建物	57640~57645	-75533~-75542	長方形と推定	N-59°-E	6.68	4.91	0.02	計測不能	166	103	78
S <sub>1</sub> 下面	1	4	平地建物	57614~57619	-75536~-75542	ほぼ正方形	N-23°-W	3.61	3.53	0.01	10.3	193	125	99
S <sub>1</sub> 下面	1	5	平地建物	57614~57617	-75542~-75545	長方形	N-90°-E	3.22	1.98	0.04	5.26	199	130	104
S <sub>1</sub> 下面	1	6	平地建物	57613~57616	-75533~-75536	円形	N-35°-E	3.18	3.08	0.05	3.28	201	132	105
S <sub>1</sub> 下面	1	4	遺構	57625~57629	-75545~-75548	方形と推定	不明	3	0.08	0.05	不明	203	134	108

## 4. 金井下新田遺跡竪穴状遺構一覧表

遺構面	調査区	遺構No.	遺構名称	位置X座標	位置Y座標	平面形	主軸方位	長軸m	短軸m	最大壁高m	床面積㎡	本文編頁	挿図番号	写真PL
黒色土中	2	1	竪穴状遺構	57518~57521	-75506~-75508	隅丸長方形	N-16°-W	2.77	2.31	0.84	739	570	354	
黒色土中	5	1	竪穴状遺構	57357~57362	-75515~-75520	隅丸長方形	N-66°-E	4.35	4.03	0.86	17.53	894	709	437

## 5. 金井下新田遺跡祭祀遺構・土器集積遺構一覧表

遺構面	調査区	遺構No.	遺構名称	位置X座標	位置Y座標	主軸方位	長軸m	短軸m	厚・深m	本文編頁	挿図番号	写真PL
S <sub>1</sub> 下面	1	1	祭祀遺構	57626~57629	-75525	N-44°-E	1.1	0.7	0.3	209	139	111
S <sub>1</sub> 下面	1	11	遺構	57627~57629	-75529~-75531	N-14°-W	1.8	1.57	0.02	214	144	113
S <sub>1</sub> 下面	1	12	遺構	57625~57627	-75528~-75530	N-39°-E	2.57	1.62	0.05	214	146	114
S <sub>1</sub> 下面	2	1	遺構	57462	-75477~-75478	N-87°-E	1.77	(1.14)	0.03	224	153	117
S <sub>1</sub> 下面	2	2	遺構	57467~57469	-75481~-75484	N-90°-E	2.15	1.4	0.2	224	153	117
S <sub>1</sub> 下面	2	3	遺構	57467~57469	-75476~-75478	N-49°-W	1.47	1.29	0.05	227	155	117
S <sub>1</sub> 下面	4	1	祭祀遺構	57427~57429	-75497~-75499	N-90°-E	2.3	1.7		372	260	185
S <sub>1</sub> 下面	5	4	遺構	57354~57357	-75530~-75532	N-90°-E	約2.50	約2.00		441	319	202
S <sub>1</sub> 下面	5	5	遺構	57354	-75531~-75532		0.22	0.2	0.8	497	365	219
S <sub>1</sub> 下面	5	6	遺構	57347~57353	-75530~-75535	N-22°-W	7.13	(0.27~3.50)	0.01~0.13	463	335	208
S <sub>1</sub> 下面	5	7	遺構	57359~57360	-75522~-75523	N-90°-E	2.2	1.8		488	358	212
S <sub>1</sub> 下面	5	8	遺構	57360~57363	-75524~-75528	N-66°-E	2.3	1.7		492	361	214
S <sub>1</sub> 下面	5	9	遺構	57358	-75526	N-49°-E	1.19	1.13	深さ0.6	501	367	219
黒色土中	2	2	土器集中	57489~57490	-75497~-75502		4.58	1.2	0.24	752	581	358

6. 金井下新田遺跡その他遺構一覧表

\*遺構確認面はS<sub>i</sub>下面であるが、S<sub>i</sub>を混じる黒褐色土で埋没している。

遺構面	調査区	遺構No.	遺構名称	位置 X座標	位置 Y座標	平面形	主軸方位	長軸 m	短軸 m	厚・深 m	本文編 頁	挿図 番号	写真 PL
S <sub>1</sub> 下面	2	4	遺構	57481~57483	-75480~-75481	不整形	N-49°-W	3.08	1.9	0.01-0.14	227	155	117
S <sub>1</sub> 下面	2	5	遺構	57467~57470	-75489~-75491	不整形	N-22°-W	1.87	1.42	0.03	227	154	117
S <sub>1</sub> 下面	5	3	遺構	57372~57353	-75513~-75515	不整形	N-35°-E	0.73	0.7	0.31	354	248	117
S <sub>1</sub> 下面*	5	12	遺構	57369~57370	-75529~-75530	長方形	N-72°-E	0.86	0.43	0.01-0.03	362	253	181
S <sub>1</sub> 下面	5	13	遺構	57369~57373	-75518~-75522	円形	N-64°-W	3.65	3.55	0.01-0.08	352	245	173
S <sub>1</sub> 下面	5	14	遺構	57365~57368	-75514~-75517	不定形	N-73°-E	2.00	1.64	0.01-0.08	360	251	180
S <sub>1</sub> 下面*	5	15	遺構	57365~57366	-75525	長方形	N-39°-W	0.82	0.52	0.01-0.03	362	253	182
S <sub>1</sub> 下面*	5	16	遺構	57365~57366	-75523	不整形	N-84°-E	1.05	0.43	0.03	362	253	182
S <sub>1</sub> 下面	5	17	遺構	57350~57353	-75529~-75530	隅丸長方形	N-12°-W	3.28	0.12	0.03	506	372	220
S <sub>1</sub> 下面	5	18	遺構	57353~57354	-75517~-75520	隅丸長方形	N-86°-E	1.56-1.90	0.17-0.24	0.04	507	372	220
S <sub>1</sub> 下面	5	19	遺構	57379~57384	-75519~-75521	不定形	N-22°-W	4.56	0.14-0.48	0.04-0.09	361	252	181
S <sub>1</sub> 下面	5	20	遺構	57369~57370	-75529~-75530	不定形	N-89°-W	1.33	1.07	0.01-0.04	362	253	181
S <sub>1</sub> 下面	5	10	遺構	57357~57364	-75531~-75537	不明	N-49°-E	西長(5.15)	南北長5.45	0.02	502	368	218
S <sub>1</sub> 下面*	5	11	遺構	557358~57359	-75530~-75531	長方形	N-61°-W	0.92	0.27	0.01	505	371	220
S <sub>1</sub> 下面*	5	21	遺構	57363~57364	-75515~-75516	長方形	N-48°-W	0.94	0.36	0.04	506	371	220
S <sub>1</sub> 下面*	5	22	遺構	57359~57360	-75528~-75529	隅丸長方形	N-48°-E	0.92	0.48	0.01	506	371	220
S <sub>1</sub> 下面	5	24	遺構	57383~57384	-75501	不定形	不明	計測不可	計測不可	計測不可	365	255	183
S <sub>1</sub> 下面	5	27	遺構	57370~57373	-75504~-75505	溝状	N-22°-W	3.77	0.20-0.28	0.02~0.07	365	255	183
S <sub>1</sub> 下面	5	29	遺構	57370	-75505~-75506	溝状	N-14°-W	1.68	0.90-0.15	0.02~0.05	365	255	183
S <sub>1</sub> 下面*	6	1	遺構	57411~57412	-75509~-75510	長方形	N-74°-W	0.87	0.43	0.04	364	254	182
S <sub>1</sub> 下面*	6	3	遺構	57411~57413	-75509~-75511	長方形	N-10~26°-W	1.00-0.85	0.28-0.40	0.02	364	254	183
S <sub>1</sub> 下面	6	5	遺構	57404~57405	-75501~-75502	楕円形	N-50°-E	1.13	0.86	0.22	365	257	220
黒色土中	5	23	遺構	57377~57378	-75505~-75506	不整形	不明	計測不可	計測不可	計測不可	928	731	450

7(1). 金井下新田遺跡人の足跡・馬蹄一覧表

遺構面	調査区	遺構No.	遺構名称	位置 X座標	位置 Y座標	本文編 頁	挿図 番号	写真 PL
FP下面	6		馬蹄跡	57394~57405	-75493~-75509	95	48	23
FP下面	5		馬蹄跡	57362~57375	-75502~-75513	95	49	19
S <sub>2</sub> 上面	1	A群	人の足跡・馬蹄跡	57638~57646	-75536~-75549	107	58	35
S <sub>2</sub> 上面	1	B群	人の足跡・馬蹄跡	57616~57629	-75525~-75548	109	59	37
S <sub>2</sub> 上面	1	C群	人の足跡・馬蹄跡	57611~57614	-75523~-75545	112	61	38
S <sub>2</sub> 上面	1	D群	人の足跡・馬蹄跡	57592~57611	-75311~-75545	113	62	38
S <sub>2</sub> 上面	1	E群	人の足跡・馬蹄跡	57605~57611	-75526~-75539	113	63	39
S <sub>2</sub> 上面	1	F群	人の足跡・馬蹄跡	57594~57612	-75521~-75537	113	64	39
S <sub>2</sub> 上面	1	G群	人の足跡・馬蹄跡	57581~57588	-75517~-75528	113	63	40
S <sub>2</sub> 上面	3	1号道上層	人の足跡・馬蹄跡	57421~57423	-75467~-75496	149	89	63
S <sub>2</sub> 上面	3	3号道上層から東方	人の足跡・馬蹄跡	57392~57415	-75411~-75445	149	90	64
S <sub>2</sub> 上面	4	1号道上層	人の足跡・馬蹄跡	57407~57429	-75486~-75512	140	88	59
S <sub>2</sub> 上面	4	3号道上層	人の足跡・馬蹄跡	57421~57423	-75468~-75496	149	89	62
S <sub>2</sub> 上面	5	A群	馬蹄跡	57337~57365	-75344~-75532	159	96	69
S <sub>2</sub> 上面	5	B群	馬蹄跡	57337~57350	-75525~-75532	159	96	69
S <sub>2</sub> 上面	5	C群	馬蹄跡	57349~57351	-75520~-75522	159	96	69
S <sub>2</sub> 上面	5	D群	馬蹄跡	57348~57353	-75511~-75512	159	96	69
S <sub>2</sub> 上面	5	E群	馬蹄跡	57358~57361	-75524~-75526	159	96	69
S <sub>1</sub> 下面	5		馬蹄状窪み	57337~57365	-75507~-75531	508	373	69

7(2). 金井下新田遺跡竪穴建物出土人骨および馬体一覧表

遺構面	調査区	遺構No.	遺構名称	位置 X座標	位置 Y座標	本文編 頁	挿図 番号	写真 PL
S <sub>2</sub> 上面	1	5	竪穴建物出土人馬	57598~57608	-75522~-75533	117	65	41
S <sub>2</sub> 上面	1	6	竪穴建物出土人馬	57597~57611	-75537~-75545	128	74	50

8. 金井下新田遺跡囲い状遺構・網代垣一覧表

遺構面	調査区	遺構No.	遺構名称	位置 X座標	位置 Y座標	主軸方位	規模 m	区画溝 幅m	区画溝 深さm	本文編 頁	挿図 番号	写真 PL
S <sub>1</sub> 下面	4~6		囲い状遺構	57360~57420	-75488~-75535	東辺を基準とする中軸方位はN-113°-W	東・西辺48.6 南辺55.8 北辺54.0と推定			235	162	122
S <sub>1</sub> 下面	4・6		網代垣 (囲い状遺構北辺~東辺)	北辺57415~57418 東辺57405~57418	北辺-75493~-75506 東辺-75488~-75493	北辺N-80.5°-E 東辺N-23°-W	北辺調査長17.32 東辺調査長13.12	0.3	0.12	241	164	123
S <sub>1</sub> 下面	5		網代垣 (囲い状遺構南辺~西辺)	南辺57362~57366 西辺57362~57367	南辺-75505~-75529 西辺-75529~-75531	南辺N-80°-E 西辺N-18.5°-W	南辺調査長25.44 東辺調査長5.88	0.40	0.05~ 0.15	260	177	132

遺構面	調査区	遺構No.	遺構名称	位置X座標	位置Y座標	主軸方位	規模m	区画溝幅m	区画溝深さm	本文編頁	挿図番号	写真PL
S <sub>i</sub> 下面	5	1	遺構	57366~57371	-75515~-75522	網代上端の方位はN-43°-E	長軸6.00 短軸1.55~2.00			278	187	141
S <sub>i</sub> 下面	5		南西隅土坑	57363~57364	-75528~-75529	N-80.5°-E	長軸0.80 短軸0.70 深さ0.29			287	195	146
S <sub>i</sub> 下面	5		鏡埋納土坑	57362~57363	-75529	N-80.5°-E	長軸0.15 短軸0.12 深さ0.04			288	198	145

9. 金井下新田遺跡道・垣根・畔状遺構一覧表

遺構面	調査区	遺構No.	遺構名称	位置X座標	位置Y座標	平面形	長軸方位	調査長m	幅m	深さ(畔は高さ)m	本文編頁	挿図番号	写真PL
FP下面	5	1	畔状	57384~57408	-75505~-75512	南北方向の帯状	N-10°-W	25.8	1.20~1.90	0.08~0.14	92	76	18
FP下面	5	2	畔状	57375~57389	-75499~-75525	南西部でL字状に東へ	西辺N-21°-E 南辺N-84°-W	西辺12.50 南辺27.20	西辺2.10 南辺1.70~2.20	西辺0.15~0.19 南辺0.10~0.20	92	46	18
FP下面	5	3	畔状	57360~57389	-75530~-75532	南北方向のやや弧状	北部N-21°-E 南辺N-4°-E	北部4.50 南部10.0	北部2.10 南部1.00	北部0.07 南部0.06~0.10	92	46	18
FP下面	5	4	畔状群	57349~57376	-75506~-75530	概ね北西から南東方向	不定	最大で28.5	0.60~1.10	0.08~0.15	94	46	19
S <sub>i</sub> 下面	1	1	道	57620~57622	-75532~-75536	緩やかに蛇行	N-61°-E	5	0.50~1.06	0.04~0.08	222	151	116
S <sub>i</sub> 下面	1	2	道	57614~57619	-75525~-75534	緩やかに屈曲するが、ほぼ直線	N-54°-W	9.14	0.66~1.08	0.03~0.07	222	151	116
S <sub>i</sub> 下面	1	6	遺構	57612~57615	-75523~-75545	東西方向の緩やかな弧状を描く小溝	東半部N-70°-E 西半部N-75°-W	21.54	0.08~0.25	0.01~0.10	173	109	82
S <sub>i</sub> 下面	1	8	遺構	57613~57621	-75534~-75536	直線状。2条の溝が並行	N-15°-W	7.55	0.09~0.35	0.01~0.06	173	109	108
S <sub>i</sub> 下面	1	9	遺構	57629~57637	-75526~-75548	ほぼ直線状	東部N-64~70°-E 西部N-83°-W	24.25	0.12~0.69	0.08~0.15	165	102	108
S <sub>i</sub> 下面	3	1	道	57420~57423	-75456~-75467	東西方向に緩やかな弧状	N-85°-W	10.28	1.50~1.80	0.09~0.25	230	158	118
S <sub>i</sub> 下面	3	2	道	57409~57419	-75442~-75449	東西方向に緩やかな弧状	N-37°-W	10.74	1.3~1.62	0.12~0.22	230	158	118
S <sub>i</sub> 下面	3	3	道	57405~57415	-75440~-75444	南北方向に直線状	N-20°-E	9.12	1.20~1.64	0.09~0.17	230	158	119
S <sub>i</sub> 下面	4	1	道	57408~57427	-75487~-75513	東西方向に緩やかな弧状	N-80°-W ~N-22°-W	31.8	0.80~2.40		498	366	217
S <sub>i</sub> 下面	4	2	道	57423~57428	-75485~-75513	東西方向に微かな弧状	N-80°-W ~N-0°-E	25	1.00~2.00		498	366	217
S <sub>i</sub> 下面	4	3	道	57422~57423	-75468~-75496	微かに蛇行する東西方向の直線状	N-88°-E	28	0.50~1.00		498	366	217
S <sub>i</sub> 下面	4	4	道	57413~57422	-75483~-75506	東西方向の緩やかな弧状	N-85°-E ~N-40°-E	22	0.30~1.30		499	366	217
S <sub>i</sub> 下面	5	2	遺構	57366~57386	-75513~-75522	南北方向の直線状	N-20°-W	21.76	0.06~0.33	0.01~0.14	354	247	175

10. 金井下新田遺跡土坑一覧表

遺構面	調査区	遺構No.	遺構名称	位置X座標	位置Y座標	平面形	長軸方位	長軸m	短軸m	深さm	本文編頁	挿図番号	写真PL
FP上面	1	1	土坑	57585~57586	-75516	楕円形	N-61°-E	(0.95)	1.02	0.32	58	26	5
FP上面	1	2	土坑	57581~57582	-75517	楕円形	N-69°-E	1.28	0.89	0.51	58	26	5
FP上面	1	3	土坑	57581~57582	-75514~-75515	楕円形	N-71°-E	1.6	0.95	0.37	58	26	5
FP上面	1	4	土坑	57580~57581	-75514~-75515	楕円形と推定	N-62°-E	1.32	(0.47)	0.54	58	26	5
FP上面	1	5	土坑	57581~57582	-75513~-75514	楕円形と推定	不明	(0.52)	(0.43)	0.41	58	26	5
FP上面	1	6	土坑	57590	-75531~-75532	楕円形	N-68°-E	1.98	1.06	0.2	58	26	5
FP上面	1	7	土坑	57587	-75527	楕円形	N-30°-W	1.14	0.48	0.14	60	26	5
FP上面	1	8	土坑	57587~75588	-75526	楕円形	N-51°-E	2.27	0.73	0.16	60	26	5
FP上面	1	9	土坑	57626	-75526~-75527	楕円形	N-39°-W	1.22	0.93	0.6	60	26	5
FP上面	4	1	土坑	57415~57416	-75483~-75485	楕円形	N-77°-E	1.52	1.13	0.89	64	30	9
FP上面	4	2	土坑	57414~57416	-75484~-75486	楕円形	N-47°-E	(1.59)	1.18	0.59	64	30	8
FP上面	4	3	土坑	57412~57413	-75487~-75488	楕円形	N-42°-E	1.25	0.7	0.35	64	30	8
FP上面	4	4	土坑	57413~57415	-75488~-75490	隅丸方形	N-65°-W	1.61	1.6	0.88	68	31	8
FP上面	4	5	土坑	57415~57417	-75489~-75491	楕円形	N-75°-W	1.85	1.12	0.43	64	30	8
FP上面	4	6	土坑	57414~57415	-75491~-75492	楕円形	N-60°-W	1.7	1.24	0.7	66	30	8
FP上面	4	7	土坑	57404~57406	-75491~-75493	長楕円形	N-37°-E	2.57	0.98	0.62	66	31	8
FP上面	4	8	土坑	57414~57417	-75493~-75499	細長い楕円形	N-70°-W	(1.40)	1.15	0.55	68	32	8
FP上面	4	9	土坑	57424~57404	-75493~-75495	長楕円形と推定	N-30°-E	2.1	0.89	0.52	68	31	8
FP上面	4	11	土坑	57420~57422	-75491~-75492	楕円形	N-35°-E	1.58	0.95	0.17	66	30	8
FP上面	4	12	土坑	57414~57417	-75493~-75499	細長い楕円形	N-11°-W	1.3	(0.90)	0.58	68	32	8
FP上面	4	13	土坑	57418~57420	-75497~-75499	隅丸方形	N-80°-W	1.95	1.66	0.88	68	31	9
FP上面	4	14	土坑	57414~57417	-75493~-75499	細長い楕円形	N-42°-E	(1.50)	0.96	0.48	68	32	8
FP上面	4	15	土坑	57407~57409	-75503~-75505	隅丸方形と推定	N-40°-W	1.54	(1.38)	0.8	68	31	9
FP上面	4	16	土坑	57414~57417	-75493~-75499	細長い楕円形	N-7°-W	1.23	(0.70)	0.59	68	32	8
FP上面	4	17	土坑	57414~57417	-75493~-75499	細長い楕円形	N-90°-W	(2.75)	1.35	0.43	70	32	9
FP上面	4	18	土坑	57418~57419	-75495~-75496	不整楕円形	N-63°-W	1.76	0.99	0.54	66	30	9
FP上面	4	19	土坑	57414~57417	-75493~-75499	細長い楕円形	N-48°-E	(2.20)	0.72	0.77	70	32	8
FP上面	4	20	土坑	57420~57421	-75504~-75505	楕円形	N-20°-W	1.07	(0.68)	0.27	64	30	9



遺構面	調査区	遺構No.	遺構名称	位置 X座標	位置 Y座標	平面形	長軸方位	長軸 m	短軸 m	深さ m	本文編 頁	挿図 番号	写真 PL
黒色土中	4	31	土坑	57407~57408	-75489~-75490	不整円形	N-26°-W	0.43	0.38	0.12	903	715	442
黒色土中	4	32	土坑	57414~57415	-75492	楕円形と推定	N-63°-E	0.53	(0.34)	0.21	903	715	441
黒色土中	4	33	土坑	57411~57412	-75493~-75494	隅丸長方形	N-33°-W	1.34	(0.68)	0.31	899	713	441
黒色土中	4	34	土坑	57408~57409	-75489~-75494	隅丸方形と推定	N-115°-W	(1.46)	1.38	0.34	899	713	440
黒色土中	5	45	土坑	57376~57377	-75507~-75508	楕円形	N-30°-W	0.97	0.96	0.22	901	714	440
黒色土中	5	46	土坑	57380~57381	-75500~-75502	不整楕円形と推定	N-79°-W	(1.66)	0.95	0.1	899	713	441
黒色土中	5	47	土坑	57389~57390	-75516~-75517	楕円形	N-67°-W	0.74	0.45	0.18	904	715	440
黒色土中	5	49	土坑	57383~57384	-75505~-75506	楕円形	N-27°-E	0.6	0.43	0.33	904	715	442
黒色土中	5	50	土坑	57385~57386	-75505~-75506	楕円形	N-25°-E	0.44	0.41	0.09	904	715	442
黒色土中	5	51	土坑	57387~57388	-75504~-75505	楕円形	N-16°-E	0.63	0.6	0.17	904	715	442
黒色土中	5	52	土坑	57376~57377	-75506~-75507	円形	N-37°-E	1.01	1	0.24	901	714	442
黒色土中	5	53	土坑	57376~57377	-75504~-75505	ほぼ円形	N-61°-W	0.6	0.53	0.3	903	715	440
黒色土中	5	54	土坑	57375~57376	-75507~-75508	楕円形	N-69°-W	1	0.85	0.26	901	714	442
黒色土中	5	55	土坑	57374~57375	-75514~-75515	楕円形	N-12°-W	1.25	1.03	0.27	901	714	440
黒色土中	5	58	土坑	57368~57369	-75510~-75511	楕円形	N-5°-W	0.85	0.7	0.31	903	714	440
黒色土中	5	59	土坑	57382~57383	-75519~-75520	楕円形	N-55°-E	0.56	0.37	0.19	906	715	441
黒色土中	5	60	土坑	57374~57375	-75518~-75519	楕円形	N-54°-E	0.92	0.7	0.1	903	714	442
黒色土中	5	61	土坑	57373~57375	-75518~-75520	不整楕円形	N-66°-E	1.85	0.83	0.08~0.22	899	713	441
黒色土中	6	4	土坑	57409~57411	-75502~-75504	楕円形	N-74°-E	1.57	1.17	0.31	899	713	440
黒色土中	6	6	土坑	57400~57401	-75508	ほぼ円形	N-47°-E	0.63	0.6	0.17	906	715	440
黒色土中	6	7	土坑	57401~57402	-75501~-75502	楕円形	N-87°-E	0.55	0.49	0.57	906	715	443

11. 金井下新田遺跡ピット一覧表

遺構面	調査区	遺構No.	遺構名称	位置 X座標	位置 Y座標	平面形	主軸方位	長軸 m	短軸 m	深さ m	本文編 頁	挿図 番号	写真 PL
FP下面	5	2	ピット	57342	-75518~-75519	円形	N-0°-E	0.45	0.43	0.38	232	33	10
S1下面	3		ピット群	57398~57399	-75410~-75412			2.4	1.2		612	160	120
黒色土中	1	72	ピット	57642~57643	-75540~-75541	円形	N-0°-E	(0.57)	0.71	0.39	612	459	284
黒色土中	1	75	ピット	57642	-75537	円形	N-0°-E	0.26		0.61	612	459	284
黒色土中	2	43	ピット	57470	-75501~-75502	円形	N-34°-W	0.48	0.43	0.32	746	575	356
黒色土中	2	8	ピット	57473	-75484	楕円形	N-51°-E	0.37	0.29	0.23	746	575	
黒色土中	3	1	ピット	57416	-75466	楕円形	N-78°-W	0.51	0.43	0.14	746	621	
黒色土中	4	1	ピット	57411~57412	-75503	楕円形	N-70°-E	0.27	0.24	0.27	906	716	443
黒色土中	4	2	ピット	57411	-75502	楕円形と推定	N-40°-W	0.26	(0.16)	0.17	906	716	443
黒色土中	4	3	ピット	(6区1号掘立柱建物 北東隅ピット)									
黒色土中	4	4	ピット	57412~57413	-75497~-75498	楕円形	N-8°-E	0.31	0.24	0.18	906	716	443
黒色土中	4	5	ピット	57413~57414	-75500	楕円形	N-16°-W	0.23	0.21	0.35	907	716	443
黒色土中	4	6	ピット	57413	-75503	楕円形	N-6°-W	0.26	0.25	0.38	907	716	443
黒色土中	4	7	ピット	57412	-75500	楕円形	N-0°-E	0.23	0.18	0.21	907	716	
黒色土中	4	8	ピット	57416	-75497~-75498	楕円形	N-32°-W	0.28	0.2	0.19	907	716	
黒色土中	4	9	ピット	57417~57418	-75496	楕円形	N-13°-W	0.41	(0.22)	0.27	907	716	
黒色土中	4	10	ピット	57416	-75494	楕円形	N-64°-E	0.33	0.3	0.35	907	716	
黒色土中	4	11	ピット	57408~57409	-75493	円形	N-7°-W	0.26	0.25	0.2	907	716	
黒色土中	4	12	ピット	57409~57410	-75491	楕円形	N-67°-E	0.25	(0.14)	0.2	907	716	
黒色土中	6	23	ピット	57405~57406	-75500~-75501	円形	N-8°-W	0.26	0.25	0.09	909	717	443
黒色土中	6	24	ピット	57399~57400	-75507~-75508	楕円形	N-47°-E	0.53	0.47	0.21	909	717	443
黒色土中	6	25	ピット	57398~57399	-75506~-75507	楕円形	N-11°-W	0.37	0.33	0.17	909	717	444
黒色土中	6	26	ピット	57400~57401	-75503~-75504	楕円形	N-75°-E	0.38	0.33	0.25	909	717	444
黒色土中	6	27	ピット	57404~57405	-75508~-75509	円形	N-33°-W	0.47	0.42	0.33	909	717	444
黒色土中	6	28	ピット	57407	-75510~-75511	円形	N-29°-E	0.39	0.38	0.17	909	717	444
黒色土中	6	29	ピット	57406~57407	-75503~-75504	円形	N-71°-E	0.47	0.38	0.32	909	717	444
黒色土中	6	30	ピット	57405~57406	-75507~-75508	円形	N-39°-W	0.38	0.37	0.3	400	717	444
黒色土中	6	31	ピット	57406~57407	-75504~-75505	楕円形	N-6°-W	0.57	0.49	0.65	400	717	444
黒色土中	6	32	ピット	57413~57414	-75507~-75508	円形	N-42°-E	0.24	0.23	0.12	400	717	444
黒色土中	6	33	ピット	57406~57407	-75511~-75512	円形	N-41°-E	0.43	0.42	0.53	400	717	445
黒色土中	6	35	ピット	57407	-75502~-75503	楕円形	N-90°-E	0.48	0.45	0.33	400	717	445
黒色土中	6	36	ピット	57411	-75502~-75504	楕円形	N-45°-E	(0.32)	0.35	0.19	400	717	445
黒色土中	6	37	ピット	57404~57405	-75504~-75505	楕円形	N-12°-E	0.37	0.33	0.33	400	717	445
黒色土中	6	38	ピット	57394~57395	-75495~-75496	楕円形	N-56°-E	(0.17)	0.17	0.31	402	717	445
黒色土中	5	4	ピット	57388~57389	-75514~-75515	円形	N-60°-E	0.34	0.28	0.31	402	718	445
黒色土中	5	5	ピット	57392~57393	-75508~-75509	楕円形	N-44°-W	0.28	0.25	0.42	402	718	445
黒色土中	5	6	ピット	57391~57392	-75508~-75509	楕円形	N-15°-W	0.27	0.25	0.19	402	718	445
黒色土中	5	7	ピット	57392~57393	-75509~-75510	楕円形	N-76°-E	0.25	0.22	0.3	402	718	446
黒色土中	5	8	ピット	57391~57392	-75510~-75511	楕円形	N-76°-E	0.27	0.24	0.33	402	718	446
黒色土中	5	9	ピット	57390~57391	-75510~-75511	不整円形	N-33°-W	0.37	0.28	0.33	403	718	446
黒色土中	5	10	ピット	57391~57392	-75510~-75511	楕円形	N-75°-W	0.31	0.25	0.18	403	718	446
黒色土中	5	11	ピット	57393~57394	-75510~-75511	楕円形	N-72°-E	0.39	0.3	0.56	403	718	446

遺構面	調査区	遺構No.	遺構名称	位置 X座標	位置 Y座標	平面形	主軸方位	長軸 m	短軸 m	深さ m	本文編 頁	挿図 番号	写真 PL
黒色土中	5	12	ピット	57386~57387	-75518~-75519	楕円形	N-89°-E	0.3	0.28	0.41	403	718	446
黒色土中	5	13	ピット	57387~57388	-75520~-75521	円形	N-20°-W	0.27	0.24	0.35	403	718	446
黒色土中	5	14	ピット	57385~57386	-75519~-75520	円形	N-65°-W	0.28	0.26	0.3	403	718	447
黒色土中	5	15	ピット	57384~57385	-75520~-75521	楕円形	N-87°-E	0.24	0.21	0.17	403	718	447
黒色土中	5	16	ピット	57384~57385	-75521~-75522	楕円形	N-55°-E	0.27	0.24	0.38	404	718	447
黒色土中	5	17	ピット	57383~57384	-75520~-75521	隅丸方形	N-15°-E	0.19	0.18	0.14	404	718	447
黒色土中	5	18	ピット	57381~57382	-75519~-75520	円形	N-31°-E	0.22	0.2	0.14	404	719	447
黒色土中	5	19	ピット	57381~57382	-75520~-75521	楕円形	N-75°-E	0.28	0.23	0.13	404	719	447
黒色土中	5	20	ピット	57379~57380	-75519~-75520	円形	N-25°-W	0.23	0.22	0.15	404	719	447
黒色土中	5	21	ピット	57379~57380	-75519~-75520	楕円形	N-39°-W	0.29	0.22	0.16	404	719	447
黒色土中	5	22	ピット	57378~57379	-75519~-75520	円形	N-49°-W	0.27	0.26	0.22	404	719	448
黒色土中	5	23	ピット	57377~57378	-75516~-75517	楕円形	N-10°-E	0.45	0.31	0.23	406	719	448
黒色土中	5	24	ピット	57376~57377	-75517~-75518	楕円形	N-76°-E	0.48	0.35	0.45	406	719	448
黒色土中	5	25	ピット	57384~57385	-75505~-75506	楕円形	N-67°-E	0.3	0.28	0.13	406	719	448

12. 金井下新田遺跡溝一覧表

遺構面	調査区	遺構No.	遺構名称	位置 X座標	位置 Y座標	平面形	走行方位	調査長 m	幅 m	深さ m	本文編 頁	挿図 番号	写真 PL
FP上面	1	1	溝	57611-57613	-75526	小刻みに蛇行する直線状	N-85°-E	8.82	0.08-1.84	0.01-0.18	60	27	6
FP上面	1	2	溝	57633-57635	-75529~-75539	大きく屈曲して蛇行	N-76-88°-E	9.5	0.28-1.75	0.06-0.47	60	27	6
FP上面	4	1	溝	57390-57420	-75490~-75509	緩やかな曲線状	N-28°-W	33.72	0.80-1.26	0.14-0.27	86	29	15
FP上面	4	2	溝	57420-57425	-75508~-75516	直線状	N-60°-E	8.78	0.58-1.01	0.22-0.26	87	29	15
FP上面	5	1	溝	57341-57350	-75503~-75523	直線状	N-68°-E	21.86	0.19-1.14	0.06-0.23	85	40	15
S1下面	5	2	溝	57365-57366	-75506~-75512	直線状	N-80°-E	5.79	0.22-0.46	0.03-0.08	505	370	219
黒色土中	1	3	溝	57575-57577	-75531~-75538	緩やかな曲線状	N-70°-E	6.57	0.18-0.25	0.09-0.14	614	460	284
黒色土中	1	4	溝	57579-57580	-75526~-75528	ほぼ直線	N-82°-E	1.74	0.17-0.30	0.06-0.12	614	461	284
黒色土中	1	5	溝	57581-57583	-75534~-75540	ほぼ直線	N-78°-E	6.32	0.25-0.38	0.04-0.12	615	462	284
黒色土中	5	3	溝	57376-57378	-75509~-75516	ほぼ直線	N-81°-E	6.89	0.15-0.28	0.07	917	720	448

13. 金井下新田遺跡畝一覧表

遺構面	調査区	遺構No.	遺構名称	位置 X座標	位置 Y座標	形状	残存畝間幅 m	畝幅もしくは 畝間溝の間隔 m	畝長もしくは 畝間溝の長さ m	畝間溝の深さ m	本文編 頁	挿図 番号	写真 PL
S1下面	1	1	畝	57613~57618	-75528~-75534	不整形の畝区画	0.77~2.62	0.47~0.53	1.53~2.36	0.01~0.23	218	148	114
S1下面	1	2	畝	57640~57643	-75526~-75531	全体形状は不明	0.88~3.00	0.36~0.6		0.05~0.21	172	108	81
S1下面	1	3	畝	57622~57636	-75525~-75531	全体形状は不明	0.67~1.72	0.39~0.76		0.09~0.20	219	149	115
S1下面	1	4	畝	57624~57634	-75531~-75540	コブ状に並ぶ寄畝					219		115
S1下面	1	5	畝	57591~57605	-75526~-75540	コブ状に並ぶ寄畝					219		116
S1下面	4・6	1	畝	57386~57406	-75509	並行する条畝		0.30~0.79	0.45~5.47	0.02~0.09	366	256	184
黒色土中	1	4	畝	57633~57637	-75540~-75548	一部並行する畝間溝 の下半部を検出	0.16~0.30	0.17~2.42	0.79~2.86	0.02~0.09	616	463	286
黒色土中	1	5	畝	57613~57620	-75534~-75541	一部並行する畝間溝 の下半部を検出	0.16~0.23	1.64	1.82~6.63	0.01~0.11	616	464	286
黒色土中	2	1	畝	57473~57480	-75492~-75499	一部並行する畝間溝 の下半部6条を検出	0.15~0.24	0.06~1.30	0.82~3.40	0.02~0.09	746	576	358

14. 金井下新田遺跡焼土・炭化物集中・集石・屋外炉他一覧表

遺構面	区	遺構No.	遺構名称	位置 X座標	位置 Y座標	平面形	長軸方位	長軸 m	短軸 m	深さ m	本文編 頁	挿図 番号	写真 PL
S1下面	3	1	焼土	57414-57416	-75448~-75450	不整形な方形	N-42°-W	1.58	1.15	0.12	232	159	120
黒色土中	1	1	灰集中部	57637-57638	-75538~-75539	楕円形	N-31°-W	0.83	0.61	0.09	617	465	285
黒色土中	1	21	焼土	57638-57639	-75547~-75548	楕円形	N-33°-W	0.56	0.48	0.09	618	466	285
黒色土中	1	22	焼土	57634-57635	-75540~-75541	不整楕円形	N-21°-E	0.73	0.61	0.06	618	466	285
黒色土中	1	23	焼土	57619	-75532	不整楕円形	N-86°-E	大0.48 小0.29	大0.34 小0.20	大0.03 小0.02	618	466	285
黒色土中	1	24	焼土	57623-57624	-75533~-75534	不整楕円形	N-0°-E	0.88	0.66	0.66	618	466	285
黒色土中	2	1	焼土	57518-57519	-75506~-75507	楕円形	N-59°-W	1.8	1.2	0.13	746	577	356
黒色土中	2	3	焼土	57513-57515	-75507~-75508	不定形帯状	N-29°-W	2.38	0.37-1.30	0.05	747	578	357
黒色土中	2	4	焼土	57488	-75481	楕円形	N-56°-E	0.46	0.36	0.08	748	577	357
黒色土中	2	1	炭化物集中	57519	-75497~-75498	不整楕円形	N-79°-W	1.64	0.63	0.08	748	579	357
黒色土中	2	2	炭化物集中	57459	-75494	楕円形	N-66°-E	0.94	0.56	0.18	748	579	357
黒色土中	2	3	炭化物集中	57494-57495	-755495~-755496	楕円形と推定	N-33°-W	(0.96)	0.96	0.1	749		357
黒色土中	2	1	集石	57492-57494	-75491~-75492	不明	不明	1.4	1.1		750	580	357
黒色土中	2	2	集石	57518-57519	-75502~-75503	不整楕円形	不明	2.2	1.4	0.2	750	580	358
黒色土中	2	3	集石	57528-57529	-75512~-75513	不明	不明	1.2	1		750		358
黒色土中	3	1	遺物集中区	3区東部		不明	不明				779	620	371
黒色土中	3	2	遺物集中区	3区中央部		不明	不明				784	620	373
黒色土中	3	3	遺物集中区	3区西部		不明	不明				788	620	375

遺構面	区	遺構 No.	遺構名称	位置 X座標	位置 Y座標	平面形	長軸方位	長軸 m	短軸 m	深さ m	本文編 頁	挿図 番号	写真 PL
黒色土中	3	1	屋外炉	57398-57400	-75419~-75422	不整楕円形	N-70°-W	2.47	1.28	0.32	779	608	373
黒色土中	3	2	屋外炉	57392-57394	-75408~-75409	不整楕円形	N-26°-W	1.29	1.13	0.12	779	608	373
黒色土中	3	3	屋外炉	57400-57404	-75419~-75421	不整楕円形	N-84°-W	1.92	(1.02)	0.31	783	609	373
黒色土中	3	4	屋外炉	57415-57421	-75455~-75462	不整楕円形	N-90°-E	2.6	2.12	0.28	790	617	375
黒色土中	3	5	屋外炉	57416-57420	-75465~-75468	不整長方形	N-104°-E	(2.96)	1.8	0.13	791	619	375
黒色土中	3	6	屋外炉	57410	-75434	不整楕円形	N-15°-W	0.7	0.4	0.07	788	614	374
黒色土中	4	1	屋外炉	57409-57410	-75493	不整楕円形	N-57°-E	0.46	0.38	0.06	918	721	449
黒色土中	4	2	屋外炉	57424-57425	-75481~-75482	不整楕円形	N-57°-W	1.56	1.12	0.06	918	721	449
黒色土中	4	3	屋外炉	57416-57421	-75487~-75493	不整楕円形	N-79°-E	0.54	0.46	0.08	918	722	449
黒色土中	4	1	炭化物集中	57421-57424	-75483~-75486	不明	不明	3.6	3		924	727	451
黒色土中	4	2	炭化物集中	57416-57417	-75491~-75492	不整楕円形	N-70°-E	0.63	0.43		924	727	
黒色土中	4	1	焼土	57415	-75489~-75490	不整楕円形	N-26°-W	0.33	0.26	0.06	925	728	
黒色土中	4	2	焼土	57423-57424	-75480~-75481	不整楕円形	N-49°-W	1.33	0.79	0.15	925	728	451
黒色土中	4	3	焼土	57419-57420	-75509~-75510	楕円形	N-41°-E	(0.51)	0.4	0.04	925	728	451
黒色土中	4	4	焼土	57404-57405	-75495	楕円形	N-70°-W	0.51	0.4	0.05	925	728	451
黒色土中	6	4	焼土	57408-57409	-75507~-75508	不整形	N-76°-E	0.91	0.69	不明	925	729	
黒色土中	6	5	焼土	57408-57409	-75503~-75504	不整形	N-50°-E	0.24	0.14	0.04	925	729	452
黒色土中	6	6	焼土	57407-57408	-75501~-75502	不整形	N-28°-E	(0.28)	0.25	0.1	925	729	452
黒色土中	6	8	焼土	57408-57409	-75511~-75512	不整形	N-19°-E	0.49	0.37	不明	925	729	
黒色土中	5	25	遺構	57365-57367	-75515~-75518	不明	不明	2.5	2		922	725	451
黒色土中	5	26	遺構	57369	-75518	不整形	N-60°-W	2.25	1.98	0.04	925	730	452
黒色土中	5	28	遺構	57374-57375	-75513	不整形	N-58°-W	1.09	0.86	0.01	925	730	452
黒色土中	5	30	遺構	57356-57357	-75521	不整形	N-0°-E	0.61	0.47	0.1	928	730	452
黒色土中	5	32	遺構	57340-57341	-75528~-75529	不整形	N-24°-W	0.36	(0.25)	不明	928	730	452
黒色土中	5	33	遺構	57361-57362	-75513~-75514	不整形	N-68°-E	0.56	0.3	0.01	928	730	452

15. 金井下新田遺跡炭窯一覧表

遺構面	調査区	遺構 No.	遺構名称	位置 X座標	位置 Y座標	形状	主軸方位 炭化室部	主軸方位 焚口部	残存全長 m	焚口幅 m	炭化室幅 m	高さ m	本文編 頁	挿図 番号	写真 PL
FP上面	1	1	炭窯	57655~57656	-75545~-75546	徳利状	S-15°-W				1.14	(0.85)	47	17	1
FP上面	1	2	炭窯	57653~57658	-75537~-75543	徳利状	S-26°-W	S-52°-W	6.7		1.9	(1.60)	47	19	1
FP上面	1	3	炭窯	57652~57658	-75536~-75538	徳利状	S-81°-W		5.41		1.23		49	21	2
FP上面	1	4	炭窯	57657~57660	-75541~-75545	徳利状	S-38°-E		4.32	1.06	1.23		53	22	3
FP上面	1	5	炭窯	57673~57676	-75536~-75539	不明	不明		不明				53	23	
FP上面	1	6	炭窯	57673	-75531	不明	不明		不明				54	23	
FP上面	1	7	炭窯	57655~57658	-75534~-75536	不明	S-43°-W		(2.13)		1.26		54	24	3
FP上面	1	8	炭窯	57661~57663	-75555~-75557	不明	不明		(2.30)		(0.97)		56	23	

16. 金井下新田遺跡不明遺構一覧表

遺構面	調査区	遺構 No.	遺構名称	位置 X座標	位置 Y座標	平面形	長軸 m	短軸 m	深さ m	本文編 頁	挿図 番号	写真 PL
S <sub>2</sub> 上面	3	1	不明遺構	57411~57415	-75450~-75452	東西方向の溝4条	1.20~2.40	0.15~0.60	0.12	151	93	97
S <sub>2</sub> 上面	3	2	不明遺構	57401~57403	-75420~-75421	南北方向に長い不定楕円形	2.4	1	0.38	151	93	97
S <sub>2</sub> 上面	3	3	不明遺構	57408~57411	-75428~-75432	不整形	4.4		1.2	151	93	97
S <sub>2</sub> 上面	3	4	不明遺構	57402~57404	-75414~-75417	不整楕円形	3.6	3.1	0.8	151	94	97
S <sub>2</sub> 上面	3	5	不明遺構	57399~57401	-75408~-75411	不整楕円形	3.4		0.8	151	94	97
S <sub>2</sub> 上面	4	1	不明遺構	57420	-75505~-75506	東西方向の溝状	1	0.4	0.12	151	94	97
S <sub>2</sub> 上面	4	2	不明遺構	57428~57432	-75505~-75511	不整楕円形	4.2	3	0.5	151	92	97































区	No.	種別	群	長さ (上) (cm)	長さ (下) (cm)	幅 (上) (cm)	幅 (下) (cm)	方向	前後	左右	保存 度	観察所見	区	No.	種別	群	長さ (上) (cm)	長さ (下) (cm)	幅 (上) (cm)	幅 (下) (cm)	方向	前後	左右	保存 度	観察所見
5	470	馬蹄跡	A	11.5		(7.0)		東	後?		C		5	499	馬蹄跡	A	8.0		7.2		南?	?		C	
5	471	馬蹄跡	A	10.8		10.3		東	前		A		5	500	馬蹄跡	A	11.2		8.2		南東	後		A	
5	472	馬蹄跡	A	10.0		9.5		東	前		A		5	501	馬蹄跡	A	9.0		7.5		東	前		B	
5	473	馬蹄跡	A	13.0		8.2		東	後		B		5	502	馬蹄跡	A	(9.0)		8.5		南東	前		B	
5	474	馬蹄跡	A	13.0		8.0		北東	前		B		5	503	馬蹄跡	A	10.5		8.5		南東	?		B	
5	475	馬蹄跡	A	13.0		8.0		北	後		B		5	504	馬蹄跡	A	(7.0)		12.0		?	?		C	
5	476	馬蹄跡	A	11.5		9.0		東	後		B		5	505	馬蹄跡	A	10.0	(9.7)			南東?	前?		C	505→506
5	477	馬蹄跡	A	(11.5)		8.0		東	後		C	477→478	5	506	馬蹄跡	A	11.5		8.7		東	後?		C	505→506
5	478	馬蹄跡	A	12.5		8.5		東	後		B	477→478	5	507	馬蹄跡	A	12.8		7.5		東	後		B	
5	479	馬蹄跡	A	11.0		7.0		東	後?		C		5	508	馬蹄跡	A	(13.5)		10.0		東	前?		B	508→509
5	480	馬蹄跡	A	(13.0)		8.5		東	後?		C		5	509	馬蹄跡	A	(12.5)		8.5		東	後		B	508→509
5	481	馬蹄跡	A	10.5		9.7		東	前		B		5	510	馬蹄跡	A	(7.5)		6.0		北東	後		B	
5	482	馬蹄跡	A	11.5		9.0		南東	後		B		5	511	馬蹄跡	A	6.4		8.0		南東	前		B	
5	483	馬蹄跡	B	11.0		10.0		北東	前		C		5	512	馬蹄跡	A	6.0		5.5		南東	前		B	512→513
5	484	馬蹄跡	B	10.5		9.5		東	前		A		5	513	馬蹄跡	A	8.5		6.2		南東	後		B	512→513
5	485	馬蹄跡	A	7.5		6.5		北西	後		B	343→485	5	514	馬蹄跡	A	8.5		8.0		東	前		C	
5	486	馬蹄跡	A	?		10.5		南	?		C	欠番	5	515	馬蹄跡	A	(9.8)		8.5		南東	?		C	
5	487	馬蹄跡	A	9.5		7.0		東	後		A		5	516	馬蹄跡	A	(14.5)		10.0		北西?	後		B	
5	488	馬蹄跡	A	8.5		9.0		北東	前		A		5	517	馬蹄跡	A	10.5		5.5		北西?	?		C	
5	489	馬蹄跡	A	(8.0)		8.0		東	前		B	489→490	5	518	馬蹄跡	A	9.5		6.5		南	前		B	
5	490	馬蹄跡	A	10.5		8.0		北	前		B		5	519	馬蹄跡	A	7.5		6.0		南	後		B	
5	491	馬蹄跡	A	9.0		8.0		南東	前		A		5	520	馬蹄跡	A	?	(13.5)			?	?		C	520→521欠番
5	492	馬蹄跡	A	7.8		7.5		東	前		C		5	521	馬蹄跡	A	(11.5)	(9.0)			北	後		B	520→521欠番
5	493	馬蹄跡	A	8.0		7.5		南東	前		B		5	522	馬蹄跡	B	(10.5)	9.5			東?	前?		C	522→357
5	494	馬蹄跡	A	7.0		6.6		北	前		B		5	523	馬蹄跡	B	13.5	10.2			北	後		B	
5	495	馬蹄跡	A	11.5		8.2		北	後		B		5	524	馬蹄跡	A	(10.5)		8.0		南西	後?		C	524→413
5	496	馬蹄跡	A	7.0		6.0		南東	後		B		5	525	馬蹄跡	B	10.0		6.5		南東	?		C	
5	497	馬蹄跡	A	10.0		9.5		南東	前		C		5	526	馬蹄跡	B	10.0		7.5		西	?		C	526→376
5	498	馬蹄跡	A	10.0		9.5		東	前		A		5	527	馬蹄跡	A	12.0		9.0		南	前?		C	

第3表 金井下新田遺跡 赤玉計測一覽表

挿 図 PL.NO.	No.	出土遺構	出土位置	計測値	観 察	分析 NO.
第120図 PL.456	18	1区 1号平地建物	西壁沿い 床直	直径4.8～5.5cm 厚さ1.5cm以上	直径5～6cmの低い円柱状の形態が推定される。厚さは土砂との境界が見えないので不明。建物床面に接して出土した。崩壊防止のため土砂は除去できなかった。	分析No.10
第380図 PL.502	15	1区 1号竪穴建物	北西隅 床直	半径4.1cm 厚さ4.4cm以上	推定半径4.1cmの円柱体が想定できる曲面をもつが、多くを欠損しており全体形状は不明である。崩壊防止のため土砂は除去できなかった。	分析No.21
第413図 PL.506	27	1区 8号竪穴建物	北西部 床直	直径4.0cm 厚さ1.0cm以上	断面台形の低円柱状に残されたと推定される。周囲に溶融して崩れたと見られる固結部分が残されていた。	分析No.3
第413図 PL.506	28	1区 8号竪穴建物	北西部 床直	直径6.4cm 厚さ1.8cm	低い円柱状の原形を想定できる。底面の一部で土砂との境界が観察でき、厚さを計測できた。一部が溶融して広がったような形状で竪穴建物床面に接して出土した。	分析No.2
第507図 PL.522	110	2区 6号竪穴建物	北東部 床直	長さ5.3cm 幅4.3cm 厚さ1.4cm以上	周囲の大部分が欠損している。原型が円柱かどうかは不明である。土砂との境界が不明であるので厚さは計測できない。崩壊防止のため土砂は除去できなかった。	分析No.27
第697図 PL.561	35	5区 18号竪穴建物	P2付近 床直	直径5.0cm 厚さ3.0cm	低い円柱形。下端部が欠損するが、ほぼ原形をとどめている。床面に正立してやや埋まるような状況で出土した。直径1cm前後の礫を多く混じる。	分析No.18

第4表 金井下新田遺跡 ガラス製玉類計測一覽表

挿 図 PL.NO.	No.	出土遺構	出土位置	種類・器種	外長径	厚さ (mm)	孔径	観 察	分析No.	備 考
第78図 PL.454	1	1区6号竪穴建物	2号人骨着装	管玉・破片	4.0	4.0	1.25	紺色透明。図化後破砕。	09003	Hr-FA/S <sub>2</sub> 上面
第78図 PL.454	3	1区6号竪穴建物	2号人骨着装	小玉	6.2	7.25	1.75	紺色透明。一部欠損。	09001	Hr-FA/S <sub>2</sub> 上面
第78図 PL.454	5	1区6号竪穴建物	2号人骨着装	六角柱玉	7.5	10.25	0.3	白色半透明。一部欠損。	09002	Hr-FA/S <sub>2</sub> 上面
第304図 PL.483	91	5区1号掘立柱建物	土器集積内	小玉	5.25	3.0	2.0	淡青色半透明。完形。	09015	Hr-FA/S <sub>1</sub> 直下
第480図 PL.516	47	2区1号竪穴建物	埋土	小玉	5.5	3.5	1.75	濃青色半透明。完形。	09004	黒色土中。鍛冶工房
第480図 PL.516	48	2区1号竪穴建物	埋土	小玉	2.25	1.5	0.75	黄緑色半透明。微細。完形。	09005	黒色土中。鍛冶工房
第480図 PL.516	49	2区1号竪穴建物	埋土	小玉	3.5	2.0	1.0	淡紺色半透明。完形。	09006	黒色土中。鍛冶工房
図化無し PL.		2区1号竪穴建物	埋土	小玉	/			無色透明。破損9片。	09007	黒色土中。鍛冶工房
第480図 PL.516	50	2区1号竪穴建物	掘方南部埋土	小玉	2.25+	1.75	0.625+	紺色透明。微細。半欠損。	09010	黒色土中。鍛冶工房
第480図 PL.516	51	2区1号竪穴建物	掘方西部埋土	小玉	2.75	2.0	1.0	紫紺色半透明。微細。完形。	09008	黒色土中。鍛冶工房
第480図 PL.516	52	2区1号竪穴建物	掘方北部埋土	小玉	3.0	2.0	1.0	紺色透明。微細。完形。	09009	黒色土中。鍛冶工房
第480図 PL.516	53	2区1号竪穴建物	掘方南部埋土	小玉	2.75	1.5	0.75	紺色透明。微細。完形。	09011	黒色土中。鍛冶工房
第507図 PL.522	123	2区6号竪穴建物	位置不明。床直。	小玉	3.25	1.75	1.25	紺色透明。微細。完形。	09012	黒色土中。
第587図 PL.536	85	2区遺構外	遺構外。	小玉	5.5	3.5	1.75	淡青色半透明。完形。	09013	黒色土中。
第606図 PL.541	21	3区1号遺物集中区	遺構外。	小玉	5.5	3.75	2.0	紺色透明。完形。	09014	黒色土中。
第740図 PL.568	96	5区遺構外	遺構外	小玉	6.5	6.0	1.75	紺色透明。一部欠損。	09016	黒色土中。

※計測値は2倍もしくは4倍で描いた実測図を計測した。

第5表 遺物観察表

1区3号炭窯出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第21図 PL.453	1	須恵器 瓶or甕	埋土 胴部小片				細砂粒/還元焰/灰	器種不明。ロクロ整形、回転方向不明。	

1区1号土坑出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第26図 PL.453	1	肥前磁器 染付碗	埋土 完形	口底	9.9 4.4	器高 5.6	夾雑物なし白	体部外面は窓絵に梅花と竹を描き、隙間を笹文が埋める。体部下位と高台境、高台に圈線。高台内にかなり崩れた「大明年製」の銘。内面は無文。	18世紀前半

4区20号土坑出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第30図 PL.453	1	銭貨 新寛永	埋土 一部欠損	縦横	2.504 2.452	厚重 0.188 2.9	銅	面、背ともに彫は深く明瞭だが、面の劣化が激しく、字が一部欠損している。	

4区1号土坑出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第30図 PL.453	2	肥前磁器 小碗	埋土 1/4	口底	(8.8) (3.5)	器高 4.9	夾雑物なし白	口縁部直下外面と体部中位を太い圈線で区画し、矢筈文を描く。体部下位と高台境に太い圈線。口縁部直下内面に太い二重圈線。見込みに圈線。	18世紀後半

4区5号土坑出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第30図 PL.453	3	肥前磁器 小碗	埋土 1/3	口底	(7.4) (3.2)	器高 4.4	夾雑物なし白	口縁部外面に雨降り柳文を描く。体部下位と高台境、高台に圈線。内面は無文。高台端部には砂が付着。	18世紀前半

4区15号土坑出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第31図 PL.453	1	銅製品 雁首	埋土 一部欠損	長幅	5.5 1.0	厚重 1.2 4.2	銅	火皿の欠損した雁首。つなぎ目が側面にあり、一部補修痕と思われるつなぎ目が太くなる部分が見られる。全体に雁首に対して平行に筋状の模様が見られる。	

4区13号土坑出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第31図 PL.453	2	志戸呂陶器 灯明受皿	埋土 3/4	口底	10.7 5.6	器高 2.3	夾雑物微量橙	受け部端部は口縁部の高さと同じ。焼成前に2か所切り取られ孔が穿たれる。体部以下外面は回転ヘラケズリ。内面から体部外面中位に錆釉。体部中位から底部は無釉だが、部分的に釉が掛かる。	18世紀中頃～後半

4区土坑群出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第32図 PL.453	1	銅製品 雁首	埋土 完形	長幅	6.5 10.45	厚重 1.85 8.9	銅	側面につなぎ目がある。火皿との首の間に補強体が見られる。雁首に平行して細かな傷が多数見られるが、制作時、使用時に伴うものかは不明。	
第32図 PL.453	1	銅製品 吸口	埋土 完形	長幅	7.1 0.8	厚重 0.8 7.5	銅	つなぎ目の痕跡は明瞭。一部へこみによる変形が見られるが、変形した時期は不明。	
第32図 PL.453	2	銅製品 火皿	埋土 完形	長幅	2.3 1.9	厚重 0.4 2.6	銅	火皿が外圧により変形したとみられる。平らに加工した様子はないため、雁首銭の可能性は低い。	
挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			特徴など		
第32図 PL.453	3	流動滓か	埋土 完形	長幅	10.3 6.2	厚重 5.3 222.8	流動性の悪い流動滓か。Hr-FPを噛み混んでいる。比重は高い。		
挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第32図 PL.453	4	肥前磁器 染付筒碗	埋土 3/4	口底	(7.0) 3.8	器高 5.4	夾雑物なし白	口縁部直下外面と腰部を圈線で区画し、縦の二重圈線で割る。区画内は半菊文を描き、隙間を斜線交叉文で埋める。また、菱文や斜線交叉文などを描く。腰部以下外面に不明文。高台境と高台に圈線。口縁部直下内面に太い圈線と四方禪文。見込みに圈線。中央に五弁花。	18世紀第3-4 中期

5区28号土坑出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第34図 PL.453	1	鉄製品 鉄銭	埋土 1/2	縦横	2.552 1.875	厚重 0.585 1.8	鉄	全体がさび付いているため詳細は不明。大きさから鉄四文銭の可能性はある。	

5区38号土坑出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第35図 PL.453	1	石製品 石鉢	埋土 1/2	長幅	(9.8) (15.2)	厚重 10.0 1384.8	ニッ岳石	粗粒で多孔質な石質である。正面に浅鉢状の窪みが作出されており内面は比較的滑らかである。外面も全体的に滑らかであり整形されていると考えられる。	

5区41号土坑出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	器種 細別器種	出土位置 残存率	法 量													観 察			
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬				
第 37図 PL.453	1	不明鉄製品	埋土 破片	5.3+	1.3+	0.3														板状品。下部に折り上げにより 屈曲している。

4区1号井戸出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴											備 考	
第 41図 PL.453	1	瀬戸・美濃 陶器 碗	埋土 体部から高台部 破片	口 底	3.5	器 高		夾雑物微量灰白	内面と体部外面下に黒色の鉄釉。体部下位と高台は無釉。											

4区1号溝出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残存率	計測値				胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴											備 考
第 41図 PL.453	2	鉄製品 鎌	埋土 1/3	長 幅	10.4 4.25	厚 重	1.5 44.0	鉄	柄との接続部が目釘で留めることが出来るようになっており、江戸時代以降の鎌と考えられる。											

4区Hr-PP上面遺構外出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残存率	計測値				胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴											備 考
第 43図 PL.453	1	銭貨 新寛永	遺構外 完形	縦 横	2.395 2.388	厚 重	0.174 2.5	銅	面の彫が深く、字、輪、郭が明瞭。背はやや彫が浅いが、輪、郭は明瞭。ゆがみがある。											
第 43図 PL.453	2	銭貨 新寛永	遺構外 完形	縦 横	2.528 2.537	厚 重	0.316 3.6	銅	背文。面、背ともに字、輪、郭が明瞭。一部にゆがみが生じ、割れている。											
第 43図 PL.453	3	銭貨 新寛永	遺構外 完形	縦 横	2.267 2.268	厚 重	0.152 3.0	銅	面、背ともに字、輪、郭が明瞭。ややゆがんでいる。											
第 43図 PL.453	4	銅製品 キセル(吸 い口)	遺構外 完形	長 幅	6.5 1.3	厚 重	1.1 15.1	銅	つなぎ目の痕跡が明瞭。つなぎ目以外にも筋が見られるが、詳細は不明。											
第 43図 PL.453	5	銭貨 新寛永	遺構外 完形	縦 横	2.443 2.419	厚 重	0.153 2.4	銅	全体にやや摩滅し、見えづらくなっている。ゆがみも見られる。背の彫は浅く、輪、郭の一部が不明瞭。											
第 43図 PL.453	6	銭貨 新寛永	遺構外 完形	縦 横	2.457 2.454	厚 重	0.133 3.6	銅	面の彫はやや深く、字、輪、郭が明瞭。背は彫は浅めだが、輪、郭は明瞭。背側に癒着していた痕跡が残る。											
挿図 PL.No.	No.	種 類 細別器種	出土位置 残存率	法 量													観 察			
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬								
第 43図 PL.453	7	馬具 紋具金具	遺構外 一部残存	3.0 3.6 4.0	3.0 1.6 1.9	2.6 0.3 0.3	0.4 1.5 1.8	0.4 0.3 0.3												おそらく馬具の紋具金具と推定する。上辺に、コハゼ形の紋具があり、それに、円形の環が2つ連続した形の吊り金具が2つ付いている。
挿図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴											備 考	
第 43図 PL.453	8	銭貨 新寛永	遺構外 完形	縦 横	2.175 2.176	厚 重	0.127 2.1	銅	径が他と比較し小さい。面は彫が深く、字、輪、郭が明瞭。背は彫が浅く、やや不明瞭。											
第 43図 PL.453	9	古銭 文久永宝	遺構外 完形	縦 横	2.672 2.679	厚 重	0.113 3.5	銅	面、背ともに彫が深く、字、輪、郭が明瞭。面の上下方向と背の左上から右下に向けて、細かな傷が見られる。											

1区遺構外出土遺物観察表(S3層中)

挿図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴											備 考	
第 53図 PL.454	1	石製品 管玉	遺構外 完形	長 幅	2.6 0.6	厚 重	0.6 1.2	碧玉	暗緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。孔は中央付近が狭くなっており両面穿孔と考えられる。上下面の孔径約3mm。											
第 53図 PL.454	2	土師器 杯	遺構外 1/2	口 稜	12.0 11.8	高	5.0	細砂粒/良好/暗赤 褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は丸味をもつ作り。											
第 53図	3	土師器 高杯	遺構外 完形	口 脚	9.2 8.4	高	8.3	細砂粒/旅行/赤褐	杯部底部のホゾ状の差込みで脚部と接合か。杯部内面黒色処理。杯部口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り、底部から脚部は横ナデ。内面は杯部体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。											
第 53図	4	土師器 小型甕	遺構外 口縁部～胴部上 位片	口	11.8			細砂粒・粗砂粒/ 良好/黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。											
第 53図	5	須恵器 壺	遺構外 1/2	口 胴	16.0 20.5	高	23.1	細砂粒・粗砂粒・ 礫/還元焰/灰	口縁部はロクロ整形、頸部にて口縁部と胴部を接合か。胴部は外面に平行叩き痕、内面に同心円状アテ具痕が残る。内面頸部下はヘラナデ。											

1区5号竪穴建物出土鉄器観察表

挿図 PL.No.	No.	器種 細別器種	出土位置 残存率	法 量													観 察			
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬				
第 68図 PL.454	1	鎌	北部埋土S3層中 半欠	9.0+	1.8	0.3														刃部・棟共に断面で分かる。両端部にふくらみが斜めに入り、握りの為の木装部があった可能性もある。刃部がどこまで行くかは不明である。左側端部の形態はX線で推定確認できた。おそらく鎌と思われるが、先述した両端部の握りの可能性も考えられる場所に斜めに有機質状のものがあることなど、穂摘具の可能性なども検討すべき資料である。

1区6号竪穴建物出土遺物観察表 (1・3・5はガラス小玉P24)

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長	厚	重			
第78図 PL.454	2	石製品 勾玉	2号人骨着装 完形	長 幅	2.8 1.5	厚 重	0.9 4.2	不明	灰白色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。表裏面の孔の周囲は浅鉢状にわずかに窪んでいる。孔径約2mm。
第78図 PL.454	4	石製品 勾玉	2号人骨着装 完形	長 幅	1.8 1.1	厚 重	0.5 1.2	葉ろう石	暗緑色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。表裏面の孔の周囲には平坦面があり光沢が認められない。孔径約2mm。
第78図 PL.454	6	石製品 勾玉	2号人骨着装 完形	長 幅	1.6 1.1	厚 重	0.8 2.1	滑石	灰オリーブ色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。表裏面の孔の周囲には平坦面があり光沢が認められない。孔径約2mm。
第78図 PL.454	7	石製品 管玉	2号人骨着装 完形	長 幅	1.2 0.6	厚 重	0.6 0.6	葉ろう石	暗緑色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。孔は楕円状を呈する。側面下部には孔の一部が露出しているが露出部周辺は滑らかであり研磨整形されている。X線撮影によると孔は中央が狭くなっており両面穿孔と考えられる。
第78図 PL.454	8	石製品 勾玉	2号人骨着装 完形	長 幅	1.8 1.2	厚 重	0.6 1.7	滑石	灰オリーブ色。全体的に丁寧に研磨整形されておりやや光沢がある。裏面の孔の周囲は同心円状にわずかに窪んでいる。孔径約2mm。
第78図 PL.454	9	石製品 管玉	2号人骨着装 完形	長 幅	1.9 0.7	厚 重	0.7 1.5	葉ろう石	明緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されておりやや光沢がある。表面の孔の周囲は同心円状にわずかに窪んでいる。X線撮影によると孔は屈曲しており両面穿孔と考えられる。孔径約2mm。
第78図 PL.454	10	石製品 管玉	2号人骨着装 完形	長 幅	2.4 0.8	厚 重	0.8 2.4	蛇紋岩	オリーブ黒色。全体的に丁寧に研磨整形されておりやや光沢がある。X線撮影によると孔は中央付近に段差があり両面穿孔と考えられる。上下面の孔径約3mm。
第78図 PL.454	11	石製品 管玉	2号人骨着装 完形	長 幅	2.7 0.7	厚 重	0.7 2.5	蛇紋岩	オリーブ黒色。全体的に丁寧に研磨整形されておりやや光沢がある。X線撮影によると孔は中央付近で著しく屈曲しており両面穿孔と考えられる。上下面の孔径約3mm。
第78図 PL.454	12	石製品 管玉	2号人骨着装 完形	長 幅	2.6 0.9	厚 重	1.0 4.2	葉ろう石	灰白色～明緑灰色。側面は全体的に丁寧に研磨整形されており部分的に光沢がある。全体的に灰白色であるが部分的に光沢をもつ明緑灰色である。本来は明緑灰色であったものが二次的に光沢をもたない灰白色に変質したと考えられる。X線撮影によると孔は中央付近に段差があり両面穿孔と考えられる。上下面の孔径約3mm。
第78図 PL.454	13	石製品 管玉	2号人骨着装 完形	長 幅	1.9 1.2	厚 重	1.2 2.5	葉ろう石	暗緑色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。下面は全体的に研磨整形されており光沢も認められるが稜線状の高まりが幾分か認められ破損後に研磨整形されている可能性がある。X線撮影によると孔はわずかに屈曲しており両面穿孔と考えられる。孔径約3mm。
第78図 PL.454	14	石製品 勾玉	2号人骨着装 完形	長 幅	1.8 1.2	厚 重	0.6 1.9	滑石	灰白色。全体的に丁寧に研磨整形されておりわずかに光沢がある。表裏面の孔の周囲には平坦面が認められる。孔径約2mm。

1区遺構外出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高	重			
第83図 PL.455	1	土師器 壺	遺構外 口縁部～胴部上 半部	口	14.6			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ磨き、器面摩滅のため単位不鮮明。内面は胴部がヘラナデ。
第83図 PL.455	2	土師器 壺	遺構外 口縁部～胴部上 半片	口	17.4			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り後ヘラ磨き、一部器面摩滅のため単位不明。内面は胴部から頸部がヘラナデ。
第83図 PL.455	3	土師器 甕	遺構外 3/4	口 底	21 6.8	高	26.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄褐	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部にかけてヘラナデ。
第83図 PL.455	4	土師器 甕	遺構外 口縁部・胴部一 部欠	口 底	21 9	高	28.9	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。
第83図 PL.455	5	土師器 甕	遺構外 口縁部・底部一 部欠	口 底	23.5 9.6	高	31.5	細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部は上半が下から上へのヘラ削り、下半が上から下へのヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。
第84図 PL.454	6	土師器 杯	遺構外 口縁部一部欠	口 高	12 5.4			細砂粒/良好/橙	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。
第84図 PL.454	7	土師器 杯	遺構外 完形	口 稜	12 11.8	高	5	細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は内傾する平坦面を作る。
第84図 PL.454	8	土師器 杯	遺構外 完形	口 稜	12.3 11.5	高	5.3	細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は丸く作る。
第84図	9	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部上 位片	口	19.4			細砂粒・粗砂粒/ 良好/黄橙	口縁部は器面が荒れていて整形不明、胴部はヘラ削りか。内面は口縁部が横ナデ、胴部はヘラナデ。
第84図 PL.454	10	石製品 石製模造品	遺構外 完形	長 幅	1.3 0.5	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。裏面の下方にわずかに擦痕が認められる。全体的に摩滅したような表面状況である。孔径約1mm。

1区3号平地建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口	厚	重				
第106図	1	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	11.8		細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。		
第106図 PL.456	2	須恵器 壺	中央部攪乱土内 口縁部片	口	9.7		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。口唇部下位は2条の凸帯状に引き出して、その間を凹線にしている。口縁部には幅広く波状文(7～8条1単位)を施文。		
第106図 PL.456	3	須恵器 不明	埋土 口縁部片	口	19		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。口唇下部部に凹線が巡る。口縁部は2条の凹線を巡らし、その上下に波状文を施文。	高杯が高杯形器台	
第106図 PL.456	4	須恵器 甕	埋土 口縁部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。口唇部下に断面三角形の凸帯が貼付、その下に波状文を施す。口径20cm前後か。		
第106図	5	須恵器 甕	中央部攪乱土内 底部～胴部中位				細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	内面底部に輪積み痕が残る。外面の底部から胴部下位には平行叩き痕が残るが、中位はナデ消されている。内面はアテ具痕の全く残らないまでの丁寧なナデ。		
第106図 PL.456	6	石製品 白玉	西南部床直 完形	長幅	0.7 0.7	厚重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約3mm。	
第106図 PL.456	7	石製品 白玉	西南部床直 1/2	長幅	(0.7) (0.7)	厚重	(0.3) 0.1	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は斜め方向の擦痕が認められる。下部欠損。孔径約3mm。	
第107図 PL.456	8	須恵器 壺	南東部床直 完形	口 胴	40.2 72	高	87.6	少量の細砂粒・粗砂粒・礫/還元焰/灰	口縁部と胴部は頸部で接合。口縁部はロクロ整形、口縁部上半は2条の凸帯で区画、凸帯の上下に丁寧な波状文を施文、下半はヘラナデ、底部から胴部は丁寧な格子状叩き痕が残る。内面は口縁部下半がヘラナデ、底部から胴部は同心円状アテ具痕が残る。	断面はにぶい赤褐色。

1区1号平地建物出土遺物観察表 (18は赤玉P24)

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口	厚	重				
第119図	1	土師器 杯	南東部屋外S1下 口縁部～体部片	口	13		細砂粒・粗砂粒・礫/良好/明赤褐	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。		
第119図	2	土師器 杯	2号炉埋土 口縁部～体部片	口	13.8		細砂粒・粗砂粒・礫/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。		
第119図	3	土師器 杯	埋土 口縁部～体部小片	口 稜	12.2 12		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、稜下体部は手持ちヘラ削り。口唇部は面を作る。		
第119図	4	土師器 杯	埋土 1/4	口 稜	12 12.2		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。		
第119図 PL.456	5	土師器 杯	南東隅床直 口縁部一部欠	口 稜	12.4 12.2	高	5.4	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口縁部は僅かに外反し、端部は丸味をもつ作り。	
第119図 PL.456	6	須恵器 高杯	埋土 杯部体部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回りか。体部に段を設け、段下に波状文を施す。		
第119図 PL.456	7	土師器 鉢	南東部屋外S1下 1/2	口 底	8.1 4.5	高	5.2	細砂粒/良好/にぶい黄橙	内面体部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、口縁部下の一部に横方向のヘラ磨き、体部はヘラナデ、底部はヘラ削り。内面は口縁部が横ナデで、底部から体部はヘラナデ。	
第119図 PL.456	8	土師器 鉢	南東部屋外S1下 口縁部一部欠	口 底	9 5.7	高	6.3	細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラナデ、底部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第119図	9	土師器 鉢	南東部屋外S1下 口縁部一部欠	口 底	11 6.2	高	7.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明黄褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り、器面摩滅のため単位不明。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第119図 PL.456	10	土師器 小型甕	南東部屋外 底部～胴部下位片	底	6.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り、器面摩滅のため単位不明。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。		
第119図	11	土師器 小型甕	南東部屋外S1下 口縁部～胴部片	口	9.2		細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。		
第119図 PL.456	12	土師器 小型甕	南東部屋外S1下 3/4	口 底	10.9 5	高	11.7	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と胴部はヘラ削り。内面は底部から胴部はヘラナデ、器面摩滅のため単位不明。	
第119図 PL.456	13	土師器 小型甕	南東部屋外S1下 口縁部・胴部一部欠	口 底	13.3 7.1	高	18.6	細砂粒・粗砂粒・礫/良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部は上半がヘラナデ、中位は器面摩滅のため整形不明。下位と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ、胴部下半は器面摩滅のため単位不明。	
第119図	14	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部上位片	口	17		細砂粒・粗砂粒・礫/良好/浅黄	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。		
第119図 PL.456	15	須恵器 高杯	埋土 脚部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。脚部には矩形の透孔が設けられているが、詳細不明。		
挿図 PL.No.	No.	遺物名	出土位置 残存率	計測値(cm)			重量(g)	特徴など		
				長	幅	厚さ				
第120図 PL.456	16	羽口	南東部床直 ほぼ完形	11.5	3.6～7.2	1.0	68	先端部から基部までほぼ完存する。先端部から基部まで縦位のヘラ削り整形。基部内面は横撫。通風孔の内径は先端部付近で約1.8cmを測り、基部側はラッパ状に開く。胎土は粗く、砂粒を多く含む。先端部の発泡は弱い。器厚1cm。赤色酸化炎焼成。		
第120図 PL.456	17	羽口	南東部床直 ほぼ完形	10.9	4.3～8.0	1.0～1.5	59	先端部から基部までほぼ残存する。先端部、基部とも下部が欠損している。先端部から基部まで縦位のヘラ削り整形。基部内面は横撫。通風孔の内径は先端部付近で約1.8cmを測り、基部側はラッパ状に開く。胎土は粗く、砂粒を多く含む。先端部は発泡しているが、ガラス化はしていない。器厚1～1.5cm。赤色酸化炎焼成。		

挿図 PL.No.	No.	器種 細別器種	出土位置	法 量													観 察	
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬		
第187図 PL.456	19	穂摘具破片	掘方埋土 半欠	2.0+	1.3	2.0+	0.1	0.3										穂摘具の可能性高い。半分が欠損したものと想定している。穿孔が1個確認できる。斜めに角がある。木質(草本木類)が一部附着している。
挿図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値				胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴								備 考	
第120図 PL.456	20	石製品 石製模造品	中央部床直 2/3	長 幅	(4.0) 2.1	厚 重	0.7 11.1	滑石	灰褐色。表裏面は横方向の擦痕が認められる。上側面も全体的に擦痕がられる。左右両側面は全体的に刀子等工具による作出面が認められる。表裏面の中央付近には刀子等工具による作出面が複数認められるが擦痕もわずかに認められ研磨整形面と混在した状況である。裏面の孔の周囲は浅鉢状に広がっている。孔径約2mm。								有孔方板	
第120図 PL.456	21	石製品 石製模造品	中央部床直 2/3	長 幅	(4.5) 2.2	厚 重	0.5 6.6	滑石	灰色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。上側面にも擦痕が認められる。左右両側面には全体的に刀子等工具による作出面が認められる。表面の中央から下方にかけては細かい線条痕が縦方向に平行して多数認められ、かつ平坦であることから刀子等工具による作出面の可能性がある。孔径約2mm。								有孔方板	
第120図 PL.456	22	石製品 白玉	東部床直 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。									
第120図 PL.456	23	石製品 白玉	東部床直 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。									
第120図 PL.456	24	石製品 白玉	東部床直 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕がわずかに認められる。表面の孔の周囲は広がっており裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。									
第120図 PL.456	25	石製品 白玉	東部床直 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りが明瞭に認められ稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約3mm。									
第120図 PL.456	26	礫 粒状礫	1号炉東床直 完形	長 幅	1.0 0.8	厚 重	0.5 0.7	チャート	暗灰色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。								被膜	
第120図 PL.456	27	礫 粒状礫	埋土 完形	長 幅	2.0 1.4	厚 重	0.4 1.7	砂岩	オリープ灰色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。									

1区2号平地建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴								備 考	
第124図 PL.457	1	土師器 杯	竈北部床直 1/2	口 稜	13	高	5.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は丸く作る。								
第124図 PL.457	2	土師器 杯	竈焚口部礫下 1/2	口 稜	12.6 12.2	高	5.4	細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面を作る。								
第124図 PL.457	3	土師器 高杯	竈焚口 杯部と脚部上半	口 稜	14.3 11.2			細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	杯部と脚部は接合か。口縁部は横ナデ、稜下から底部・脚部はヘラ削り。								
第124図 PL.457	4	須恵器 高杯	竈左脇床直 口縁部一部欠	口 脚	15.2 9.8	高	12.7	細砂粒/酸化焰・ 燻/黄灰	ロクロ整形、回転左回り。杯部と脚部は接合。杯部は口縁部下に2条の断面三角形の凸帯が巡り、体部に1段の波状文を施文、底部は回転ヘラ削り。脚部には1段3方に矩形の透孔を設け、端部を屈曲させ、その上端に1条の断面三角形の凸帯が巡る。内面は口唇部端部が尖り、その下位に凹線状の窪みが巡る。								
第124図 PL.457	5	土師器 小型甕	東南部屋外 完形	口 底	15.8 6.2	高	16.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/淡黄	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。								
第124図	6	土師器 甕	竈北部床直 底部～胴部下位	底	5.7			細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/にぶい黄橙	底部と胴部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。								
第124図 PL.457	7	土師器 甕	東南部屋外 口縁部	口	14.8			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。								
第124図 PL.457	8	土師器 甕	東南部屋外 完形	口 底	17.7 5.6	高	36	細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部にかけてヘラナデ。外面胴部中位は器面摩滅。								
第124図 PL.457	9	土師器 壺	竈燃焼部 頸部～底部	底	7.2			細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部は上半がヘラナデ、下半はヘラ削り、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部にヘラナデ。								
第124図 PL.457	10	土製品 不明	埋土 破片	長 幅	9.8 5.3	厚	3	微砂粒/良好/にぶ い黄橙	外面はナデ。焼成前に図の下部から棒状のもので細長い孔をあけている。								
第124図 PL.457	11	石製品 石製模造品	竈北脇 2/3	長 幅	(3.2) (1.8)	厚 重	0.5 3.0	滑石	灰オリープ色。折断面で2点が接合した資料である。表裏面は縦及び横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。孔径約2mm。								2点接合 剣形
第124図 PL.457	12	礫 粒状礫	竈北脇床面 完形	長 幅	1.5 0.8	厚 重	0.5 0.8	チャート	赤褐色。小形の円礫。全体的に非常に滑らかであり光沢がある。								
第124図 PL.457	13	礫 粒状礫	竈北脇床面 完形	長 幅	2.4 1.7	厚 重	0.8 4.7	珪質頁岩	オリープ黒色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。								
第124図 PL.457	14	礫 粒状礫	竈北脇床面 完形	長 幅	1.2 1.0	厚 重	0.6 1.0	チャート	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われている。光沢がない。								被膜

1区4号平地建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考									
				①	②	③												
第129図	1	土師器 高杯	北壁際床上4cm 脚部下半片	脚	9		細砂粒/良好/明赤褐	脚部は外面が横ナデ、内面は下位が横ナデ、中位はヘラナデ。										
第129図 PL.458	2	土師器 鉢	1号炉南床直 口縁部～体部片	口	12.7		細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/にぶい黄	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面体部はヘラナデ。										
第129図 PL.458	3	須恵器 甕	1号炉脇床直 口縁部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。口唇端部は上下を引き出し、垂直の面を作る。	口唇端部と内面に降灰が厚く付着。									
第129図 PL.458	4	須恵器? 不明	1号炉脇床直 小片				細砂粒/還元焰/灰	成整形不明。一部に二次焼成による発泡がみられる。										
挿図 PL.No.	No.	種類 細別器種	出土位置 残存率	法 量													観 察	
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬		
第129図 PL.458	5	鉄片 板状薄片	1号炉東脇床直 破片	1.6	1.3	0.1												板状品。薄板で長方形を呈する。長さは不明。
挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考									
第129図 PL.458	6	礫 粒状礫	竈右脇床直 完形	長 幅	0.8 0.7	厚 重				0.5 0.4	砂岩	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。	被膜					
第129図 PL.458	7	礫 粒状礫	床面精査 完形	長 幅	1.6 0.9	厚 重	0.9 2.0	チャート	灰黄色。小形の円礫。全体的に滑らかであり光沢がある。									
第129図 PL.458	8	礫 金床石	1号炉脇床直 完形	長 幅	45.8 35.2	厚 重	10.2 27960.0	粗粒輝石安山岩	表面のほぼ全面が滑らかであり右下方に著しく滑らかな部分が認められる。表面の全面には表皮の剥落が散在する。裏面の上方にも表皮の剥落がわずかに認められる。表面の中央及び側辺部との境界付近にはわずかに鉄錆が付着する。全体的に自然面と判断され大形垂円礫を利用する。									

1区5号平地建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第130図 PL.458	1	須恵器 高杯	床面近く 脚部片						

1区6号平地建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第133図	1	土師器 杯	床面近く 口縁部～底部片	口 稜	13.4 12.3					細砂粒/良好/橙
第133図 PL.458	2	土師器 甕	西北部屋外S1中 ほぼ完形	口 底	18.3 6.4	高	33.3	細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/にぶい黄	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部にヘラナデ。	
第133図 PL.458	3	石製品 白玉	中央部床直 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.3 0.2	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第133図 PL.458	4	石製品 白玉	中央部床直 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.3	滑石	オリーブ灰色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第133図 PL.458	5	石製品 白玉	床面近く 完形	長 幅	0.7 0.6	厚 重	0.3 0.1	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第133図 PL.458	6	石製品 白玉	床面近く 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第133図 PL.458	7	石製品 白玉	床面近く 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.2	滑石	灰白色。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	

1区4号掘立柱建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第135図	1	土師器 杯	P8埋土 口縁部～体部小 片	口	13.4				

1区1号祭祀遺構出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第141図 PL.458	1	土師器 杯	土器集積内 完形	口 高	11.5 5.4				
第141図 PL.458	2	土師器 杯	土器集積内 完形	口 高	11.9 5.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第141図 PL.458	3	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 高	11.3 5.7		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部下半から底部は手持ちヘラ削りか、器面摩滅のため単位不明。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第141図 PL.458	4	土師器 杯	土器集積内 完形	口 高	12.1 5.4		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第141図 PL.458	5	土師器 杯	土器集積内 口唇部欠損				細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部から体部上半は横ナデ、体部下半はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部上半から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口 高						
第141図 PL.458	6	土師器 杯	土器集積内 完形	口 高	13.6 4.8		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、下半は器面剥離、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。		
第141図 PL.458	7	土師器 杯	土器集積内 完形	口 高	15.8 5.0		細砂粒/良好/明赤 褐	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ磨き。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。		
第141図	8	土師器 杯	土器集積内 1/4	口 高	12.8 5.2		細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。		
第141図 PL.458	9	土師器 杯	土器集積内 完形	口 高	13.5 4.9		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。		
第141図 PL.458	10	土師器 杯	土器集積内 3/4	口 高	14.7 5.1		細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	外面体部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。		
第141図 PL.458	11	土師器 杯	土器集積内 完形	口 稜	15.2 14.8	高 7.0	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇部は外面が僅かに肥厚し、端部は内傾する平坦面を作る。		
第141図 PL.458	12	土師器 杯	土器集積内 完形	口 稜	12.3 12.2	高 4.8	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面を作る。		
第141図 PL.458	13	土師器 杯	土器集積内 完形	口 稜	12.5 12.3	高 5.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は内傾する平坦面を作る。		
第141図 PL.459	14	土師器 杯	土器集積内 完形	口 稜	12.5 12.3	高 5.4	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。内面底部はヘラナデ。口唇部は僅かに外反し、端部は丸く作る。		
第141図 PL.459	15	土師器 高杯	土器集積内 脚部一部欠	口 脚	15.8 9.4	高 10.0	細砂粒/良好/赤褐	杯部と脚部の接合状態不明。口唇端部は面を作る。杯部は口縁部が横ナデ、底部から脚部柱状部はナデか、脚部裾部は横ナデ。内面は杯部口縁部に斜放射状ヘラ磨き。		
第141図 PL.459	16	土師器 高杯	土器集積内 完形	口 脚	14.5 9.2	高 9.7	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	杯部と脚部は接合。杯部口縁部は横ナデ、体部上半はナデ、下半から底部はヘラナデ、脚部はナデ。内面は杯部の体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。		
第141図	17	土師器 小型甕	土器集積内 1/4	口 高	11.0 10.5		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上半がナデ、下半から底部はヘラ磨き。内面胴部はヘラナデ。	内面に煤が付着。	
第141図	18	土師器 小型甕	土器集積内 口縁部～胴部下 位片	口	9.8		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。		
第142図 PL.459	19	土師器 壺	土器集積内 口縁部の大部分 と胴部一部欠	口 底	18.9 7.4	高 37.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部は器面摩擦のため不鮮明であるが、上位はナデ、下半はヘラ磨き、底部周囲と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部にヘラナデ。		
第142図 PL.459	20	須恵器 高杯	土器集積内 完形	口 脚	11.9 10.5	高 13.5	細砂粒/還元焰/灰 黄	ロクロ整形、回転左回り。杯部と脚部は接合。杯部は口縁部下に2条の断面三角形の凸帯を巡らし、体部に1段の波状文を施文、底部は回転ヘラ削り、単位不鮮明。脚部には1段3方に矩形の透孔を設け、端部を屈曲させ、上端に1条の凹縁が巡る。内面は口唇部をとがらせ、その下位に凹線状の窪みが巡る。脚部端部の屈曲部に粘土盤を貼付して脚部内を閉塞している。		
第142図 PL.459	21	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	2.4 1.9	厚 重	0.4 3.0	滑石	灰白色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。孔は裏面側が広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したものと考えられる。孔径約2mm。	勾玉形
第142図 PL.459	22	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	3.3 2.5	厚 重	0.6 7.9	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面にも全体的に擦痕が認められる。表面の右側縁下方、裏面の右側縁上方には刀子等工具による作出面がそれぞれ1面認められる。孔径約2mm。	勾玉形
第142図 PL.459	23	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	3.9 2.0	厚 重	0.6 7.8	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。中央の折断面で2点が接合した資料であり、この折断は表面側から裏面側に進行している可能性が高い。折断痕の表面側には刀子等工具による断面V字形の溝状痕跡が認められる。この溝状痕跡は中央で折断することを意図したものと考えられる。さらに折断面の中央には刀子等工具による作出面が認められ、刀子等工具による折断後の作業が認定される。上下の孔は表面側が広がっており裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したものと考えられる。上下の孔径約2mm。	2点接合 剣形
第142図 PL.459	24	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	5.7 2.4	厚 重	0.7 14.1	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。全体的に擦痕の残存状況は悪く摩滅したような表面状況である。表面の右側縁下方には刀子等工具による作出面が1面認められる。表面の上の孔の周囲は広がった状態であり裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したものと考えられる。一方、裏面の下の孔の周囲は広がった状態であり表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したものと考えられる。上下の孔径約2mm。	剣形
第142図 PL.459	25	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	4.3 1.9	厚 重	0.6 6.3	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕がわずかに認められる。側面部にもわずかに擦痕が認められる。全体的に擦痕の残存状況は悪く摩滅したような表面状況である。表面の上の孔の周囲は広がった状態であり裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したものと考えられる。一方、裏面の下の孔の周囲は広がった状態であり表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したものと考えられる。孔径約2mm。	剣形

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				長 幅	厚 重					
第142図 PL.459	26	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	4.7 2.7	厚 重	0.8 16.6	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕がわずかに認められる。側面部にもわずかに擦痕が認められる。全体的に擦痕の残存状況は悪く摩滅したような表面状況である。裏面の上の孔の周囲は広がった状態であり表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したものと考えられる。一方、表面の下の孔の周囲は広がった状態であり裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したものと考えられる。上下の孔径約2mm。	剣形
第142図 PL.459	27	石製品 石製模造品	土器集積内 1/2	長 幅	2.9 (1.6)	厚 重	0.6 4.2	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の中央に刀子等工具による断面V字状の溝状作出痕が横方向に認められる。下の孔径約2mm。	不明
第142図 PL.459	28	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	2.7 2.0	厚 重	0.6 5.0	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の孔の周囲は広がった状態であり裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したものと考えられる。孔径約2mm。	半円形
第142図 PL.459	29	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	3.3 2.2	厚 重	0.6 6.8	滑石	灰白色。折断面で2点が接合した資料であり、この折断は表面側から裏面側に進行している。下の個体の折断面の端部には刀子等工具による作出面が認められ、折断後の痕跡と判断される。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。上下の孔径約2mm。	2点接合 剣形
第142図 PL.459	30	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	3.9 2.6	厚 重	0.6 11.1	滑石	灰白色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の上下の孔の周囲は広がった状態であり裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したものと考えられる。上下の孔径約2mm。	剣形
第142図 PL.459	31	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	3.4 2.4	厚 重	0.5 7.5	滑石	灰白色。折断面で2点が接合した資料であり、この折断は表面側から裏面側に進行している。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の左側縁、右側面上方には刀子等工具による作出面が認められる。左側面の中央には断面U字形の微細な溝状作出痕が3か所認められる。上下の孔径約2mm。	2点接合 剣形
第142図 PL.459	32	石製品 石製模造品	土器集積内 ほぼ完形	長 幅	3.7 2.1	厚 重	0.6 7.3	滑石	灰白色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。中央の折断面で2点が接合した資料である。折断痕の表面側には刀子等工具による断面V字形の溝状痕跡が認められる。この溝状痕跡は中央で折断することを意図したものと考えられる。さらに折断面の中央には刀子等工具による作出面が認められ、刀子等工具による折断後の作業が認定される。上の孔は裏面側が広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したものと考えられる。下の孔は表面側が広がっており裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したものと考えられる。上下の孔径約2mm。	2点接合 剣形
第143図 PL.459	33	石製品 管玉	土器集積内 破片	長 幅	(0.5) (0.6)	厚 重	(0.3) 0.1	葉ろう石	緑色。全体的に丁寧に研磨整形されており、わずかに光沢がある。端部破片である。推定孔径約2mm。	
第143図 PL.459	34	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.8 0.7	厚 重	0.6 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第143図 PL.459	35	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔は内部下端近くに段差が認められる。孔径約2mm。	
第143図 PL.459	36	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第143図 PL.459	37	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第143図 PL.459	38	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第143図 PL.459	39	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.9 0.8	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと認められる。孔径約2mm。	
第143図 PL.459	40	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.5 0.5	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと認められる。孔径約2mm。	
第143図 PL.459	41	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.3 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面の孔の周囲は広がっており裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したと認められる。孔径約2mm。	
第143図 PL.459	42	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。表面の孔の周囲は広がっており裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したと認められる。孔径約2mm。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重				
第143図 PL.459	43	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.7 0.7	0.6 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第143図 PL.459	44	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.9 0.9	0.6 0.7	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜をわずかに形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第143図 PL.459	45	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.7 0.7	0.5 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。		
第143図 PL.459	46	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.6 0.6	0.6 0.2	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔は内部下端近くに段差が認められる。孔径約3mm。		
第143図 PL.459	47	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.8 0.8	0.3 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜をわずかに形成し横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第143図 PL.459	48	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.8 0.8	0.5 0.5	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。		
第143図 PL.459	49	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.8 0.8	0.5 0.5	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第143図 PL.459	50	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.7 0.7	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第143図 PL.459	51	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.7 0.8	0.4 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面は凹凸があり擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第143図 PL.459	52	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.8 0.8	0.4 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第143図 PL.459	53	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.7 0.7	0.5 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔の内部は中央に段差があり両面穿孔と考えられる。孔径約2mm。		
第143図 PL.459	54	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.8 0.8	0.5 0.5	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第143図 PL.459	55	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.7 0.7	0.4 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第143図 PL.459	56	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.8 0.8	0.5 0.5	滑石	灰白色。表面は凹凸があり擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第143図 PL.459	57	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.7 0.7	0.6 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第143図 PL.459	58	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.7 0.7	0.6 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第143図 PL.459	59	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.8 0.8	0.6 0.6	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。		

1区11号遺構出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口 高					
第145図 PL.460	1	土師器 杯	焼土上埋土 一部欠	12.0 5.3			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第145図 PL.460	2	土師器 杯	焼土上埋土 2/3	13.2 4.9			細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第145図	3	土師器 杯	焼土上埋土 1/3	13.8 5.1			細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第145図 PL.460	4	土師器 杯	焼土上埋土 2/3	12.4 12.8	高	5.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は丸く作る。	
第145図	5	土師器 杯	焼土上埋土 1/4	12.8 11.4			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り、器面摩擦のため単位不明。口唇部は丸く作られている。	
第145図 PL.460	6	土師器 高杯	焼土上埋土 完形	14.5 8.9	高	10.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	杯部と脚部の接合状態不明。杯部は口縁部が横ナデ。底部はヘラナデ、脚部はナデか。内面は口縁部に斜放射状ヘラ磨き、脚部は上半がヘラナデ、下半は横ナデ。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第145図 PL.460	7	土師器 甕	焼土上埋土 1/2	口 底	11.3 4.6	高 18	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。		
第145図	8	土師器 甕	焼土上埋土 口縁部～胴部上 半片	口	15.6		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ、器面摩滅のため単位不明。		
第145図 PL.460	9	土師器 甕	焼土上埋土 口縁部～胴部上 位	口	18.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	内面頸部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。		
第145図	10	土師器 甕	焼土上埋土 底部～胴部下 半	底	5.2		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明褐	底部と胴部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。		
第145図 PL.460	11	礫 粒状礫	焼土上埋土 完形	長 幅	0.7 0.5	厚 重	0.3 0.1	砂岩	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。	被膜

## 1区12号遺構出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第147図	1	土師器 鉢	S1下黒色土 口縁部～体部片	口	18			細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第147図 PL.460	2	土師器 有孔鉢	S1下黒色土 ほぼ完形	口 底	13 4.8	高 孔	12.3 2	細砂粒/良好/浅黄	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り。内面は底部から体部にヘラナデ。	
第147図 PL.460	3	土師器 小型甕	S1下黒色土 口縁部～胴部下 位片	口	11.6			細砂粒・粗砂粒/ 良好/灰黄褐	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り、器面摩滅のため単位不鮮明。内面は胴部がヘラナデ。	
第147図 PL.460	4	石製品 石製品	S1下黒色土 不明	長 幅	(2.3) (1.3)	厚 重	(1.0) 1.8	未固結凝灰質シル ト	灰黄色。軟質である。全体的に滑らかであり研磨整形が想定される。表面には断面U字状の線刻が認められる。	
第147図 PL.460	5	石製品 白玉	S1下黒色土 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.2	滑石	オリーブ灰色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第147図 PL.460	6	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	1.2 0.9	厚 重	0.9 1.0	チャート	黒褐色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第147図 PL.460	7	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	0.9 0.8	厚 重	0.5 0.8	砂岩	灰色。小形の垂円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第147図 PL.460	8	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	2.5 1.4	厚 重	0.5 3.0	砂岩	黒褐色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第147図 PL.460	9	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	1.2 0.8	厚 重	0.7 0.6	チャート	灰白色。小形の垂円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第147図 PL.460	10	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	1.9 1.3	厚 重	0.7 2.2	流紋岩	灰黄色。小形の円礫。全体的に滑らかであり光沢がある。	
第147図 PL.460	11	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	1.4 0.7	厚 重	0.6 0.7	珪質頁岩	灰黄色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第147図 PL.460	12	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	1.4 0.8	厚 重	0.5 0.8	砂岩	灰白色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第147図 PL.460	13	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	0.8 0.7	厚 重	0.5 0.4	変質安山岩	灰白色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第147図 PL.460	14	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	2.9 1.3	厚 重	0.8 4.2	砂岩	にぶい赤褐色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第147図 PL.460	15	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	1.5 0.8	厚 重	0.5 0.8	砂岩	灰白色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第147図 PL.460	16	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	1.0 0.8	厚 重	0.4 0.4	チャート	暗灰色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第147図 PL.460	17	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	1.4 1.0	厚 重	0.7 1.2	流紋岩	灰色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第147図 PL.460	18	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.6 0.5	不明	灰白色。小形の極円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第147図 PL.460	19	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	0.9 0.8	厚 重	0.4 0.4	珪質頁岩	暗灰色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第147図 PL.460	20	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	0.9 0.8	厚 重	0.4 0.4	チャート	灰白色。小形の垂円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第147図 PL.460	21	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	1.0 0.7	厚 重	0.4 0.3	チャート	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。	被膜
第147図 PL.460	22	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	1.0 0.7	厚 重	0.6 0.5	チャート	黒色。小形の円礫。全体的に滑らかであり光沢がある。	
第147図 PL.460	23	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	チャート	灰色。小形の垂円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第147図 PL.460	24	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	0.9 0.7	厚 重	0.5 0.4	チャート	灰色。小形の垂円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第147図 PL.460	25	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	0.5 0.4	厚 重	0.3 0.1	砂岩	暗灰色。小形の極円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第147図 PL.460	26	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	0.7 0.6	厚 重	0.4 0.3	チャート	黒褐色。小形の円礫。全体的に滑らかであり光沢がある。	
第147図 PL.460	27	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	0.6 0.5	厚 重	0.4 0.2	チャート	灰色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第147図 PL.460	28	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	1.1 0.7	厚 重	0.7 0.7	流紋岩	黒褐色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。	
第147図 PL.460	29	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	1.8 1.1	厚 重	0.6 1.6	砂岩	にぶい赤褐色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第147図 PL.460	30	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	0.7 0.5	厚 重	0.4 0.2	砂岩	黒褐色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第147図 PL.460	31	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	0.8 0.6	厚 重	0.4 0.3	チャート	暗褐色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第147図 PL.460	32	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	1.1 1.0	厚 重	0.4 0.5	流紋岩凝灰岩	白色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第147図 PL.460	33	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	1.8 1.1	厚 重	0.7 1.6	砂岩	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。	被膜
第147図 PL.460	34	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	0.9 0.8	厚 重	0.6 0.6	変質玄武岩	緑灰色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第147図 PL.460	35	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	1.5 1.3	厚 重	0.3 0.7	珪質頁岩	黒褐色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第147図 PL.460	36	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	0.6 0.4	厚 重	0.4 0.1	チャート	灰白色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第147図 PL.460	37	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	1.8 1.1	厚 重	0.5 1.1	砂岩	灰色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第147図 PL.460	38	礫 粒状礫	S1下黒色土 完形	長 幅	1.3 0.9	厚 重	0.7 1.0	珪質頁岩	黒褐色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。	

1区1号畠出土遺物観察表 (第153図上半)

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第148図 PL.460	1	石製品 管玉	北部畝間溝底面 完形	長 幅	2.1 0.5	厚 重	0.5 1.0	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。全体的に丁寧に研磨整形されておりわずかに光沢がある。上下面の孔径約3mm。	

2区1号遺構出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第153図	1	土師器 高杯	S1直下 杯部1/6	口	16.0			細砂粒/良好/褐	口縁部は横ナデで、外面中位はへら状工具の止め痕が複数箇所残る。底部内面はナデ。	
第153図 PL.460	2	土師器 高杯	S1直下 脚部	脚	13.2			細砂粒・粗砂粒/ 良好/褐	杯部は底部にホソ状の差込で脚部と接合か。脚部は柱状部がナデ、裾部は横ナデ。内面は柱状部にへらナデ。	
第153図 PL.460	3	土師器 壺	S1直下 底部～頸部片					細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	内面胴部に輪積み痕が残る。底部から胴部下半はへら削り、胴部上半はナデ。内面は底部から胴部がへらナデ。	
第153図 PL.460	4	土師器 壺	S1直下 口縁部～頸部片	口	16.8			細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は中位に稜をもつ、口縁部から頸部は横ナデ、胴部は器面剥離のため整形不明。内面は胴部がへらナデ。	
第153図 PL.460	5	石製品 白玉	S1直下 完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.2 0.1	蛇紋岩	緑黒色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りかわずかに認められ稜をわずかに形成し横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第153図 PL.460	6	石製品 白玉	S1直下 完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.4 0.2	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。	
第153図 PL.460	7	石製品 白玉	S1直下 完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.3 0.1	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第153図 PL.460	8	石製品 白玉	S1直下 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.6 0.2	滑石	緑黒色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。	

2区2号遺構出土遺物観察表 (第153図下半)

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第153図	1	土師器 杯	S1直下 口縁部1/4	口	14.2			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちへら削り。内面は体部下位に右傾、下位から上位に左傾の斜放射状へら磨き。	
第153図	2	土師器 杯	S1直下 口縁部～底部片	口	14.8			細砂粒/良好/明赤 褐	外面体部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部下位に右傾、下位から上位に左傾の斜放射状へら磨き。	
第153図	3	土師器 杯	S1直下 口縁部2/3	口	11.2			細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ。底部外面はへら削り。	
第153図 PL.461	4	土師器 高杯	S1直下 脚部	脚	16.1			細砂粒/良好/赤褐	脚部は柱状部は縦方向、裾部は放射状へら磨き。内面は柱状部がへら削り、裾部は横ナデ。	
第153図 PL.461	5	土師器 甕	S1直下 口縁部～胴部下 位	口	16.6			細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/橙	外面には輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はへら削り。内面は胴部がへらナデ。	甕の可能性有り
第153図 PL.461	6	石製品 白玉	S1直下 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.2	滑石	灰白色。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第153図 PL.461	7	礫 粒状礫	S1直下 完形	長 幅	1.1 0.9	厚 重	0.6 0.9	砂岩	にぶい赤褐色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第153図 PL.461	8	礫 粒状礫	S1直下 完形	長 幅	1.7 1.2	厚 重	0.6 2.0	珪質頁岩	黄褐色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第153図 PL.461	9	礫 粒状礫	S1直下 完形	長 幅	1.6 1.3	厚 重	0.9 2.8	チャート	灰色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	

2区3号遺構出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高	底			
第155図 PL.461	1	土師器 杯	S1直下 口縁部～体部片	口	14.3		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第155図 PL.461	2	土師器 甕	S1直下 口縁部～胴部下 位	口	14.8		細砂粒・粗砂粒・ 褐色粒/良好/に ぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部は縦方向のヘラ削りであるが、中位のみ横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

2区4号遺構出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高	底			
第155図	3	土師器 壺	S1直下 3/4	口	17.7	高 33.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/浅黄橙	口縁部から胴部はハケメ、器面摩滅のため単位不鮮明、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデか。	
第155図 PL.461	4	土師器 甕か	S1直下 口縁部～胴部片				細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	現状での推定直径は40cm前後となり、歪みが存在する可能性あり。器壁は摩滅。口縁部外面は横ナデで、下部の境は不明瞭。体部外面は縦位のヘラ削り。	口径復元不可 能。

2区5号遺構出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高	底			
第154図	1	土師器 杯	S1直下 口縁部～体部片	口	11		細砂粒(多)/良好/ にぶい赤褐	内面黒色処理。口縁部は横ナデ、体部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	2区遺構外1 は同一個体か
第154図	2	土師器 甕か	S1直下 口縁部片小				黒色鉱物粒/良好/ 明赤褐	口縁部は横ナデで、内面は3段の横ナデ。胴部内面はヘラナデ。胴部外面は縦位ヘラ削り。	

3区2号道出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高	底			
第157図 PL.461	1	土師器 杯	S1下埋土 3/4	口	12.6	高 5.1	粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第157図 PL.461	2	土師器 小型甕か	S1下埋土 胴部～底部1/2				粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	外面はヘラ削り。内面はヘラ削りに近いナデ。	

3区3号道出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高	底			
第157図	3	土師器 甕	S1下埋土 胴部片				粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄褐	外面は数回に分けて斜位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	

5区南西隅網代垣内出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重	底			
第186図 PL.462	1	石製品 白玉	網代下位S3内 完形	長 幅	0.7 0.6	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りかわずかにあり横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第186図 PL.462	2	石製品 白玉	網代下位S3内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りかわずかにあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第186図 PL.462	3	石製品 白玉	網代下位S3内 完形	長 幅	0.7 0.6	厚 重	0.3 0.2	滑石	灰白色。表面は平坦であるが擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であり擦痕は認められない。側面は中央に張りかわずかにあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第186図 PL.462	4	石製品 白玉	網代下位S3内 完形	長 幅	0.7 0.6	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りかわずかにあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第186図 PL.462	5	石製品 白玉	網代下位S3内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.3 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りかわずかにあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第186図 PL.462	6	石製品 白玉	網代下位S3内 完形	長 幅	0.7 0.6	厚 重	0.4 0.2	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。
第186図 PL.462	7	石製品 白玉	網代下位S3内 完形	長 幅	0.7 0.6	厚 重	0.3 0.2	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜をわずかに形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第186図 PL.462	8	石製品 白玉	網代下位S3内 完形	長 幅	0.7 0.6	厚 重	0.3 0.2	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りかわずかにあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第186図 PL.462	9	石製品 白玉	網代下位S3内 完形	長 幅	0.7 0.6	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央に張りかわずかにあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第186図 PL.462	10	石製品 白玉	網代下位S3内 完形	長 幅	0.7 0.6	厚 重	0.3 0.2	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重				
第186図 PL.462	11	石製品 白玉	網代下位S3内 完形	0.7 0.6	厚 重	0.3 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第186図 PL.462	12	石製品 白玉	網代下位S3内 完形	0.7 0.6	厚 重	0.3 0.2	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第186図 PL.462	13	石製品 白玉	網代下位S3内 完形	0.8 0.7	厚 重	0.3 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第186図 PL.462	14	石製品 白玉	網代下位S3内 完形	0.7 0.8	厚 重	0.3 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。平面形は楕円状を呈する。孔径約2mm。	
第186図 PL.462	15	石製品 石製模造品	網代下位S3内 完形	2.6 1.8	厚 重	0.4 2.9	滑石	灰白色。表裏面は縦～斜め方向の擦痕が認められる。側面にも全体的に擦痕が認められる。表面の右側縁には刀子等工具による作出面が認められる。孔径約2mm。	半円形

5区1号遺構出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重				
第193図 PL.462	1	石製品 白玉	網代内 完形	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.3	蛇紋岩	オリーブ黒色。やや薄手。全体にやや光沢を持つ。上下両面には切断された際の刃物傷が残っている。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約2mm。	
第193図 PL.462	2	石製品 白玉	網代内 完形	0.6 0.6	厚 重	0.5 0.3	蛇紋岩	緑黒色。やや厚手。全体にやや光沢を持つ。下面には切断された際の刃物傷が残っている。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約2mm。	
第193図 PL.462	3	石製品 白玉	網代内 完形	0.7 0.6	厚 重	0.5 0.3	蛇紋岩	オリーブ黒色。やや厚手。全体にやや光沢を持つ。下面には切断された際の刃物傷が残っている。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約2mm。	
第193図 PL.462	4	石製品 白玉	網代内 完形	0.6 0.7	厚 重	0.5 0.3	蛇紋岩	暗緑灰色。やや厚手。全体にやや光沢を持つ。上下両面には切断された際の刃物傷が残っている。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約2mm。	
第193図 PL.462	5	石製品 白玉	網代内 完形	0.6 0.7	厚 重	0.5 0.4	蛇紋岩	緑黒色。やや厚手。全体にやや光沢を持つ。上下両面は切断後研磨され刃物傷は不明瞭。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔は中央でズレがある。両側穿孔。孔径約3mm。	
第193図 PL.462	6	石製品 白玉	網代内 完形	0.6 0.7	厚 重	0.5 0.3	蛇紋岩	緑黒色。やや厚手。全体にやや光沢を持つ。下面には切断された際の刃物傷が3条残っている。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約3mm。	
第193図 PL.462	7	石製品 白玉	網代内 完形	0.7 0.7	厚 重	0.6 0.4	蛇紋岩	緑黒色。厚手。全体にやや光沢を持つ。上下両面には切断された際の刃物傷が残っている。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔は中央で大きくズレる。両側穿孔。孔径約3mm。	
第193図 PL.462	8	石製品 白玉	網代内 完形	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.3	蛇紋岩	オリーブ黒色。やや薄手。全体にやや光沢を持つ。上下両面には切断された際の刃物傷が残っている。特に上面には複数の傷が残る。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約3mm。	
第193図 PL.462	9	石製品 白玉	網代内 完形	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.2	蛇紋岩	オリーブ黒色。全体にやや光沢を持つ。下面には切断された際の刃物傷が残っている。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約2mm。	
第193図 PL.462	10	石製品 白玉	網代内 完形	0.7 0.7	厚 重	0.3 0.2	蛇紋岩	オリーブ黒色。全体にやや光沢を持つ。上面には切断された際の刃物傷が残っている。側面には粗い研磨痕が残る。孔にズレは無い。片側穿孔?孔径約2mm。	
第193図 PL.462	11	石製品 白玉	網代内 完形	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。全体にやや光沢を持つ。上面には切断された際の刃物傷が残っている。上面には錐の当たりあり。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔にズレは無いが、入口が広く両側穿孔。孔径約2mm。	
第193図 PL.462	12	石製品 白玉	網代内 完形	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。やや厚手。全体にやや光沢を持つ。上面及び側面には切断された際の刃物傷が残っている。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔にズレは無いが、入口が広く両側穿孔。孔径約2mm。	
第193図 PL.462	13	石製品 白玉	網代内 完形	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.5	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。斜め切りで厚み不統一。全体にやや光沢を持つ。上面に刃物傷あり。側面には粗い研磨痕が残る。片側穿孔。孔径約2mm。	
第193図 PL.462	14	石製品 白玉	網代内 完形	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。やや厚手。全体にやや光沢を持つ。上面及び左側面に刃物傷あり。側面には粗い研磨痕も残る。孔の中央にズレあり。両側穿孔。孔径約2mm。	
第193図 PL.462	15	石製品 白玉	網代内 完形	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。やや厚手。全体にやや光沢を持つ。上下両面に刃物傷が残る。側面には粗い研磨痕が残る。ほぼ片側から穿孔した後に反対側から少し入れている。両側穿孔。孔径約2mm。	
第193図 PL.462	16	石製品 白玉	網代内 ほぼ完形	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	暗オリーブ灰色。斜め切りで厚さ不均一。全体にやや光沢を持つ。上下両面に刃物傷が残る。側面には粗い研磨痕が残る。斜め縦方向主体で一部横方向が被る。孔ズレあり。両側穿孔。孔径約2mm。極一部上面縁欠損。	
第193図 PL.462	17	石製品 白玉	網代内 完形	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	暗オリーブ灰色。不透明部分に蛇紋岩含む。やや薄手。全体にやや光沢を持つ。上下両面に刃物傷はほとんど残っていない。側面には粗い研磨痕が残る。孔の中央が細くなっている。両側穿孔。孔径約2mm。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				長 幅	厚 重	0.5 0.4				
第193図 PL.462	18	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	暗オリーブ灰色。やや厚手。全体にやや光沢を持つ。上面に切断された際の刃物傷が複数残る。側面には粗い研磨痕が残る。孔の中央が細くなっている。両側穿孔。孔径約2mm。	
第193図 PL.462	19	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.3 0.2	滑石	暗オリーブ灰色。薄手。全体にやや光沢を持つ。上下両面には切断された際の刃物傷が残っている。下面は不明瞭だが、上面は複数で明瞭。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。下面の孔の周りには錐の当たりがある。両側穿孔。孔径約2mm。	
第193図 PL.462	20	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.4	滑石	暗オリーブ灰色。やや薄手。全体にやや光沢を持つ。上下両面には切断された際の刃物傷が残っている。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。下面の孔の周りには錐の当たりがある。両側穿孔。孔径約2mm。	
第193図 PL.462	21	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	オリーブ灰色。やや厚手。全体にやや光沢を持つ。上下両面には切断された際の刃物傷が残っている。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。上下両面の孔の周りには錐の当たりがある。両側穿孔。孔径約2mm。	
第193図 PL.462	22	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.6 0.4	滑石	オリーブ灰色。厚手。全体にやや光沢を持つ。上下両面には切断された際の刃物傷が残っている。特に下面には複数の刃物傷あり。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。上面の孔の周りには錐の当たりがある。両側穿孔。孔径約3mm。	
第193図 PL.462	23	石製品 白玉	網代内 1/2	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.3 0.1	滑石	オリーブ灰色。薄手、斜めで不均一。全体にやや光沢を持つ。切断された際の刃物傷は無い。側面には粗い研磨痕が残る。上面の孔の周りには錐の当たりがある。下面は剥がれたまま。孔径約2mm。	24と同一個体
第193図 PL.462	24	石製品 白玉	網代内 1/2	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.3 0.1	滑石	オリーブ灰色。薄手、斜めで不均一。全体にやや光沢を持つ。切断された際の刃物傷は無い。側面には粗い研磨痕が残る。上面は剥がれたまま。孔径約2mm。	23と同一個体
第193図 PL.462	23 + 24	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.5 0.2	滑石	オリーブ灰色。やや厚手。全体にやや光沢を持つ。側面右端からの打撃により2分されている。側面には粗い研磨痕が残る。両側穿孔。孔径約2mm。	23と24の接合 個体
第193図 PL.462	25	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	蛇紋岩	オリーブ黒色。やや厚手。全体にやや光沢を持つ。上下両面には切断された際の刃物傷が複数残っている。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約2mm。	
第193図 PL.462	26	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。やや薄手。全体にやや光沢を持つ。上下両面には切断された際の刃物傷が残っている。特に下面には複数の傷が残る。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約2mm。	
第193図 PL.462	27	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	蛇紋岩	オリーブ黒色。やや厚手。全体にやや光沢を持つ。上下両面には切断された際の刃物傷が残っている。上面には錐の当たりがある。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約2mm。	
第193図 PL.462	28	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.2	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。やや薄手。全体にやや光沢を持つ。上下両面には切断された際の刃物傷は残っていない。特に上面には複数の傷が残る。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔にズレは無い。両側穿孔。孔径約2mm。	
第193図 PL.462	29	石製品 白玉	網代内 ほぼ完形	長 幅	0.7 0.6	厚 重	0.6 0.3	滑石	オリーブ灰色。厚手。全体にやや光沢を持つ。下面には切断された際の刃物傷が残っている。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔にズレがある。両側穿孔。孔径約3mm。	
第193図 PL.462	30	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.7 0.6	厚 重	0.5 0.3	滑石	オリーブ灰色。やや厚手、不均一。全体にやや光沢を持つ。上下両面には切断された際の刃物傷が残っている。特に上面には複数見られる。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔にズレがある。両側穿孔。孔径約3mm。	
第193図 PL.462	31	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.2	滑石	暗オリーブ灰色。やや薄手、不均一。全体にやや光沢を持つ。下面には切断された際の刃物傷が複数残っている。側面には刃物傷と粗い研磨痕が残る。上下の孔にズレがある。両側穿孔。孔径約3mm。	
第193図 PL.462	32	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.3	滑石	オリーブ灰色。やや薄手。全体にやや光沢を持つ。下面には切断された際の刃物傷が複数残っている。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔にズレがある。両側穿孔。孔径約3mm。	
第193図 PL.462	33	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.2	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。やや薄手、不均一。全体にやや光沢を持つ。下面には切断された際の刃物傷は残っている。上面は滑らか。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約2mm。	
第193図 PL.462	34	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.2	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。やや薄手。全体にやや光沢を持つ。下面には切断された際の刃物傷が残っている。上面も滑らか若干の刃物傷あり。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約2mm。	
第193図 PL.462	35	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.3	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。やや薄手、不均一。全体にやや光沢を持つ。側面に切断された際の刃物傷が残っている。上下両面とも滑らか。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約3mm。	
第193図 PL.462	36	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.3	滑石	オリーブ灰色。やや薄手、不均一。全体にやや光沢を持つ。切断された際の刃物傷は残っていない。上下両面とも滑らか。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約3mm。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重	0.5 0.4			
第193図 PL.462	37	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.5 0.4	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。厚手均一。全体にやや光沢を持つ。下面に切断された際の刃物傷が残っている。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約2mm。
第193図 PL.462	38	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.2 0.1	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。かなり薄手。全体にやや光沢を持つ。上面に切断された際の刃物傷が残っている。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約2mm。
第193図 PL.462	39	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。やや薄手。全体にやや光沢を持つ。上面に切断された際の刃物傷が若干残っている。上下両面とも滑らか。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約2mm。
第193図 PL.462	40	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.5 0.3	滑石	オリーブ灰色。やや厚手。全体にやや光沢を持つ。下面に切断された際の刃物傷が複数残っている。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約2mm。
第193図 PL.462	41	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.2	蛇紋岩	オリーブ灰色。やや薄手。全体にやや光沢を持つ。下面に切断された際の刃物傷が複数残っている。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約3mm。
第193図 PL.462	42	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.2	蛇紋岩	オリーブ灰色。やや薄手。全体にやや光沢を持つ。上面に切断された際の刃物傷が残る。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約2mm。
第193図 PL.462	43	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.2	蛇紋岩	オリーブ灰色。やや薄手。全体にやや光沢を持つ。上下両面に切断された際の刃物傷が残る。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約2mm。
第193図 PL.462	44	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	蛇紋岩	オリーブ灰色。やや厚手。全体にやや光沢を持つ。上面に切断された際の刃物傷が複数残っている。下面のものは不明瞭。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔はやや斜め、中央で若干のズレがある。両側穿孔。孔径約3mm。
第193図 PL.462	45	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。やや薄手。全体にやや光沢を持つ。下面に切断された際の刃物傷が複数残っている。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に極わずかにズレがある。両側穿孔。孔径約3mm。
第193図 PL.462	46	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。やや薄手。全体にやや光沢を持つ。下面に切断された際の刃物傷が残っている。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約3mm。
第193図 PL.462	47	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	蛇紋岩	オリーブ黒色。やや厚手。全体にやや光沢を持つ。上下両面に切断された際の刃物傷が2つずつ残る。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約2mm。
第193図 PL.462	48	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。やや厚手、不均一。全体にやや光沢を持つ。上下両面に切断された際の刃物傷が複数残る。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約2mm。
第193図 PL.462	49	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.7 0.6	厚 重	0.6 0.3	蛇紋岩	オリーブ黒色。厚手、不均一。全体にやや光沢を持つ。上下両面に切断された際の刃物傷は無い。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約2mm。
第193図 PL.462	50	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.7 0.6	厚 重	0.5 0.3	蛇紋岩	オリーブ黒色。やや厚手。全体にやや光沢を持つ。上面に切断された際の刃物傷が複数ある。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約2mm。
第193図 PL.462	51	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.3	蛇紋岩	オリーブ黒色。やや薄手。全体にやや光沢を持つ。上下両面に切断された際の刃物傷が残る。特に下面には多くの刃物傷が残る。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約2mm。
第193図 PL.462	52	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.2	蛇紋岩	オリーブ黒色。やや薄手。全体にやや光沢を持つ。上面に切断された際の刃物傷が残る。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約2mm。
第193図 PL.462	53	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.3	蛇紋岩	オリーブ黒色。やや薄手。若干斜めで不均一。全体にやや光沢を持つ。下面に切断された際の刃物傷が残る。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約2mm。
第193図 PL.462	54	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.3 0.2	蛇紋岩	オリーブ黒色。薄手。若干斜めで不均一。全体にやや光沢を持つ。下面に錐の当たりあり。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔にズレは無い。両側穿孔。孔径約2mm。
第193図 PL.462	55	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。やや厚手。全体にやや光沢を持つ。上下両面に錐の当たりあり。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約2mm。
第193図 PL.462	56	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.6 0.4	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。厚手。全体にやや光沢を持つ。上面に刃物傷残る。下面には錐の孔ズレあり。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約3mm。
第193図 PL.462	57	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。厚手。全体にやや光沢を持つ。上下両面に刃物傷も錐の当たりも無い。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約2mm。
第193図 PL.462	58	石製品 白玉	網代内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。やや薄手。若干斜めで不均一。全体にやや光沢を持つ。上下両面に刃物傷あり。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約2mm。

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長幅	厚	重			
第193図 PL.462	59	石製品 白玉	網代内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.5 0.3	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。やや厚手。若干斜めで不均一。全体にやや光沢を持つ。上下両面に刃物傷あり。特に上面には3本以上の傷あり。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔は中央でズレがある。両側穿孔。孔径約3mm。	
第193図 PL.462	60	石製品 白玉	網代内 完形	長幅 0.6	厚 0.6	重 0.4 0.3	滑石	暗オリーブ灰色。やや薄手。全体にやや光沢を持つ。下面に複数の刃物傷あり。1本はかなり深い。側面には粗い研磨痕が残る。裏面側から孔を開けて出口手前で逆側から貫通。両側穿孔だが、片側穿孔に近い。孔径約3mm。	
第193図 PL.462	61	石製品 白玉	網代内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.4 0.2	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。やや薄手。全体にやや光沢を持つ。上下両面に刃物傷複数あり。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔は中央でズレがある。開け直しがあり、その部分で孔は広がっている。両側穿孔。孔径約4mm。	
第193図 PL.462	62	石製品 白玉	網代内 完形	長幅 0.7	厚 0.6	重 0.3 0.1	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。かなり薄手。全体にやや光沢を持つ。下面に刃物傷が2本残る。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔にズレがある。両側穿孔。孔径約3mm。	
第193図 PL.462	63	石製品 白玉	網代内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.5 0.3	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。やや厚手。全体にやや光沢を持つ。上下両面に刃物傷が複数残る。特に上面が多い。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に若干のズレがある。両側穿孔。孔径約2mm。	
第193図 PL.462	64	石製品 白玉	網代内 完形	長幅 0.7	厚 0.8	重 0.7 0.4	蛇紋岩	オリーブ黒色。かなり厚手。斜め切り、厚さ不均一。全体にやや光沢を持つ。上面に刃物傷が多数残る。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に極わずかにズレがある。両側穿孔。孔径約2mm。	
第193図 PL.462	65	石製品 白玉	網代内 完形	長幅 0.7	厚 0.6	重 0.3 0.1	蛇紋岩	オリーブ黒色。かなり薄手。全体にやや光沢を持つ。上面に錐の当たりあり。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔の入口がやや広くなっており、両側穿孔。孔径約2mm。	
第194図 PL.462	66	石製品 白玉	網代内 完形	長幅 0.7	厚 0.6	重 0.3 0.2	蛇紋岩	オリーブ黒色。かなり薄手。全体にやや光沢を持つ。上面に刃物傷あり。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔の入口がやや広くなっており、両側穿孔。孔径約2mm。	
第194図 PL.462	67	石製品 白玉	網代内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.5 0.3	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。やや厚手、不均一。全体にやや光沢を持つ。上面に多数の刃物傷あり。側面には粗い研磨痕が残る。中央よりもやや下で孔ズレあり。両側穿孔。孔径約2mm。	
第194図 PL.462	68	石製品 白玉	網代内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.5 0.4	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。やや厚手。全体にやや光沢を持つ。上面に錐の当たりあり。下面に刃物傷あり。側面には粗い研磨痕が残る。孔ズレあり。両側穿孔。孔径約2mm。	
第194図 PL.462	69	石製品 白玉	網代内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.4 0.3	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。やや薄手。全体にやや光沢を持つ。刃物傷無し。側面には粗い研磨痕が残る。下面に孔の開け直しのズレあり。両側穿孔。孔径約2mm。	
第194図 PL.462	70	石製品 白玉	網代内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.6 0.4	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。厚手。全体にやや光沢を持つ。上下両面に刃物傷あり。特に下面に複数。側面には粗い研磨痕が残る。上側からほぼ片側で開けて出口手前で逆側から穿孔。孔径約2mm。	
第194図 PL.462	71	石製品 白玉	網代内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.5 0.2	蛇紋岩	オリーブ黒色。やや薄手、不均一。全体にやや光沢を持つ。下面に錐当たりあり。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔の入口がやや広くなっており、両側穿孔。孔径約2mm。	
第194図 PL.462	72	石製品 白玉	網代内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.5 0.4	蛇紋岩	暗灰オリーブ色。厚手。全体にやや光沢を持つ。上下両面に刃物傷あり。側面には粗い研磨痕が残る。ほぼ片側で開けて出口手前で逆側から穿孔。孔径約2mm。	
第194図 PL.462	73	石製品 白玉	網代内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.4 0.3	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。やや薄手。全体にやや光沢を持つ。上下両面に刃物傷あり。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔の入口がやや広くなっており、両側穿孔。孔径約2mm。	
第194図 PL.462	74	石製品 白玉	網代内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.5	蛇紋岩	オリーブ灰色。紐が通った状態で残存しているため、詳細観察は未実施。	
第194図 PL.462	75	石製品 白玉	網代内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.4 0.3	滑石	オリーブ灰色。やや薄手。全体にやや光沢を持つ。上下両面に複数の刃物傷あり。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔の入口がやや広くなっており、両側穿孔。孔径約2mm。	
第194図 PL.462	76	石製品 白玉	網代内 完形	長幅 0.7	厚 0.6	重 0.6 0.4	滑石	オリーブ灰色。厚手、不均一。全体にやや光沢を持つ。上面に複数の刃物傷あり。側面には粗い研磨痕が残る。孔は綺麗に通っているが、上下の孔の入口がやや広くなっており、両側穿孔。孔径約3mm。	
第194図 PL.462	77	石製品 白玉	網代内 完形	長幅 0.7	厚 0.6	重 0.4 0.3	滑石	オリーブ灰色。やや薄手。全体にやや光沢を持つ。刃物傷無し。側面には粗い研磨痕が残る。孔は綺麗に通っているが、上下の孔の入口がやや広くなっており、両側穿孔。孔径約3mm。	
第194図 PL.462	78	石製品 白玉	網代内 完形	長幅 0.6	厚 0.6	重 0.3 0.1	滑石	オリーブ灰色。薄手、不均一。特に薄い部分は時期は不明だが、節理面より剥がれた可能性あり。全体にやや光沢を持つ。下面側に開け直しの孔ズレあり。側面には粗い研磨痕が残る。両側穿孔か。孔径約2mm。	
第194図 PL.462	79	石製品 白玉	網代内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.4 0.3	滑石	オリーブ灰色。やや薄手。全体にやや光沢を持つ。下面縁に当たり傷あり。側面には粗い研磨痕が残る。やや孔ズレあり。両側穿孔。孔径約3mm。	
第194図 PL.462	80	石製品 白玉	網代内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.4 0.3	滑石	オリーブ灰色。やや薄手、不均一。全体にやや光沢を持つ。上下両面に多数の刃物傷あり。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に極わずかにズレがあり、両側穿孔。孔径約2mm。	
第194図 PL.462	81	石製品 白玉	網代内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.3 0.2	滑石	オリーブ灰色。かなり薄手、不均一。全体にやや光沢を持つ。下面に3本の刃物傷あり。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に極わずかにズレがあり、両側穿孔。孔径約2mm。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長幅	厚	重			
第194図 PL.462	82	石製品 白玉	網代内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.4 0.3	滑石	オリブ灰色。やや薄手。全体にやや光沢を持つ。上下両面に複数の刃物傷あり。下面には3本に直交する方向にも1本の傷あり。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に極わずかにズレがあり、両側穿孔。孔径約3mm。	
第194図 PL.462	83	石製品 白玉	網代内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.6 0.4	滑石	オリブ灰色。厚手、不均一。全体にやや光沢を持つ。上面に複数の刃物傷あり。下面角に当たり傷あり。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔とも入口が広く、極わずかにズレがあり、両側穿孔。孔径約2mm。	
第194図 PL.462	84	石製品 白玉	網代内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.4 0.3	滑石	オリブ灰色。やや薄手、不均一。全体にやや光沢を持つ。上面角に当たり傷2つあり。下面に割り込みの段あり。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔とも入口が広く、極わずかにズレがあり、両側穿孔。孔径約2mm。	
第194図 PL.462	85	石製品 白玉	網代内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.5 0.3	滑石	オリブ灰色。やや厚手。全体にやや光沢を持つ。上下両面に複数の刃物傷あり。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に極わずかにズレがあり、両側穿孔。孔径約2mm。	
第194図 PL.462	86	石製品 白玉	網代内 完形	長幅 0.6	厚 0.6	重 0.4 0.2	滑石	オリブ灰色。やや薄手。全体にやや光沢を持つ。上面縁に孔の開け直しと刃物傷あり。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔に極わずかにズレがあり、両側穿孔。孔径約2mm。	
第194図 PL.462	87	石製品 白玉	網代内 完形	長幅 0.6	厚 0.7	重 0.4 0.3	滑石	オリブ灰色。やや薄手。全体にやや光沢を持つ。上面に孔の開け直しあり。下面縁に刃物傷あり。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔中央で細くなっており、両側穿孔。孔径約3mm。	
第194図 PL.462	88	石製品 白玉	網代内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.4 0.2	滑石	オリブ灰色。やや薄手。全体にやや光沢を持つ。刃物傷無し。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔中央で極わずかにズレており、両側穿孔。孔径約2mm。	
第194図 PL.462	89	石製品 白玉	網代内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.4 0.2	滑石	オリブ灰色。やや薄手、不均一。全体にやや光沢を持つ。下面縁に刃物傷あり。側面には粗い研磨痕が残る。上下の孔中央で極わずかにズレており、両側穿孔。孔径約2mm。	
第194図 PL.462	90	石製品 白玉	網代内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.4 0.3	滑石	オリブ灰色。やや薄手、不均一。全体にやや光沢を持つ。下面縁に刃物傷あり。側面にはかなり粗い研磨痕が残る。上下の孔中央で極わずかにズレており、両側穿孔。孔径約2mm。	
第194図 PL.462	91	石製品 石製模造品	網代内 完形	長幅 2.7 1.9	厚 重	0.7 5.6	滑石	にぶい赤橙色。半円形有孔板。鉄分を多く含み赤みを帯びる。全体に粗い研磨痕が残る。研磨が粗いため輪郭がゴツゴツする部分がある。孔は中心よりもやや左寄りで上側にある。上下の孔に極わずかにズレがあり、両側穿孔。孔径約2mm。	半円形

5区囲い状遺構南西隅土坑出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長幅	厚	重			
第197図 PL.462	1	石製品 石製模造品	南脇S1直下 完形	長幅 5.6 2.7	厚 重	1.1 21.8	滑石	オリブ灰色。全体的に刀子等工具による作出面で構成される。刀子等工具による作出面には作業方向に平行する細かい線条痕が認められる箇所がある。孔径約2mm。	斧形
第197図 PL.462	2	石製品 石製模造品	南脇S1直下 完形	長幅 3.9 1.5	厚 重	0.6 4.4	滑石	灰白色～灰色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	剣形
第197図 PL.462	3	石製品 石製模造品	南脇S1直下 完形	長幅 2.8 2.8	厚 重	0.6 7.5	滑石	灰色。表裏面は全体的に刀子等工具による作出面で構成されるが擦痕もわずかに認められ研磨整形面と混在した状況である。上側面全体と右側面上部には擦痕が認められるが他の側面部には刀子等工具による作出面が認められる。左右の孔径約2mm。	有孔円板
第197図 PL.462	4	石製品 石製模造品	南脇S1直下 完形	長幅 3.1 2.5	厚 重	0.8 8.0	滑石	オリブ灰色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の左側縁には刀子等工具による作出面が認められる。孔は裏面側が広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したものと考えられる。孔径約2mm。	剣形
第197図 PL.462	5	石製品 石製模造品	南脇S1直下 完形	長幅 2.8 2.3	厚 重	0.6 5.9	滑石	オリブ灰色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の左側縁から中央下方にかけて刀子等工具による作出面が4面認められる。孔径約2mm。	剣形
第197図 PL.462	6	石製品 石製模造品	南脇S1直下 完形	長幅 4.1 3.7	厚 重	0.8 17.8	滑石	暗オリブ灰色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも擦痕が認められる。表面の左側縁と中央右側、裏面の中央と右側縁下方には刀子等工具による作出面が認められる。上下の孔径約2mm。	剣形
第197図 PL.462	7	石製品 石製模造品	南脇S1直下 ほぼ完形	長幅 4.2 2.0	厚 重	0.6 6.9	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面には部分的に擦痕が認められる。孔は表面側が広がっており裏面からの穿孔の際に表面側が破砕したものと考えられる。孔径約2mm。	剣形
第197図 PL.462	8	石製品 石製模造品	南脇S1直下 完形	長幅 2.8 2.1	厚 重	0.7 5.3	滑石	オリブ灰色。表裏面は横方向の擦痕が認められる。側面部にも擦痕が認められる。表面の上下側縁、裏面の側縁部ほぼ全体には刀子等工具による作出面が認められる。孔は裏面側が広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したものと考えられる。孔径約2mm。	剣形
第197図 PL.462	9	石製品 石製模造品	南脇S1直下 完形	長幅 3.7 1.8	厚 重	0.8 6.3	滑石	灰白色～オリブ灰色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面はわずかに平坦面があり擦痕がわずかに認められる。孔は表面側でその周辺部がわずかに窪んでおり、裏面からの穿孔の際に表面側が破砕した可能性がある。孔径約2mm。	剣形

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重	0.5 4.0			
第197図 PL.462	10	石製品 石製模造品	南脇S1直下 ほぼ完形	長幅 5.0 1.5	厚重 0.5 4.0	滑石	灰オリーブ色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部には擦痕は認められない。孔は表面側が広がっており裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したものと考えられる。孔径約2mm。	剣形	
第197図 PL.462	11	石製品 石製模造品	南脇S1直下 完形	長幅 4.6 2.0	厚重 0.7 8.1	滑石	オリーブ灰色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも部分的に擦痕が認められる。表面の右側縁には刀子等工具による作出面が1面認められる。孔径約2mm。	剣形	
第197図 PL.462	12	石製品 石製模造品	南脇S1直下 完形	長幅 6.5 2.9	厚重 0.8 19.2	滑石	暗緑灰色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも部分的に擦痕が認められる。表面の中央には刀子等工具による作出面が3面認められる。孔径約2mm。	剣形	
第197図 PL.462	13	石製品 石製模造品	南脇S1直下 完形	長幅 5.5 2.6	厚重 0.7 12.1	滑石	オリーブ灰色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の左側縁から上側縁にかけてと裏面の左側縁には刀子等工具による作出面が認められる。孔径約2mm。	剣形	
第197図 PL.462	14	石製品 石製模造品	南脇S1直下 4/5	長幅 (2.8) (2.8)	厚重 (0.8) 7.0	滑石	オリーブ灰色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。上下の孔径約2mm。	剣形	
第197図 PL.462	15	石製品 石製模造品	南脇S1直下 完形	長幅 4.7 2.0	厚重 0.4 4.2	滑石	灰オリーブ色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも部分的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	剣形	
第197図 PL.462	16	石製品 石製模造品	南脇S1直下 完形	長幅 4.9 2.1	厚重 0.6 9.7	滑石	灰色。表裏面の中央域には斜め方向の擦痕がわずかに認められる。その他の表裏面側縁部と側面は全体的に刀子等工具による作出面と考えられる。孔径約2mm。	鎌形	
第197図 PL.462	17	石製品 石製模造品	南脇S1直下 完形	長幅 4.8 2.1	厚重 0.6 6.4	滑石	緑灰色。表裏面には平坦面はなく擦痕も認められない。側面部にも擦痕は認められない。孔径約2mm。	剣形	
第197図 PL.462	18	石製品 石製模造品	南脇S1直下 完形	長幅 3.2 2.2	厚重 0.5 5.3	滑石	オリーブ灰色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	剣形	
第197図 PL.462	19	石製品 石製模造品	南脇S1直下 完形	長幅 3.0 1.8	厚重 0.6 4.4	滑石	オリーブ灰色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも部分的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	剣形	
第197図 PL.462	20	石製品 石製模造品	南脇S1直下 不明	長幅 (2.0) (1.8)	厚重 (0.6) 2.7	滑石	灰オリーブ色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部には擦痕は認められない。孔径約2mm。	剣形	
第197図 PL.462	21	石製品 石製模造品	南脇S1直下 完形	長幅 2.4 2.5	厚重 0.8 4.7	滑石	オリーブ灰色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。上側面には刀子等工具による断面V字形の溝状作出痕が認められる。孔は表面側が広がっており裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したものと考えられる。孔径約2mm。	剣形	
第197図 PL.462	22	石製品 石製模造品	南脇S1直下 不明	長幅 (2.0) 1.6	厚重 0.4 1.6	滑石	灰オリーブ色。表裏面は縦～斜め方向の擦痕が認められる。側面部には擦痕は認められない。孔径約2mm。	剣形	
第197図 PL.462	23	石製品 石製模造品	埋土 完形	長幅 4.5 1.7	厚重 0.5 4.8	滑石	緑灰色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも部分的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	剣形	
第197図 PL.462	24	石製品 石製模造品	埋土 完形	長幅 2.1 1.6	厚重 0.7 2.6	滑石	明オリーブ灰色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。孔は裏面側が広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したものと考えられる。孔径約2mm。	剣形	
第197図 PL.462	25	石製品 白玉	埋土 完形	長幅 0.7 0.6	厚重 0.5 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第197図 PL.462	26	石製品 白玉	埋土 完形	長幅 0.7 0.6	厚重 0.4 0.2	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第197図 PL.462	27	石製品 白玉	埋土 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.2 0.2	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがわずかにあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第197図 PL.462	28	石製品 白玉	埋土 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.4 0.3	滑石	灰オリーブ色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがわずかにあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第197図 PL.462	29	石製品 白玉	埋土 2/3	長幅 (0.6)	厚重 0.3 0.2	滑石	灰オリーブ色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがわずかにあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第197図 PL.462	30	石製品 白玉	埋土 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.6 0.4	滑石	灰オリーブ色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約3mm。		

5区囲い状遺構鏡埋納土坑出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	器種 細別器種	出土位置 残存率	法 量													観 察	
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬		
第198図 PL.463	1	鏡 青銅製小型 倭鏡 (振文鏡)	南西隅埋納坑 完形	6.2 ～ 6.3	0.15	0.1	1.3	1.0	0.5	(0.1)	22.2							平縁でやや反りの有る小型鏡。紐の周りに圈縁が一重巡る。内区には、勾玉文状の振文が明瞭ではないが、12個巡る。その外側に櫛歯文があるが、1/3程しか確認できない。さらに外側に鋸歯文が42個巡る。櫛歯文・鋸歯文には一部ベンガラが付着する。紐には有機質のものが付着する。(材質不明)

挿 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考	
				長 幅	厚 重	孔 径				
第198図 PL.463	2	石製品 石製模造品	鏡下位 4/5	長 幅	(6.3) 3.4	厚 重	1.0 22.9	滑石	暗オリーブ灰色～灰白色。下端部には緑色物質の付着がわずかに認められる。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の中央と左右両側縁及び下方、裏面の左側縁と右側縁上方には刀子等工具による作出面が認められる。孔は表面側が広がっており裏面からの穿孔の際に表面側が破砕したものと考えられる。孔径約2mm。	剣形
第198図 PL.463	3	石製品 石製模造品	鏡下位 ほぼ完形	長 幅	(5.6) 3.3	厚 重	0.9 21.4	滑石	オリーブ灰色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の中央、裏面の中央と下方には刀子等工具による作出面が認められる。孔径約2mm。	剣形
第198図 PL.463	4	石製品 白玉	南側区画溝内 ほぼ完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第198図 PL.463	5	石製品 白玉	南側区画溝内 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.4 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第198図 PL.463	6	石製品 白玉	南側区画溝内 完形	長 幅	0.7 0.6	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰オリーブ色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第198図 PL.463	7	石製品 白玉	南側区画溝内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。表面の孔の周囲は広がっており裏面からの穿孔の際に表面側が破砕したと考えられる。孔径約2mm。	
第198図 PL.463	8	石製品 白玉	南側区画溝内 完形	長 幅	0.8 0.7	厚 重	0.3 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第198図 PL.463	9	石製品 白玉	南側区画溝内 完形	長 幅	0.8 0.7	厚 重	0.4 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあるが斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第198図 PL.463	10	石製品 白玉	南側区画溝内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面は凹凸があり擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第198図 PL.463	11	石製品 白玉	南側区画溝内 4/5	長 幅	0.8 0.7	厚 重	0.3 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第198図 PL.463	12	石製品 白玉	南側区画溝内 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.4 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあるが横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第198図 PL.463	13	石製品 白玉	南側区画溝内 完形	長 幅	0.8 0.7	厚 重	0.3 0.3	滑石	灰オリーブ色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあるが横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第198図 PL.463	14	石製品 白玉	南側区画溝内 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.4 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあるが横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第198図 PL.463	15	石製品 白玉	南側区画溝内 完形	長 幅	0.8 0.7	厚 重	0.3 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第198図 PL.463	16	石製品 白玉	南側区画溝内 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.3 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあるが斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第198図 PL.463	17	石製品 白玉	南側区画溝内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.4	滑石	灰色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央に張りがありわずかに稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第198図 PL.463	18	石製品 白玉	南側区画溝内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.2 0.2	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第198図 PL.463	19	石製品 白玉	南側区画溝内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第198図 PL.463	20	石製品 白玉	南側区画溝内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.4	滑石	灰オリーブ色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあるが斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第198図 PL.463	21	石製品 白玉	南側区画溝内 完形	長 幅	0.7 0.6	厚 重	0.3 0.2	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第198図 PL.463	22	石製品 白玉	南側区画溝内 完形	長 幅	0.8 0.6	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰オリーブ色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	

5区1号竪穴建物出土炭化柱観察表

挿 図	No.	種 類	出土位置	計測値(cm)	樹種	成形・整形の特徴	備考
第201図	1	柱材 1	P 1	残存長 最大径	クリ	両端が折損している。表皮が残る。	
		柱材 2	P 2		クリ		実測不可
第201図	2	柱材 3	P 13	残存長 最大径	クリ	両端が折損しており、一部に深く欠損した部分がある。表皮が残る。	
第201図	3	柱材 4	P 12	残存長 最大径	クリ	下端は折損しているが、上端にホゾとみられる加工痕が残されていた。突起の直径は炭化状態で2.1～2.4cm、高さは0.9cm欠損した部分がある。表皮が残る。	
第201図	4	柱材 6	P 6	残存長 最大径	広葉樹	両端が大きく折損しており、21cmほどが残されたのみである。表皮が残る。	

5区1号竪穴建物出土遺物観察表

挿 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考	
第216図 PL.463	1	土師器 高杯	竈右脇 1/3	口 底	16.8 11.6	高 12.2	細砂粒/良好/橙	杯部底部に突起を脚部に差し込んで接合。杯部口縁部は横ナデ、底部はヘラ削りか、脚部はヘラナデ、裾部は横ナデ。		
第216図 PL.463	2	土師器 高杯	竈燃焼部 1/4欠	口 脚	18.1 12.2	高 12.1 ～ 12.8	細砂粒少量/良好/ 橙	口縁部外面は横ナデ。稜線部は強い横ナデ。口縁部内面から底部内面はナデ。底部外面はヘラナデ。脚柱部外面はヘラナデで、裾部は横ナデ。脚柱部内面はヘラナデ。		
第216図 PL.463	3	須恵器 甕か	竈内埋土 胴部小片				細砂粒少量/還元 焰/灰	断面はにぶい赤褐色。外面は平行叩き痕の上に軽いナデ。内面はアテ具痕をナデ消している。	小片のため上 下不明。	
第216図 PL.463	4	土師器 広口壺	竈前床直 口縁部・胴部一 部欠	口 胴	10.8 11.1	高	11.3 細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から口縁部下半までヘラナデ、底部と胴部は単位不鮮明。		
第216図 PL.463	5	土師器 壺	竈右脇 底部～胴部中位 片	底	5.4		細砂粒/良好/明赤 褐	底部と胴部はヘラ削り。内面は底部から胴部にヘラナデ、器面摩滅のため単位不明。		
第216図 PL.463	6	土師器 甕	竈右脇壁際床直 完形	口 底	20.5 8.5	高	24 細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/にぶい黄 橙	外面胴部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部は底部周辺がヘラ削り、その上位はヘラナデ。		
第216図 PL.463	7	土師器 甕か	竈燃焼部・左脇 口縁部～胴部 4/5	口	24.4		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は沈線から横線状に窪む。端部端は小さく立ち上がる。口縁部は横ナデで、内面のみナデ上げ痕が残る。胴部外面は縦位のヘラ削り。胴部内面は横位のヘラナデで、部分的に輪積み痕が残る。		
第216図	8	土師器 壺	埋土 底部	底	10.4		細砂粒/良好/明赤 褐	内面の器表は摩滅。胴部内面はナデ。底部は蛇の目高台状。		
第216図 PL.464	9	土師器 壺	竈焚口 一部欠	口 底	17.4 6.3	高	32.9 細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上半がナデ、下半はヘラ磨きか、器面摩滅のため単位不鮮明。底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。		
第217図 PL.464	10	土師器 壺	竈前床直 胴部～底部	底	7.9		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄褐	底部と胴部はヘラ削り、胴部上位は器面摩滅のため単位不鮮明。内面はヘラナデ。		
第217図 PL.464	11	土師器 甕	東隅床直 胴部一部欠	口 底	19.7 5.8	高	32.2 細砂粒・粗砂粒/ 良好/明黄褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。胴部内面は横位のヘラナデ。胴部内面下位には接合痕が残る。胴部上位から中位の器表は黒色。	胴部内面の器 表は黒色。	
第217図 PL.464	12	土製品 勾玉	竈燃焼部埋土 完形	長 幅	2.7 1.1	厚 1.4 孔 0.2	微砂粒/良好/にぶ い黄橙	表裏、側面ともナデ。		
第217図 PL.464	13	石製品 石製模造品	埋土 1/3	長 幅	(2.3) (2.1)	厚 重	0.5 3.6	滑石	灰色～灰黄褐色。表裏面は縦～斜め方向の擦痕が認められる。上側面と右側面に全体的に擦痕が認められる。左側面は刀子等工具による作出面である。裏面の孔の周囲は広がった状態であり表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したものと考えられる。孔径約2mm。	勾玉形
第217図 PL.464	14	石製品 石製模造品	北隅埋土上層 完形	長 幅	5.4 3.2	厚 重	0.8 21.2	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。表裏面ともほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面は縦～斜め方向の擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	剣形
第217図 PL.464	15	石製品 白玉	西壁近く床直 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.3 0.1	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	
第217図 PL.464	16	石製品 白玉	西壁近く床直 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.2	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第217図 PL.464	17	石製品 白玉	西壁近く床直 完形	長 幅	0.6 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	
第218図 PL.464	18	礫石器 カマド構築 材	竈埋土 完形	長 幅	28.5 18.9	厚 重	12.3 6500.0	粗粒輝石安山岩	全体的に赤色変化が認められ受熱によると考えられる。全面が自然面と判断され角礫を利用する。	
第218図 PL.464	19	礫石器 カマド構築 材	竈埋土 完形	長 幅	45.3 36.9	厚 重	8.1 20050.0	粗粒輝石安山岩	表裏面と下側面に部分的な赤色変化が認められ受熱によると考えられる。いくつかの個体が接合した資料である。各個体の断面の観察からは打面は認められないが一点から放射状に広がる分割痕から故意に分割している可能性がある。表裏面は節理面であり板状節理の露頭から石材を採取している可能性がある。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴													備考					
				長 幅	(41.1) (14.8)	厚 重		(10.1) 7800.0	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫		⑬				
第218図 PL.464	20	礫石器 カマド構築 材	竈埋土 不明	長 幅	(41.1) (14.8)	厚 重	(10.1) 7800.0	粗粒輝石安山岩	表裏面と右側面は節理面であり板状節理の露頭から石材を採取していると考えられる。下側面には表面からの打点が認められ故意に分割している可能性がある。																	
第218図 PL.464	21	礫石器 カマド構築 材(袖石)	竈埋土 完形	長 幅	34.6 13.8	厚 重	5.5 3064.7	粗粒輝石安山岩	表裏面は節理面であり板状節理の露頭から石材を採取していると考えられる。各側面は打割面である。																	
第218図 PL.464	22	礫石器 砥石	竈埋土 不明	長 幅	(15.1) (13.2)	厚 重	(9.4) 2546.3	粗粒輝石安山岩	表面は全体的に非常に滑らかであり砥面と判断される。裏面にも非常に滑らかな部分が認められ砥面と判断される。下側面には表裏面側からの加撃痕が、左側面には表面側からの加撃痕が認められ故意に分割された可能性がある。																	
第219図 PL.465	23	土師器 杯	西隅周堤裾部 口縁部1/4欠	口 高	12.2 5.2			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面は粗いナデで、凹凸や型肌残る。底部外面は幅広のヘラ削り。体部から口縁部内面は、端部に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨き。ヘラ磨きはやや幅が広い。底部内面は雑なヘラナデで凹凸が生じる。器壁も厚くやや雑な作り。													やや雑な作り。				
第219図 PL.465	24	土師器 杯	周堤盛土下層 3/4、口縁部ほ ぼ欠	口 高	13.0 4.5			細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に放射状ヘラ磨き。																	
第219図 PL.465	25	土師器 杯	周堤盛土内 1/2	口 高	13.6 6.2			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り後体部上半から口唇部に斜放射状ヘラ磨き。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。																	
第219図 PL.465	26	土師器 高杯	南隅周堤裾部 脚部1/2	底	12.3			細砂粒/良好/赤褐	杯部底部に突起を脚部に差し込んで接合。脚部はヘラナデ。内面は裾部が横ナデ、脚部はナデ。																	
第219図 PL.465	27	土師器 有孔鉢	周堤盛土内 底部1/4	底	4.1			細砂粒/良好/にぶ い褐	体部外面はナデで、下部は面取り状に整形。体部内面はヘラナデ。孔部はヘラナデ。																	
第219図 PL.465	28	土師器 有孔鉢	周堤盛土内 底部1/4	底	3.8			細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	体部外面はナデで、下部は面取り状に整形。体部内面はヘラ削り。孔部はヘラナデ。																	
第219図 PL.465	29	土師器 壺	周堤盛土内 口縁部～頸部片	口	25.4			細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/にぶい橙	口縁部は上半が横方向、下半が縦方向のヘラ磨き。内面はヘラナデか、器面剥離のため詳細不明。																	
第219図 PL.465	30	土師器 壺	周堤盛土内 胴部上位～底部	底	8.5			細砂粒・粗砂粒/ 良好/浅黄橙	胴部外面は上から横位、斜位のヘラナデ。下位はナデで、一部にナデ以前のハケメ痕が残る。肩部内面は指頭圧痕がめぐる。胴部内面はヘラナデ。胴部下位内面の接合部は横位のヘラナデ。体部と底部境の外面は横位のナデ。																	
第219図 PL.465	31	土師器 壺	周堤盛土内 口縁部～胴部上 位	口	27.3			細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/明褐	内面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はナデ。内面は器面剥離や摩滅のため整形不明。																	
第219図 PL.465	32	土製品 勾玉	周堤盛土内 完形	長 幅	2.4 0.9	厚 孔	1.1 0.3	微砂粒/良好/灰黄	表裏、側面ともナデ。																	
第219図 PL.465	33	礫 粒状礫	周堤盛土内 完形	長 幅	1.3 0.7	厚 重	0.5 0.7	粗粒輝石安山岩	灰色。小形の円礫。全体的に非常に滑らかであり光沢がある。																	
第219図 PL.465	34	礫 粒状礫	周堤盛土内 完形	長 幅	1.0 0.7	厚 重	0.5 0.5	流紋岩	赤褐色。小形の極円礫。全体的に光沢がある。																	
第219図 PL.465	35	礫 粒状礫	周堤盛土内 完形	長 幅	1.7 1.3	厚 重	0.6 1.5	変玄武岩	灰黄褐色。小形の円礫。光沢はない。																	
第219図 PL.465	36	礫 粒状礫	周堤盛土内 完形	長 幅	1.1 0.8	厚 重	0.6 0.6	変質安山岩	暗オリーブ灰色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。																	
挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	法 量													観 察									
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬										
第220図 PL.465	37	鉈 2類鉈	周堤盛土下位 完形	16.5	2.0	1.0	0.2	14.5	1.0	0.2	0.9	0.3	刃部と茎部がほぼ同じ幅で推移するもので、古瀬(1991)分類によると2類に属するものである。刃部はあまり尖っておらず、屈曲も弱い。茎には、木質、植物繊維巻の痕跡は無い。茎の先端が角落ちされ少し狭くなっている。													
第220図 PL.465	38	鎌 長頸柳葉 (長三角形) 鎌	周堤盛土下位 茎端部欠損	12.3+	2.5	0.8	0.2		8.8	0.4	0.3	0.7	0.5	1.0+	0.45	0.4	X線での確認で、おそらく刃関は角関と推定される。鎌身間は、やはり角関であるがやや幅が広がるものである。									
第220図 PL.465	39	鑿子	周堤盛土下位 完形	9.1	2.5	1.0	0.4	0.3	6.6	1.9	1.1	0.2	0.5	しっかりとした造りで、鑿子の完形品である。向かって右側の身部に斜めに巻いたような痕跡があるが、その中身を同定できない。												
挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴													備考					
長 幅				(6.6) (3.0)	厚 重	(0.6) 13.8																				
第220図 PL.465	40	石製品 石製品(剥 片)	周堤盛土内 不明	長 幅	(6.6) (3.0)	厚 重	(0.6) 13.8	頁岩	表面は平坦で滑らかな部分が認められ研磨整形されている可能性がある。裏面は平坦であるが剥離状態と判断される。右側面には擦り切り痕とその後の折断痕が認められる。																	

5区3号掘立柱建物出土建築材観察表

挿図	No.	種類	出土位置	計測値(cm)	樹種	成形・整形の特徴	備考
第229図	1	建築材	P10北東部	残存上端長 43.8 残存下端長 88.8 最大残存高 52.2 最大残存厚 7.5	板部/サクラ 角材部/クワ	本材は、燃焼したため中央部のほとんどは消失していたが、最大で7.5cmほどの厚さの台形の輪郭が残存していた。台形の短辺近くには一辺8cmほどの方孔が2か所に穿たれていた。孔の中央と左右に幅2cm、厚さ1.3cmほどの角材が3本取り付けられていた。角材は中央は19cmほど、右側は11cmが残存していたが、左側は変色により角材があったことが推定されるが、実物は残っていなかった。	

5区3号掘立柱建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口	高さ	厚				
第233図 PL.465	2	土師器 杯	建物周囲S1下 1/2	口	13.3		細砂粒/良好/橙	口縁部上段は強い横ナデで、外面の下段は弱い横ナデ。体部から口縁部内面は斜位のナデ上げが連続する。底部内面は摩滅。体部外面以下は磨きに近いヘラナデ。		
第233図	3	土師器 杯	建物周囲S1下 1/4	口 高	14.0 5.0		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部に放射状ヘラ磨き、口縁部に斜放射状ヘラ磨き。		
第233図	4	土師器 杯	建物周囲S1下 口縁部一部、底 部1/4	口 高	14.4 8.1		細砂粒/良好/橙	底部外面付近は灰褐色。器表は摩滅し、整形痕不明部分が多い。底部外面はヘラ削り。底部から体部内面は幅広のヘラ磨き。	器表は摩滅。	
第233図 PL.465	5	土師器 杯	屋外北東部S1下 完形	口 高	12.0 5.0		細砂粒/良好/橙	口唇端部に1条の凹線が巡る。口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部にヘラナデ。		
第233図 PL.465	6	須恵器 甕か	建物周囲S1下 口縁部小片				細砂粒・粗砂粒少 量/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。口唇部は下端に2条の凸線を巡らし、口縁部に波状文を施文。		
第233図	7	須恵器 不詳	建物周囲S1下 小片				細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	外面に断面三角形の凸線。高杯の脚部が小型瓶類の口縁部。		
第233図 PL.465	8	須恵器 壺か	建物周囲S1下 小片				細砂粒・粗砂粒少 量/還元焰/灰オ リーブ	外面はタタキ目で、半分ほどはロクロ整形でナデ消す。上端には凹線が残る。内面はロクロ整形。		
第233図 PL.465	9	石製品 白玉	P7南脇S1直下 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。	
第233図 PL.465	10	石製品 白玉	P7南脇S1直下 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.3 0.1	滑石	灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第233図 PL.465	11	石製品 白玉	P7南脇S1直下 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第233図 PL.465	12	石製品 白玉	P7南脇S1直下 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第233図 PL.465	13	石製品 砥石	建物内S1下 1/2	長 幅	(3.6) 3.0	厚 重	1.6 25.4	粗粒輝石安山岩	表裏面は全体的に滑らかであり砥面と判断される。左右両側面は鋭角であり砥面として利用されることに鋭角が作出されたと考えられる。下側面は全体的に比較的滑らかであり平坦面が広く認められ砥面の可能性がある。	
第233図 PL.465	14	石製品 砥石	建物内S1下 完形	長 幅	6.2 4.8	厚 重	2.4 105.8	粗粒輝石安山岩	表裏面と左側面は全体的に滑らかであり砥面と判断される。上下小口面にはわずかに滑らかな部分が認められるが砥面であるか判断できない。右側面は全体的に平坦であるが滑らかでない。	
第233図 PL.465	15	石製品 砥石	建物内S1下 不明	長 幅	(8.5) (4.3)	厚 重	1.8 117.4	粗粒輝石安山岩	表裏面と左側面は全体的に滑らかであり砥面と判断される。右側面にも滑らかな部分が認められる。	

6区1号掘立柱建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考								
				口	高さ	厚											
第240図 PL.466	1	須恵器 甕か	P2埋土 胴部小片				細砂粒微量/還元 焰/オリーブ黒	外面は平行叩き痕が残るが、内面はアテ具痕をナデ消している。	小片のため上 下明瞭。								
第240図	2	土師器 杯	P13埋土 1/6	口	14.0		細砂粒・粗砂粒少 量/良好/明赤褐	底部内面周縁から口縁部外面は横ナデ。外面の体部以下はヘラ削り。底部内面の中央はナデ。									
第240図	3	須恵器 大型甕	建物屋外南部 胴部上半片	胴	20.7		細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転は右回りか。胴部下位はカキメ、上位肩に波状文が施文。内面上位に頸部の整形とみられる指頭痕が残る。胴部肩より上に降灰が付着。									
第240図	4	須恵器 高杯	建物南部 脚部1/3	脚	8.6		細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/黄灰	断面は還元せず橙色。脚端部と端部付近の突帯先端は摩滅。透孔は矩形1段で3方か。透孔部分で欠損のため、透孔幅は不明。									
挿図 PL.No.	No.	器種 細別器種	出土位置 残存率	法 量													観 察
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
第240図 PL.466	5	鉈 1類鉈	南東部床直 ほぼ完形	7.7	7.5	2.0	1.0	0.2	0.9	0.6	0.3	4.6	0.6	0.3	刃部の頭部でくびれ、刃部より細い茎をもつ形態で、古瀬(1991)分類によると1類に属するものである。錆びどく明瞭でない部分もある。茎先端部には植物の繊維を巻いた痕跡がある。		
第240図 PL.466	6	棒状鉄製品	P15付近S1直下 破片	2.4+	0.3	0.25									断面円形に近い棒状鉄製品。錐状工具の可能性あり。		
挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考								
第240図 PL.466	7	石製品 白玉	建物南東部 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重				0.4 0.2	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りが明瞭に認められ稜をわずかに形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。					
第240図 PL.466	8	石製品 白玉	建物南東部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがわずかにあり横～斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。								

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				長 幅	厚 重	0.4 0.3				
第240図 PL.466	9	石製品 白玉	建物南東部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第240図 PL.466	10	石製品 白玉	建物南東部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.2 0.2	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり明瞭に認められ稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第240図 PL.466	11	石製品 白玉	建物南東部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあり横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第240図 PL.466	12	石製品 白玉	建物南東部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあり明瞭に認められ稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第240図 PL.466	13	石製品 白玉	建物南東部 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.5 0.2	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第240図 PL.466	14	石製品 白玉	建物南東部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第240図 PL.466	15	石製品 白玉	建物南東部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第240図 PL.466	16	石製品 白玉	建物南東部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあり横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第240図 PL.466	17	石製品 白玉	建物南東部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第240図 PL.466	18	石製品 白玉	建物南東部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあり明瞭に認められ稜をわずかに形成し横～斜め方向の擦痕が認められる。表面の孔の周囲は広がっており裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。	
第240図 PL.466	19	石製品 白玉	建物南東部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあり明瞭に認められ稜をわずかに形成し横～斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。	
第240図 PL.466	20	石製品 白玉	建物南東部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第240図 PL.466	21	石製品 石製模造品	P14北東部 完形	長 幅	5.4 3.0	厚 重	0.6 18.2	滑石	暗緑灰色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面にも全体的に擦痕が認められる。表面の左側縁には刀子等工具による作出面が複数認められる。上下の孔は表面側が広がっており裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したものと考えられる。孔径約2mm。	剣形
第240図 PL.466	22	石製品 白玉	P14北東部 完形	長 幅	0.7 0.6	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第240図 PL.466	23	石製品 白玉	P14北東部 完形	長 幅	0.7 0.6	厚 重	0.5 0.2	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり横～斜め方向の擦痕が認められる。孔は内部下端近くに段差が認められる。孔径約2mm。	
第240図 PL.466	24	石製品 白玉	P14北東部 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.1	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第240図 PL.466	25	石製品 白玉	P14北東部 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	

4区1号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口 高	口 底	11.8 5.6				
第244図	1	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	11.8			細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ。内面は体部から口縁部に斜放射状へら磨き。	
第244図 PL.466	2	土師器 杯	竈燃焼部 完形	口 高	11 5.6			細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部上半に横方向の粗いへら磨き。	
第244図	3	土師器 杯	周堤盛土内 口縁部～体部片	口	13.0			粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面はナデの面を残す。以下は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状へら磨き。	
第244図 PL.466	4	土師器 杯	北隅床直 口縁部一部欠	口 高	13.9 5.1			粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面は上位にナデの面を残す。以下底部まで手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状へら磨き。	
第244図	5	土師器 小型甕	周堤盛土北裾 1/3	口 底	18.0 7.2	高 14.9		粗砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜横位のへら削り。内面も斜横位のへら削り。底部外面もへら削り。	器面磨滅。

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考								
				長	厚	重											
第244図 PL.466	6	石製品 管玉	周堤盛土南裾部 完形	長幅	2.3 0.9	厚 重	0.9 2.97	蛇紋岩	オリブ灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。肉眼観察によると孔は中央付近が狭くなっており両面穿孔の可能性がある。上面には擦痕が多く認められる。上下面の孔径約2mm。								
第244図 PL.466	7	石製品 管玉	周堤盛土南裾部 完形	長幅	2.3 0.8	厚 重	0.8 2.73	滑石	オリブ灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。肉眼観察によると孔は中央付近が狭くなっており両面穿孔の可能性がある。上下面の孔径約3mm。								
第244図 PL.466	8	石製品 管玉	周堤盛土南裾部 完形	長幅	2.0 0.8	厚 重	0.8 2.31	蛇紋岩	灰オリブ色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。上下面の孔の周囲は浅鉢状に窪んでいる。上下面の孔径約2mm。								
第244図 PL.466	9	石製品 白玉	南東壁沿い床直 完形	長幅	0.7 0.7	厚 重	0.3 0.26	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦でありわずかに擦痕が認められる。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。								
第244図 PL.466	10	石製品 白玉	南東壁沿い床直 完形	長幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.30	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり表面にはわずかに擦痕が認められる。側面は中央に張りがあるが斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。								
第244図 PL.466	11	石製品 白玉	南東壁沿い床直 完形	長幅	0.8 0.8	厚 重	0.5 0.44	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあるが斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。								
第244図 PL.466	12	石製品 白玉	南東壁沿い床直 完形	長幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.3	滑石	オリブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。								
第244図 PL.466	13	土製品 紡輪	南東壁際床直 完形	径厚	4.5 2.7	孔	0.8	微砂粒/良好/にぶ い黄橙	表裏・側面ともナデ、								
挿図 PL.No.	No.	器種 細別器種	出土位置 残存率	法 量													観 察
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
第244図 PL.466	14	穂摘具破片	周堤盛土南裾部 破片	1.7+	1.4		0.1	0.2									穂摘具の破片か、鉄片の可能性あり。向かって左側に少し内側に屈曲している。

## 5区13号遺構出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長	厚	重			
第246図	1	石製品 砥石	床面精査土内 不明	(7.6) (5.8)	厚	(2.1) 129.3	粗粒輝石安山岩	表裏面は全体的に滑らかであり底面と判断される。右側縁は表裏面からなめらかに連続する曲面で構成される。左側面は全体的に平坦であるが表裏面ほどに滑らかでない。	

## 5区3号遺構出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高	重			
第249図 PL.466	1	土師器 甕	土器集積部床直 完形	底	21.8 × 19.2 6.0	高	30.5	細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/にぶい黄 橙	歪みが大きい。口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部にヘラナデ、大部分は器面摩滅のため単位不明。
第249図 PL.466	2	土師器 甕	土器集積部床直 完形	口底	13.4 5.6	高	30.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	内外面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部にヘラナデ、大部分は器面摩滅のため単位不明。
第249図 PL.468	3	土師器 甕	土器集積部床直 口縁部一部欠	口底	23.7 9.1	高	28.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ磨き、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部にヘラ磨き。
第249図 PL.467	4	土師器 壺	土器集積部床直 口縁部一部欠	口底	21.8 7.2	高	36.9	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄	口縁部は横ナデ。胴部外面上位はナデ、中位はヘラナデ、下位はナデ。胴部内面上半はヘラナデで輪積み痕が残る。下半は丁寧にヘラナデか。相対する胴部中位外面に一对の黒斑。
第250図 PL.467	5	土師器 壺	土器集積部床直 口縁部一部欠	口底	19.2 8.4	高	37.2	細砂粒・粗砂粒・ 礫・褐色粒/良好/ 明褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ、一部器面摩滅のため単位不明。
第250図 PL.468	6	土師器 手握ね	土器集積部外縁 口縁部2/3欠	口底	6.8 5.5	高	4.3~ 4.9	細砂粒/良好/赤褐	器壁は厚く、体部から口縁部はナデで、凹凸が多い。口縁部は歪む。
第250図 PL.468	7	礫石器 炉構築材	土器集積下位 完形	長幅	28.7 22.9	厚 重	15.3 11500.0	粗粒輝石安山岩	部分的に赤色変化しており受熱によると考えられる。全体的に自然面であるか判断できない。
第250図 PL.468	8	礫石器 炉構築材	土器集積下位 完形	長幅	29.1 24.6	厚 重	16.1 14600.0	粗粒輝石安山岩	全体的に赤色あるいは黒色変化しており受熱によると考えられる。全体的に自然面であるか判断できない。
第250図 PL.468	9	礫石器 炉構築材	土器集積下位 完形	長幅	30.6 (26.2)	厚 重	18.1 18400.0	粗粒輝石安山	全体的に赤色変化しており受熱によると考えられる。右側面の一部に表面の剥落が認めらるが他の部分は自然であるか判断できない。
第250図 PL.468	10	礫石器 炉構築材	土器集積下位 完形	長幅	29.6 24.5	厚 重	18.3 15600.0	粗粒輝石安山岩	全体的に赤色変化しており受熱によると考えられる。全体的に自然面であるか打割面であるか判断できない。

## 5区14号遺構出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				長	厚	重				
第251図 PL.468	1	石製品 石製模造品	床直 完形	長幅	7.6 3.5	厚 重	0.9 38.3	滑石	にぶい黄橙色。表裏面は縦～斜め方向の擦痕が認められる。上下側面にも全体的に擦痕が認められる。左右両側面全体には刀子等工具による作出面が認められる。刀子等工具による作出面には作業方向に平行する細かい線条痕が認められる。裏面の下側縁左隅には刀子等工具による作出面が認められる。孔径約2mm。	盾形

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				長	厚	重				
第251図 PL.468	2	石製品 石製模造品	床直 完形	長 幅	9.2 4.7	厚 重	1.0 73.6	滑石	灰オリーブ色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。下側面にも全体的に擦痕が認められる。左右両側面には全体的に刀子等工具による作出面が認められる。上側面には断面U字形の溝状作出痕が多数認められる。表面の左側縁上方には刀子等工具による作出面が認められる。孔径約2mm。	盾形
第251図 PL.468	3	石製品 白玉	床直 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕はわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。表面の孔の周囲は広がっており裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。	
第251図 PL.468	4	石製品 白玉	床直 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第251図 PL.468	5	石製品 白玉	床直 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰オリーブ色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。表面の孔の周囲は広がっており裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。	

6区5号遺構出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口	高	重				
第257図	1	土師器 埴	土坑南S1下 口縁部片	口	8.8			細砂粒/良好/明赤褐	内外面とも口縁部は斜放射状へら磨き。	
第257図 PL.468	2	土師器 壺	土坑底直 3/4	口 底	13.6 6	高	19.5	細砂粒/良好/赤褐	口縁部と胴部は接合。口縁部と胴部上位には放射状へら磨き、胴部下半と底部はへら削り。内面は胴部と口縁部はへらナデ、単位不鮮明、口縁部上位は雑な斜放射状へら磨き。	

4～6区囲い状遺構内出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				長	厚	重				
第258図 PL.468	1	土師器 杯	遺構外 口縁部～体部片	口	12.8			粗砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面は上位にナデの部分を残す。以下底部まで手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾する斜放射状へら磨き。	
第258図 PL.468	2	土師器 杯	遺構外 口縁部～体部片	口	12.9			粗砂粒少量/良好/橙	口唇端部は平坦面を作る。口縁部は横ナデ。体部(稜下)は手持ちへら削り。内面はナデ。	
第258図 PL.468	3	土師器 高杯	遺構外 基部片					粗砂粒/良好/橙	下端、柄杓。脚部との接合状況がよく観察できる。外面はへら削りか。	器面磨滅。
第258図 PL.468	4	石製品 石製模造品	遺構外 完形	長 幅	6.7 2.2	厚 重	0.6 10.9	滑石	灰白色。表裏面及び側面は縦方向のいくつかの作出面で構成されている。この作出面の一部は内湾し縦方向に直交する直線的な痕跡が認められる。それは刀子等の工具による痕跡と想定され、縦方向の作出面は同様の工具による作業単位と考えられる。孔径約3mm。	刀子形
第258図 PL.468	5	石製品 石製模造品	遺構外 完形	長 幅	7.5 2.5	厚 重	0.9 19.0	滑石	灰白色～灰色。表裏面及び側面は縦方向のいくつかの作出面で構成されている。この作出面の一部は内湾し縦方向に直交する直線的な痕跡が認められる。それは刀子等の工具による痕跡と想定され、縦方向の作出面は同様の工具による作業単位と考えられる。孔径約3mm。	剣形
第258図 PL.468	6	石製品 石製模造品	遺構外 ほぼ完形	長 幅	5.4 2.3	厚 重	0.7 11.9	滑石	灰白色～暗緑灰色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面にも全体的に擦痕が認められる。表面の右側縁下方、裏面の右側縁下方には刀子等工具による作出面が1面認められる。孔径約2mm。	剣形
第258図 PL.468	7	石製品 石製模造品	遺構外 完形	長 幅	6.5 1.4	厚 重	0.5 6.9	滑石	オリーブ灰色。表裏面及び側面は全体的に多くの刀子等工具による作出面で構成されている。表面の中央に刀子等工具による断面V字状の溝状作出痕が斜め方向に認められる。孔径約2mm。	剣形
第258図 PL.468	8	石製品 白玉	遺構外 1/2	長 幅	(0.4) (0.6)	厚 重	(0.3) 0.09	滑石	灰白色。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸で構成される。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第258図 PL.468	9	石製品 白玉	遺構外 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.3 0.20	滑石	オリーブ灰色。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸で構成される。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第258図 PL.468	10	石製品 白玉	遺構外 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.6 0.30	滑石	灰白色。表裏面は平坦でなく凹凸で構成される。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第258図 PL.468	11	石製品 磨製石製品	遺構外 ほぼ完形	長 幅	(3.8) 1.0	厚 重	0.3 0.7	珪質準片岩	暗オリーブ灰色。全体的に滑らかであり研磨整形されている。表面の下側縁に断面V字状の溝状痕跡があり刀子等工具による作出痕の可能性が有る。	
第258図 PL.468	12	石製品 石製模造品	遺構外 2/3	長 幅	(4.6) (2.9)	厚 重	0.7 12.6	滑石	オリーブ灰色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面にも擦痕が認められる。表面の右側縁下方と下側縁、裏面の右側縁と右側縁には刀子等工具による作出面が認められる。上側面は折断面であるが、裏面上側縁の刀子等作出面はこの折断面より新期に形成されている。孔径約2mm。	剣形

4区1号祭祀遺構出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第266図 PL.469	1	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 高	13.3 6.2	粗砂粒/良好/明赤 褐	内外面とも全面に横位のヘラ磨きを施す。底部外面にも施した磨きは器面が磨滅したため残存していない。	
第267図	2	土師器 杯	土器集積内 完形	口 高	12.7 5.7	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面は上位にナデの部分を残す。以下底部まで手持ちヘラ削り。内面はナデの上に体部から口縁に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	重量他に比して重い。
第267図 PL.469	3	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 高	12.2 5.5	粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面はナデの面を残す。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第267図 PL.469	4	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 高	11.3 6.2	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第267図 PL.469	5	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 高	11.2 5.0	粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面は成形時のナデの面を残す。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第267図 PL.469	6	土師器 杯	土器集積内 完形	口 高	11.8 5.7	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面は成形時のナデの面を残す。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	器面にHr-FA 付着。
第267図 PL.469	7	土師器 杯	土器集積内 完形	口 高	11.3 5.9	粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面はナデの面を残す。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第267図 PL.469	8	土師器 杯	土器集積内 完形	口 高	12.2 5.6	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面はナデ。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	器面やや磨 滅。
第267図 PL.469	9	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 高	11.0 5.9	粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面は丁寧なナデ。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第268図 PL.469	10	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 高	11.7 5.4	粗砂粒少量/良好/ 明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面に広く成形時のナデの面を残す。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第268図 PL.469	11	土師器 杯	土器集積内 口縁部・底部一 部欠	口 高	12.2 5.5	粗砂粒少量/良好/ 明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面にナデの面を残す。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第268図	12	土師器 杯	土器集積内 完形	口 高	10.6 5.9	粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第268図 PL.469	13	土師器 杯	土器集積内 口縁部・底部一 部欠	口 高	11.8 5.8	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面はわずかにナデの面を残し、以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第268図 PL.469	14	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 高	12.8 5.0	粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちヘラ削り。内面はナデ。	内面やや磨 滅。
第268図 PL.469	15	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 高	10.6 5.9	粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面は上位にナデの面を残す。以下底部まではヘラナデに近い手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	底部内面剥 離。
第268図 PL.469	16	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 高	12.3 5.5	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第268図 PL.469	17	土師器 杯	土器集積内 口縁部・底部一 部欠	口 高	12.1 5.1	粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部上位は、わずかにナデの面を残す。以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	わずかに Hr-FA付着。
第268図 PL.469	18	土師器 杯	土器集積内 口縁部・底部一 部欠	口 高	11.0 5.8	粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデの面を残し、以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第269図 PL.469	19	土師器 杯	土器集積内 完形	口 高	12.1 6.0	粗砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ。下端に沈線が1条めぐる。体部から底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾する斜放射状ヘラ磨き。	器面にHr-FA 付着。内面磨 滅。
第269図 PL.469	20	土師器 杯	土器集積内 口縁部・底部一 部欠	口 高	11.8 5.9	粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面には成形時のナデの面を残す。以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第269図 PL.469	21	土師器 杯	土器集積内 口縁部・底部一 部欠	口 高	11.0 6.7	粗砂粒少量/良好/ 橙	口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちヘラ削り。内面は底部近くから口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	Hr-FA付着。
第269図	22	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 高	11.3 5.6	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面はヘラナデか。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	器面やや磨 滅。
第269図 PL.470	23	土師器 杯	土器集積内 完形	口 高	10.6 6.0	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から体部外面は横ナデ。以下わずかに成形時のナデの面を残し、底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第269図 PL.470	24	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 高	12.9 5.5	粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面はわずかにナデの面を残す。下位から底部に手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第269図 PL.470	25	土師器 杯	土器集積内 2/3	口 高	12.3 5.0	粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面はわずかにナデの面を残し、以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	Hr-FA付着。
第269図 PL.470	26	土師器 杯	土器集積内 口縁部・底部一 部欠	口 高	13.4 4.6	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第269図 PL.470	27	土師器 杯	土器集積内 口縁部・底部一 部欠	口 高	13.8 4.6	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第270図 PL.470	28	土師器 杯	土器集積内 口縁部・底部一部欠	口高	13.6 5.3	粗砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちヘラ削り。内面は丁寧なナデ。	
第270図 PL.470	29	土師器 杯	土器集積内 口縁部・底部一部欠	口高	13.7 5.2	粗砂粒少量/良好/明赤褐	口唇端部は外方に平坦面を向ける。口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	わずかに Hr-FA付着。
第270図 PL.470	30	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口高	13.7 5.6	粗砂粒少量/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	わずかに Hr-FA付着。
第270図 PL.470	31	土師器 杯	土器集積内 口縁部・底部一部欠	口高	14.0 5.8	粗砂粒少量/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位に一部ナデの面を残し、以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	わずかに Hr-FA付着。
第270図 PL.470	32	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口高	13.4 5.2	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面は成形時のナデの面を残す。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾する斜放射状ヘラ磨き。	
第270図 PL.470	33	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口高	13.6 4.9	粗砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面はナデの面を残す。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第270図 PL.470	34	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口高	13.7 5.3	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面の上位に成形時のナデの面を残す。以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第270図 PL.470	35	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口高	13.6 5.0	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面はナデの面を残す。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第270図 PL.471	36	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口高	13.6 5.1	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面には成形時のナデの面を残す。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第271図	37	土師器 杯	土器集積内 完形	口高	13.6 5.0	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面は上位にわずかにナデの部分を残し、以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第271図 PL.471	38	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口高	13.5 6.1	粗砂粒/良好/橙	口唇端部は直下が小さく屈曲、断面はM字状を呈する。口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第271図 PL.471	39	土師器 杯	土器集積内 3/4	口高	13.0 5.0	粗砂粒少量/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面は広くナデの面を残す。底部外面は手持ちヘラ削り。内面に体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第271図 PL.471	40	土師器 杯	土器集積内 3/4	口高	14.3 5.3	粗砂粒少量/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第271図 PL.471	41	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口高	13.8 4.3	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面は上位にナデの面を残す。下位から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第271図 PL.471	42	土師器 杯	土器集積内 完形	口高	13.8 5.2	粗砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面は上位にわずかにナデの面を残し、以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	わずかに Hr-FA付着。
第271図 PL.471	43	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口高	13.9 5.2	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面はナデの面を残す。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第271図 PL.471	44	土師器 杯	土器集積内 底部一部欠	口高	13.7 5.5	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちヘラ削り。内面はナデ。	
第271図 PL.471	45	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口高	13.8 5.1	粗砂粒/良好/明赤褐	口唇端部は外方に平面向を作る。口縁部は横ナデ。体部外面上位に成形時のナデの面を残す。以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾する斜放射状ヘラ磨き。	
第271図 PL.471	46	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口高	13.2 5.1	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第272図 PL.471	47	土師器 杯	土器集積内 口縁部・底部一部欠	口高	13.4 5.6	粗砂粒少量/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第272図 PL.471	48	土師器 杯	土器集積内 完形	口高	14.2 5.4	粗砂粒少量/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面にはナデの面を残す。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第272図 PL.472	49	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口高	13.9 4.6	粗砂粒少量/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面には広く成形時のナデの面を残す。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	わずかに Hr-FA付着。
第272図 PL.472	50	土師器 杯	土器集積内 口縁部・底部一部欠	口高	13.9 4.8	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面は成形時のナデの面を残す。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第272図	51	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口高	12.9 4.7	粗砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面は上位にナデの面を残す。以下底部まで手持ちヘラ削り。	内面磨滅。
第272図 PL.472	52	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口高	13.2 5.1	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面には成形時のナデの面を残す。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第272図 PL.472	53	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口高	13.7 5.0	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第272図 PL.472	54	土師器 杯	土器集積内 口縁部・底部一部欠	口高	13.8 5.6	粗砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にわずかにナデの面を残し、以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第273図 PL.472	55	土師器 杯	土器集積内 底部一部欠	口 高	13.6 4.9	粗砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデの面を残す。以下底部まで手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状へら磨き。	器面にHr-FA 付着。
第273図 PL.472	56	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 高	12.9 5.1	粗砂粒・軽石粒/ 良好/橙	口縁部の立ち上がりは短い。口縁部は横ナデ。体部外面はナデの面の一部にへら削り。底部外面は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状へら磨き。	底部外面はや や磨滅。
第273図 PL.472	57	土師器 杯	土器集積内 完形	口 高	13.2 4.9	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面には成形時のナデの面を残す。底部外面は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状へら磨き。	
第273図 PL.472	58	土師器 杯	土器集積内 底部一部欠	口 高	13.3 5.2	粗砂粒少量/良好/ 明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面は上位にナデの面を残し、以下底部まで手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状へら磨き。	
第273図 PL.472	59	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 高	14.3 5.2	粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面はわずかにナデの面を残し、以下底部まで手持ちへら削り。内面は丁寧なナデ。	
第273図 PL.472	60	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 高	13.6 5.6	粗砂粒少量/良好/ 橙	口縁部は横ナデ。体部外面には広く成形時のナデの面を残す。底部外面は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状へら磨き。	わずかに Hr-FA付着。
第273図 PL.472	61	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 高	13.3 5.2	粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面にナデの面を残す。底部外面は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状へら磨き。一部に斜横方向のへら磨きが重なる。	
第273図 PL.473	62	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 高	14.3 5.4	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面はナデの面を残す。底部外面は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状へら磨き。	
第273図 PL.472	63	土師器 杯	土器集積内 口縁部・底部一 部欠	口 高	13.8 5.7	粗砂粒少量/良好/ 明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面は広く成形時のナデの面を残す。底部外面は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状へら磨き。下端は工具が強くあたっている。	
第273図 PL.473	64	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 高	14.1 5.2	粗砂粒少量/良好/ 明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面には広く成形時のナデの面を残す。底部外面は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状へら磨き。	
第274図 PL.473	65	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 高	13.5 5.5	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面は上位に成形時のナデの面を残す。以下底部まで手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状へら磨き。	器面やや磨 滅。
第274図 PL.473	66	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 高	14.0 5.2	粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状へら磨き。	
第274図 PL.473	67	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 高	13.8 5.1	粗砂粒少量/良好/ 明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面は上位にナデの面を残し、以下底部まで手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状へら磨き。	
第274図 PL.473	68	土師器 杯	土器集積内 完形	口 高	13.3 5.2	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面は上位に成形時のナデの面を残す。以下底部まで手持ちへら削り。内面はナデ。	
第274図 PL.473	69	土師器 杯	土器集積内 口縁部・底部一 部欠	口 高	13.6 4.8	粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状へら磨き。	
第274図 PL.473	70	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 高	14.0 5.0	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面は上位にナデの面を残す。下位から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状へら磨き。	
第274図 PL.473	71	土師器 杯	土器集積内 完形	口 高	14.1 4.9	粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面はナデの面を残す。底部外面は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状へら磨き。	
第274図 PL.473	72	土師器 杯	土器集積内 口縁部・底部一 部欠	口 高	13.6 5.3	粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面はわずかに成形時のナデの面を残し、以下底部まで手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状へら磨き。磨きの下端はくの字に曲折して終わる。	器面にわずかに Hr-FA付着。
第274図 PL.473	73	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 高	14.1 5.5	粗砂粒少量/良好/ 明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面に成形時のナデの面を残す。底部外面は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状へら磨き。工具の動きは統一性なく不揃い。	わずかに Hr-FA付着。
第275図 PL.473	74	土師器 杯	土器集積内 完形	口 高	12.4 5.3	粗砂粒/良好/橙	口唇端部は断面M字状を呈する。口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	
第275図 PL.473	75	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 高	12.4 5.1	粗砂粒/良好/橙	口唇端部は平坦面を作る。口縁部は横ナデ。体部(稜下)外面は上位に一部ナデの部分を残す。以下底部まで手持ちへら削り。内面はナデ。	
第275図 PL.473	76	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 高	12.7 5.8	粗砂粒少量/良好/ 橙	口唇端部は平坦面を作る。口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	
第275図 PL.473	77	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 高	12.2 5.4	細砂粒/良好/にぶ い橙	口唇端部は中央が沈線状に凹む。口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	
第275図 PL.473	78	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 高	12.2 4.7	粗砂粒/良好/明赤 褐	口唇端部は平坦面を作る。口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	
第275図 PL.473	79	土師器 杯	土器集積内 口縁部・底部一 部欠	口 高	13.6 6.0	粗砂粒/良好/にぶ い橙	器面はやや歪んでいる。口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	
第275図 PL.473	80	土師器 杯	土器集積内 口縁部・底部一 部欠	口 高	13.1 5.3	粗砂粒/良好/明赤 褐	器形やや歪む。口唇端部は平坦面を作る。口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	
第275図 PL.473	81	土師器 杯	土器集積内 完形	口 高	11.8 5.6	粗砂粒/良好/明赤 褐	口唇端部は平坦面を作る。口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口高				
第275図	82	土師器 杯	土器集積内 口縁部・底部一部欠	口高	12.6 5.9	粗砂粒/良好/明赤褐	口唇端部は平坦面を作る。口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	
第276図 PL.474	83	土師器 杯	土器集積内 3/4	口高	13.1 5.5	粗砂粒/良好/明赤褐	器形は大きく歪んでいる。平面形は長円形を呈する。口唇端部は薄く尖り気味。口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	
第276図 PL.474	84	土師器 杯	土器集積内 完形	口高	12.5 5.9	粗砂粒少量/良好/明赤褐	口唇端部は薄く尖る。口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	底部剥離顕著。わずかにHr-FA附着。
第276図 PL.474	85	土師器 杯	土器集積内 完形	口高	12.2 5.7	細砂粒/良好/橙	口唇端部は丸みを帯びる。口縁部は横ナデ。体部(稜下)は手持ちへら削り。内面はナデか。	器面剥離。
第276図	86	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口高	12.3 5.3	粗砂粒少量/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。	器面磨滅。
第276図 PL.474	87	土師器 杯	土器集積内 口縁部・底部一部欠	口高	13.0 5.8	粗砂粒・細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	器面やや磨滅。
第276図 PL.474	88	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口高	13.0 5.6	粗砂粒/良好/明赤褐	口唇端部は平坦面を作る。口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	器面にHr-FA附着。
第276図 PL.474	89	土師器 杯	土器集積内 口縁部・底部一部欠	口高	12.4 5.2	粗砂粒/良好/橙	口唇端部は中央が沈線状に凹み断面M字状を呈する。口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	
第276図 PL.474	90	土師器 杯	土器集積内 口縁部・底部一部欠	口高	13.0 5.3	粗砂粒/良好/橙	口唇端部は平坦面を作る。口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	
第276図 PL.474	91	土師器 杯	土器集積内 底部一部欠	口高	11.5 5.3	粗砂粒/良好/明赤褐	口唇端部は平坦面を作る。口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	
第276図 PL.474	92	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口高	11.5 5.5	細砂粒/良好/にぶい橙	口唇端部は平坦面を作る。口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	
第277図	93	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口高	12.5 4.9	粗砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	
第277図 PL.474	94	土師器 杯	土器集積内 完形	口高	12.3 5.2	粗砂粒/良好/明赤褐	口唇端部は平坦面を作る。口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	
第277図 PL.474	95	土師器 杯	土器集積内 底部一部欠	口高	12.6 5.0	粗砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部(稜下)は上位の一部に成形時のナデの面も残す。以下底部まで手持ちへら削り。内面はナデ。	
第277図 PL.474	96	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口高	12.7 5.4	粗砂粒/良好/明赤褐	口唇端部は内側に下る平坦面を作る。口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	
第277図 PL.474	97	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口高	13.2 5.6	粗砂粒/良好/橙	口唇端部は平坦面を作る。口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	
第277図 PL.474	98	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口高	13.2 5.7	粗砂粒/良好/橙	口唇端部は平坦面を作る。シャープな仕上げ。口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面は丁寧なナデ。	
第277図	99	土師器 杯	土器集積内 完形	口高	12.8 5.6	粗砂粒/良好/橙	口唇端部は断面M字に近い平坦面を作る。口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	
第277図 PL.474	100	土師器 杯	土器集積内 口縁部・底部一部欠	口高	12.8 5.8	粗砂粒/良好/橙	口唇端部は平坦面を作る。口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	
第277図 PL.474	101	土師器 杯	土器集積内 口縁部・底部一部欠	口高	12.2 6.1	粗砂粒/良好/橙	口唇端部は断面M字状を呈する。口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	底部外面に黒色の附着物。
第277図 PL.474	102	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口高	11.7 5.7	粗砂粒/良好/明赤褐	口唇端部は尖る。口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	
第278図 PL.474	103	土師器 杯	土器集積内 口縁部一・底部一部欠	口高	12.3 5.8	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	器面磨滅。
第278図 PL.474	104	土師器 杯	土器集積内 2/3	口高	11.6 5.3	粗砂粒/良好/明赤褐	口唇端部は平坦面を作る。口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	
第278図 PL.474	105	土師器 杯	土器集積内 口縁部・底部一部欠	口高	9.9	粗砂粒/良好/にぶい橙	小径。口唇端部は平坦面を作る。口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	
第278図 PL.474	106	土師器 杯	土器集積内 口縁部・底部一部欠	口高	12.2 5.2	粗砂粒/良好/明赤褐	口唇端部は平坦面を作る。口縁部は横ナデ。体部との間を画する稜は高くシャープに形づくられる。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面は丁寧なナデ。	
第278図 PL.474	107	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口高	13.0 5.3	粗砂粒/良好/橙	口唇端部は平坦面を作る。口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	
第278図 PL.474	108	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口高	13.4 6.1	細砂粒/良好/橙	口唇端部は平坦面を作る。口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	
第278図	109	土師器 杯	土器集積内 完形	口高	12.2 5.8	粗砂粒/良好/橙	口唇端部は内側に斜めに下がる平坦面。中央が凹みM字状。口縁部は横ナデ。体部外面はナデの面を残す。底部外面に手持ちへら削り	
第278図 PL.474	110	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口高	12.8 5.0	粗砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	内面やや磨滅。
第278図 PL.474	111	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口高	12.8 5.1	粗砂粒/良好/橙	口唇端部は断面M字状に近い平坦面を作る。口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	
第278図 PL.474	112	土師器 杯	土器集積内 口縁部一部欠	口高	12.1 5.5	粗砂粒/良好/明赤褐	口唇端部は平坦面を作る。口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は乾燥が進んでいない状態で手持ちへら削り。内面はナデ。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第279図 PL.474	113	土師器 高杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 脚	13.8 10.3	高	9.4	細砂粒/良好/明赤 褐	杯部口縁部は横ナデ。体部外面は横位を主体とするヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。脚部は内外面とも横ナデ。	
第279図 PL.474	114	土師器 高杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 脚	14.1 7.8	高	8.4	粗砂粒/良好/明赤 褐	杯部口縁部は横ナデ。体部外面は下位に斜縦位のヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。脚部外面は縦位のヘラ磨き。内面はナデ・横位のナデ。	
第279図 PL.475	115	土師器 高杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 脚	14.1 10.2	高	9.9	粗砂粒/良好/明赤 褐	杯部口縁部は横ナデ。体部外面はヘラナデに近いヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。脚部は内外面とも丁寧な横ナデ。	
第279図 PL.475	116	土師器 高杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 脚	13.9 9.3	高	8.5	粗砂粒/良好/橙	杯部口縁部は横ナデ。底部外面は上位にナデの面を残す。以下はヘラ削り。内面は底部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。脚部は内外面ともヘラナデ。	
第279図 PL.475	117	土師器 高杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 脚	13.9 7.5	高	8.3	粗砂粒/良好/明赤 褐	杯部口縁部は横ナデ。底部外面はヘラ削り。内面は底部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。脚部外面は基部から裾部に向けて放射状にヘラ磨き。内面はヘラナデ。	器面磨滅。
第279図 PL.475	118	土師器 高杯	土器集積内 杯部一部欠	口 脚	13.8 9.6	高	8.5	粗砂粒/良好/明赤 褐	杯部口縁部は横ナデ。底部外面は上位にナデの面を残す。以下はヘラ削り。内面は底部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。脚部は内外面ともヘラナデ。	外面やや磨滅。形状・法量とも116と類似。
第279図 PL.475	119	土師器 高杯	土器集積内 杯部一部欠	口 脚	13.8 10.0	高	9.5	粗砂粒/良好/明赤 褐	杯部口縁部は横ナデ。底部外面はヘラ削り。内面は底部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。脚部外面は横ナデ。内面は上半部に縦位の指ナデ。下半部に横ナデ。	杯部口径は116・118と同じ。外面やや磨滅。
第279図 PL.475	120	土師器 高杯	土器集積内 脚部1/2	脚	11.0			粗砂粒/良好/明赤 褐	内外面とも横ナデ。	
第279図 PL.475	121	土師器 高杯	土器集積内 杯底部1/2					粗砂粒/良好/明赤 褐	底部外面は丁寧なナデ。内面はナデの上に底部から口縁部に向けて規則性のないヘラ磨き。	
第279図 PL.475	122	須恵器 甕	土器集積内 2/3	底 高	9.0 12.5			粗砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形、回転は左回りか。体部下半部はヘラナデ。胴部中位のやや上に径1.0cmの注口が穿けられている。波状文、刺突文はみられない。	口縁部内面、体部外面に降灰付着。
第279図 PL.475	123	土師器 埴	土器集積内 体部一部欠	口 高	9.3 16.5			粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	外面の口縁部はナデの上に縦位のヘラ磨き。体部上半はナデの上に縦位のヘラ磨き。下半部は横位のヘラ削り。	
第280図 PL.475	124	土師器 小型甕	土器集積内 口縁部一部欠	口 底	11.3 5.6	高	10.2	軽石粒多量・粗砂 粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラナデに近いヘラ削り。内面はヘラナデ。底部外面はヘラ削り。	内外面にFA付着。一部の破片には全く付着していない。
第280図 PL.475	125	土師器 小型甕	土器集積内 口縁部一部欠	口 底	12.7 5.9	高	12.5	粗砂粒/良好/にぶ い橙	口唇端部は斜上方を向き断面はH字状、口縁部は横ナデ。胴部外面は最上位にナデの部分を残し、横位のヘラ削り。下位はヘラナデ。内面は斜位のヘラナデ。底部はヘラ削りにより凹レンズ状を呈す。	
第280図 PL.475	126	土師器 小型甕	土器集積内 口縁部一部、 底部1/2欠	口 底	11.3 7.0	高	16.7	粗砂粒/良好/橙	口縁部から頸部直下は横ナデ。胴部外面はナデの上に斜位のヘラナデ。内面は横位のヘラナデ。底部外面はヘラ削り。	
第280図 PL.475	127	土師器 小型甕	土器集積内 口縁部一部欠	口 高	11.7 12.9			粗砂粒/良好/明赤 褐	器肉厚い。口縁部は横ナデ。胴部から底部外面は斜位・斜横位のヘラ削り。内面は横位・斜縦位のヘラナデ。	
第280図 PL.475	128	土師器 小型甕	土器集積内 口縁部一部欠	口 高	11.2 10.8			粗砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は先端に横ナデ。下半から胴部上位に縦位のヘラナデ。一部ヘラ磨き状。以下底部までの外面は斜横位のヘラナデに近いヘラ削り。内面はヘラナデ。底部は中央が凹む。	
第280図 PL.475	129	土師器 小型甕	土器集積内 3/4	口 高	11.8 13.4			粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は上位に縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	胴部外面は剥離顕著。Hr-FA付着。
第280図 PL.476	130	土師器 甕	土器集積内 1/3	口 底	12.6 4.2	高	19.3	粗砂粒・細砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は上位・中位はヘラナデ・ナデ。下位は横位のヘラ削り。内面は上位が横位、以下は斜縦位のヘラナデ。	
第280図 PL.476	131	土師器 壺	土器集積内 胴部一部欠	口 底	13.6 8.2	高	23.9	粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は上半部が斜横位の、下半部が斜縦位のヘラナデに近いヘラ削り。底部外面はヘラ削り。内面は上半部が横位、下半部が縦位のヘラナデ。	
第281図 PL.476	132	手捏ね土器 杯形	土器集積内 完形	口 底	3 2.1	高	1.8	細砂粒/良好/灰黄 褐	口縁部、底部とも内外面ともナデ。	
第281図 PL.476	133	土師器 壺	土器集積内 口縁部一部欠	口 底	12.1 7.1	高	21.2	細砂粒・石英粒顕 著/良好/浅黄橙	口縁部は縦位のハケメ。胴部上半部は斜位のハケメ。	
第281図	134	土師器 壺	土器集積内 2/3	口 底	13.8 7.2	高	18.2	粗砂粒・細砂粒/ 良好/赤褐	口縁部外面は横ナデ後、下半部に右傾する斜位のヘラ磨き。内面は左傾する斜位のヘラ磨き。胴部は上半部がナデの上に左傾する斜位のヘラ磨き。下半部は横位のヘラ削り。内面は横位に丁寧なナデ。底部外面はヘラ削り。	
第281図	135	土師器 壺	土器集積内 口縁部～胴部中 位	口	21.6			赤色粘土粒多量・ 粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラ削りか。内面はヘラナデか。	器面磨滅。
第281図 PL.476	136	土師器 壺	土器集積内 胴部中位～底部	底	8.1			粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙	胴部外面はハケメの上に斜縦位のヘラ磨き。内面は斜横位の丁寧なヘラナデ。底部外面も丁寧なヘラナデ。	
第282図 PL.476	137	土師器 甕	土器集積内 口縁部一部欠	口 底	24.0 8.1	高	35.5	粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は斜位のハケメを施したのちに先端と中位に横ナデ。胴部外面は上位・中位に斜縦位のハケメ、下位はヘラナデ・ヘラ削りか。内面はヘラナデ。器面は磨滅済み。底部外面は中央がわずかに凹む。周縁部は磨滅している。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口径	高さ	底径			
第282図 PL.477	138	土師器 壺	土器集積内 3/4	19.4 7.0	高	35.7	粗砂粒・細砂粒/ 良好/浅黄	口縁部は斜縦位のハケメ。先端は横ナデを重ねているか。胴部外面は上位に斜位のハケメ。下位にナデに近いヘラ削り。内面は横位・斜横位のヘラナデ。底部外面はヘラナデ。	胴部外面の大半は器面が剥離している。
第282図 PL.476	139	土師器 甕	土器集積内 口縁部～胴部上位片	16.6			粗砂粒/良好/橙	器肉厚い。口縁部は横ナデ。胴部外面は横位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	外面やや磨滅。
第283図 PL.478	140	土師器 壺	土器集積内 口縁部・胴部一部欠	21.4 10× 9.4	高	40.7	粗砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は上半部に横ナデ。下半部には斜縦位のハケメを残す。胴部外面は上位から底部近くの下位上半に至るまで斜縦位のハケメを施す。下位下半は斜横位の粗いタッチのヘラナデ。内面は口縁部下半にハケメを残す。胴部は横位のヘラナデ。底部外面も粗いヘラナデ。	
第283図 PL.477	141	土師器 壺	土器集積内 口縁部一部欠	20.1 7.1	高	40.1	粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は上位から中位が丁寧なナデ。下位上半は横位のヘラ磨き。以下は丁寧なナデ。内面は横位のヘラナデ。底部外面はヘラ削り。	
第284図 PL.478	142	土師器 壺	土器集積内 口縁部先端欠損	底高 9.0 51.2			粗砂粒・細砂粒/ 良好/灰白	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラナデ。胴部内面は上位と下位にヘラナデ。中位は先端が凹凸のあるヘラ状工具によるナデ。底部外面は丁寧なヘラ削り。	
第284図 PL.478	143	石製品 石製模造品	土器集積内 ほぼ完形	長幅 (5.4) 3.0	厚重	0.6 14.4	滑石	灰白色。表面は2つの作出面で構成され斜め方向の擦痕が認められる。裏面は平坦であり斜め方向の擦痕が認められる。上下の孔は表面側でその周辺部がわずかに窪んでおり、裏面からの穿孔の際に表面側が破碎した可能性がある。上下の孔径約2mm。	剣形
第284図 PL.478	144	石製品 石製模造品	土器集積内 ほぼ完形	長幅 6.5 3.1	厚重	0.7 20.9	滑石	灰白色。表裏面共に平坦であり横～斜め方向の擦痕が認められる。上下の孔は表面側でその周辺部がわずかに窪んでおり、裏面からの穿孔の際に表面側が破碎した可能性がある。上下の孔径約2mm。	剣形
第284図 PL.478	145	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.7 0.7	厚重	0.4 0.32	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕が認められる。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約3mm。	
第284図 PL.478	146	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.7 0.7	厚重	0.4 0.33	滑石	灰色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕が認められる。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第284図 PL.478	147	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.6 0.6	厚重	0.5 0.25	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸で構成される。側面は中央に張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第284図 PL.478	148	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.6 0.6	厚重	0.4 0.25	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第284図 PL.478	149	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.7 0.6	厚重	0.5 0.32	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦でありわずかに擦痕が認められる。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第284図 PL.478	150	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.7 0.7	厚重	0.4 0.25	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦でありわずかに擦痕が認められる。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約3mm。	
第284図 PL.478	151	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.7 0.7	厚重	0.4 0.27	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第284図 PL.478	152	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.7 0.7	厚重	0.4 0.30	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがわずかにあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第284図 PL.478	153	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.6 0.6	厚重	0.4 0.27	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦でありわずかに擦痕が認められる。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第284図 PL.478	154	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.7 0.7	厚重	0.4 0.36	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦でありわずかに擦痕が認められる。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第284図 PL.478	155	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.8 0.8	厚重	0.5 0.49	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり表面は擦痕が認められる。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第284図 PL.478	156	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.7 0.7	厚重	0.3 0.24	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕が認められる。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第284図 PL.478	157	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅	厚重	0.28	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり表面にわずかに擦痕が認められる。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第284図 PL.478	158	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.8 0.8	厚重	0.4 0.33	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕がわずかに認められる。孔径約3mm。	
第284図 PL.478	159	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.7 0.7	厚重	0.4 0.30	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦でありわずかに擦痕が認められる。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第284図 PL.478	160	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.6 0.6	厚重	0.5 0.23	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦でありわずかに擦痕が認められる。側面は中央に張りがわずかにあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第284図 PL.478	161	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.6 0.7	厚重	0.5 0.30	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦でありわずかに擦痕が認められる。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約3mm。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重				
第284図 PL.478	162	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.6 0.6	0.4 0.20		滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第284図 PL.478	163	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.6 0.6	0.3 0.19		滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約3mm。	
第284図 PL.478	164	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.5 0.5	0.4 0.11		蛇紋岩	緑黒色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央の張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第284図 PL.478	165	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.7 0.7	0.4 0.3		滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがわずかにあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第284図 PL.478	166	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.7 0.6	0.3 0.2		滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	

5区1号掘立柱建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口 高					
第299図 PL.479	1	土師器 杯	北東部S1下 1/4	11.8 5.8			細砂粒・大粒の赤色粘土粒少量/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面はナデ。底部外面はヘラ削り。体部内面は口縁部に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨き。底部内面は丁寧なナデ。	
第299図 PL.479	2	土師器 杯	P1東側 3/4	14.1 5.8			細砂粒・粗砂粒/良好/明赤褐	外面の器表は摩滅、内面の器表は剥離し整形痕不明。	器表は摩滅と剥離。
第299図 PL.479	3	土師器 杯	東面土器集中部 3/4	13.4 4.6			細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第299図 PL.479	4	土師器 杯	東面土器集中部 1/4	12.9			細砂粒、大粒の赤色粘土粒少量/良好/橙	体部内面から口縁部外面は横ナデ。体部外面以下の器表は摩滅気味でナデとヘラナデの境は不明瞭。底部内面は丁寧なナデ。	
第299図 PL.479	5	土師器 杯	南西隅粒状礫集積部内 口縁部～底部	13.4			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第299図 PL.479	6	土師器 杯	東面土器集中部 3/4	13.7 5.0			細砂粒・粗砂粒/良好/赤褐	口縁部内面から体部外面は横ナデ。内面の横ナデ境は不明瞭。体部外面はナデ。底部外面はヘラナデに近い削り。体部内面は口縁部に向かい左傾の斜放射状ヘラ磨き。底部内面はナデ。	
第299図 PL.479	7	土師器 杯	東面土器集中部 3/4	15.4 6.6			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面はナデ。底部外面はヘラ削り。体部内面は口縁に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨き。底部内面はナデの後、4条ほどの放射状ヘラ磨き。	
第299図 PL.479	8	土師器 杯	P11南東 3/4	12.8 5.2			細砂粒/良好/赤褐	体部内面から口縁部外面は横ナデ。体部外面以下は横ナデ後のヘラナデ。ヘラナデは磨きに近く単位不明瞭。	
第299図 PL.479	9	土師器 杯	東面土器集中部 口縁部一部欠	13.5 5.2			粗砂粒/良好/橙	口縁部内面から体部外面は横ナデ。底部外面はヘラナデに近い削り。体部内面は口縁部に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨き。底部内面はナデ。	
第299図 PL.479	10	土師器 杯	南西隅埋土 1/3	13 6.3			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部はヘラナデ。	
第299図 PL.479	11	土師器 杯	東面土器集中部 3/4	13.2 5.1			細砂粒・粗砂粒/良好/明褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部上半に雑な斜放射状ヘラ磨き。	
第299図 PL.479	12	土師器 杯	東面土器集中部 2/3	12.6 5.3			細砂粒、大粒の赤色粘土粒少量/良好/橙	体部内面周縁から口縁部外面は横ナデ。底部外面はヘラ削り。底部内面中央は丁寧なナデ。	底部外面に黒斑。
第299図 PL.479	13	須恵器 杯身	東面土器集中部 口縁部欠	13			細砂粒・粗砂粒/酸化焰/にぶい黄褐	右回転のロクロ整形。底部外面は右回転のヘラ削り。外面の器表は黒色部分が多い。	焼し焼成。
第299図 PL.479	14	須恵器 杯身	P14東および南 口縁部1/4、 底部一部欠	11.7 6.5			細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰白	口径に対して器高のある器形。焼き締まりは弱い。ロクロ整形、回転方向不明。底部外面は右回転ヘラ削り。内面のロクロ目は顕著。口唇端部は丸みをもって作られている。	
第299図 PL.479	15	須恵器 高杯	西部S1下 口縁部小片	11.9			細砂粒/還元焰/灰	無蓋高杯の口縁部片か。口縁部は外反。口縁部下の外面に段を作るように2条の凸線を巡らせる。凸線下に波状文。下段突凸線の上に円形粘土板を貼付。残存が小片のため円形貼付文の数は不明。	
第299図 PL.479	16	須恵器 高杯	P9北西部 脚部片	10.5			細砂粒/還元焰/灰	右回転ロクロ整形。杯部とは貼付か。脚部に長方形1段の透孔が三方設けられている。端部は屈曲し、屈曲部に凸線を巡らす。	
第299図 PL.479	17	須恵器 高杯	南面ほぼ中央 脚部1/3	9.5			細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転方向不明。残存部両端は透孔部分。透孔は残存状態から幅広か。配置は矩形1段2方透孔か。端部は大きく屈曲し、屈曲部に2条の凸線が巡る。	
第299図 PL.479	18	須恵器 高杯	中央 脚部片	11.0			細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転方向不明。杯部とは脚部上端で接合。残存部両端は透孔部分。透孔幅は不明。残存状態から4方透孔か。脚部端部は屈曲し、屈曲部に凸線が巡る。	
第299図 PL.479	19	土師器 埴	P8南 完形	9.8 14.5	高 16.9		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部から胴部上位は横ナデ、胴部中位から底部は丁寧なヘラ削り。内面は口縁部が横ナデ。	
第299図 PL.479	20	土師器 高杯	東面土器集中部 完形	9 8.5	高 7.7		細砂粒・粗砂粒/良好/橙	杯部と脚部は接合か。杯部外面に輪積み痕が残る。杯部は口縁部が横ナデ、体部はヘラ削り後上半にナデ、接合力所から裾部は横ナデ。内面は杯部体部に斜放射状ヘラ磨き。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高	12.5 ～ 13.1			
第300図 PL.479	21	土師器 高杯	東面土器集中部 脚部一部欠	口 脚	17.6 12.3	高	12.5 ～ 13.1 細砂粒・大粒の赤 色粘土粒/良好/橙	口縁部内面から外面の稜線部は横ナデ。口縁部外面は縦位へら磨き。口縁部内面は端部に向かい左傾の斜放射状へら磨き。底部内面はナデ。底部外面はナデで、脚部境はハケメ。裾部は横ナデ。脚柱部外面は縦位へら磨き。脚柱部内面はへら削りの後に粘土ホゾをナデつける。	
第300図 PL.479	22	土師器 高杯	P11周辺 脚裾部欠	口	16.5		細砂粒/良好/橙	口縁部内面から外面の稜線部は横ナデ。口縁部内面は端部に向かい右傾の斜放射状へら磨き。裾部内面は横ナデ。脚柱部内面へら削りの後、粘土ホゾをナデつける。	一方の側面に 黒斑。
第300図 PL.480	23	土師器 高杯	東面土器集中部 杯部1/3欠	口 脚	18.4 12.5	高	12.8 細砂粒・大粒の赤 色粘土粒/良好/橙	口縁部内面から外面の稜線部は横ナデ。口縁部内面は端部に向かい左傾の斜放射状へら磨き。底部内面はナデ。脚部外面の器表は剥離。裾部内面は横ナデ。脚柱部内面は横位へら削りの後、粘土ホゾをナデつける。	
第300図 PL.480	24	土師器 高杯	東面土器集中部 1/2	口 脚	19.2 13.3	高	12.9 細砂粒、大粒の赤 色粘土粒/良好/明 赤褐	底部内面周縁から外面の稜線部は横ナデ。稜線上の立ち上がり部は部分的に横ナデで消しきれないハケメが残る。外面は縦位へら磨き。口縁部内面は左傾の斜放射状へら磨き。底部内外面はナデ。脚部外面は縦位へら磨き。裾部内面は横ナデで柱部内面はへら削りの後、粘土ホゾをナデつける。	
第300図 PL.480	25	土師器 高杯	東面土器集中部 脚裾部2/3欠、 杯部一部欠	口 脚	18.6 12.3	高	13.3 細砂粒、大粒の赤 色粘土粒少量/良 好/橙	口縁部は横ナデの後、外面は縦位のへら磨き。内面は口縁部に向かい右傾の斜放射状へら磨き。脚柱部外面は縦位へら磨き。裾部は横ナデ。脚柱部内面はへら削りの後、粘土ホゾをナデつける。	
第300図 PL.480	26	土師器 高杯	東面土器集中部 裾部ぼぼ欠	口 脚	18.9 12.0	高	13.3 細砂粒/良好/橙	口縁部内面から外面の稜線部は横ナデ。口縁部は端部に向かい左傾の斜放射状へら磨き。底部内面はナデ。底部外面はナデ。裾部は横ナデで、脚部外面は縦位へら磨き。脚柱部内面は横位へら削りの後、粘土ホゾをナデつける。	
第300図 PL.480	27	土師器 高杯	東面土器集中部 口縁部と脚部一 部欠	口 脚	18.3 12.0	高	13.7 細砂粒、大粒の赤 色粘土粒/良好/明 赤褐	内面底部境から外面の稜線部は横ナデの後、端部に向かい左傾の斜放射状へら磨き。外面の脚部境はハケメの後ナデ。脚部外面は密な縦位へら磨き。裾部内面は横ナデ。脚柱部内面はへら削りの後、粘土ホゾをナデつける。	口縁部内面の 1/2器表剥離。
第300図 PL.480	28	土師器 高杯	東面土器集中部 脚部一部欠	口 脚	19.0 12.7	高	12.7 細砂粒、大粒の赤 色粘土粒/良好/明 赤褐	脚部外面の器表はやや摩滅。底部内面周縁から外面稜線部は横ナデ。口縁部外面は縦位のへら磨き。口縁部内面は端部に向かい左傾の斜放射状へら磨き。底部内外面はナデ。裾部は横ナデ。口縁部外面下部の屈曲部外面と脚接合部外面に消しきれないハケメが一部残る。脚柱部内面はへら削りの後、粘土ホゾをナデつける。脚柱部外面にへら磨きらしき痕跡残る。	口縁外面に黒 斑。同方向の 裾部は欠損。
第301図 PL.480	29	土師器 高杯	東面土器集中部 2/3	口 脚	19.5 11.4	高	13.3 細砂粒、大粒の赤 色粘土粒/良好/橙	口縁部内面から外面の稜線部は横ナデ。口縁部外面は縦位へら磨き、外面は端部に向けて左傾の斜放射状へら磨き。脚部外面は縦位のへら磨き脚柱部内面は横位のへら削りの後、粘土ホゾをナデつける。	一方の口縁部 外面上半に黒 斑。
第301図 PL.480	30	土師器 高杯	東面土器集中部 口縁部一部欠	口 脚	19.2 12.2	高	13.6 細砂粒、大粒の赤 色粘土粒/良好/橙	内面底部境から外面の稜線部は横ナデの後、端部に向かい左傾の斜放射状へら磨き。内面の横ナデは上から3段のナデ上げ部が残る。脚部外面は密な縦位へら磨き。裾部内面は横ナデ。脚柱部内面はへら削りの後、粘土ホゾをナデつける。	器表部分的に 摩滅。
第301図 PL.481	31	土師器 高杯	東面土器集中部 脚部一部欠	口 脚	17.9 11.7	高	12.3 ～ 12.8 細砂粒、大粒の赤 色粘土粒/良好/橙	口縁部は横ナデで、内面横ナデの上から2段目と3段目はナデ上げる。外面は同一箇所最上段のみナデ上げる。口縁部外面は縦位へら磨き、内面は端部に向かい左傾の斜放射状へら磨き。脚柱部外面は縦位へら磨き。脚柱部内面はへら削りの後、粘土ホゾをナデつける。	
第301図 PL.481	32	土師器 高杯	東面土器集中部 完形	口 脚	18.0 12.1	高	12.7 細砂粒、大粒の赤 色粘土粒/良好/橙	口縁部内面から外面の稜線部は横ナデ。口縁部内外面は端部に向かい左傾の斜放射状へら磨き。底部内面はナデ。脚裾部は横ナデ。脚部外面は縦位へら磨き。脚柱部内面は横位へら削りの後、粘土ホゾをナデつける。	
第301図 PL.481	33	土師器 高杯	東面土器集中部 完形	口 脚	19.6 13.0	高	13.7 細砂粒、大粒の赤 色粘土粒/良好/橙	内面底部境から外面の稜線部は横ナデの後、端部に向かい左傾の斜放射状へら磨き。外面の下位はへら磨き後に1条の沈線。外面の脚部境はハケメの後ナデ。脚柱部外面はナデで、裾部は横ナデ。脚柱部内面はへら削りの後、粘土ホゾをナデつける。	
第301図 PL.481	34	土師器 高杯	東面土器集中部 脚部一部欠	口 脚	18.4 12.5	高	13.0 細砂粒・大粒の赤 色粘土粒/良好/橙	口縁部内面から外面の稜線部は横ナデ。口縁部内面は端部に向かい左傾の斜放射状へら磨き。底部内面はナデ。底部外面はナデ。脚部外面の器表はやや摩滅。裾部は横ナデ。裾部外面の一部にへら磨き残る。脚柱部内面は横位へら削りの後、粘土ホゾをナデつける。	
第301図 PL.481	35	土師器 高杯	東面土器集中部 3/4	口 脚	19.1 12.2	高	13.9 粗砂粒/良好/橙	内面底部境から外面の稜線部は横ナデの後、端部に向かい左傾の斜放射状へら磨き。内面の横ナデはナデ上げ部が残る。脚部外面は密な縦位へら磨き。裾部内面は横ナデ。脚柱部内面はへら削りの後、粘土ホゾをナデつける。	器表部分的に 摩滅。
第301図 PL.481	36	土師器 高杯	東面土器集中部 裾部1/3欠	口 脚	18.4 12.6	高	13.5 細砂粒・大粒の赤 色粘土粒/良好/橙	口縁部内面から外面の稜線部は横ナデ。口縁部は端部に向かい左傾の斜放射状へら磨き。底部内外面はナデ。裾部は横ナデで、脚部外面は縦位へら磨き。脚柱部内面は横位へら削りの後、粘土ホゾをナデつける。	器表はやや摩 滅。

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第302図 PL.481	37	土師器 高杯	東面土器集中部 一部欠	口 脚	18.2 12.6	高	12.7 ~ 13.4	細砂粒、大粒の赤 色粘土粒/良好/橙	口縁部内面から外面の稜線下部は横ナデ。口縁部内外面は 端部に向かい左傾の斜放射状へら磨き。底部内面はナデ。 杯部と脚部境付近にハケメが残る。脚裾部は横ナデ。脚部 外面は縦位へら磨き。脚柱部内面は横位へら削りの後、粘 土ホソをナデ付ける。	やや歪む。
第302図 PL.481	38	土師器 高杯	東面土器集中部 完形	口 脚	18.3 12.7	高	13.0 ~ 13.8	細砂粒、大粒の赤 色粘土粒/良好/橙	口縁部は内面から外面の稜線下は横ナデで、外面はナデ上 げ部が残る。口縁部内外面は端部に向かい左傾の斜放射状 へら磨き。脚柱部外面は縦位へら磨き。脚裾部は横ナデ。 脚柱部内面は横位へら削りの後、粘土ホソをナデ付ける。	やや歪む。
第302図 PL.482	39	土師器 高杯	東面土器集中部 口縁部一部欠	口 脚	18.6 12.3	高	13.3	大粒の赤色粘土粒 多量/良好/橙	内外面の器表1/2程は器表摩滅。口縁部内面から外面稜線部 下は横ナデ。底部外面から脚柱部外面はナデ。裾部は横ナデ。 脚柱部内面は横位へら削りの後、粘土ホソをナデつける。	
第302図 PL.482	40	土師器 高杯	東面土器集中部 一部欠	口 脚	18.8 12.1	高	12.9	細砂粒、大粒の赤 色粘土粒/良好/橙	口縁部は内面から外面の稜線下部は横ナデ。口縁部内外面 は端部に向かい左傾の斜放射状へら磨き。脚柱部外面はナ デで、裾部は横ナデ。柱部内面は横位へら削りの後、粘土 ホソをナデ付ける。	器表は部分的 に摩滅。
第302図	41	土師器 高杯	東面土器集中部 杯部底部~口縁 部下半片					細砂粒/良好/明赤 褐	内面に輪積み痕が残る。底部はへらナデ、一部にハケメ痕 が残る、口縁部は放射状へら磨き。内面は口唇部に斜放射 状へら磨き。	
第302図 PL.482	42	土師器 高杯	P2南部 脚部	脚	13.8			細砂粒/良好/明赤 褐	外面は縦位のへら磨き。裾部内面は横ナデ。柱部内面はへ ら削り。	
第302図 PL.482	43	土師器 高杯	南西隅 脚下半3/4欠	脚	10.9			細砂粒/良好/橙	裾部は横ナデ。脚部外面は縦位へら磨き。脚柱部内面は横 位へら削りの後、粘土ホソをナデつける。	
第302図 PL.482	44	土師器(ロ クロ土師器) 小型壺	P10北脇 底部一部欠	口	10.7			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい赤褐	胴部内面から胴部外面はロクロ整形。底部外面はへら削り。底 部内面はナデか。胴部内外面の整形が他の土師器とは異なる。	
第302図 PL.482	45	土師器(ロ クロ土師器) 小型壺	東面土器集中部 胴部一部欠	口 高	12.3 9.8			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい赤褐	回転方向不明のロクロ整形か。胴部外面中位は稜をなす。 底部外面は左回転へら削り。胴部内面中位以下はナデ。外 面器表は1/2ほどが剥離。	
第302図 PL.482	46	土師器(ロ クロ土師器) 小型壺	東面土器集中部 口縁部一部欠	口 高	12.3 9.5			細砂粒/良好/明赤 褐	ロクロ整形、回転は右回り。口縁端部には内傾する平坦面 をつくり、端部はシャープ。底部から胴部下位はへら削り。	
第302図 PL.482	47	須恵器 甕	P1東側 底部~胴部片	胴	20.8			細砂粒/還元焰/灰	外面は格子目状叩き痕を横ナデが帯状にナデ消している。 内面はアテ具痕はナデ消されている。	内面底部に降 灰が付着。
第302図 PL.482	48	土師器 壺	南西隅粒状礫集 積部内 胴部1/4欠	口 高	11.8~ 412.6 16.9			細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/明赤褐	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部は上 位と中位がへらナデ、下位からへら削り。内面は底部から 胴部にかけてへらナデ、器面摩滅のため単位不明。	
第303図 PL.482	49	土師器 甕	南西隅 1/2	口 底	27.2 9.8	高	29.3	細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/浅黄	口縁部は横ナデ、胴部はへら削り。内面は胴部に木目痕が 残るへらによるへらナデ。	
第303図	50	土師器 甕	南東部 口縁部1/4	口	23.6			細砂粒・粗砂粒/ 良好/明褐	内外面共に器表の剥離が著しく、口縁部外面の器表が一部 残る。口縁部外面は横ナデ。	器表の剥離が 著しい。
第303図	51	土師器 甕	東面土器集中部 口縁部片	口	24.2			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	内外面共に器表の剥離が著しい。	52と同一個体 か。
第303図	52	土師器 甕	東面土器集中部 口縁部~胴部上 位1/4	口	24.8			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	内外面共に器表の剥離が著しい。	51と同一個体 か。
第303図 PL.483	53	石製品 子持勾玉	南面ほぼ中央 ほぼ完形	長 幅	8.2 4.3	厚 重	3.4 108.4	滑石	灰白色。表裏面及び側面部は全体的に多くの刀子等工具に よる作出面で構成されている。この作出面の一部には、縦 方向に直交する直線的な痕跡が認められる。孔は中央付近 が狭くなっており両面穿孔と考えられる。発掘調査時に近 接して検出された微細剥片が接合する。剥離面の観察から 意図して剥離された可能性が想定される。孔径約6mm。	子持勾玉 剥片1点接合
第303図 PL.483	54	石製品 石製模造品	東南部白玉集積部 ほぼ完形	長 幅	5.6 2.3	厚 重	0.4 9.0	滑石	オリープ灰色。表裏面は横~斜め方向の擦痕が認められる。 側面部にも全体的に擦痕が認められる。折断面で2点が接 合した資料であり、この折断は裏面側から表面側に進行し ている。上下の孔径約2mm。	2点接合 剣形
第303図 PL.483	55	石製品 石製模造品	東南部白玉集積部 4/5	長 幅	(5.4) 2.9	厚 重	0.6 18.6	滑石	灰白色。表裏面は横~斜め方向の擦痕が認められる。側面 部にも全体的に擦痕が認められる。表面の左側縁上方には 刀子等工具による作出面が2面認められる。裏面中央の右 側面との境界の稜上に刀子等工具による作出面が認められ る。裏面の上下の孔の周囲は広がった状態であり表面から の穿孔の際に裏面側が破碎したものと考えられる。上下の 孔径約2mm。	剣形
第303図 PL.483	56	石製品 石製模造品	東南部白玉集積部 4/5	長 幅	7.1 2.7	厚 重	0.6 16.9	滑石	灰白色。4点が折断面で接合した資料である。表裏面は斜 め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認 められる。表面の右側縁には刀子等工具による作出面が累 積する。裏面の右側縁下方にも刀子等工具による作出面が 認められる。上下の孔径約2mm。	剣形
第303図 PL.483	57	石製品 石製模造品	東南部白玉集積部 4/5	長 幅	5.0 2.5	厚 重	0.5 11.1	滑石	灰白色。表裏面は横~斜め方向の擦痕が認められる。側面 部にも全体的に擦痕が認められる。中央の折断面で2点が 接合した資料であり、この折断は裏面側から表面側に進行 している。上下の孔径約2mm。	2点接合 剣形
第303図 PL.483	58	石製品 石製模造品	東南部白玉集積部 4/5	長 幅	4.9 (2.1)	厚 重	0.4 6.4	滑石	灰白色。折断面で3点が接合した資料であり、この折断は表 面側から裏面側に進行している。表裏面は横~斜め方向の擦 痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表 面右側縁と側面部との境界の稜上には刀子等工具による作 出面が累積する。裏面左側縁と側面部との境界の稜上には刀 子等工具による作出面が認められる。上下の孔径約2mm。	3点接合 剣形

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				長 幅	厚 重					
第303図 PL.483	59	石製品 石製模造品	東南部白玉集積部 完形	長幅	5.0 2.2	厚重	0.4 9.3	滑石	灰白色。中央の折断面で2点が接合した資料である。この折断は表面側から裏面側に進行している。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。上下の孔は表面側が広がっており裏面からの穿孔の際に表面側が破砕したものと考えられる。上下の孔径約2mm。	2点接合 剣形
第304図 PL.483	60	石製品 石製模造品	東南部白玉集積部 完形	長幅	4.8 2.9	厚重	0.6 11.3	滑石	灰オリーブ色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。中央の折断面で2点が接合した資料であり、この折断は表面側から裏面側に進行している。裏面の中央に刀子等工具による作出面が3面認められる。上下の孔径約2mm。	2点接合 剣形
第304図 PL.483	61	石製品 石製模造品	東南部白玉集積部 不明	長幅	(3.9) (2.3)	厚重	(0.5) 7.3	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。中央の折断面で2点が接合した資料であり、この折断は表面側から裏面側に進行している。表面の左右両側縁に刀子等工具による作出面が認められる。孔径約2mm。	2点接合 剣形
第304図 PL.483	62	石製品 石製模造品	東南部白玉集積部 2/3	長幅	(4.1) 2.1	厚重	0.5 6.6	滑石	灰白色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の左側縁には刀子等工具による作出面が累積する。裏面の右側縁上方には刀子等工具による作出面が認められる。孔径約2mm。	剣形
第304図 PL.483	63	石製品 石製模造品	東南部白玉集積部 ほぼ完形	長幅	(4.0) 2.3	厚重	0.5 5.9	滑石	灰オリーブ色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の右側縁、裏面の中央と左側縁上方、右側面上方には刀子等工具による作出面が認められる。上下の孔径約2mm。	剣形
第304図 PL.483	64	石製品 石製模造品	東南部白玉集積部 1/2	長幅	(3.8) (2.3)	厚重	0.5 6.5	滑石	灰白色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の右側縁、裏面右側縁と側面部との境界の稜上には刀子等工具による作出面が認められる。表面の孔の周囲は広がった状態であり裏面からの穿孔の際に表面側が破砕したものと考えられる。孔径約2mm。	剣形
第304図 PL.483	65	石製品 石製模造品	東南部白玉集積部 4/5	長幅	(4.5) 2.7	厚重	0.5 8.2	滑石	灰白色。表裏面は縦方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。中央の折断面で2点が接合した資料であり、この折断は表面側から裏面側に進行している。上下の孔径約2mm。	2点接合 剣形
第304図 PL.483	66	石製品 石製模造品	東南部白玉集積部 完形	長幅	4.1 3.1	厚重	0.5 7.6	滑石	灰白色。折断面で3点が接合した資料であり、この折断は表面側から裏面側に進行している可能性が高い。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の左側縁には刀子等工具による作出面が1面認められる。裏面の右側縁下方には刀子等工具による作出面が2面認められる。上下の孔は裏面側が広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したものと考えられる。上下の孔径約2mm。	3点接合 剣形
第304図 PL.483	67	石製品 石製模造品	東南部白玉集積部 完形	長幅	4.7 2.7	厚重	0.5 10.0	滑石	灰白色。表裏面は縦～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の左側縁下方には刀子等工具による断面V字形の溝状作出痕が認められる。上下の孔径約2mm。	剣形
第304図 PL.483	68	石製品 石製模造品	東南部白玉集積部 完形	長幅	3.4 2.6	厚重	0.4 6.0	滑石	灰オリーブ色。折断面で2点が接合した資料であり、この折断は裏面側から表面側に進行している。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。上下の孔は裏面側が広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したものと考えられる。上下の孔径約2mm。	2点接合 剣形
第304図 PL.483	69	石製品 石製模造品	東南部白玉集積部 4/5	長幅	(3.7) 2.4	厚重	0.6 6.2	滑石	灰オリーブ色。折断面で2点が接合した資料であり、この折断は裏面側から表面側に進行している。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面左側縁と側面部との境界の稜上には刀子等工具による作出面が1面認められる。上下の孔径約2mm。	2点接合 剣形
第304図 PL.483	70	石製品 石製模造品	東南部白玉集積部 完形	長幅	3.5 2.8	厚重	0.5 9.7	滑石	灰白色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。裏面の上下の孔の周囲は広がった状態であり表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したものと考えられる。上下の孔径約2mm。	剣形
第304図 PL.483	71	石製品 石製模造品	東南部白玉集積部 4/5	長幅	(3.4) 2.2	厚重	0.4 4.5	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。裏面の右側端には刀子等工具による作出面が2面認められる。上下の孔径約2mm。	剣形
第304図 PL.483	72	石製品 石製模造品	東南部白玉集積部 完形	長幅	3.1 2.3	厚重	0.5 4.5	滑石	灰白色。折断面で2点が接合した資料であり、この折断は裏面側から表面側に進行している。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも擦痕が認められる。表面の左側縁上方には刀子等工具による作出面が2面認められる。上下の孔は裏面側が広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したものと考えられる。上下の孔径約2mm。	剣形
第304図 PL.483	73	石製品 石製模造品	東南部白玉集積部 4/5	長幅	(3.1) 2.4	厚重	0.5 6.6	滑石	灰白色。表裏面は斜め方向の擦痕がわずかに認められる。側面部にもわずかに擦痕が認められる。全体的に擦痕の残存状況は悪く摩滅したような表面状況である。表面の下方には刀子等工具による断面V字形の作出痕が認められる。上下の孔径約2mm。	剣形
第304図 PL.483	74	石製品 石製模造品	東南部白玉集積部 完形	長幅	2.8 1.9	厚重	0.5 4.8	滑石	暗オリーブ灰色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	剣形
第304図 PL.483	75	石製品 石製模造品	東南部白玉集積部 不明	長幅	(2.7) (2.3)	厚重	(0.5) 3.5	滑石	灰白色。折断面で2点が接合した資料である。接合面の観察からは折断方向は不明である。他の折断面についても折断方向は不明である。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	剣形

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				長 幅	厚 重	(0.4) 2.3				
第304図 PL.483	76	石製品 石製模造品	東南部白玉集積部 1/2	長 幅	(2.3) (2.0)	厚 重	(0.4) 2.3	滑石	灰白色。折断面で2点が接合した資料である。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも擦痕が認められる。孔径約2mm。	2点接合 剣形
第304図 PL.483	77	石製品 石製模造品	東南部白玉集積部 不明	長 幅	(3.0) (2.0)	厚 重	0.5 4.6	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の左側縁には刀子等工具による作出面が2面認められる。孔径約2mm。	2点接合 剣形
第304図 PL.483	78	石製品 石製模造品	東南部白玉集積部 完形	長 幅	3.2 1.9	厚 重	0.5 5.3	滑石	灰オリーブ色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の右側端には刀子等工具による作出面が認められる。孔径約2mm。	半円形
第304図 PL.483	79	石製品 石製模造品	東南部白玉集積部 完形	長 幅	2.8 1.7	厚 重	0.5 4.5	滑石	灰オリーブ色。表裏面は縦～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	半円形
第304図 PL.483	80	石製品 石製模造品	東南部白玉集積部 2/3	長 幅	(2.2) (1.7)	厚 重	0.3 1.2	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。表裏面、側面部には擦痕は認められず全体的に摩滅したような表面状況である。表裏面の孔径約2mm。	半円形
第304図 PL.483	81	石製品 石製模造品	建物南面ほぼ中央 完形	長 幅	2.7 1.6	厚 重	0.5 3.7	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも擦痕が認められる。表面の下側縁、裏面の左側縁には刀子等工具による作出面が認められる。孔径約2mm。	半円形
第304図 PL.483	82	石製品 石製模造品	東南部白玉集積部 完形	長 幅	(2.6) (1.6)	厚 重	(0.5) 3.9	滑石	折断。	剣形
第304図 PL.483	83	石製品 石製模造品	東南部白玉集積部 4/5	長 幅	(4.3) 2.6	厚 重	0.6 11.4	滑石	灰白色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。上下の孔径約2mm。	剣形
第304図 PL.483	84	石製品 石製模造品	東南部白玉集積部 不明	長 幅	(2.9) (1.8)	厚 重	0.5 2.7	滑石	にぶい黄褐色。表裏面共にほぼ平坦でありわずかに斜め方向の擦痕が認められる。孔は裏面側でその周辺部がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に裏面側が破砕した可能性がある。孔径約2mm。	不明
第304図 PL.483	85	石製品 石製模造品	東南部白玉集積部 完形	長 幅	2.3 1.5	厚 重	0.4 2.5	滑石	灰オリーブ色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも擦痕が認められる。孔径約2mm。	不明
第304図 PL.483	86	石製品 石製模造品	東南部白玉集積部 完形	長 幅	2.2 1.6	厚 重	0.5 2.4	滑石	灰オリーブ色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも擦痕が認められる。孔は裏面側が広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したものと考えられる。孔径約2mm。	不明
第304図 PL.483	87	石製品 石製模造品	南面ほぼ中央 完形	長 幅	2.0 1.4	厚 重	0.5 2.1	滑石	灰白色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	不明
第304図 PL.483	88	石製品 剥片(磨製 石鏃)	東南部白玉集積部 不明	長 幅	(2.6) (1.8)	厚 重	(0.1) 0.2	珪質準片岩	暗緑灰色。表裏面ともに非常に滑らかであり研磨整形されている。表裏面の下側縁には細かい線条痕が認められ研磨により鋭角に整形されている。右側面は比較的滑らかであり研磨整形されている可能性が高い。磨製石鏃製作途上に生じた資料と考えられる。	
第304図 PL.483	89	石製品 剥片(磨製 石鏃)	東南部白玉集積部 不明	長 幅	(1.9) (1.0)	厚 重	(0.2) 0.3	珪質準片岩	暗緑灰色。表裏面ともに非常に滑らかであり研磨整形されている可能性がある。側面はすべて折断面である。磨製石鏃製作途上に生じた資料と考えられる。	
第304図 PL.483	90	石製品 砥石	東南部白玉集積部 ほぼ完形	長 幅	8.3 (6.3)	厚 重	1.8 127.3	粗粒輝石安山岩	表面は全体的に滑らかであり砥面と判断され線条痕がわずかに認められる。裏面も砥面と判断される。全体的に滑らかであるが研ぎ残りの粗い部分がモザイク状に認められる。右側面と上下小口面は滑らかな部分とわずかに認められるが砥面であるか判断できない。	
第305図 PL.483	92	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.2	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第305図 PL.483	93	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.7 0.8	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第305図 PL.483	94	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第305図 PL.483	95	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.3 0.2	蛇紋岩	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがありわずかにあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第305図 PL.483	96	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第305図 PL.483	97	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.8 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第305図 PL.483	98	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.3 0.2	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第305図 PL.483	99	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.3 0.2	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第305図 PL.483	100	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	暗灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第305図 PL.483	101	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.3 0.2	蛇紋岩	暗灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重				
第305図 PL.483	102	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	厚 重	0.3 0.1	蛇紋岩	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第305図 PL.483	103	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	厚 重	0.6 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあるが斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第305図 PL.483	104	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあるが斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第305図 PL.483	105	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.2	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第305図 PL.483	106	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.6 0.6	厚 重	0.5 0.2	滑石	オリーブ灰色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第305図 PL.483	107	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.8	厚 重	0.6 0.5	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第305図 PL.483	108	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第305図 PL.483	109	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.2	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第305図 PL.483	110	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.2	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあるが斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第305図 PL.483	111	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.2	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあるが斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第305図 PL.483	112	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.6 0.6	厚 重	0.2 0.1	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第305図 PL.483	113	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	厚 重	0.3 0.2	滑石	暗灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	
第305図 PL.483	114	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.6	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したと考えられる。孔径約2mm。	
第305図 PL.483	115	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.6	厚 重	0.4 0.2	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	
第305図 PL.483	116	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.6 0.6	厚 重	0.3 0.2	蛇紋岩	緑黒色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第305図 PL.483	117	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.6 0.6	厚 重	0.3 0.1	蛇紋岩	緑黒色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第305図 PL.483	118	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.2	蛇紋岩	緑灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第305図 PL.483	119	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.2	蛇紋岩	緑灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第305図 PL.483	120	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあるが斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第305図 PL.483	121	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.2	蛇紋岩	暗灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面には複数の作出面がありそれぞれの作出面には横～斜め方向の擦痕が認められるが縦方向の擦痕がある作出面が1面認められる。孔径約2mm。	
第305図 PL.483	122	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	蛇紋岩	緑灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したと考えられる。孔径約2mm。	
第305図 PL.483	123	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	厚 重	0.2 0.1	蛇紋岩	緑灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく擦痕は認められない。孔径約2mm。	
第305図 PL.483	124	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	厚 重	0.2 0.1	蛇紋岩	緑灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	
第305図 PL.483	125	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.6 0.6	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重				
第305図 PL.483	126	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.6 0.6	0.3 0.2	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。		
第305図 PL.483	127	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.6	0.4 0.2	滑石	黒色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあるが斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第305図 PL.483	128	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.8	0.6 0.5	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔は内部下端近くに段差が認められる。平面形は楕円状を呈する。孔径約2mm。		
第305図 PL.483	129	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	0.5 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第305図 PL.483	130	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	0.4 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したと考えられる。孔径約2mm。		
第305図 PL.483	131	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.6 0.6	0.5 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第305図 PL.483	132	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.6 0.6	0.5 0.3	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第305図 PL.483	133	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	0.5 0.3	滑石	にぶい黄橙色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面は凹凸があり擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第305図 PL.483	134	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.6	0.6 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したと考えられる。孔径約2mm。		
第305図 PL.483	135	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	0.4 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第305図 PL.483	136	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.6 0.7	0.3 0.2	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第305図 PL.483	137	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	0.4 0.3	滑石	緑黒色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔は内部下端近くに段差が認められる。孔径約2mm。		
第305図 PL.483	138	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	0.6 0.5	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第305図 PL.483	139	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.8 0.7	0.5 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第305図 PL.4830	140	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	0.5 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第305図 PL.483	141	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	0.3 0.3	滑石	緑黒色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第305図 PL.483	142	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	0.7 0.5	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第305図 PL.483	143	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.8	0.6 0.5	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。平面形は楕円状を呈する。孔径約2mm。		
第305図 PL.483	144	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	0.4 0.4	滑石	オリーブ灰色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第305図 PL.4830	145	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.6 0.6	0.3 0.2	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第305図 PL.483	146	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	0.3 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第305図 PL.483	147	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	0.3 0.3	滑石	緑黒色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第305図 PL.483	148	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	0.6 0.6	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重				
第305図 PL.483	149	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.3 0.2	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約3mm。
第305図 PL.483	150	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがわずかにあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第305図 PL.483	151	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第305図 PL.483	152	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	オリーブ灰色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は凹凸があり擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第305図 PL.483	153	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.6 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがわずかにあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第305図 PL.483	154	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第305図 PL.483	155	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがわずかにあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第305図 PL.483	156	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第305図 PL.483	157	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.3 0.2	滑石	暗灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがわずかにあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第306図 PL.483	158	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第306図 PL.483	159	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.2	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は凹凸があり擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第306図 PL.483	160	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第306図 PL.483	161	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがわずかにあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第306図 PL.483	162	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがわずかにあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第306図 PL.483	163	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがわずかにあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第306図 PL.484	164	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.7 0.6	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第306図 PL.484	165	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.6 0.7	厚 重	0.3 0.2	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。平面形は楕円状を呈する。孔径約2mm。
第306図 PL.484	166	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.4	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがわずかにあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第306図 PL.484	167	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがわずかにあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第306図 PL.484	168	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	蛇紋岩	暗灰色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがわずかにあり横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第306図 PL.484	169	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがわずかにあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第306図 PL.484	170	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.3 0.2	蛇紋岩	暗灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第306図 PL.484	171	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.7 0.5	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第306図 PL.484	172	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	オリーブ灰色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重				
第306図 PL.484	173	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第306図 PL.484	174	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.8	厚 重	0.4 0.4	滑石	オリブ灰色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したと考えられる。孔径約2mm。	
第306図 PL.484	175	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.8 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したと考えられる。孔径約2mm。	
第306図 PL.484	176	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.2	蛇紋岩	暗灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第306図 PL.484	177	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.8	厚 重	0.6 0.6	滑石	オリブ灰色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第306図 PL.484	178	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	厚 重	0.6 0.5	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第306図 PL.484	179	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.6	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔は内部下端近くに段差が認められる。孔径約2mm。	
第306図 PL.484	180	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.8	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第306図 PL.484	181	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.6 0.6	厚 重	0.3 0.1	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第306図 PL.484	182	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第306図 PL.484	183	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	オリブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第306図 PL.484	184	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.6	厚 重	0.4 0.3	滑石	緑黒色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第306図 PL.4840	185	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第306図 PL.484	186	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第306図 PL.484	187	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.2	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第306図 PL.484	188	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	厚 重	0.3 0.2	滑石	オリブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第306図 PL.484	189	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	厚 重	0.6 0.6	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第306図 PL.484	190	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は凹凸があり擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第306図 PL.484	191	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.8	厚 重	0.3 0.2	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第306図 PL.484	192	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.2	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第306図 PL.484	193	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.2	蛇紋岩	緑黒色。表面は凹凸があり擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第306図 PL.484	194	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.8	厚 重	0.3 0.2	蛇紋岩	緑黒色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔は内部下端近くに段差が認められる。孔径約2mm。	
第306図 PL.484	195	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔は内部下端近くに段差が認められる。孔径約2mm。	
第306図 PL.484	196	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	0.6 0.6	厚 重	0.5 0.3	滑石	オリブ灰色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重	0.4 0.3			
第306図 PL.484	197	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長幅 0.7	厚重 0.7	0.4 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第306図 PL.484	198	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長幅 0.6	厚重 0.6	0.4 0.2	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第306図 PL.484	199	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長幅 0.7	厚重 0.7	0.4 0.3	蛇紋岩	緑灰色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第306図 PL.484	200	石製品 白玉	東南部白玉集積部 完形	長幅 0.7	厚重 0.8	0.7 0.6	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第306図 PL.484	201	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.4	厚重 1.0	0.7 1.3	砂岩	灰色。小形の円礫。全体的に非常に滑らかであり部分的に光沢がある。	
第306図 PL.484	202	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.5	厚重 0.7	0.5 0.6	チャート	灰褐色。小形の垂円礫。全体的に非常に滑らかであり光沢がある。	
第306図 PL.484	203	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.9	厚重 1.1	0.6 1.7	砂岩	灰白色。小形の円礫。全体的に非常に滑らかである。	
第306図 PL.484	204	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.0	厚重 0.5	0.7 0.1	不明	灰白色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第306図 PL.484	205	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 0.7	厚重 0.5	0.4 0.2	流紋岩	灰白色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第306図 PL.484	206	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.0	厚重 0.7	0.5 0.6	チャート	黒色。小形の円礫。全体的に非常に滑らかであり光沢がある。	
第306図 PL.484	207	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.7	厚重 1.2	0.8 1.9	チャート	灰白色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第306図 PL.484	208	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 0.8	厚重 0.6	0.4 0.3	珪質頁岩	灰色。小形の円礫。全体的に非常に滑らかであり部分的に光沢がある。	
第306図 PL.484	209	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.3	厚重 0.9	0.5 0.8	チャート	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第306図 PL.484	210	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.2	厚重 0.7	0.5 0.4	チャート	灰白色。小形の垂円礫。部分的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第306図 PL.484	211	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.5	厚重 1.1	0.7 1.7	砂岩	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第306図 PL.484	212	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.2	厚重 0.6	0.5 0.4	不明	灰色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第306図 PL.484	213	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.2	厚重 0.7	0.6 0.8	チャート	暗赤褐色。小形の垂円礫。全体的に非常に滑らかでありわずかに光沢がある。	
第306図 PL.484	214	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.3	厚重 0.9	0.6 1.1	チャート	灰色。小形の円礫。全体的に非常に滑らかであり光沢がある。	
第306図 PL.484	215	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.1	厚重 0.6	0.4 0.3	チャート	灰色。小形の垂円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第306図 PL.484	216	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.8	厚重 1.4	1.3 4.7	チャート	黄褐色。小形の円礫。全体的に非常に滑らかでありわずかに光沢がある。	
第306図 PL.484	217	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.1	厚重 0.6	0.5 0.4	チャート	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第306図 PL.484	218	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 0.5	厚重 1.4	0.4 0.1	チャート	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第306図 PL.484	219	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.0	厚重 0.8	0.5 0.4	砂岩	灰色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第306図 PL.484	220	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 0.8	厚重 0.6	0.3 0.2	砂岩	灰色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第306図 PL.484	221	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.8	厚重 1.1	1.0 2.1	流紋岩	黄褐色。小形の極円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。	
第306図 PL.484	222	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.0	厚重 0.6	0.4 0.3	不明	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。	被膜
第306図 PL.484	223	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.6	厚重 0.8	0.6 0.9	不明	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。	被膜
第306図 PL.484	224	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.9	厚重 0.9	0.6 1.2	不明	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。	被膜
第306図 PL.484	225	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 0.9	厚重 0.6	0.4 0.3	チャート	灰白色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。	被膜
第306図 PL.484	226	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.6	厚重 1.2	0.8 1.7	不明	灰白色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第306図 PL.484	227	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.7	厚重 1.0	0.5 1.4	チャート	黒色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。	被膜
第306図 PL.484	228	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.2	厚重 0.7	0.6 0.7	不明	灰白色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。	被膜
第306図 PL.484	229	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.0	厚重 0.6	0.5 0.5	チャート	にぶい赤褐色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。	
第306図 PL.484	230	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.1	厚重 0.9	0.7 0.9	不明	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。	被膜
第306図 PL.484	231	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.1	厚重 0.7	0.5 0.5	流紋岩	灰色。小形の円礫。全体的に非常に滑らかであり光沢がある。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重	1.0 3.2			
第306図 PL.484	232	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.8 1.4	厚 重	1.0 3.2	溶結凝灰岩	暗褐色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。	
第306図 PL.484	233	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.0 0.7	厚 重	0.5 0.4	不明	灰白色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第307図 PL.484	234	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.7 1.0	厚 重	0.7 1.5	不明	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	235	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.5 0.5	厚 重	0.5 0.6	黒色安山岩	黒色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。	
第307図 PL.484	236	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.1 0.7	厚 重	0.5 0.4	不明	灰白色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第307図 PL.484	237	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	0.9 0.5	厚 重	0.3 0.2	不明	灰白色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	238	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	2.6 1.0	厚 重	1.0 4.3	砂岩	黒褐色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第307図 PL.484	239	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	0.8 0.7	厚 重	0.4 0.2	不明	灰白色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	240	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.3 1.0	厚 重	0.7 1.3	チャート	灰白色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	241	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.1 0.9	厚 重	0.7 0.7	砂岩	灰白色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第307図 PL.484	242	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	0.9 0.8	厚 重	0.5 0.4	砂岩	灰色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。	
第307図 PL.484	243	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	0.6 0.5	厚 重	0.4 0.1	砂岩	灰色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第307図 PL.484	244	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	0.9 0.8	厚 重	0.5 0.4	チャート	灰白色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。	
第307図 PL.484	245	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.2 1.1	厚 重	0.5 0.9	チャート	灰色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第307図 PL.484	246	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.3 1.2	厚 重	0.7 1.2	チャート	灰白色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	247	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.1 0.8	厚 重	0.6 0.6	チャート	灰白色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	248	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	0.6 0.6	厚 重	0.3 0.2	チャート	灰色。小形の垂円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	249	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.2 0.8	厚 重	0.4 0.5	不明	灰白色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。	
第307図 PL.484	250	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	3.0 1.9	厚 重	0.7 4.9	粗粒輝石安山岩	赤褐色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第307図 PL.484	251	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.3 0.8	厚 重	0.5 0.6	チャート	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	252	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	0.9 0.9	厚 重	0.5 0.3	チャート	暗褐色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。	
第307図 PL.484	253	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.2 0.8	厚 重	0.4 0.6	チャート	灰色。小形の垂円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	254	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 1/2	(1.1) (1.0)	厚 重	(1.2) 0.8	チャート	灰色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第307図 PL.484	255	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	0.8 0.6	厚 重	0.5 0.3	砂岩	灰色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第307図 PL.484	256	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.8 1.1	厚 重	0.5 1.4	砂岩	暗褐色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。	
第307図 PL.484	257	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.8 1.0	厚 重	0.7 1.7	チャート	黒褐色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第307図 PL.484	258	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	0.9 0.5	厚 重	0.5 0.3	流紋岩	暗褐色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。	
第307図 PL.484	259	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	0.9 0.7	厚 重	0.6 0.5	チャート	灰色。小形の垂円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	260	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.3 1.1	厚 重	0.8 1.5	チャート	暗褐色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	261	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	0.9 0.7	厚 重	0.4 0.3	砂岩	灰色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。	
第307図 PL.484	262	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	0.7 0.7	厚 重	0.6 0.4	砂岩	灰白色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	263	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.3 1.1	厚 重	0.8 1.6	珪質頁岩	黒色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。	
第307図 PL.484	264	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.1 0.9	厚 重	0.5 0.7	チャート	灰白色。小形の円礫。全体的に滑らかであり光沢がある。	
第307図 PL.484	265	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	0.6 0.4	厚 重	0.4 0.1	チャート	暗灰色。小形の円礫。全体的に滑らかであり光沢がある。	
第307図 PL.484	266	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.0 0.7	厚 重	0.6 0.5	珪質頁岩	灰色。小形の円礫。全体的に滑らかであり光沢がある。	
第307図 PL.484	267	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.0 0.8	厚 重	0.6 0.5	チャート	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	268	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.0 0.6	厚 重	0.4 0.3	チャート	暗褐色。小形の垂円礫。全体的に滑らかであり光沢がある。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第307図 PL.484	269	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 0.7	厚 0.4	重 0.1	チャート	黒色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	270	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.5	厚 1.0	重 0.6	チャート	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	271	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 0.7	厚 0.5	重 0.3	不明	灰色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	272	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.6	厚 1.0	重 0.8	チャート	灰色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	273	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.4	厚 0.8	重 0.7	不明	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われている。光沢がない。	被膜
第307図 PL.484	274	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 0.7	厚 0.5	重 0.2	チャート	赤褐色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。	
第307図 PL.484	275	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 0.5	厚 0.4	重 0.3	チャート	灰色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	276	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 2.8	厚 1.2	重 0.8	砂岩	黒褐色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第307図 PL.484	277	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 0.9	厚 0.8	重 0.5	チャート	灰色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	278	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 0.6	厚 0.6	重 0.5	チャート	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	279	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 2.2	厚 1.1	重 1.0	珪質頁岩	灰白色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	280	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.7	厚 0.8	重 0.7	チャート	暗灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われている。光沢がない。	被膜
第307図 PL.484	281	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.8	厚 0.9	重 0.5	流紋岩	灰色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	282	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 0.8	厚 0.6	重 0.4	不明	灰白色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第307図 PL.484	283	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 0.6	厚 0.6	重 0.4	流紋岩	灰色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	284	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.1	厚 0.7	重 0.5	チャート	暗灰色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	285	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 0.8	厚 0.5	重 0.3	砂岩	灰白色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。	
第307図 PL.484	286	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 0.6	厚 0.5	重 0.3	チャート	暗灰色。小形の円礫。全体的に非常に滑らかであり光沢がある。	
第307図 PL.484	287	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.6	厚 1.1	重 0.7	チャート	灰白色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	288	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 0.9	厚 0.7	重 0.5	かこう岩	灰白色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	289	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 0.9	厚 0.9	重 0.6	チャート	灰色。小形の垂円礫。部分的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	290	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 0.9	厚 0.6	重 0.5	チャート	灰白色。小形の垂円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	291	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.0	厚 0.8	重 0.6	チャート	灰白色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	292	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.5	厚 1.3	重 0.8	チャート	黒褐色。小形の円礫。全体的に非常に滑らかであり光沢がある。	
第307図 PL.484	293	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.1	厚 0.8	重 0.5	チャート	灰色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。	
第307図 PL.484	294	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 2.6	厚 1.8	重 1.5	チャート	灰色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第307図 PL.484	295	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.1	厚 0.8	重 0.5	珪質頁岩	灰白色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	296	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.6	厚 1.1	重 0.8	砂岩	灰黄色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	297	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 0.6	厚 0.5	重 0.3	不明	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	298	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.1	厚 0.6	重 0.4	チャート	灰色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	299	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.0	厚 0.8	重 0.7	圧砕岩?	灰色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	300	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.6	厚 1.4	重 0.7	チャート	灰色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第307図 PL.484	301	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.3	厚 0.9	重 0.7	チャート	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われている。光沢がない。	被膜
第307図 PL.484	302	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.0	厚 0.5	重 0.3	チャート	暗灰色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	303	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 1/2	長幅 (1.7) (0.8)	厚 0.9	重 0.5	チャート	暗灰色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	304	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.7	厚 0.9	重 0.4	緑色片岩	黒褐色。小形の円礫。表面は全体的にザラザラしている。	
第307図 PL.484	305	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 0.9	厚 0.9	重 0.5	チャート	灰色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜

挿 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考
				長 幅	厚 重	0.4 0.1			
第307図 PL.484	306	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.5	0.6	0.4	砂岩	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	307	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.5	0.5	0.7	不明	灰白色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	308	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	0.9	0.6	0.4	チャート	にぶい赤褐色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。	
第307図 PL.484	309	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.0	0.7	0.5	不明	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われている。光沢がない。	被膜
第307図 PL.484	310	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.7	1.0	0.8	ホルンフェルス	灰白色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第307図 PL.484	311	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	0.8	0.6	0.2	砂岩	赤褐色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第307図 PL.484	312	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.3	0.9	0.6	不明	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われている。光沢がない。	被膜
第307図 PL.484	313	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	0.6	0.6	0.1	珪質頁岩	灰色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。	
第307図 PL.484	314	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.2	0.9	0.5	ホルンフェルス	暗褐色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。	
第307図 PL.484	315	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	2.8	1.6	0.8	チャート	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	316	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	0.7	0.5	0.4	流紋岩	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	317	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	0.7	0.5	0.1	砂岩	灰色。小形の円礫。表面は全体的にザラザラしている。	
第307図 PL.484	318	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	0.9	0.8	0.5	砂岩	灰色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	319	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.1	0.9	0.5	チャート	黒褐色。小形の円礫。全体的に非常に滑らかであり光沢がある。	
第307図 PL.484	320	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	0.5	0.4	0.2	チャート	黒褐色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	321	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.1	0.7	0.4	チャート	暗灰色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。	
第307図 PL.484	322	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.4	0.9	0.5	不明	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	323	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	0.6	0.7	0.4	砂岩	暗褐色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。	
第307図 PL.484	324	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.4	1.2	0.6	チャート	灰白色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	325	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.8	1.1	1.0	チャート	暗褐色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。	
第307図 PL.484	326	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	0.9	0.6	0.4	砂岩	灰色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第307図 PL.484	327	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	0.6	0.5	0.4	石英	灰白色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。	
第307図 PL.484	328	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.6	0.8	0.6	砂岩	灰黄色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。	
第307図 PL.484	329	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.1	0.7	0.7	チャート	暗褐色。小形の円礫。全体的に滑らかであり光沢がある。	
第307図 PL.484	330	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.9	0.6	0.5	不明	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	331	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	0.7	0.6	0.4	不明	灰白色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	332	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.8	1.0	0.7	チャート	暗灰色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第307図 PL.484	333	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.2	0.6	0.4	不明	灰色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	334	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.3	0.6	0.5	珪質頁岩	灰色。小形の垂円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	335	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	0.5	0.4	0.3	流紋岩	赤褐色。小形の円礫。全体的に滑らかであり光沢がある。	
第307図 PL.484	336	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.1	0.8	0.7	チャート	赤褐色。小形の垂円礫。全体的に滑らかであり光沢がある。	
第307図 PL.484	337	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	1.1	0.7	0.5	チャート	灰色。小形の垂円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	338	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	0.6	0.5	0.3	チャート	暗灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	339	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	0.9	0.7	0.4	チャート	黄褐色。小形の垂円礫。全体的に滑らかであり光沢がある。	
第307図 PL.484	340	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	2.2	1.4	1.0	チャート	灰白色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	341	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	0.6	0.5	0.4	珪質頁岩	灰色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。	被膜
第307図 PL.484	342	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	0.8	0.6	0.4	チャート	暗灰色。小形の垂円礫。全体的に滑らかであり光沢がある。	

挿 図 PL.No.	No.	種 類 種	出土位置 残 存 率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考
				長 幅	厚 重	0.3 0.1			
第307図 PL.484	343	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 0.6 0.5	厚 重 0.3 0.1		砂岩	暗褐色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われており わずかに光沢がある。	被膜
第308図 PL.484	344	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 2.3 1.1	厚 重 0.8 2.7		ホルンフェルス	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわ ずかに光沢がある。	被膜
第308図 PL.484	345	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 1.5 0.8	厚 重 0.6 0.8		チャート	灰色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光 沢がある。	被膜
第308図 PL.484	346	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 0.9 0.8	厚 重 0.2 0.2		珪質頁岩	暗褐色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われており わずかに光沢がある。	被膜
第308図 PL.484	347	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 0.9 0.6	厚 重 0.4 0.3		チャート	灰色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光 沢がある。	被膜
第308図 PL.484	348	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 0.7 0.6	厚 重 0.5 0.3		チャート	暗灰色。小形の円礫。全体的に滑らかであり光沢がある。	
第308図 PL.484	349	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 0.8 0.7	厚 重 0.5 0.4		チャート	暗灰色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており 光沢がある。	被膜
第308図 PL.484	350	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 0.8 0.7	厚 重 0.3 0.2		流紋岩	にぶい赤褐色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずか に光沢がある。	
第308図 PL.484	351	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 1.3 0.8	厚 重 0.5 0.6		流紋岩	灰色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光 沢がある。	被膜
第308図 PL.484	352	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 1.1 0.8	厚 重 0.4 0.4		チャート	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわ ずかに光沢がある。	被膜
第308図 PL.484	353	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 0.9 0.7	厚 重 0.5 0.4		砂岩	暗褐色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢 がある。	
第308図 PL.484	354	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 1.3 1.2	厚 重 0.8 1.4		チャート	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわ ずかに光沢がある。	被膜
第308図 PL.484	355	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 1.7 0.8	厚 重 0.6 0.9		チャート	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわ ずかに光沢がある。	被膜
第308図 PL.484	356	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 1.3 0.7	厚 重 0.5 0.6		砂岩	灰色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第308図 PL.484	357	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 1.0 0.5	厚 重 0.3 0.2		珪質頁岩	灰色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光 沢がある。	被膜
第308図 PL.484	358	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 0.7 0.5	厚 重 0.4 0.2		かこう岩	白色。小形の円礫。全体的に滑らかであり光沢がある。	
第308図 PL.484	359	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 1.3 0.7	厚 重 0.5 0.6		不明	暗灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われており わずかに光沢がある。	被膜
第308図 PL.484	360	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 0.8 0.7	厚 重 0.5 0.4		チャート	灰黄色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢 がある。	
第308図 PL.484	361	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 0.9 0.8	厚 重 0.5 0.4		流紋岩	灰黄色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており 光沢がある。	被膜
第308図 PL.484	362	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 1.0 1.0	厚 重 0.7 0.8		チャート	灰黄色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢 がある。	
第308図 PL.484	363	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 1.0 0.6	厚 重 0.5 0.4		流紋岩	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわ ずかに光沢がある。	被膜
第308図 PL.484	364	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 1.4 1.2	厚 重 0.9 1.8		チャート	灰白色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており 光沢がある。	被膜
第308図 PL.484	365	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 1.0 0.7	厚 重 0.6 0.6		チャート	赤褐色。小形の垂円礫。全体的に滑らかであり光沢がある。	
第308図 PL.484	366	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 1.5 0.8	厚 重 0.5 0.8		チャート	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわ ずかに光沢がある。	被膜
第308図 PL.484	367	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 1.2 0.8	厚 重 0.7 0.9		珪質頁岩	赤褐色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢 がある。	
第308図 PL.484	368	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 0.8 0.6	厚 重 0.3 0.2		チャート	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわ ずかに光沢がある。	被膜
第308図 PL.484	369	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 1.0 0.6	厚 重 0.5 0.5		チャート	灰色。小形の垂円礫。全体的に滑らかであり光沢がある。	
第308図 PL.484	370	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 1.1 0.8	厚 重 0.5 0.6		石英	灰白色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第308図 PL.484	371	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 0.9 0.7	厚 重 0.5 0.4		チャート	灰色。小形の垂円礫。部分的に半透明の膜に覆われており わずかに光沢がある。	被膜
第308図 PL.484	372	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 1.1 0.7	厚 重 0.4 0.4		砂岩	灰色。小形の垂円礫。部分的に半透明の膜に覆われており わずかに光沢がある。	被膜
第308図 PL.484	373	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 1.8 1.3	厚 重 0.8 2.4		チャート	暗灰色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第308図 PL.484	374	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 1.4 0.8	厚 重 0.6 1.0		砂岩	暗褐色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢 がある。	
第308図 PL.484	375	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 0.8 0.6	厚 重 0.4 0.2		チャート	灰色。小形の垂円礫。全体的に半透明の膜に覆われており 光沢がある。	被膜
第308図 PL.484	376	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 0.8 0.6	厚 重 0.5 0.3		チャート	灰色。小形の垂円礫。全体的に半透明の膜に覆われており 光沢がある。	被膜
第308図 PL.484	377	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 0.6 0.6	厚 重 0.3 0.2		砂岩	暗灰色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第308図 PL.484	378	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 0.9 0.5	厚 重 0.4 0.2		流紋岩	灰色。小形の垂円礫。部分的に半透明の膜に覆われており わずかに光沢がある。	被膜
第308図 PL.484	379	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長 幅 0.7 0.6	厚 重 0.3 0.2		チャート	灰色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	

挿 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出 土 位 置 残 存 率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴													備 考
				長 幅	厚 重	0.6 0.6		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
第308図 PL.485	380	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.2 厚重 0.7	0.6 0.6	チャート	灰色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。														
第308図 PL.485	381	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.4 厚重 1.0	0.6 1.1	砂岩	暗褐色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。														
第308図 PL.485	382	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 2.4 厚重 1.5	0.8 3.6	砂岩	にぶい赤褐色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。														
第308図 PL.485	383	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 0.6 厚重 0.4	0.3 0.1	流紋岩	赤褐色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。														
第308図 PL.485	384	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 0.9 厚重 0.5	0.3 0.2	チャート	灰色。小形の垂円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。													被膜	
第308図 PL.485	385	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 0.7 厚重 0.5	0.5 0.2	かこう岩	にぶい赤褐色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。														
第308図 PL.485	386	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 0.7 厚重 0.5	0.4 0.2	チャート	黄褐色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。														
第308図 PL.485	387	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.0 厚重 0.9	0.4 0.5	チャート	灰色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。													被膜	
第308図 PL.485	388	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 0.8 厚重 0.6	0.5 0.3	変珪岩	灰白色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。														
第308図 PL.485	389	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 0.9 厚重 0.8	0.5 0.5	チャート	暗褐色。小形の垂円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。														
第308図 PL.485	390	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.4 厚重 0.8	0.5 0.9	変質安山岩	暗灰色。小形の垂円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。													被膜	
第308図 PL.485	391	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.7 厚重 1.2	1.0 2.6	流紋岩	暗褐色。小形の垂円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。														
第308図 PL.485	392	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.4 厚重 0.9	0.6 0.9	チャート	灰色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。													被膜	
第308図 PL.485	393	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.2 厚重 0.7	0.5 0.6	チャート	灰色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。													被膜	
第308図 PL.485	394	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.5 厚重 0.8	0.7 1.2	チャート	灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。													被膜	
第308図 PL.485	395	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 0.7 厚重 0.6	0.4 0.2	チャート	暗褐色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。														
第308図 PL.485	396	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 2.0 厚重 1.2	0.7 2.3	砂岩	にぶい赤褐色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。														
第308図 PL.485	397	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 0.9 厚重 0.7	0.5 0.4	チャート	灰色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。													被膜	
第308図 PL.485	398	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.1 厚重 0.9	0.5 0.7	チャート	暗灰色。小形の垂円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。													被膜	
第308図 PL.485	399	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.8 厚重 1.2	0.6 1.6	変質安山岩	灰色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。														
第308図 PL.485	400	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 2.0 厚重 1.0	0.7 1.6	石英閃緑岩	灰白色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。													被膜	
第308図 PL.485	401	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.6 厚重 1.0	0.5 1.1	砂岩	灰色。小形の円礫。全体的にわずかに光沢がある。														
第308図 PL.485	402	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.7 厚重 0.9	0.5 1.2	粗粒輝石安山岩	灰色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。														
第308図 PL.485	403	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.2 厚重 0.8	0.6 0.6	チャート	暗灰色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。														
第308図 PL.485	404	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.2 厚重 0.8	0.6 0.7	流紋岩	赤褐色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。														
第308図 PL.485	405	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 0.9 厚重 0.7	0.5 0.4	チャート	灰色。小形の極円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。													被膜	
第308図 PL.485	406	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 2.0 厚重 1.3	0.8 2.8	砂岩	灰白色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。														
第308図 PL.485	407	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 2.3 厚重 1.6	1.0 4.6	チャート	灰色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。														
第308図 PL.485	408	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.6 厚重 1.2	0.8 2.1	砂岩	緑灰色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。														
第308図 PL.485	409	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.8 厚重 1.0	0.7 2.1	砂岩	暗褐色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。														
第308図 PL.485	410	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 2.1 厚重 1.6	1.1 3.7	チャート	暗灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われておりわずかに光沢がある。													被膜	
第308図 PL.485	411	礫 粒状礫	南西隅粒状礫集 積部 完形	長幅 1.6 厚重 0.8	0.6 1.1	チャート	灰色。小形の極円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。													被膜	
挿 図 PL.No.	No.	器 種 細 別 器 種	出 土 位 置 残 存 率	法 量													観 察				
第308図 PL.485	412	鉄片 不整形鉄片	P3北西部柱筋外 S1下面 破片	① 1.6+	② 1.0	③ 0.3	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	不整形の鉄片。素材片か？				
第308図 PL.485	413	刀子 鹿角装両関 刀子	P3南西脇床直 鹿角柄および刃 関部残存	9.7+	8.3+	3.6+	1.9	0.3	4.7	1.3	(0.3)	6.3+	2.2+	1.6+	鹿角装刀子。下新田遺跡で唯一出土した鹿角装刀子である。両関で、角関である(×線で確認)。一部に樹皮と想定されるものが鹿角柄の上から巻かれている。その樹皮の一部に植物の繊維が巻かれている。						

5区2号掘立柱建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口高					
第318図 PL.485	1	土師器 杯	P2南側 口縁部一部欠	口高	12.7 5.6		細砂粒・赤色粘土 粒/良好/橙	口縁部内面から体部外面上位は横ナデ。体部外面はナデ。底部外面はヘラ削り。底部外面中央の器表はやや摩滅。体部内面は口縁部に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨き。底部内面は丁寧なナデ。	器表はやや摩滅。
第318図 PL.485	2	土師器 杯	P2南側 一部欠	口高	13.3 5.1		細砂粒、大粒の赤 色粘土粒/良好/橙	口縁部内面から体部外面は横ナデ。口縁部は外反した後、緩い稜をなして立ち上がる。体部外面以下は幅の狭いヘラナデに近い削り。体部内面は口縁部に向かい左傾の斜放射状ヘラ磨き。底部内面はナデ。	
第318図 PL.485	3	土師器 杯	P1南側 完形	口高	12.9 5.3		細砂粒、大粒の赤 色粘土粒/良好/橙	体部の器壁は厚く、下位は外面のヘラ削りで薄くする。口縁部内面から体部外面は横ナデ。体部外面以下はヘラナデに近い削り。体部内面は口縁部に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第318図 PL.485	4	土師器 杯	P2南側 一部欠	口高	14.1 5.1		細砂粒/良好/橙	口縁部内面から体部外面上位は横ナデ。体部外面はナデ。底部外面はヘラ削り。体部内面は口縁部に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨き。底部内面は丁寧なナデ。	器表はやや摩滅。
第318図 PL.485	5	土師器 杯	P2南側 3/4	口高	13.4 5.6		細砂粒・赤色粘土 粒/良好/橙	口縁部内面から体部外面上位は横ナデ。体部外面中位はナデ。体部外面下位以下はヘラ削り。体部内面は口縁部に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨き。底部内面は丁寧なナデ。	器表はやや摩滅。
第318図 PL.485	6	土師器 杯	P2南側 完形	口高	13.1 5.2		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部下半に斜放射状ヘラ磨き。	
第318図 PL.485	7	土師器 杯	埋土 1/2	口高	13.0 6.3		細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面はナデ。底部外面はヘラ削り。内面は底部から口縁部に向かい、放射状から右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第318図 PL.485	8	須恵器 杯身	P7北西 3/4	口稜	12 14	高 5.1	細砂粒/還元焰/灰	蓋受けは水平に引き出すように作られている。ロクロ整形、回転は左回り。底部から体部下半は回転ヘラ削り。口唇端部内傾する面を作る。	
第318図 PL.485	9	石製品 石製模造品	南部P9北東 完形	長幅	3.8 2.1	厚重 0.5 6.1	滑石	灰オリーブ色。表裏面は横～縦方向の擦痕が認められる。側面部にも擦痕が認められる。上下の孔径約2mm。	剣形
第318図 PL.485	10	石製品 砥石	床面精査土内 不明	長幅	(4.0) (3.7)	厚重 (1.3) 30.6	粗粒輝石安山岩	表裏面は全体的に滑らかであり砥面と判断される。左右両側面と上部小口面は全体的に滑らかであり砥面の可能性がある。	
第318図 PL.485	11	石製品 白玉	P14埋土上 完形	長幅	0.7 0.7	厚重 0.5 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第318図 PL.485	12	石製品 白玉	P14埋土上 完形	長幅	0.7 0.7	厚重 0.6 0.5	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りが明瞭に認められ稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第318図 PL.485	13	石製品 白玉	P14埋土上 完形	長幅	0.7 0.8	厚重 0.5 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りが明瞭に認められ稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第318図 PL.485	14	石製品 白玉	P14埋土上 完形	長幅	0.7 0.7	厚重 0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第318図 PL.485	15	石製品 白玉	P14埋土上 完形	長幅	0.7 0.7	厚重 0.7 0.5	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したと考えられる。孔径約2mm。	
第318図 PL.485	16	石製品 白玉	土師器杯6内 完形	長幅	0.6 0.6	厚重 0.5 0.4	滑石	オリーブ灰色。厚手。下面に刃物傷あり。側面に粗い研磨痕あり。中央で孔がやや細くなっているため、両側穿孔。孔径約2mm。	
第318図 PL.485	17	石製品 白玉	土師器杯6内 完形	長幅	0.6 0.6	厚重 0.4 0.2	滑石	オリーブ灰色。やや厚手。下面に刃物傷あり。側面に粗い研磨痕あり。中央で孔がやや細くなっているため、両側穿孔。孔径約2mm。	

5区4号遺構出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口高					
第323図 PL.485	1	土師器 杯	土器集積内 完形	口高	11.6 6		細砂粒・褐色粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第323図 PL.485	2	土師器 杯	土器集積内 完形	口高	11.8 5.5		細砂粒・褐色粒/ 良好/明赤褐	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第323図 PL.485	3	土師器 杯	土器集積内 完形	口高	11.7 6.0		細砂粒/良好/橙	口縁部内面から体部外面は横ナデ。体部から底部外面はヘラナデに近い削り。口縁部内面は斜格子状に交差するヘラ磨き。底部内面はナデ。	
第323図 PL.485	4	土師器 杯	土器集積内 完形	口高	12.7 5.9		細砂粒、大粒の赤 色粘土粒/良好/橙	体部内面から体部外面は横ナデ。内面の横ナデはナデ上げ部が残る。体部外面はナデ。底部外面はヘラ削り。底部周縁から口縁部に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨きの後、底部に「十」字状のヘラ磨き。	
第323図 PL.485	5	土師器 杯	土器集積内 完形	口高	12.3 4.8		細砂粒・粗砂粒少 量/良好/明赤褐	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部から体部上半は横ナデ、体部下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第323図 PL.485	6	土師器 杯	土器集積内 完形	口高	14.1 5.0		細砂粒、大粒の赤 色粘土粒/良好/明 赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面はナデ。底部外面はヘラ削りの後、中央部のみナデ。体部内面は口縁部に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨き。底部内面はナデ。	
第323図 PL.486	7	土師器 杯	土器集積内 完形	口高	14 4.8		細砂粒/良好/明赤 褐	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第323図 PL.486	8	土師器 杯	土器集積内 完形	口 高	13.9 5.4		細砂粒・粗砂粒・ 褐色粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に粗い斜放射状ヘラ磨き。	
第323図 PL.486	9	土師器 杯	土器集積内 完形	口 高	13.3 5.0		細砂粒、大粒の赤 色粘土粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面はナデ。底部外面はヘラ削り。体部内面は口縁部に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨きの後、底部内面に「十」字状ヘラ磨き。	底部内面「十」 字状ヘラ磨 き。
第323図 PL.486	10	土師器 杯	土器集積内 完形	口 高	14.8 4.6		細砂粒・褐色粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部周縁部から体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第323図 PL.486	11	土師器 杯	土器集積内 完形	口	12.0		細砂粒/良好/明赤 褐	体部内面から口縁部外面は横ナデ。内面上段と外面の横ナデはナデ上げ部が一致。体部外面はナデ。底部外面はヘラ削り。	底部外面の器 表はやや摩滅。
第323図 PL.486	12	土師器 杯	土器集積内 完形	口 高	12.0 5.6		細砂粒少量/良好/ 橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部周縁部から体部に斜放射状ヘラ磨き。底部外面はヘラナデ。底部内面は丁寧なナデ。	
第323図 PL.486	13	土師器 杯	土器集積内 完形	口 高	12.3 5.7		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	体部内面から口縁部外面は横ナデ。体部外面はナデで、底部外面はヘラナデに近い削り。底部内面は丁寧なナデ。	
第324図 PL.486	14	土師器 高杯	土器集積内 脚柱部				細砂粒少量/良好/ 橙	外面は縦位のヘラ磨き。内面は横位のヘラ削り。裾部内面は横ナデ。	
第324図 PL.486	15	土師器 高杯	土器集積内 完形	口 脚	17.3 12.4	高 13.5 ~ 14.4	細砂粒/良好/橙	杯部内面から脚部外面は密なヘラ磨き。杯部と脚部境の外面はナデ。脚部内面は柱部をヘラで抉った後に裾部を横ナデ。	
第324図 PL.486	16	土師器 高杯	土器集積内 完形	口 脚	17.2 13.6	高 13.8 ~ 14.8	細砂粒/良好/橙	口縁部から脚裾部の外面は幅広のヘラ磨き。杯部内面はヘラ磨きで単位は不明瞭。脚裾部内面は横ナデ。脚柱部内面はヘラ削りの後、粘土ホゾをナデつける。	
第324図 PL.486	17	土師器 高杯	土器集積内 脚部一部欠	口 脚	18.1 12.8	高 13.5	細砂粒～礫微量/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ後、内面に口縁端部に向かい左傾の斜放射状ヘラ磨き。口縁部外面は横ナデ以前のハケメが部分的に残る。底部内外面はナデ。脚部外面は縦位ヘラ磨き。脚柱部内面はヘラ削り後に粘土ホゾを内面にナデ付ける。	
第324図 PL.486	18	土師器 高杯	土器集積内 一部欠	口 脚	16.8 13.0	高 13.3 ~ 14.1	細砂粒～礫微量/ 良好/赤褐	口縁部外面は横ナデで、下端はにぶい段を作出する。底部外面はヘラナデ。杯部内面は、上から横位、斜交の密なヘラ磨き。脚柱部外面は縦位のヘラナデ、内面はヘラ削り後に粘土ホゾをナデ付ける。脚裾部は横ナデ。	
第324図 PL.486	19	土師器 高杯	土器集積内 完形	口 脚	16.3 11.7	高 12.9 ~ 13.4	細砂粒少量/良好/ 明赤褐	口縁部内面から底部外面は横ナデで、外面2段目の横ナデは弱く、3段目はナデ上げ部が残る。口縁部内面は右傾の斜放射状ヘラ磨き。脚裾部は横ナデで、柱部外面は縦位ヘラ磨き。脚柱部内面は横位ヘラ削りの後、粘土ホゾをナデつける。脚部と杯部接合面はいわゆる「偽口縁」をなす。	一方の口縁部 と脚裾部の外 面に黒斑。
第324図 PL.486	20	土師器 高杯	土器集積内 完形	口 脚	16.8 11.7	高 13.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部内面から外面稜線下部は横ナデ。口縁部内面は端部に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨き。底部内面はナデ。脚裾部は横ナデ。脚柱部外面は縦位のヘラ磨きで、内面はヘラ削りの後に粘土ホゾをナデ付ける。	側面の方に 黒斑。
第324図 PL.486	21	土師器 高杯	土器集積内 完形	口 脚	16.2 11.6	高 11.7 ~ 12.4	細砂粒/良好/橙	口縁部内面から外面稜線下部は横ナデ。外面の中位は横ナデを行わず、下位からのナデ上げを行う。口縁部内面は端部に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨き。底部内面は幅の狭いヘラナデ。脚裾部は横ナデ。脚柱部外面は縦位のヘラ磨きで、内面はヘラ削りの後に粘土ホゾをナデ付ける。	側面の方に 黒斑。
第324図 PL.487	22	土師器 高杯	土器集積内 完形	口 脚	16.6 10.1	高 12.2	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部内面から外面稜線下部は横ナデ。口縁部外面上位は部分的に横ナデが及ばない箇所がある。口縁部内面は端部に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨き。丁寧なナデ。脚裾部は横ナデ。脚部外面は縦位のヘラ磨き。脚柱部内面はヘラ削りの後、粘土ホゾをナデ付ける。	側面の方に 黒斑。
第324図 PL.487	23	土師器 高杯	土器集積内 完形	口 脚	15.7 11.6	高 12.9	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部内面から外面稜線下部は横ナデ。口縁部内面は端部に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨き。底部内面はナデ。脚裾部は横ナデ。脚柱部外面は縦位のヘラ磨きで、内面はヘラ削りの後に粘土ホゾをナデ付ける。	側面の方に 黒斑。
第324図 PL.487	24	土師器 高杯	土器集積内 完形	口 脚	16.7 10.2	高 13.3	細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデで、内外面の同一箇所をナデ上げる。口縁部外面下位は縦位ヘラナデ。杯底部外面は横ナデ。口縁部内面は端部に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨き。底部内面はナデ。脚部外面は縦位のヘラ磨き。脚柱部の内面はヘラ削りの後に粘土ホゾを差し込む。粘土ホゾはナデ付けず、差し込んだまま。	杯部と脚端部 に黒斑。
第324図 PL.487	25	土師器 高杯	土器集積内 完形	口 脚	16.2 10.8	高 10.5 ~ 12.1	細砂粒・赤色粘土 粒/良好/明赤褐	口縁部内面から外面の稜線下部は横ナデ。口縁部外面の稜線部上は横ナデを施さない。口縁部内面は端部に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨き。底部内面はナデ。脚部外面は縦位のヘラ磨き。裾部は横ナデ。脚柱部内面は横位ヘラ削りの後、粘土ホゾをナデつける。	
第325図 PL.487	26	土師器 器台	土器集積内 完形	口 底	10.7 8.9	高 9.9	細砂粒/良好/橙	杯部と脚部は接合。杯部は口縁部が横ナデ稜下はヘラ磨き、脚部は放射状ヘラ磨き。内面は口縁部と底部から体部に斜放射状ヘラ磨き、脚部は上位がヘラ削り、中位がヘラナデ、下位は横ナデ。	
第325図 PL.487	27	土師器(ロ クロ土師器) 高杯	土器集積内 ほぼ完形	口 脚	27.4 19.5	高 21.5	細砂粒/良好/明赤 褐	杯部と脚部は接合。杯部・脚部ともロクロ整形、回転右回り。杯部は口縁部下に断面三角形の凸帯が貼付。杯部底部は回転ヘラ削り。内面杯部はヘラナデ。	内面底部に白 色の付着物有 り。
第325図 PL.487	28	土師器(ロ クロ土師器) 高杯	土器集積内 完形	口 脚	30.4 18.5	高 23.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	杯部と脚部は接合。ともにロクロ整形、回転右回り。杯部は底部が回転ヘラ削り。体部から口縁部は回転によるナデ。内面杯部口唇部は上に鋭く引き出されるようにつくられている。底部から体部はヘラナデ、口縁部は横ナデ。脚部は内面上半にヘラナデ。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第325図 PL.487	29	土師器(ロクロ土師器) 高杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 脚	33.4 19.5	高	25.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	杯部と脚部は接合。ロクロ整形、回転方向不鮮明。杯部外面上位には斜位ヘラナデ痕が残る、底部は回転ヘラ削り。杯部内面は器面に凹凸があり、底部から体部はヘラナデ。脚部内面は上部までロクロ整形痕が及ぶ。	
第326図 PL.488	30	須恵器 高杯形器台	土器集積内 完形	口 底	32 11.2	脚 高	25.6 35	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	杯部と脚部は接合。杯部は内面にアテ具、外面平行叩きで成形後ロクロ整形、叩き痕は底部から体部下半、アテ具痕は体部に残るが、他はロクロ整形時に消されている。外面は上半を2条1単位の凹線によって3段に区画し、2段の各区画には波状文を施文。脚部はロクロ整形、2条1単位の凹線で4段に区画、上3区画に1段、2段、1段の波状文を施文後、下から2段目に半円、3・4段目に長方形の透孔を4方にあけている。	
第327図 PL.489	31	須恵器 高杯形器台	土器集積内 完形	口 底	30.2 11	脚 高	25.8 32.8	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	杯部と脚部は接合。杯部は内面にアテ具、外面平行叩きで成形後ロクロ整形、叩き痕は底部から体部下半、アテ具痕は体部に残るが、他はロクロ整形時に消されている。外面は口縁部中程に2条1単位の凹線によって区画し、凹線の上下に波状文を施文。脚部は2条1単位の凹線によって4段に区画、中位下から2段目と3段目に波状文を施文し、2段目に半円、3段目に長方形、4段目に径1.0cmの小円の透孔を3方にあけている。	
第328図 PL.490	32	土師器 小型甕	土器集積内 完形	口 底	10.8 3.3	高	10.7 ~ 11.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部上位はナデ、中位と下位・底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ、器面摩滅のため単位不明。	
第328図 PL.490	33	土師器 甕	土器集積内 完形	口 底	13.24 6.8	高	18.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラナデ、底部はヘラ削り。内面胴部は底部から胴部・頸部がヘラナデ。	外面胴部中位に 鉄器付着。 内面底部に白 色物付着。
第328図 PL.490	34	土師器 壺	土器集積内 完形	口 底	11.7 6.3	高	18.3	細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/明赤褐	口縁部から胴部上半にかけて放射状ヘラ磨き、胴部下半と底部はヘラ削り。内面は口縁部が横ナデ、底部から胴部はヘラナデか。	
第328図 PL.490	35	土師器 甕	土器集積内 口縁部一部欠	口 底	18.8 6.6	高	34.8	細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/にぶい橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ後縦方向のナデ、胴部はヘラ削り後、中位にヘラ磨き上位にナデ、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部にかけてヘラナデ。	
第328図 PL.490	36	土師器 甕	土器集積内 口縁部を2/3欠	口 底	17.8 6.2	高	35	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、頸部から胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部にヘラナデ。	
第329図 PL.490	37	土師器 甕	土器集積内 完形	口 底	19.6 7.1	高	31.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部上半はヘラナデ。胴部下半と底部はヘラ削り、胴部は器面摩滅のため単位不鮮明。内面は底部から胴部がヘラナデ。	
第329図 PL.491	38	土師器 甕	土器集積内 口縁部～胴部中 位1/3欠	口 底	23.5 8.0	高	41.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明黄褐	口縁部は横ナデで、内外面のナデ上げ部は一致する。胴部外面はヘラナデ。底部付近の胴部外面は削りに近いヘラナデ、底部はヘラ削り。胴部内面はヘラナデで、上半は凹凸や輪積み痕が残るが、過半は丁寧に仕上げる。	一方の胴部外 面に黒斑。相 対する胴部外 面に弱い黒斑。
第330図 PL.491	39	土師器 壺	土器集積内 底部～頸部	底	7.4			細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/浅黄	底部と胴部下位はヘラ削り、器面摩滅のため単位不明、中位から上位はハケメ(1cm当たり5~6本)後中位に横方向のヘラ削り。内面は底部から体部にヘラナデ、単位不鮮明。	
第330図 PL.492	40	須恵器 壺	土器集積内 口縁部～頸部欠	胴	41.6			細砂粒・粗砂粒・ 礫/還元焰/灰	底部から胴部は外面に平行叩き痕が残るが、上部上半に1.0~2.0cm間隔に凹線上のナデが施されている。内面には同心円状アテ具痕が残る。	
第331図 PL.492	41	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	4.8 2.3	厚 重	0.4 7.3	滑石	灰白色。表裏面は横方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。上下の孔径約2mm。	剣形
第331図 PL.492	42	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	5.1 2.2	厚 重	0.4 7.8	滑石	灰白色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。上下の孔径約2mm。	剣形
第331図 PL.492	43	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	5.1 2.3	厚 重	0.5 8.9	滑石	灰白色。折断面で3点が接合した資料であり、この折断はいずれも裏面側から表面側に進行している。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。上下の孔径約2mm。	3点接合 剣形
第331図 PL.492	44	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	4.7 1.9	厚 重	0.4 5.8	滑石	灰白色。表裏面は横方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の上の孔の周囲は広がった状態であり裏面からの穿孔の際に表面側が破砕したものと考えられる。上下の孔径約2mm。	剣形
第331図 PL.492	45	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	5.5 1.8	厚 重	0.5 7.1	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。上下の孔径約2mm。	剣形
第331図 PL.492	46	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	5.1 3.2	厚 重	0.5 14.8	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。側面部では全体的に擦痕の残存状況は悪く摩滅したような表面状況である。上下の孔径約2mm。	剣形
第331図 PL.492	47	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	4.4 2.3	厚 重	0.4 6.0	滑石	灰色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	剣形
第331図 PL.492	48	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	4.2 2.1	厚 重	0.5 7.7	滑石	灰白色。表裏面は縦方向及び横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。側面部では全体的に擦痕の残存状況は悪く摩滅したような表面状況である。裏面の上下の孔の周囲は広がった状態であり表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したものと考えられる。上下の孔径約2mm。	剣形
第331図 PL.492	49	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	5.5 1.8	厚 重	0.5 7.1	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。上下の孔径約2mm。	剣形

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第331図 PL.492	50	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 3.2	5.1 厚 3.2	0.5 重 14.8	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。側面部では全体的に擦痕の残存状況は悪く摩滅したような表面状況である。上下の孔径約2mm。	剣形
第331図 PL.492	51	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 2.3	4.4 厚 2.3	0.4 重 6.0	滑石	灰色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	剣形
第331図 PL.492	52	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 2.4	3.8 厚 2.4	0.5 重 7.0	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。上下の孔径約2mm。	剣形
第331図 PL.492	53	石製品 石製模造品	土器集積内 不明	長幅 2.1	(3.3) 厚 2.1	0.4 重 4.3	滑石	灰白色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部は擦痕は認められず全体的に摩滅したような表面状況である。裏面の左側縁には刀子等工具による作出面が2面認められる。上下の孔径約2mm。	剣形
第331図 PL.492	54	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 1.9	3.2 厚 1.9	0.5 重 3.7	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。側面部では全体的に擦痕の残存状況は悪く摩滅したような表面状況である。上下の孔径約2mm。	剣形
第331図 PL.492	55	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 2.8	4.4 厚 2.8	0.8 重 15.7	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも部分的に擦痕が認められる。裏面の左側縁には刀子等工具による作出面が1面認められる。表面の下方には穿孔途中の孔が1箇所認められる。孔は表面側が広がっており裏面からの穿孔の際に表面側が破砕したものと考えられる。孔径約2mm。	剣形
第331図 PL.492	56	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 2.3	4.2 厚 2.3	0.7 重 8.7	滑石	灰オリーブ色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部は部分的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	剣形
第331図 PL.492	57	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 2.0	2.8 厚 2.0	0.5 重 3.7	滑石	にぶい黄橙色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも部分的に擦痕が認められる。表面の左側縁には刀子等工具による作出面が1面認められる。孔径約2mm。	剣形
第331図 PL.492	58	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 2.6	4.7 厚 2.6	0.4 重 7.4	滑石	灰オリーブ色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	剣形
第331図 PL.492	59	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 0.9	7.1 厚 0.9	0.7 重 8.7	滑石	灰オリーブ色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	剣形
第331図 PL.492	60	石製品 石製模造品	土器集積内 2/3	長幅 (2.6)	6.0 厚 (2.6)	0.9 重 15.0	滑石	灰オリーブ色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。上側面にも部分的に擦痕が認められる。他の側面は全体的に摩滅した状態である。孔径約2mm。	剣形
第331図 PL.492	61	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 2.6	5.0 厚 2.6	1.0 重 13.1	滑石	灰オリーブ色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも擦痕が認められる。表面の中央、裏面の左側縁全体には刀子等工具による作出面が認められる。孔は表面側が広がっており裏面からの穿孔の際に表面側が破砕したものと考えられる。孔径約2mm。	剣形
第331図 PL.492	62	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 2.5	5.2 厚 2.5	0.8 重 14.6	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも部分的に擦痕が認められる。表面の左側縁、裏面の左側縁には刀子等工具による作出面が認められる。孔径約2mm。	剣形
第331図 PL.492	63	石製品 石製模造品	土器集積内 4/5	長幅 2.2	(4.0) 厚 2.2	0.5 重 5.5	滑石	にぶい黄橙色。表裏面共にほぼ平坦であり表面は横方向の裏面は斜め方向の擦痕が認められる。孔は裏面側でその周辺部がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に裏面側が破砕した可能性がある。孔径約2mm。	剣形
第331図 PL.492	64	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 1.5	4.7 厚 1.5	0.5 重 3.6	滑石	灰白色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部は擦痕は認められず全体的に摩滅したような表面状況である。表面の左側縁下方、裏面の右側縁中央には刀子等工具による作出面が認められる。孔径約2mm。	剣形
第331図 PL.492	65	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 2.7	4.3 厚 2.7	0.5 重 7.1	滑石	灰白色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも部分的に擦痕が認められる。裏面の右側縁には刀子等工具による作出面が1面認められる。孔径約2mm。	剣形
第331図 PL.492	66	石製品 石製模造品	土器集積内 4/5	長幅 2.2	4.6 厚 2.2	0.6 重 6.3	滑石	にぶい黄橙色。表裏面は縦方向及び横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部は擦痕は認められず全体的に摩滅したような表面状況である。表面の中央下方に刀子等工具による断面V字状の溝状作出痕が斜め方向に認められる。裏面の左側縁下方には刀子等工具による作出面が認められる。裏面の孔の周囲は広がった状態であり表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したものと考えられる。孔径約2mm。	剣形
第331図 PL.492	67	石製品 石製模造品	土器集積内 4/5	長幅 1.4	(3.3) 厚 1.4	0.6 重 3.0	滑石	灰白色。表面は斜め方向の擦痕がわずかに認められる。裏面には擦痕はなく下方に摩滅した面が認められる。側面部には部分的な擦痕が認められる。孔径約2mm。	剣形
第332図 PL.492	68	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 3.2	3.8 厚 3.2	0.7 重 12.6	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも部分的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	剣形
第332図 PL.492	69	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 2.7	4.4 厚 2.7	0.6 重 9.7	滑石	灰オリーブ色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも部分的に擦痕が認められる。孔は裏面側が広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したものと考えられる。孔径約2mm。	剣形
第332図 PL.492	70	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 3.1	4.5 厚 3.1	0.7 重 13.2	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも部分的に擦痕が認められる。表面の右側縁下方には刀子等工具による作出面が認められる。孔径約2mm。	剣形
第332図 PL.492	71	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 3.0	4.4 厚 3.0	0.7 重 14.8	滑石	にぶい黄橙色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がった状態であり表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したものと考えられる。孔径約2mm。	勾玉形

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重				
第332図 PL.492	72	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	3.9 3.0	0.7 9.6	滑石	灰白色。表裏面は縦～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にもわずかに擦痕が認められる。側面部では全体的に擦痕の残存状況は悪く摩滅したような表面状況である。孔径約3mm。	勾玉形	
第332図 PL.493	73	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	5.2 2.6	0.5 9.9	滑石	にぶい黄橙色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも部分的に擦痕が認められる。表面左側縁と側面部との境界の稜上には刀子等工具による作出面が認められる。左側面の中央には刀子等工具による作出面が認められる。表面の孔の周囲は広がった状態であり裏面からの穿孔の際に表面側が破砕したものと考えられる。孔径約2mm。	勾玉形	
第332図 PL.493	74	石製品 石製模造品	土器集積内 ほぼ完形	4.5 2.5	0.6 9.5	滑石	灰白色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも部分的に擦痕が認められる。裏面の上側縁には刀子等工具による作出面が認められる。裏面の孔の周囲は広がった状態であり表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したものと考えられる。孔径約2mm。	勾玉形	
第332図 PL.493	75	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	4.1 2.6	0.7 9.2	滑石	にぶい黄橙色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の右側縁には刀子等工具による作出面が累積する。上下の孔径約2mm。	勾玉形	
第332図 PL.493	76	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	4.0 1.8	0.7 7.6	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部には擦痕が認められず摩滅したような表面状況である。孔径約2mm。	勾玉形	
第332図 PL.493	77	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	3.6 3.3	0.6 6.9	滑石	にぶい黄橙色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	勾玉形	
第332図 PL.493	78	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	3.1 1.8	0.4 2.8	滑石	にぶい黄橙色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の右側縁には刀子等工具による作出面が1面認められる。孔径約2mm。	勾玉形	
第332図 PL.493	79	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	2.6 1.4	0.5 2.2	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも部分的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	勾玉形	
第332図 PL.493	80	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	3.6 2.0	0.6 7.0	滑石	灰白色。表裏面は横方向の擦痕が認められる。側面部にもわずかに擦痕が認められる。側面部では全体的に擦痕の残存状況は悪く摩滅したような表面状況である。裏面の上下の孔の周囲は広がった状態であり表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したものと考えられる。上下の孔径約2mm。	剣形	
第332図 PL.493	81	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	3.6 2.6	0.7 10.9	滑石	オリーブ灰色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも擦痕が認められる。全体的に擦痕の残存状況は悪く摩滅したような表面状況である。表面の下側縁には刀子等工具による作出面が認められる。裏面の左側端には刀子等工具による断面V字状の溝状作出面が認められる。上下の孔は表面側が広がっており裏面からの穿孔の際に表面側が破砕したものと考えられる。孔径約2mm。	有孔方板	
第332図 PL.493	82	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	4.2 2.7	0.9 15.0	滑石	灰白色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。裏面の左側縁には刀子等工具による作出面が1面認められる。孔は裏面側が広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したものと考えられる。孔径約2mm。	半円形	
第332図 PL.493	83	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	4.5 2.1	0.7 8.6	滑石	にぶい黄橙色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。裏面の上方に刀子等工具による作出面が認められる。孔径約2mm。	半円形	
第332図 PL.493	84	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	4.2 2.7	0.7 11.8	滑石	にぶい黄橙色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の左右側縁、裏面の左側縁には刀子等工具による作出面が認められる。孔径約2mm。	半円形	
第332図 PL.493	85	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	3.8 2.4	0.6 8.4	滑石	にぶい黄橙色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも擦痕が認められる。側面部では全体的に擦痕の残存状況は悪く摩滅したような表面状況である。裏面の上側縁に刀子等工具による作出面が1面認められる。表面の孔の周囲は広がった状態であり裏面からの穿孔の際に表面側が破砕したものと考えられる。孔径約2mm。	半円形	
第332図 PL.493	86	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	3.5 2.8	0.5 9.2	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の上の孔の周囲は広がった状態であり裏面からの穿孔の際に表面側が破砕したものと考えられる。上下の孔径約2mm。	半円形	
第332図 PL.493	87	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	3.3 2.8	0.6 6.8	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にもわずかに擦痕が認められる。側面部では全体的に擦痕の残存状況は悪く摩滅したような表面状況である。表面中央に穿孔途中の孔が1箇所認められる。孔径約3mm。	半円形	
第332図 PL.493	88	石製品 石製模造品	土器集積内 不明	3.4 2.5	0.6 10.0	滑石	灰白色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。上側面と左右両側面には全体的に擦痕が認められる。下側面は折断面である。裏面の孔の周囲は広がった状態であり表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したものと考えられる。孔径約2mm。	不明	
第332図 PL.493	89	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	3.2 2.2	0.5 5.8	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	半円形	
第332図 PL.493	90	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	3.0 2.5	0.6 5.1	滑石	にぶい黄橙色。表裏面は縦～斜め方向の擦痕が認められる。側面部は部分的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	半円形	
第332図 PL.493	91	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	2.9 2.3	0.7 7.0	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも部分的に擦痕が認められる。表面の中央に刀子等工具による断面V字状の溝状作出痕と穿孔途中の孔が1箇所認められる。この溝状痕跡と穿孔途中の孔との形成の先後関係は不明である。孔径約2mm。	半円形	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				長 幅	厚 重					
第332図 PL.493	92	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	4.3 3.5	厚 重	0.7 16.1	滑石	オリブ灰色。表裏面は横方向の擦痕が認められる。側面 部にも擦痕が認められる。側面部では全体的に擦痕の残存 状況は悪く摩滅したような表面状況である。孔径約2mm。	不明
第332図 PL.493	93	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	3.3 3.3	厚 重	0.6 8.2	滑石	灰オリブ色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側 面部にも部分的に擦痕が認められる。表面の左側縁、裏面 の左側縁には刀子等工具による作出面が認められる。裏面 の中央には刀子等工具による断面V字形の溝状作出痕が認 められる。孔径約2mm。	不明
第332図 PL.493	94	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	4.0 3.0	厚 重	0.7 14.2	滑石	灰オリブ色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。 側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の右側縁から 下側縁にかけて、裏面の右側縁には刀子等工具による作出 面が認められる。表面の中央には刀子等工具による断面V 字状の溝状作出痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっ た状態であり表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したもの と考えられる。孔径約2mm。	不明
第332図 PL.493	95	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	3.4 2.8	厚 重	0.7 8.7	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。表裏 面の擦痕は残存状態が悪く全体的に摩滅したような表面状 態である。側面部は擦痕は認められず全体的に摩滅したよ うな表面状況である。孔径約2mm。	不明
第332図 PL.493	96	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	4.1 1.9	厚 重	0.5 4.4	滑石	灰白色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部は 擦痕がわずかに認められ全体的に摩滅したような表面状況 である。裏面には刀子等工具による作出面が4面認められ る。孔径約2mm。	不明
第332図 PL.493	97	石製品 石製模造品	土器集積内 2/3	長 幅	2.2 (1.6)	厚 重	0.4 2.0	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面 部にも全体的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	不明
第332図 PL.493	98	石製品 剥片(磨製 石鏃)	土器集積内 不明	長 幅	(1.3) (0.9)	厚 重	(0.1) 0.1	珪質準片岩	暗オリブ灰色。表裏面ともに剥離面と判断される。表裏 面の左右両側縁には細かい線条痕が認められ研磨により鋭 角に整形されている。磨製石鏃製作途上に生じた資料と考 えられる。	
第333図 PL.493	99	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.5 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められ る。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。 孔径約2mm。	
第333図 PL.493	100	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.6 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面 はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に 明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第333図 PL.493	101	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.6 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。 裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明 瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第333図 PL.493	102	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.6 0.5	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。 側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められ る。孔径約2mm。	
第333図 PL.493	103	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.5 0.3	滑石	オリブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められ ない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認 められる。孔径約2mm。	
第333図 PL.493	104	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.1	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。 側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められ る。孔径約2mm。	
第333図 PL.493	105	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.2	滑石	オリブ灰色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認め られる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側 面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認めら れる。孔径約2mm。	
第333図 PL.493	106	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。 裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明 瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第333図 PL.493	107	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.3 0.2	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められ る。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が 認められる。孔径約2mm。	
第333図 PL.493	108	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。 裏面は平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張り が認められ稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第333図 PL.493	109	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められ る。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が 認められる。孔径約2mm。	
第333図 PL.493	110	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。側面 は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。 裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面 側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。	
第333図 PL.493	111	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.4 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。 裏面は平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明 瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。裏面の 孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破 碎したと考えられる。孔径約2mm。	
第333図 PL.493	112	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.6 0.3	滑石	オリブ灰色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認め られる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。側面は 中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められ る。孔径約2mm。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重				
第333図 PL.493	113	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	オリーブ灰色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	114	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.6 0.5	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	115	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	116	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.5 0.5	滑石	オリーブ灰色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	117	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	118	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.2	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	119	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.8 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	120	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	121	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面は凹凸があり擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	122	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。表面の孔の周囲は広がっており裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	123	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあるが横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	124	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.7 0.5	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあるが横～斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	125	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.6 0.5	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあるが横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	126	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	127	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	128	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.2	滑石	灰白色。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	129	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.3 0.3	滑石	灰白色。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	130	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.5 0.5	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	131	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.2 0.2	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。表面の孔の周囲は広がっており裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	132	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	オリーブ灰色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重				
第333図 PL.493	133	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	134	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.6 0.7	厚 重	0.6 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあるが斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	135	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.4 0.5	滑石	灰白色。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	136	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.3 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	137	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	138	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.6 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	139	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.6 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	140	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあるが斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	141	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	142	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.6	厚 重	0.6 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	143	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	144	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.6 0.4	滑石	オリーブ灰色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面は凹凸があり擦痕は認められない。側面は中央に張りがあるが斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	145	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.2 0.1	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面は凹凸があり擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	146	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	147	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあるが斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	148	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.5 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあるが斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	149	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.6 0.4	滑石	灰白色。表裏面は凹凸があり擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	150	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.7 0.4	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	151	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	オリーブ灰色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面は凹凸があり擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	152	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.6 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕がわずかに認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	153	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.5 0.2	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第333図 PL.493	154	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.8 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値				胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴													備考
				長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
第333図 PL.493	155	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕がわずかに認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。													
第333図 PL.493	156	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。													
第333図 PL.493	157	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがわずかにあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。													
第333図 PL.493	158	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.6 0.4	滑石	オリーブ灰色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。表面の孔の周囲は広がっており裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。													
第333図 PL.493	159	礫 粒状礫	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.5	厚 重	0.3 0.1	流紋岩	灰オリーブ色。小形の極円礫。全体的に光沢がある。													
第333図 PL.493	160	礫 粒状礫	土器集積内 完形	長 幅	1.5 0.8	厚 重	0.5 0.8	珪質頁岩	暗褐色。小形の極円礫。全体的に光沢がある。													
第333図 PL.493	161	礫 粒状礫	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.5	厚 重	0.4 0.2	変質安山岩	暗褐色。小形の極円礫。全体的に風化が認められ表面がザラザラした感触である。													
第333図 PL.493	162	礫 粒状礫	土器集積内 完形	長 幅	1.4 1.2	厚 重	0.8 1.7	チャート	灰色。小形の極円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光沢がある。													被膜
第333図 PL.493	163	礫 粒状礫	土器集積内 完形	長 幅	1.6 0.9	厚 重	0.7 1.4	変質安山岩	暗褐色。小形の円礫。光沢はない。													
挿図 PL.No.	No.	器種 細別器種	出土位置	法 量													観 察					
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬						
第334図 PL.493	164	鉞 2類鉞	土器集積内 一部欠損	(18.5+)	1.3	1.1	0.1	(17.1+)	1.2	0.15	1.0	0.2							刃部と茎部がほぼ同じ幅となる2類の鉞である。破損部が多く、接合が難しいが、同一個体と考えた。一部火山灰が付着している。			
第334図 PL.493	165	鉞 大型平根有 頸腸扶長三 角形鉞	土器集積内 茎端部欠損	11.9+	7.7	2.5	0.2 ～ 0.3	1.7	4.0	0.6	0.4	0.9	0.4	1.8+	0.5	0.4		大型平根の頸部を持ち逆刺のある長三角形鉞である。片丸造である。6号遺構からも1点出ており特徴的な鉞である。古墳の副葬品で出土することはあるが、集落の出土は稀で、祭儀的な意味を持つ可能性がある。茎には、篋竹の上に樹皮が巻かれている。				
第334図 PL.493	166	鉞 長頸腸扶長 三角形鉞	土器集積内 茎先端部欠損	11.8+	2.3	1.15	0.2	0.6	8.1	0.5	0.3	0.6	0.4	2.0+	0.4	0.2		X線で、逆刺を持つ長頸の長三角形鉞であることが分かった。鉞身間はそれほど開かず、ほぼ直開である。刃部は片丸造と推定される。茎の鉄身に植物繊維を巻きつけ、その上から篋竹を被せている。さらに桜皮と想定される樹皮を巻いているのが上端部から分かる。				
第334図 PL.493	167	鉞 短茎重扶長 三角形鉞	土器集積内 茎欠損	4.5	4.4	3.5	0.2	0.8						0.9	0.4	0.1		短い茎を持ち、二重の逆刺を持つ長三角形鉞。刃部断面は平造である。鉞身中央に、根挟みがあり、篋竹が一部付着している。縦じ孔はX線でも確認できない。				
第334図 PL.493	168	鉞 鉞茎片	土器集積内 茎破片	2.7+	0.3	0.2												鉞茎片。166のごく近くから出土しているが、接合しないので、別個体と思われる。				
第334図 PL.493	169	刀子 刀子柄部か	土器集積内 茎端部か	1.5+	0.8	0.2												鉞と近い場所で出土している。しかし、鉞の破片ではない。形態から見ると刀子の茎端の破片の可能性はある。				
第334図 PL.493	170	円弧状鉄器	土器集積内 下部欠損	2.2+	1.3	0.05												171と同様、先端は円弧状を呈しているが、下部は欠損しており全形は不明。非常に軽い。				
第334図 PL.493	171	円弧状鉄器	土器集積内 下部欠損	1.1+	1.5	0.05												先端は円弧状を呈しているが、下部は欠損しており全形は不明。非常に軽い。				

5区6号遺構出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値				胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴													備考
				口 高	13.2 4.5																	
第346図 PL.494	1	土師器 杯	土器集積内 完形	口 高	13.2 4.5			細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	外面体部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。													

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口	高					
第346図 PL.494	2	土師器 高杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 脚	17.8 10.9	高	12.2 ~ 12.9	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部外面から外面稜線部は横ナデで、口縁部外面はナデ状を呈する箇所がある。ナデ上げ部は内外面で位置する。内面口縁部に斜放射状ヘラ磨き。底部内面はナデ。底部外面はナデ。裾部は横ナデ。脚柱部外面は縦位のヘラ磨き。柱部内面は横位のヘラ削りの後、粘土ホゾをナデ付ける。	一方の口縁部 外面から脚部 外面に黒斑。
第346図 PL.494	3	土師器 高杯	土器集積内 完形	口 脚	17.0 11.8	高	12.1	細砂粒/良好/橙	口縁部内面から外面稜線部は横ナデで、口縁部外面中位の横ナデは省く。口縁部内面は口縁部に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨き。底部外面はナデ。底部内面はナデ。脚柱部外面は幅広のヘラ磨き。脚裾部は横ナデ。脚柱部内面はヘラ削りの後、粘土ホゾをナデ付ける。	
第346図 PL.494	4	土師器 高杯	土器集積内 完形	口 脚	16.0 10.4	高	12.8 ~ 13.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部内面から外面稜線下部は横ナデ。口縁部内面は端部に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨き。底部内面はナデ。脚裾部は横ナデ。脚柱部外面は縦位のヘラ磨きで、内面はヘラ削りの後に粘土ホゾをナデ付ける。	
第346図 PL.494	5	土師器 高杯	土器集積内 完形	口 脚	17.1 11.3	高	12.0	細砂粒/良好/橙	底部外面周縁から口縁部内面は横ナデ。口縁部内面は端部に向かって右傾の斜放射状ヘラ磨き。底部内面はナデで、部分的にヘラ磨き。底部外面から脚柱部外面はナデで裾部は横ナデ。脚柱部外面は部分的に縦位ヘラ磨き。脚柱部内面はヘラ削りの後、粘土ホゾをナデ付ける。	口縁部外面から 脚端部に黒斑。
第346図 PL.494	6	土師器 高杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 脚	17.4 11.2	高	13.9	細砂粒/良好/橙	口縁部内面から外面稜線部は横ナデで、内外面のナデ上げ部は一致。内面は端部に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨き。底部内外面はナデ。裾部は横ナデ。脚柱部外面は縦位ヘラ磨き。脚柱部内面はヘラ削りの後に粘土ホゾをナデ付ける。粘土ホゾは長く、裾部付近に達する。	一方の側面に 黒斑。
第346図 PL.494	7	土師器 小型甕	土器集積内 3/4	口 底	12.7 4.6	高	11.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位と中位がナデ、下位から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	
第346図 PL.494	8	土師器 小型甕	土器集積内 完形	口 底	12 5.7	高	10.2	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位と中位がナデ、下位から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ、一部器面摩滅のため単位不明。	
第346図 PL.494	9	土師器 甕	土器集積内 完形	口 底	20.7 ~ 19.5 7	高	22.7	細砂粒/良好/浅黄	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り後ナデか、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部にヘラナデ、器面摩滅のため単位不明。外面胴部下半に粘土付着。	
第347図 PL.494	10	手捏ね土器 脚台付杯形	土器集積内 完形	口 底	4.8 4.9	高	6.8	細砂粒/良好/赤褐	台部は貼付か。底部付近は横方向のナデ、体部から口縁部はヘラナデ後ナデ。内面は底部から口縁部に向けてのナデ。	
第347図 PL.494	11	手捏ね土器 脚台付杯形	土器集積内 完形	口 底	5.1 5.4	高	7	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	台部は貼付。底部付近は縦方向のナデ、体部から口縁部はヘラナデ後ナデ。内面は底部から口縁部に向けてのナデ。	
第347図 PL.494	12	手捏ね土器 脚台付杯形	土器集積内 口縁部・脚部一 部欠	口 底	5.4 5.6	高	6.8	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	脚状柱状部に杯部を接合か。底部はヘラナデ、脚部には縦方向のナデ、杯部はナデ。内面杯部はナデ。	
第347図 PL.494	13	手捏ね土器 脚台付杯形	土器集積内 完形	口 底	5 5.3	高	7.6	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	台部柱状部中位から杯部を貼付。台部柱状部下位は縦方向のナデ。杯部はナデ。内面杯部は底部から口縁部に向けてのナデ。	
第347図 PL.494	14	手捏ね土器 脚台付杯形	土器集積内 完形	口 底	4.8 5.5	高	6.2	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	台部は貼付か。底部付近は縦方向のナデ、体部から口縁部はヘラナデ後ナデ。内面は底部から口縁部に向けて強いナデ。	
第347図 PL.494	15	手捏ね土器 脚台付杯形	土器集積内 完形	口 底	5.9 6.1	高	7.2	細砂粒/良好/赤褐	脚状柱状部と杯部との接合状態不明。底部はヘラナデ、柱状部から杯部はナデ。内面杯部はナデ。	
第347図 PL.494	16	手捏ね土器 脚台付杯形	土器集積内 完形	口 底	6.4 5.4	高	6.6	細砂粒/良好/赤褐	台部柱状部に肩部を貼付。台部柱状部は縦方向のナデ、杯部はナデ。内面杯部はナデ、一部に指頭痕が残る。	
第347図 PL.494	17	手捏ね土器 脚台付杯形	土器集積内 完形	口 底	6 5.2	高	9	細砂粒/良好/赤褐	脚状柱状部と杯部との接合状態不明。底部はヘラナデ、柱状部から杯部はナデ、一部に指頭痕が残る。内面杯部はナデ。	
第347図 PL.494	18	手捏ね土器 脚台付杯形	土器集積内 完形	口 底	6.9 7.1	高	7	細砂粒/良好/赤褐	脚状柱状部に杯部を接合。脚部には指頭痕が残る。杯部はナデ。内面は脚部、杯部ともナデ。	
第347図 PL.495	19	土師器(ロ クロ土師器) 高杯	土器集積内 完形	口 脚	14.1 ~ 14.8 9.5	高	10.6 ~ 11.4	細砂粒/良好/橙	回転方向不明のロクロ整形。杯部は歪む。底部外面は回転方向不明の回転ヘラ削りの後、回転横ナデ。底部内面は一方方向のナデ。	側面に黒斑。
第347図 PL.495	20	土師器(ロ クロ土師器) 高杯	土器集積内 完形	口 脚	13.8 10.5	高	10.7 ~ 11.5	細砂粒/良好/橙	ロクロ整形、回転は左回り。底部外面は回転ヘラ削りの後に回転ナデ。底部内面はナデ。	
第347図 PL.495	21	土師器(ロ クロ土師器) 高杯	土器集積内 完形	口 脚	14.5 10.4	高	11.2 ~ 11.7	細砂粒少量/良好/ 橙	ロクロ整形、回転は左回り。底部内面は不定方向のヘラナデ。杯部外面は左回転ヘラ削りの後、脚の貼付。杯部内面下半はヘラナデ。	
第347図 PL.495	22	土師器(ロ クロ土師器) 高杯	土器集積内 口縁部一部欠	口 底	14.1 4.7	脚 高	9 10.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好(酸化焰)/橙	ロクロ整形、回転は左回りか。杯部と脚部は接合。杯部体部下半は回転ヘラ削り。	
第347図 PL.495	23	土師器(ロ クロ土師器) 高杯	土器集積内 完形	口 脚	14.1 11.2	高	10.2	細砂粒/良好/橙	左回転のロクロ整形。底部外面は回転ヘラ削りの後に回転ナデ。底部内面はほぼ一方方向のナデ。	
第347図 PL.495	24	土師器(ロ クロ土師器) 高杯	土器集積内 完形	口 脚	13.6 9.7	高	11.5	細砂粒/良好/橙	ロクロ整形、回転は左回り。底部外面は回転ヘラ削りの後に回転ナデ。底部内面はナデ。	

挿 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考	
第347図 PL.495	25	土師器(ロ クロ土師器) 高杯	土器集積内 完形	口 脚	13.9 9.1	高	11.0 ~ 11.5	細砂粒/良好/橙	ロクロ整形、回転は左回り。底部外面は回転ヘラ削りで、 脚部境は脚接合時に回転ナデ。底部内面はナデ。	
第348図 PL.495	26	土師器 壺か	土器集積内 完形	口 底	17.5 6.9	高	32.6	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデで、内面のみナデ上げ部が認められる。胴 部外面は弱いヘラナデ後に間隔の空くヘラ磨き。胴部下位 の接合部はヘラナデ後に横位のナデで、部分的に細長い窪 みが残る。胴部以下はヘラナデ。内面の胴部下位接合部には 水平の接合痕が残る。	
第348図 PL.495	27	土師器 甕	土器集積内 胴部一部欠	口 底	17.1 5.7	高	31.7	細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/にぶい橙	外面口縁部と内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、 胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部にヘラナデ、 胴部上半は器面摩滅のため単位不明。	胴部下位に焼 成後の穿孔有り。
第348図 PL.496	28	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	5.4 3.1	厚 重	1.6 36.3	滑石	オリーブ灰色。左側面の上下方に赤褐色物質の付着部分が 広範囲に認められ酸化腐食した金属粉の可能性ある。裏 面には斜め方向の擦痕が部分的に認められる。その他の部 分は全体的に刀子等工具により整形されており数多くの作 出面が認められる。刀子等作出面には、その内部には作業 方向に平行する細かい線条痕が認められる部分がある。表 面の中央下方に刀子等工具による断面V字状の溝状作出痕 が認められる。表面の孔は二つの孔が連結しておりヒョウ タン形を呈する。孔径約2mm。	短甲形
第348図 PL.496	29	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	6.3 3.8	厚 重	1.2 41.1	滑石	灰白色。中央部に赤褐色物質の付着部分が広範囲に認めら れ酸化腐食した金属粉の可能性ある。表裏面には斜め方 向の擦痕が認められる。その他の部分は全体的に刀子等工 具により整形されており数多くの作出面が認められる。表 面の上下側縁と上面の刀子等作出面には、その内部には作 業方向に平行する細かい線条痕が認められる。裏面の中央 には刀子等工具による可能性のある溝状痕跡があるが、内 面に金属粉が付着し十分に観察できない。裏面の孔の周囲 は広がった状態であり表面からの穿孔の際に裏面側が破碎 したものと考えられる。孔径約2mm。	短甲形
第348図 PL.496	30	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	5.5 3.9	厚 重	1.2 37.6	滑石	灰白色。表面の上部及び左側縁、裏面の上部及び下側縁に 擦痕が認められる。上下両側面にも全体的に擦痕が認めら れる。その他は全体的に刀子等工具による作出面と考えら れる。左右両側面のくびれ部も刀子状工具の作出面が多数 認められる。その内部には作業方向に平行する細かい線条 痕が多数認められる。孔径約2mm。	短甲形
第348図 PL.496	31	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	6.4 3.6	厚 重	1.2 44.9	滑石	灰白色。表裏面の中央から下方には斜め方向の擦痕が部分 的に認められる。表裏面の擦痕は全体的に残存状況は悪く 摩滅したような表面状況である。上下両側面には擦痕が全 体的に認められる。左右両側面は上下方には擦痕が認めら れ、中央付近には刀子等による作出面が複数認められる。 その他の部分は全体的に刀子等工具により整形されており 数多くの作出面が認められる。刀子等作出面には、その内 部には作業方向に平行する細かい線条痕が認められる部分 がある。孔径約2mm。	短甲形
第348図 PL.496	32	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	8.9 2.0	厚 重	0.7 15.8	滑石	灰白色。表面の左半部、裏面の左上下部、上側面全体、右 側面の一部に擦痕が認められる。その他の部分は全体的に 刀子等工具による作出面と考えられる。その内部には作業 方向に平行する細かい線条痕が認められる箇所がある。孔 径約2mm。	刀子形
第348図 PL.496	33	石製品 石製模造品	土器集積内 2/3	長 幅	(5.6) 1.6	厚 重	0.6 6.5	滑石	灰オリーブ色。中央部に赤褐色物質の付着部分が広範囲に 認められ酸化腐食した金属粉の可能性ある。付着物により 表面状態の観察が困難な部分が広範囲にある。裏面には 横～斜め方向の擦痕わずかに認められる。上側面にも擦 痕が認められる。表面上方、左側面上方には刀子等工具に よる作出面が認められる。その内部には作業方向に平行す る細かい線条痕がわずかに認められる。右側面の上方も刀 子等工具による作出面の可能性ある。裏面の孔の周囲は 広がった状態であり表面からの穿孔の際に裏面側が破碎し たものと考えられる。孔径約2mm。	刀子形
第348図 PL.496	34	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	6.3 1.6	厚 重	0.6 8.1	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面 部にも擦痕が認められる。表面の右側縁下方、裏面左側縁 上方には刀子等工具による作出面が認められる。裏面の孔 の周囲は広がった状態であり表面からの穿孔の際に裏面側 が破碎したものと考えられる。孔径約2mm。	剣形
第349図 PL.496	35	石製品 石製模造品	土器集積内 ほぼ完形	長 幅	(4.2) 2.0	厚 重	0.5 6.0	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面 部にも全体的に擦痕が認められる。上下の孔径約2mm。	剣形
第349図 PL.496	36	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	4.2 2.6	厚 重	0.6 9.9	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。上側 面と左右両側面にも擦痕が認められる。全体的に擦痕の残 存状況は悪く摩滅したような表面状況である。中央の折断 面で2点が接合した資料であり、この折断は表面側から裏 面側に進行している。折断面の周囲には刀子等工具による 溝状痕跡が認められる。溝状痕跡の内部には刀子等工具に よる作出面が多数累積する。この溝状痕跡は中央で折断す ることを意図したものと考えられる。上下の孔は表面側が 広がっており裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したもの と考えられる。上下の孔径約2mm。	2点接合 剣形

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値				胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長	幅	厚	重			
第349図 PL.496	37	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長	4.3	厚	0.6	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。上側面と左右両側面にも擦痕が認められる。全体的に擦痕の残存状況は悪く摩滅したような表面状況である。中央の折断面で2点が接合した資料であり、この折断は表面側から裏面側に進行している。折断面の周囲には刀子等工具による溝状痕跡が認められる。溝状痕跡の内部には刀子等工具による作出面が多数累積する。この溝状痕跡は中央で折断することを意図したものと考えられる。上下の孔は裏面側が広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したものと考えられる。上下の孔径約2mm。	2点接合 剣形
第349図 PL.496	38	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長	3.6	厚	0.6			
第349図 PL.496	39	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長	4.1	厚	0.5	滑石	灰白色。表裏面には縦～斜め方向の擦痕が認められる。側面にも全体的に擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がった状態であり表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したものと考えられる。孔径約2mm。	剣形
第349図 PL.496	40	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長	4.5	厚	0.6			
第349図 PL.496	41	石製品 石製模造品	土器集積内 4/5	長	(3.8)	厚	0.5	滑石	にぶい黄褐色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面にも擦痕が認められる。中央の折断面で2点が接合した資料であり、この折断は裏面側から表面側に進行している。孔は裏面側が広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したものと考えられる。孔径約2mm。	剣形
第349図 PL.496	42	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長	2.8	厚	0.5			
第349図 PL.496	43	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長	6.2	厚	0.6	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め及び縦方向の擦痕が認められる。側面にも擦痕が認められる。表面の下方には刀子等工具による作出面が2面認められる。裏面の下方には刀子等工具による作出面が2か所認められる。表面の孔の周囲は広がった状態であり裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したものと考えられる。孔径約2mm。	剣形
第349図 PL.496	44	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長	4.9	厚	0.5			
第349図 PL.496	45	石製品 石製模造品	土器集積内 4/5	長	(5.1)	厚	0.6	滑石	にぶい黄褐色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。上面、左右両側面の下半部にも擦痕が認められる。左側面上半部、右側面中央には刀子等工具による作出面が認められる。孔径約2mm。	剣形
第349図 PL.496	46	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長	6.2	厚	0.5			
第349図 PL.496	47	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長	2.7	厚	0.6	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面にも全体的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	剣形
第349図 PL.496	48	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長	4.8	厚	0.8			
第349図 PL.496	49	石製品 石製模造品	土器集積内 ほぼ完形	長	5.2	厚	0.5	滑石	灰白色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面にも全体的に擦痕が認められる。裏面の右側縁上方には刀子等工具による作出面が1面認められる。孔径約2mm。	剣形
第349図 PL.496	50	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長	3.7	厚	0.4			
第349図 PL.496	51	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長	4.0	厚	0.4	滑石	灰白色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面にも全体的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	剣形
第349図 PL.496	52	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長	3.8	厚	0.7			
第349図 PL.496	53	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長	4.5	厚	0.4	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。上側面と左右両側面にも擦痕が認められる。裏面右側縁上方には刀子等工具による作出面が3面認められる。その内部には作業方向に平行する細かい線条痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	剣形
第349図 PL.496	54	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長	3.1	厚	0.5			
第349図 PL.496	55	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長	3.6	厚	0.5	滑石	にぶい黄褐色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面にも全体的に擦痕が認められる。表面の右側縁下方には刀子等工具による作出面が認められる。孔径約2mm。	剣形
第349図 PL.496	56	石製品 石製模造品	土器集積内 2/3	長	(3.0)	厚	0.5			

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値				胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	3.1 3.0	厚 重	0.6 5.8			
第349図 PL.496	57	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	3.1 3.0	厚 重	0.6 5.8	滑石	にぶい黄橙色。表面は縦方向と横方向、裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。裏面の下側縁には刀子等工具による作出面が認められ、その内部には作業方向に平行する細かい線条痕が認められる。孔径約2mm。	剣形
第349図 PL.496	58	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	6.6 2.6	厚 重	0.6 15.8	滑石	にぶい黄橙色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。中央の折断面で2点が接合した資料であり、この折断は裏面側から表面側に進行している。裏面の側縁左方には刀子等工具による作出面が認められる。孔径約2mm。	剣形
第349図 PL.496	59	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	6.9 2.7	厚 重	0.7 16.4	滑石	灰色。表面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の左右両側縁には刀子等工具による作出面が認められる。孔径約2mm。	剣形
第350図 PL.496	60	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	7.5 2.8	厚 重	0.6 17.7	滑石	にぶい黄橙色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも擦痕が認められる。中央の折断面で2点が接合した資料であり、この折断は表面側から裏面側に進行している。裏面の側縁左方には刀子等工具による作出面が認められる。表面中央に穿孔途中の孔が6箇所認められる。表面の上側縁左右と裏面の左側縁上方には打点を伴う剥離痕が認められる。孔は裏面側が広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したものと考えられる。孔径約2mm。	剣形
第350図 PL.496	61	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	6.2 2.7	厚 重	0.6 16.3	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め及び縦方向の擦痕が認められる。側面部にも擦痕が認められる。表面の下方には刀子等工具による作出面が2面認められる。裏面の下方には刀子等工具による作出面が2か所認められる。表面の孔の周囲は広がった状態であり裏面からの穿孔の際に表面側が破砕したものと考えられる。孔径約2mm。	剣形
第350図 PL.496	62	石製品 石製模造品	土器集積内 ほぼ完形	長 幅	4.8 1.8	厚 重	0.5 8.6	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも擦痕が認められる。孔径約2mm。	剣形
第350図 PL.496	63	石製品 石製模造品	土器集積内 4/5	長 幅	(5.3) (2.3)	厚 重	(0.5) 10.1	滑石	にぶい黄橙色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。左右両側面にも擦痕が認められる。上面は部分的に平坦面が形成されるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	剣形
第350図 PL.496	64	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	5.3 2.6	厚 重	0.5 8.4	滑石	灰色。表裏面には横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の孔の周囲は広がった状態であり裏面からの穿孔の際に表面側が破砕したものと考えられる。孔径約3mm。	剣形
第350図 PL.496	65	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	4.7 1.9	厚 重	0.8 9.2	滑石	オリーブ灰色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも擦痕が認められる。裏面の側縁、中央、右側縁下方には刀子等工具による作出面が認められる。刀子等工具による作出面には作業方向に平行する細かい線条痕が部分的に認められる。孔径約2mm。	剣形
第350図 PL.496	66	石製品 石製模造品	土器集積内 4/5	長 幅	(5.0) 1.9	厚 重	0.6 6.8	滑石	オリーブ灰色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも擦痕が認められる。表面の中央には刀子等工具による断面V字状の溝状作出面が斜め方向に3条認められる。裏面の中央には刀子等工具による作出面が認められる。孔径約2mm。	剣形
第350図 PL.496	67	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	4.4 1.7	厚 重	0.5 5.6	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	剣形
第350図 PL.496	68	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	4.3 2.0	厚 重	0.7 8.9	滑石	オリーブ灰色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	剣形
第350図 PL.496	69	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	3.8 2.5	厚 重	0.6 6.7	滑石	オリーブ灰色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部では擦痕は認められず全体的に磨滅したような表面状況である。表面の中央には刀子等工具による作出面が2面認められる。孔径約2mm。	剣形
第350図 PL.496	70	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	3.2 3.0	厚 重	0.8 10.6	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。全体的に擦痕の残存状況は悪く磨滅したような表面状況である。表面の下方には刀子等工具による作出面が複数認められる。上下の孔径約2mm。	剣形
第350図 PL.496	71	石製品 石製模造品	土器集積内 ほぼ完形	長 幅	3.4 2.6	厚 重	0.5 9.1	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。左側面にも擦痕が認められる。表面の左上方及び右側縁、裏面の右側縁には刀子等工具による作出面が認められる。その内部には作業方向に平行する細かい線条痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がった状態であり表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したものと考えられる。孔径約2mm。	剣形
第350図 PL.496	72	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	7.8 4.1	厚 重	0.9 38.9	滑石	灰白色。表裏面には斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の左側縁上方には刀子等工具による作出面が累積し、表面中央と下方にも刀子等工具による作出面が認められる。裏面の左側縁上方と右側縁下方には刀子等工具による作出面が累積する。表面の孔の周囲は広がった状態であり裏面からの穿孔の際に表面側が破砕したものと考えられる。孔径約2mm。	勾玉形
第350図 PL.496	73	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	6.7 4.6	厚 重	0.9 27.3	滑石	オリーブ灰色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。左側面の上方には刀子等工具による作出面が1面認められる。表面の上側縁には打点を伴う剥離痕が認められる。裏面の孔は外側に向かい浅鉢状に広がっている。孔径約2mm。	勾玉形

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				長 幅	厚 重	0.9 28.0				
第350図 PL.496	74	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	6.1 3.8	厚 重	0.9 28.0	滑石	灰白色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも擦痕が認められる。左側面内湾部には幅広く深い擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がった状態であり表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したものと考えられる。孔径約2mm。	勾玉形
第350図 PL.496	75	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	6.4 3.7	厚 重	0.9 30.4	滑石	オリープ灰色。表裏面には縦～斜め及び横方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。裏面上側縁には刀子等工具による作出面が認められる。表面の孔の周囲は広がった状態であり裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したものと考えられる。孔径約2mm。	勾玉形
第350図 PL.496	76	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	5.2 4.2	厚 重	0.9 19.8	滑石	灰白色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。全体的に擦痕は一つ一つの幅が広く深い。表面の上半部には刀子等工具による作出面が認められる。孔径約2mm。	勾玉形
第350図 PL.497	77	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	5.5 3.2	厚 重	0.5 11.4	滑石	オリープ灰色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の左右両側縁中央、裏面の下側縁には刀子等工具による作出面が認められる。孔径約2mm。	勾玉形
第351図 PL.497	78	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	5.7 2.4	厚 重	0.7 11.7	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の左側縁上方及び右側縁には刀子等工具による作出面が複数認められる。孔径約2mm。	勾玉形
第351図 PL.497	79	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	5.4 3.4	厚 重	0.9 18.2	滑石	オリープ灰色。表裏面は縦～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の上側縁には刀子等工具による作出面が3面認められる。裏面上側縁には刀子等工具による作出面が1面認められる。孔径約2mm。	勾玉形
第351図 PL.497	80	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	5.6 3.6	厚 重	1.0 25.0	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。下側面にも擦痕が認められる。左右両側面には全体的に刀子等工具による作出面が認められる。表面の右側縁から下側縁、裏面の左側縁から下側縁には刀子等工具による作出面が認められる。刀子等工具痕には内部に作業方向に平行する細かい線条痕がわずかに認められる部分がある。孔径約2mm。	勾玉形
第351図 PL.497	81	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	4.8 2.6	厚 重	0.7 12.1	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも擦痕が認められる。表面の右側縁、裏面の左側縁上方には刀子等工具による作出面が認められる。孔径約2mm。	勾玉形
第351図 PL.497	82	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	4.7 3.2	厚 重	0.7 13.1	滑石	灰白色。表裏面は斜め～横方向の擦痕が認められる。側面部にも擦痕が認められる。表面の左側縁上部から中部にかけて、裏面の右側縁中部には刀子等工具による作出面が認められる。表面の孔の周囲は広がった状態であり裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したものと考えられる。孔径約2mm。	勾玉形
第351図 PL.497	83	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	4.9 3.3	厚 重	0.9 16.5	滑石	灰白色。表裏面は縦～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも擦痕が認められる。左側面内湾部には幅広く深い擦痕が認められる。表面の右側縁には刀子等工具による作出面が認められる。裏面の右側縁上方に幅約1mmの断面U字形の溝状痕跡が累積したものが3箇所認められる。表面の孔の周囲は広がった状態であり裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したものと考えられる。孔径約2mm。	勾玉形
第351図 PL.497	84	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	5.0 4.1	厚 重	0.9 21.7	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも擦痕が認められる。裏面の左側縁には刀子等工具による複数の作出面が認められる。裏面の孔の周囲は広がった状態であり表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したものと考えられる。孔径約2mm。	勾玉形
第351図 PL.497	85	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	4.1 2.7	厚 重	0.7 10.3	滑石	灰白色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。裏面の孔は外側に向かい浅鉢状に広がっている。孔径約2mm。	勾玉形
第351図 PL.497	86	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	4.9 3.5	厚 重	0.6 16.5	滑石	オリープ灰色。中央の折断面で3点が接合した資料であり、この折断はいずれも裏面側から表面側に進行している可能性が高い。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の右側縁には刀子等工具による作出面が認められる。孔径約2mm。	3点接合 勾玉形
第351図 PL.497	87	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	4.5 3.5	厚 重	0.8 19.2	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	勾玉形
第351図 PL.497	88	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	4.4 2.3	厚 重	0.7 9.4	滑石	灰白色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	勾玉形
第351図 PL.497	89	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	4.2 2.3	厚 重	0.6 9.3	滑石	オリープ灰色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。裏面上側縁、右側縁には刀子等工具による作出面がそれぞれ2面認められる。孔径約2mm。	勾玉形
第351図 PL.497	90	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	4.2 2.3	厚 重	0.6 9.7	滑石	オリープ灰色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の上側縁には刀子等工具による作出面が1面認められる。表面の孔の周囲は広がった状態であり裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したものと考えられる。孔径約2mm。	勾玉形
第351図 PL.497	91	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	3.6 2.7	厚 重	0.8 12.4	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	勾玉形
第351図 PL.497	92	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	2.5 1.7	厚 重	0.4 2.4	滑石	灰色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	勾玉形

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第351図 PL.497	93	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	2.9 2.6	厚 重	0.5 5.6	滑石	灰オリーブ色。表面は斜め方向、裏面は横方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	勾玉形
第351図 PL.497	94	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	4.2 4.3	厚 重	0.5 16.7	滑石	オリーブ灰色。表面は縦方向、裏面は横方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面右側縁と側面部との境界の稜上には刀子等工具による作出面が認められる。裏面の右側縁下方には刀子等工具による作出面が1面認められる。孔径約2mm。	有孔円板
第351図 PL.497	95	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	4.6 4.3	厚 重	0.7 19.1	滑石	オリーブ灰色。表裏面は斜め～横方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	有孔円板
第351図 PL.497	96	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	4.3 4.8	厚 重	0.7 19.0	滑石	暗オリーブ灰色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも擦痕が認められる。裏面の右側縁には刀子等工具による作出面が認められる。孔径約2mm。	有孔円板
第351図 PL.497	97	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	4.2 4.2	厚 重	0.7 19.7	滑石	灰色。表裏面は全体的に刀子等工具による作出面で構成されるが擦痕もわずかに認められ研磨整形面と刀子等作出面が混在した状況である。側面部は全体的に擦痕が認められる。孔は裏面側が広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したものと考えられる。孔径約2mm。	有孔円板
第351図 PL.497	98	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	4.0 3.7	厚 重	0.7 17.2	滑石	オリーブ灰色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも擦痕が認められる。表面の右側縁上方には刀子等工具による作出面が認められる。裏面の左側縁には刀子等工具による作出面が累積する。孔径約2mm。	有孔円板
第352図 PL.497	99	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	3.7 2.2	厚 重	0.6 8.7	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも擦痕が認められる。裏面の右側縁には刀子等工具による作出面が1面認められる。約2mm。	半円形
第352図 PL.497	100	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	4.0 2.4	厚 重	0.6 9.3	滑石	灰白色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも擦痕が認められる。表面の孔の周囲は広がった状態であり裏面からの穿孔の際に表面側が破砕したものと考えられる。孔径約2mm。	半円形
第352図 PL.497	101	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	3.9 3.0	厚 重	0.5 8.7	滑石	オリーブ灰色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。側面部では全体的に擦痕の残存状況は悪く摩滅したような表面状況である。裏面の下端には刀子等工具による作出面が認められる。孔径約2mm。	半円形
第352図 PL.497	102	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	3.2 1.9	厚 重	0.5 5.9	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。裏面の右側縁中央に刀子等工具による断面V字状の溝状作出面が横方向に認められる。孔径約2mm。	半円形
第352図 PL.497	103	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	3.1 2.1	厚 重	0.6 6.4	滑石	灰白色。表面は縦方向、裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。裏面の右側縁には刀子等工具による作出面が2面認められる。孔径約2mm。	半円形
第352図 PL.497	104	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	3.3 2.1	厚 重	0.6 5.9	滑石	灰白色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の右側縁下方には刀子等工具による作出面が認められる。裏面右側縁と側面部との境界の稜上には刀子等工具による作出面が1面認められる。孔径約2mm。	半円形
第352図 PL.497	105	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	3.1 2.5	厚 重	0.8 7.9	滑石	灰オリーブ色。表面は斜め方向の擦痕がわずかに認められる。全体的に摩滅した状態であり表面観察が困難である。孔径約2mm。	半円形
第352図 PL.497	106	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	3.4 2.0	厚 重	0.6 6.6	滑石	灰白色。下方に赤褐色物質の付着部分が広範囲に認められ酸化腐食した金属粉の可能性ある。表裏面には横～斜め及び縦方向の擦痕が認められる。側面部にも擦痕が認められる。表面の右側縁には刀子等工具による作出面が認められる。裏面の孔の周囲は浅鉢状に窪んでおり内部は滑らかである。孔径約2mm。	半円形
第352図 PL.497	107	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	4.1 1.9	厚 重	0.6 6.2	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。上側面と左右両側面にも擦痕が認められる。孔径約2mm。	半円形
第352図 PL.497	108	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	3.7 2.3	厚 重	0.6 7.1	滑石	灰オリーブ色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。表面上側縁と側面部との境界の稜上には刀子等工具による作出面が1面認められる。孔径約2mm。	半円形
第352図 PL.497	109	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	3.3 1.9	厚 重	0.5 5.6	滑石	灰色。表裏面は斜め～横方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	半円形
第352図 PL.497	110	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	3.7 1.8	厚 重	0.6 6.2	滑石	灰色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。左側面にも全体的に擦痕が認められる。上面から右側面を経て下面にかけては打割面で構成される。表面の孔の周囲は広がった状態であり裏面からの穿孔の際に表面側が破砕したものと考えられる。孔径約2mm。	半円形
第352図 PL.497	111	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	3.1 2.1	厚 重	0.7 6.9	滑石	オリーブ灰色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	半円形
第352図 PL.497	112	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	3.8 2.2	厚 重	0.6 7.0	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも擦痕が認められる。表面上側縁には刀子等工具による作出面が認められる。孔径約2mm。	半円形
第352図 PL.497	113	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	2.9 2.3	厚 重	0.6 5.8	滑石	灰色。表裏面には横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の孔の周囲は広がった状態であり裏面からの穿孔の際に表面側が破砕したものと考えられる。孔径約2mm。	半円形

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重	0.4 3.0			
第352図 PL.497	114	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 1.7	2.5 厚重	0.4 3.0	滑石	灰白色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。裏面の左側縁下方には刀子等工具による作出面が2面認められる。左側面と下側面は全体的に刀子等工具による作出面と考えられる。孔径約2mm。	半円形
第352図 PL.497	115	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 1.5	2.5 厚重	0.5 3.1	滑石	オリープ灰色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	半円形
第352図 PL.497	116	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 1.9	2.6 厚重	0.5 4.1	滑石	オリープ灰色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	半円形
第352図 PL.497	117	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 1.8	2.6 厚重	0.6 4.2	滑石	灰オリープ色。表裏面には横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも擦痕が認められる。孔径約3mm。	不明
第352図 PL.497	118	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 1.5	2.9 厚重	0.5 2.8	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の孔の周囲は広がった状態であり裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したものと考えられる。孔径約2mm。	半円形
第352図 PL.497	119	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 2.0	2.7 厚重	0.7 7.0	滑石	にぶい黄橙色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも擦痕が認められる。全体的に擦痕の残存状況は悪く摩滅したような表面状況である。裏面の左上側縁に刀子等工具による作出面が認められる。表面の中央に穿孔途中の孔が1箇所認められる。孔径約2mm。	半円形
第352図 PL.497	120	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 2.6	2.8 厚重	0.6 7.8	滑石	灰オリープ色。表裏面には縦～斜め方向の擦痕が認められる。裏面の右側縁に刀子等工具による作出面が認められる。裏面の中央上方に刀子等工具による断面V字状の溝状作出痕が2条認められる。裏面の孔の周囲は広がった状態であり表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したものと考えられる。孔径約2mm。	半円形
第352図 PL.497	121	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 2.2	2.9 厚重	0.4 3.8	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。孔径約2mm。	剣形
第352図 PL.497	122	石製品 石製模造品	土器集積内 2/3	長幅 (1.9)	3.6 厚重	0.4 3.2	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。裏面の右側縁下方から下側縁にかけて刀子等工具による作出面が2面認められる。孔径約2mm。	半円形
第352図 PL.497	123	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 1.5	2.7 厚重	0.4 2.9	滑石	オリープ灰色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がった状態であり表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したものと考えられる。孔径約2mm。	半円形
第352図 PL.497	124	石製品 石製模造品	土器集積内 ほぼ完形	長幅 (2.3)	1.5 厚重	0.5 2.2	滑石	灰白色。表裏面には斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の孔の周囲は広がった状態であり裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したものと考えられる。孔径約2mm。	半円形
第352図 PL.497	125	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 1.7	2.0 厚重	0.4 2.0	滑石	オリープ灰色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の左側縁には刀子等工具による作出面が累積する。表面の右側縁には刀子等工具による作出面が認められる。孔径約2mm。	半円形
第352図 PL.497	126	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 1.4	2.8 厚重	0.6 2.8	滑石	灰白色。表面は斜め方向、裏面は横方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。孔は表面側が広がっており裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したものと考えられる。径約2mm。	半円形
第352図 PL.497	127	石製品 不明	土器集積内 完形	長幅 2.3	2.3 厚重	0.8 2.5	流紋岩凝灰岩	白色。全体的に表面の風化が著しく、触れると白色粉が付着する。部分的にわずかに赤褐色が認められ受熱の可能性がある。	甕(27)の内
第353図 PL.497	128	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 2.6	4.8 厚重	0.6 13.1	滑石	灰白色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。左右両側面の中～上方にかけては刀子等工具による作出面が認められるが、作業方向に平行する細かい線条痕がわずかに認められる。裏面の孔の周囲は広がった状態であり表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したものと考えられる。孔径約2mm。	斧形
第353図 PL.497	129	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 3.7	4.8 厚重	0.5 14.1	滑石	オリープ灰色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。上下両側面にもわずかに擦痕が認められるが全体的に摩滅したような表面状況である。左右両側面の中央には刀子等工具による作出面が認められる。表面の左側縁から下側縁にかけては打点を伴う微細離痕が集中する。孔径約2mm。	斧形
第353図 PL.497	130	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 3.8	4.7 厚重	1.3 34.1	滑石	灰白色。表面上半部と裏面下半部には斜め方向の擦痕がわずかに認められる。上側面にも擦痕が認められる。その他の部分は全体的に刀子等工具による作出面と考えられる。表面の中央に断面V字形の溝状作出面があるが刀子状等工具によると考えられる。裏面の孔の周囲は広がった状態であり表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したものと考えられる。孔径約2mm。	斧形
第353図 PL.497	131	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 4.2	5.5 厚重	0.9 39.9	滑石	灰白色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。上下両側面にも全体的に擦痕が認められる。左右両側面には全体的に刀子等工具による作出面が複数認められる。表面の孔周囲辺り部、裏面上側縁には刀子等工具による作出面が認められる。裏面の中央には刀子等工具による断面V字形の溝状作出痕が認められる。孔径約2mm。	斧形
第353図 PL.497	132	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長幅 3.9	4.8 厚重	0.8 25.6	滑石	灰色。表裏面は斜め～横方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面右側縁下方には刀子等工具による作出面が3面認められる。孔径約2mm。	鍬鋤形

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				長 幅	厚 重					
第353図 PL.497	133	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	6.2 3.9	厚 重	1.1 47.1	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面にも全体的に擦痕が認められる。右側面上半部には刀子等工具による作出面と考えられ作業方向に平行する細かい線条痕が認められる。表面の孔の周囲は広がった状態であり裏面からの穿孔の際に裏面側が破砕したものと考えられる。孔径約2mm。	鋸歯形
第353図 PL.498	134	石製品 石製模造品	土器集積内 ほぼ完形	長 幅	(6.2) 3.7	厚 重	0.7 30.0	滑石	オリブ灰色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面は左右両側面の中央には刀子等工具による作出面が認められ、それ以外には全体的に擦痕が認められる。側面部では全体的に擦痕の残存状況は悪く摩滅したような表面状況である。表面の中央から上側縁にかけてと下方、裏面の右側縁下方と下側縁には刀子等工具による作出面が認められる。孔径約2mm。	有孔方板
第353図 PL.498	135	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	5.5 3.3	厚 重	1.0 33.6	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面にも擦痕が認められる。裏面の中央に刀子等工具による断面V字状の溝状作出痕が縦方向に認められる。孔径約2mm。	有孔方板
第353図 PL.498	136	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	4.0 2.6	厚 重	0.6 11.8	滑石	灰白色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面にも全体的に擦痕が認められる。表面の上側縁中央、裏面の上側縁左には刀子等工具による作出面が累積する。孔径約2mm。	有孔方板
第353図 PL.498	137	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	6.0 2.6	厚 重	0.7 13.2	滑石	オリブ灰色。表面は斜め方向の擦痕がわずかに認められ全体的に摩滅したような表面状態である。裏面には斜め方向の擦痕が認められ下方は摩滅したような表面状態である。側面にも部分的に擦痕が認められる。表面の中央、裏面の左側縁上方には刀子等工具による作出面が認められる。孔径約2mm。	有孔方板
第353図 PL.498	138	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	5.6 2.7	厚 重	0.6 11.5	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面にも全体的に擦痕が認められる。裏面の中央、裏面の下方には刀子等工具による作出面が複数認められる。孔径約2mm。	鎌形
第353図 PL.498	139	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	5.7 2.2	厚 重	0.5 9.6	滑石	灰色。表裏面と側面は刀子等工具による作出面で構成される。刀子等作出面には、その内部には作業方向に平行する細かい線条痕が認められる部分がある。孔径約2mm。	鎌形
第353図 PL.498	140	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	長 幅	5.9 2.2	厚 重	0.6 12.2	滑石	灰白色。表裏面は斜め～横方向の擦痕が認められる。側面にも全体的に擦痕が認められる。裏面左側縁には刀子等工具による2つの作出面が縦方向に認められる。孔径約2mm。	鎌形
第353図 PL.498	141	石製品 打製石製品	土器集積内 完形	長 幅	3.7 0.8	厚 重	0.4 1.1	細粒輝石安山岩	暗灰色。全体的な両面加工によって器種を整形する。	
第354図 PL.498	142	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.8 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したと考えられる。孔径約2mm。	
第354図 PL.498	143	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第354図 PL.498	144	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.5 0.4	滑石	にぶい黄橙色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は凹凸があり擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第354図 PL.498	145	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.8	厚 重	0.6 0.4	滑石	にぶい黄橙色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第354図 PL.498	146	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.6	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第354図 PL.498	147	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.2	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第354図 PL.498	148	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.6 0.5	滑石	にぶい黄橙色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第354図 PL.498	149	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は凹凸があり擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第354図 PL.498	150	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.8 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	オリブ灰色。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したと考えられる。孔径約2mm。	
第354図 PL.498	151	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.9 0.8	厚 重	0.4 0.4	滑石	オリブ灰色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約3mm。	
第354図 PL.498	152	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.6 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重				
第354図 PL.498	153	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.6 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。
第354図 PL.498	154	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。
第354図 PL.498	155	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央下方に張りがあり稜をわずかに形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第354図 PL.498	156	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.8 0.7	厚 重	0.6 0.5	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第354図 PL.498	157	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第354図 PL.498	158	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.7 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第354図 PL.498	159	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第354図 PL.498	160	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.6 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔は内部に段差が認められ両面穿孔と考えられる。孔径約2mm。
第354図 PL.498	161	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第354図 PL.498	162	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	オリーブ灰色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第354図 PL.498	163	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第354図 PL.498	164	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第354図 PL.498	165	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表面は凹凸があり擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第354図 PL.498	166	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.4 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は凹凸があり擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第354図 PL.498	167	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第354図 PL.498	168	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.6 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第354図 PL.498	169	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第354図 PL.498	170	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.6 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第354図 PL.498	171	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.8	厚 重	0.4 0.2	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第354図 PL.498	172	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.2	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔は内部下端付近に段差が認められ両面穿孔と考えられる。孔径約2mm。
第354図 PL.498	173	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第354図 PL.498	174	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.6 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重				
第354図 PL.498	175	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.8 0.8	0.4 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがわずかにあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第354図 PL.498	176	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.6 0.6	0.4 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第354図 PL.498	177	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.7 0.7	0.4 0.4	滑石	オリーブ灰色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第354図 PL.498	178	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.6 0.6	0.5 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがわずかにあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第354図 PL.498	179	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.7 0.7	0.3 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第354図 PL.498	180	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.7 0.7	0.4 0.2	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第354図 PL.498	181	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.7 0.7	0.5 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。表面の孔の周囲は広がっており裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。		
第354図 PL.498	182	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.7 0.7	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがわずかにあり横～斜め方向の擦痕が認められる。表面の孔の周囲は広がっており裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。		
第354図 PL.498	183	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.7 0.8	0.2 0.1	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第354図 PL.498	184	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.7 0.7	0.5 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。		
第354図 PL.498	185	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.7 0.7	0.4 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがわずかにあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第354図 PL.498	186	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.7 0.7	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第354図 PL.498	187	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.7 0.7	0.6 0.4	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第354図 PL.498	188	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.7 0.7	0.2 0.1	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがわずかにあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第354図 PL.498	189	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.7 0.6	0.6 0.4	滑石	にぶい黄褐色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。		
第354図 PL.498	190	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.6 0.6	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがわずかにあり斜め方向の擦痕が認められる。表面の孔の周囲は広がっており裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。		
第354図 PL.498	191	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.6 0.7	0.4 0.2	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央下方に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第354図 PL.498	192	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.7 0.8	0.5 0.3	滑石	灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央下方に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。		
第354図 PL.498	193	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.7 0.6	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第354図 PL.498	194	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.7 0.7	0.5 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第354図 PL.498	195	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.7 0.7	0.5 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長	厚	重			
第354図 PL.498	196	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.2	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第354図 PL.498	197	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.8	厚 重	0.4 0.4	滑石	灰色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第354図 PL.498	198	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第354図 PL.498	199	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.8	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第354図 PL.498	200	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第354図 PL.498	201	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央下方に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第354図 PL.4980	202	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.3 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したと考えられる。孔径約2mm。
第354図 PL.498	203	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第354図 PL.498	204	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.5	滑石	にぶい黄橙色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したと考えられる。孔径約2mm。
第354図 PL.498	205	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。
第354図 PL.498	206	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.6	厚 重	0.4 0.2	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。
第354図 PL.498	207	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.5 0.2	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第355図 PL.498	208	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第355図 PL.498	209	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.5 0.2	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第355図 PL.498	210	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第355図 PL.498	211	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.5	滑石	にぶい黄橙色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したと考えられる。孔径約2mm。
第355図 PL.498	212	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第355図 PL.498	213	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.6 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第355図 PL.498	214	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.5	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したと考えられる。孔径約2mm。
第355図 PL.498	215	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第355図 PL.498	216	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したと考えられる。孔径約2mm。
第355図 PL.498	217	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.6 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長幅	厚	重			
第355図 PL.498	218	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.6	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦でありわずかに擦痕が認められる。側面は中央に張りがわずかにあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第355図 PL.498	219	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.6	厚 0.6	重 0.5	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第355図 PL.498	220	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.5	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。	
第355図 PL.498	221	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.6	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第355図 PL.498	222	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.3	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第355図 PL.498	223	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第355図 PL.498	224	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第355図 PL.498	225	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第355図 PL.498	226	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第355図 PL.498	227	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.3	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面の孔の周囲は広がっており裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。	
第355図 PL.498	228	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.7	厚 0.6	重 0.5	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第355図 PL.498	229	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.3	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第355図 PL.498	230	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.6	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第355図 PL.498	231	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.8	厚 0.8	重 0.5	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあり横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第355図 PL.498	232	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第355図 PL.498	233	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.6	滑石	灰色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第355図 PL.498	234	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.7	厚 0.8	重 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第355図 PL.498	235	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.6	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第355図 PL.498	236	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.6	厚 0.6	重 0.4	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第355図 PL.498	237	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.6	厚 0.6	重 0.5	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第355図 PL.498	238	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.5	滑石	にぶい黄橙色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第355図 PL.498	239	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.8	厚 0.7	重 0.6	滑石	にぶい黄橙色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第355図 PL.498	240	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.7	厚 0.7	重 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重	0.7 0.4			
第355図 PL.498	241	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.7 0.4	滑石	オリーブ灰色。表面は凹凸があり擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第355図 PL.498	242	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.6	厚 重	0.4 0.2	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。表面の孔の周囲は広がっており裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。
第355図 PL.498	243	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第355図 PL.498	244	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第355図 PL.498	245	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	オリーブ灰色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。
第355図 PL.498	246	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.8	厚 重	0.6 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第355図 PL.498	247	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.6 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第355図 PL.498	248	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.6 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第355図 PL.498	249	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.4 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第355図 PL.498	250	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.6 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。表面の孔の周囲は広がっており裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。
第355図 PL.498	251	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.8 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第355図 PL.498	252	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第355図 PL.498	253	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.8	厚 重	0.5 0.4	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第355図 PL.498	254	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.6 0.6	滑石	オリーブ灰色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は凹凸があり擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第355図 PL.498	255	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.5	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第355図 PL.498	256	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.8 0.7	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。表面の孔の周囲は広がっており裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。
第355図 PL.498	257	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は凹凸があり擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第355図 PL.498	258	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.6 0.6	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。表面の孔の周囲は広がっており裏面からの穿孔の際に表面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。
第355図 PL.498	259	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.3 0.2	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第355図 PL.498	260	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第355図 PL.498	261	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.6 0.7	厚 重	0.6 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第355図 PL.498	262	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第355図 PL.498	263	石製品 白玉	土器集積内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.3 0.1	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴													備考		
				長幅	0.6 0.7	厚 重		0.5 0.3	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫		⑬	
第355図 PL.498	264	石製品 白玉	土器集積内 完形	長幅 0.6 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。															
第355図 PL.498	265	礫 粒状礫	土器集積内 完形	長幅 2.1 1.5	厚 重	0.5 2.4	珪質頁岩	黒褐色。小形の極円礫。全体的に光沢がある。															
第355図 PL.498	266	礫 粒状礫	土器集積内 完形	長幅 2.4 1.7	厚 重	0.8 4.7	砂岩	灰色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。															
第355図 PL.498	267	礫 粒状礫	土器集積内 完形	長幅 1.3 0.9	厚 重	0.6 0.9	粗粒輝石安山岩	暗灰黄色。小形の円礫。光沢はない。															
第355図 PL.498	268	礫 粒状礫	土器集積内 完形	長幅 1.2 0.8	厚 重	0.5 0.7	変玄武岩	暗灰黄色。小形の円礫。全体的にわずかに光沢がある。															
第355図 PL.498	269	礫 粒状礫	土器集積内 完形	長幅 1.7 1.0	厚 重	0.2 0.6	変質安山岩	黒褐色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。															
第355図 PL.498	270	礫 粒状礫	土器集積内 完形	長幅 1.1 0.7	厚 重	0.3 0.3	流紋岩	暗褐色。小形の垂円礫。全体的に光沢がある。															
第355図 PL.498	271	礫 粒状礫	土器集積内 完形	長幅 1.5 0.9	厚 重	1.0 1.7	黒色頁岩	灰色。小形の垂円礫。全体的にわずかに光沢がある。															
第355図 PL.498	272	礫 粒状礫	土器集積内 完形	長幅 0.9 0.6	厚 重	0.4 0.3	珪質変質岩	褐色。小形の極円礫。全体的に光沢がある。															
第355図 PL.498	273	礫 粒状礫	土器集積内 完形	長幅 2.1 1.3	厚 重	0.9 2.6	珪質変質岩	暗褐色。小形の円礫。全体的にわずかに光沢がある。															
第355図 PL.498	274	礫 粒状礫	土器集積内 完形	長幅 1.2 0.9	厚 重	0.4 0.5	砂岩	灰色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。															
第355図 PL.498	275	礫 粒状礫	土器集積内 完形	長幅 1.1 0.7	厚 重	0.5 0.4	砂岩	灰色。小形の垂円礫。全体的にわずかに光沢がある。															
第355図 PL.498	276	礫 粒状礫	土器集積内 完形	長幅 1.9 1.1	厚 重	0.6 1.6	滑石	灰色。小形の円礫。全体的にわずかに光沢がある。															
第355図 PL.498	277	礫 粒状礫	土器集積内 完形	長幅 1.7 0.9	厚 重	0.6 1.1	粗粒輝石安山岩	暗褐色。小形の円礫。光沢はない。															
第355図 PL.498	278	礫 粒状礫	土器集積内 完形	長幅 2.1 1.5	厚 重	0.6 2.6	砂岩	暗赤褐色。小形の円礫。全体的にわずかに光沢がある。															
挿図 PL.No.	No.	器種 細別器種	出土位置 残存率	法 量													観 察						
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬							
第356図 PL.499	279	斧 袋柄斧	土器集積内 完形	15.3	6.4	3.1	5.4	3.0	0.3 ～ 0.35	8.9	6.1	1.1	0.8	大型で肩を持たない袋柄を持つ斧。このように、柄の先端が細くなっているものは県内には類例が無い。大形の袋柄斧としての類例は、中期から後期には、見立溜井2号墳、本間町2号墳、台所山古墳例などがあるが、非常に少ない。袋部の折り返しは、向かって左が、上部がやや幅広く、下部は折り返し測辺部が欠損している可能性がある。右側の折り返しは、中ほどでつぶれたようになっており、横方向に直線状に割れたような状況がある。さらに右側折り返しの下部も上から押されたような状況で全体に窪んでおり、さらに右測辺に近い側には縦方向に割れ線が入っている。故意に打撃を与えつぶした可能性を考えたい。さらに、上方から見ると良く分かるが、向かって右袋部の側線が通常の円弧状ではなく、直線状になっており、右側から打撃を受けて変形したものと推定する。刃部の厚みは1.2cmと厚めで、メタルの遺存もあって重みがある。柄の中に木質の残存部と思われるものが入っている。柄付で納められていたものであろう。白玉が1個右側面に、2個は表面に錆により付着している。									
第357図 PL.499	280	鎌 長頸有片逆刺三角形鎌	土器集積内 完形	17.5	1.3	1.0	0.3	片逆刺長 (2.9)	7.7	0.6	0.4	0.8	0.5	8.4	0.55	0.4	長めの片逆刺を右側に有する長頸三角形鎌。片丸造である。茎には糸巻きが一部確認され、いずれも朱が塗布されている。この朱塗布の上から白色物質が確認できる。白色素材は不明である。						

挿図 PL.No.	No.	器種 細別器種	出土位置 残存率	法 量													観 察
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
第357図 PL.499	281	鍬 大型平根有 頸脇扶長三 角形鍬	土器集積内 完形	14.3	7.7	2.6	0.2 ~ 0.35	1.8	4.3	0.6	0.3	0.8	0.4	4.1	0.5	0.3	4号遺構の大型鍬と同じ形態の鍬。完存品。片丸造である。頸の長さが少し長い点が相違点でほぼ同じ形態を呈する。出土遺構が異なるのに同じ形態であり、同一の工人が製作した可能性が高い。
第357図 PL.499	282	鍬 鍬茎片	土器集積内 茎先端部	1.7+										1.7+	0.3	0.3	6号遺構の大型鍬と同じ地点から出土した鍬の茎先端部破片。ただし、大型鍬とは接合しない。念のため、4号遺構出土の同一形式で茎の欠損している鍬との接合を試みたが接合しない。

## 5区7号遺構出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考
				口 高	口 底	厚 重			
第360図 PL.499	1	土師器 杯	土器集積内 完形	11.2	5.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り後底部にへら磨き。内面は体部から口縁部に斜放射状へら磨き。	
第360図 PL.499	2	土師器 杯	土器集積内 完形	11.3	4.9		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部から体部上半は横ナデ、体部下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に斜放射状へら磨き。	
第360図 PL.499	3	土師器 杯	土器集積内 完形	11.2	5.3		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に斜放射状へら磨き。	
第360図 PL.499	4	土師器 杯	土器集積内 完形	13.3	5.3		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に斜放射状へら磨き。	
第360図 PL.499	5	土師器 杯	土器集積内 完形	13.9	5.0		細砂粒、大粒の赤 色粘土粒/良好/明 赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面はナデ。底部外面はへら削り。体部内面は口縁部に向かい右傾の斜放射状へら磨き。底部内面は体部のへら磨きの後、「十」字状のへら磨き。	
第360図 PL.499	6	土師器 小型甕	土器集積内 口縁部一部欠	11.1	6.8	11.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位にハケ目が残るへらナデ、中下位はへらナデであるが単位不鮮明、底部はへら削り。内面胴部はへらナデ。	
第360図 PL.499	7	土師器 甕	土器集積内 完形	16.8	5.9	31.1	細砂粒・白色粘土 粒/良好/浅黄	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへら削り。胴部内面は横位のへらナデ。	
第360図 PL.499	8	礫石器 磨石	土器集積内 完形	13.4	5.3	5.0 567.8	粗粒輝石安山岩	表裏面と右側面に磨面が認められる。棒状の垂円礫。	
第360図 PL.499	9	石製品 管玉	土器集積内 完形	2.1	0.6	0.5 1.1	蛇紋岩	オリブ黒色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。孔は中央付近が狭くなっており両面穿孔と考えられる。上面の孔径約2mm、下面の孔径約3mm。	
第360図 PL.499	10	石製品 石製模造品	土器集積内 完形	1.9	1.4	0.5 2.1	滑石	灰白色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面にも全体的に擦痕が認められる。裏面の左右両側縁と下側縁には刀子等工具による作出面が認められる。裏面の孔の周囲は広がった状態であり表面からの穿孔の際に裏面側が破砕したものと考えられる。孔径約2mm。	半円形
第360図 PL.499	11	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.6	0.6	0.4 0.2	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第360図 PL.499	12	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.6	0.6	0.4 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第360図 PL.499	13	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.6	0.6	0.3 0.2	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第360図 PL.499	14	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.6	0.6	0.4 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第360図 PL.499	15	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.6	0.7	0.4 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第360図 PL.499	16	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.7	0.6	0.4 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第360図 PL.499	17	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.6	0.6	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔は内部下端近くに段差が認められる。孔径約2mm。	
第360図 PL.499	18	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.7	0.7	0.5 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第360図 PL.499	19	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.6	0.7	0.4 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第360図 PL.499	20	石製品 白玉	土器集積内 完形	0.7	0.7	0.3 0.3	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重				
第360図 PL.499	21	石製品 白玉	土器集積内 完形	13.0	0.8	0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第360図 PL.499	22	石製品 白玉	土器集積内 完形	13.0	0.7	0.5	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第360図 PL.499	23	礫 粒状礫	土器集積内 完形	10.0	0.9	0.4	粗粒輝石安山岩	灰色。小形の円礫。光沢はない。	
第360図 PL.499	24	礫 粒状礫	土器集積内 完形	2.1	1.8	1.2	チャート	黒色。小形の円礫。全体的に光沢がある。	

5区8号遺構出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口 径	高 度				
第363図 PL.501	1	土師器 杯	土器集積内 3/4	13.0			細砂粒、大粒の赤 色粘土粒/良好/橙	底部内面周縁から口縁部外面は横ナデ。底部外面はヘラ削り。底部外面の器表は摩滅気味で削りの単位不明瞭。	底部外面1/4 に青灰色の黒 斑。
第363図 PL.501	2	土師器 高杯	土器集積内 口縁部一部欠	14.3	9.4	9.2	細砂粒/良好/赤褐	杯部底部の突起を脚部に差し込み接合か。杯部は口縁部横 ナデ、体部はヘラ削り後一部にヘラ磨き、接合部から裾部 は横ナデ。内面は杯部が体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨 き、脚部は横ナデ。	
第363図 PL.501	3	土師器 高杯	土器集積内 口縁部一部欠	16.5	10.0	12.6	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部内面から外面稜線部は横ナデ。口縁部外面は端部 に向かい左傾の斜放射状ヘラ磨き。口縁部内面は端部に向 かい右傾の斜放射状ヘラ磨き。底部はナデ。脚部外面は縦 位ヘラ磨きで、裾部外面は横位を主体とした短いヘラ磨 き、脚部内面は横ナデ。脚柱部内面は横位ヘラ削りの後、粘 土ホソをナデ付ける。	
第363図 PL.501	4	土師器 高杯	土器集積内 脚部一部欠	15.5	9.6	11.2	細砂粒/良好/橙	口縁部外面は口縁部に向かい左傾の斜放射状ヘラ磨きで、 稜線付近は横位ヘラ磨き。口縁部内面は口縁部に向かい右 傾の斜放射状ヘラ磨きを2段に施す。底部内面は一方方向 のヘラ磨き。脚部外面は縦位のヘラ磨きで、裾部のみ短い横 方向のヘラ磨き。脚柱部内面は横位ヘラ削りの後、粘土ホ ソをナデ付ける。	
第363図 PL.501	5	土師器 壺	土器集積内 完形	13.4	7	19.6	細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/明赤褐	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部と胴部上半は放射状、 頸部に連続する半円状のヘラ磨き、胴部下半と底部はヘラ 削り。内面は口縁部に斜放射状ヘラ磨き、底部から胴部は ヘラナデか。	
第363図 PL.501	6	土師器 壺	土器集積内 口縁部、胴部一 部欠	7.0			細砂粒～礫少量/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。口縁部外面下位はヘラナデにより面取 り状となる。上半は部分的に間隔のあいたヘラ磨きで、他は 密なヘラ磨き。胴部内面はナデ。底部外面中央に植物葉痕。	胴部中位外面 に黒斑。
第363図 PL.501	7	石製品 白玉	土器集積内 完形	13.0	0.7	0.5	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあるが斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第363図 PL.501	8	石製品 白玉	土器集積内 完形	13.0	0.6	0.5	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第363図 PL.501	9	石製品 白玉	土器集積内 完形	13.0	0.6	0.3	滑石	*	
第363図 PL.501	10	石製品 白玉	土器集積内 完形	13.0	0.6	0.5	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあるが斜め方向の擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	
第363図 PL.501	11	石製品 白玉	土器集積内 完形	13.0	0.6	0.5	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第363図 PL.501	12	石製品 白玉	土器集積内 完形	13.0	0.7	0.6	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第363図 PL.501	13	礫 粒状礫	土器集積内 完形	1.1	0.5	0.5	流紋岩	暗褐色。小形の円礫。光沢はない。	
第364図 PL.500	14	須恵器 高杯形器台	土器集積内 ほぼ完形	34.5	9.2	23.4	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	杯部と脚部は接合。杯部はロクロ整形、回転右回りか。体 部はカキメ、口縁部上半には2条の凹線で区画した上位に 波状文を施文。脚部も2条1単位による凹線によって3段 に区画、下から1段目と2段目は2段の波状文を施文、3 段目はカキメ後1段の波状文を施文後1段目に三角形、2 段目と3段目に長方形の透孔を4方にあけている。	外面の一部と 内面の杯部底 部から体部に 降灰が付着。 内面は厚く付 着。

5区10号遺構出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重				
第369図 PL.501	1	土師器 高杯	中央部床上18cm 脚柱部、裾部 3/4欠	13.4			細砂粒少量/良好/ 赤褐	裾部は横ナデ。脚柱部外面はナデで、ナデ以前に縦位のヘラ ナデ整形か。柱部内面は絞り目を粗いヘラナデでナデ消す。	
第369図 PL.501	2	石製品 石製品(剥 片)	埋土 不明	3.0	2.1	0.4	頁岩	表面は全体的に滑らかであり研磨整形されている可能性が ある。裏面は平坦であるが剥離面と判断される。右側面 には擦り切り痕とその後の折断痕が認められる。	
第369図 PL.501	3	石製品 管玉	P2南東部 完形	1.6	0.5	0.5	碧玉	深緑色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。 上下面の孔径約3mm。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴													備考		
				長 幅	厚 重	厚 重		法 量															
挿図 PL.No.	Na	器種 細別器種	出土位置 残存率	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	観 察						
第369図 PL.501	4	礫 粒状礫	埋土 ほぼ完形	1.4 (1.3)	1.5 厚	0.6 1.5	変質安山岩			赤褐色。小形の円礫。全体的に非常に滑らかでありわずかに光沢がある。													
第369図 PL.501	5	礫 粒状礫	埋土 完形	1.5 長 幅	1.0 厚 重	0.5 1.1	珧質頁岩			灰色。小形の円礫。全体的に非常に滑らかであり光沢がある。													
第369図 PL.501	6	礫 粒状礫	埋土 完形	1.8 長 幅	1.5 厚 重	0.7 2.8	粗粒輝石安山岩			暗褐色。小形の円礫。光沢はない。													
第369図 PL.501	7	礫 粒状礫	埋土 完形	1.4 長 幅	1.1 厚 重	0.6 1.2	砂岩			黒褐色。小形の円礫。光沢はない。													
第369図 PL.501	8	礫 粒状礫	埋土 完形	0.9 長 幅	0.6 厚 重	0.6 0.4	変質安山岩			灰色。小形の円礫。全体的に光沢がある。													
第369図 PL.501	9	長方形銅製 品	東壁溝東脇S1下面 ほぼ完形	2.1	1.05	0.2~ 0.3	0.2										長方形の青銅製品である。穿孔(0.2cm)が端部にある。孔は裏面と推定されるほうに向かって拡がる(表0.2、裏0.3cm)。側面から見ると屈曲している。厚みは、右側が0.3cm、左側が0.2cmと薄い。両端ともに欠失はあるが、活きている箇所もあるので、これより長くなることはないだろう。全体に緑青がふいている。釧の部品の可能性あり。						

1区1号竪穴建物出土遺物観察表 (15は赤玉P24)

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴													備考
				口 径	高 さ	高 さ		法 量													
第379図 PL.502	1	土師器 杯	竈右脇床直 1/2	13.2			細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部はナデ。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。													
第379図 PL.502	2	土師器 杯	竈燃焼部底面 2/3	12.3 口 高	5.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。													
第379図 PL.502	3	土師器 杯	竈右脇床直 口唇部一部欠	12.1 口 高	5.3		細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。													
第379図 PL.502	4	土師器 杯	竈左脇床上9cm 1/3	12.8 口 高	5.4		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。													
第379図 PL.502	5	土師器 杯	埋土 3/4	13.7 口 高	5.1		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部がヘラナデ。													
第379図 PL.502	6	土師器 杯	竈前床直 3/4	13.3 口 径	高 13	5.9	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇部に径0.6cmの穿孔が1孔有り。													
第379図 PL.502	7	土師器 杯	中央部床直 3/4	12 口 径	高 11.5	5.5	細砂粒/良好、燻/ にぶい赤褐	内面は燻し焼成。口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は内傾する平坦面を作る。													
第379図 PL.502	8	土師器 杯	竈左脇床上9cm 3/4	12.7 口 径	高 13	5.5	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口縁部は直立し、端部は丸く作る。													
第379図 PL.502	9	須恵器 高杯	埋土 杯部口縁部下位 ~体部小片	15	稜		細砂粒/還元焰/灰 黄	ロクロ整形、回転方向不明。口縁部下に断面三角形の凸線を2条、体部中位に凹線を巡らし。凸線と凹線の間に波状文を施文。													
第379図	10	土師器 甕	埋土 口縁部~胴部上 位片	19.6	口		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削りか。内面は胴部がヘラナデ。													
第379図 PL.502	11	土師器 甕	竈右脇床直 口縁部~胴部上 半	13.6	口		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。													
第379図	12	土師器 甕	周堤盛土 底部~胴部下 位片	5.4	底		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	底部と胴部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。													
第379図	13	土師器 甕か	竈燃焼部底面 口縁部~胴部上 半片	28	口		細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/橙	胴部内面に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部にハケメ残るヘラナデ。													
第380図 PL.502	14	土師器 壺	埋土 口縁部~胴部下 位	18.3	口		細砂粒・粗砂粒/ 良好/灰黄	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り、大部分は器面摩滅のため単位不明。内面は胴部がヘラナデか、内面も器面摩滅のため不鮮明。													
第380図 PL.502	16	石製品 石製模造品	西隅埋土上層 完形	4.2 長 幅	厚 2.6	0.6 0.9	滑石	オリブ灰色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。全体的に擦痕の残存状況は悪く摩滅したような表面状況である。上側面の中央には刀子等工具による作出面が認められる。上部中央の孔は表面から裏面に向かい狭くなっており表面からの片面穿孔と考えられる。上部側縁の孔は裏面から表面に向かい狭くなっており裏面からの片面穿孔と考えられる。左側面上方には断面U字形の溝状作出痕が認められる。各孔径約2mm。													剣形
第380図 PL.502	17	石製品 白玉	竈左脇床上9cm 完形	0.7 長 幅	厚 0.6	0.3 0.2	滑石	オリブ灰色。表裏面はほぼ平坦でありわずかに擦痕が認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。													

1区3号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口高	口径	高さ			
第386図	1	土師器 杯	周堤盛土 1/6	口高 13.8 4.9			細砂粒・粗砂粒・ 礫(褐色粒)/良好/ 橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	内外面に煤が 付着か。
第386図 PL.502	2	土師器 杯	南壁沿い埋土 口縁部一部欠	口径 13.0 12.4	高 5.5		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口縁部はやや外反し、端部は丸みをもつ作り。	
第386図 PL.502	3	土師器 杯	竈燃焼部最奥 3/4	口径 12.2 11.9	高 5.5		細砂粒/良好・内 面燻?/橙	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は内傾する平坦面を作る。	
第386図	4	土師器 鉢	埋土 口縁部下半~底 部	底 7.6			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部はヘラ削り、器面摩滅のため単位不鮮明。内面は底部から体部がヘラナデ。	
第386図	5	土師器 小型甕	埋土 口縁部~胴部上 位片	口 8.4			細砂粒・粗砂粒/ 良好/は黄褐	口縁部は横ナデ、頸部はヘラナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部にヘラナデ。	
第386図	6	土師器 鉢	周堤盛土 口縁部片	口 12.4			細砂粒/良好/灰黄 褐	口縁部は内外面とも横ナデ。	
第386図 PL.502	7	土師器 小型甕	竈煙道部底面 3/4	口底 14.4 4.8	高 13.9		細砂粒/良好/褐	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部は横方向のハケメ後縦方向ヘラ削り、底部もヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	
第386図	8	土師器 壺	周堤盛土 口縁部~胴部上 位片	口 13.5			細砂粒/良好/明黄 褐	口縁部は横ナデ、胴部はナデか。内面胴部はヘラナデ。	
第386図 PL.503	9	土師器 甕	竈燃焼部支脚上 3/4	口底 26.8 8.3	高 30		細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/にぶい橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部にヘラナデ。	
挿図 PL.No.	No.	遺物名	出土位置 残存率	計測値(cm)			重量	特徴など	
				長	幅	厚さ			
第386図 PL.502	10	粘土質溶解 物	南壁沿床土7cm 破片	3.3	1.8	1.6	6.3	粘土質溶解物主体。薄手の鍛冶滓か。上面は比較的平滑であるが、下面は凹凸がある。気泡が多く内在し、比重が低く、主体は粘土質溶解物である。滓中に鉄部はない。	

1区4号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口高	口径	高さ			
第388図 PL.502	1	土師器 杯	埋土 口縁部~体部片	口底 10.5 5.6	高 6		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	外面体部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部はナデ。内面は体部にヘラナデ。	

1区5号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口高	口径	高さ			
第393図 PL.503	1	土師器 杯	竈燃焼部支脚脇 1/3	口 14.8			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第393図 PL.503	2	土師器 鉢	竈燃焼部支脚脇 3/4	口高 13.6 10.5			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部がヘラナデ。	
第395図 PL.503	3	土師器 杯	貯蔵穴内 完形	口高 11.5 5.5			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第395図 PL.503	4	土師器 杯	周堤盛土 1/4	口高 11.8 4.9			細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。	
第395図 PL.503	5	土師器 杯	周堤盛土 2/3	口径 12.4 11.9			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇部は丸みをもって作られている。	
第395図 PL.503	6	土師器 杯	貯蔵穴内 完形	口径 12.1 12.0	高 5		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面を作る。	
第395図 PL.503	7	土師器 杯	貯蔵穴内 3/4	口径 13.5 12.0	高 5		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口縁部が外反し、口唇端部は丸く作る。	
第395図 PL.503	8	土師器 杯	竈埋土 1/4	口径 13.8 5.5			細砂粒/良好/にぶ い褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は丸く作られている。	
第395図 PL.503	9	土師器 杯	周堤盛土 1/4	口径 14.6 13	高 4.3		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口縁部は外反し、口唇部は丸みをもって作られている。	
第395図 PL.503	10	土師器 杯	貯蔵穴内 完形	口径 15.4 15.2	高 6.3		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。内面に焼成時の吸炭がみられる。	
第395図 PL.503	11	土師器 杯	埋土 1/2	口径 14.8 14.0	高 6.3		細砂粒/良好/明褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。	内面に煤付着 か。
第395図 PL.503	12	土師器 鉢	周堤盛土 口縁部~底部 1/2	口高 14.3 8.8			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面口縁部は横方向に近い斜放射状ヘラ磨き。	
第395図 PL.503	13	須恵器 杯蓋	周堤盛土 口蓋部片				細砂粒/還元焰/黄 灰	天井部外縁に稜を作る。ロクロ整形、回転方向不明。口唇端部は尖らせ内傾する面を作る。	
第395図	14	土師器 甕	周堤盛土 口縁部~胴部上 位片	口 20.0			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部から胴部は縦方向ハケメ。内面は口縁部が横方向のハケメ、胴部はヘラナデ。	
第395図 PL.504	15	土師器 甕	周堤盛土 口縁部~底部 3/4	口底 16.2 5.9	高 30		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	
第395図 PL.503	16	土師器 甕	竈前床直 3/4	口底 21.7 10.1	高 28.5		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラナデ、中位は器面摩滅のため単位不明。内面は胴部にヘラナデ。	
第395図 PL.503	17	礫 粒状礫	埋土 完形	長 0.9 0.6	厚 0.5 0.4	重	チャート	灰褐色。小形の極円礫。全体的に光沢がある。	

1区6号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第400図 PL.504	1	土師器 杯	周埴盛土 口縁部～体部片	口	14.0		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ。内面は体部上半から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。		
第400図 PL.504	2	土師器 杯	竈右脇 口縁部一部欠	口 高	13.1 5.0		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面体部に斜		
第400図 PL.504	3	土師器 杯	竈右脇 ほぼ完形	口 高	14.0 4.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	外面口縁部と 内面のほぼ全 面に煤が付着。	
第400図 PL.504	4	土師器 杯	貯蔵穴埋土 1/4	口	15.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部にヘラ磨きが一部残るが、器面摩滅のため単位不明。		
第400図 PL.504	5	土師器 鉢	竈掘方中央床直 口縁部～体部一 部欠	口 高	14 7.7		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り、体部下半は器面摩滅のため単位不明。内面は底部から体部がヘラナデ。		
第400図 PL.504	6	土師器 杯	埋土 完形	口 稜	12.2 11.9	高 0	5.1 0	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。	
第400図 PL.504	7	土師器 杯	竈右脇床直 1/3	口 稜	11.8 11.6	高	5.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、稜下にナデがのこり、体部中位から底部は手持ちヘラ削り。	
第400図 PL.504	8	土師器 杯	周埴盛土 完形	口 稜	12.2 12.0	高	5.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は内傾する平坦面を作る。	
第400図 PL.504	9	土師器 杯	竈右脇 底部一部欠	口 稜	15.3 16			細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇部は内傾する平坦面を作る。	
第400図 PL.504	10	土師器 高杯	埋土 杯部底部～脚部 上半片	底	3.8			細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	杯部と脚部は接合。外面は杯部・底部ともナデ。内面脚部はヘラナデ。	
第400図 PL.504	11	土師器 甕	竈燃焼部中央 底部～胴部下位 片	底	7.5			細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	底部と胴部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	
第400図 PL.504	12	土師器 甕	竈右袖 底部～胴部下位 片	底	8.0			細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/橙	底部と胴部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	
第400図 PL.504	13	土師器 壺	竈右袖 口縁部～胴部上 位片	口	22.4			細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削りか、器面摩滅。内面は胴部がヘラナデ。	
第400図 PL.504	14	土師器 壺	竈右脇床直 口縁部～胴部下 位	口	18.1			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部は上位と中位がヘラナデ、下位はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ、大部分は器面摩滅のため単位不明。	
第400図 PL.504	15	須恵器 杯蓋	竈右脇 口縁部～天井部 片	口 稜	12 11.4			細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/黒褐	天井部外縁に明瞭な稜を作る。ロクロ整形、回転方向不明。天井部は中程まで回転ヘラ削り。口唇端部は僅かに外反するように尖り、内面は内傾する面を作り、凹線が巡る。	杯身2区遺構 外25と組み合 わせるか。
第400図 PL.504	16	須恵器 杯蓋	埋土 口縁部～天井部 片	口 稜	12.5 12.0			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回りか。天井部外縁に明瞭な稜を作る。ロクロ整形、回転は右回りか。天井部は中程まで回転ヘラ削り。口唇端部は内傾する面を作り、凹線が巡る。	
第400図 PL.504	17	須恵器 杯身	竈右脇 口縁部一部欠	口 受	12.1 14.0	高	4.5	細砂粒・粗砂粒・ 礫(片岩)/還元焰/ 灰	ロクロ整形、回転は左回り。蓋受けは大きく突出する。底部から体部下半は回転ヘラ削り。口唇端部は内傾し、1条の凹線が巡る。	
第400図 PL.504	18	須恵器 杯蓋	周埴盛土 天井部片					細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転は右回りか。天井部は回転ヘラ削り。	
第400図 PL.504	19	須恵器 杯蓋	周埴盛土 天井部片					細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回りか。天井部は中程まで回転ヘラ削り。	
第400図 PL.504	20	須恵器 杯蓋	埋土 口縁部片					細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。口唇端部は尖るように内傾する面を作り、凹線が巡る。	
第400図 PL.504	21	須恵器 杯身	埋土 口縁部片					細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。蓋受けは水平に大きく引き出される。口唇端部は内傾する面を作る。	
第400図 PL.504	22	須恵器 杯蓋	周埴盛土 口縁部片					細砂粒/還元焰/灰	天井部外縁に稜を作る。ロクロ整形、回転方向不明。口唇端部は尖るように内傾する面を作り、凹線が巡る。	
第400図 PL.504	23	須恵器 甕	埋土 口縁部片					細砂粒/還元焰/灰	口縁部下に凸線が巡る。ロクロ整形、回転方向不明。	内面に降灰が 厚く付着。
第400図 PL.504	24	須恵器 甕	貯蔵穴底上7cm 口縁部片	口	19.8			細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形、回転方向不明。口唇部下位は凹線を巡らし、端部を凸帯状に成形、口縁部には波状文が施文。	内外とも表面 は還元してい るが、内部は還 元していない。
第401図 PL.504	25	礫 棒状礫	北部床直 完形	長 幅	15.2 6.2	厚 重	4.9 754.9	粗粒輝石安山岩	棒状の円礫。上端部には敲打痕が集中する。下端部には非常に滑らかな面が認められる。	
第401図 PL.504	26	礫 棒状礫	北部床直 完形	長 幅	15.4 7.1	厚 重	5.8 847.0	粗粒輝石安山岩	棒状の垂円礫。上端付近に黒色物質の付着が認められる。	
第401図 PL.504	27	礫 棒状礫	北部床直 完形	長 幅	15.9 5.8	厚 重	4.3 581.0	粗粒輝石安山岩	棒状の円礫。	
第401図 PL.504	28	礫 棒状礫	北部床直 完形	長 幅	14.4 6.8	厚 重	4.8 685.6	粗粒輝石安山岩	棒状の円礫。	
第401図 PL.504	29	礫 棒状礫	北部床直 完形	長 幅	15.6 6.8	厚 重	5.4 822.3	粗粒輝石安山岩	棒状の円礫。上端部に赤色物質が付着する。裏面の中央部が滑らかである。	
第401図 PL.504	30	礫 棒状礫	北部床直 完形	長 幅	18.7 8.3	厚 重	5.7 1025.4	粗粒輝石安山岩	棒状の垂角礫。上端付近に黒色物質の付着が認められる。	
第401図 PL.505	33	石製品 白玉	埋土 1/2	長 幅	(0.5) 0.7	厚 重	(0.5) 0.2	滑石	緑黒色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	

挿図 PL.No.	No.	遺物名	出土位置 残存率	計測値(cm)			重量(g)	特徴など									
				長	幅	厚さ											
第401図 PL.505	31	粘土質溶解物	埋土 一部欠損	3.5	3.1	1.6	10.7	粘土質溶解物主体。薄手の鍛造滓か。上面は比較的平滑で土砂が付着している。下面は凹凸がある。気泡が多く内在し、比重が低く、主体は粘土質溶解物である。滓中に鉄部はない。									
挿図 PL.No.	No.	器種 細別器種	出土位置 残存率	法 量													観 察
第401図 PL.505	32	鍬 長頸片刃鍬	中央部床上16cm 完形	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	

1区7号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴		備考
				長 幅	厚 重					
第406図 PL.505	1	石製品 石製模造品	西壁扱い 完形	長 幅	2.8 2.2	厚 重	0.4 3.9	滑石	オリープ灰色。表裏面は縦～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。全体的に擦痕の残存状況は悪く摩滅したような表面状況である。上下の孔径約2mm。	剣形
第406図 PL.505	2	石製品 石製模造品	貯蔵穴東脇壁扱い 床直 完形	長 幅	2.8 1.6	厚 重	0.5 4.0	滑石	灰褐色。表裏面は縦～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも擦痕が認められる。裏面の孔の周囲には同心円状の溝状痕跡がわずかに認められる。孔径約2mm。	不明
第406図 PL.505	3	石製品 紡輪	西壁扱い 1/2	長 幅	4.2 (2.3)	厚 重	1.6 20.0	蛇紋岩	表裏面ともよく研磨され光沢がある。表面には細かい線条痕がわずかに認められる。体部側面にはわずかに光沢があり全体的に面取り整形痕が累積する。これは刀子等工具による作出痕の可能性が。孔の内側には横方向と縦方向の細かい線条痕が多数認められる。孔径約7mm。	逆台形状 (厚型)
第406図 PL.505	4	石製品 紡輪	東壁扱い床直 完形	長 幅	4.6 4.6	厚 重	1.5 40.8	蛇紋岩	表面縁辺部には細かい線条痕が多数認められる。裏面は孔の周辺には放射状に広がる線条痕が認められる。体部側面には縦方向の面取り整形痕が累積し刀子等工具による作出面の可能性が。作出面の内部には長軸方向の細かい線条痕が多数認められる。孔径約7mm。	逆台形状 (厚型)
第406図 PL.505	5	石製品 小玉	東壁扱い床直 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.4 0.4	滑石	深緑色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。上面の孔の周囲は平坦であるが、下面の孔の周囲は中央がわずかに窪んだ形態である。孔径約2mm。	
第406図 PL.505	6	石製品 白玉	貯蔵穴東脇壁扱い 床直 完形	長 幅	0.5 0.6	厚 重	0.4 0.2	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。	
第406図 PL.505	7	石製品 白玉	貯蔵穴東脇壁扱い 床直 完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.4 0.2	滑石	緑黒色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第406図 PL.505	8	石製品 白玉	貯蔵穴東脇壁扱い 床直 完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.4 0.2	蛇紋岩	緑黒色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第406図 PL.505	9	石製品 白玉	貯蔵穴東脇壁扱い 床直 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.5 0.2	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第406図 PL.505	10	石製品 管玉	北壁扱い床直 完形	長 幅	2.1 0.5	厚 重	0.6 1.0	蛇紋岩	緑灰色。側面部は全体的に丁寧に研磨整形されておりわずかに光沢がある。上下面には細かい階段状の痕跡が幾重にも累積し何らかの工具による切断痕と考えられる。上下面の孔径約2mm。	
第406図 PL.505	11	石製品 管玉	北壁扱い床直 完形	長 幅	2.1 0.6	厚 重	0.6 1.1	滑石	オリープ灰色。全体的に丁寧に研磨整形されておりわずかに光沢がある。上下面の孔径約3mm。	
第406図 PL.505	12	石製品 管玉	北壁扱い床直 完形	長 幅	2.1 0.6	厚 重	0.6 1.1	蛇紋岩	オリープ灰色。側面部は全体的に丁寧に研磨整形されておりわずかに光沢がある。上下面には細かい階段状の痕跡が幾重にも累積し何らかの工具による切断痕と考えられる。上下面の孔径約2mm。	
第406図 PL.505	13	石製品 管玉	東壁扱い床直 完形	長 幅	1.3 0.7	厚 重	0.7 1.2	蛇紋岩	暗褐色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。上下面の孔の周囲は浅鉢状に窪んでいる。上下面の孔径約2mm。	
第407図 PL.505	14	土師器 杯	竈左脇床上5cm 完形	口 高	12.2 5.4			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	外面底部に 煤？付着。
第407図 PL.505	15	土師器 杯	竈左脇床上4cm 3/4	口 高	13.2 5.9			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部上半から口縁部に横方向のヘラ磨き。	
第407図 PL.505	16	土師器 鉢	埋土 口縁部～体部片	口	11.2			細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半は手持ちヘラ削り。内面は体部に横方向のヘラ磨き。	
第407図 PL.505	17	土師器 杯	西壁扱い床直 3/4	口 高	14.0 6.9			細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部中央から体部に放射状ヘラ磨き。	
第407図 PL.505	18	土師器 杯	竈左脇床直 完形	口 高	12.2 7.5			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部に放射状ヘラ磨き。	
第407図 PL.505	19	土師器 鉢	竈埋土 1/2	口	12.8			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラナデか、器面摩滅。内面は底部から体部にやや雑な放射状ヘラ磨き。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第407図 PL.504	20	土師器 杯	竈左脇床直 1/2	口 高	12.2 5.4	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第407図 PL.504	21	土師器 杯	貯蔵穴上層 3/4	口 高	13.8 5.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部にヘラナデ。	
第407図 PL.504	22	土師器 杯	貯蔵穴東脇床直 口縁部一部欠	口 高	13.8 6.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り、一部にヘラ磨き。内面は底部中央から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第407図 PL.504	23	須恵器 高杯	埋土 脚部片	脚	9.8	細砂粒/還元焰/灰 黄	ロクロ整形、回転方向不明。脚部には矩形の透孔を3方に設け、端部は屈曲させ、その上端を凸帯状に引き上げ、その下に凹線を巡らす。	
第407図 PL.504	24	須恵器 甕	掘方埋土 口縁部片	口	10.1	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回りか。口縁部下端に凹線と凸線を巡らす、頸部上位に波状文を施文。	
第407図 PL.504	25	須恵器 杯身	埋土 底部～体部片			細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ削り。	
第407図 PL.504	26	須恵器 甕	埋土 胴部片	胴	10.2	微量の細砂粒/還 元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。胴部は中位に2条の凹線で区画し、その中に刺突文を巡らす。下位は回転ヘラ削り。	胴部上半に降灰付着。
第407図 PL.504	27	須恵器 高杯	埋土 杯部口縁部下 半片			細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転方向不明。口縁部下に明瞭な稜を作る、口縁部には波状文を施文か。	
第407図 PL.504	28	土師器 鉢	西壁治い床直 完形	口 底	13.8 5.6	8 細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半と底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部がヘラナデ。	
第407図 PL.504	29	土師器 鉢	竈右脇床上5cm 口縁部～体部一 部欠	口 底	11.1 6.6	10.9 細砂粒・粗砂粒(少 量)/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部はヘラ削り。内面は底部から体部にヘラナデ、器面摩滅のため単位不明。	
第407図 PL.504	30	土師器 甕	貯蔵穴東脇壁治 い床直 ほぼ完形	口 底	13.2 6.2	21.2 細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部下位にヘラナデ、中位・上位は器面摩滅のため不明、頸部もヘラナデか。	
第407図	31	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部上 半片	口	15.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第408図	32	土師器 甕	竈左脇床上4cm 底部～胴部下 半片	底	4.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明黄褐	底部と胴部中位にヘラ削り、下位はヘラナデ。内面は底部から胴部にヘラナデ。	
第408図	33	土師器 甕	竈右脇床直 胴部			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	胴部は外面がヘラ削り、内面はヘラナデ。	

1区8号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第412図 PL.505	1	土師器 杯	埋土 1/2	口 高	11.2 5.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第412図 PL.505	2	土師器 杯	竈前床直 ほぼ完形	口 高	12.6 5.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り、体部は器面摩滅のため単位不明。内面は口唇部に凹線が巡り、体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第412図 PL.505	3	土師器 杯	竈左袖崩落土 3/4	口 高	13.2 5.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第412図 PL.505	4	土師器 杯	竈左袖崩落土 口縁部一部欠	口 高	13.2 5.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第412図 PL.505	5	土師器 杯	竈左袖崩落土 ほぼ完形	口 高	13.4 5.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第412図 PL.505	6	土師器 杯	南壁際床直 口縁部一部欠	口 稜	13.3 12.5	高 5.6 細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口縁部は外傾し、端部は内傾する平坦面を作る。	
第412図 PL.506	7	土師器 高杯	貯蔵穴南東縁床直 ほぼ完形	口 脚	16.0 11.0	高 13.5 細砂粒/良好/赤褐	杯部と脚部の接合方法不鮮明。杯部口縁部は斜放射状ヘラ磨き。杯部底部から脚部裾部は放射状ヘラ磨き。内面は底部の中程から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。脚部柱状部はヘラナデ、裾部は横ナデ。	
第412図 PL.506	8	土師器 高杯	貯蔵穴南東床直 裾部一部欠	口 脚	15.3 10.3	高 13.3 細砂粒/良好/赤褐	口縁部と胴部は接合。杯部口縁部は横ナデ、底部から脚部はヘラナデ。内面は脚部柱状部にヘラナデ。	
第412図 PL.506	9	土師器 高杯	竈左袖崩落土 脚部下半1/2欠	口 脚	16.5 10.4	高 12.3 細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	杯部と脚部の接合は不鮮明。杯部口縁部と脚部裾部は横ナデ、底部と脚部柱状部はナデ。内面は杯部底部と脚部柱状部がヘラナデ。	
第412図 PL.506	10	土師器 小鉢	南壁際床上4cm 完形	口 底	8.9 4.6	高 6.9 細砂粒/良好/黄橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り、上半はヘラ削り後ナデ、一部にヘラ磨き、底部はヘラ削り。内面は底部から体部にヘラナデ。	
第412図	11	手捏ね土器 鉢形	竈右脇床上4cm 口縁部～体部片	口	10.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	内面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ。体部はナデ、成形時の凹凸が残る。内面体部はヘラナデか。	
第412図	12	手捏ね土器 鉢形か	竈右脇床上4cm 底部片	底	5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい褐	外面はヘラ削り後ナデ。内面はヘラナデ。	
第412図 PL.506	13	土師器 鉢	竈崩落土内 完形	口 底	10.7 7.2	高 6.2 細砂粒/良好/にぶ い褐	内面体部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部はヘラナデ、底部はヘラ削り、周縁部は器面摩滅。内面は底部から口縁部までヘラナデ、口唇部は横ナデ。	
第412図 PL.506	14	土師器 鉢	竈右脇床直 完形	口 底	9.2 3.6	高 5.4 細砂粒/良好/にぶ い黄橙	外面体部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部は上・中位がナデ、下位と底部はヘラ削り、器面は全体的に摩滅。内面は底部から体部がヘラ磨き。	
第412図 PL.506	15	土師器 鉢	竈燃焼部灰面 底部～体部下 位片	底	5.6	細砂粒/良好/にぶ い橙	底部と周囲はヘラ削り、体部はヘラナデ。内面はヘラナデ。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第412図 PL.506	16	土師器 小型甕	埋土 口縁部～胴部	口	10.1		細砂粒/良好/暗灰 黄	外面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、頸部下はナ デ、胴部はヘラナデ。内面は胴部がヘラナデ。		
第412図 PL.506	17	土師器 鉢	竈燃焼部灰面 3/4	口 底	11.9 4.9	高	8.7	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄褐	内面体部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、頸部下にナ デ部分が残る、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は底 部から体部にヘラナデ。	
第412図 PL.506	18	土師器 小型甕	竈燃焼部灰面 底部～胴部下半					細砂粒・粗砂粒/ 良好/灰褐	底部と胴部はヘラ削り、胴部は器面摩滅のため単位不明。 内面は底部から胴部にヘラナデ。	
第412図 PL.506	19	土師器 有孔鉢	貯蔵穴北床直 3/4	口 底	15.6 4.2	高 孔	8 2.0～ 2.6	細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/橙	底部中央に小孔があげられている。口縁部は横ナデ、体部 から底部はヘラ削りか、器面摩滅のため単位不明。内面は 体部にヘラナデか、器面摩滅のため単位不明。	
第412図 PL.506	20	石製品 白玉	竈右脇床直 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。 側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められ る。孔径約2mm。	
第412図 PL.506	21	石製品 白玉	YK3西側床直 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.6 0.4	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。 裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に 明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第412図 PL.506	22	石製品 白玉	南壁際床直 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.6 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められ る。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認め られる。孔径約2mm。	
第412図 PL.506	23	石製品 石製模造品	YK3西側床直 完形	長 幅	1.9 1.6	厚 重	0.4 2.2	滑石	灰白色。裏面に斜め方向の擦痕がわずかに認められる。側 面部にもわずかに擦痕が認められる。全体的に擦痕の残存 状況は悪く摩滅したような表面状況である。孔径約2mm。	不明
第413図 PL.506	24	土師器 壺	竈右脇床直 口縁部～胴部上 半	口	16.3			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラナデ。内面は胴部が ヘラナデ。	
第413図	25	土師器 壺	南壁際床直 口縁部～胴部中 位	口	19.8			細砂粒・粗砂粒/ 良好/浅黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ磨きか、器面摩滅のため単位 不明。内面は胴部にヘラナデ。	
第413図	26	土師器 壺	南壁際床直 底部～胴部下半	底	7.0			細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	内面胴部に輪積み痕が残る。底部はヘラ削り、胴部はヘラ 磨き、一部を残し器面摩滅のため単位不明。内面は底部か ら胴部にヘラナデ。	

1区9号竈穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第417図 PL.506	1	土師器 杯	南壁沿床直上4cm 完形	口 高	11.2 5.6			細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は底部から体部にヘラナデ。	内面に煤が付 着。
第417図 PL.506	2	土師器 杯	埋土 1/2	口 高	12.6 6			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。横 ナデとナデの間は明確な境がある。内面は体部から口縁部 に斜放射状ヘラ磨き。	
第417図 PL.506	3	土師器 杯	埋土 1/2	口 稜	12.6 12.4	高	5.1	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇端 部は凹線が巡る面を作る。	
第417図 PL.506	4	土師器 杯	竈右袖前床直 完形	口 稜	13.9 12.0	高	5.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口縁部 は外反し、口唇端部は平坦面を作る。	
第417図 PL.506	5	土師器(口 クロ土師器) 高杯	竈燃焼部中央支 脚か 完形	口 脚	15.2 11.7	高	10.0	細砂粒/良好/明黄 褐	口クロ整形、回転右回り。杯部と脚部は接合。杯部底部は 回転ヘラ削り。内面は杯部底部に手持ちのヘラナデ。	
第417図 PL.506	6	土師器 小型甕	竈燃焼部灰面上 1/3	口 底	13.0 5.0	高	12.7	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、胴部は上位がナデ、中位から下位と底部 はヘラ削り。内面は底部から胴部はヘラナデ後放射状ヘラ 磨き。	
第417図 PL.506	7	石製品 石製模造品	埋土 完形	長 幅	2.5 1.7	厚 重	0.5 3.5	滑石	オリープ灰色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められ る。側面部にも全体的に擦痕が認められる。孔は裏面側が 広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したもの と考えられる。孔径約2mm。	半円形
第417図 PL.506	8	石製品 白玉	南部P3脇床直 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.6 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。 側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められ る。孔径約2mm。	
第417図 PL.506	9	石製品 白玉	南壁沿馬蹄形 状遺構内 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.4	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。 側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められ る。孔径約2mm。	

1区10号竈穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第420図	1	土師器 杯	貯蔵穴埋土 口縁部～体部片	口	12.0			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は手持ちヘラ削り。内面は体部から 口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第420図 PL.507	2	土師器 杯	竈埋土 2/3	口 高	12.6 5.9			細砂粒/良好/暗赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は底部から体部がナデ、口縁部は横ナデ。	
第420図	3	土師器 杯	竈左脇床直 口縁部～体部片	口	12.4			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ。内面は体部に斜放射状ヘラ 磨き。	
第421図 PL.507	4	土師器 杯	掘方埋土 1/2	口 高	11.2 5.4			細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第421図 PL.507	5	土師器 杯	埋土 2/3	口 高	15.3 5.5			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は 体部から口縁部中程に斜放射状ヘラ磨き。	
第421図 PL.507	6	土師器 杯	竈前床上5cm 1/2	口 高	15.5 5.3			細砂粒・粗砂粒/ 良好/明褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り、器面摩 滅のため単位不明。内面も器面摩滅のため整形不鮮明。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第421図	7	土師器 杯	竈左脇埋土 口縁部～底部片	口	13.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好・内面燻/赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第421図	8	土師器 杯	掘方埋土 口縁部～底部片	口	13.0		細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第421図 PL.507	9	土師器 杯	竈左脇埋土 1/3	口 高	13.9 4.5		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第421図 PL.507	10	土師器 杯	埋土 1/2	口 高	14.0 4.5		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第421図 PL.507	11	土師器 杯	竈左脇床直 2/3	口 高	14.1 5.7		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部上半に横方向のヘラ磨き。	
第421図 PL.507	12	土師器 杯	貯蔵穴埋土 2/3	口 高	13.3 5.0		細砂粒多/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第421図	13	土師器 杯	竈左脇床直 1/4	口 稜	12.0 11.0	高 4.4	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面を作る。	
第421図 PL.507	14	土師器 杯	掘方埋土 3/4	口 稜	12.0 13.1	高 5.2	細砂粒・粗砂粒(石 英か)/良好/橙	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面を作る。	
第421図 PL.507	15	土師器 杯	竈左脇床上6cm 1/2	口 稜	12.0 11.4		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面を作る。	
第421図 PL.507	16	須恵器 杯蓋	北東壁沿い床直 1/4	口 稜	14.6 14.2	高 4.7	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/暗灰	口唇部は中程まで回転ヘラ削り。口唇端部は内傾する面を作り、凹線が巡る。	外面天井部に 降灰付着。
第421図 PL.507	17	須恵器 杯蓋	埋土 1/4	口 稜	12.7 12.6		細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/褐灰	口唇部は中程まで回転ヘラ削り。口唇端部は丸みをもつ作りである。口唇端部の一部は剥落しており、焼成は杯身と併せて行ったことがわかる。	外面天井部と 口唇部に降灰 が付着。
第421図 PL.507	18	土師器 脚付椀	埋土 椀身部～脚部上 半片				細砂粒/良好/にぶ い黄橙	脚部は棒状に作る。椀身部口縁部は横ナデ、体部はナデ、脚部はヘラナデ。内面椀身部はヘラナデ。	
第421図	19	土師器 小型甕	竈埋土 口縁部～胴部上 半片	口	9.4		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り後ナデ。内面胴部はヘラナデ。	
第421図 PL.507	20	土師器 甕	竈右脇床上9cm 口縁部～胴部上 半	口	14.4		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第421図	21	土師器 甕	竈左脇床直 口縁部～胴部上 位片	口	15.4		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第421図	22	土師器 甕	竈左脇床直 底部～胴部下位 片	底	7.6		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	底部と胴部はヘラ削り。内面は底部から体部にヘラナデ。	
第421図	23	土師器 甕	貯蔵穴北脇床直 口縁部～胴部上 位片	口	22.6		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第421図	24	土師器 壺	竈燃焼部灰面 口縁部～胴部上 位片	口	20.6		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り後ナデ。内面胴部はヘラナデ。	
第421図	25	土師器 壺	竈左脇床上5cm 底部～胴部下位 片	底	7.0		細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/にぶい橙	底部はヘラ削り、胴部はヘラ削り後ナデ。内面は底部から胴部にヘラナデ。	

1区16号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第427図 PL.507	1	土師器 杯	貯蔵穴縁 ほぼ完形	口 高	9.5 5.4		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第427図 PL.507	2	土師器 杯	埋土 1/4	口 高	11.8 5.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨きか、器面摩滅のため単位不明。	
第427図 PL.507	3	土師器 杯	貯蔵穴縁 完形	口 高	11.2 5.5		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部から体部上位は横ナデ、体部中位から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部上半から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第427図 PL.507	4	土師器 杯	貯蔵穴縁 1/2	口 高	12.4 6.1		細砂粒・粗砂粒・ 礫(片岩)/良好/明 赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は器面剥離のため整形不明。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第427図 PL.507	5	土師器 椀	西壁沿い床直 4/5	口 高	12.3 8.6		細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部上半はヘラ削り後ナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部中央から体部に放射状ヘラ磨き。	
第427図 PL.507	6	土師器 椀	竈燃焼部灰直 2/3				細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に放射状ヘラ磨き。	
第427図 PL.507	7	土師器 杯	竈燃焼部 1/3	口 高	14.0 6.3		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、口縁部下にナデ部分が残る、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第427図 PL.507	8	土師器 杯	埋土 1/2	口 高	13.9 4.5		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り、器面摩滅のため単位不明。	
第427図 PL.507	9	土師器 杯	竈燃焼部 口縁部～底部片 (口唇端部欠)				細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第427図 PL.507	10	土師器 杯	中央部埋土 1/2	口 高	13.0 5.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第427図 PL.507	11	土師器 杯	埋土 1/2	口 稜	16.0 14.2	高 5.9 細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口縁部は外反し、口唇端部は丸く作る。	
第427図 PL.507	12	須恵器 杯蓋	貯蔵穴縁 3/4	口 高	13.0 4.9	細砂粒・粗砂粒・ 礫/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転は右回り。天井部外縁に明瞭な稜を作る。天井部は中心から2/3ほど回転ヘラ削り。内面口唇端部は内傾する面を作る。	
第427図 PL.507	13	須恵器 杯身	南東壁沿い床直 口縁部一部欠	口 稜	11.3 13.1	高 4.8 細砂粒・粗砂粒・ 礫/還元焰/黒褐	ロクロ整形、回転は右回り。蓋受けはほぼ水平に突出する。底部から体部下半は回転ヘラ削り。内面口唇端部は内傾する面を作り、中程が凹線状に窪む。	外面底部に「×」の線刻。
第427図 PL.507	14	須恵器 杯蓋	南東壁沿い床直 1/2	口 稜	13.8 13.3	高 4.6 細砂粒・粗砂粒・ 礫/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。天井部外縁に明瞭な稜を作る。天井部はほとんど回転ヘラ削り。内面口唇端部は内傾する面を作り、中程は凹線状に窪む。	
第427図 PL.507	15	須恵器 高杯	埋土 口縁部片	口 稜	14.2 13.0	細砂粒/酸化焰/暗 灰黄	ロクロ整形か、回転方向不明。口縁部下に稜を作る。口唇端部は内傾する面を作り、凹線を巡らす。	
第427図 PL.507	16	須恵器 杯蓋	埋土 口縁部片			細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形、回転方向不明。天井部外縁に凹線を巡らし、明瞭な稜を作る。口唇端部は内傾する面を作り、凹線を巡らす。	
第427図 PL.507	17	須恵器 杯蓋	南東壁沿埋土 口縁部片			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。口唇端部は尖るように内傾する面を作り、凹線が巡る。	
第427図 PL.507	18	土師器 高杯か	西壁沿い床直 杯部片	口	9.2	細砂粒/良好/明赤 褐	残存部下端は外反するように反ることから高杯とする。杯部口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り、底部は横ナデ。内面は体部上半から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第427図 PL.507	19	須恵器 高杯	埋土 口縁部片			細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形。回転方向不明。口縁部下に凹線を巡らし、その下位を稜としている。口唇端部は僅かに外反する。	
第427図 PL.507	20	須恵器 高杯	南東壁沿い床直 3/4	口 脚	14.0 8.6	高 12.2 細砂粒多/還元焰/ 黄灰	ロクロ整形、回転右回り。杯部と脚部は接合。杯部は口縁部下に2条の凹線と断面三角形の凸帯を巡らし、体部に1段の波状文を施文、底部は回転ヘラ削り。脚部には矩形の透孔を3方に設け、端部は屈曲させ、上端に1条の凹線が巡る。内面は口唇部は端部が尖り、その下位に凹線状の窪みが巡る。	
第427図 PL.508	21	須恵器 短頸壺か	埋土 底部片			細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	形状から杯蓋の可能性もあるが、大きさや外面の摩滅状態から底部と判断。ロクロ整形、回転は右回り。底部から胴部下位は回転ヘラ削り。	
第427図 PL.508	22	土師器 鉢	竈燃燒部 3/4	口 高	10.2 8.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/黄橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り後ナデ、底部はヘラ削り、器面摩滅のため単位不明。内面は底部から体部に放射状ヘラ磨き。	
第427図 PL.508	23	土師器 鉢	貯蔵穴縁 完形	口 高	12.5 8.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部から頸部は横ナデ、体部上半はナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部がヘラナデ。	
第427図 PL.508	24	土師器 鉢	竈燃燒部 1/3	口 高	13.7 10.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、体部上位はハケメ、中位から底部はヘラ削り、一部ハケメが残る。内面底部から体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第428図 PL.508	25	土師器 小型甕	貯蔵穴埋土 口縁部～胴部上 半片	口	10.4	細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、胴部は上位がヘラナデ、中位がヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第428図 PL.508	26	土師器 小型甕	南西隅床面直上 口縁部～胴部上 半片	口	10.8	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、頸部から胴部上位はナデ、中位はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第428図 PL.508	27	土師器 小型甕	竈右脇床直 3/4	口 底	10.1 3.2～ 2.5	高 12.3 細砂粒/良好/橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、頸部下はナデ、胴部から底部はヘラ削り。内面は底部から胴部にヘラナデ。	
第428図 PL.508	28	土師器 小型甕	南西隅床直 1/2	口 底	14.5 4.8	高 12.9 細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	
第428図 PL.508	29	土師器 甕	南西隅床直 口縁部～胴部中 位片	口	16.9	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り後縦方向のヘラ磨き。内面胴部はヘラナデ。	
第428図	30	土師器 甕	埋土 頸部～胴部上 半片			細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	内面胴部に輪積み痕が残る。外面胴部はヘラ削り。内面はハケメ(1cmあたり6～7本)	
第428図 PL.508	31	土師器 鉢	南西壁沿い床直 1/2	口 底	19.9 6.0	高 15.9 細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデで、中位と下位はヘラ削り、底部は木葉痕が残る。内面は底部から体部にヘラナデ後斜放射状ヘラ磨き。	
第428図 PL.508	32	土師器 壺	竈燃燒部 口縁部～胴部	口	18.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/黄橙	内面頸部下に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はハケメ。内面は胴部にヘラナデ。	
第428図	33	土師器 甕	中央部埋土 口縁部～頸部片	口	15.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削りか。内面胴部はヘラナデ。	
第429図	34	土師器 壺	西壁沿い床直 底部～胴部下 位片	底	5.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	底部に木葉痕が残る、胴部はヘラ削り。内面は底部から胴部に放射状ヘラ磨き。	
第429図	35	土師器 甕	竈左脇床直 底部～胴部中 位片	底	7.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	底部はヘラ削り、胴部はヘラナデ。内面は底部から胴部がハケメ。	
第429図	36	土師器 小型甕	竈左脇崩落土 底部～胴部下 半片	底	5.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	底部と胴部はヘラ削り、胴部は器面摩滅のため単位不鮮明。内面は底部から胴部にヘラナデ。	
第429図 PL.508	37	須恵器 甕	南東壁沿い床直 胴部片			細砂粒・粗砂粒・ 礫/還元焰/黒褐	胴部は外面に平行叩き痕、内面に同心円状アテ具痕が残るが、内面はアテ具痕をナデ消している。	

挿図 PL.No.	No.	器種 細別器種	出土位置 残存率	法 量													観 察	
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬		
第429図 PL.508	38	鍬 長頸片刃鍬	北部床直 ほぼ完形	13.9+	2.6	0.8	(0.3)			7.8	(0.6)	0.3	0.9	0.4	3.4+	0.5	0.3	長頸の片刃鍬。刃逆刺を持つと推定(X線)。刃部先端に木質や炭化物が付着する。真ん中よりやや屈曲しており故意に曲げた可能性がある。
第429図 PL.508	39	環 円環	北西隅床直 ほぼ完形	6.1	5.7	0.3												鉄製の円環である。少し歪みがある。分離している。木質や編み物の痕跡が数箇所認められる。
挿図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等		成 形 ・ 整 形 の 特 徴								備 考	
第430図 PL.509	40	礫石器 砥石	中央部埋土 完形	長 幅	30.5 23.9	厚 重	8.2 9050.0	粗粒輝石安山岩	表面のほぼ全面に滑らかな面が認められ中央付近が特に滑らかである。左右両側面は打割面であるが、特に滑らかな部分が中央に位置していることからこの形態で完形と考えられる。上下両側面と表面は自然面と判断され大形角礫を利用する。									
第430図 PL.509	41	礫 棒状礫	西壁治い床直 完形	長 幅	17.5 7.5	厚 重	4.4 887.9	粗粒輝石安山岩	棒状の垂円礫。表面の中央部にわずかな褐色部分が認められ鉄錆の可能性はある。									
第430図 PL.509	42	礫 棒状礫	西壁治い床直 完形	長 幅	14.2 4.8	厚 重	4.2 453.9	石英閃緑岩	棒状の円礫。									
第430図 PL.509	43	礫 棒状礫	西壁治い床直 完形	長 幅	16.1 7.0	厚 重	4.5 807.5	粗粒輝石安山岩	棒状の円礫。									
第430図 PL.509	44	礫 棒状礫	西壁治い床直 完形	長 幅	17.6 7.5	厚 重	5.0 872.4	粗粒輝石安山岩	棒状の円礫。									
第430図 PL.509	45	礫 棒状礫	西壁治い床直 完形	長 幅	16.6 6.3	厚 重	5.1 830.5	粗粒輝石安山岩	棒状の垂円礫。表面の中央部が滑らかである。									
第430図 PL.509	46	礫 棒状礫	西壁治い床直 完形	長 幅	15.0 7.1	厚 重	4.7 743.9	粗粒輝石安山岩	棒状の円礫。表裏面の中央部が滑らかである。									
第430図 PL.509	47	礫 棒状礫	西壁治い床直 完形	長 幅	16.9 6.2	厚 重	5.6 880.5	粗粒輝石安山岩	棒状の垂円礫。									
第430図 PL.509	48	礫 棒状礫	西壁治い床直 完形	長 幅	16.0 6.7	厚 重	3.8 604.3	デイサイト	棒状の円礫。									
第430図 PL.509	49	礫 棒状礫	西壁治い床直 完形	長 幅	13.3 5.6	厚 重	4.2 440.5	粗粒輝石安山岩	棒状の円礫。表面の左半部が滑らかである。									
第430図 PL.509	50	礫 棒状礫	南東壁治い床直 完形	長 幅	12.2 5.6	厚 重	4.3 476.1	粗粒輝石安山岩	棒状の円礫。									
第430図 PL.509	51	礫 棒状礫	南東壁治い床直 完形	長 幅	14.3 6.2	厚 重	4.0 563.4	デイサイト	棒状の垂円礫。									
第430図 PL.509	52	礫 棒状礫	南東壁治い床直 完形	長 幅	14.7 5.8	厚 重	5.4 691.2	粗粒輝石安山岩	棒状の垂角礫。表面の上側縁には上端方向からの剥離痕が認められ敲打による可能性がある。									
第430図 PL.509	53	石製品 石製品	埋土 ほぼ完形	長 幅	(3.1) 2.0	厚 重	0.5 4.0	変質蛇紋岩	灰オリーブ色。全体的に丁寧に研磨整形されておりわずかに光沢がある。表裏面には斜め方向の細かい線状痕がわずかに認められる。									
第430図 PL.509	54	石製品 白玉	西壁治い床直 完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.2 0.1	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りが見られ認められ稜を形成するが擦痕は認められない。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。									
第430図 PL.509	55	石製品 白玉	西部埋土上層 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.4 0.4	滑石	オリーブ灰色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。									
第429図 PL.508	56	石製品 砥石	西壁治い床直 完形	長 幅	7.4 2.3	厚 重	1.8 24.6	流紋岩	表裏面と左右両側面に砥面が認められ下方に向かい研ぎ減りする。孔径約3mm。									

1区17号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等		成 形 ・ 整 形 の 特 徴								備 考
第433図 PL.509	1	土師器 杯	竈左脇炭化材上 2/3	口 稜	11.8 11.2	高	5.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口縁部は僅かに外反し、端部は丸く作る。								
第433図 PL.509	2	土師器 杯	竈燃焼部支脚上 口縁部3/4欠	口 稜	16.2 15.4	高	7.2	細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/明褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部に放射状ヘラ磨き。口唇端部は内傾する平坦面を作る。								
第433図	3	土師器 壺or甕	埋土 口縁部小片	口	12.7			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は内外面とも横ナデ。								
第433図	4	土師器 壺	埋土 頸部～胴部上位 片					細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/赤褐	頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。								
第433図	5	土師器 壺	埋土 底部～胴部中位 片	底	6.6			細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	底部と胴部はヘラ削り。内面は底部から胴部にヘラナデ。								
第433図 PL.509	6	土師器 壺	竈燃焼部上層 口縁部～胴部下 位	口	17.1			細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/にぶい黄 橙	口縁部は横ナデ、胴部は上半がヘラ磨き、下半はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ、器面摩滅のため単位不明。								

1区30号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第439図 PL.510	1	土師器 杯	東壁沿い床面上 13cm 完形	口 高	11.9 5.3	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第439図	2	土師器 杯	埋土 1/4	口 高	11.5 4.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に大きく傾く斜放射状ヘラ磨き。	
第439図 PL.510	3	土師器 杯	竈前床直 口縁部一部欠	口 底	12.4 4.7	高 5.8 細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半は手持ちヘラ削り、底部に木葉痕が残る。内面は底部中央から体部に放射状ヘラ磨き、口縁部は横方向のヘラ磨き。	
第439図 PL.510	4	土師器 鉢	竈右脇 3/4	口 高	11.2 9.2	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り、器面摩滅のため単位不鮮明。内面は底部から体部にヘラナデ。	
第439図 PL.510	5	土師器 鉢	竈前床直 1/3	口 高	14.1 8.0	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は底部中央から体部に放射状ヘラ磨き。	
第439図 PL.510	6	土師器 小型甕	貯蔵穴内中層 口縁部～胴部中 位	口	13.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/褐	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部から頸部がヘラナデ。	
第439図 PL.510	7	土師器 小型甕	竈左前床上9cm 口縁部～胴部下 位	口	13.8	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ、器面摩滅のため単位不鮮明。	
第439図 PL.510	8	土師器 小型甕	竈右袖崩落土 口縁部～胴部 中位	口	15.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は縦方向のヘラ磨き。内面は胴部がヘラナデ。	
第439図	9	土師器 甕	竈右脇 底部～胴部下 位片	底	5.6	細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/明赤褐	底部と胴部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	
第439図 PL.510	10	土師器 壺	貯蔵穴西縁床上 5cm 胴部一部欠	口 底	16.8 7.2	高 28.0 細砂粒・粗砂粒・ 礫(微量)/良好/浅 黄	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り、ヘラナデ後ヘラ磨き、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部にヘラナデ、下半は器面摩滅のため単位不明。	
第439図 PL.510	11	土師器 甕	竈燃焼部灰直 口縁部～胴部上 半片	口	18.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラナデ。内面は胴部がヘラナデ。	
第440図 PL.510	12	土師器 甕	竈燃焼部 口縁部～胴部 中位	口	16.2	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り後縦方向のヘラ磨き。内面は胴部がヘラナデ。	
第440図 PL.511	13	土師器 甕	貯蔵穴北縁床直 胴部一部欠	口 底	18.3 7.7	高 28.8 細砂粒・粗砂粒/ 良好/明黄褐	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部にヘラナデ。	
第440図 PL.511	14	土師器 壺	貯蔵穴東床直 胴部一部欠	口 底	21.8 7.6	高 35.1 細砂粒・粗砂粒/ 良好/灰白	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部は上位と中位がヘラ磨き、下位と底部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第440図 PL.511	15	土師器 壺	竈右袖崩落土 口縁部～胴部下 位	口	17.8	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部は上位から中位がヘラナデ、下位はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ、器面摩滅のため単位不明。	

1区31号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第441図 PL.511	1	土師器 杯	北東部床直 完形	口 高	12.4 4.9	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に横方向のヘラ磨き。	内面は漆塗りか。
第441図 PL.511	2	土師器 杯	埋土 1/2	口	13.0	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は斜放射状ヘラ磨き。	
第441図 PL.511	3	土師器 杯	埋土 1/2	口	13.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第441図 PL.511	4	土師器 杯	南東部床面近く 完形	口 高	12.7 5.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第441図 PL.511	5	土師器 杯	南東部床面近く 完形	口 高	13.3 5.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	

1区32号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第442図	1	土師器 杯	掘方埋土 口縁部～体部片	口	11.8	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第442図	2	土師器 鉢	掘方埋土 口縁部～体部上 半片	口	11.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第442図 PL.511	3	須恵器 高杯	埋土 脚部片	底	5.0	細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形、回転方向不明。杯部とは接合。脚部には3方に矩形的透孔。	

1区33号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第445図 PL.512	1	土師器 杯	埋土 1/2	口 高	12.7 6.2	細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部はヘラナデ、煤が付着のため単位不明。	内面に煤が付着。
第445図 PL.512	2	土師器 杯	埋土 1/3	口	13.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に放射状ヘラ磨き。	
第445図	3	土師器 鉢	埋土 口縁部片	口	13.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ。内面体部に斜放射状ヘラ磨き。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第445図 PL.512	4	土師器 杯	埋土 3/4	口高	14.2 5.3		細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第445図 PL.512	5	土師器 杯	埋土 1/3	口高	14.9 5.9		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は器面剥離のため整形不鮮明。	
第445図	6	土師器 椀	埋土 口縁部～体部片	口	16.2		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第445図 PL.512	7	土師器 杯	埋土 1/3	口稜	11.8 12.0	高	5.1 細砂粒・粗砂粒・礫/ 良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面を作る。	
第445図	8	土師器 杯	埋土 1/3	口稜	12.2 11.4	高	4.6 細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇部は内傾する平坦面を作る	
第445図	9	土師器 杯	埋土 1/4	口稜	12.0 11.8	高	5.0 細砂粒/やや軟質/ 明赤褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇部は丸く作られている。	
第445図	10	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口稜	13.0 13.4		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は中程が僅かに窪む面を作る。	
第445図 PL.512	11	須恵器 高杯	埋土 杯部片	稜	14.2		細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰白	ロクロ整形、回転は右回りか。口縁部下に明瞭な稜を作り、口縁部には波状文を施文、底部は回転ヘラ削り。	
第445図 PL.512	12	須恵器 高杯	埋土 脚部端部付近片	脚	10.8		細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転方向不明。脚部に矩形の透孔を設けている。端部は屈曲させ、上端に1条の凸帯と凹線を巡らす。	
第445図 PL.512	13	須恵器 杯蓋	埋土 口縁部上半～天井部片	稜	12.5		細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/オリーブ 黒	ロクロ整形、回転方向不明。天井部と口縁部の間に明瞭な稜を作るが、稜の引き出しは小さい。天井部は中程まで回転ヘラ削りか。	外面天井部には降灰が付着。
第445図 PL.512	14	土師器 高杯	埋土 脚部	脚	8.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	杯部内面は黒色処理。杯部と脚部の接合状態不明。脚部は外面が横ナデ、内面は上半がヘラナデ。	
第445図 PL.512	15	土師器 鉢	貯蔵穴中層焼土層下位 口縁部一部欠	口底	10.6 4.0	高	10.6 細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/明褐	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、体部と底部はヘラ削り。内面は底部から体部がヘラナデ。	
第445図	16	土師器 壺	埋土 口縁部～胴部上位片	口	18.0		細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、胴部はナデ。内面は胴部がヘラナデ。	
第445図 PL.512	17	石製品 紡輪	東壁中央壁際床直 完形	長幅	5.1 5.1	厚重	1.1 44.3 蛇紋岩	表面には線条痕が多数認められる。特に表面縁辺部には細かい線条痕が多数認められる。裏面は孔の周辺には放射状に広がる線条痕が認められ、全体的には面取り整形痕が累積し刀子等工具による作出面と考えられる。孔径約8mm。	逆台形状 (薄型)

## 1区34号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第447図 PL.512	1	土師器 杯	埋土 ほぼ完形	口高	12.8 5.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第447図 PL.512	2	土師器 杯	埋土 3/4	口高	13.7 5.5		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第447図 PL.512	3	土師器 高杯	南東隅床上9cm 杯部	口	18.1		細砂粒/良好/橙	杯部と脚部は接合。杯部は口縁部が斜放射状ヘラ磨き、底部はヘラ削り後、ナデ。内面は口縁部に斜放射状ヘラ磨き、底部はナデ。	
第447図	4	土師器 小型甕	埋土 口縁部～胴部上半片	口	10.8		細砂粒/良好/赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り後縦方向のヘラ磨き。内面胴部はヘラナデ。	
第447図 PL.512	5	須恵器 杯蓋	中央部床上5cm 3/4	口稜	11.5 11.7	高	4.6 細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	天井部外縁に稜を作る。ロクロ整形、回転は右回り。天井部は中程まで回転ヘラ削り。口唇端部は内傾する面を作り、凹線を巡らす。	天井部の1/2ほどに降灰が付着。
第447図 PL.512	6	須恵器 甕	埋土 口縁部片	口	9.6		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。口縁部上半の下端に凹線と凸線を巡らせ、屈曲して下半に移る。下半には3段の波状文が施文。口唇端部は内傾する面を作り、凹線を巡らす。	内面に降灰が厚く付着。
第447図 PL.512	7	石製品 石製模造品	埋土 完形	長幅	2.6 2.0	厚重	0.4 3.8 滑石	暗オリーブ灰色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面部にも全体的に擦痕が認められる。表面の下側縁には刀子等工具による断面V字状の溝状作出痕が縦方向に認められる。孔径約2mm。	半円形
第447図 PL.512	8	石製品 白玉	中央部埋土 完形	長幅	0.5 0.5	厚重	0.2 0.1 滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	

## 1区35号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第452図 PL.512	1	土師器 杯	貯蔵穴埋土中層 完形	口高	12.9 5.5		細砂粒/良好/黒褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部がヘラナデ、体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第452図 PL.512	2	土師器 杯	貯蔵穴埋土中層 完形	口高	11.2 5.6		細砂粒/良好/橙	外面と内面口縁部は黒色処理。口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第452図 PL.512	3	土師器 杯	竈焼部 1/2	口高	13.4 5.9		細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第452図 PL.512	4	土師器 杯	貯蔵穴埋土中層 1/2	口高	12.7 5.4		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい赤褐	外面体部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第452図 PL.512	5	土師器 杯	貯蔵穴埋土中層 口縁部一部欠	口高	14.0 6.0		細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り、器面摩擦のため不鮮明。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考									
				口	高	厚												
第452図	6	土師器 杯	南部床上4cm 1/4	口	11.8		細砂粒/良好/橙	口縁部は短く直立、体部から底部は半球状を呈す。口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削りか、器面摩滅のため不明。内面はほぼ全面にヘラ磨き。										
第452図 PL.512	7	土師器 杯	貯蔵穴埋土中層 2/3	口 高	13.2 4.6		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部にヘラナデ。										
第452図	8	土師器 杯	竈燃焼部灰面上 5cm 1/3	口 高	14.0 5.5		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半にハケメ、下半から底部は手持ちヘラ削り、底部中程に木葉痕が残る。内面は底部から体部にヘラナデ。										
第452図	9	土師器 杯	南壁沿い埋土 1/4	口	13.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。										
第452図 PL.512	10	土師器 椀	貯蔵穴埋土中層 3/4	口 高	13.8 6.5		細砂粒・粗砂粒 (少)/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。										
第452図 PL.512	11	土師器 杯	竈前床上7cm 完形	口 稜	12.6 12.8	高 5.5	細砂粒(少量)/良 好/明赤褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は丸く作る。	外面の一部に 煤?附着。									
第452図	12	土師器 鉢	竈燃焼部 1/3	口 底	9.2 3.8	高 4.8	細砂粒/良好/褐	口縁部は横ナデ、体部はハケメ後ナデ、底部は木葉痕が残る。内面は底部から体部に斜放射状ヘラ磨き。										
第452図	13	土師器 鉢	竈埋土 口縁部～体部上 半片	口	11.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラナデか。器面摩滅のため不明。内面は体部に放射状ヘラ磨き。										
第452図 PL.512	14	土師器 壺	竈左脇床直 口縁部～胴部上 半	口 胴	13.5 25		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明黄褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り、器面摩滅のため単位不明。内面胴部はヘラナデ。										
第452図	15	土師器 壺	埋土 口縁部片	口	15.0		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は中程でやや内側に屈曲する。内外面とも横ナデ。										
第452図 PL.512	16	石製品 管玉	南部埋土 完形	長 幅	1.6 0.4	厚 重	0.5 0.5	滑石	緑黒色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。側面部には細かい線条痕がわずかに認められる。上下面の孔径約2mm。									
第452図 PL.512	17	石製品 管玉	北東部屋外黒色 土中 完形	長 幅	2.1 0.5	厚 重	0.6 1.1	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。側面部は全体的に丁寧に研磨整形されておりわずかに光沢がある。上下面には細かい階段状の痕跡が幾重にも累積し何らかの工具による切断痕と考えられる。上下面の孔径約2mm。									
第452図 PL.512	18	石製品 勾玉	南部埋土 完形	長 幅	2.4 1.5	厚 重	0.5 2.2	滑石	オリーブ灰色。全体的に丁寧に研磨整形されておりわずかに光沢がある。左側面の内湾部には緩やかな稜線で区画された作出面が複数認められ、内部には細かい線条痕が多数認められる。孔径約2mm。									
第452図 PL.512	19	石製品 勾玉	南部埋土 完形	長 幅	1.7 0.9	厚 重	0.6 1.0	葉ろう石	淡緑色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。表面の孔の周囲は浅鉢状にわずかに窪んでいる。孔径約2mm。									
挿図 PL.No.	No.	器種 細別器種	出土位置 残存率	法 量													観 察	
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬		
第452図 PL.512	20	錐	東隅床上4cm 柄端部欠損	5.2	2.9	0.2	0.2	2.1	0.2	0.2								刃先は尖っている。身の断面は四角であるが、先端近くは円形になる。柄は木質が良好に残り、茎の端まで完存している(X線で確認)。刃を覆っているものがあるが、材質は不明。

1区58号土坑出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高	厚			
第458図	1	土師器 杯	埋土 口縁部～体部上 位片	口 稜	11.2 10.9		細砂粒/良好/灰褐	口縁部は横ナデ、稜下体部は手持ちヘラ削り。	

1区72号ピット出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高	厚			
第459図 PL.513	1	土師器 壺	逆位 口縁部～胴部上 半	口	22.2		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ後格子目状に凹線を施す、胴部は斜めのヘラ磨き。内面は口縁部上半にも外面同様に格子目状の凹線、胴部はヘラナデ。	

1区75号ピット出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高	厚			
第459図	2	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	13.0		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、体部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き、口唇部に横方向のヘラ磨き。	

1区遺構外出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高	厚			
第468図	1	土師器 杯	遺構外 1/2	口 高	10.0 4.6		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部の整形は不鮮明であるが、体部下半に横方向のヘラ磨き。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第468図 PL.513	2	土師器 杯	遺構外 口縁部一部欠	口 高	11.7 5.6		細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	内面黒色処理。口縁部から体部上位は横ナデ、中位がナデ、下位から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第468図 PL.513	3	土師器 杯	遺構外 底部他一部欠	口 高	12.0 5.6		細砂粒/良好/赤褐	内面黒色処理。口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	内面黒色処 理。

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第468図 PL.513	4	土師器 杯	遺構外 2/3	口 高	12.0 5.6		細砂粒/良好/にぶ い褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。内面は 体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第468図	5	土師器 杯	遺構外 口縁部～底部片	口	11.8		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は 体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第468図	6	土師器 杯	遺構外 口縁部～体部片	口	11.4		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は器面摩滅のため整形不明、磨きが施さ れた形跡有り。	
第468図	7	土師器 杯	遺構外 口縁部～底部片	口	12.0		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部から体部は横ナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は 斜放射状ヘラ磨きが施されているが、器面は大部分が剥離 のため不明。	
第468図	8	土師器 杯	遺構外 1/4	口	14.8		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。	
第468図	9	土師器 杯	遺構外 1/4	口 高	13.0 4.9		細砂粒・粗砂粒と も少量/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内 面は体部に横方向に雑なヘラ磨き。	
第468図	10	土師器 杯	遺構外 口縁部～底部片	口	13.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第468図	11	土師器 杯	遺構外 1/2	口 高	13.0 5.3		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第468図	12	土師器 杯	遺構外 口縁部～底部片	口	12.8		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第468図	13	土師器 杯	遺構外 口縁部～体部片	口	15.0		細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ。内面は体部に斜放射状ヘラ 磨き。	
第468図 PL.513	14	土師器 杯	遺構外 口縁部～体部	口	17.9		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り、器面摩滅のため単位不 鮮明。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第468図	15	土師器 杯	遺構外 1/4	口 高	13.8 4.7		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。	
第468図	16	土師器 杯	遺構外 1/4	口 高	12.8 5.2		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内 面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第468図	17	土師器 杯	遺構外 1/4	口 高	14.2 7.1	0 0	細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は底部から体部にヘラナデ。	
第468図 PL.513	18	土師器 杯	遺構外 1/2	口 稜	12.7 15.5	高 5.3	細砂粒・粗砂粒・ 褐色粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、稜下にナデ部分が残り、体部下半から底 部は手持ちヘラ削り。口唇端部は内傾する平坦面を作る。	
第468図 PL.513	19	土師器 椀	遺構外 1/2	口 稜	11.1 11.4	高 6.2	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇部 は丸く作られている。	
第468図	20	土師器 杯	遺構外 口縁部～体部片	口 稜	12.4 11.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。器壁は 他に比べ厚い。	
第468図 PL.513	21	土師器 杯	遺構外 1/2	口 稜	11.6 12.0	高 6.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇端 部は丸く作られている。	
第469図 PL.513	22	土師器 杯	遺構外 口縁部一部欠	口 高	12.8 5.5		細砂粒・粗砂粒・ 礫(褐色粒)/やや 軟質/浅黄橙	全体は半円状の形態を呈し、口縁部下に弱い稜を作る。口 縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削りか、器面摩滅のた め単位不明。外面の口縁部から体部と内面全面に赤色塗彩。	
第469図 PL.513	23	土製品 円盤状	遺構外 完形	縦 横	3.0 3.2	厚 0.7	細砂粒/良好/にぶ い橙	土師器裏胴部の二次利用か。周囲を研磨して円盤状に整形。	
第469図 PL.513	24	土師器 鉢	遺構外 完形	口 底	9.4 5.3	高 5.8	細砂粒/良好/淡黄	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、体部と底部はヘラ削 り。内面は底部から口縁部がヘラナデ。口唇部が横ナデ。	
第469図 PL.513	25	手捏ね土器 杯形	遺構外 完形	口 高	3.0 2.6		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	外面は手捏ねによる指頭痕が残り、全体的にナデ。内面は ナデ。	
第469図	26	土師器 高杯	遺構外 脚部片	脚	8.0		細砂粒/良好/明赤 褐	脚部は外面が横ナデ、内面は下位が横ナデ、中位がヘラナ デ。	
第469図	27	土師器 高杯	遺構外 脚部下半片	脚	11.2		細砂粒/良好/橙	内外面とも横ナデ。	
第469図 PL.513	28	土師器 高杯	遺構外 脚部	脚	12.8		細砂粒/良好/赤褐	杯部と脚部は接合か。内面に輪積み痕が残る。裾部は横ナ デ、脚部はナデ。内面は脚部柱状部がヘラナデ。	
第469図	29	土師器 高杯	遺構外 杯部口縁部	口	18.8		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は内外面とも横ナデ。	
第469図 PL.513	30	土師器 高杯	遺構外 口縁部～脚部、 裾部欠	口	16.2		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	杯部と脚部は接合。杯部口縁部は横ナデ、体部から底部は ヘラ削り、脚部は磨き。内面は杯部の体部から口縁部に斜 放射状ヘラ磨き、脚部はヘラナデ。	
第469図 PL.514	31	須恵器 杯蓋	遺構外 2/3	口 稜	12.9 12.5	高 5.2	細砂粒・粗砂粒・ 礫/還元焰/褐灰	天井部外縁に稜を作る、稜の上下に浅い凹線が巡る。ロク ロ整形、回転は右回り。天井部は中程まで回転ヘラ削り。 口唇端部は尖らせ、内傾する面を作り、凹線が巡る。	
第469図 PL.514	32	須恵器 不明	遺構外 口縁部片				細砂粒/還元焰/黒 灰	器種不明、後円端部は丸みをもって作られており、端部を 上位とすると外にやや傾く。ロクロ整形、回転方向不明。	
第469図 PL.514	33	須恵器 瓶	遺構外 口縁部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回りか。口縁部には波状文が施され ている。内面は降灰が付着。断面は褐色を呈す。	
第469図 PL.514	34	須恵器 高杯	遺構外 脚部片	脚	9.9		細砂粒/還元焰/灰 黄	ロクロ整形、回転方向不明。脚部には四角形の透孔、端部 屈曲部の上端に1条の凸帯と凹線が巡る。内面の端部屈曲 部には第142図20と同様に粘土盤を貼付して閉塞した痕跡 が残る。	
第469図 PL.514	35	須恵器 高杯	遺構外 脚部片	脚	11.4		細砂粒/還元焰/灰 黄	ロクロ整形、回転方向不明。脚部には1段3方に矩形の透 孔を設け、端部は屈曲させ、上端に凸帯を巡らせ、その下 位に凹線を巡らす。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考								
				脚	底	口											
第469図 PL.514	36	須恵器 高杯	遺構外 脚部端部片	脚	9.8		細砂粒/還元焰/褐 灰	ロクロ整形、回転右回りか。脚部に透孔が三方に設けられている。									
第469図 PL.514	37	須恵器 高杯	遺構外 脚部片	脚底	11.2 7.4		細砂粒/還元焰/浅 黄	ロクロ整形、回転方向不明。残存部上端は杯部との接合痕が残る。脚部には1段3方に矩形の透孔を設け、端部は屈曲させ、上端に凸帯を巡らせ、その下位に凹線を巡らす。									
第469図 PL.514	38	須恵器 甃か	遺構外 口縁部片	口	16.0		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回りか。口唇部下に稜をつくり、その下位に波状文を施す。内面口唇部は平太面をつくる。									
第469図 PL.514	39	須恵器 甃	遺構外 口縁部小片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。口唇部は下方に-出している。									
第469図 PL.514	40	須恵器 甃	遺構外 胴部片				細砂粒/還元焰/灰	胴部のどの部位にあたるかは不明。外面は平行叩き痕が残るが、内面のアテ具痕はナデ消されている。									
第469図 PL.514	41	須恵器 甃	遺構外 胴部上位片				細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	胴部上位、頸部に近い部位の小片。外面は平行叩き痕が残る、頸部付近はナデ。内面には口縁部と接合するためのナデの痕跡がみられる。									
第469図 PL.514	42	須恵器 甃	遺構外 胴部片				細砂粒/還元焰/灰	胴部のどの部位にあたるかは不明。外面は平行叩き痕が残るが、内面のアテ具痕はナデ消されている。									
第469図 PL.514	43	土師器 小型甃	遺構外 1/2	口高	9.7 10.6		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部から底部はヘラ削りか、器面摩滅のため単位不明。内面は底部から胴部がヘラナデ。									
第469図	44	土師器 小型甃	遺構外 口縁部～胴部中 位片	口	11.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はナデ。内面胴部はヘラナデ。									
第469図	45	土師器 甃	遺構外 底部～胴部下位 片				細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	底部はヘラ削りか、器面摩滅のため単位不明。胴部はヘラナデ。内面は底部から胴部にヘラナデ。									
第469図	46	土師器 甃	遺構外 底部～胴部下位 片	底	8.4		細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	外面はヘラ削り、内面はヘラナデ。									
第469図	47	土師器 甃	遺構外 底部～体部下半 片	底	7.0		細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	底部と胴部はヘラ削り、胴部は器面摩滅のため単位不明。内面は底部から胴部にヘラナデ。									
第470図	48	土師器 甃か	遺構外 口縁部～胴部上 位片	口	22.6		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	外面に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。									
第470図	49	土師器 甃	遺構外 口縁部～胴部上 位片	口	17.6		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。									
第470図 PL.514	50	土師器 甃	遺構外 胴部一部欠	口底	17.9 5.5	高 31.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り後ヘラ磨き、大部分は器面摩滅のため単位不明。内面は底部から胴部がヘラナデ、器面摩滅のため単位不明。									
第470図 PL.514	51	土師器 壺	遺構外 底部～胴部・頸 部片	底	6.0		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	内面胴部に輪積み痕が残る。胴部はヘラ削り、一部器面摩滅のため不鮮明。底部もヘラ削り。内面は底部から胴部にヘラナデ。	外面底部にヘラキズか。								
第470図 PL.514	52	石製品 白玉	遺構外 完形	長幅	1.5 1.5	厚重 1.0 3.7	葉ろう石	灰オリーブ色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。細かい線条痕がわずかに認められる。孔は中央が狭くなっており両面穿孔と考えられる。									
第470図 PL.514	53	石製品 石製模造品	遺構外 完形	長幅	(2.7) (2.1)	厚重 (0.5) 3.4	滑石	灰白色。表裏面は縦～斜め方向の擦痕が認められる。側面にも擦痕が認められる。孔径約2mm。	剣形								
第470図 PL.514	54	石製品 石製品	遺構外 2/3	長幅	1.7 (2.7)	厚重 0.9 5.8	透閃石	緑色～淡緑色。全体的に丁寧に研磨整形される。孔は中央が狭くなっており両面穿孔と考えられる。孔径約3mm。									
第470図 PL.514	55	石製品 石製円盤	遺構外 完形	長幅	4.0 3.9	厚重 1.0 11.7	流紋岩凝灰岩	灰白色。軟質である。全体的に研磨整形されており、裏面と側面にはわずかに細かい線条痕が認められ比較的滑らかであることから再加工されたと考えられる。									
第470図 PL.514	56	石製品 石製品	遺構外 完形	長幅	4.8 5.8	厚重 1.7 38.8	軽石	全体的に丁寧に研磨整形されている。下面は破損面と想定されるが線条痕が認められ比較的滑らかであることから再加工されたと考えられる。									
第470図 PL.514	57	石製品 管玉	遺構外 完形	長幅	0.6 0.6	厚重 0.6 0.4	葉ろう石	緑黒色。全体的に丁寧に研磨整形されている。全体的に光沢があり、上下面は著しい光沢が認められる。孔は中央付近が狭くなっており両面穿孔と考えられる。上下面ともに孔径約2mm。									
第470図 PL.514	58	石製品 管玉	遺構外 完形	長幅	1.6 0.5	厚重 0.5 0.7	蛇紋岩	暗緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。特に上下面に光沢がある。上下面の孔径約3mm。									
挿図 PL.No.	No.	遺物名	出土位置 残存率	計測値(cm)			重量(g)	特徴など									
				長	幅	厚さ											
第470図 PL.514	59	椀形鍛冶滓	1G-E6G ほぼ完形	3.7	2.9	1.2	7.2	薄手の椀形鍛冶滓。上面は粘土質の溶解物。下面は土砂が付着している。滓中に鉄が内在し、滓が部分的に錆化している。比重が低く、主体は粘土質溶解物である。									
挿図 PL.No.	No.	器種 細別器種	出土位置 残存率	法 量													観 察
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
第18図 PL.453	1	鉄片 板状鉄片	Hr-FP上面 破片	3.8+	2.1+	0.1											右側に線状に屈曲部あり。
第18図 PL.453	2	鉄片 板状鉄片	Hr-FP上面 破片	3.7+	(1.7)	0.2											長方形の鉄板で、中央部から剥離している。
第18図 PL.453	3	鉄片 板状薄片	Hr-FP上面 破片	4.5+	2.6+	0.1											板状で、薄片状(0.1cm)のもの。四周は割れている。

2区1号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口	高	厚				
第479図 PL.515	1	土師器 杯	貯蔵穴東縁床直 1/4	口	12.8		粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下底部外面まで 手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜 放射状ヘラ磨き。		
第479図	2	土師器 杯	西部床上3cm 口縁部～体部片	口	9.0		細砂粒/良好/にぶ い褐	口縁部は横ナデ。体部内外面ともナデ。		
第479図 PL.515	3	土師器 杯	竈左脇床直 体部～底部				細砂粒/良好/橙	体部外面にナデ。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は底部 から体部に向けて放射状のヘラ磨き。		
第479図 PL.515	4	土師器 杯	北壁沿い床直 口縁部一部欠	口 高	11.1 4.7		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面はナデ。底部外面は手持ちヘラ削 り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨 き。		
第479図	5	土師器 杯	P1埋土上層 口縁部～体部片	口	12.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下は手持ちヘラ削 り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨 き。		
第479図 PL.515	6	土師器 杯	貯蔵穴埋土 口縁部～体部上 位	口	13.0		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ、以下は手持ちヘラ 削り。内面はナデ。		
第479図 PL.515	7	土師器 杯	竈埋土 口縁部～底部片	口	13.8		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面は手持ちヘラ削 り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨 き。		
第479図 PL.515	8	土師器 杯	南壁沿い床直 口縁部～体部	口	14.0		粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下底部まで手持 ちヘラ削り。	内面に炭素吸 着。内黒か。	
第479図	9	土師器 杯	貯蔵穴埋土 口縁部～体部 1/3	口	15.8		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下は手持ちヘラ 削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ 磨き。	内面の磨滅進 む。	
第479図 PL.515	10	土師器 杯	貯蔵穴埋土 口縁部～体部 1/4	口	15.6		粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下は手持ちヘラ 削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ 磨き。		
第479図	11	土師器 杯	竈埋土 口縁部～体部片	口	13.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下は手持ちヘラ 削り。	内面磨滅。	
第479図	12	土師器 杯	竈埋土 口縁部～底部片	口	11.0		粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面は手持ちヘラ 削り。内面はヘラナデ。		
第479図	13	土師器 鉢	貯蔵穴埋土 口縁部～体部	口	14.9		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面はナデの上に粗雑なヘラ磨 き。内面は体部から口縁部に向けて右傾する斜放射状ヘラ 磨き。		
第479図	14	土師器 高杯	竈右脇 杯部片	口	16.6		粗砂粒/良好/橙	外面は口縁部上位に横ナデ。以下はやや粗雑なヘラ磨 き。内面はナデの上に放射状のヘラ磨き。		
第479図 PL.515	15	土師器 高杯	埋土 脚部下位片	脚	13.8		細砂粒/良好/橙	内外面とも横ナデ。		
第479図 PL.515	16	土師器 埴	P5周辺床上10cm 口縁部	口	8.4		細砂粒/良好/明赤 褐	内外面とも横ナデの上に外面は縦位の、内面は斜位のヘラ 磨き。		
第479図 PL.515	17	土師器 壺	竈右脇 胴部下位～底部	底	6.4		粗砂粒/良好/橙	胴部外面はヘラ削り。内面はヘラナデ。底部外面はヘラ削 り。		
第479図 PL.515	18	土師器 壺	P5周辺床上10cm 胴部下位～底部 1/4	底	7.2		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	胴部外面はハケ状工具でナデ。内面も同様のナデ。底部外 面はヘラ削り。		
第479図 PL.515	19	土師器 小型甕	西壁沿い埋土 口縁部～胴部下 位	口	14.1		粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラナデか。内面は横位のヘ ラナデ。	25と同一か	
第480図	20	土師器 甕	埋土 口縁部片	口	14.0		粗砂粒/良好/赤褐	内外面とも横ナデ。	外面は赤色塗 彩か。	
第480図	21	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部上 位片	口	17.6		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラ削り。内面はヘラナデ。		
第480図	22	土師器 甕	PP9周辺埋土 口縁部片	口	19.8		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	内外面とも横ナデ。		
第480図	23	土師器 甕	埋土 口縁部片	口	18.4		粗砂粒・細砂粒/ 良好/浅黄橙	内外面とも横ナデ。		
第480図 PL.515	24	土師器 甕	竈左脇床直 口縁部～頸部	口	15.8		細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ。頸部内面はやや強いタッチのヘラナデ。		
第480図	25	土師器 小型甕	西壁沿い埋土 胴部下位～底部 1/2	底	5.4		粗砂粒・細砂粒/ 良好/浅黄橙	胴部外面はヘラ削り。内面はヘラナデ。底部外面はヘラ削 り。	19と1個体で 復元。	
第480図 PL.516	26	須恵器 高杯蓋	埋土 摘部～天井部	摘	2.8		細砂粒/還元焰/灰	高さのあるボタン状の摘が貼付。ロクロ整形、回転は左回 りか。天井部残存部は回転ヘラ削り。	外面に降灰付 着。重ね焼き の痕跡。	
第480図 PL.516	27	須恵器 杯蓋	P8周辺床直 1/4	口 稜	13.0 12.6		細砂粒少量/還元 焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。天井部外縁は明瞭な稜を作る。天 井部は回転ヘラ削り。口唇端部を段によって先端を尖らせるよ うに作る。口唇端部は天井部外面周縁から口縁部外面に白濁し た降灰が付着し、焼成時に他器種を重ね焼きした痕跡が残る。	断面は暗赤灰 色。	
第480図 PL.516	28	須恵器 高杯	埋土 脚部片	底	11.0		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は不明。端部近くに透孔の切込みがみら れる。		
第480図 PL.516	29	須恵器 甕か	南壁沿い床直 胴部小片				細砂粒・粗砂粒少 量/還元焰/灰	外面は平行叩き痕が残るが、内面はアテ具痕をナデ消して いる。	断面は暗赤灰 色。	
第480図 PL.516	30	須恵器 甕	P5周辺床上10cm 胴部片				細砂粒/還元焰/灰	紐づくり成形。外面は平行叩き痕、内面は同心円状アテ具 痕を残す。		
第480図 PL.516	31	石製品 石製模造品	埋土 完形	長 幅	4.0 2.9	厚 重	0.5 7.3	滑石	オリーブ灰色。表面共に平坦であり、表面は横方向の擦痕 が裏面は斜め方向の擦痕が認められる。上下の孔径約2mm。	剣形

## (47～53はガラス玉P24)

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考								
				長	幅	厚重											
第480図 PL.516	32	石製品 管玉	北壁扱い埋土 完形	長 幅	2.6 0.9	厚 重	0.9 4.34	蛇紋岩	青黒色。全体的に丁寧に研磨整形されておりわずかに光沢がある。孔は中央付近が狭くなっており両面穿孔と考えられる。上下面ともに孔径約3mm。								
第480図 PL.516	33	石製品 管玉	P6周辺埋土 完形	長 幅	2.7 0.7	厚 重	0.7 2.04	蛇紋岩	緑黒色。全体的に丁寧に研磨整形されている。側面はわずかに光沢があり、上下面は著しい光沢が認められる。孔は中央付近が狭くなっており両面穿孔と考えられる。上下面ともに孔径約3mm。								
第480図 PL.516	34	石製品 管玉	南壁扱い床直 完形	長 幅	2.2 0.6	厚 重	0.5 1.04	蛇紋岩	緑黒色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。孔は中央付近が狭くなっており両面穿孔と考えられる。上下面ともに孔径約2mm。								
第480図 PL.516	35	石製品 管玉	南壁扱い床直 完形	長 幅	1.4 0.5	厚 重	0.5 0.56	蛇紋岩	青黒色。全体的に丁寧に研磨整形されておりわずかに光沢がある。上下面ともに孔径約2mm。								
第480図 PL.516	36	石製品 管玉	北壁扱い床直 完形	長 幅	2.2 0.7	厚 重	0.7 1.43	変質玄武岩	オリーブ灰色。全体的に丁寧に研磨整形されているが光沢はない。孔は中央付近が狭くなっており両面穿孔と考えられる。上下面ともに孔径約3mm。								
第480図 PL.516	37	石製品 管玉	竈埋土 1/3	長 幅	(0.9) (0.6)	厚 重	(0.6) 0.28	蛇紋岩	緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されているが光沢はない。孔は開け直しているが、くっついて一つになっている。両面穿孔と考えられる。上下面ともに孔径約2mm。								
第480図 PL.516	38	石製品 白玉	掘方西部埋土 完形	長 幅	0.3 0.3	厚 重	0.3 0.04	滑石	暗オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあるがわずかにあり擦痕は認められない。全体的にわずかに光沢がある。孔径約2mm。								
第480図 PL.516	39	石製品 白玉	掘方西部埋土 完形	長 幅	0.4 0.4	厚 重	0.1 0.02	滑石	オリーブ灰色。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。孔は裏面から表面に向かい広がりをもつ。側面はやや光沢がある。孔径約2mm。								
第480図 PL.516	40	石製品 白玉	掘方西部埋土 完形	長 幅	0.4 0.4	厚 重	0.2 0.03	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面はやや光沢がある。孔径約2mm。								
第480図 PL.516	41	石製品 白玉	埋土 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.2 0.08	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央の張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。								
第480図 PL.516	42	石製品 白玉	埋土 完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.3 0.13	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕が認められる。側面は中央に張りがあるがわずかにあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。								
第480図 PL.516	43	石製品 白玉	埋土 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.15	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央の張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。								
第480図 PL.516	44	石製品 白玉	埋土 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.3 0.12	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあるがわずかにあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。								
第480図 PL.516	45	石製品 白玉	埋土 完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.3 0.12	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央の張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。								
第480図 PL.516	46	石製品 白玉	埋土 完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.3 0.14	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。								
挿図 PL.No.	No.	遺物名	出土位置 残存率	計測値(cm)			重量(g)	特徴など									
				長	幅	厚さ											
第481図 PL.515	54	羽口	鍛冶炉南縁床直 完形	10.8	5.5～8.3	2.0	53	使用時の先端部から基部まで残存する。基部から体部の内外面に指頭圧痕あり。通風孔の内径は、先端部付近で約2cmを測り、基部側はラッパ状に開く。胎土は粗く、砂粒を多く含む。先端部は発泡しているが、ガラス化はしていない。器厚約2cm。									
第481図 PL.515	55	羽口	鍛冶炉南縁床直 半欠	9.9	(7.7)	2.0	53	羽口片1/2。使用時の先端部から基部まで残存する。基部から体部の内外面に指頭圧痕あり。通風孔の内径は、先端部付近で約2cmを測り、基部側はラッパ状に開く。胎土は粗く、砂粒を多く含む。外面基部側に鍛造薄片が付着する。先端部は発泡しているが、ガラス化はしていない。器厚約2cm。									
第481図 PL.515	56	羽口	鍛冶炉南縁床直 基部破片	(5.3)	(6.0)	2.0	不明	羽口基部片。基部から体部の内外面に指頭圧痕あり。胎土は粗く、砂粒を多く含む。外面基部側に含鉄鉄滓が付着。器厚約2cm。									
第481図 PL.515	57	粘土質溶解物	西部床直 半欠	3.0	2.1	1.1	6.8	粘土質溶解物主体。薄手の鍛冶滓か。上面は平滑で表面が錆化している。下面は凹凸がある。気泡が多く内在し、比重が低く、主体は粘土質溶解物である。滓中に鉄部はほとんどない。									
第481図 PL.515	58	椀形鍛冶滓	西部床直 一部欠損	3.9	3.7	2.0	28.7	やや厚手の椀形鍛冶滓。上面は平坦で、下面は炉床土が付着している。滓質が密な椀形鍛冶滓。滓中に鉄部が多く内在し、滓が部分的に強く錆化している。比重がやや高い。									
挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考								
				長	幅	厚重											
第481図 PL.515	59	礫石器 金床石	鍛冶炉西床直 完形	長 幅	39.7 29.8	厚 重	14.6 25200.0	粗粒輝石安山岩	大形円礫を利用する。表裏面及び右側面に非常に滑らかな部分が認められる。表裏面には線条痕も存在し、表面の縁辺部と裏面の一部に鉄錆が付着する。								
挿図 PL.No.	No.	器種 細別器種	出土位置 残存率	法 量													観 察
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
第481図 PL.515	60	鍍 鍍茎片	炉南端部埋土 茎破片	4.8+	0.5	0.5											鍍の茎尻と想定。有機質の付着なし。

2区2号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口高					
第482図 PL.516	1	土師器 杯	東壁沿い床土 18cm 底部一部欠	口高	13.6 5.0		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第482図 PL.516	2	土師器 杯	周堤盛土 1/4	口高	14.8 4.7		粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	深み増す可能性あり。
第482図	3	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	11.9		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第482図	4	土師器 杯	周堤盛土 口縁部～体部片	口	14.5		粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第482図	5	土師器 杯	周堤盛土 口縁部～体部 1/4	口	15.1		粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面はナデ。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第482図 PL.516	6	土師器 杯	周堤盛土 1/2	口	14.6		粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第482図	7	土師器 杯	掘方埋土 口縁部～体部上 位片	口	17.0		粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ、以下は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第482図	8	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	14.0		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第482図 PL.516	9	須恵器 杯身	周堤盛土 体部片				粗砂粒・細砂粒/ 還元焰やや軟質/ 灰	ロクロ整形、回転は左回りか。受け部は大きく突出する。体部は回転ヘラ削り。	
第482図 PL.516	10	須恵器 高杯	周堤盛土 杯部片				細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形、回転は左回りか。外面は平行する2条の凸線の下位に波状文が施文。下位には回転ヘラ削り。	内面に降灰付着。
第482図	11	土師器 杯	周堤盛土 口縁部～体部片	口	12.0		粗砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面はナデの上に手持ちヘラ削り。内面は横位のヘラ磨き。	
第482図 PL.516	12	土師器 杯	周堤盛土 口縁部～体部 1/4	口	12.7		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ。体部(稜下)外面に手持ちヘラ削り。内面はナデ。	器肉厚い。
第482図 PL.516	13	土師器 小型甕	周堤盛土 胴部下位～底部	底	4.8		細砂粒/良好/明赤褐	胴部外面はヘラナデ。内面は横位のヘラナデ。底部外面もヘラナデ。	
第482図 PL.516	14	須恵器 甕	周堤盛土 口縁部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は不明。外面は凸線を挟んで波状文が2段施文。	内面に降灰付着。
第482図 PL.516	15	須恵器 高杯	周堤盛土 脚部片				細砂粒/還元焰/灰	有蓋高杯か。ロクロ整形、回転は不明。裾部先端近くまで透孔が配される。	外面に降灰付着。
第482図 PL.516	16	石製品 白玉	北東部周堤裾部 完形	長幅	0.6 0.6	厚重 0.5 0.30	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第482図 PL.516	17	石製品 白玉	北東部周堤裾部 ほぼ完形	長幅	0.6 0.6	厚重 0.4 0.14	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央に張りはなく横方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第482図 PL.516	18	石製品 白玉	周堤盛土 完形	長幅	0.6 0.6	厚重 0.5 0.26	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	

2区3号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口高					
第486図 PL.516	1	土師器 杯	埋土 1/4	口	13.3		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ、底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第486図	2	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	12.8		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面はナデ。以下は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾する斜放射状ヘラ磨き。	
第486図 PL.516	3	土師器 杯	埋土 1/3	口	11.9		粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ、型肌の痕跡を残す。以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第486図 PL.516	4	土師器 杯	埋土 1/4	口	14.2		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ、以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第486図	5	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	11.9		細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面は上位にナデ。以下は手持ちヘラ削り。内面はヘラ磨き。放射状に配すか。	
第486図	6	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	12.7		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部から体部外面上位は横ナデ。体部下位にナデの部分が残る。底部外面は手持ちヘラ削りと考えられる。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	小破片からの作図。もう少し深み増すか。
第486図	7	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	15.0		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面は手持ちヘラ削り。	内面磨減。
第486図	8	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	13.8		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面はナデ。	器面磨減。
第486図 PL.516	9	土師器 高杯	埋土 杯部下位～脚部				細砂粒/良好/明赤褐	杯部内面はヘラ磨き。脚部外面は丁寧なナデ。一部にヘラ磨き。内面はヘラナデ。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高	重			
第486図	10	土師器 小型甕	埋土 口縁部～胴部上 位片	口	12.6		細砂粒/良好/*	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜縦位のヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第486図 PL.516	11	土師器 小型甕	埋土 3/4	口	12.8		粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。底部外面にヘラナデ・指ナデ。	
第486図 PL.516	12	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部上 位1/4	口	16.8		粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	外面は口縁部に横ナデ。胴部は縦位のヘラ削り後、縦位の粗雑なヘラ磨き。内面は口縁部に横ナデ。胴部は横位のヘラナデ後、斜縦位のヘラ磨き。	
第486図	13	土師器 甕	埋土 口縁部～頸部片	口	17.8		細砂粒/良好/橙	口縁部は内外面とも横ナデ。	
第486図 PL.516	14	土師器 壺	埋土 口縁部～胴部上 位片	口	14.6		粗砂粒/良好/橙	口縁部は中位で微妙に変化している。横ナデ。胴部外面は横位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	
第486図	15	土師器 甕	埋土 胴部下位～底部 片	底	10.0		粗砂粒/良好/にぶ い橙	胴部外面はナデに近いヘラ削り。内面はヘラナデ。底部外面はヘラ削り。	底部はもっと 凸面状か。
第486図 PL.516	16	礫石器 敲石	南西隅床上10cm 完形	長幅	15.6 7.3	厚重 4.7 771.0	変質安山岩	棒状の円礫を利用する。下端の平坦面には打点が認められ打割により平坦面が作出されたと考えられる。下端側辺部には下方からの剥離痕が多数認められ敲打により生じたものと考えられる。	

2区4号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高	重			
第491図 PL.517	1	土師器 杯	竈左脇 完形	口 高	12.2 5.0		細砂粒/良好/にぶ い褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第491図	2	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	13.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面は手持ちヘラ削り。その中間に横位のヘラ磨き状のヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第491図	3	土師器 杯(内湾?)	竈左脇 口縁部～体部片	口	14.0		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第491図	4	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	14.0		粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。以下は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第491図 PL.517	5	土師器 杯	貯蔵穴脇西壁治い 口縁部一部欠	口 高	14.1 5.7		粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ。体部(稜下)外面はナデの上にヘラナデ。型肌痕跡を残す。底部外面はナデに近いヘラ削り。内面は底部中央から口縁部に向けてヘラ磨き。	
第491図 PL.517	6	土師器 杯	竈燃焼部 1/4	口	12.9		粗砂粒・細砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ。体部(稜下)外面にナデ。一部にヘラナデ。型肌痕跡を残す。底部外面は手持ちヘラ削り。一部にヘラナデ。内面は底部中央から放射状のヘラ磨き。	
第491図 PL.517	7	土師器 杯	貯蔵穴脇西壁治い 1/3	口 高	12.7 5.6		粗砂粒・細砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。一部に工具が当たり磨き状。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は底部中央から口縁部に向けて放射状のヘラ磨き。	
第491図 PL.517	8	土師器 杯	貯蔵穴内上層 口縁部一部欠	口 高	14.6 5.4		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。外面は体部(稜下)から底部外面はヘラ削り後、ヘラナデ・ヘラ磨き。内面は底部から口縁部に向けて放射状のヘラ磨き。	
第491図 PL.517	9	土師器 杯	貯蔵穴脇西壁治い 3/4	口 高	14.0 5.9		粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ。体部外面はナデの上に一部ヘラナデ。底部外面はヘラナデに近いヘラ削り。内面は底部中央から口縁部に向けて放射状のヘラ磨き。	
第491図 PL.517	10	土師器 杯	貯蔵穴脇西壁治い 口縁部一部欠	口 高	14.2 5.4		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。体部(稜下)外面にナデ。型肌痕跡を残す。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は底部中央から口縁部に向けて斜放射状ヘラ磨き。	
第491図 PL.517	11	土師器 杯	貯蔵穴脇西壁治い 口縁部一部欠	口 高	13.9 5.7		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。体部(稜下)外面にナデ。型肌痕跡を残す。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は底部中央から口縁部に向けて斜放射状ヘラ磨き。	
第491図	12	土師器 杯	埋土 口縁部片	口	11.7		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ。	
第491図	13	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	12.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部(稜下)外面は手持ちヘラ削り。内面はナデ。	
第491図	14	土師器 小型壺か	竈左脇床直 胴部中位～下位 片				粗砂粒・細砂粒/ 良好/赤褐	外面は横位のヘラ磨き。内面は上位に指ナデ、指押さえ。以下はヘラナデ。	
第491図 PL.517	15	土師器 小型壺	竈右脇床直 頸部～底部2/3				粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙	頸部は横ナデ。外面は胴部上半部にナデ。下半部はヘラ削り。底部は狭小な平底。内面は横位のヘラナデ。	
第491図	16	土師器 鉢	竈右脇床直 口縁部～体部下 位片	口	19.6		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部はナデ。体部外面は斜横位のヘラ磨き。最下位にヘラナデ。内面は斜位のヘラナデ。	
第491図 PL.517	17	土師器 壺	南壁治い床直 胴部下～底部	底	5.0		粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	胴部外面はナデか。底部近くでヘラナデ、ヘラ削り。内面は底部中央から放射状のヘラ磨き。底部外面に木葉痕。	器肉厚い。内 面に炭素吸着。 黒色処理か。
第491図 PL.517	18	須恵器 杯蓋	埋土 1/3	口 稜	13.2 13.6	高 4.4	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回りか。天井部外縁には外側に引き出される明瞭な稜を作る。口唇部は平坦面を作り中程が凹線上に窪む。天井部は回転ヘラ削り。内面天井部はナデ。	2区5号竪穴建 物出土破片と 接合。
第491図 PL.517	19	須恵器 甕か	埋土 口縁部片	口	15.8		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。口縁部に波状文が施文。	内外面に降灰 付着。

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第491図 PL.517	20	須恵器 甕	埋土 胴部片				細砂粒/還元焰/灰	紐づくり成形。外面は平行叩き痕。内面はアテ具痕を残す。	外面に降灰付着。
第492図 PL.517	21	土師器 小型甕	竈左脇 完形	口底	9.0 5.1	高 8.6	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラ磨きか。底部外面には木葉痕。内面はヘラナデ。	器肉全体に厚い。
第492図 PL.518	22	土師器 小型甕	竈燃焼部 2/3	口底	12.8 4.6	高 15.7	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は上位・中位にハケメ、後からナデを重ねるか。内面は斜位のヘラナデ。底部外面はヘラ削り、ヘラナデ。	
第492図 PL.517	23	土師器 甕	南壁沿い床直 2/3	口底	16.6 7.9	高 21.4	粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙	器形は大きく歪む。口縁部は横ナデ。胴部外面上位から中位は縦位の粗雑なヘラ磨き。下位は粗雑なヘラナデ。内面は横位のヘラナデ。底部外面はヘラ削り。	
第492図	24	土師器 甕	竈右脇床直 胴部下位～底部	底	6.3		粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	胴部外面はハケ状工具によるナデの上に横位のヘラ削り。内面は粗雑なナデ。底部外面はナデ。	
第492図	25	土師器 甕	北東隅埋土上層 胴部下位～底部	底	6.1		粗砂粒/良好/橙	胴部外面にヘラ削り。内面はヘラナデ。底部外面は粗雑なヘラナデ。	
第492図 PL.518	26	土師器 小型甕	竈左脇 口縁部～胴部中 位	口	15.2		粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙	外面は口縁部に粗雑な横ナデ。胴部はヘラ削りの上にハケメを重ねる。内面は口縁部にハケメ、ナデ。胴部は丁寧なナデと考えられる。	
第492図	27	土師器 小型甕	竈右脇床直上層 口縁部～胴部 1/4	口	15.6		粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部はナデ。胴部外面は横位のヘラ磨き。内面は横位のヘラナデ。中位以下に縦位のヘラ磨き。	
第492図	28	土師器 甕	北東隅埋土 口縁部片	口	17.6		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	内外面とも横ナデ。	
第492図	29	土師器 甕	竈右脇床直 口縁部～胴部上 位片	口	19.8		粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラナデ。内面もヘラナデ。	
第492図 PL.518	30	土師器 壺	竈燃焼部 胴部一部欠	口底	17.2 7.4	高 32.7	粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部外面は縦位のハケメ後、ナデ。内面は横ナデ。胴部外面は上位から中位が斜縦位の、下位が斜横位のヘラナデに近いヘラ削り。一部にハケメが残る。中位と下位の重なる部分には横位の、底部近くには縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	

2区5号竪穴建物出土物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第496図 PL.518	1	土師器 杯	竈右脇床直 口縁部一部欠	口高	11.7 5.2		粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部から底部外面に手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	口縁部外面に布目痕。
第496図	2	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	11.8		粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第496図 PL.518	3	土師器 杯	南壁沿い床直 9cm 3/4	口高	12.4 6.3		粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第496図 PL.518	4	土師器 杯	南壁沿い床直 4cm 2/3	口高	12.4 6.8		粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第496図 PL.518	5	土師器 杯	竈右脇床直 3/4	口高	12.3 6.7		粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第496図 PL.518	6	土師器 杯	竈右脇床直 1/3	口高	14.4 4.5		粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面から底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第496図	7	土師器 杯	竈右脇床上4cm 1/4	口	13.4		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部に波状のヘラ磨き。	
第496図	8	土師器 杯	竈埋土 口縁部～体部 1/4	口	14.0		粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。外面は体部以下に手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第496図	9	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	13.1		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面は上位にナデの部分を残し、以下は手持ちヘラ削り。内面は一部に体部から口縁部に向けて右傾する斜放射状ヘラ磨き。	
第496図	10	土師器 杯	埋土 口縁部片	口	11.4		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から体部上位は横ナデ。以下は狭い範囲のナデ、手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾する斜放射状ヘラ磨き。	
第496図	11	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	12.9		細砂粒/良好/明赤 褐	外面は口縁部から体部上位に横ナデ。それ以下は手持ちヘラ削りか。内面はヘラ磨きが重ねられる。	
第496図	12	土師器 杯	埋土 口縁部～体部上 位片	口	12.8		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面はナデ。内面は体部から口縁部に向けて右傾する斜放射状ヘラ磨き。	
第496図	13	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	9.0		細砂粒/良好/明赤 褐	外面は口縁部から体部上位まで横ナデ。内面には規則性の乏しいヘラ磨き。	
第497図 PL.518	14	土師器 杯	竈左脇床直 2/3	口	12.2		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面に手持ちヘラ削り。内面はナデ。	器面やや磨滅。
第497図 PL.518	15	土師器 杯	埋土 1/3	口	12.9		粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面に手持ちヘラ削り。内面はナデ。	
第497図	16	土師器 杯	埋土 口縁部～底部片	口	13.6		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。外面は体部(稜下)以下に手持ちヘラ削り。内面はナデ。	
第497図 PL.518	17	土師器 杯	埋土 1/4	口	15.0		粗砂粒・細砂粒/ 良好	口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面に手持ちヘラ削り。内面はナデ。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第497図 PL.518	18	土師器 杯	P2脇床直 1/2	口	11.9		粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面に手持ちヘラ削り。上位にわずかにナデの部分を残す。内面はナデ。	
第497図 PL.518	20	須恵器 杯蓋	埋土 小片				粗砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転は右回り。天井部外面は回転ヘラ削り。	
第497図 PL.519	21	土師器 高杯	竈左脇床直 杯部一部欠	口 脚	12.1 9.9	高 9.0	粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	杯部は口縁部に横ナデ。底部外面は手持ちヘラ削り。内面はナデ。脚部は内外面とも横ナデ。	
第497図	22	土師器 鉢	埋土 口縁部片	口	11.7		粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデの上に内外面とも左傾のヘラ磨き。体部内面は右傾のヘラ磨き。	23と同一個体の可能性があるか。
第497図	23	土師器 鉢	埋土 口縁部～体部上位	口	11.8		粗砂粒・細砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデの上に内外面とも左傾のヘラ磨き。体部内面は右傾のヘラ磨き。	22と同一個体の可能性があるか。
第497図 PL.519	24	土師器 小型甕	埋土 口縁部～胴部上位 1/3	口	13.6		粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部から肩部は横ナデ。胴部外面はハケメ、あるいはハケ状工具によるナデ。内面はヘラナデ。	
第497図	25	土師器 甕	埋土 口縁部片	口	18.6		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	内外面とも横ナデ。	
第497図	26	土師器 甕	埋土 胴部下位～底部 片	底	6.0		細砂粒/良好/明赤 褐	胴部外面はナデ・横位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。底部外面はヘラ削り。	
第497図 PL.519	27	土師器 甕	竈燃焼部下位 胴部下位～底部	底	8.9		粗砂粒/良好/浅黄 橙	胴部外面はナデ。内面はヘラナデ。底部外面はヘラナデ・ヘラ削り。	
第497図	28	土師器 小型甕か	埋土 底部	底	5.2		粗砂粒/良好/にぶ い褐	胴部との接合部分から剥離したもの。外面はナデ。内面はやや粗雑なナデ。	
第497図 PL.519	29	須恵器 甕	埋土 胴部片				細砂粒/還元焰/黄 灰	紐づくり成形。外面は平行叩き痕の上にナデ。内面はアテ具痕を残す。	外面に降灰付着。
第497図 PL.519	30	須恵器 杯蓋	埋土 小片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、外面に回転ヘラ削り。回転は左回りか。	
第497図 PL.519	31	石製品 管玉	東部床直 完形	長 幅	2.0 0.6	厚 重 0.6 1.31	蛇紋岩	緑黒色。全体的に丁寧に研磨整形されているが光沢はない。側面には細かい擦痕が認められる。孔は中央付近が狭くなっており両面穿孔と考えられる。上下面ともに孔径約3mm。	
第497図 PL.519	32	石製品 石製模造品	東部床直 完形	長 幅	1.8 2.8	厚 重 0.5 4.04	滑石	灰白色。表面は斜め方向の擦痕が、裏面は縦方向の擦痕が認められる。表面側の左右の孔はその周辺部がわずかに窪んでおり、裏面からの穿孔の際に表面側が破碎した可能性がある。左右の孔径約2mm。	剣形
第497図 PL.519	33	石製品 石製模造品	東部床上4cm 完形	長 幅	3.2 1.6	厚 重 0.4 3.34	滑石	灰白色。表裏面共に斜め方向の擦痕が認められる。上下の孔径約2mm。	剣形

2区6号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第502図 PL.519	1	土師器 杯	貯蔵穴北側床直 完形	口 高	12.3 6.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下底部まで手持ちヘラ削り。内面はヘラナデ。体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第502図	2	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	9.2		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面にヘラナデ、ヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の著しい斜放射状ヘラ磨き。	
第502図 PL.519	3	土師器 杯	南東隅床直 3/4	口 高	10.1 5.8		粗砂粒・細砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。それ以下は底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第502図 PL.519	4	土師器 杯	北西隅床直 完形	口 高	10.2 6.2		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面上位に横ナデ。下位に磨きに近いヘラナデ。底部外面はヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第502図 PL.519	5	土師器 杯	貯蔵穴北東縁床直 口縁部一部欠	口 高	9.9 6.4		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	器面磨滅。
第502図 PL.519	6	土師器 杯	南壁沿い床上 5cm 1/3	口 高	11.8 5.0		粗砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面にわずかにナデの部分を残す。以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第502図 PL.519	7	土師器 杯	貯蔵穴北東縁床直 1/3	口 高	12.6 6.3		粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面にヘラナデ。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第502図 PL.519	8	土師器 杯	貯蔵穴北東縁床直 口縁部一部欠損	口 高	13.2 7.5		粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部から底部外面まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第502図 PL.519	9	土師器 杯	中央部床上3cm 1/4	口	13.8		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。それ以下は手持ちヘラ削り。内面はナデ。	
第502図 PL.519	10	土師器 杯	貯蔵穴北東縁床直 口縁部～底部片	口	11.7		粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。外面は体部以下に手持ちヘラ削り。内面はヘラ磨きか。	内面磨滅。
第502図	11	土師器 杯	埋土 口縁部～底部片	口	13.8		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面はナデ、以下は手持ちヘラ削り。内面は底部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第502図	12	土師器 杯	埋土 口縁部～体部下 位片	口	11.9		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ、底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第502図	13	土師器 杯	埋土 口縁部～底部片	口	12.0		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面は手持ちヘラ削り。	内面磨滅。

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第502図	14	土師器 杯	埋土 2/3	口 高	12.8 5.3	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。型肌を残す。底部外面は手持ちへら削りと考えられる。内面はナデ。	
第502図 PL.519	15	土師器 杯	貯蔵穴北東縁床直 口縁部一部欠	口 高	13.0 5.4	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部から底部外面に手持ちへら削り。内面はナデ。	器面磨滅。
第502図 PL.519	16	土師器 杯	中央部床上7cm 2/3	口 高	10.9 4.7	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状へら磨き。	内面下半部に 剥離。
第502図 PL.519	17	土師器 杯	貯蔵穴北東縁床直 口縁部・体部一 部欠	口 高	13.0 5.1	粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。それ以下は手持ちへら削りと考えられる。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状へら磨き。	
第502図	18	土師器 杯	埋土 口縁部～底部片	口	13.8	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面に手持ちへら削り。内面はナデ。	
第502図 PL.520	19	土師器 杯	埋土 口縁部～底部片	口	11.8	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面に手持ちへら削り。内面はナデ。	
第502図 PL.520	20	土師器 杯	埋土 口縁部～底部片	口	13.8	粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。体部(稜下)外面に手持ちへら削り。内面はナデ。	
第502図 PL.520	21	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	15.0	粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。体部(稜下)外面に手持ちへら削り。内面はナデ。	
第502図 PL.520	22	土師器 杯	埋土 口縁部～体部 1/3	口	12.0	細砂粒/良好/橙	口唇端部は平坦面を作る。口縁部は横ナデ。体部(稜下)外面に手持ちへら削り。内面はナデ。	
第502図 PL.519	23	土師器 杯	貯蔵穴北東縁床直 口縁部一部欠	口	13.9	粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。わずかに型肌の痕跡を残す。底部外面は手持ちへら削り。内面は底部中央から口縁部に向けて放射状へら磨き。	
第502図 PL.519	24	土師器 杯	貯蔵穴北東縁床直 完形	口 高	14.5 6.4	粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下底部まで手持ちへら削り。内面は底部中央から口縁部に向けて放射状にへら磨き。	
第503図 PL.520	25	土師器 杯	南壁沿い床上 4cm 完形	口 高	14.6 5.7	粗9砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面は手持ちへら削り。内面は底部から体部に向けて放射状へら磨き。体部上にはハケメを残す。	
第503図 PL.520	26	土師器 杯	北西隅床直 完形	口 高	13.2 14.8	粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面の一部にナデの部分を残す。以下底部まで手持ちへら削り。内面は底部から口縁部に向けて右傾の斜放射状へら磨き。	
第503図	27	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	11.8	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状へら磨き。	
第503図 PL.520	28	土師器 杯	貯蔵穴北東縁床直 完形	口 高	12.6 5.2	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。それ以下は手持ちへら削りと考えられる。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状へら磨き。	器面磨滅。
第503図	29	土師器 杯	中央部床上3cm 口縁部～体部片	口	11.9	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下は手持ちへら削り。内面は底部から口縁部に向けて左傾の斜放射状へら磨き。	
第503図	30	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片			細砂粒/良好/明赤 褐	外面は体部下位に手持ちへら削り。	器面剥離、磨 滅。
第503図 PL.520	31	土師器 杯	貯蔵穴内 体部一部欠	口 高	12.0 5.6	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状へら磨き。	器面磨滅。
第503図	32	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	13.6	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状へら磨き。	
第503図 PL.520	33	土師器 杯	埋土 口縁部～体部 1/4	口	14.6	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面に手持ちへら削り。内面は右傾の斜放射状へら磨きと考えられる。	内面磨滅。
第503図 PL.520	34	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	13.8	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状へら磨き。	
第503図 PL.520	35	土師器 杯	貯蔵穴北東縁床直 口縁部一部欠	口 高	13.5 5.5	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状へら磨き。	器面磨滅。
第503図 PL.520	36	土師器 杯	北西隅床直 1/4	口 高	12.8 6.6	粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ、手持ちへら削り。以下底部まで手持ちへら削り。	
第503図 PL.520	37	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	15.0	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状へら磨き。	
第503図 PL.520	38	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	14.0	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状へら磨き。	
第503図 PL.520	39	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	14.0	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。以下は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	内面磨滅。
第503図 PL.520	40	土師器 杯	貯蔵穴北東縁床直 口縁部一部欠損	口 高	12.9 5.7	粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。外面は体部以下に手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状へら磨き。	
第503図 PL.520	41	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	15.8	粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ、以下は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状へら磨き。	
第503図 PL.520	42	土師器 杯	中央部床直 口縁部一部欠損	口 高	14.7 8.0	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下底部まで手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状へら磨き。	内面体部から 底部にヒビ割 れの補修痕あ り。
第504図 PL.520	43	土師器 杯か	南壁沿床床上6cm 2/3	口 高	12.0 8.8	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面は手持ちへら削り。内面はへらナデ。一部指押さえ。	
第504図 PL.520	44	土師器 鉢か	貯蔵穴北東縁床直 完形	口 高	12.1 7.5	粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面はへら削り。内面は粗雑なへらナデ。	口唇部欠損後 も使用してい る。内面剥離。
第504図 PL.520	45	土師器 杯か(内斜)	埋土 2/3	口 高	12.9 7.1	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下底部まで手持ちへら削り。内面はナデ。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第504図 PL.520	46	土師器 鉢か	中央部床上 1/3	口	11.5		粗砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。	器面磨滅。
第504図 PL.521	47	土師器 鉢	埋土 1/3	口	13.3		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ、一部に弱いヘラ削り。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は底部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第504図 PL.520	48	土師器 杯	貯蔵穴北側床直 口縁部～底部 1/2	口 高	13.0 7.1		粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下、底部までは手持ちヘラ削り。内面はナデ。	
第504図	49	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	14.0		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面はナデか。	内面磨滅。
第504図	50	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	13.0		粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ、以下はヘラナデに近いヘラ削りか。内面は横位のヘラナデ。輪積み痕を残す。	
第504図 PL.521	51	土師器 杯	貯蔵穴北東縁床直 一部欠	口 高	12.0 6.6		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面は手持ちヘラ削り。	内面磨滅。
第504図 PL.521	52	土師器 鉢か	貯蔵穴北埋土 口縁部一部欠	口 高	15.2 9.1		粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ。体部から底部外面はナデの上にハケメ状工具によるナデ、削り。内面は底部中央から口縁部に向けて放射状にヘラ磨き。	
第504図 PL.521	53	土師器 杯	北西隅床直 2/3	口 高	12.9 6.5		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は底部から体部に向けて放射状ヘラ磨き。	
第504図 PL.521	54	土師器 杯	貯蔵穴埋土上層 完形	口 高	14.5 6.8		粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。体部から底部外面はヘラナデに近い手持ちヘラ削りか。内面は磨滅。	
第504図 PL.521	55	土師器 鉢	貯蔵穴北縁床直 口縁部一部欠	口 高	12.7 8.4		粗砂粒/良好/にぶい 黄橙	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下底部までは手持ちヘラ削り。内面はナデ。	
第504図 PL.521	56	土師器 鉢	貯蔵穴北西床直 2/3	口 高	14.4 9.3		細砂粒/良好/にぶい 褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にヘラナデ、下位に横位のヘラナデ・ナデ。底部はヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	
第504図 PL.521	57	土師器 鉢	貯蔵穴北側床直 完形	口 高	14.7 9.3		粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部上位にわずかにナデの部分を残し、これ以下はヘラナデに近いヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第504図 PL.521	58	土師器 鉢	北西隅床直 3/4	口 高	15.8 9.4		粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ。体部外面上半にナデ。型肌の痕跡を残す。下半はヘラナデ。底部外面はヘラ削り。内面は底部中央から体部に向けて放射状のヘラ磨き。	
第505図 PL.521	59	土師器 鉢	貯蔵穴北床直 口縁部一部欠	口 底	13.9 6.1	高 8.3	粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ。体部外面上位の一部にヘラ削り。他はナデ。底部外面は周縁部にヘラ削り。中心寄りなナデ。内面はヘラナデ。	
第505図	60	土師器 鉢	貯蔵穴内 口縁部～体部片	口	14.6		細砂粒/良好/にぶい 橙	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ、以下ヘラナデに近いヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	
第505図	61	土師器 小型甕か	南壁沿い床直 口縁部～体部片	口	15.0		粗砂粒/良好/にぶい 橙	口縁部は横ナデ。体部最上位にナデの部分を残すが、以下は横位のヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第505図	62	土師器 小型甕	北西隅床直 口縁部～胴部下 位1/4	口	19.2		粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は上位・中位にナデ。下位は横位のヘラ削り。内面はハケメ状工具による斜位のナデ。この上に粗雑なヘラ磨きを重ねる。	
第505図 PL.521	63	土師器 高杯	貯蔵穴北側床直 杯底部～脚部上 位片				細砂粒/良好/明褐	杯部は内外面ともナデ。脚部外面は縦位の丁寧なヘラナデ。内面はナデ。	
第505図 PL.521	64	土師器 高杯か	埋土 脚部1/2	底	7.0		細砂粒/良好/明赤 褐	外面はナデの上に磨き。内面はナデ。	
第505図	65	土師器 高杯	埋土 脚部上位片				細砂粒/良好/橙	内面はナデ。	
第505図	66	土師器 高杯か	埋土 脚部片	底	8.2		細砂粒/良好/橙	内外面とも横ナデ。	
第505図	67	土師器 高杯	埋土 脚部片	底	10.8		細砂粒/良好/にぶい 橙	内外面とも横ナデ。外面の柱部分には縦位のヘラ磨き。	
第505図 PL.521	68	土師器 埴	埋土 口縁部～頸部	口	8.5		細砂粒/良好/明赤 褐	内外面とも頸部から口唇端部に向けて左傾するヘラ磨き。	
第505図 PL.521	69	土師器 埴	貯蔵穴北側床直 胴部中位～底部 1/3欠	口	8.6		粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は縦位のヘラナデ後、横ナデか。胴部外面は上半部がヘラナデか。下半部はヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	器面磨滅。
第505図	70	土師器 甕	北壁沿床6cm 胴部下位～底部	底	7.5		粗砂粒/良好/にぶい 黄橙	胴部外面は縦位のヘラ削り。底部寄りなナデに近い。内面は横位のヘラナデ。	
第505図	71	土師器 小型甕	貯蔵穴東縁床直 口縁部～胴部中 位1/4	口	11.8		細砂粒/良好/橙	口縁部外面から肩部まで横ナデ。胴部外面はハケメ後に磨き状のヘラナデ。内面はヘラナデ。	
第505図 PL.521	72	土師器 壺	貯蔵穴内 胴部一部欠	口 底	17.0 7.1	高 29.0	粗砂粒/良好/にぶい 黄橙	口縁部外面はハケメの上に横ナデ。胴部外面は縦位のハケメの上にヘラナデ・ヘラ磨き状を呈する部分もあり。内面は口縁部に横ナデ。胴部に横位のヘラナデ。底部は凹面状。	
第506図 PL.522	73	土師器 壺	南東隅床上6cm 口縁部2/3	口	23.0		細砂粒/良好/にぶい 黄橙	内外面とも横ナデ。内面はヘラ磨き状のナデを重ねたか。	器面磨滅。
第506図	74	土師器 甕	中央部床上9cm 口縁部片	口	25.8		細砂粒/良好/にぶい 黄	口縁部は横ナデ。	
第506図 PL.522	75	土師器 甕	南東隅床直 口縁部～胴部上 位	口	14.9		粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面はハケメ状工具によるナデ。内面は横位のヘラナデ。	
第506図 PL.522	76	土師器 甕	北壁沿埋土 口縁部～胴部上 位片	口	22.8		細砂粒/良好/浅黄	口縁部は横ナデ。頸部にハケメを残す。胴部外面は丁寧なナデ。内面は横位のヘラナデ。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第506図	77	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部上 位片	口	19.8		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	外面は口縁部に横ナデ後、頸部にハケメ。胴部内面は横位 のヘラナデ。	
第506図	78	土師器 甕	埋土 口縁部片	口	17.8		細砂粒/良好/にぶ い橙	内外面とも横ナデ。	
第506図	79	土師器 小型甕	埋土 口縁部片	口	16.7		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	上半部は横ナデ。下半部外面は縦位のナデに近いヘラ削り。 内面は横位のヘラナデ。	
第506図 PL.522	80	土師器 甕	中央部床直 口縁部～胴部上 位1/3	口	18.8		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は縦位にヘラナデ後、上半部を横ナデ。胴部外面は 縦位のヘラナデ。内面は横位のヘラナデ。	
第506図 PL.522	81	土師器 甕	南壁沿床上4cm 口縁部～胴部上 位	口	18.2		粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラナデに近いヘラ削り。内 面は横位のヘラナデ。	
第506図 PL.522	82	土師器 甕	P4付近床上7cm 口縁部～胴部上 位片	口	20.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラナデ。内面もヘラナデ。	
第506図 PL.522	83	土師器 甕	貯蔵穴北東床直 口縁部～頸部	口	18.4		細砂粒/良好/明黄 褐	口縁部は横ナデ。	
第506図 PL.522	84	土師器 甕	貯蔵穴東埋土 胴部下位～底部 片	底	8.0		粗砂粒/良好/黄褐	胴部外面はヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。底部外面は ヘラ削り。	
第506図 PL.522	85	土師器 甕	中央部埋土 胴部下位～底部	底	4.8		粗砂粒/良好/にぶ い橙	胴部外面はヘラ削りか。底部は周縁部が輪状に厚さを有す る。中央部分はナデ。	器面磨滅。
第506図 PL.522	86	土師器 甕	P3付近床上9cm 胴部下位～底部	底	7.2		粗砂粒/良好/浅黄 橙	胴部外面はヘラナデ。内面もヘラナデ。底部は凹底。周縁 部にヘラ削り。	
第506図 PL.522	87	土師器 甕	埋土 胴部下位～底部	底	8.4		粗砂粒/良好/にぶ い橙	胴部外面はヘラナデ。内面はハケ状工具でナデ。底部は平 底であるがやや凸状。ヘラ削り。	欠損後も二次 利用か。
第507図 PL.522	88	須恵器 杯蓋	埋土 1/4	口	12.0		粗砂粒・細砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。天井部外縁に明確な稜を作る。 天井部は回転ヘラ削り。口唇端部は平坦面を作り、中程に 凹線を巡らす。	
第507図 PL.522	89	須恵器 杯蓋	北壁沿い床上7cm 1/3	口 稜	12.3 12.7	高 4.1	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/黒褐	天井部外縁に明瞭な稜を作る。ロクロ整形、回転は右回り。 天井部は中心から2/3程まで回転ヘラ削り。口唇端部は水 平に近い平坦面を作る。	外面に降灰が 付着。
第507図 PL.522	90	須恵器 杯蓋	埋土 口縁部～天井部 片	口	14.0		粗砂粒・細砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。天井部外縁には明確な稜を作 る。天井部は回転ヘラ削り。口唇端部に平坦面を作る。	外面に降灰付 着。
第507図 PL.522	91	須恵器 杯蓋	中央部床上12cm 天井部片				細砂粒・粗砂粒少 量/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。天井部は回転ヘラ削り、残存 部端に凹線が巡る。	外面には斑状 に降灰が付着。
第507図 PL.522	92	須恵器 蓋	埋土 口縁部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は不明。口唇端部は中央が凹む平坦面を 作る。	口唇端部は磨 耗。
第507図 PL.522	93	須恵器 高杯	埋土 脚部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回りか。透孔を配す。	外面に降灰付 着が付着する。
第507図 PL.522	94	須恵器 杯蓋か	埋土 小片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は不明。天井部外縁に稜を作る。	
第507図 PL.522	95	須恵器 杯蓋	埋土 小片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は左回り。外面に回転ヘラ削り。	
第507図 PL.522	96	須恵器 甕	中央床上8cm 口縁部片	口	10.9		細砂粒微量/還元 焰/黒	ロクロ整形、回転方向不明。口縁部と頸部の間に段を作る。 口縁部と頸部に各1段の波状文が施文。内面口縁部と外面 の一部に降灰が付着。	
第507図 PL.522	97	須恵器 壺	埋土 口縁部片	口	14.0		細砂粒/還元焰や や軟質/黄灰	ロクロ整形、回転は不明。口唇端部直下に凸線を巡らせ、 その下位に波状文を施文している。	
第507図 PL.522	98	須恵器 不明	埋土 口縁部片	口	12.0		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は不明。外面中位に断面四角形の凸線を つくり、先端は大きく外反する。	
第507図 PL.522	99	須恵器 不明	埋土 小片				細砂粒/還元焰/黄 灰	筒状を呈するか。内外面ともロクロ調整。	
第507図 PL.522	100	須恵器 杯蓋か	埋土 口縁部片				細砂粒/還元焰/暗 青灰	ロクロ整形。端部は内側が削られる。	
第507図 PL.522	101	須恵器 杯蓋	埋土 口縁部片				細砂粒/還元焰/灰	端部は内側が削られ尖る。ロクロ整形、回転は不明。	外面に降灰付 着。
第507図 PL.522	102	須恵器 杯蓋か	埋土 小片				細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形。端部は内側が削られる。	
第507図 PL.522	103	須恵器 高杯	P4付近埋土 杯部体部片				細砂粒微量/還元 焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。口縁部下に2条の凸線が巡り、 体部に波状文が施文。残存部下端の外面は回転ヘラ削り。	内面に降灰付 着。
第507図 PL.522	104	須恵器 高杯か	埋土 小片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は不明。口縁部下に凸線が巡る。	杯蓋の可能性 あり
第507図 PL.522	105	須恵器 高杯	埋土 小片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は不明。口縁部下に凸線が巡る。	外面に降灰付 着。
第507図 PL.522	106	須恵器 高杯	埋土 杯部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。外面にカキメが施される。	内面に降灰付 着が付着す る。
第507図 PL.522	107	須恵器 高杯	埋土 杯部部下位片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は左回りか。杯部体部外面は下位にカキ メが施される。	内面に降灰付 着。
第507図 PL.522	108	須恵器 甕	埋土 胴部片				細砂粒/還元焰/灰	外面は平行引き痕。内面は同心円状アテ具痕を残す。	外面に降灰付 着。

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴						備考			
第507図 PL.522	109	須恵器 甕	埋土 胴部片				細砂粒/還元焰/灰	紐づくり成形。外面は平行叩き痕。内面はナデ。									
第507図 PL.522	111	石製品 石製模造品	P4縁床直 不明	長 幅	(1.8) (1.1)	厚 重	0.4 0.76	蛇紋岩	暗緑灰色。表裏面共に平坦であり縦～斜め方向の擦痕が認められる。						剣形		
第507図 PL.5220	112	石製品 管玉	中央南床上12cm 完形	長 幅	1.3 0.5	厚 重	0.5 0.54	滑石	オリブ灰色。全体的に丁寧に研磨整形されておりわずかに光沢がある。孔は中央付近が狭くなっており両面穿孔と考えられる。上下面ともに孔径約3mm。								
第507図 PL.522	113	石製品 管玉	埋土 完形	長 幅	2.1 0.5	厚 重	0.5 0.96	褐色碧玉	褐色。全体的に丁寧に研磨整形されておりわずかに光沢がある。上下面には擦痕がわずかに残る。上下面ともに孔径約2mm。								
第507図 PL.522	114	石製品 管玉	P6縁床上14cm 完形	長 幅	2.2 0.6	厚 重	0.6 0.97	褐色碧玉	褐色。全体的に丁寧に研磨整形されておりわずかに光沢がある。上下面には擦痕がわずかに残る。上下面ともに孔径約2mm。								
第507図 PL.522	115	石製品 管玉	P6縁床上17cm 完形	長 幅	2.4 0.6	厚 重	0.5 1.10	滑石	オリブ灰色。全体的に丁寧に研磨整形されている。側面はわずかに光沢があり、上下面は著しい光沢が認められる。孔は中央付近が狭くなっており両面穿孔と考えられる。上下面ともに孔径約3mm。								
第507図 PL.522	116	石製品 管玉	北西部床直 完形	長 幅	2.6 0.7	厚 重	0.7 1.79	滑石	オリブ灰色。全体的に丁寧に研磨整形されている。上下面は光沢があるが側面部には光沢が認められない。上下面は孔の周囲が同心円状に浅い皿状に窪んでいる。上面の孔径約3mm、下面の孔径約4mm。								
第507図 PL.522	117	石製品 白玉	北東部埋土 完形	長 幅	0.4 0.4	厚 重	0.2 0.04	滑石	オリブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りはなく横方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。								
第507図 PL.522	118	石製品 白玉	埋土 完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.3 0.10	滑石	オリブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りはなく横方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。								
第507図 PL.522	119	石製品 白玉	埋土 完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.3 0.08	滑石	暗オリブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔は内部の中央付近が階段状になっており、裏面側の径が大きく表面側の径が小さくなっている。孔径約2mm。								
第507図 PL.5220	120	石製品 白玉	南東部埋土 完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.3 0.12	蛇紋岩	暗オリブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。								
第507図 PL.522	121	石製品 白玉	南東部埋土 完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.2 0.10	滑石	暗オリブ灰色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。								
第507図 PL.522	122	石製品 白玉	南壁沿い埋土 ほぼ完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.26	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。								
第507図 PL.522	124	礫 粒状礫	埋土 完形	長 幅	2.0 1.4	厚 重	0.8 3.2	チャート	灰色。小形の極円礫。全体的に光沢がある。								
挿図 PL.No.	No.	遺物名	出土位置 残存率	計測値(cm)			挿入角	特徴など									
				長	幅	厚さ											
第507図 PL.522	125	羽口	中央床上9cm 先端部破片	(7.0)	(4.0)~3.6	1.0	68°	羽口先端部片。基部側が欠けている。外面は羽口としては丁寧に整形が施されている。通風孔の内径は、基部側から先端部側にかけて約2cmの円筒形で、基部側がわずかに開く。胎土は砂粒を含み、ササの圧痕の可能性が高い痕跡も見られる。高坏転用羽口のような丁寧に外面整形であるが、内面の形状や胎土の特徴などから専用羽口とした。先端部は発泡しているが、ガラス化はしていない。頸部には使用の際に付着した滓が欠損した痕跡がある。器厚約1cm。									
挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴						備考			
第507図 PL.522	126	土製品 不明	埋土 完形	縦 横	1.6 1.7	高 孔	0.8 0.4	細砂粒/軟質/明赤 褐	低い截頭円錐形を呈する。用途等は不明。付属品か。								
挿図 PL.No.	No.	器種 細別器種	出土位置 残存率	法 量													
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	観 察
第507図 PL.522	127	鉄片 板状鉄片	P4南西床上7cm 破片	1.8+	0.6	0.25											板状品。素材片か？
第507図 PL.522	128	鉄片 板状鉄片	P4南西床上7cm 破片	4.5+	0.7	0.2											板状品。あるいは工具の茎か？有機質の痕跡無し。
第507図 PL.522	129	鉄片 三角形鉄片	P4南西部埋土 破片	4.4+	1.5	0.1											三角形で、右端の2辺の端部にS字状の屈曲あり。
第507図 PL.522	130	鉄 鏃頭・茎部	P5西縁床直 頭・茎破片	5.7+					2.4+	0.6	0.3	0.7	0.3	3.3+	0.35	0.2	長頸鏃の頸・茎片。鏃身間はやや拡がりを持つ両側である。木質・有機質の付着なし。

2区7号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴						備考
第509図 PL.523	1	土師器 杯	西壁際床直 完形	口 高	12.2 4.4		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部から底部外面は粗雑な手持ちヘラ削り。内面はナデの上に規則性を欠いた放射状のヘラ磨き。						
第509図 PL.523	2	土師器 杯	西壁際床直 口縁部一部欠	口 高	12.9 4.8		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面がナデ。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は底部中央から口縁部に向けて放射状にヘラ磨き。						

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口高					
第509図 PL.523	3	土師器 杯	竈燃焼部支脚上 完形	口高	13.8 6.5		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面がナデ。底部外面は手持ちヘラ削り。内面はヘラナデ。	器面やや磨滅。
第509図 PL.523	4	土師器 杯	東部床直 完形	口高	14.8 6.1		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。それ以下は手持ちヘラ削り。内面は強いヘラナデ。	
第509図 PL.523	5	土師器 杯	北壁際床直 口縁部一部欠	口高	14.8 7.3		細砂粒/良好/橙	底部は狭小。不安定な平底。口縁部は横ナデ。体部は内外面とも底部から口縁部に向けてナデの上に放射状ヘラ磨き。底部外面はナデ。周縁部にヘラ削り。	
第509図 PL.523	6	土師器 鉢	西壁際床直 完形	口高	12.9 7.0		粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面に横位のヘラ磨き。底部外面は手持ちヘラ削り。中央は凹状。内面は体部にヘラナデ。底部にナデ・ヘラ磨き。	
第509図 PL.523	7	土師器 甕	竈前床直 完形	口底	13.8 4.2	高 13.5	粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は横位の、以下は斜位のヘラ削り。内面は縦位のヘラナデ。底部は周縁部が肥厚。輪状を呈する。	
第509図 PL.523	8	須恵器 甕	埋土 頸部片				細砂粒/還元焰/灰	口縁部との接合部分で剥離している。	断面は赤灰色。外面に降灰付着。
第509図 PL.523	9	石製品 白玉	南東壁際床直 完形	長幅	0.6 0.6	厚重 0.3 0.16	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	

2区8号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口高					
第510図 PL.523	1	土師器 杯	埋土 1/4				細砂粒/良好/にぶ い黄褐	口唇端部は欠損。口縁部は横ナデ。体部から底部外面に手持ちヘラ削り。内面はナデ。	
第510図 PL.523	2	須恵器 杯身	埋土 体部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回りか。受け部は大きく突出する。体部外面は回転ヘラ削り。	
第510図 PL.523	3	須恵器 高杯	埋土 口縁部片				細砂粒/還元焰や や軟質/灰白	ロクロ整形、回転は右回りか。外面は凸線の下に波状文が施文されている。	
第510図 PL.523	4	土師器 鉢	埋土 口縁部～体部片	口	19.8		粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	口唇端部は外側に肥厚、折り返し口縁状を作る。体部外面は横位のヘラ磨き。下位はヘラナデか。内面も横位のヘラ磨き。	
第510図 PL.523	5	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部上 位片	口	16.0		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラ削り。	
第510図 PL.523	6	土師器 甕	埋土 口縁部～頸部片	口	16.6		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。	

2区9号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考									
				口高														
第511図	1	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	11.6		細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。以下は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。										
第511図	2	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	12.8		細砂粒/良好/にぶ い黄褐	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。										
第511図 PL.523	3	須恵器 高杯	埋土 口縁部1/4	口	11.7		細砂粒/還元焰/暗 灰黄	ロクロ整形、回転は右回りか。外面は凹線に伴う凸線と凹線による区画内に8本1単位のクシ状工具による波状文が施文されている。	内面に降灰付着。									
第511図 PL.523	4	土師器 杯	P1西側床直 3/4	口高	14.6 7.8		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面は手持ちヘラ削り。内面はヘラナデ。										
挿図 PL.No.	No.	器種 細別器種	出土位置 残存率	法 量													観 察	
①				②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬			
第511図 PL.523	5	棒状鉄器	北西隅床上9cm 破片	4.1+	0.6	0.4												棒状で先が尖る工具と推定。

2区11号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口高					
第513図 PL.524	1	土師器 杯	貯蔵穴西側床直 1/4	口	13.8		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ、以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は底部中央から口縁部に向けて放射状ヘラ磨き。	
第513図 PL.524	2	土師器 杯	貯蔵穴西側床直 1/4	口高	12.7 3.4		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ、底部外面は手持ちヘラ削り。内面は底部中央から口縁部に向けて放射状のヘラ磨き。	
第513図 PL.524	3	土師器 杯	貯蔵穴西側床直 完形	口高	13.9 6.1		粗砂粒・細砂粒/ 良好/赤褐	口縁部から体部上位に横ナデ後、外面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第513図	4	土師器 杯	掘方埋土 口縁部～体部片	口	13.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部外面に横ナデ。体部外面上位にナデ。その下位に手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第513図	5	土師器 杯	貯蔵穴西側床直 1/4	口	13.6		粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部(稜下)外面にナデ。底部外面は手持ちヘラ削り。内面はナデ。	
第513図 PL.524	6	土師器 鉢	竈右脇床直 3/4	口高	14.4 7.7		粗砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ。体部外面にヘラナデ。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は粗雑なナデの上に放射状にヘラ磨き。	底部内面に布目痕。
第513図 PL.524	7	土師器 鉢	竈右脇床直 口縁部一部欠	口高	13.3 9.7		粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。体部外面にヘラ削り後、縦位にヘラナデ、一部はヘラ磨きに近い。底部はヘラ削り。内面は縦位にヘラ磨き。	底部内面に格子状の線刻。

## 2区13号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口	高					
第517図 PL.524	1	土師器 鉢	貯蔵穴東側床直 完形	口	12.0		細砂粒/良好/橙	口縁部は強く内彎して口唇端部は内側を向く。底部は平底を意図しているが面のつくり出しは粗雑。口縁部外面から体部上位は横ナデ。体部はナデ。一部にへら磨きが重なる。底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	底部の器肉は厚い。	
第517図 PL.524	2	土師器 杯	埋土 1/3	口	12.9		細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ。体部外面から底部外面にへら削り・ナデの上に粗雑で規則性のないへら磨き。内面は底部から口縁部に向けて放射状のへら磨き。		
第517図 PL.524	3	土師器 杯	竈使用面直上 口縁部一部欠	口	12.4		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面がナデ。底部外面はへら削り。内面はへらナデ。	器肉厚く、重量あり。	
第517図	4	土師器 杯	貯蔵穴埋土 口縁部～体部片	口	15.0		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。		
第517図 PL.524	5	土師器 杯	貯蔵穴東側床直 3/4	口	12.7		粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。数条へらの当たった痕跡。底部外面は手持ちへら削り。内面は底部中央から口縁部に向けて規則性に欠ける放射状へら磨き。		
第517図 PL.524	6	土師器 杯	竈燃焼部使用面 3/4	口	12.9		細砂粒/良好/明赤 褐	底部は狭小な平底。外面は口縁部が横ナデ。体部はハケメ状の工具痕、削りも兼ねているか。内面は口縁部にハケメを残す。		
第517図 PL.524	7	土師器 鉢	貯蔵穴埋土上層 口縁部一部欠	口	10.2	高	5.5	粗砂粒・細砂粒/ 良好/明黄褐	口縁部は横ナデ。体部外面は中位までナデ。下位から底部はへら削り。内面はナデ。	
第517図 PL.524	8	土師器 有孔鉢	貯蔵穴東側床直 完形	口	17.2	高	11.1	粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部外面は横ナデ。内面は口唇端部まで横位のハケメ。体部外面は斜位のへらナデ。内面は横位のハケメ。底部外面はへら削り。2.0×1.6cmの焼成前穿孔。	
第517図 PL.524	9	土師器 小型甕	竈燃焼部中央 3/4	口	15.4	高	17.8	粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	器形は大きく歪む。口縁部は横ナデ。胴部外面は中位に縦位のへらナデ。その上下には縦位のハケメを施す。内面は横位のへらナデ。底部外面はへら削り。	
第517図	10	土師器 甕	貯蔵穴西側縁 口縁部片	口	21.0			細砂粒/良好/橙	内外面ともナデ。	

## 2区15号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口	高					
第518図	1	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	11.8			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾する斜放射状へら磨き。	
第518図 PL.523	2	土師器 杯	南壁際床直 口縁部一部欠	口	13.6			粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。型肌痕跡を残す。それ以下は手持ちへら削り。内面は底部から口縁部に向けて放射状にへら磨き。	
第518図 PL.523	3	土師器 杯	南壁際床直 口縁部一部欠	口	13.4			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下、底部まで手持ちへら削り。内面はナデの上に斜放射状のへら磨きか。	器面磨滅。

## 2区16号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口	高					
第521図 PL.523	1	土師器 杯	北東部壁際床直 口縁部一部欠	口	12.1			細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に斜放射状へら磨き。	
第521図	2	土師器 杯	埋土 1/8	口	12.8			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面から口縁部外面は横ナデ。底部外面はへら削り。	
第521図	3	土師器 杯	埋土 口縁部～底部片	口	13.4			粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	器面磨滅。
第521図 PL.523	4	須恵器 杯身か	埋土 口縁部片	口	10.4			細砂粒～礫微量/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。蓋受けを大きく引き出すように作る。	底部外面に降灰付着。
第521図 PL.523	5	須恵器 甕か	埋土 胴部小片					細砂粒少量/還元 焰/灰黄褐	外面は平行叩き痕が残るが、内面はアテ具痕をナデ消している。	
第521図	6	土師器 高杯か	南西隅埋土上層 脚部					細砂粒少量/良好/ 橙	底部内面周縁は横ナデ。底部内面中央はナデ。杯部外面はナデ。脚柱部外面から裾部内面は横ナデ。脚柱部内面はナデ。脚天井部内面は粘土ホゾをナデ付ける。	
第521図 PL.523	7	石製品 白玉	南東隅床上3cm 完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.4 0.2	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	
第521図 PL.523	8	石製品 白玉	西壁付近埋土上層 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.2	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	

## 2区17号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口	高					
第522図	1	土師器 杯	北西隅埋土 1/3	口	11.8			細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部下半にやや雑な斜放射状へら磨き。	
第522図 PL.525	2	土師器 杯	北西隅埋土 3/4	口	12.1			細砂粒・褐色粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に斜放射状へら磨き。	
第522図	3	土師器 杯	北西隅埋土 1/3	口	13.8			細砂粒/良好/黒褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に斜放射状へら磨き。	
第522図 PL.525	4	土師器 杯	北西隅埋土 1/4	口	15.0			細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半にへら磨き、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に斜放射状へら磨き。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第522図 PL.525	5	土師器 杯	北西隅床直 2/3	口 高	15.6 8.5		細砂粒・粗砂粒・ 褐色粒/良好/赤褐	外面体部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。		
第522図	6	土師器 甕	北西隅埋土 口縁部～胴部上 位片	口	12.8		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はハケメ。内面胴部はヘラナデ、頸部に指頭痕が残る。		
第522図	7	土師器 甕か	北西隅埋土 口縁部から胴部 上位1/8	口	20.9		細砂粒/良好/褐	胴部の器壁は厚く、口縁部は屈曲して開き、端部は立ち上げる。口縁部内面から胴部外面は横ナデ。胴部内面は丁寧なヘラナデ。	時期が異なるか。	
第522図 PL.525	8	土師器 甕	北西隅埋土 口縁部～胴部上 位	口	17.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は口唇部が横ナデ、口縁部と胴部はヘラナデ。		
第522図 PL.525	9	石製品 管玉	北西隅埋土 完形	長 幅	3.4 0.9	厚 重	0.9 4.11	蛇紋岩	緑黒色。全体的に丁寧に研磨整形されている。上下面は光沢があるが側面は光沢がなくわずかに擦痕が残る。孔は中央付近が狭くなっており両面穿孔と考えられる。上面の孔径約3mm、下面の孔径約4mm。	
第522図 PL.525	10	石製品 白玉	北西隅埋土 完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.2 0.08	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸で構成される。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔は内部の中央付近が階段状になっており、裏面側の径が大きく表面側の径が小さい。孔径約2mm。	
第522図 PL.525	11	石製品 白玉	北西隅埋土 1/2	長 幅	(0.5) 0.5	厚 重	(0.2) 0.04	滑石	暗オリーブ灰色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第529図 PL.525	12	土師器 杯	東壁治床直上3cm 1/2	口 高	12.8 5.5		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。		
第529図	13	土師器 杯	埋土 1/3	口	13.0		細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。		
第529図 PL.525	14	土師器 杯	竈右脇床直 完形	口 高	8.9 6.7		細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/赤褐	口縁部は横ナデ後斜放射状ヘラ磨き、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面はほぼ全面ヘラ磨き。		
第529図 PL.525	15	土師器 杯	東壁治床直 2/3	口 高	14.5 5		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。		
第529図 PL.525	16	土師器 杯	埋土 1/3	口	13.5		細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。		
第529図 PL.525	17	土師器 杯	竈燃焼部灰直 3/4	口 高	13.5 5.1		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。		
第529図	18	土師器 杯	埋土 1/3	口 高	15.4 7.4		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。		
第529図	19	土師器 椀	埋土 1/3	口 径	13.8 0		細砂粒・粗砂粒/ 良好/暗赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。		
第529図 PL.525	20	土師器 杯	貯蔵穴北縁床直 2/3	口 径	12.8 12.5	高	5.7	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口縁部は外傾、端部は丸く作る。	
第529図 PL.525	21	土師器 杯	南壁治床直 1/2	口 径	15.8 15.6		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は僅かに内傾する平坦面を作る。		
第529図 PL.525	22	土師器 杯	南西隅床直 完形	口 径	12.2 12.4	高	5.2	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は内傾する平坦面を作る。	
第529図 PL.525	23	土師器 杯	南西隅床直 1/3	口 径	12.8 12.2		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇部は丸くつくられている。		
第529図 PL.525	24	土師器 杯	床直 1/3	口 径	12.8 12.8		細砂粒/良好/赤褐	外面黒色処理か。口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り、器面摩滅のため単位不明。内面は底部から体部に放射状ヘラ磨き。		
第529図 PL.525	25	土師器 杯	床直 1/2	口 径	11.4 11.7	高	5.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口縁部は外傾、端部は丸く作る。	
第529図 PL.525	26	土師器 杯	床直 口縁部～体部	口 径	12.4 12		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、稜下体部は手持ちヘラ削り。口唇端部は丸く作る。		
第529図 PL.525	27	須恵器 杯蓋	竈右脇床直 完形	口 径	11.7 11.9	高	4.4	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	外面天井部外縁に稜を作る。ロクロ整形、回転は右回り。底部は中程まで回転ヘラ削り。口唇端部は内傾する面を作り、中程が凹線が巡る。	
第529図 PL.525	28	須恵器 高杯蓋	竈燃焼部灰面直上 1/2、摘欠損	口 径	10.8 11.1		細砂粒/還元焰/灰	摘は中心からずれて貼付されている。天井部外縁に稜を作る。ロクロ整形、回転は右回りか。摘は貼付が欠損。天井部は中程まで回転ヘラ削り。口唇端部は内傾する面を作り、凹線が巡る。		
第529図 PL.525	29	須恵器 杯身	埋土 蓋受け部小片				細砂粒少量/還元 焰/灰	口縁部は欠損。ロクロ整形、回転方向不明。底部は回転ヘラ削り。		
第529図 PL.525	30	須恵器 杯蓋	床直 口縁部小片				細砂粒少量/還元 焰/黄灰	ロクロ整形、回転方向不明。口唇端部は段を作り、中程が凹線状に窪む。		
第529図 PL.525	31	須恵器 甕	埋土 胴部小片				細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕が残るが、幅の狭いナデ。内面はアテ具痕をナデ消す。	断面は還元せず にぶい橙色。	
第529図 PL.525	32	須恵器 甕	埋土 胴部小片				細砂粒少量/還元 焰/灰	外面は平行叩き痕が残るが、帯状にナデ消す。内面はアテ具痕をナデ消している。	小片のため上 下不明。	
第529図 PL.525	33	須恵器 杯蓋	埋土 天井部小片				細砂粒少量/還元 焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。天井部は周縁を除き回転ヘラ削り。	外面に降灰付 着。	
第529図 PL.525	34	須恵器 杯蓋	埋土 天井部小片				細砂粒～礫微量/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。天井部の整形は厚く付着した降灰によって不明	外面は降灰付 着。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考									
				①	②	③												
第529図 PL.525	35	須恵器 杯か	埋土 底部小片				細砂粒少量/還元 焰/灰	断面はにぶい橙色。ロクロ整形、回転方向不明。外面は周縁を除き右回転ヘラ削り。										
第529図 PL.525	36	須恵器 杯か	床直 底部小片				細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転方向不明。外面は周縁を除き右回転ヘラ削り。										
第529図 PL.525	37	須恵器 杯身	埋土 底部小片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。外面は左回転ヘラ削り。										
第529図 PL.525	38	須恵器 杯身	竈右脇床直 底部小片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。外面は左回転ヘラ削り。	外面に「×」状の焼成前の線刻。									
第529図 PL.525	39	須恵器 甕	周堤盛土 胴部小片				細砂粒少量/還元 焰/灰	外面は平行叩き痕が残る。内面はアテ具痕をナデ消している。	小片のため上下不明。									
第529図 PL.525	40	須恵器 甕か	埋土 口縁部小片				細砂粒・粗砂粒少 量/還元焰/灰	直径は17cm前後か。口唇部下に波状文が施文。波状文下には上下に凹線によって強調される低い凸線が巡る。	内面に降灰付着。									
第529図 PL.525	41	須恵器 不明	床直 口縁部小片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。口縁部は薄く、外傾する。欠損部外面は凸線か外方に屈曲する。他の杯口縁部に比して径が大きい。	断面は灰赤色。									
第529図 PL.525	42	須恵器 甕か	掘方埋土 胴部小片				細砂粒少量/還元 焰/灰	外面は平行叩き痕が残るが、帯状にナデ消すか。内面はアテ具痕をナデ消す。	小片のため上下不明。									
第529図 PL.525	43	須恵器 甕か	掘方埋土 胴部小片				細砂粒少量/還元 焰/灰黄褐	外面は平行叩き痕が残るが、帯状にナデ消すか。内面はアテ具痕をナデ消す。	小片のため上下不明。									
第529図 PL.525	44	須恵器 甕	埋土 胴部小片				細砂粒少量/還元 焰/灰	外面の平行叩き痕が残る。内面のアテ具痕はナデ消されているが、微かに痕が残る。	断面は灰赤色。外面に降灰付着。									
第530図 PL.526	45	土師器 有孔鉢	東壁寄り床直 口縁部一部欠	口底	15 5.2	高 9.9 2.8	細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	外面は口縁部から体部下位まで器面が荒れており整形不明、底部とその周囲はヘラ削り。内面はヘラナデ。										
第530図 PL.526	46	土師器 小型甕	埋土 口縁部～胴部上 半片	口	11		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明褐	成整形は手捏ね土器に類似。内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はナデ。内面胴部はヘラナデ。										
第530図	47	土師器 小型甕か	竈左脇床直 口縁部から胴部 1/4	口	10.6		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデで内面下位に輪積み痕。胴部外面は粗いハケメとナデ。胴部内面は丁寧なナデ。	胴部内外面はやや摩滅。									
第530図	48	土師器 小型甕	埋土 口縁部～胴部 1/4	口	10.4		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部内面から胴部外面上端は横ナデ。胴部外面上位から中位はナデ。胴部外面下位はヘラ削り。胴部内面は幅広いヘラナデ。胴部内面下端はナデ。										
第530図 PL.526	49	土師器 小型甕	埋土 口縁部～胴部 1/3	口	10.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り後ナデ。内面胴部はヘラナデ、上半にはハケメが残る。										
第530図	50	土師器 小型甕	竈右脇床直 口縁部～胴部中 位片	口	11.6		細砂粒/良好/灰褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は一部にハケメが残り、一部ヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。										
第530図	51	土師器 甕	南西隅床直 口縁部片	口	22		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は縦方向のナデ後横ナデ、口唇部下に縦方向のナデが残る。内面も横ナデ。										
第530図 PL.526	52	土師器 壺	竈左脇床直 口縁部～胴部上 半	口	19.2		細砂粒・粗砂粒/ 良好/浅黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削りか、器面摩滅のため不鮮明。内面胴部はヘラナデか、外面と同様に器面摩滅のため不鮮明。										
第530図 PL.525	53	土師器 甕	貯蔵穴東縁床直 肩部、頸部一部 欠	口底	16.4 6.7	高 30.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り後ヘラナデ、一部器面摩滅のため単位不明。底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ、器面摩滅のため単位不明。										
第531図 PL.526	54	石製品 白玉	南壁沿い床直 完形	長幅	0.7 0.7	厚 0.3 0.2	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。										
第531図 PL.526	55	石製品 白玉	南壁沿い床直 完形	長幅	0.6 0.7	厚 0.5 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。										
第531図 PL.526	56	石製品 石製模造品	西壁付近床直 完形	長幅	3.1 1.9	厚 0.5 5.5	蛇紋岩	灰白色。表裏面は縦方向及び横～斜め方向の擦痕が認められる。側面にも擦痕が認められる。上下の孔径約2mm。	剣形									
第531図 PL.526	57	石製品 石製模造品	北部埋土 1/2	長幅	(2.4) 2.5	厚 0.4 3.1	滑石	オリープ灰色。表面共に平坦であるが擦痕は目立たない。上下の孔径約2mm。	剣形									
挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	法 量													観 察	
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬		
第531図 PL.526	58	刀子 両関刀子	北西隅床直 完形	5.3	(2.5)	1.1	0.2	2.8	0.6	0.1								刃が一部残る。研ぎべりにより刃が短くなっている。両関と考えている。

2区18号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				①	②	③			
第534図 PL.526	1	土師器 杯	竈燃焼部 3/4	口	12.1		粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は底部から口縁部に向けて放射状のヘラ磨き。	
第534図 PL.526	2	土師器 杯	竈右袖内 3/4	口高	13.0 5.9		粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾する斜放射状ヘラ磨き。	
第534図 PL.526	3	土師器 杯	貯蔵穴南側床直 口縁部～体部片	口	13.0		粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面はヘラ削り。	内面は磨滅。
第534図 PL.526	4	土師器 杯	貯蔵穴埋土 1/4	口	12.8		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は底部から口縁部に向けて右傾する斜放射状ヘラ磨き。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第534図 PL.526	5	土師器 杯	埋土 1/4	口	15.0		粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	口径が小さくなる可能性大。
第534図 PL.526	6	土師器 杯	貯蔵穴南側床直 3/4	口 高	12.7 6.3		粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちヘラ削り。内面はナデ。	
第534図 PL.526	7	土師器 杯	貯蔵穴南側床直 1/2	口 高	11.8 5.7		粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちヘラ削り。内面はナデ。	
第534図 PL.526	8	土師器 杯	埋土 1/2	口 高	13.0 5.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口唇端部に狭い平坦面を作る。口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面に手持ちヘラ削り。内面はナデ。	
第534図 PL.526	9	土師器 杯	貯蔵穴南側床直 1/3	口 高	12.0		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面に手持ちヘラ削り。内面はナデ。	
第534図	10	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	14.0		細砂粒/良好/明褐	口縁部は横ナデ。体部(稜下)外面に手持ちヘラ削り。内面はナデ。	
第534図 PL.526	11	土師器 鉢	貯蔵穴南側床直 口縁部～体部片	口	14.0		細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下は手持ちヘラ削り。輪積み痕が見られる。内面は横位のヘラナデ。	
第534図 PL.526	12	土師器 小型甕	貯蔵穴南側床直 口縁部～胴部中 位片	口	11.7		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデの上にヘラ磨きに近いヘラナデ。胴部外面は上位がヘラナデ後、ヘラ磨き状のヘラナデ。内面はヘラナデ。	
第534図 PL.527	13	土師器 小型甕	竈右脇床直 3/4	口 高	12.0 14.1		粗砂粒・細砂粒/ 良好/浅黄橙	外面は磨滅。底部外面はヘラ削り。内面は口縁部に横ナデ。胴部はヘラナデ。	
第534図	14	須恵器 杯蓋	埋土 小片				粗砂粒・細砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。	外面に降灰付着。
第534図 PL.527	15	土師器 壺	貯蔵穴東側床直 口縁部～胴部中 位	口	19.8		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は縦位のハケメの上に横ナデ。胴部外面は上位から中位に斜縦位のハケメ。下位はヘラナデの上に横位のヘラ磨き。内面は横位のヘラナデ。中位に削りに近い部分もある。	
第535図 PL.527	16	土師器 壺	竈前床直 口縁部～胴部上 位	口	14.4		粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は上位がヘラナデの上に縦位のヘラ磨き。中位はヘラナデ。内面は横位のナデ。輪積み痕を残す。	器面磨滅。
第535図 PL.527	17	土師器 壺	竈右袖内 3/4	口 底	15.4 7.2	29.1	粗砂粒/良好/浅黄	口縁部は横ナデ。胴部外面の上半部は縦位のヘラナデの上にヘラ磨きを重ねたか。下半部は2方向にヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。底部は周縁部が肥厚輪状。	器面磨滅。
第535図 PL.527	18	土師器 甕	竈左袖内 一部欠	口 底	18.0 7.1	34.0	粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜縦位に5回程に分けてヘラ削り。輪積み痕を残す。内面は横位を主体にしたヘラナデ。底部は周縁部が輪状に肥厚する。	

2区19号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第537図 PL.528	1	土師器 杯	北西部床直 完形	口 高	13.3 5.2		粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第537図 PL.528	2	土師器 杯	竈左袖前床直 1/3	口 高	14.0 5.1		粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下底部までは手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第537図 PL.528	3	土師器 杯	北西部床直 完形	口 高	13.1 6.4		粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は直立ぎみに立ち上がる。口唇端部はわずかにくぼむ。平坦面を作る。横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちヘラ削り。内面はナデ。	
第537図 PL.528	4	土師器 杯	北西部床直 3/4	口 高	11.6 5.8		細砂粒/良好/橙	口唇端部はくぼみを伴う平坦面を作る。口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちヘラ削り。一部にハケメ状工具によるナデを重ねる。内面はナデ。	
第537図	5	土師器 高杯	埋土 脚部上位				粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	杯部内面と脚部外面はナデ。脚部内面は指ナデ・指抑え・ヘラナデ。	
第537図	6	須恵器 甕	埋土 胴部片				細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕。内面はアテ具痕をナデ消す。	
第537図	7	須恵器 甕	埋土 胴部片				細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕。内面はナデ。	
第537図 PL.528	8	土師器 甕	竈付近床直 胴部一部欠	口 底	16.7 7.8	26.8	粗砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は3～4回に分けてヘラナデに近い縦位のヘラ削り。内面は上位から中位が横位の、下位は縦位のヘラナデ。底面は磨滅、ヘラ削りか。	

2区20号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第540図 PL.528	1	土師器 杯	竈掘方埋土 口縁部～体部片	口	12.0		粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は底部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第540図 PL.528	2	土師器 杯	埋土 口縁部～底部片	口	12.2		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面は手持ちヘラ削り。内面はヘラ磨きが施されるが判然としない。	
第540図 PL.528	3	土師器 杯	埋土 1/2	口 高	12.0 5.2		粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第540図 PL.528	4	土師器 杯	貯蔵穴底面直上 口縁部一部欠	口 高	13.2 5.0		粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面はナデに近いヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	器面磨滅。
第540図 PL.528	5	土師器 杯	床直 1/4	口	15.0		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第540図 PL.528	6	土師器 杯	竈埋土 1/3	口	12.8	粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちヘラ削り。内面はナデ。	
第540図 PL.528	7	土師器 杯	貯蔵穴底面直上 1/3	口 高	11.9 5.0	粗砂粒/良好/にぶ い褐	口唇端部は平坦面を作る。口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちヘラ削り。内面はナデ。	
第540図 PL.528	8	土師器 杯	埋土 2/3	口 高	11.8 5.1	粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちヘラ削り。内面はナデ。	
第540図 PL.528	9	土師器 杯	貯蔵穴底面直上 1/4	口 高	13.8 4.2	粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口唇端部は平坦面を作る。口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちヘラ削り。内面はナデ。	
第540図 PL.528	10	土師器 杯	竈焚口部 1/3	口 高	11.6 6.0	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちヘラ削り。内面はナデ。	
第540図 PL.528	11	土師器 杯	貯蔵穴底面直上 1/4	口	11.4	粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。中位に弱い段を有す。外面は体部以下に手持ちヘラ削り。内面はナデ。	
第540図 PL.528	12	土師器 壺	埋土 口縁部～胴部上 位	口	17.1	粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。外面下半にはハケメを残す。胴部外面はハケメ。一部ナデ。内面は横位のヘラナデ。	
第540図 PL.528	13	土師器 甕	中央部炭化材上 口縁部～胴部上 位	口	17.8	粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラナデ。内面もヘラナデ。	
第540図 PL.528	14	土師器 甕	北西部埋土上層 口縁部片	口	22.2	粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	内外面とも横ナデ。	
第540図	15	土師器 甕	埋土 頸部～胴部上 位片			粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	胴部外面は縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	
第540図 PL.528	16	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部上 位1/4	口	17.8	粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。外面に輪積み痕を残す。胴部外面は縦位のヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第540図	17	土師器 甕	竈焚口部 胴部下位～底部 1/4	底	8.0	粗砂粒/良好/にぶ い橙	胴部外面はヘラナデ、ヘラ削り。内面はヘラナデ。底部外面はヘラ削り。	

2区21号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第544図 PL.529	1	土師器 杯	竈右脇床上8cm 完形	口 高	12.3 5.5	粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部から底部外面に手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第544図 PL.529	2	土師器 杯	貯蔵穴底面 完形	口 高	12.0 5.1	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第544図 PL.529	3	土師器 杯	貯蔵穴周囲 3/4	口 高	12.2 5.6	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部上位から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第544図 PL.529	4	土師器 杯	中央部床上14cm 口縁部一部欠損	口 高	12.9 5.4	粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第544図 PL.529	5	土師器 杯	貯蔵穴底面 1/4	口	13.0	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第544図 PL.529	6	土師器 杯	埋土 1/4	口	13.6	粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面にわずかにナデの部分を残すのみで他は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第544図 PL.529	7	土師器 杯	埋土 口縁部～体部 1/3	口	12.3	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第544図	8	土師器 杯	東部床直 口縁部～底部片	口	13.9	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は見込み部に規則性のヘラ磨き。	
第544図	9	土師器 杯	竈左脇床直 口縁部片	口	12.9	粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面にナデの上にヘラナデ。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第544図	10	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	11.6	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第544図 PL.529	11	土師器 杯	竈燃焼部灰直 口縁部～体部 1/3	口	13.0	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面は上位の一部にナデ。以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾する斜放射状ヘラ磨き。	
第544図	12	土師器 杯	貯蔵穴東縁床直 口縁部～底部片	口	11.8	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾する斜放射状ヘラ磨き。	
第544図 PL.529	13	土師器 杯	北東隅床上6cm 口縁部一部欠	口 高	13.6 6.2	粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第544図 PL.529	14	土師器 杯	貯蔵穴周囲 完形	口 高	14.1 5.4	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。それ以下は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第544図 PL.529	15	土師器 杯	竈燃焼部灰面直上 1/3	口 高	13.0 5.4	粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第544図	16	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	12.8	細砂粒/良好/にぶ い黄褐	口縁部は横ナデ。外面はナデ、手持ちヘラ削りと考えられる。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第544図	17	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	13.0	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第544図 PL.529	18	土師器 杯	貯蔵穴東縁床直 2/3	口	16.3		粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は底部から口縁部に向けて右傾する斜放射状ヘラ磨き。	
第544図 PL.529	19	土師器 杯	南東隅埋土 3/4	口 高	14.2 5.9		細砂粒/良好/浅黄 橙	口縁部は横ナデ。体部(稜下)外面にナデ。型肌の痕跡を残す。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は底部中央から口縁部に向けて放射状のヘラ磨き。	内外面に炭素 吸着。
第544図	20	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	12.6		細砂粒/良好/淡黄	口縁部は横ナデ。体部外面に丁寧な手持ちヘラ削りか。	
第544図	21	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	12.2		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面はナデ、一部手持ちヘラ削り。内面は放射状のヘラ磨き。	
第544図 PL.530	22	土師器 杯	東部埋土 2/3	口 高	14.2 5.7		細砂粒/良好/浅黄 橙	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。型肌の痕跡が見られる。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は底部から口縁部に向けて斜放射状ヘラ磨き。	
第544図	23	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	11.2		粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。体部(稜下)外面に手持ちヘラ削り。	
第544図	24	土師器 杯	竈右脇床直 1/4	口 高	12.8 5.5		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部(稜下)外面に手持ちヘラ削り。内面はナデ。	
第544図 PL.529	25	土師器 杯	埋土 1/3	口 高	16.0 9.0		粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部(稜下)外面に手持ちヘラ削り。内面はナデ。	
第545図	26	土師器 高杯	埋土 杯部片	口	17.6		粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	杯部口縁部の外面は下から上に向けて左傾のヘラ磨き。内面は下から上に向けて右傾のヘラ磨き。	
第545図 PL.530	27	土師器 高杯	竈燃燒部逆位 完形	口 底	14.4 9.3	高 9.2	細砂粒/良好/橙	杯部口縁部は横ナデ。外面はナデの上に下半部のみナデに近いヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾する斜放射状ヘラ磨き。脚部は内外面とも横ナデ。	
第545図	28	須恵器 高杯	埋土 脚部片	脚	10.4		細砂粒/良好/灰黄	口縁部整形、回転は右回り。裾端部の断面形は尖る。矩形の透孔が3方に配される。	
第545図	29	須恵器 甕か	埋土 底部片				粗砂粒・細砂粒/ 還元焰/灰	外面は回転ヘラ削り。内面はアテ具痕をナデ消す。	
第545図	30	須恵器 甕	埋土 胴部片				細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕。内面はアテ具痕をナデ消す。	
第545図	31	土師器 壺	埋土 口縁部～頸部片	口	15.2		細砂粒/良好/橙	内外面ともナデの上に頸部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第545図 PL.530	32	土師器 鉢	貯蔵穴底面 3/4	口 底	12.0 6.5	高 9.0	粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面はナデ。内面は斜位に強いタッチのナデ。底部外面はナデ。	
第545図 PL.530	33	土師器 鉢か	竈前床直 口縁部～胴部中 位	口	18.0		粗砂流/良好/橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は横位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	
第545図 PL.530	34	土師器 鉢	埋土 口縁部～体部上 位	口	19.8		粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面は横位のヘラ削り。内面は体部から口縁部に向かって右傾する斜放射状ヘラ磨き。	
第545図 PL.530	35	土師器 小型甕	貯蔵穴底面 口縁部～胴部上 位1/3	口	12.2		細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ。胴部外面は縦位のヘラナデ。内面は斜横位のヘラナデ。	
第545図 PL.530	36	土師器 小型甕	竈燃燒部崩落土内 3/4	口 底	13.8 8.4	高 14.6	粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ。頸部外面にはハケメを残す。胴部外面に斜位のヘラナデ。底部外面はヘラ削り。内面は胴部にヘラナデ。	
第545図 PL.530	37	土師器 甕か	東部埋土 口縁部～胴部上 位	口	15.1		細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ。胴部外面はナデに近いヘラ削り。内面は斜位のヘラナデ。	口縁部内外面 の整形は粗 雑。整形時に 生じたひび割 れを補修した ためか。
第545図 PL.530	38	土師器 甕	東部床直 胴部下位～底部	底	7.1		粗砂粒/良好/にぶ い橙	胴部外面はヘラナデ。内面もヘラナデ。底部外面はヘラ削り。	内面平滑。
第545図 PL.530	39	土師器 甕	竈燃燒部崩落土内 口縁部～胴部下 位1/2				粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は上半部に横位のハケメ。下半部はヘラ削りか。内面は斜横位、縦位のヘラナデ。	
第545図 PL.530	40	土師器 甕	東壁沿い埋土 口縁部～胴部下 位	口	13.5		細砂粒/良好/浅黄 橙	口縁部から肩部は横ナデ。胴部外面は斜横位のハケメ。内面は横位のヘラナデ。	
第546図 PL.530	41	土師器 甕	南壁沿い埋土 口縁部～胴部下 位	口	14.4		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部から肩部に横ナデ。胴部外面には3段ほどに分けてハケメ。内面は横位のヘラナデと考えられる。	内面磨滅。
第546図	42	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部上 位片	口	16.0		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。肩部外面にハケメ。内面はヘラナデ。	
第546図 PL.530	43	土師器 甕	竈燃燒部崩落土内 3/4	口 底	16.1 7.4	高 24.6	粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部外面は口唇端部近くを横ナデ。以下は縦位のヘラナデ。内面は先端部を横ナデ、以下はハケメ状のナデ。胴部外面は上位から中位は丁寧なヘラナデ。下位は斜縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。底部外面はヘラ削り。	
第546図	44	土師器 甕	北部床上10cm 口縁部～頸部片	口	18.0		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。内面は頸部にヘラナデ。	
第546図 PL.531	45	土師器 小型甕	東部埋土 口縁部～胴部上 位	口	14.0		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は横位のヘラ磨き。内面は横位のヘラナデ。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第546図 PL.531	46	土師器 壺	東部埋土 口縁部～胴部中 位	口	12.0		細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は丁寧なヘラ削りか。内面はヘ ラナデ。	器面磨滅。
第546図 PL.531	47	土師器 甕	竈右脇床直 口縁部～胴部中 位1/2	口	18.8		粗砂粒・細砂粒/ 良好/浅黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は上位から中位は縦位のヘラナ デ。残存部下端はヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	
第547図 PL.531	48	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部上 位片	口	18.2		粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ。胴部外面はナデに近い縦位のヘラ削り。 内面は横位のヘラナデ。	
第547図 PL.531	49	土師器 甕	竈埋土 口縁部～胴部上 位片	口	25.8		粗砂粒/良好/浅黄 橙	口縁部上半は横ナデ。口縁部外面の下半に縦位のハケメ。 胴部外面はハケメの上にナデ。内面は口縁部下半から胴部 に横位のヘラナデ。	
第547図 PL.531	50	土師器 壺	東部埋土 胴部中位～底部	底	7.2		細砂粒/良好/にぶ い橙	胴部外面は丁寧なヘラナデか。内面はヘラナデ。底部外面 はヘラ削り。	
第547図	51	土師器 甕か	埋土 口縁部～胴部片	口	20.0		粗砂粒・細砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面はナデ。内面はナデの上にヘ ラ磨きか。	
第547図 PL.531	52	土師器 甕か	埋土 口縁部～胴部上 位片	口	24.0		粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。口唇端部は平坦面を外方に向ける。胴部 外面はヘラ削り、ヘラナデか。内面はヘラナデ。	器面磨滅。
第547図 PL.531	53	土師器 甕	東部埋土 口縁部～底部	口 高	20.0 20.4	孔	12.0 粗砂粒・細砂粒/ 良好/浅黄橙	口縁部は横ナデ。その後、胴部外面は縦位のヘラナデ。下 端寄りには横位のヘラナデ。胴部内面はヘラナデ。下端寄り と端部はヘラ削り。	

2区22号竪穴建物出土物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第549図 PL.531	1	土師器 杯	竈礫東側床直 完形	口 高	10.8 5.3		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ、以下底部まで手持 ちヘラ削り。内面はナデ。	器肉厚く、重 量あり。
第549図 PL.531	2	土師器 杯	竈礫東側床直 口縁部一部欠損	口 底	11.4 4.2	高 5.2	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から体部上位は横ナデ。以下体部は手持ちヘラ削り。 底部は狭小な凹底。ヘラ削り。内面はナデ。	器肉厚く、重 量あり。
第549図 PL.531	3	土師器 鉢	竈礫東側床直 口縁部一部欠損	口 底	11.2 3.2	高 6.5	細砂粒/良好/赤褐	口縁部から体部上位は横ナデ。以下体部は手持ちヘラ削り。 底部は狭小な凹底。ヘラ削り。内面はナデ。	器肉厚く、重 量あり。
第549図 PL.531	4	土師器 杯	南東隅床上8cm 完形	口 高	13.5 5.2		細砂粒/良好/橙	口縁部は短く内彎ぎみに立ち上がる。体部との間に明確な 稜をなす。体部外面がナデ。底部外面は手持ちヘラ削り。 内面はナデ。	種類少なく特 徴的。
第549図 PL.531	5	土師器 杯	竈礫東側床直 口縁部一部欠損	口 高	12.2 5.9		細砂粒/良好/橙	口縁部から体部上位は横ナデ。体部から底部外面は手持ち ヘラ削り。内面はナデ。	器面磨滅。
第549図 PL.531	6	土師器 杯	埋土 1/4	口	11.8		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面は手持ちヘ ラ削り。内面はナデ。	
第549図	7	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	13.8		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ、以下は手持ちヘ ラ削り。内面は体部から口縁部に向かって左傾する斜放射状 ヘラ磨き。	
第549図 PL.531	8	土師器 杯	P1埋土上層 2/3	口	16.9		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面上位にわずかにナデの部分を残 す。これ以下は底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から 口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第549図	9	土師器 杯	炉南側床直 1/4	口	13.0		粗砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ。以下は内外面ともナデか。	被熱、器面磨 滅。
第549図	10	土師器 杯	埋土 口縁部～体部上 位片	口	17.0		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ。体部(稜下)外面に手持ちヘラ削り。内面 はナデ。	
第549図	11	土師器 高杯	埋土 杯底部～脚部上 位片				粗砂粒/良好/明褐	杯部内面はナデ。脚部外面はナデか。内面はヘラナデ。	
第549図 PL.532	12	土師器 鉢	埋土 1/3	口 底	10.6 2.7	高 8.0	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面は手持ちヘラ削り。内面はヘ ラナデ。底部外面はヘラ削り。	
第549図 PL.532	13	土師器 甕	炉南側床直 3/4	口 底	21.6 7.0	高 18.4	粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は上位にナデ。以下は縦位のヘ ラ削り。内面は上部に横位のヘラナデ。下半部に丁寧なナ デ。孔端部はナデ。	
第549図 PL.532	14	土師器 甕	炉南側床直 完形	口 底	23.8 8.6	高 22.8	粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のハケメ。内面はハケメ の上に縦位のヘラ磨き。下位孔寄りにはハケメ。孔端部は ヘラ削り。	
第550図 PL.532	15	土師器 小型甕	炉南側床直 口縁部～胴部下 位1/2	口	11.6		粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位のヘラ削り。内面は横位 のヘラナデ。	
第550図 PL.532	16	土師器 甕	炉南側床直 底部一部欠	口 底	12.7 7.0		粗砂粒・細砂粒/ 良好/褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は上半部が斜縦位のヘラナデ。 下半部は斜横位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	
第550図 PL.532	17	土師器 甕	炉南側床直 3/4	口 底	15.5 5.5	高 26.6	粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面の上位から中位はヘラナデ。下 位はナデに近いヘラ削り。中位から下位への変換点と底部 真近かはヘラ削り。底部外面はヘラ削り。内面は上位から 下位に横位のヘラナデ。底部にもヘラナデ。	
第550図 PL.532	18	土師器 壺	炉南側床直 一部欠	口 底	15.8 6.8	高 25.7	粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は上位から中位にナデ。下位は 斜縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	底部外面は磨 滅。
第550図 PL.532	19	土師器 壺	炉南側床直 胴部中位～底部	底	7.3		粗砂粒/良好/赤褐	胴部外面はヘラ削り。内面は横位のハケメ(ハケ状工具に よるナデ)と考えられる。底部外面はヘラ削り。	器面磨滅。
第550図	20	土師器 甕	埋土 口縁部片	口	20.0		粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	内外面とも横ナデ。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第550図	21	土師器 甕	中央部床直 胴部下位～底部	底	5.8			粗砂粒/良好/にぶ い赤褐	胴部内外面はナデ。底部外面もナデ。周縁部は磨滅。 割れ口を調整して二次利用か。
第550図	22	須恵器 甕	埋土 胴部片					細砂粒/還元焰/灰	紐づくり成形。外面は平行叩き痕、内面は同心円状アテ具 痕を残す。

## 2区23号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第552図 PL.533	1	石製品 紡輪	北隅床直 完形	長幅	4.4 4.5	厚重	1.5 36.5	滑石	表裏面ともよく研磨され光沢がある。体部側面にも光沢が あり全体的に面取り整形痕が累積する。これは刀子等工具 による作出痕の可能性が有る。未穿孔。	逆台形状 (厚型)
第552図 PL.533	2	石製品 管玉	北東壁近く埋土 上層 完形	長幅	2.1 0.6	厚重	0.6 1.26	葉ろう石	緑色。全体的に丁寧な研磨整形されており光沢がある。上 面の孔は楕円を呈する。上下面の孔径約2mm。	
第552図 PL.533	3	礫 粒状礫	埋土 完形	長幅	1.6 0.8	厚重	0.7 1.39	不明	灰色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第552図 PL.533	4	石製品 石製模造品	埋土 1/2	長幅	(1.5) (3.2)	厚重	0.5 3.1	滑石	にぶい黄褐色。表裏面共にほぼ平坦でありわずかに擦痕が 認められる。	不明
第553図 PL.533	5	土師器 杯	西半部床直 3/4	口高	12.8 4.7			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面が横ナデ。底部外面は手持ちヘ ラ削り。内面はヘラナデ。底部には工具痕をよく残す。	
第553図 PL.533	6	土師器 杯	南壁硬化面東縁 2/3	口底	13.2 4.2	高	6.0	粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ。体部外面上半部がナデ。下半部は手持ち ヘラ削り。底部は狭小な平底。木葉痕を残す。内面はナデ。	内面は平滑。
第553図 PL.533	7	土師器 杯	南壁硬化面東縁 完形	口高	13.5 5.2			粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちヘラ削り。内 面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第553図	8	土師器 杯	埋土 口縁部～底部片	口	13.9			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面は手持ちヘ ラ削り。内面はヘラ磨きが施されていたと考えられる。	内面磨滅。
第553図	9	土師器 杯	埋土 口縁部～底部片	口	12.0			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面はナデと考えられる。	内面磨滅。
第553図	10	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	15.0			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面に手持ちヘラ削り。内面は体部 から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第553図	11	土師器 鉢	西半部 口縁部～体部 1/4	口	9.0			粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部外面は横ナデ。体部外面はナデ。内面の口縁部は粗 雑なナデ。胴部は丁寧なナデ。	
第553図 PL.533	12	土師器 鉢	南壁硬化面東縁 1/2	口高	10.1 6.7			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面がナデ。型肌を残す。最下位か ら底部には手持ちヘラ削り。内面は粗雑なヘラナデ。	
第553図 PL.533	13	土師器 鉢か	西半部床上18cm 完形	口高	10.8 7.3			細砂粒/良好/にぶ い褐	外面は口縁部がナデ。体部は粗雑なナデの上に一部ヘラ磨 きを重ねる。型肌を残す。底部は粗雑な手持ちヘラ削り。内 面は口縁部から体部にハケメ状工具によるナデ。底部はナデ。	
第553図	14	土師器 甕	埋土 胴部下位～底部	底	7.0			粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	胴部外面はヘラナデ。内面もヘラナデ。底部は周縁部が厚 みを有し輪状を呈す。	
第553図 PL.533	15	土師器 甕か	埋土 体部下位～底部 1/3	底	10.6			粗砂粒/良好/にぶ い橙	体部外面はヘラ削り・ヘラナデ。底部外面はヘラ削り。内 面は丁寧なヘラナデ。	
第553図 PL.533	16	土師器 甕	埋土 口縁部-胴部上 位	口	15.8			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラナデ。内面もヘラナデ。	
第553図	17	須恵器 甕	埋土 胴部片					細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕をナデ消す。内面はナデ。	
第553図	18	須恵器 甕	埋土 胴部片					細砂粒/還元焰/暗 灰	外面は平行叩き痕。内面はナデ。	
第553図	19	須恵器 甕	埋土 胴部片					細砂粒/還元焰/暗 灰	外面は平行叩き痕。内面はナデ。	
第553図	20	須恵器 甕	埋土 胴部片					細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕にナデを重ねる。内面はナデ。	

## 2区24号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第556図 PL.533	1	土師器 杯	南壁付近床直 完形	口稜	11.9 11.8	高	5.2	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇部 は平坦面を作る。	
第556図	2	土師器 杯	南壁付近床直 口縁部一部、体 部1/5	口	12.4			細砂粒/良好/橙	体部内面から口縁部外面は横ナデ。体部から底部外面はヘ ラ削りだが、磨滅により不明瞭。	内外面の器表 は磨滅。
第556図 PL.533	3	須恵器 杯身	埋土 口縁部～体部片	口稜	9.9 11.8			細砂粒少量/還元 焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。蓋受け部は外に大きく引き出 されている。	外面の一部に 降灰付着。
第556図 PL.533	4	須恵器 高杯	埋土 脚台部片					細砂粒/還元焰/灰	詳細不明のため透孔は3方で復元実測、透孔の幅が広い ため4方透孔の可能性もある。ロクロ整形、回転方向不明。	
第556図	5	土師器 壺	南壁付近床直 頸部～胴部片					細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はハケメ。内面胴部はヘラナデ、器 面磨滅のため単位不明。	
第556図 PL.533	6	石製品 白玉	南壁付近床上 13cm 完形	長幅	0.7 0.7	厚重	0.4 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められ る。側面は中央やや下方に張りがわずかにあり斜め方向の擦 痕が認められる。表面の孔の周囲は広がっており裏面から の穿孔の際に表面側が破砕したと考えられる。孔径約2mm。	
第556図 PL.533	7	石製品 白玉	南壁付近床上 4cm 完形	長幅	0.6 0.6	厚重	0.4 0.2	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦でありわずかに擦痕が認められ る。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中 心に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕がわずかに認め られる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際 に裏面側が破砕したと考えられる。孔径約2mm。	

2区27号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第561図	1	土師器 杯	北東部床上12cm 口縁部～体部片	口	14.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第561図	2	土師器 杯	埋土 1/4	口	12.1		細砂粒/良好/明赤褐	体部内面から口縁部外面は横ナデ。体部から底部外面はヘラナデ。底部内面は丁寧なヘラナデか。	
第561図 PL.533	3	須恵器 杯身	埋土 体部～受け部片				細砂粒少量/還元 焰/灰	口縁部整形、回転方向不明。蓋受け部は外側に引き出されている。体部は回転ヘラ削り。	
第561図	4	土師器 鉢	燃焼部灰面直上 口縁部～体部上半片	口	24		細砂粒/やや軟質/ 橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削りか、器面摩滅のため単位不鮮明。内面は摩滅のため整形不明。	
第561図	5	土師器 小型甕	竈煙道部 口縁部一部、胴部 1/4	口	16.9		細砂粒～礫少量/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面上位はナデで、中位はヘラナデ。胴部内面は、上からナデ、ヘラナデ、ヘラ削り。	傾きは不確定。
第561図	6	土師器 壺	貯蔵穴埋土上位 頸部～胴部上半片				細砂粒・粗砂粒/ 良好/明褐	内面胴部に口縁部の接合痕が残る。胴部はヘラ削り、一部器面摩滅。内面は頸部がヘラナデ、胴部はハケメの残るヘラナデ。	
第561図 PL.533	7	土師器 壺	燃焼部灰面直上 口縁部～胴部中位片	口	18.1		細砂粒・粗砂粒/ 良好/淡黄	口縁部は横ナデ、胴部はハケメ。内面胴部はヘラナデ、器面摩滅のため単位不明。	

2区28号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第564図 PL.533	1	土師器 杯	竈前床直 口縁部一部欠	口 高	12.2 5.2		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から口縁部に粗い斜放射状ヘラ磨き。	
第564図 PL.533	2	土師器 杯	竈前床直 口縁部一部欠	口 高	12.2 4.7		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第564図 PL.533	3	土師器 杯	北西部埋土 1/3	口 高	13.8 6.7		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	内面黒色処理。口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部にヘラナデ。	
第564図 PL.533	4	土師器 椀	竈前床直 完形	口 高	12.4 6.6		細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削りか、器面摩滅のため単位不明。内面は底部がヘラナデ、体部から口縁部は横ナデ。	
第564図 PL.533	5	土師器 鉢	竈燃焼部灰面直上 胴部一部欠	口 高	12.6 8.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がヘラナデ、下半から底部はヘラ削り後粗いヘラ磨き。内面は底部から口縁部がヘラナデ後粗いヘラ磨き。	
第564図 PL.533	6	土師器 椀	竈燃焼部灰面直上 1/3	口 高	12.6 5.9		細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部下半に斜放射状ヘラ磨き。	
第564図 PL.533	7	土師器 杯	竈左脇床直 口縁部一部欠	口 高	14 5.7		細砂粒/良好/明黄 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り後ナデ。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第564図 PL.533	8	土師器 杯	南壁近く床直 完形	口 高	13.3 5.5		細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第564図 PL.534	9	土師器 甕	貯蔵穴南東脇床直 3/4	口 底	22 9.3	高 25.3	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は口縁部が横ナデ、頸部から胴部はヘラナデ。	
第564図 PL.534	10	土師器 甕	北西部埋土 口縁部～胴部片	口	17.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

2区29号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第566図 PL.533	1	土師器 杯	貯蔵穴埋土 2/3	口 稜	12.7 12.6	高 5.9 0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。	
第566図	2	土師器 壺	竈右脇床直 底部～胴部下片	底	7		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい褐	内外面の胴部に輪積み痕が残る。底部と胴部はヘラ削りか、器面摩滅のため単位不明。内面は底部とその周囲はヘラ削り、胴部はヘラナデ。	

2区7号遺構出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第569図 PL.534	1	土師器 杯	埋土 1/2	口 高	13.8 4.7		細砂粒/良好/明褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第569図 PL.534	2	土師器 杯	埋土 2/3	口 高	16.2 7.8		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部に粗い放射状ヘラ磨き。	
第569図	3	土師器 小型壺	南壁沿い埋土上層 口縁部～胴部 1/3	口	12.8		細砂粒/良好/赤褐	口縁部内面から胴部外面上位は横ナデ。胴部外面は丁寧なナデ。胴部内面上端は面取り状のナデ。胴部内面はナデで、3段の輪積み痕が残る。	
第569図 PL.534	4	土師器 甕	南壁沿い床面近く 口縁部～底部 2/3	口 底	14.4 7.4	高 16.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部から底部はヘラ削り、胴部下半は器面摩滅のため単位不鮮明。内面は底部から胴部にヘラナデ。	
第569図	5	土師器 小型甕	竈燃焼部灰面直上 口縁部～胴部 1/6	口	15.6		細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面上位はナデで、中位以下はヘラナデ。胴部内面は斜位のヘラナデ。	
第569図	6	土師器 小型甕	南壁沿い床面近く 口縁部～胴部上 半片	口	12.6		細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	内面頸部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第569図 PL.534	7	土師器 壺	竈燃焼部灰面直上 完形	口 底	14.4 7.4	高 25.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/灰白	口縁部と胴部はハケメ、胴部は器面摩滅のため単位不鮮明。底部はヘラ削り。内面は底部から胴部にヘラナデか、器面摩滅のため整形不鮮明。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高	厚			
第569図	8	土師器 甗	竈燃焼部灰面直上 口縁部～胴部上 半片	口	20		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、胴部はハケメ。内面は胴部上位にハケメ、 中位はヘラ削り。	
第569図 PL.534	9	土師器 甗	竈燃焼部灰面直上 1/2	口 底	20.2 10	孔 高	8.4 18.7	細砂粒・粗砂粒/ 良好/暗赤	口縁部は横ナデ、胴部はヘラナデ、下半は器面摩擦のため 単位不明。内面は胴部にヘラ削り。

2区48号土坑出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				長 幅	厚 重	厚 重				
第572図 PL.535	1	須恵器 高杯	埋土 杯部下位～脚部 上位				粗砂粒/酸化焰/灰 黄	ロクロ整形。回転は右回り。杯部中心寄りに回転ヘラ削り。 脚部に1段3方の長方形の透孔を設ける。	杯部内面は平 滑。	
第572図 PL.535	2	石製品 白玉	埋土 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.3 0.30	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり表面には擦痕がわずかに 認められる。側面は中央に張りがわずかにあり横方向の擦 痕が認められる。孔径約2mm。	
第572図 PL.535	3	石製品 白玉	埋土 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.3 0.24	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。 側面は中央に張りがわずかにあり斜め方向の擦痕が認めら れる。孔径約2mm。	

2区61号土坑出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高	厚			
第574図 PL.535	1	土師器 杯	埋土 口縁部～底部片	口	12.8		粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。外面は体部(稜下)以下は手持ちヘラ削り。 内面はナデ。	
第574図 PL.535	2	土師器 杯	埋土 口縁部～体部 1/4	口	12.6		細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)外面は手持ちヘラ削り。内面 はナデ。	
第574図 PL.535	3	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	14.9		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部(稜下)外面に手持ちヘラ削り。内面 はナデ。	
第574図 PL.535	4	土師器 鉢	埋土 口縁部～胴部下 位	口 高	13.2 8.0		粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。胴部内面はヘラナデ。	外面磨滅。

2区43号ピット出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高	厚			
第575図	1	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部外面は手持ちヘラ削り。内面はナデ。	

2区3号焼土出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高	厚			
第578図 PL.535	1	土師器 杯	焼土内 3/4	口 高	12.8 5.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部外面上位がナデ、以下底部まで手持 ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射 状ヘラ磨き。	
第578図	2	土師器 杯	焼土内 口縁部～体部片	口	14.0		粗砂粒/良好/明褐	口縁部は横ナデ、体部外面はナデの上にヘラ磨き状に工具 の当たった痕跡。内面もナデの上に体部から口縁部に向け て右傾のヘラ磨き。	
第578図 PL.535	3	土師器 高杯	焼土内 脚部1/2	底	13.3		粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい褐	内外面とも横ナデ。	

2区1号炭化物集中出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重	厚 重			
第579図 PL.535	1	石製品 管玉	埋土 完形	長 幅	0.9 0.4	厚 重	0.4 0.14	碧玉	淡緑色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。 下面は破損面等と評価できるが部分的に磨滅が認められ、 この形態で機能していたと考えられる。上下面ともに孔径 約1mm。

2区1号集石出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高	厚			
第580図 PL.535	1	土師器 杯	埋土 1/4	口 高	12.4 5.7		粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面に手持ちヘラ削 り。内面はナデ。	
第580図 PL.535	2	土師器 高杯	埋土 杯底部～脚部上 位片				粗砂粒/良好/明赤 褐	杯部内面は丁寧なナデ。脚部は内外面ともナデ。	
第580図 PL.535	3	土師器 甗	埋土 口縁部～胴部上 位片	口	19.0		粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。外面は頸部から胴部にハケメ。その上に ナデ。内面はヘラナデ。	
第580図 PL.535	4	土師器 甗	埋土 口縁部～胴部上 位片	口	17.6		粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜縦位のヘラ削り。内面は横 位のヘラナデ。	器肉薄く、軽 量。

2区2号集石出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高	厚			
第580図 PL.535	5	土師器 杯	埋土 1/4	口	14.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部外面上位にナデ、以下底部まで手持 ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射 状ヘラ磨き。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第580図 PL.535	6	土師器 杯	埋土 口縁部～体部 1/4	口	18.0	粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部外面上位にナデ、以下は手持ちヘラ 削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ 磨き。	器面磨滅。
第580図 PL.535	7	土師器 埴	埋土 口縁部	口	8.6	細砂粒/良好/橙	口縁部は内外面ともナデの上に左傾のヘラ磨きを重ねる。	
第580図	8	土師器 杯	埋土 口縁部片	口	15.0	細砂粒/良好/橙	内外面とも横ナデ。	

2区2号土器集中出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第581図 PL.535	1	土師器 杯	S1下位黒色土中 2/3	口 高	11.5 5.8	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。	器面磨滅。
第581図 PL.535	2	土師器 杯	S1下位黒色土中 口縁部～底部片	口	12.0	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部外面上位にナデ、以下底部まで手持 ちヘラ削り。内面は底部から口縁部に向けて右傾の斜放射 状ヘラ磨き。	
第581図 PL.535	3	土師器 杯	S1下位黒色土中 1/3	口 高	15.8 6.1	粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部外面上位にナデ、以下底部まで手持 ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射 状ヘラ磨き。	
第581図 PL.535	4	土師器 杯	S1下位黒色土中 口縁部～体部上 位1/4	口	15.2	粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部外面はナデか、内面は底部中央から 体部に向けて放射状のヘラ磨き。	内面磨滅。
第581図	5	土師器 杯	S1下位黒色土中 口縁部～底部片	口	13.0	細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部外面は手持ちヘラ削 り。内面はナデ。	
第581図 PL.535	6	土師器 鉢	S1下位黒色土中 1/3	口 高	14.0 8.6	粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ、上位にヘラナデ。底部 外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右 傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第581図 PL.535	7	土師器 小型甕か	S1下位黒色土中 口縁部～胴部下 位	口	11.6	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部外面はヘラナデに近いヘラ削りか、 内面はヘラナデの上に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第581図	8	須恵器 甕	S1下位黒色土中 胴部片			細砂粒/還元焰/灰 黄	外面は平行叩き痕にナデを重ねる。内面はアテ具痕をナデ 消している。	
第581図 PL.535	9	土師器 小型甕	S1下位黒色土中 口縁部～胴部 中位片	口	15.2	粗砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜横位のハケメ。内面はヘラ ナデと考えられる。	
第581図	10	土師器 甕	S1下位黒色土中 口縁部片	口	22.0	細砂粒/良好/明褐	内外面とも横ナデ。	
第581図 PL.536	11	土師器 壺	S1下位黒色土中 口縁部～胴部上 位	口	16.5	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は縦位のハケメを横ナデで消している。内面にもハ ケメが施されナデ消されている。胴部外面は丁寧なナデ。 内面は横位のヘラナデ。	
第581図 PL.536	12	土師器 甕	S1下位黒色土中 胴部下位～底部	底	7.8	粗砂粒/良好/にぶ い橙	胴部外面は横位のヘラナデに近いヘラ削り。内面はヘラナ デ。底部外面はヘラナデ、一部にヘラ削り。棒状工具の圧 痕も見られる。	
第581図 PL.536	13	土師器 甕	S1下位黒色土中 胴部下位～底部	底	7.4	粗砂粒/良好/橙	胴部内面はヘラナデ。底部は周縁部が肥厚し輪状を呈す。	器面磨滅。
第581図	14	土師器 甕	S1下位黒色土中 胴部下位～底部	底	8.0	粗砂粒/良好/橙	胴部外面はヘラナデか。内面もヘラナデ。底部外面はヘラ 削り。周縁部は磨滅。	

2区遺構外出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第584図	1	土師器 杯	遺構外 1/3	口	11	細砂粒(多)/良好/ にぶい赤褐	内面黒色処理。口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ 削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	2区5号遺構1 は同一個体か
第584図 PL.536	2	土師器 杯	遺構外 1/2	口 高	13.8 4.8	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は 体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第584図	3	土師器 杯	遺構外 口縁部～体部片	口	15.2	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から体部上半は横ナデ、体部下半から底部は手持ち ヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第584図 PL.536	4	土師器 杯	遺構外 1/3	口	15.6	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下底部まで手持 ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射 状ヘラ磨き。	
第584図 PL.536	5	土師器 鉢	遺構外 1/4	口	13.0	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面は横位のヘラナデ。内面は底部 から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第584図 PL.536	6	土師器 杯	遺構外 3/4	口 高	11.1 5.7	細砂粒/良好/橙	口縁部は直立ぎみに立ち上がる。横ナデ。口唇端部はくぼ みを有する平坦面を作る。体部(稜下)から底部外面は手持 ちヘラ削り。内面はナデ。	
第584図 PL.536	7	土師器 杯	遺構外 1/4	口	13.6	粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口唇端部は平坦面を作る。口縁部は横ナデ。体部(稜下)以 下は手持ちヘラ削り。内面はナデ。	
第584図	8	土師器 杯	遺構外 口縁部片	口	12.8	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。	
第584図	9	土師器 高杯	遺構外 杯部片			細砂粒/良好/橙	杯部外面は下から上に向けて左傾する斜放射状ヘラ磨き。 内面は下から上に向けて右傾する斜放射状ヘラ磨き。杯部 底部外面は手持ちヘラ削り。	
第584図 PL.536	10	土師器 高杯	遺構外 杯部下位～脚部	脚	8.8	粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	杯部内面はナデ。脚部内外面とも横ナデ。	
第584図 PL.536	11	土師器 高杯	遺構外 杯部下位片			粗砂粒/良好/明赤 褐	外面はナデ。口縁部は磨きを重ねるか。内面に放射状のヘ ラ磨き。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第584図	12	土師器 小型甕	遺構外 口縁部～胴部 1/5	口	11.0		細砂粒/良好/赤褐	口縁部は丁寧な横ナデ。胴部外面は丁寧なナデで、残存部に2条の細いヘラ磨き。胴部内面は斜位のヘラナデ。	
第584図 PL.536	13	土師器 有孔鉢	遺構外 1/3	口 底	10.4 3.6	高 9.7	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。体部外面はヘラ磨き。内面に斜横位のヘラナデ。孔の端部はヘラ削り。	
第584図	14	土師器 小型甕か	遺構外 口縁部～体部上 位片	口	18.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部外面から肩部は横ナデ。体部内面はヘラナデ。	
第584図	15	土師器 小型甕	遺構外 口縁部片	口	15.0		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	内外面とも横ナデ。	
第584図	16	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部上 位片	口	22.6		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第584図	17	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部上 位1/8	口	16.7		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラナデかなデ。胴部内面は丁寧なナデ。	
第585図 PL.536	18	土師器 鉢か	遺構外 口縁部～体部片	口	23.7		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。外面は体部上位の狭い範囲にヘラ磨き、以下はヘラ削り。内面は斜横位のヘラナデ。	
第585図 PL.536	19	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部上 位片				細砂粒/良好/灰黄	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラ削り。内面はヘラナデか。器面磨滅。	
第585図	20	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部片				細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい赤褐	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ、一部に指頭痕が残る。	甑か
第585図 PL.536	21	土師器 甕	遺構外 1/3	口 底	20.2 6.4	高 36.0	粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜縦位に3回に分けてヘラ削り。内面は斜位・横位にヘラナデ。	
第585図	22	須恵器 杯身	遺構外 口縁部～底部片	口	11.4		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は左回り。蓋受け部は大きく引き出されるように作られている。底部から体部下位は回転ヘラ削り。口唇端部は段をなして内側がそがれる。体部外面に回転ヘラ削り。	
第585図	23	須恵器 杯身	遺構外 口縁部～底部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。蓋受けは外に引き出されている。体部下位から底部外面に回転ヘラ削り。	
第585図 PL.536	24	須恵器 杯身	遺構外 口縁部～体部 1/4				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。受け部は大きく突出。体部外面は回転ヘラ削り。	2点と接合
第585図 PL.536	25	須恵器 杯身	遺構外 底部～蓋受け	稜	11.2		細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/黒褐	蓋受けは大きく突出する。ロクロ整形、回転は右回りか。底部から体部下位は回転ヘラ削り。	1区6号竪穴15の杯蓋と組み合わさるか。
第585図	26	須恵器 杯身	遺構外 体部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回りか。体部外面は回転ヘラ削りか。受け部は小さく突出する。	体部外面に降灰付着。
第585図	27	須恵器 杯身	遺構外 体部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は不明。蓋受けは外に引き出されている。	
第585図	28	須恵器 杯身	遺構外 口縁部～体部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。蓋受け部は外に引き出されている。体部外面に回転ヘラ削り。	
第585図	29	須恵器 杯身	遺構外 体部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回りか。体部下位に回転ヘラ削り。受け部は小さく突出する。	
第585図	30	須恵器 杯身	遺構外 体部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回りか。受け部には重ね焼きのためか別個体の一部が付着している。受け部は小さく突出する。	体部外面に降灰付着。
第585図	31	須恵器 杯身	遺構外 口縁部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は不明。受け部は断面三角形。横方向に突出する。体部外面に回転ヘラ削り。天井部外面は回転ヘラ削り。	
第586図	32	須恵器 杯蓋	遺構外 口縁部片	口	12.0		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。天井部外縁は明瞭な稜を作り、口唇端部は内側が削がれ尖る。	
第586図	33	須恵器 杯蓋	遺構外 口縁部片	口	13.0		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。天井部外面に回転ヘラ削り。	
第586図	34	須恵器 杯蓋	遺構外 天井部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。天井部外面は回転ヘラ削り。	
第586図	35	須恵器 杯蓋	遺構外 天井部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。回転は右回り。天井部外面に回転ヘラ削り。	
第586図	36	須恵器 杯蓋	遺構外 天井部片				粗砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。外面は回転ヘラ削り調整。	
第586図	37	須恵器 杯蓋	遺構外 天井部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。外面は回転ヘラ削り。	
第586図	38	須恵器 杯蓋	遺構外 天井部片				粗砂粒/還元焰/灰	外面は回転ヘラ削り調整。	
第586図	39	須恵器 杯蓋	遺構外 天井部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は不明。天井部外縁に明瞭な稜を作り、天井部外面に回転ヘラ削り。	
第586図 PL.536	40	須恵器 杯蓋	遺構外 天井部小片				細砂粒～礫微量/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。天井部の整形は厚く付着した降灰によって不明。	外面に降灰付着。
第586図	41	須恵器 杯蓋か	遺構外 天井部片				細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形、回転は右回り。	外面に降灰付着。
第586図	42	須恵器 杯蓋	遺構外 天井部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は不明。外面は回転ヘラ削り。内面はナデ。	
第586図	43	須恵器 杯蓋	遺構外 口縁部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は不明。内面は口唇端部直下に凹線状の弱い稜が見られる。	
第586図	44	須恵器 杯蓋か	遺構外 口縁部片				細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形、回転は右回りか。口唇端部は内側がわずかに削がれる。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第586図	45	須恵器 杯蓋	遺構外 口縁部片			細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形、回転は右回り。口唇端部は内側が削がれ尖る。	
第586図	46	須恵器 杯蓋	遺構外 口縁部片			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。	
第586図	47	須恵器 杯蓋	遺構外 口縁部片			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。口唇端部は丸く作られている。	
第586図	48	須恵器 杯蓋	遺構外 天井部片			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。外面に回転ヘラ削り。	
第586図	49	須恵器 杯蓋	遺構外 天井部片			粗砂粒・細砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転は左回りか。外面に回転ヘラ削り。	
第586図	50	須恵器 杯蓋	遺構外 天井部片			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は左回りか。天井部外面に回転ヘラ削り。	
第586図	51	須恵器 杯蓋	遺構外 天井部片			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は左回りか。外面は回転ヘラ削り。	
第586図	52	須恵器 杯蓋	遺構外 天井部片			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は左回りか。外面は回転ヘラ削り。	
第586図	53	須恵器 杯蓋	遺構外 天井部片			粗砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は不明。天井部外面に回転ヘラ削り。	
第586図	54	須恵器 高杯	遺構外 杯部底部片			粗砂粒・細砂粒/ 還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転は右回り。外面は脚部寄りに回転ヘラ削り。残存上端に波状文が認められる。	
第586図	55	須恵器 高杯	遺構外 脚部片			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回りか。杯部と脚部は接合。脚部外面は細かい単位のカキメ。内面には指押さえの上にロクロ目。透孔は長方形か。切開面を丁寧に調整。	杯部底部と脚部外面に降灰付着。
第586図	56	須恵器 高杯	遺構外 脚部片	脚	11.8	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、裾端部は丸みを有する。端部寄りに透孔の切込みが一部残存。透孔は3方に配されたと想定される。	
第586図	57	須恵器 高杯	遺構外 杯部底部片			粗砂粒・細砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転は左回り。杯部底部に回転ヘラ削り、脚部接合痕と透孔を配した際、ヘラ切りの工具痕がみられる。	
第586図	58	須恵器 高杯	遺構外 杯部口縁部片			細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形、回転は右回りか。口縁部下に凸線を巡らし、端部は外反して立ち上がる。	
第586図	59	須恵器 高杯	遺構外 脚部片			細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形、回転は右回り。透孔の一部残存。	外面に降灰付着。
第586図	60	須恵器 高杯	遺構外 杯部底部片			細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形、回転は右回りか。外面に回転ヘラ削りとカキメが見られる。内面はナデ。	
第586図	61	須恵器 高杯	遺構外 杯部体部片			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。体部上位に凹線が巡り、その下に4本1単位と考えられるクシ状工具による波状文が施文されている。	
第586図	62	須恵器 杯蓋	遺構外 口縁部片か			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は不明。口唇端部内側が、わずかに削がれる。	
第586図	63	須恵器 高杯	遺構外 杯部口縁部片			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。	内面に降灰付着。
第587図	64	須恵器 甗	遺構外 体部片			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。外面に凹線が見られる。	外面に降灰付着。
第587図	65	須恵器 甗か	遺構外 体部片			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。外面に波状文が施文されている。	
第587図	66	須恵器 甗か	遺構外 口縁部片			細砂粒/還元焰や や軟質/灰黄	ロクロ整形と考えられる。外面に粗雑な波状文が施文されている。	
第587図	67	須恵器 高杯	遺構外 口縁部片			細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形、回転は右回りか。口縁部下には2条の凸線が巡り、その下に波状文が施文されている。	内面に降灰付着。2区6号竪穴建物98と同一か。
第587図	68	須恵器 壺か	遺構外 口縁部片			細砂粒/還元焰や や軟質/黄灰	ロクロ整形か。口縁部に凸線を巡らし、その下に波状文が施文されている。	
第587図	69	須恵器 甗	遺構外 口縁部片	口	41.9	粗砂粒/還元焰/灰	外面は区画内に9条1単位のクシ状工具による波長の高い波状文が施文されている。	
第587図	70	須恵器 甗	遺構外 口縁部下位片			細砂粒/還元焰/灰	器面はロクロによるナデ調整。口唇部下に断面三角形の凸線が巡る。	内面に降灰付着。
第587図	71	須恵器 甗	遺構外 口縁部片			細砂粒/還元焰/暗 灰	内外面ともロクロ調整。口唇端部は上に引き出され、端部下に断面三角形の凸線が巡る。	内面に降灰付着。
第587図	72	須恵器 甗	遺構外 口縁部片			粗砂粒/還元焰/灰	外面にやや幅の広い凹線を巡らし、その下に8本1単位と考えられる波長の高い波状文が施文されている。	
第587図	73	須恵器 瓶	遺構外 胴部片			細砂粒/還元焰不 良/暗灰黄	内外面ともナデ。	
第587図	74	須恵器 杯か	遺構外 小片			細砂粒/還元焰/灰	身、蓋かの判断はできない。外面は回転ヘラ削り。	
第587図	75	須恵器 甗	遺構外 胴部片か			細砂粒/還元焰/灰	外面は剥離。内面にはアテ具痕を残す。	
第587図	76	須恵器 甗か	遺構外 胴部片			細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕。内面はナデ。	
第587図	77	須恵器 甗	遺構外 胴部片			細砂粒/還元焰/暗 灰	外面は平行叩き痕。内面はアテ具痕をナデ消す。	
第587図	78	須恵器 甗	遺構外 胴部片			細砂粒/還元焰/灰	紐づくり成形。外面は平行叩き痕。内面はアテ具痕にナデを重ねる。	
第587図	79	須恵器 甗	遺構外 胴部片			細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕。内面は同心円文状のアテ具痕を残す。	外面に降灰付着。

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第587図 PL.536	80	須恵器 甕か	遺構外 胴部小片				細砂粒少量/還元 焰/灰	外面は平行叩き痕が残るが、一部ナデ消している。内面はアテ具痕をナデ消している。	断面は赤灰色。	
第587図 PL.536	81	須恵器 甕か	遺構外 胴部小片				細砂粒少量/還元 焰/灰	外面は叩き痕が残る。内面はアテ具痕をナデ消しか。	断面はにぶい 赤褐色。	
第587図 PL.536	82	須恵器 甕	遺構外 胴部小片				細砂粒少量/還元 焰/灰	外面は平行叩き痕が残るが、一部ナデ消されている。内面はアテ具痕をナデ消している。	断面は赤灰色。	
第587図 PL.536	83	須恵器 甕	遺構外 胴部小片				細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕が残るが、一部を帯状にナデ消している。内面はアテ具痕をナデ消している。		
第587図 PL.536	84	須恵器 甕か	遺構外 胴部小片				細砂粒少量/還元 焰/灰	外面は平行叩き痕が残るが、一部ナデ消している。内面はアテ具痕をナデ消している。	断面は赤灰色。	
第587図 PL.536	86	石製品 管玉	遺構外 完形	長 幅	1.4 0.3	厚 重	0.3 0.18	珪質頁岩	暗緑灰色。細い。全体的に研磨面が残り断面は多角形を呈するが、光沢はある。肉眼観察によると孔は中央付近がやや狭くなっており、わずかにズれるので両面穿孔と考えられる。上下面の孔径約1mm。	孔上.1下.1
第587図 PL.536	87	石製品 管玉	遺構外 完形	長 幅	1.2 0.4	厚 重	0.4 0.39	蛇紋岩	緑黒色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。肉眼観察によると孔は下端付近がやや狭くなっており、ズれるので両面穿孔と考えられる。上下面に研磨痕が残る。上下面の孔径約2mm。	孔上.2下.2
第587図 PL.536	88	石製品 管玉	遺構外 完形	長 幅	1.0 0.8	厚 重	0.7 0.86	葉ろう石	緑色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。孔は中央付近がやや狭くなっており、わずかにズれるので両面穿孔と考えられる。上下面の孔径約2mm、下面から開け直している。	孔上.2下.2
第587図 PL.536	89	石製品 管玉	遺構外 完形	長 幅	1.1 0.6	厚 重	0.6 0.55	葉ろう石	緑色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。孔は中央付近がやや狭くなっており、極わずかにズれるので両面穿孔と考えられる。上下面の孔径約2mm、下面から開け直して外に孔が出ている。	孔上.2下.2
第587図 PL.536	90	石製品 管玉	遺構外 完形	長 幅	1.4 0.6	厚 重	0.7 0.88	葉ろう石	緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており緑の部分には光沢がある。肉眼観察によると孔は中央よりやや下で狭くなっており、ズれるので両面穿孔と考えられる。上下面の孔径約3mm。上下に新傷痕。	孔上.3下.3
第587図 PL.536	91	石製品 管玉	遺構外 完形	長 幅	1.9 0.5	厚 重	0.5 0.90	蛇紋岩	オリブ黒色。全体的に丁寧に研磨整形されておりにぶい光沢がある。肉眼観察によると孔は中央付近がやや狭くなっており、わずかにズれるので両面穿孔と考えられる。上下面に研磨痕あり。孔径約2mm。	孔上.2下.2
第587図 PL.536	92	石製品 管玉	遺構外 完形	長 幅	2.3 0.5	厚 重	0.5 1.05	蛇紋岩	緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。肉眼観察によると孔は中央付近がやや狭くなっており、ズれるので両面穿孔と考えられる。下面に研磨痕が残る。上下面の孔径約2mm。	孔上.2下.2
第587図 PL.536	93	石製品 管玉	遺構外 完形	長 幅	2.3 0.5	厚 重	0.5 1.13	蛇紋岩	オリブ黒色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。肉眼観察によると孔は中央付近がやや狭くなっており、わずかにズれるので両面穿孔と考えられる。上下面の孔径約2mm。	孔上.2下.2
第587図 PL.536	94	石製品 管玉	遺構外 完形	長 幅	2.8 0.6	厚 重	0.6 1.56	蛇紋岩	オリブ灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。上下面が特に黒光りしている。両面穿孔で上面からの穿孔は中央付近で大きくズれて外側に孔が開いている。上下面の孔径約2mm。	孔上.2下.2

## 3区1号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第591図 PL.537	1	土師器 杯	埋土 1/3	口	12.2			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は底部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第591図 PL.537	2	土師器 杯	竈右脇床直 2/3	口 高	12.3 6.1			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の放射状ヘラ磨き。底部寄りに乱れたヘラ磨き。	
第591図	3	土師器 杯	周堤盛土 口縁~体部上位 片	口	14.6			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。体部外面はナデ。型肌の痕跡を残す。内面はナデ。	大径。鉢の範 疇に入るか。
第591図 PL.537	4	土師器 杯	南壁治床上14cm 口縁部.体部一 部欠					細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	口縁部・底部 欠損後も継続 して使用した と考えられる。
第591図 PL.537	5	土師器 杯	南壁治床上16cm 口縁部.体部一 部欠	口 高	13.8 5.5			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面にわずかにナデの部分を残すのみで、底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第591図 PL.537	6	土師器 杯	竈右脇床直 3/4	口 高	13.5 5.5			粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。以下底部までは手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	器面に黒色の 付着物。
第591図 PL.537	7	土師器 杯	竈右脇床直 3/4	口	14.4			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第592図	8	土師器 杯	竈右脇床直 口縁部~体部上 位片	口	15.2			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面は手持ちヘラ削り。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口	高	底				
第592図 PL.537	9	土師器 鉢	竈右脇床直 口縁部~体部中 位片	口	12.6		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面は手持ちヘラ 削り。内面は横位のヘラナデ。		
第592図 PL.537	10	土師器 壺	竈右脇床直 胴部下位~底部				粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	外面はヘラ削り。内面はヘラナデ。底部は粗雑。		
第592図 PL.537	11	土師器 壺	周堤盛土 底部				細砂粒/良好/にぶ い黄褐	外面はヘラナデに近いヘラ削り。内面はヘラナデ。		
第592図 PL.537	12	土師器 鉢か	竈右脇床直 口縁部一部欠	口	12.5		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面はヘラナデ。内面もヘラナデ。 下端は欠損。	天地が逆になる 可能性もある か。	
第592図 PL.537	13	土師器 小型甕	南壁沿い埋土 胴部中位~底部	底	5.0		細砂粒/良好/にぶ い黄褐	胴部外面は中位にヘラ削り。これ以外はナデ。底部外面は ヘラ削り。内面はヘラナデ。一部にヘラ磨きが重なる。		
第592図 PL.537	14	土師器 小型甕	竈燃焼部灰面直上 3/4	口 底	12.7 6.1	高	15.6	粗砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は数回に分けて斜縦位のヘラ削 り。内面はヘラナデ。	
第592図	15	土師器 小型甕	周堤盛土 口縁部1/4	口	14.8			細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位のヘラナデ。内面は横位 のヘラナデ。	
第592図 PL.537	16	土師器 甌	竈右脇床直 3/4	口 底	14.8 7.1	高 孔	13.6 5.3	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラ削り後、ヘラナデ。内面 は磨きに近いヘラナデ。孔近くはヘラ削り。孔端部はヘラ 削り後、ヘラナデ。	
第592図 PL.537	17	土師器 有孔鉢	周堤盛土 1/2	口 底	21.8 4.2	高 孔	12.3 3.8	細砂粒/良好/浅黄	底部に焼成前穿孔を配す。口縁部は横ナデ。体部外面はハ ケメの上にヘラ削り・ヘラナデ。内面は横位のハケメの上 に一部ナデを重ねる。孔の部分はヘラ削り。	
第592図 PL.537	18	土師器 甌	竈右脇床直 2/3	口 底	20.8 7.6	高 孔	25.2 6.2	粗砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位に数回に分けてヘラ削り。 内面は横位を主体としたヘラナデ。孔端部はヘラ削り。	

3区2号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考								
				口	高	底											
第596図 PL.538	1	土師器 杯	竈燃焼部甕上 口縁部・体部一 部欠	口 高	12.2 5.6			粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。体部から底部外面に手持ちヘラ削り。内 面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。								
第596図 PL.538	2	土師器 杯	貯蔵穴埋土 口縁部~体部 1/4	口	13.7			細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面はナデ。内面は体部から口縁部 に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。								
第596図 PL.538	3	土師器 鉢	P5南床直 口縁部~底部片	口	15.6			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部 から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。								
第596図 PL.538	4	土師器 杯	埋土 口縁部~底部片	口	15.0			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下は手持ちヘラ削 り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。								
第596図 PL.538	5	土師器 杯	埋土 2/3	口 高	13.1 5.5			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。外面は体部(稜下)直下にナデ。以下は底 部にかけて手持ちヘラ削り。内面はナデ。	器面磨滅。							
第596図 PL.538	6	須恵器 杯蓋	埋土 口縁部片					粗砂粒・細砂粒/ 還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転は右回り。天井部外縁に明瞭な稜を作る。 口唇端部は内側が削がれ尖り、凹線になる。								
第596図 PL.538	7	土師器 鉢	中央部床直 口縁部~体部下 位片	口	6.0			細砂粒/良好/暗赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面はナデの上にヘラ削り。内面は 横位のヘラナデ。								
第596図 PL.538	8	土師器 手捏ね	埋土 体部~底部1/2					粗砂粒・細砂粒/ 良好/赤褐	器肉厚い。外面は指ナデ。内面も粗雑な指ナデ。								
第596図 PL.538	9	土師器 蓋	埋土 天井部片					細砂粒/良好/にぶ い黄橙	平面は円形。断面は弧状を呈するか。内面にかえりが付く と考えられる。指頭によるナデ。手づくねに類するか。								
第596図 PL.538	10	土師器 蓋	埋土 2/3	口 高	11.3 2.8			細砂粒/良好/橙	外面はヘラナデに近いヘラ削り。内面は中心から端部に向 けて放射状のヘラ磨き。端部寄りに直径4mmの焼成前穿孔 あり。原形は一對か。								
第596図 PL.538	11	土師器 埴	埋土 3/4	口 高	9.1 16.7			粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ後、内外面ともヘラ磨き。体部外面は上半 部がヘラ磨きか。下半部はヘラ削り。底部外面もヘラ削り。 内面はヘラナデ。	外面磨滅。							
第596図 PL.538	12	土師器 埴	埋土 口縁部~体部下 位片	口	10.0			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ後、外面は縦位の、内面は左傾のヘラ磨き を重ねる。体部外面は横位のヘラ削りの上に横位のヘラ磨 きを重ねる。内面は横位のヘラナデ。輪積み痕を残す。								
第596図 PL.538	13	土師器 小型壺	埋土 1/2					細砂粒/良好/橙	底部は狭小な凹底。外面はヘラ削りか。内面はナデ。	器面磨滅。							
第596図 PL.538	14	土師器 小型甕	竈燃焼部灰面直上 2/3	口 底	14.7 5.7	高	17.7	粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラナデの上に縦位のヘラ磨 き。肩部はヘラ削り。内面はヘラナデ。								
第596図 PL.538	15	土師器 小型甕	周堤盛土 1/3	口 底	11.8 5.0	高	10.7	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラ削りか。内面はヘラナデ。	被熱。器面剥 離。							
第596図	16	土師器 小型甕	埋土 口縁部~胴部上 位片	口	11.8			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は上位にナデ、中位にヘラ削り。 内面はヘラナデ。								
挿図 PL.No.	Na	器種 細別器種	出土位置 残存率	法 量													観 察
第596図 PL.538	17	馬具 鏡板・杏葉	埋土 破片	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	厚さ1mmの鉄板に、緑金鉄板 (厚さ1mm)を載せ、その上から 銅薄板を被せた後、金メッキを 行ったと推定する。さらにその後、 鉦を打ち、おそらく鉦には銀を 貼っているものと推定する。鏡 板か杏葉の破片と考えている。

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第597図	18	土師器 甕	埋土 口縁部片	口	15.6		細砂粒/良好/灰褐色	内外面は横ナデ。	
第597図	19	土師器 甕	周堤盛土 口縁部～胴部上 位片	口	15.0		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位のヘラナデ。内面は横位 のヘラナデ。	
第597図 PL.538	20	土師器 甕	竈焼部灰面直上 口縁部～胴部下 位2/3	口	15.5		粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は上位から中位にナデ。下位は 斜横位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。輪積み痕を残す。	
第597図	21	土師器 壺	竈焼部埋土 胴部上位～底部	底	7.3		粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	胴部外面は底部近くでヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。 底部外面はヘラ削り。	器面磨滅。剥離
第597図 PL.539	22	土師器 壺	竈焼部灰面直上 一部欠	口 底	16.4 7.4	高 27.5	粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面上位はナデ、中位はヘラナデに 近い斜縦位のヘラ削り、下位は横位。底部近くは斜縦位の ヘラ削り。内面は横位の横ナデ。底部外面はヘラ削り。	
第598図 PL.538	23	土師器 甕	床直 3/4	口	28.0		粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は上位・中位が丁寧なナデ。下 位は斜縦位、斜横位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデと 考えられる。	底部外面は砂 粒の混入多い。

3区3号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第600図 PL.539	1	土師器 杯	東壁沿い床直 3/4	口 高	12.9 5.4		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面はナデ。底部外面は手持ちヘラ 削り。内面はナデ。	
第600図 PL.539	2	土師器 杯	東壁沿い炭化材 下位 1/2	口	12.0		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面はナデ。底部外面は手持ちヘラ 削り。内面はナデ。	
第600図 PL.539	3	土師器 杯	東壁沿い床直 3/4	口 高	14.0 7.2		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。体部外面はナデ、ヘラナデ。型肌 の痕跡を残す。底部外面は手持ちヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第600図 PL.539	4	土師器 有孔鉢	周堤盛土 体部下位～底部 片	底 孔	6.0 3.8		粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい褐色	体部は内外面ともヘラナデ。孔周縁はヘラ削り。	体部内面に煤 付着か。
第600図 PL.539	5	土師器 小型甕	埋土 口縁部～胴部上 位1/2	口	11.0		粗砂粒/良好/橙	口縁部は中位でわずかに変化する横ナデ。胴部外面は斜位 のヘラナデ。内面は横位のヘラナデ。	器面剥離。
第600図 PL.539	6	土師器 小型甕	埋土 口縁部～胴部上 位1/2	口	14.6		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。胴部外面はナデに近いヘラ削りの上 に横位のナデ。内面はヘラナデ。	
第600図	7	土師器 甕	埋土 胴部下位～底部	底	7.9		細砂粒/良好/明黄 褐色	胴部外面はヘラ削り。底部外面もヘラ削り。	
第600図	8	土師器 壺	埋土 口縁部片	口	17.6		細砂粒/良好/浅黄 橙	口縁部は横ナデ。	
第600図 PL.539	9	土師器 甕	東壁沿い炭化材 下位 口縁部～胴部上 位	口	18.9		粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。頸部外面に工具の圧痕を残す。胴部は内 外面ともヘラナデ。	器面磨滅。
第600図 PL.539	10	土師器 甕	周堤盛土 口縁部～胴部中 位	口	15.0		粗砂粒・細砂粒/ 良好/明黄褐色	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位のヘラ削り。内面は横位 のヘラナデ。	
第600図 PL.539	11	土師器 壺	埋土 口縁部～胴部上 位1/3	口	20.2		粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は丁寧なヘラナデ。内面も横位 のヘラナデ。	
第600図 PL.539	12	須恵器 甕	埋土 胴部片				細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕。内面はナデ。	外面に降灰付 着。

3区4号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第601図 PL.540	1	土師器 鉢	埋土 口縁部～底部片	口	15.6		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部 から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第601図 PL.540	2	土師器 杯	埋土 口縁部～底部 1/4	口	12.8		粗砂粒/良好/明赤 褐色	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。以下は手持ちヘラ削り。 内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第601図 PL.540	3	土師器 杯	北西隅床直 口縁部～底部片	口	13.8		細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ。外面は体部以下に手持ちヘラ削り。内面 はナデ。	
第601図 PL.540	4	土師器 杯	掘方埋土 2/3	口	13.3		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面に手持ちヘラ削 り。内面はナデ。	外面に黒色の 付着物。
第601図 PL.540	5	土師器 高杯	埋土 杯部下位～脚部	脚	12.8		粗砂粒/良好/橙	杯部は内外面ともヘラナデ。脚部外面はナデ・横ナデ。内 面は柱状部がヘラナデ後、縦位のナデ。裾部は横ナデ。	裾部内面に小 粘土塊が付 着。
第601図 PL.540	6	土師器 高杯	掘方埋土 脚部	脚	14.5		細砂粒/良好/明赤 褐色	外面は指ナデ・横ナデの後に柱状部から裾部に向けてヘラ 磨き。内面は柱状部にヘラ削り。裾部に横ナデ。	
第601図 PL.540	7	土師器 壺	埋土 1/2	口 底	13.4 6.0	高 23.6	粗砂粒/良好/にぶ い赤褐色	口縁部は頸部から斜め上方に立ち上がった後、中位で変換 するいわゆる二重口縁の形状をなす。器面が磨滅している ため調整は不明。内面はヘラナデ。	
第601図	8	土師器 甕	埋土 口縁部片	口	17.0		細砂粒/良好/明黄 褐色	内外面とも横ナデ。	

挿図 PL.No.	No.	器種 細別器種	出土位置 残存率	法 量													観 察	
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬		
第601図 PL.540	9	刀子 両関刀子	埋土 完形	4.7+	1.2+	0.9	0.1	3.4	0.7	0.2								先の第531図58に近似する刀子。研ぎべりが激しく、刃の残りは少ない。両関と推定する。

3区5号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考
第604図 PL.539	1	須恵器 杯蓋	周埴盛土 体部一部欠	口 高	12.8 5.8		細砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形、回転は右回り。底部外面に回転ヘラ削り。稜下に凹線状の窪みが巡る。内面口唇端部に段を設けている。	
第604図 PL.539	2	土師器 小型甕	周埴盛土 口縁部~肩部 1/2	口	14.4		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部から肩部は横ナデ。胴部外面はナデ。内面は横位のヘラナデ。	

3区1号遺物集中区出土遺物観察表 (21はガラス小玉P24)

挿図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考	
第606図 PL.540	1	土師器 杯	S1下黒色土中 口縁部一部欠	口 高	13.6 5.6		粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面にナデの部分をおずかに残すのみ、以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。		
第606図 PL.540	2	土師器 杯	S1下黒色土中 口縁部・体部一 部欠	口 高	13.9 5.1		粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ、以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。		
第606図 PL.540	3	土師器 杯	S1下黒色土中 体部一部欠	口 高	13.6 5.4		粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面にナデの部分をおずかに残す、以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。		
第606図 PL.540	4	土師器 杯	S1下黒色土中 完形	口 高	12.9 5.0		粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ、以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。		
第606図 PL.540	5	土師器 杯	S1下黒色土中 口縁部一部欠	口 高	16.0 6.8		粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。		
第606図 PL.540	6	土師器 杯	S1下黒色土中 完形	口 高	12.6 5.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちヘラ削り。内面はナデ。		
第606図 PL.540	7	土師器 杯	S1下黒色土中 口縁部一部欠	口 高	12.8 4.9		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちヘラ削り。内面はナデ。		
第606図 PL.540	8	土師器 杯	S1下黒色土中 2/3	口 高	13.7 7.8		粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面上半にヘラ磨き。以下はヘラ削り。頸部にハケメを残す。内面はヘラナデ。		
第606図 PL.540	9	須恵器 杯身	S1下黒色土中 口縁部~底部 1/3	口	10.0		粗砂粒・細砂粒/ 還元焰不良/橙	ロクロ整形、回転は右回り。口唇部端部は内側が削がれ尖る。外面は体部以下は回転ヘラ削り。	外面口縁部と内面は還元せず、酸化焰。	
第606図 PL.540	10	土師器 台付甕か	S1下黒色土中 脚部2/3	脚	8.6		細砂粒/良好/明赤 褐	外面は縦位の磨き。内面は横位のヘラナデ。		
第606図 PL.540	11	土師器 埴	S1下黒色土中 口縁部1/4	口	9.9		細砂粒/良好/明赤 褐	内外面とも横ナデの上にヘラ磨きを施す。外面は縦位。内面は左傾。		
第606図 PL.540	12	土師器 甕	S1下黒色土中 2/3.口縁部欠				細砂粒/良好/橙	体部中位に焼成前穿孔あり。外面は頸部から体部上半に左傾のヘラ磨き。下半上位にヘラナデ。それ以下にヘラ削り。内面はヘラナデ。		
第606図	13	土師器 甕	S1下黒色土中 口縁部~胴部上 位1/3	口	14.8		細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ。胴部外面はハケメの上にナデ。内面はヘラナデ。		
第606図 PL.541	14	須恵器 甕	S1下黒色土中 胴部片				細砂粒/還元焰/灰	外面は疑似格子目状叩き痕。内面はアテ具痕をナデ消す。		
第606図 PL.541	15	須恵器 甕	S1下黒色土中 口縁部~胴部上 位1/4	口	21.0		粗砂粒・細砂粒/ 還元焰/灰白	紐づくり成形。口縁部はロクロ整形。胴部外面はナデ。内面胴部にはアテ具痕を残す。		
第606図	16	須恵器 甕	S1下黒色土中 口縁部片	口	21.0		細砂粒/還元焰/灰 白	紐づくり成形。口縁部はナデ調整。口唇部直下に弱い凹線が巡る。内面胴部にはアテ具痕を残す。		
第606図 PL.541	17	石製品 石製模造品	S1下黒色土中 完形	長 幅	5.2 2.5	厚 重	0.5 10.3	蛇紋岩	緑灰色。表裏面共にほぼ平坦である。表面は横方向の擦痕が裏面は斜め方向の擦痕が主体的である。孔径約2mm。	剣形
第606図 PL.541	18	石製品 石製模造品	S1下黒色土中 完形	長 幅	5.1 1.8	厚 重	0.4 6.5	蛇紋岩	緑黒色。表面には鎊の退化表現が認められる。裏面は平坦であり斜め方向の擦痕が認められる。孔は裏面側でその周辺部がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に裏面側が破碎した可能性がある。孔径約1.5mm。	剣形
第606図 PL.541	19	石製品 石製模造品	S1下黒色土中 完形	長 幅	3.7 1.9	厚 重	0.4 4.5	蛇紋岩	緑黒色。表裏面は平坦であり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約1.5mm。	剣形
第606図 PL.541	20	石製品 垂飾	S1下黒色土中 4/5	長 幅	3.1 1.5	厚 重	0.7 5.9	滑石	灰白色。全体的に丁寧に研磨整形されており表裏面はわずかに光沢がある。孔径約2mm。	
第607図 PL.541	22	土師器 壺	S1下黒色土中 口縁部一部欠	口 底	18.2 9.2	高 0	46.8 0	粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部外面は横ナデ後、頸部から口唇端部に向けてヘラ磨き。内面は横位のヘラ磨き。胴部外面は底部寄りを除き粗雑なヘラ磨き。底部寄りにはヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	内面磨滅。

3区1号屋外炉出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考
第608図 PL.541	1	土師器 甕	焼土北西側 口縁部3/4欠	口 底	13.7 6.9	高	25.1	粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラナデ後、斜縦位のヘラ磨き。底部外面はヘラ削り。内面は上位から中位は剥離、下位はヘラナデ。

## 3区2号屋外炉出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口 底	高	11.8				
第608図 PL.541	2	土師器 小型甕	焼土多含黒色土中 口縁部～底部 1/2	口 底	12.4 6.8	高	11.8	粗砂粒・細砂粒/ 良好/灰黄褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は粗雑なヘラ削り。内面はヘラ ナデ。底部は周縁部が輪状を呈する。	
第608図 PL.541	3	土師器 小型甕	焼土多含黒色土中 胴部～底部1/2	底	3.8			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	器内は全体に厚い。底部はやや不安定な平底。胴部外面は 上半部にヘラ削り・ヘラ磨き。下半部にヘラ削り。内面は ヘラナデ。最上位にヘラ削り。	

## 3区3号屋外炉出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口 底	高	4.6				
第609図 PL.541	1	土師器 杯	焼土多含黒色土中 3/4	口 底	11.4 3.4	高	4.6	粗砂粒・細砂粒/ 良好/灰黄	口縁部は横ナデ。体部外面に型肌の痕跡を残す。上半部は ナデ、下半部はヘラ削り後、斜位のヘラ磨き。底部外面は ナデ、内面はヘラナデ。工具痕を残す。	
第609図 PL.541	2	須恵器 甕	焼土多含黒色土 中・角礫南側 口縁部欠					粗砂粒・細砂粒/ 還元焰/にぶい褐	器内は全体に厚い。注口の径は1.5×1.3cm。ロクロ整形、 回転は右回り。口縁部に波状文を巡らす。体部に2条の凹 線を巡らし、その区画内に波状文を施文(工具は7本1単位 か)。体部下半から底部外面は手持ちヘラ削り。	
第609図 PL.541	3	土師器 甕	埋土 胴部下位～底部	底	5.0			細砂粒/良好/明赤 褐	胴部外面はナデ。内面はヘラナデ。底部外面はヘラ削り後 ヘラナデ。	

## 3区2号遺物集中区出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口 高	高	13.9				
第610図 PL.541	1	土師器 杯	S1下黒色土中 3/4	口 高	11.4 4.6	高	13.9	粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。体部から底部外面まで手持ちヘラ削り。 内面は体部から口縁部に向けて左傾する斜放射状ヘラ磨き。	
第610図 PL.541	2	土師器 杯	S1下黒色土中 3/4	口 高	12.1 5.0	高	13.9	粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面はヘラ削り。 内面は体部から口縁部に向けて右傾する斜放射状ヘラ磨き。	
第610図 PL.5410	3	土師器 手捏ね	S1下黒色土中 1/3	口	3.5			細砂粒/良好/黒褐	口唇端部はヘラで切られたようになっている。内外面とも ナデ。	
第610図 PL.542	4	土師器 高杯	S1下黒色土中 3/4	口 脚	17.1 12.7	高	13.9	細砂粒/良好/橙	杯部口縁部の内外面に下から上に斜放射状ヘラ磨き。外面 は左傾、内面は右傾。脚部は柱状部外面に縦位の、裾部外 面には上から下に左傾の斜放射状ヘラ磨き。内面はヘラ削 り・横ナデ。	
第610図 PL.542	5	土師器 高杯	S1下黒色土中 杯部一部欠	口 脚	17.1 13.4	高	14.1	細砂粒/良好/橙	杯部口縁部の内外面に下から上に斜放射状ヘラ磨き。外面 は左傾、内面は右傾。脚部は柱状部外面に縦位の、裾部外 面には上から下に左傾の斜放射状ヘラ磨き。内面はヘラ削 り・横ナデ。	
第610図 PL.542	6	土師器 高杯	S1下黒色土中 口縁部・脚端部 一部欠	口 脚	17.0 12.8	高	14.0	細砂粒/良好/橙	杯部口縁部の内外面に下から上に斜放射状ヘラ磨き。外面は 左傾、内面は右傾。脚部の柱状部外面に縦位の、裾部外面 には上から下に左傾の斜放射状ヘラ磨き。内面はナデ・横ナデ。	
第610図 PL.542	7	土師器 高杯	S1下黒色土中 3/4	口 脚	16.6 12.4	高	13.9	細砂粒/良好/橙	杯部口縁部の外面は横ナデ。内面に下から上に左傾の斜放射 状ヘラ磨き。脚部は柱状部外面に縦位の、裾部外面には上 から下に左傾の斜放射状ヘラ磨き。内面はヘラ削り・横ナデ。	
第610図 PL.541	8	土師器 高杯	S1下黒色土中 3/4	口 脚	11.9 10.6	高	15.0	粗砂粒/良好/にぶ い赤褐	杯部口縁部は横ナデ。体部外面は上半部がナデの上に横位 のヘラ磨き。下半部はヘラナデ。内面は中央から口縁部 に向けてヘラ磨き。脚部外面はナデの上に縦位のヘラ磨き。 内面はヘラナデ。	
第610図 PL.541	9	土師器 高杯	S1下黒色土中 2/3	口 脚	13.7 10.0	高	12.9	粗砂粒/良好/にぶ い赤褐	杯部口縁部は横ナデ。体部外面はヘラ削り。内面は中央か ら口縁部に向けてヘラ磨き。脚部外面はナデの上に縦位の ヘラ磨き。内面はナデ。	
第610図 PL.542	10	土師器 高杯	S1下黒色土中 口縁部～脚部上 位1/3	口	14.8			粗砂粒/良好/にぶ い赤褐	杯部口唇端部は横ナデ。体部外面は横位のヘラ磨き。内面 は中央から口縁部に向けてヘラ磨き。底部はヘラナデ。脚 部は縦位のヘラ磨き。内面はヘラナデ。	
第610図 PL.542	11	土師器 高杯	S1下黒色土中 3/4	口 脚	11.7 11.9	高	14.3	粗砂粒/良好/橙	器形は歪んでいる。杯部口縁部は横ナデ。体部外面はヘラ ナデ。底部にはヘラ削り。内面はヘラナデ、底面はヘラ磨き。 脚部外面は縦位のヘラナデ。裾部に横ナデ。内面はナデ。	
第611図 PL.542	12	土師器 埴	S1下黒色土中 3/4	口 高	11.4 15.5			粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部外面は縦位に、内面は右傾するヘラ磨き。体部外面 は上半部が丁寧なナデ。下半部は底部に至るまで横位のヘ ラ削り。内面はヘラナデ。	
第611図 PL.542	13	土師器 埴	S1下黒色土中 3/4	口 高	10.2 14.3			粗砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデの上に右下から左上にヘラ磨き。基部近く に横位のヘラ状工具による沈線区画を2条巡らす。内面も 右傾するヘラ磨き。体部外面は上半部に左傾するヘラ磨き。 下半部は横位のヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第611図	14	土師器 埴?	S1下黒色土中 体部中位～底部 1/2					細砂粒/良好/明赤 褐	体部は扁平。外面は縦位のヘラ磨き。底部外面は手持ちヘ ラ削り。内面はヘラナデ。	
第611図 PL.543	15	土師器 壺	S1下黒色土中 口縁部～胴部下 位	口	18.5			粗砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は下位に斜位のヘラナデに近い ヘラ削り。これより上位は数回に分け縦位の目の細かいハ ケメ。内面は横位のヘラナデ。下半には縦位の部分もあり。	
第611図 PL.544	16	土師器 壺	S1下黒色土中 口縁部～胴部下 位1/3	口	20.8			粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面上半部は丁寧なナデ。一部にヘ ラ磨き。下半部はヘラ削り。内面はヘラナデか。	
第612図 PL.543	17	土師器 壺	S1下黒色土中 口縁部～胴部上 位3/4	口	20.3			粗砂粒/良好/赤褐	口縁部は中位に段を有する。外面は横ナデ。胴部外面はヘ ラ削り。	器面剥離。磨 滅。

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第612図	18	土師器 壺	S1下黒色土中 胴部下位～底部	底	7.6		粗砂粒/良好/明赤 褐	胴部外面はヘラ削り。内面はヘラナデ。底部外面はヘラ削り・ヘラナデ。		
第612図 PL.543	19	土師器 壺	S1下黒色土中 3/4	口 底	17.4 8.4	高 30.1	粗砂粒/良好/淡黄	口縁部外面の上半部は「折り返し口縁」状に肥厚する。肥厚部は横位のナデ。下半部は斜位のナデ。内面は横ナデ。胴部外面は斜縦位にナデに近いヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。底部外面はヘラ削り。	上半部は内外面とも器面磨滅。	
第612図 PL.543	20	土師器 壺	S1下黒色土中 胴部上位～底部	底	7.4		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	胴部外面は上位から中位が丁寧なヘラナデ。一部にハケメを残す。下位は横位のヘラ削り。底部寄りには斜位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。底部は凹レンズ状、器面はヘラ削り。		
第612図 PL.542	21	土師器 甗か	S1下黒色土中 胴部下位～底部 片				細砂粒/良好/にぶ い赤褐	胴部外面はヘラナデの上にヘラ磨き。内面はヘラナデ。下位にヘラ削り。底部もヘラ削り。平坦面をなす。		
第612図 PL.542	22	土師器 埴	S1下黒色土中 3/4	口 底	10.1 4.0	高 11.6	細砂粒/良好/にぶ い褐	口縁部は横ナデ。体部外面は上位から中位にナデ。下位はヘラナデに近いヘラ削り。内面はヘラナデ。底部は中央が凹む。		
第613図 PL.542	23	土師器 小型甗	S1下黒色土中 2/3	口 底	12.9 4.8	高 14.9	粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜横位のヘラ削りの上に粗雑なヘラ磨き。内面は横位のヘラナデ。底部は中央寄りが凹む。ヘラ削り。		
第613図 PL.542	24	土師器 小型甗	S1下黒色土中 3/4	口 高	12.2 16.0		粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は上半部にナデ。下半部にヘラナデ。内面は横位のヘラナデ。底部外面はヘラ削り。		
第613図	25	土師器 甗	S1下黒色土中 口縁部1/3	口	18.4		粗砂粒・細砂粒/ 良好/灰白	口縁部外面は横ナデに縦位の弱いヘラナデを重ねる。内面は横ナデ。		
第613図 PL.543	26	土師器 甗	S1下黒色土中 3/4	口 底	18.2 6.2	高 22.7	粗砂粒/良好/橙	器形は大きく歪んでいる。口縁部は横ナデ。胴部外面は上位から中位がナデの上に縦位のヘラ磨き。下位は縦位のヘラ削り。底部外面と内面は器面磨滅。		
第613図	27	土師器 甗	S1下黒色土中 胴部中位～底部 1/4	底	7.6		粗砂粒/良好/にぶ い橙	胴部外面は、下位に横位・斜横位のヘラ削り。これより上位は目の細かいハケメ。内面は上位から中位が横位のヘラナデ。下位が斜位。底部外面はヘラ削り。		
第613図 PL.544	28	石製品 管玉	S1下黒色土中 完形	長 幅	2.1 0.7	厚 重	0.7 0.16	蛇紋岩	緑黒色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。肉眼観察によると孔は中央付近が狭くなっており両面穿孔の可能性はある。上下面の孔径約2mm。	
第613図 PL.544	29	石製品 白玉	S1下黒色土中 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.3 0.15	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りがありわずかに稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第613図 PL.544	30	石製品 白玉	S1下黒色土中 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.24	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りがありわずかに稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第613図 PL.544	31	石製品 白玉	S1下黒色土中 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.18	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りがありわずかに稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第613図 PL.544	32	石製品 白玉	S1下黒色土中 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.3 0.14	蛇紋岩	緑黒色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがありわずかに斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第613図 PL.544	33	石製品 白玉	S1下黒色土中 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.18	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第613図 PL.544	34	石製品 白玉	S1下黒色土中 完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.4 0.23	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	

3区3号遺物集中区出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第615図 PL.544	1	土製品 丸玉	S1下黒色土中 完形	径 高	0.8 0.7	孔 0.05	0	粗砂粒・細砂粒/ 燻し焼成/黒褐	器面磨き調整。上・下面は焼成後に擦って仕上げる。	
第615図 PL.544	2	石製品 石製品	S1下黒色土中 完形	長 幅	2.4 3.5	厚 重	1.0 10.9	蛇紋岩	白色。全体的に研磨整形されており滑らかである。左右の孔は中央付近が狭くなっており両面穿孔と考えられる。	
第616図 PL.544	3	土師器 杯	S1下黒色土中 1/3	口	12.8			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は底部中央から口縁部に向けて放射状のヘラ磨き。	
第616図 PL.544	4	土師器 杯	S1下黒色土中 1/4	口 高	14.2 6.4			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部から底部外面に手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾のヘラ磨きか。	
第616図 PL.544	5	土師器 小型甗か	S1下黒色土中 頸部～底部1/2	底	2.6			粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい橙	底部は狭小な平底。胴部外面は下位にヘラ削り。それ以外はナデ。内面はヘラナデ。底部外面はヘラ削り。	
第616図 PL.544	6	土師器 小型甗	S1下黒色土中 口縁部～胴部 中位2/3	口	12.7			粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜横位を主体としたヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	
第616図 PL.544	7	土師器 甗	S1下黒色土中 口縁部～胴部 中位	口	18.6			粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄褐	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラナデに近い縦位のヘラ削り。内面は斜位のヘラナデ。	
第616図 PL.544	8	土師器 甗	S1下黒色土中 口縁部～胴部 下位1/2	口	18.6			粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜縦位にヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	
第616図 PL.545	9	土師器 壺	S1下黒色土中 口縁部～底部 1/4	底	7.6			粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は4・5回に分け縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	内面の胴部上半は器面磨滅。
第616図 PL.545	10	土師器 甗	S1下黒色土中 3/4	口 底	20.8 7.6	高 32.8		粗砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は最下位にヘラ削り。他も同様と考えられる。内面は横位のヘラナデ。底部外面は周縁部が肥厚し輪状を呈す。	

3区4号屋外炉出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高				
第618図 PL.545	1	土師器 杯	南東部凹地 1/4	口	12.0 5.0		粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。以下底部にかけて手持ちへら削り。内面はナデ。	
第618図	2	土師器 杯	南西部灰面 1/4	口	12.7		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面上位にナデ。底部にかけて手持ちへら削り。内面は底部から口縁部に向けて放射状のへら磨き。	
第618図 PL.545	3	土師器 杯	南東部凹地 1/4	口	14.8 6.6		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	器面磨滅。
第618図 PL.545	4	土師器 甕	焼土凹地埋土 口縁部～胴部下 位	口	15.0		粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は上半部に縦位の、下半部に横位のナデに近いへら削り。内面はへらナデ。	
第618図	5	土師器 小型甕	中央部焼土上面 胴部上位～底部 1/3	底	6.2		粗砂粒/良好/浅黄	胴部外面は斜縦位のへら削りか。内面はへらナデ。底部外面はへら削り。	器面磨滅。
第618図 PL.545	6	土師器 甕	焼土凹地埋土 胴部下位～底部	底	7.4		粗砂粒/良好/暗褐	胴部外面はへら削り。底部外面もへら削り。	内面剥離・磨滅。

3区5号屋外炉出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				長 幅	厚 重					
第619図 PL.545	1	石製品 管玉	東縁灰面上 完形	長 幅	1.5 0.6	厚 重	0.6 1.0	葉ろう石	緑色、部分的に白色。全体に光沢があるが、上下面はやや鈍い光沢となっている。下面からの穿孔で側面に孔が開いている。貫通している孔は中央部で極僅かにズレがあり、両側穿孔と考えられる。孔径約2mm。	孔上.2×2 下.2
第619図 PL.545	2	土師器 杯	東縁灰面上 3/4	口	11.6 5.4		粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面にナデ。以下は手持ちへら削り。内面はナデ。	内面磨滅。	
第619図 PL.545	3	土師器 杯	灰面東縁 口縁部～体部片	口	13.9		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面は手持ちへら削り。内面は口縁部に向けて左傾の斜放射状へら磨き。		
第619図 PL.545	4	土師器 高杯	灰面東縁 脚部	脚	10.8		細砂粒/良好/橙	内外面とも横ナデ。		
第619図	5	土師器 甕	灰層中 口縁部片				粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙	内外面とも横ナデか。	器面磨滅。	
第619図 PL.545	6	土師器 壺	灰層中 3/4	口 底	16.1 7.6	高	31.6	粗砂粒/良好/明黄 褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は上位から中位にへらナデ。中位から下位にへら削り。内面はへらナデ。底部外面は周縁部にへら削り。	
第619図	7	土師器 甕	東縁灰面上 口縁部～胴部上 位片	口	29.6		粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ。胴部内面は横位・斜位のへらナデ。		

4区2号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高				
第625図 PL.546	1	土師器 杯	貯蔵穴西埋土 3/4	口	12.4 5.1		粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面は上位にナデの面を残し、以下底部まで手持ちへら削り。内面は丁寧なナデの後、体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状へら磨き。	
第625図 PL.546	2	土師器 杯	竈右脇床直 1/2	口	12.2 4.9		粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口唇端部は内側がやや削がれ尖る。底部中央は小さく凹む。口縁部は横ナデ。体部から底部外面は弱いタッチのへら削り。内面は全面に丁寧な磨きを施した後、底部から口縁部に向けて放射状のへら磨き。	
第625図	3	土師器 杯	埋土 口縁部～底部片	口	13.0		粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部から底部外面はへらナデに近いへら削り。内面はナデの後、底部から口縁部に向けて放射状のへら磨き。	
第625図 PL.546	4	土師器 杯	竈右脇床直 2/3	口	13.7 4.9		粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面は丁寧なナデ。底部外面は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状へら磨き。	
第625図 PL.546	5	土師器 杯	貯蔵穴北東縁 口縁部一部欠	口	14.5 5.5		粗砂粒少量/良好/ にぶい橙	口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちへら削り。内面は丁寧なナデの後、体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状へら磨き。	
第625図	6	土師器 杯	周堤盛土 口縁部～体部片	口	15.6		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部上半は斜放射状へら磨き、下半はへら削り。内面は体部に斜放射状へら磨き。	
第625図 PL.546	7	土師器 杯	竈右脇床直 口縁部一部欠	口	15.5 6.3		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面は丁寧なナデ。底部外面はへらナデに近いへら削り。内面は丁寧なナデ。	口縁部内面に 粗殻圧痕か。
第625図 PL.546	8	土師器 杯	貯蔵穴西縁 口縁部～体部片	口	13.3		粗砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ。体部外面はナデ。底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	器面磨滅。
第625図 PL.546	9	土師器 杯	南西隅床直 1/2	口	13.4 5.6		粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面はナデの部分を残す。底部外面は手持ちへら削り。内面は丁寧なナデ。	内面磨滅。
第625図	10	土師器 埴	埋土 口縁部片	口	12.0		粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄褐	内外面とも横ナデの上に縦位のへら磨き。	
第625図 PL.546	11	土師器 埴	西壁沿い床直 1/2	口	8.8		粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は内外面ともナデの上に縦方向のへら磨き。体部外面は上半部が丁寧なナデ。下半部から底部外面は横位のへら削り。内面は上位に指ナデか。下位は横位のへらナデか。	
第625図 PL.546	12	土師器 埴	埋土 1/3	口	8.6		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部はナデの後、内外面に縦位のへら磨き。体部外面は上半部にへら磨き。下位に横位のへら削り。内面頸部直下に指押え・ナデ、以下はへらナデ。	体部上位の一 部に布目痕。

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	高さ	径			
第625図	13	土師器 甔	南西隅床直 1/2	口底 28.2 8.2	高	26.5	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。胴部外面の上位は丁寧なナデ。中位以下は斜縦位に弱いタッチのヘラ削り。内面は下端寄りが斜縦位、これより上位は横位に丁寧なヘラナデ。底部下端は面取りをするようにヘラ削り。	
第626図 PL.546	14	土師器 小型甔	西壁沿い床直 完形	口高 12.0 9.4			粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜横位のヘラ削り。内面はヘラナデ。底部外面はヘラ削り。	
第626図 PL.546	15	土師器 小型甔	中央部床上3cm 3/4	口底 13.2 6.7	高	14.2	粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラナデ・ヘラナデに近いヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。底部外面はヘラ削り。	胴部上半部外面は剥離・磨滅。
第626図 PL.546	16	土師器 小型甔	竈右脇床直 2/3	口底 14.0 6.3	高	16.4	粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は口縁の横ナデ後、斜縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。底部外面はヘラナデ。周縁部にヘラ削り。	
第626図 PL.546	17	土師器 小型甔	北東隅床直 口縁・胴部一部 欠	口底 14.2 7.1	高	13.4	粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は3回程に分けて斜縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。底部外面はヘラナデ。	
第626図 PL.546	18	土師器 小型甔	貯蔵穴北東隅 口縁部一部欠	口底 13.9 8.5	高	15.0	粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜縦位・横位のヘラナデ。内面は横位のヘラナデ。底部外面は中央が小さく凹むヘラナデ。	
第626図	19	土師器 甔	南西隅床直 3/4	口底 16.6 7.7	高	30.8	粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は中位に弱い稜を有する。横ナデ。胴部外面は上位に縦位のヘラナデ。中位は横位のヘラ削り。下位は斜縦位のヘラナデに近いヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。底部外面はヘラ削り。	
第627図	20	土師器 甔	西壁沿い床直 口縁部～胴部下 位3/4	口底 17.3			粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は上位に丁寧なナデ。中位以下は斜位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	
第627図 PL.546	21	土師器 甔	竈右脇床直 胴部中位～底部	底 7.7			粗砂粒/良好/明赤 褐	成形粗雑。胴部外面は上半部が斜縦位のヘラナデ。下半部は斜縦位のヘラ削り。内面は斜横位のヘラナデ。底部外面はヘラ削り。	
第627図 PL.546	22	石製品 石製模造品	中央部埋土下層 完形	長幅 4.3 1.4	厚重	0.5 3.3	蛇紋岩	オリープ灰色。表面は平坦で斜め方向の擦痕が認められる。裏面は二つの作出面で構成され斜め方向の擦痕が認められる。孔は裏面側でその周辺部がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に裏面側が破砕した可能性がある。孔径約2mm。	剣形
第627図 PL.546	23	石製品 石製模造品	中央部埋土下層 完形	長幅 4.3 1.3	厚重	1.0 4.1	滑石	オリープ灰色。表裏面共に斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	剣形
第627図 PL.546	24	石製品 石製模造品	中央部埋土下層 完形	長幅 5.7 2.2	厚重	0.6 11.3	蛇紋岩	緑黒色。表面には鎊の退化表現が認められる。裏面は平坦であり斜め方向の擦痕が認められる。孔は裏面側でその周辺部がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に裏面側が破砕した可能性がある。孔径約1.5mm。	剣形
第627図 PL.546	25	礫 粒状礫	埋土 完形	長幅 1.3 0.7	厚重	0.4 0.6	不明	黒褐色。小形の極円礫。全体的に光沢がある。	

4区3号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 細別器種	出土位置 残存率	法 量													観 察	
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬		
第631図 PL.547	1	鎌子	埋土 半欠	4.0+	1.3	0.95	0.3	0.4	2.9+	(3.0)+			0.2	0.4				鎌子の頭部と二股に分かれた柄部の一部が残る。変形して少し開き気味になり、さらに向かって右側の柄部は少し振じれている。有機質の付着無し。
挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等		成形・整形の特徴							備考		
第631図 PL.547	2	土師器 杯	埋土 1/3	口	12.6			粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちヘラ削り。内面は丁寧なナデの上に体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。									
第631図 PL.547	3	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	12.4			粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデの上に指ナデ。体部から底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。									
第631図 PL.547	4	土師器 杯	竈右脇床直 1/4	口高	14.0 6.8			粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。体部外面は上位にナデの部分を残し、以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は細かな単位でヘラナデ。									
第631図 PL.547	5	土師器 杯	竈右脇床直 1/3	口高	13.3 7.1			粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面は上位にナデの面を残し、以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は横位のヘラナデ・ナデ。									
第631図 PL.547	6	土師器 鉢	埋土 1/2	口底	13.5 4.5	高	6.7	粗砂粒少量/良好/ 橙	底部は狭小な平底、凹レンズ状。口縁部は横ナデ。体部外面下位は底部近くに手持ちヘラ削り。他はナデ。内面はヘラナデ。底部外面はヘラ削り。									
第631図 PL.547	7	土師器 杯	埋土 1/4	口	12.0			粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部(稜下)外面は上位に一部ナデの面を残すが、以下底部まで手持ちヘラ削り。内面はナデ。									
第631図 PL.547	8	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	13.7			粗砂粒/良好/橙	口縁部は弱く外傾する横ナデ。体部(稜下)外面は手持ちヘラ削り。内面はナデ。									
第631図 PL.547	9	土師器 杯	埋土 1/3	口	15.1			粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちヘラ削り。内面はナデ。									
第631図	10	須恵器 杯蓋	埋土 天井部小片					細砂粒/酸化焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。天井部は回転ヘラ削り。							高杯杯底部部片の可能性あり。		
第631図 PL.547	11	土師器 高杯	埋土 杯部1/4	口	18.6			細砂粒/良好/橙	杯部は内外面とも横ナデの上に、体部から口縁部に向けて放射状のヘラ磨き。									
第631図 PL.547	12	土師器 高杯	埋土 脚部片					細砂粒/良好/明赤 褐	脚部外面は横ナデ。内面は上位にヘラナデ。下位に横ナデ。									

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口底	高	12.3				
第631図 PL.547	13	土師器 甕	竈右脇床直 口縁部一部欠	口底	7.8 5.6	高	12.3	粗砂粒・細砂粒/ 良好/褐	口縁部の内外面は横位のナデ。体部外面は上半部が丁寧なナデ。下半部が横位のヘラ削り。内面はナデ。底部外面はヘラナデ。体部中位に直径1.3cmの焼成前穿孔を施す。	
第631図 PL.547	14	土師器 埴か?	埋土 底部のみ					細砂粒/良好/橙	体部と丸底の底部の接合。粗雑。外面はヘラ削り。内面は丁寧なナデ。	体部欠損後も使用か。
第631図 PL.547	15	土師器 鉢	埋土 1/4	口	11.0			粗砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面の上半部にナデ、下半部にヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第631図	16	土師器 甕	竈右脇床直 口縁部・胴部下 位一部欠	口高	17.6 18.4			粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部から頸部直下に横ナデ。胴部外面は丁寧なヘラナデ・ナデ。粘土紐の接合痕を残す。内面は横位を主体としたヘラナデ。	胴部外面下位から底部は剥離・磨滅。
第631図	17	土師器 鉢	竈左前床直 2/3	口底	17.3 5.8	高	12.4	粗砂粒/良好/明褐	口縁部の先端は内側が削られるようにして尖る。口縁部は横ナデ。体部の上位から中位は丁寧なナデ。一部に磨きが重ねられているか。下位は斜位のヘラナデ。内面は斜横位のヘラナデ。底部外面はヘラナデに近いヘラ削り。	
第631図 PL.547	18	土師器 小型甕	竈右脇床直 3/4	口底	15.0 7.0	高	15.7	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ。頸部に輪積み痕を残す。胴部外面は下位にヘラ削りが認められる。内面は上位に横位のヘラナデ。中位以下はヘラ削り。底部外面はヘラ削り。	胴部上位から中位は器面剥離。
第632図 PL.547	19	土師器 小型甕	北西隅床直 口縁部～胴部下 位1/4	口	12.4			粗砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜縦位のヘラ削り。内面はヘラナデ。	内面磨滅。
第632図	20	土師器 甕	竈燃焼部 口縁部～胴部上 位1/2	口	16.8			粗砂粒/良好/浅黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は丁寧なナデ。内面は横位のヘラ削りに近いヘラナデ。	
第632図	21	土師器 甕	埋土 胴部下位～底部 1/3	底	8.2			粗砂粒/良好/橙	胴部外面はヘラナデ。内面もヘラナデ。底部外面はヘラ削り。	内外面は器面磨滅。
第632図 PL.547	22	土師器 甕	竈燃焼部 胴部下位1/2					粗砂粒/良好/橙	外面はヘラ削りか。内面は横位のヘラナデ。	外面磨滅。
第632図 PL.547	23	土師器 甕	西壁沿い床直 口縁部～胴部中 位1/4	口	19.8			粗砂粒/良好/灰黄褐	口縁部と頸部直下は横ナデ。胴部外面は縦位のヘラナデ。内面に縦位・横位のヘラナデ。	外面剥離・磨滅。
第632図 PL.547	24	土師器 甕	竈左脇床上10cm 口縁部～胴部上 位	口	18.8			粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は頸部直下に横位のヘラナデ。以下は斜縦位のヘラナデ。内面は横位のヘラナデ。	
第632図	25	土師器 壺	竈右脇床直 胴部下位～底部	底	7.2			粗砂粒/良好/にぶい黄橙	成形粗雑。胴部外面はハケ状工具を使用した粗雑なヘラナデ。内面は横位のヘラナデ。粘土紐の接合痕を残す。底部外面はヘラ削り。	
第632図 PL.547	26	石製品 石製模造品	埋土 完形	長幅	5.4 2.0	厚重	0.5 7.3	蛇紋岩	緑黒色。表面には錆の退化表現が認められる。裏面は平坦であり縦方向の擦痕が認められる。径約2mm。	剣形
第632図 PL.547	27	石製品 石製模造品	北西隅壁際埋土 完形	長幅	3.9 2.1	厚重	0.5 6.1	滑石	緑灰色。表裏面共に斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	勾玉形
第632図 PL.547	28	石製品 白玉	埋土 完形	長幅	0.5 0.5	厚重	0.3 0.08	滑石	暗オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第632図 PL.547	29	石製品 白玉	埋土 完形	長幅	0.5 0.5	厚重	0.5 0.15	滑石	暗オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りは認められず横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	

## 4区4号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	器種 細別器種	出土位置 残存率	法 量													観 察
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
第635図 PL.548	1	斧 袋柄斧再利用 鉄器	埋土 完形	5.0			3.2					4.0	0.8				袋柄斧の袋部を切断した再利用鉄器と推定する。上端部に空洞部が見えるが、これは錆により空洞化したものと考えられる。
第635図 PL.548	2	刀子 刀子刃部	埋土 刃部破片	4.4+	4.4+	0.6	0.2										刀子の刃部で、極めて中の狭い細長い形態の刀子である。
第635図 PL.548	3	刀子 片関刀子	埋土 刃部破片	3.3+	3.3+	1.1	0.2										刀子の刃部の破片。刃部の先端部は欠けている。
挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考								
口底	高	12.3															
第636図 PL.548	4	土師器 杯	貯蔵穴内 完形	口高	14.9 6.0			粗砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面は上位に一部成形時のナデの部分を残すが、以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は底部から口縁部に向けてやや規則性を欠く放射状のヘラ磨き。								
第636図 PL.548	5	土師器 杯	竈前床上5cm 3/4	口高	12.5 6.4			粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面は上位にナデの面を残すが、以下底部まで手持ちヘラ削り。内面は丁寧なナデ。	器面やや磨滅。							
第636図 PL.548	6	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	13.8			粗砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面はわずかにナデの面を残し、底部まで手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	器面磨滅。							
第636図 PL.548	7	土師器 杯	埋土 口縁部3/4・底 部欠	口	13.0			粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口唇端部は面が外方を向く。断面はM字状。口縁部は横ナデ。体部上位にナデの面を残す。以下は横位に手持ちヘラ削り。内面は放射状のヘラ磨き。								
第636図 PL.548	8	土師器 杯	埋土 1/3	口底	10.4 3.0	高	6.1	粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい赤褐	底部は平底。中央がやや凹む。口縁部は横ナデ。体部外面は丁寧なナデ。下位にヘラナデ。内面はナデの上に底部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。								

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第636図 PL.548	9	土師器 杯	西南部壁際 口縁部一部欠	口 高	11.7 5.9		粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面は丁寧なナデ。底部外面は手持ちへら削り。内面は丁寧なナデ。	器面やや磨滅。
第636図 PL.548	10	土師器 杯	埋土 1/4				粗砂粒少量/良好/ にぶい褐	口唇端部は欠損。口縁部は横ナデ。体部外面は丁寧なナデ。底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。	
第636図 PL.548	11	土師器 高杯	竈焼部灰面直上 1/2	口 脚	16.9 12.8	高	14.5 細砂粒/良好/赤褐	杯部端部は横ナデ。以下は内外面ともハケメ。外面は縦位、脚部外面の柱状部はナデ、裾部もナデ、一部ハケメが重なる。内面は柱状部にへらナデ、指ナデ。裾部上位にハケメ、以下へらナデ。	
第636図 PL.548	12	土師器 高杯	埋土 1/2	口 脚	16.2 12.2	高	13.7 細砂粒/良好/赤	杯部内外面とも横ナデか。脚柱部は縦位のへら磨き、裾部もへら磨きか。内面は柱部がへらナデ、裾部が横ナデ。	杯部内外面、脚部外面に赤色塗彩。
第636図 PL.548	13	土師器 高杯	埋土 杯部片	口	21.1		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は内外面とも横ナデ。底部外面も丁寧なナデ。	
第636図 PL.548	14	土師器 高杯	西壁沿い床直 杯部1/2	口	18.8		細砂粒/良好/橙	外面の口唇部直下に縄目状の圧痕か。内外面とも横ナデの上に下から上に向けて放射状にへら磨き。	
第636図 PL.548	15	土師器 高杯	埋土 脚底部	脚	14.0		粗砂粒少量/良好/ 明赤褐	裾部外面はナデの上に放射状にへら磨き。内面は横ナデ。	
第636図 PL.548	16	土師器 高杯	埋土 基部～裾部3/4	脚	14.6		粗砂粒/良好/明赤 褐	脚部上位は柱状を呈す。基部近くは器面調整の工具が面取りした様にあたっているへらナデか。裾部は横ナデの上に放射状のへら磨き。内面は柱部下位にへら削り。	
第636図 PL.548	17	土師器 高杯	P1北埋土 口縁部下半～脚 部上位1/2				細砂粒/良好/明赤 褐	杯部外面は口縁部に横ナデ。底部にハケメ。内面はナデ、一部にハケメ。脚部外面は丁寧なナデ。内面は指ナデ。	
第636図 PL.548	18	土師器 高杯	埋土 脚底部	脚	14.6		粗砂粒/良好/橙	外面は横ナデの上に上位から下位に向けてへら磨きを重ねる。内面は横ナデ。	
第636図 PL.548	19	土師器 鉢	西南部壁際 3/4	口 底	9.4 4.4	高	7.1 粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ。体部外面は下位に横位のへら削り。これより上位は斜横位の指ナデ。内面は横位のへらナデ。底部外面はへら削り。	
第636図 PL.548	20	土師器 鉢	西南部壁際 口縁部一部欠	口 底	9.7 4.4	高	7.3 細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は粗雑な横ナデ。体部外面は上位・中位がへらナデ、下位はへら削り。内面は横位のへらナデ。底部外面はへらナデか。	
第637図 PL.549	21	土師器 鉢	西南部壁際 2/3	口 高	12.9 8.7		粗砂粒少量/良好/ 明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面は上位にナデ、以下底部まで手持ちへら削り。内面はへらナデ。	外面の一部磨滅。
第637図 PL.549	22	土師器 鉢(ミニ チュア)	埋土 1/2	口 底	5.5 4.0	高	4.3 細砂粒/良好/橙	体部外面は指ナデ。器面成形時のヒビ割れを残す。内面はへらナデ。	
第637図 PL.549	23	土師器 埴か?	埋土 体部1/2				粗砂粒/良好/にぶ い褐	外面上半部にへらナデ。下半部は指ナデ・へらナデ。底部はへら削り。内面は指ナデ。	
第637図 PL.549	24	土師器 埴	埋土 口縁部～体部上 位片	口	9.6		粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデの上に内外面とも左傾するへら磨き。体部外面は上半部がナデの上に左傾のへら磨き。下半は横位のへら削り。内面は横位のナデ。	
第637図 PL.549	25	土師器 埴	埋土 頸部～体部上位				細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部まで横ナデ。体部外面は上半部にハケメを残す。中位以下は丁寧なナデ。内面は上半部が縦位の指ナデ。以下中位はへらナデと考えられる。	器面やや磨滅。
第637図 PL.549	26	土師器 有孔鉢	埋土 口縁部・体部一 部欠	口 底	11.9 5.3	高 孔	13.2 1.6 粗砂粒/良好/明赤 褐	平底の底部中央に焼成前の粗雑な穿孔。直径1.7cm。外面は口縁部先端に横ナデ。体部上位には斜縦位のハケメを残す。以下は丁寧なナデ。内面は下位近くまでハケメ。孔の直上はナデ。	
第637図 PL.549	27	土師器 有孔鉢	西南部壁際 口縁部一部欠	口 高	12.8 10.9		粗砂粒/良好/赤褐	底部には直径1.9cmの孔を焼成前に穿つ。口縁部、体部外面はナデ。体部の底部寄り孔周辺はへら削り。内面は横位のナデ。	体部外面は剥離・磨滅。
第637図 PL.549	28	土師器 小型甕	竈焼部 2/3	口 底	12.7 6.5	高	14.9 粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は下位にへら削り。これより上位は丁寧なナデ。内面は横位のへらナデ。底部外面はへら削り。	胴部外面は磨滅。
第637図 PL.549	29	土師器 甕	竈右袖内 完形	口 底	16.9 6.4	高	30.3 粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は上半部が斜縦位のへらナデ。下半部が斜縦位のへら削り。底部外面はへら削り。内面は横位のへらナデ・ナデ。	
第637図 PL.549	30	土師器 甕	竈右袖内 胴部一部欠	口 底	17.6 6.6	高	28.8 粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部から頸部直下まで横ナデ。胴部外面は上位・中位に斜縦位のへらナデ。下位に斜縦位のへら削り。内面は横位のへらナデ。底部外面はへら削り。	横断面は長円形。
第638図 PL.549	31	土師器 壺	貯蔵穴北縁床直 1/2	口 底	12.8 6.9	高	27.5 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面の上位はナデ、中位以下はへらナデに近いへら削り。内面は下位が斜縦位の、これより上位は横位のへらナデ。底部外面はへら削り。	
第638図 PL.549	32	土師器 甕	竈左袖内 底部欠	口	16.4		粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜縦位のへらナデ。内面は横位のへらナデ。やや粗雑。	胴部外面下半は磨滅。
第638図 PL.549	33	土師器 壺	竈左袖内 口縁部～胴部上 位1/2	口	17.2		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は丁寧なナデ。内面は斜位のへらナデ。	
第638図 PL.550	34	土師器 壺	貯蔵穴北西埋土 3/4	口 底	17.8 9.8	高	31.0 粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部から頸部直下の外面は横ナデ。胴部外面は上半部が斜縦位・斜横位のへらナデ。下半部は斜縦位のへらナデに近いへら削り。内面は横位を主とするへらナデ。底部外面はへら削り。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第638図 PL.550	35	土師器 甕	中央部床上5cm 口縁部～胴部下 位1/2	口	16.8		粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は上位・中位が斜縦位のヘラナデ。下位もヘラナデと考えられる。内面は頸部直下に粘土紐の接合痕を残す。上位は横位の、以下は縦位のヘラナデ。	
第638図	36	土師器 甕	竈左脇床直 口縁部～胴部上 位	口	15.4		粗砂粒・細砂粒/ 良好/浅黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は頸部直下にヘラナデ。以下は縦位のヘラナデ。内面は斜位のヘラナデ。	
第639図 PL.550	37	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部上 位1/2	口	21.0		粗砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ。胴部内面は横位のヘラナデ。	器面全体に磨滅。
第639図 PL.550	38	土師器 壺	埋土 口縁部～胴部上 位	口	27.4		粗砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は中位に稜を有する。口唇端部は平坦面を作る。内外面とも横ナデ。胴部外面は丁寧なナデ。内面はヘラナデ。	口縁部内面磨滅。
第639図	39	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部上 位1/3	口	24.0		粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横位のナデ。胴部外面は斜横位のヘラナデ。内面は横位のヘラナデ。	
第639図 PL.550	40	土師器 甕	埋土 口縁部1/2	口	17.7		粗砂粒・黒色鈹物 粒/良好/にぶい黄 橙	中位に変換点を有し、上半部は更に外反する。内外面とも横ナデ。	
第639図 PL.550	41	石製品 勾玉	竈右側埋土上層 完形	長幅	2.1 1.5	厚重 0.5 2.3	滑石	オリーブ灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。表裏面の孔の周囲は浅鉢状にわずかに窪んでいる。孔径約2mm。	
第639図 PL.550	42	石製品 管玉	埋土 完形	長幅	1.8 0.8	厚重 0.6 1.3	蛇紋岩	緑黒色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。孔は中央付近が狭くなっており両面穿孔と考えられる。上下面の孔径約3mm。	
第639図 PL.550	43	石製品 石製模造品	埋土 完形	長幅	2.7 1.9	厚重 0.4 3.1	滑石	暗オリーブ灰色。表裏面に横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	勾玉形
第639図 PL.550	44	石製品 石製模造品	埋土 完形	長幅	2.9 1.6	厚重 0.4 2.5	蛇紋岩	緑黒色。表裏面には斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	勾玉形
第639図 PL.550	45	石製品 石製模造品	埋土 完形	長幅	4.7 1.6	厚重 0.4 4.3	蛇紋岩	緑黒色。表面には部分的に鑄が表現される。裏面は平坦であり斜め方向の擦痕が認められる。孔は裏面側でその周辺部がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に裏面側が破碎した可能性がある。孔径約1.5mm。	剣形
第639図 PL.550	46	石製品 石製模造品	埋土 ほぼ完形	長幅	5.0 1.3	厚重 0.4 3.6	蛇紋岩	緑黒色。表面には部分的に鑄が表現される。裏面は平坦であり斜め方向の擦痕が認められる。孔は裏面側でその周辺部がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に裏面側が破碎した可能性がある。孔径約1.5mm。	剣形
第639図 PL.550	47	石製品 石製模造品	埋土 完形	長幅	4.9 1.9	厚重 0.5 6.1	蛇紋岩	緑黒色。表面には部分的に鑄が表現される。裏面は平坦であり斜め方向の擦痕が認められる。孔は裏面側でその周辺部がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に裏面側が破碎した可能性がある。孔径約1.5mm。	剣形
第639図 PL.550	48	石製品 石製模造品	床直 完形	長幅	5.5 2.0	厚重 0.6 9.0	蛇紋岩	緑黒色。表面には鑄が表現される。裏面は三つの作出面で構成され斜め方向の擦痕が認められる。裏面と側面にも全体的に擦痕が認められる。孔は裏面側でその周辺部がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。	剣形
第639図 PL.550	49	石製品 石製模造品	埋土 完形	長幅	4.7 2.3	厚重 0.5 8.0	蛇紋岩	青黒色。表面には部分的に鑄が表現される。裏面は平坦であり斜め方向の擦痕が認められる。孔は裏面側でその周辺部がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に裏面側が破碎した可能性がある。孔径約2mm。	剣形
第639図 PL.550	50	石製品 石製模造品	埋土 完形	長幅	7.1 2.5	厚重 0.7 16.1	蛇紋岩	緑黒色。表面には鑄が表現される。裏面は平坦であり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	剣形
第639図 PL.550	51	石製品 石製模造品	埋土 ほぼ完形	長幅	3.8 1.5	厚重 0.7 3.5	滑石	オリーブ灰色。表面には鑄が表現される。裏面は上下二つの作出面で構成され横方向及び斜め方向の擦痕が認められる。孔は表面側でその周辺部がわずかに窪んでおり、裏面からの穿孔の際に表面側が破碎した可能性がある。孔径約2mm。	剣形
第639図	52	石製品 石製模造品	埋土 完形	長幅	4.1 1.9	厚重 0.6 3.9	滑石	オリーブ灰色。表面には部分的に鑄が表現される。裏面は平坦であり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約1.5mm。	剣形
第639図 PL.550	53	石製品 石製模造品	埋土 ほぼ完形	長幅	(4.4) 1.5	厚重 0.6 4.6	滑石	オリーブ灰色。表面には鑄が表現される。裏面は平坦であり横方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	剣形
第639図 PL.550	54	石製品 石製模造品	埋土 完形	長幅	4.0 2.0	厚重 0.5 5.9	滑石	暗緑灰色。表裏面は横～斜め方向の擦痕が認められる。側面にも全体的に擦痕が認められる。孔は存在しない。	剣形
第639図 PL.550	55	石製品 白玉	北壁沿い埋土 完形	長幅	0.6 0.6	厚重 0.4 0.15	滑石	オリーブ灰色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸で構成される。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第639図 PL.550	56	石製品 白玉	北壁沿い埋土 完形	長幅	0.5 0.5	厚重 0.3 0.16	滑石	暗オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔は裏面への出口付近に階段状の段差が認められわずかに狭くなっている。孔径約2mm。	
第639図 PL.550	57	石製品 白玉	北壁沿い埋土 完形	長幅	0.5 0.5	厚重 0.2 0.07	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第639図 PL.550	58	石製品 白玉	北壁沿い埋土 完形	長幅	0.5 0.6	厚重 0.4 0.15	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがあり横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重	0.3 0.11			
第639図 PL.550	59	石製品 白玉	北壁沿い埋土 完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.3 0.11	滑石	オリブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがなく擦痕は認められない。孔径約2mm。
第639図 PL.550	60	石製品 白玉	北壁沿い埋土 完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.4 0.15	滑石	オリブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りがなく横方向の擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。
第639図 PL.550	61	石製品 白玉	北壁沿い埋土 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.3 0.13	滑石	灰白色。表面は曲面で構成され擦痕がわずかに認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。
第639図 PL.550	62	石製品 白玉	北壁沿い埋土 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.3 0.14	蛇紋岩	緑黒色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第639図 PL.550	63	石製品 白玉	北壁沿い埋土 完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.4 0.2	蛇紋岩	緑黒色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。

## 6区1号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口 高	高	5.6				
第643図 PL.550	1	土師器 杯	南壁沿い埋土 2/3	口 高	10.8 5.6		細砂粒・粗砂粒(微量)/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に2段の斜放射状ヘラ磨き。		
第643図 PL.550	2	土師器 杯	竈燃焼部支脚上 2/3	口 高	12.9 6.1		細砂粒・粗砂粒・褐色粒/良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。		
第643図 PL.550	3	土師器 杯	南壁際 2/3	口 高	13.7 4.9		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。		
第643図 PL.550	4	土師器 杯	南壁際 2/3	口 高	14.6		細砂粒・粗砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。		
第643図	5	土師器 杯	貯蔵穴東縁床直 1/4	口 高	13.9		細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。		
第643図	6	土師器 杯	埋土 1/5	口 高	13 4.8		細砂粒・粗砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。		
第643図 PL.550	7	土師器 杯	南壁際 1/2	口 高	16 6.7		細砂粒・粗砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。		
第643図	8	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口 高	14.8		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は手持ちヘラ削り。内面は体部にヘラナデ。		
第643図 PL.550	9	土師器 杯	南壁際 1/2	口 稜	12.4 12.6	高 5.6	細砂粒・粗砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。内面底部はヘラナデ。口唇端部は丸く作る。		
第643図	10	須恵器 杯蓋	埋土 口縁部～天井部 外縁片	口 稜	12.0 11.9		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。天井部外縁は稜を作る。天井部は回転ヘラ削り。口唇端部は平坦面を作り、中程に凹線状に窪む。		
第643図 PL.551	11	須恵器 脚付壺	埋土 脚部上端部～胴 部下半				細砂粒少量/還元焰/灰白	断面は還元せずにぶい橙色。ロクロ整形、回転は右回り。残存部上端に僅かに波状文が残る。僅かに残る脚部と底部外面に3方透孔の切り込みが残る。底部内面は螺旋状のロクロ目。		
第643図 PL.551	12	須恵器 甕	埋土 底部～頸部2/3	胴	13.2		細砂粒/還元焰/灰	胴部上位に1孔の円形透孔(径1.2cm)。ロクロ整形、回転は右回りか。粘土紐巻き上げによる成形、底部から胴部下半はヘラナデ、単位不鮮明。胴部最大径位置とその1.5cm上位に凹線による区画を巡らし、波状文を施した後円形の孔を穿ける。内面は底部に輪積み痕が残る。胴部下半はヘラナデ、上位には頸部を絞り上げていく過程の指頭痕が残る。		
第643図 PL.551	13	土師器 埴	埋土 口縁部一部、体 部1/3				細砂粒少量/良好/橙	口縁部内面は横ナデ。体部内面はナデで、上位に輪積み痕が残る。体部外面は丁寧なナデか。	外面の器表は摩滅。	
第643図	14	土師器 高杯	感度右脇床直 完形	口 脚	14.1 7.8	高 7.6	細砂粒・粗砂粒/良好/赤褐	杯部と脚部は接合。杯部口縁部は横ナデ、底部はヘラ削りか、器面摩滅のため単位不明、脚部は横ナデ。内面は杯部の体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。		
第643図	15	土師器 小型甕	埋土 口縁部～胴部上 位1/6	口 高	10.3		細砂粒少量/良好/にぶい橙	口縁部内面から胴部外面上端は横ナデ。胴部外面は横から斜位のヘラナデ。胴部内面は横位のナデ。		
第643図	16	土師器 小型甕	埋土 口縁部1/8、胴 部1/4	口 高	12.4		細砂粒/良好/浅黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面はナデで、残存部下端はヘラ削り。胴部内面はナデ。		
第643図 PL.551	17	土師器 小型甕	埋土 口縁部～胴部片	口 高	15.6		細砂粒・粗砂粒/良好/にぶい赤褐	内面黒色処理。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り後上位から中位はナデ。内面は胴部にヘラナデ。		
第643図 PL.551	18	土師器 壺	竈燃焼部灰面直上 口縁部～胴部 1/3	口 高	15.8		細砂粒・粗砂粒/良好/明赤褐	内面口縁部に接合痕、胴部内外面に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は器面摩滅のため整形不鮮明であるが、胴部下半にヘラ磨き痕が残る。内面胴部はヘラナデ。		
第644図	19	土師器 壺	貯蔵穴東縁床直 口縁部1/4	口 高	21.4		細砂粒・粗砂粒/良好/にぶい橙	口縁部内面から胴部外面上位は横ナデで、外面中位にヘラナデ箇所がある。胴部外面はナデ。胴部内面は丁寧なヘラナデ。		
第644図 PL.551	20	土師器 壺	貯蔵穴東縁床直 口縁部～胴部上 半片	口 高	19		細砂粒・粗砂粒・礫/良好/明赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。		
第644図 PL.551	21	石製品 管玉	北西部床直 完形	長 幅	1.3 0.7	厚 重	0.7 1.2	蛇紋岩	オリブ灰色。全体的に丁寧に研磨整形されておりわずかに光沢がある。下面にはわずかに細かい線状痕が認められる。上下面の孔径約2mm。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第644図 PL.551	22	石製品 管玉	北西部床直 完形	長 幅	2.4 0.7	厚 重	0.7 2.2	蛇紋岩	緑黒色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。上 下面の孔の周囲は浅鉢状に窪んでいる。上下面の孔径約3mm。	
第644図 PL.551	23	石製品 白玉	北西部床直 4/5	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.2	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。 側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認め られる。表面の孔の周囲は広がっており裏面からの穿孔の 際に表面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。	
第644図 PL.551	24	礫 粒状礫	竈右脇床直 完形	長 幅	1.4 1.2	厚 重	0.6 1.3	砂岩	暗褐色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第644図 PL.551	25	礫 粒状礫	竈右脇床直 完形	長 幅	2.0 1.3	厚 重	1.1 3.3	珪質頁岩	黒褐色。小形の垂円礫。全体的に滑らかでありわずかに光 沢がある。	
第644図 PL.551	26	礫 粒状礫	竈右脇床直 完形	長 幅	0.6 0.5	厚 重	0.4 0.1	変質安山岩	灰色。小形の垂円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第644図 PL.551	27	礫 粒状礫	竈右脇床直 完形	長 幅	1.1 0.8	厚 重	0.6 0.4	デイスイト凝灰岩	白色。小形の垂円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第644図 PL.551	28	礫 粒状礫	竈右脇床直 完形	長 幅	1.3 0.7	厚 重	0.4 0.5	変質安山岩	灰色。小形の垂円礫。全体的に半透明の膜に覆われており 光沢がある。	被膜
第644図 PL.551	29	礫 粒状礫	竈右脇床直 完形	長 幅	1.1 0.8	厚 重	0.7 0.8	砂岩	灰色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第644図 PL.551	30	礫 粒状礫	竈右脇床直 完形	長 幅	1.6 0.8	厚 重	0.7 1.1	珪質頁岩	暗褐色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢 がある。	
第644図 PL.551	31	礫 粒状礫	竈右脇床直 完形	長 幅	2.0 1.3	厚 重	1.0 4.0	チャート	暗灰色。小形の円礫。部分的に半透明の膜に覆われており わずかに光沢がある。	
第644図 PL.551	32	礫 粒状礫	竈右脇床直 完形	長 幅	1.2 0.6	厚 重	0.4 0.4	変質安山岩	暗灰色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢 がある。	
第644図 PL.551	33	礫 粒状礫	竈右脇床直 完形	長 幅	1.1 1.0	厚 重	0.6 0.9	流紋岩	黄褐色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢 がある。	
第644図 PL.551	34	礫 粒状礫	竈右脇床直 完形	長 幅	2.0 1.7	厚 重	0.5 1.7	変質安山岩	暗灰色。小形の垂円礫。部分的に半透明の膜に覆われており わずかに光沢がある。	被膜
第644図 PL.551	35	礫 粒状礫	竈右脇床直 完形	長 幅	1.1 0.8	厚 重	0.6 0.8	変質安山岩	黒褐色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第644図 PL.551	36	礫 粒状礫	竈右脇床直 完形	長 幅	1.6 1.2	厚 重	0.7 1.6	砂岩	暗褐色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第644図 PL.551	37	礫 粒状礫	竈右脇床直 完形	長 幅	1.3 1.1	厚 重	0.5 0.9	流紋岩	にぶい赤褐色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢 はない。	
第644図 PL.551	38	礫 粒状礫	竈右脇床直 完形	長 幅	1.0 0.8	厚 重	0.5 0.6	砂岩	暗褐色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第644図 PL.551	39	礫 粒状礫	竈右脇床直 完形	長 幅	2.3 1.7	厚 重	0.8 4.6	チャート	灰色。小形の円礫。全体的に滑らかであるが光沢はない。	
第644図 PL.551	40	礫 粒状礫	竈右脇床直 完形	長 幅	3.1 1.2	厚 重	0.7 4.1	変質安山岩	灰色。小形の円礫。全体的に半透明の膜に覆われており光 沢がある。	被膜
第644図 PL.551	41	礫 粒状礫	竈右脇床直 完形	長 幅	1.1 0.8	厚 重	0.4 0.2	粗粒輝石安山岩	白色。小形の円礫。表面は全体的にザラザラしている。	
第644図 PL.551	42	礫 粒状礫	竈右脇床直 完形	長 幅	1.4 0.9	厚 重	0.5 1.0	砂岩	暗褐色。小形の垂円礫。全体的に半透明の膜に覆われており 光沢がある。	被膜

6区2号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第647図	1	土師器 杯	埋土 口縁部1/5	口	15.6			細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面上位はナデで、中位以下はヘラ 削り。内面の体部以下はナデ。
第647図	2	土師器 杯	埋土 口縁部～体部片	口	12.5			細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半は手持ちヘラ削り 。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。
第647図	3	土師器 杯	埋土 口縁部一部、底 部1/3	口 高	12 5.8			細砂粒少量/良好/ 明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面はナデ。底部外面はヘラ削り後に ヘラ磨き。体部から底部内面は丁寧にヘラナデかヘラ磨き。
第647図 PL.551	4	土師器 杯	埋土 1/3	口 稜	11.8 11.8			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。
第647図	5	土師器 杯	西壁沿い埋土上層 1/4	口	11.9			細砂粒/良好/明赤 褐	底部内面から口縁部外面は横ナデで、口縁部内面上半はナ デ上げ部が残る。外面のナデ上げ部は認められない。底部 外面はヘラ削り。底部内面中央はナデ。
第647図	6	土師器 甕	西壁沿い埋土上層 口縁部～胴部上 位片	口	18			細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラナデ。内面胴部はヘ ラナデ。
第647図 PL.551	7	土師器 甕	南壁際床直 完形	口 底	16.2 7.3	高	25.7	細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴 部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。
第647図 PL.551	8	石製品 勾玉	中央部埋土上層 完形	長 幅	2.6 1.4	厚 重	0.9 2.5	不明	オリブ灰色。全体的に緩やかな稜線状の痕跡が認められ 多くの作出面で構成される。全体的にわずかに光沢がある。 表面の孔は楕円形を呈する。孔径約2mm。

6区3号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第651図 PL.552	1	土師器 杯	埋土 完形	口 高	9.8 6.2			細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	内面黒色処理。口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘ ラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。
第651図 PL.552	2	土師器 杯	竈右脇床直 2/3	口 高	12.2 5.4			細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内 面は体部上半から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第651図 PL.552	3	土師器 杯	南西隅床直 完形	口 高	13.7 5.1		細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第651図 PL.552	4	土師器 杯	竈焚口床上4cm 完形	口 高	13.4 5.7		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第651図 PL.552	5	土師器 杯	埋土 底部中央欠	口	12.8		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部上半に斜放射状ヘラ磨き。	
第651図	6	土師器 杯	南西隅床直 1/4	口 高	15.4 6.2		細砂粒・粗砂粒少 量/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部から底部の外面はヘラ削り。体部から底部の内面はナデ。体部の器壁は厚い。	
第651図 PL.552	7	土師器 杯	南壁際床直 完形	口 稜	12.5 12.5	高 5.2	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は丸く作る。	
第651図 PL.552	8	土師器 杯	南西隅埋土上層 1/2	口 稜	15.9 16	高 8.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面を作る。	
第651図 PL.552	9	手捏ね土器 杯形	竈左脇床直 ほぼ完形	口 底	5.1 3.5	高 3.1 孔 1.1	細砂粒/良好/明赤 褐	底部はヘラナデ、口縁部はナデ。内面はナデ。口縁部に焼成前の穿孔有り。	
第651図	10	土師器 壺	南西隅埋土上層 頸部~胴部1/2	頸	10.2		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、頸部下はナデ、胴部はヘラ磨き。内面は胴部と口縁部下半はヘラナデ、口縁部にヘラ磨き。	
第651図	11	土師器 甕	南西隅埋土上層 口縁部~胴部上 半片	口	15		細砂粒/良好/にぶ い褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第651図 PL.552	12	土師器 甕	中央部埋土 胴部下位~底部	胴	23.5		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	胴部はヘラ削り、下位は器面摩滅のため単位不鮮明。内面はヘラナデ。底部欠損後、円形の孔に調整か。	甕として再利用か。
第651図 PL.552	13	土師器 壺	竈焚口床直 口縁部~胴部	口	17.6		細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/にぶい褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り、器面摩滅のため一部単位不明。内面胴部はヘラナデ。	
第651図 PL.552	14	土製品 管玉	北東部床直 完形	長 幅	2.3 0.9	厚 0.9 重 2.9	蛇紋岩	緑黒色。全体的に丁寧な研磨整形されており光沢がある。上下面にはわずかに線条痕が認められる。上下面の孔径約3mm。	

5区3号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第653図	1	土師器 杯	南東部床直 2/3、口縁部ほ ぼ欠	口 高	12.4 4.4		細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り、口縁部下にナデ部分が残る。内面は底部から口縁部に放射状ヘラ磨き。	
第653図 PL.552	2	土師器 杯	南壁沿い床直 口縁部1/3欠	口 高	12.1 5.1		細砂粒、大粒の赤 色粘土粒/良好/明 赤褐~橙	体部内面から体部外面は横ナデ。底部外面はヘラナデに近い削りで、底部中央付近のみヘラナデ。底部内面周縁から口縁部内面は放射状ヘラ磨き。底部内面中央のヘラ磨きは不定方向。	
第653図 PL.552	3	土師器 杯	南壁沿い床 4cm 口縁部一部欠	口 高	11.7 5.4		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、中位にヘラ磨き、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から口縁部に放射状ヘラ磨き。	
第653図 PL.552	4	土師器 杯	南東部床上4cm 1/4	口	13.0		細砂粒・大粒の赤 色粘土粒/良好/明 赤褐	口縁部は横ナデで、外面は本数の少ない横位ヘラ磨き。口縁部内面の横ナデはナデ上げ部が認められるが、下部の横ナデ範囲は器表剥離のため不明。底部内面は丁寧なナデかヘラ磨き。体部外面はナデ。底部外面はヘラ削り。	体部内面器表の剥離著しい。
第655図 PL.552	5	土師器 杯	貯蔵穴埋土 1/2	口 高	17.0 5.4		細砂粒少量/良好/ 明赤褐	内面は放射状ヘラ磨き。底部外面は弧状のヘラ磨き。体部から口縁部外面は口縁部に向かい左傾の斜放射状ヘラ磨きの後、外面体部下位に斜放射状ヘラ磨き。体部はほぼ等間隔の小孔を焼成後に内面側からあける。小孔外面側周縁の微細剥離が多い。	体部に焼成後の穿孔。
第655図 PL.552	6	土師器 杯	埋土 完形	口 高	13.2 4.6		細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐~にぶ い褐	口縁部と底部内面の器表は剥離部分多い。口縁端部は場所により上方に立ち上がる。口縁部は横ナデ。体部外面以下はヘラナデに近いヘラ削りで単位不明瞭。外面の体部から口縁部は端部に向かい左傾の斜放射状ヘラ磨き。内面は口縁部に向かい右傾の密な斜放射状ヘラ磨き。底部内面も密なヘラ磨きだが、剥離のため単位不明。	
第655図 PL.552	7	土師器 杯	南壁際床上10cm 1/4	口	12.7		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部に放射状ヘラ磨き、口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第655図 PL.552	8	土師器 鉢	東壁沿い床直 1/2	口 高	15.6 8.2		細砂粒~礫/良好/ にぶい赤褐	胴部上位から口縁部は横ナデ。胴部以下の内面は丁寧なナデ。胴部外面は縦位のナデ。底部外面はヘラ削り。	
第655図 PL.553	9	土師器 高杯	貯蔵穴埋土 底部一部欠	口 脚	18.0 13.5	高 15.0 ~ 16.0	細砂粒少量/良好/ 明赤褐	杯部内面の横ナデ範囲は不明。外面は稜線部下まで横ナデで、稜線部上はやや強い横ナデ。底部外面はナデで、脚接合部は横ナデ。口縁部外面は端部に向かい左傾の斜放射状ヘラ磨き。内面は口縁端部に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨き。脚柱部は縦位ヘラ磨きで、裾部外面は端部に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨き。裾部内面は横ナデ。脚柱部内面はヘラ削りで最上部に絞り目。	同方向の口縁部外面と裾端部付近に黒斑。
第655図 PL.552	10	土師器 高杯	貯蔵穴南脇床直 杯部1/4欠	口	18.8		細砂粒/良好/赤褐	口縁部内面から外面稜線部下まで横ナデ。底部内面中央から口縁部は放射状ヘラ磨き。底部外面はナデで、脚接合部は弱い横ナデ。	
第655図 PL.552	11	土師器 高杯	東壁沿い床直 杯部1/2	口	18.0		細砂粒少量/良好/ 明褐	口縁部は横ナデ後斜放射状ヘラ磨き。底部はナデ。稜線付近は幅の狭いヘラナデ。内面底部は放射状、口縁部は端部に向かい左傾の斜放射状ヘラ磨き。脚部は欠損。	
第655図 PL.552	12	土師器 高杯	貯蔵穴北縁 杯部完形	口	17.9		細砂粒・粗砂粒少 量/良好/明赤褐	口縁部は横ナデで、内面にナデ上げ部が残る。外面の稜線下はヘラ削りとナデ。脚接合部外面は横ナデ。底部内面はナデ。	口縁部外面に黒斑。
第655図 PL.553	13	土師器 高杯	南壁際床上4cm 杯部1/4	口	12.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい赤褐	脚部との接合方法不明。杯部は口縁部が横ナデ、底部はヘラ削り。内面は底部と口縁部に放射状ヘラ磨き。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第655図 PL.553	14	土師器 甌	貯蔵穴床上8cm 胴部下位～底部	底	7.3		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい褐	胴部外面はナデ。底部外面はヘラ削り。底部は焼成後に棒状工具による穿孔。胴部から底部内面はナデで、図示した面の反対側は粗い斜位ハケメ。	
第655図 PL.553	15	土師器 鉢	東壁沿い床直 1/2	口 底	19 5.6	高	13.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/黒褐	口縁部は横ナデ、体部はハケメ(1cmあたり6本)、底部はヘラ削り。内面は体部がハケメ、底部は器面剥離のため整形不明。
第655図 PL.553	16	土師器 壺	南壁沿い床直 口縁部～胴部	口	20.2			細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/橙	口縁部は頸部で胴部と接合。口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。
第655図 PL.553	17	石製品 砥石	南西部床直 不明	長 幅	(6.2) (3.0)	厚 重	0.8 25.8	粗粒輝石安山岩	表裏面は全体的に滑らかであり砥面と判断される。左右両側面と上部小口面は全体的に滑らかであり砥面の可能性がある。
第655図 PL.553	18	石製品 砥石	南東隅床上4cm 完形	長 幅	8.0 4.2	厚 重	1.5 94.3	粗粒輝石安山岩	表裏面は全体的に滑らかであり砥面と判断される。表面には線条痕がわずかに認められる。左右両側面と上下小口面は全体的に滑らかであり砥面の可能性がある。
第656図 PL.553	19	礫石器 砥石	東壁沿い床直 完形	長 幅	19.2 10.7	厚 重	7.8 1701.7	珪質変質岩	表裏面の中央付近と右側面に非常に滑らかな部分が認められ砥面と判断される。左側面の中央と下端部に敲打痕が集中する。円礫を利用する。
第656図 PL.553	20	礫石器 砥石	竈左脇床上7cm 完形	長 幅	24.9 23.3	厚 重	11.0 9500.0	粗粒輝石安山岩	表面の中央に非常に滑らかな部分が認められる。砥石に分類される可能性もある。円礫を利用する。

5区4号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第658図 PL.553	1	土師器 杯	東部床上4cm 完形	口 高	11.6 4.6			細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ後斜放射状ヘラ磨き、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から口縁部に放射状ヘラ磨き。
第658図 PL.553	2	土師器 杯	東部床直 完形	口 底	14.8 2.8	高	4.5	細砂粒少量/良好/ 明赤褐	内面器表の剥離が著しい。体部内面の一部にヘラ磨きが残る。口縁部外面は横ナデ。体部外面上位は幅の狭いヘラナデ。体部外面中位、底部外面周縁はヘラナデで単位は不明瞭。底部外面中央は小さく平坦でナデか。
第658図 PL.553	3	土師器 鉢	北東壁沿い床上 4cm 3/4	口 高	10.5 6.1			細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は底部にヘラ磨き、体部と口縁部は器面摩滅のため整形不鮮明。
第658図 PL.553	4	土師器 高杯	東部床直 杯部2/3	口	15.5			細砂粒・粗砂粒/ 良好/暗赤褐	口縁部は横ナデ。内外面はハケメが一部残る。底部内面はハケメで、周縁はナデによりやや消える。底部外面はナデ。脚貼付部は接合部で剥がれる。粘土ホゾ先端は欠損。
第658図 PL.553	5	土師器 高杯	北部床直 脚部一部欠	口 脚	16.5 12.9	高	13.7	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部内面から外面稜線下部は横ナデ。底部内面は平坦で丁寧なナデ。口縁部外面は口縁部に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨きで、外面は左傾の斜放射状ヘラ磨き。脚柱部外面は幅広の縦位ヘラ磨き。脚裾部は横ナデ。脚裾部外面は端部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。脚柱部内面は横位ヘラナデ。
第658図 PL.553	6	土師器 高杯	南西壁際埋土 脚部1/2	底	12.5			細砂粒/良好/赤褐	杯部と脚部の接合状態不明。脚部から裾部はヘラ磨き。内面は裾部が横ナデ、脚部はヘラナデ。
第658図 PL.553	7	土師器 小型甕	北部床直 底部欠	口	15.2			細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、胴部から底部はヘラ削り。内面は口縁部に斜放射状ヘラ磨き、胴部はヘラナデ。
第658図 PL.554	8	礫 棒状礫	北隅床直 完形	長 幅	14.1 5.1	厚 重	4.1 462.2	ひん岩	棒状の垂円礫。
第658図 PL.554	9	礫 棒状礫	北隅床直 完形	長 幅	13.9 6.2	厚 重	4.2 598.6	粗粒輝石安山岩	棒状の円礫。表裏面の中央付近がわずかに滑らかである。
第658図 PL.554	10	礫 棒状礫	北隅床直 完形	長 幅	16.7 6.6	厚 重	4.8 620.2	粗粒輝石安山岩	棒状の円礫。上部に敲打痕が集中する。
第658図 PL.554	11	礫 棒状礫	北隅床直 完形	長 幅	14.4 5.6	厚 重	4.0 485.9	粗粒輝石安山岩	棒状の円礫。
第658図 PL.554	12	礫 棒状礫	北隅床直 完形	長 幅	14.0 3.8	厚 重	3.1 309.1	粗粒輝石安山岩	棒状の垂円礫。下部に敲打痕がわずかに認められる。

5区5号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第662図 PL.554	1	土師器 杯	貯蔵穴西側床直 口縁部一部欠	口 高	13.8 6.7			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面はヘラナデ後底部から口縁部に粗い放射状ヘラ磨き。
第662図 PL.554	2	土師器 杯	貯蔵穴北縁床直 3/4	口 高	13 5.7			細砂粒・褐色粒/ 良好/明褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。
第662図 PL.554	3	土師器 杯	埋土 3/4	口 高	11.5 5.7			細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部にかけて斜放射状ヘラ磨き、体部は器面が荒れており単位不明。
第662図 PL.554	4	土師器 杯	竈北側壁沿い床直 1/3	口	12.8			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り、体部は器面摩滅のため一部単位不鮮明。
第662図	5	土師器 杯	埋土 1/4	口	12.6			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい赤褐	内面の器表は摩滅。口縁部外面は横ナデ。体部から底部外面はヘラ削りに近いヘラナデで、単位や方向は不明瞭。
第662図 PL.554	6	土師器 杯	竈崩落粘土上 1/3	口 稜	12.6 14	高	5.9	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り、器面摩滅のため単位不明。口縁部は内傾し、端部は丸く作る。
第662図	7	土師器 杯	埋土 1/8	口 高	12.8 3.8			細砂粒少量/良好/ 明赤褐	口縁部は横ナデ。内面は底部から体部に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨き。体部外面はナデで、底部外面はヘラ削りかヘラナデ。
第662図 PL.554	8	土師器 杯	竈崩落粘土上 1/2	口 高	13.7 4.6			細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等		成形・整形の特徴												備考
				口高	口底	高	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫			
第662図 PL.554	9	土師器 杯	竈崩落粘土上 1/3	口高 13 5				細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は 体部に斜放射状ヘラ磨き。												
第662図 PL.554	10	土師器 杯	貯蔵穴西側床直 完形	口高 12.3 6.9				細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄褐	口縁部は横ナデ、体部から底部はハケメ後手持ちヘラ削り、 一部にハケメが残る。内面は底部から体部にヘラナデ。												
第662図	11	土師器 杯	埋土 1/4	口高 14.4 5.5				細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は 底部から体部に斜放射状ヘラ磨き。												
第662図 PL.554	12	土師器 杯	竈崩落粘土上 1/3	口底 4.0前 後	高	5.6		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明褐	口縁部は横ナデ、体部上位はヘラナデ、中位から底部はヘ ラ削り、器面摩滅のため単位不明。内面体部に斜放射状ヘ ラ磨き。												
第662図 PL.554	13	土師器 杯	貯蔵穴西側床直 完形	口底 12.5 3.5	高	6		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、体部は上位・中位がナデ、下位は手持ち ヘラ削り、底部は木葉痕が残る。内面は底部から体部にヘ ラナデ、底部から体部下半は器面摩滅のため単位不明。												
第662図 PL.554	14	土師器 杯	貯蔵穴北側床直 1/2	口底 12.6 4.5	高	5.5		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄褐	口縁部は横ナデ、体部から底部周囲は手持ちヘラ削り、器 面摩滅のため単位不鮮明、底部中央に木葉痕が残る。内面 は体部に粗い斜放射状ヘラ磨き。												
第662図 PL.554	15	土師器 杯	貯蔵穴北側床上 10cm 1/2	口高 11.8 7.1				細砂粒/良好/にぶ い黄褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ後部分的にヘラ磨き、底部は ヘラ削り。内面は底部から体部にヘラナデ。												
第663図 PL.554	16	土師器 杯	竈崩落粘土上 1/3	口稜 14.8 14	高	5.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇部 は平坦面をつくり、内側が僅かに肥厚する。												
第663図 PL.554	17	土師器 杯	埋土 1/2	口稜 11.8 11.8				細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。口唇部 は内傾する平坦面を作る。												
第663図 PL.554	18	土師器 杯	東壁際床直 完形	口稜 12.8 13.4	高	5.2		細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ、稜下の体部上半はナデ、下半からから底 部は手持ちヘラ削り。												
第663図 PL.554	19	須恵器 壺	埋土 口縁部1/8					細砂粒微量/還元 焰/黄灰	器壁は薄く、端部は肥厚し、内傾する面を作る。												内面に降灰付 着。
第663図 PL.554	20	須恵器 壺	埋土 胴部片					細砂粒/還元焰/灰	口縁部は横ナデ、体部から底部はナデ。内面は底部から口 縁部までナデ。												
第663図 PL.554	21	手捏ね土器 杯形	埋土 3/4	口高 6.1 6.9				細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、体部から胴部はナデ。内面は底部から口 縁部までナデ。												
第663図 PL.554	22	土師器 杯	貯蔵穴埋土中位 口縁部一部欠	口底 12.6 8.1	高	6.9		細砂粒/良好/黒褐	外面に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部はヘラナデ、 底部はヘラ削り。内面は底部から体部にヘラナデ。												
第663図 PL.554	23	土師器 鉢	竈崩落粘土上 3/4	口底 11.7 4	高	9.7		細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	体部は内外面に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部は 上半がナデ、下半はヘラ削り、底部は木葉痕が残る。内面 は底部から体部にヘラナデ後体部下半にヘラ磨き。												
第663図	24	土師器 小型甕	竈崩落粘土上 底部～胴部下 半	底	4.4			多くの細砂粒/良 好/にぶい橙	底部と胴部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。 胴部は内外面とも器面摩滅のため単位不明。												
第663図	25	土師器 小型甕	竈崩落粘土上 口縁部～胴部上 位1/4	口高 10.9				細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面の器表は摩滅。胴部内面は横位 ヘラナデで、輪積み痕が残る。												
第663図 PL.554	26	土師器 小型甕	貯蔵穴埋土中位 口縁部～胴部一 部欠	口高 12.6 10.8				細砂粒・粗砂粒/ 良好/黄灰	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位から中位がヘラナデ、 下位から底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。												
第663図	27	土師器 埴	竈崩落粘土上 胴部上半片	頸	7.2			細砂粒/良好/橙	内面胴部に輪積み痕が残る。胴部は斜めのヘラ磨き。内面 はヘラナデ。												
第663図	28	土師器 壺か甕	南西隅床直 底部	底	7.8			細砂粒・粗砂粒/ 良好/浅黄橙	外面は褐灰色。胴部下位外面はヘラナデで下端はナデ。底 部外面はヘラ削り。底部内面はヘラナデか。												
第663図 PL.554	29	土師器 小型甕	東壁際床直 完形	口底 12.9 6.9	高	17.8		細砂粒・粗砂粒 (少)/良好/暗黄褐	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴 部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部にヘラナデ。												内面に白色の 付着物有り。
第663図	30	土師器 小型甕	竈西側床直 1/3	口底 9 3	高	13.6		細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/黒褐	口縁部は上半が横ナデ、下半から胴部、底部はヘラ削り。 内面は底部から胴部がヘラナデ、頸部はヘラ削り。												
第664図 PL.555	31	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部	口高 17.9				細砂粒・粗砂粒/ 良好/灰褐	口縁部は横ナデ、胴部は上半がヘラナデ、下半がヘラ削り。 内面は胴部がヘラナデ。外面胴部中位にカマドに装着時の 粘土付着。												
第664図 PL.555	32	土師器 壺	貯蔵穴埋土上層 胴部一部・底部 欠	口高 17.5				細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	内外面の胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部は ヘラナデ、大部分は器面摩滅のため単位不明。内面胴部は ヘラナデ、器面摩滅のため単位不明。												
第664図 PL.555	33	土師器 壺	竈崩落粘土上 口縁部・胴部一 部欠	口底 16 4.7	高	32.6		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部はハケメ後部分的にナデ、底部はヘ ラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデか、器面摩滅のた め単位不明。												胴部下半に器 面摩滅部位あ り。
第664図 PL.555	34	土師器 壺	竈崩落粘土上 口縁部～胴部片	口高 18.4				細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は中位に稜をもつ。口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削 り後ヘラナデ、器面の大部分は摩滅のため単位不明。内面 胴部はヘラナデ、内面も大部分が器面摩滅のため単位不明。												
挿図 PL.No.	No.	器種 細別器種	出土位置 残存率	法 量												観 察					
第664図 PL.555	35	錐	埋土 中央部破片	① 2.5+	② 2.5+	③ 1.2+	④ 0.25	⑤ 0.25	⑥ 1.2+	⑦ 0.3	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	錐の破片。茎とそこに巻かれた木質が一 部付着している。先端に向かい細くなる。 断面方形。					
第664図 PL.555	36	刀子 両関刀子	南西隅床上7cm 完形	11.25	7.0	1.3	0.2	4.25	1.0	0.2						両関(X線で確認)の刀子で完形品。刃関は、 下新田遺跡で良く見られる山字状のものでは 無いが、茎側は角関であり、刃先側は緩やか に内湾するカーブを持つもので山形の関と近 似する。棟関は角関である。刃部は幅広でほ ぼ直線状に刃先に向かう。茎は茎尻に向けて やや細くなるものである。錆の具合で目釘が あるかのように見えたが、X線確認の結果、 目釘が無いことが分かった。木質の痕跡は無 い。					

5区6号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第667図	1	土師器 杯	埋土 1/5	口 高	13.6 4.5	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第667図 PL.555	2	土師器 杯	南壁沿い床直 1/3	口	14.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第667図 PL.555	3	土師器 杯	南壁沿い床直 1/4	口 高	13.7 5.2	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第667図 PL.555	4	土師器 杯	南壁沿い床直 完形	口 高	11.9 5.2	細砂粒、大粒の赤 色粘土粒/良好/橙	口縁端部に1条の沈線。内面から口縁部外面は横ナデ。底部外面はヘラ削り。	底部外面に灰 黒色の黒斑。
第667図	5	土師器 杯	竈燃烧部灰面上 7cm 1/3	口	13.8	細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	底部内面周縁から口縁部外面は横ナデ。底部内面中央はナデ。底部外面はヘラ削り。	底部外面はや や摩滅。
第667図	6	土師器 杯	埋土 1/4	口 高	12.0 4.7	細砂粒/良好/赤褐	内面から口縁部外面は横ナデ。底部外面はヘラ削りで方向不明瞭。	口縁部の器面 は斑状に剥離。
第667図	7	土師器 甕	竈燃烧部灰面直上 頸部～胴部上半			細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り後ヘラナデ、一部ヘラ削りが残る。内面は胴部にハケメの残るヘラナデ。	
第667図	8	土師器 甕	竈左袖崩落土内 口縁部片	口	22.9	細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/赤褐	口縁部外面は縦方向のヘラナデ。内面は横ナデ。	
第667図	9	土師器 甕	竈前床直 胴部～底部	底	6.7	細砂粒～礫少量/ 良好/オリブ黒	断面はにぶい橙色。外面はナデ。内面はヘラナデ。残存部上位の内外面に輪積み痕が残る。	

5区7号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第671図 PL.556	1	土師器 杯	西壁沿い床直 6cm 口縁部一部欠	口 高	12 6	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第671図 PL.556	2	土師器 杯	南壁際床直 1/2	口	14.3	細砂粒/良好/赤褐	口縁部内面から体部上位は横ナデ。体部外面はナデ。底部外面はヘラ削り。底部周縁から体部内面は口縁部に向かい、右傾の斜放射状ヘラ磨き。底部内面はナデ。	体部内面の器 表は部分的に 剥離。
第671図 PL.556	3	土師器 杯	南東部床上14cm 3/4	口 高	14 5.8	細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部に放射状ヘラ磨き。	
第671図 PL.556	4	土師器 鉢	北西隅埋土 完形	口 底	13.8 4.0	高 6.3 細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙～灰白	口縁部は横ナデ。体部外面は部分的に縦位のヘラナデ。体部外面下位はヘラ削り。体部内面はナデ。底部内面はヘラ削り。	器面の凹凸や 歪みが目立つ。
第671図 PL.556	5	土師器 鉢	埋土 口縁部一部欠	口 底	11.1 ~ 12.0 3.0	高 6.3 細砂粒・粗砂粒/ 良好/褐	口縁部内面は横ナデ。体部外面は雑なナデで、器面に凹凸多い。底部外面は無調整に近い。胴部から底部内面はヘラナデ。	
第671図 PL.556	6	土師器 埴	埋土 口縁部	口	8.4	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は内外面ともヘラナデ後放射状ヘラ磨き。	
第671図 PL.556	7	土師器 小型甕	北西部床面近く 3/4	口 底	15 4.5	高 15 細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。胴部中位は器面摩滅のため単位不明。内面は底部から胴部が磨き。	
第672図 PL.556	8	土師器 鉢	南東部床直 1/2	高	9.0	細砂粒～礫少量/ 良好/明赤褐～に ぶい黄褐	口縁部は雑な横ナデ。胴部外面はナデで、口縁部から胴部外面の一部にハケ状工具によるナデ。体部外面下端はヘラ削り。口縁部内面から胴部内面は削りに近いヘラナデ。底部内面はヘラ磨きで光沢を有する。底部外面は縮緬状の跡が残る。	歪みが大きく 径の復元は不 可能。
第672図 PL.556	9	土師器 鉢	竈左脇崩落土内 口縁部～胴部 1/2欠	口 底	14.1 5.5 ~ 6.0	高 9.9 細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙～褐	口縁部は雑な横ナデで、外面には折り返し状の痕跡が残る。底部の器壁は厚く、内面は平坦。胴部内面は雑なナデ。底部内面は平坦でヘラナデか。胴部外面はナデで、部分的にヘラナデ。胴部外面下端はヘラ削り。底部外面は縮緬状の跡が残る。	
第672図 PL.556	10	土師器 甕	北西部床面近く 口縁部～胴部上 半	口	13.9	細砂粒/良好/黒褐	頸部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、頸部は指頭痕が残る、胴部はヘラナデ。内面は口縁部上半が横ナデ、下半から胴部はヘラナデ。	
第672図	11	土師器 甕	竈前床直 口縁部～胴部片	口	14.9	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はハケメ後ヘラナデ。内面胴部はヘラナデ。	
第672図	12	土師器 壺	中央部北縁床直 口縁部一部、胴 部1/5	口	17.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい褐	断面中央は黒色。口縁部は横ナデ。胴部内外面はナデで、内面は輪積み痕が明瞭に残る。	
第672図	13	土師器 壺	竈前床直 口縁部～胴部片			細砂粒/良好/橙	胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はハケメ後ヘラナデ。内面胴部はヘラナデ。	
第672図 PL.556	14	土師器 甕	貯蔵穴埋土中位 口縁部～胴部上 位	口	17.7	細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	胴部外面は幅広の縦位ハケメ。口縁部は胴部ハケメの後に横ナデ。胴部内面は丁寧な横位ヘラナデ。	
第673図 PL.556	15	土師器 壺	北西部床面近く 4/5	口 底	15.7 7.2	高 26.7 細砂粒・粗砂粒/ 良好/浅黄橙	口縁部上半は横ナデ、下半は縦方向のヘラナデ、胴部と底部は器面の風化が激しく整形不明。内面は底部から胴部にヘラナデ、器面摩滅のため単位不明。	
第673図 PL.556	16	土師器 甕	北西部床面近く ほぼ完形	口 底	18.2 5.5	高 29.6 細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/にぶい橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部にかけてヘラナデ、器面摩滅のため単位不明。	
第673図 PL.557	17	土師器 壺	北西部床面近く 口縁部～胴部下 位	口	17.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄褐	口縁部は横ナデ。胴部外面上位から中位はハケメ、下位はハケメの後ナデ。胴部内面はナデ。肩部と口縁部境の内面に接合痕。	
第673図 PL.557	18	土師器 壺	北西部床面近く 口縁部～胴部上 半片	口	16.7	細砂粒・粗砂粒/ 良好/浅黄橙	口縁部から胴部は縦方向のハケメ。内面は口縁部から頸部に横方向のハケメ、胴部はヘラナデ。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴													備考	
				底	7.2			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬		
第673図 PL.556	19	土師器 甕	竈前床直 底部～胴部下	底	7.2		細砂粒/良好/赤褐	底部はヘラ削り、胴部はヘラ削り後ナデ。内面は底部から胴部にかけてヘラナデ。														
第674図 PL.557	20	石製品 紡輪	東壁沿い埋土上層 1/2	長幅	(3.6) (2.0)	厚重	1.7 12.9	滑石	全体的にわずかに光沢がある。表面には細かい線条痕が認められる。体部側面には浅い断面U字形の溝状痕跡が縦方向に多数認められ、細かい線条痕も多数認められる。孔の内面は滑らかであり横方向の細かい線条痕が多数認められる。孔径約6mm。													逆台形状 (厚型)
第674図 PL.557	21	礫 粒状礫	竈掘方埋土 完形	長幅	2.3 1.9	厚重	0.8 4.6	変質安山岩	赤褐色。小形の円礫。全体的に滑らかでありわずかに光沢がある。													
第674図 PL.557	22	礫石器 磨石	北東部床直 完形	長幅	8.9 8.3	厚重	7.1 728.5	石英閃緑岩	極円礫を利用する。全体的に滑らかであり磨面と判断される。表面の左やや上方に非常に滑らかな部分が認められる。													
第674図 PL.557	23	礫石器 磨石	北東部床直 完形	長幅	8.1 7.3	厚重	6.3 503.3	粗粒輝石安山岩	極円礫を利用する。表面の中央付近に磨面が認められる。													
第674図 PL.557	24	礫 棒状礫	貯蔵穴埋土中位 完形	長幅	15.1 5.1	厚重	3.4 447.9	粗粒輝石安山岩	棒状の垂円礫。													
第674図 PL.557	25	礫 棒状礫	北東部床直 完形	長幅	14.3 5.7	厚重	3.0 323.8	粗粒輝石安山岩	棒状の円礫。表面の全体がわずかに滑らかである。													
第674図 PL.557	26	礫 棒状礫	北東部床直 完形	長幅	13.5 5.8	厚重	3.9 446.4	変質安山岩	棒状の円礫。													
第674図 PL.557	27	礫 棒状礫	北東部床直 完形	長幅	16.1 6.9	厚重	5.4 812.3	変質安山岩	棒状の円礫。全体的に滑らかであり表面の中央部が特に滑らかである。													
第674図 PL.557	28	礫 棒状礫	北東部床直 完形	長幅	15.2 6.6	厚重	4.0 627.4	粗粒輝石安山岩	棒状の円礫。													
第674図 PL.557	29	礫石器 砥石	北東部床直 完形	長幅	14.1 6.2	厚重	8.6 1290.7	粗粒輝石安山岩	表面と左右両側面に非常に滑らかな部分が認められ砥面と判断される。下部小口面は平坦で全体的に非常に滑らかであり砥面と判断される。裏面にの滑らかな部分が認められる。表裏面と右側面の上方に敲打痕が集中する。表面と右側面との境界には断面V字状の線条痕が集中する。円礫を利用する。													
第674図 PL.557	30	礫石器 台石	北東部床直 完形	長幅	22.1 20.1	厚重	5.3 3533.8	変質安山岩	表面の中央に非常に滑らかな部分が認められる。円礫を利用する。													
挿図 PL.No.	No.	器種 細別器種	出土位置 残存率	法 量													観 察					
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬						
第674図 PL.557	31	三角形鉄片	埋土 完形	5.5	1.75	0.1												三角形の鉄片。厚さ1mmと非常に薄く、頂部が少し屈曲し、右端部も少し屈曲している。鉄器製作時の破片で素材として再利用される。				

5区8号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴													備考
				口高	13.4 4.1			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
第677図 PL.557	1	土師器 杯	埋土 1/2	口高	13.4 4.1		細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。													
第677図 PL.557	2	土師器 椀	竈焼土周辺床直 3/4	口高	11.7 7.7		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラナデ後ヘラ磨き、底部はヘラ削り。内面は一部にハケメが残る。													
第677図	3	土師器 埴か	竈焼土周辺床直 胴部1/3				細砂粒/良好/明褐	胴部外面の上半はヘラ磨き、下半はヘラナデ。胴部内面上位は指頭圧痕の窪み。胴部内面の中位以下はヘラナデ。													
第677図 PL.557	4	土師器 壺	竈焼土周辺床直 口縁部～胴部下 位片	口	10.6		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、胴部上半はナデ、下半はヘラ削り。内面は口縁部下半と胴部にヘラナデ。													
第677図 PL.557	5	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部 1/3	口	11.8		細砂粒/良好/浅黄 橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り後上半はヘラナデ。内面胴部はヘラナデ。													
第677図 PL.557	6	土師器 小型甕	竈焼土周辺床直 胴部～底部欠	口高	12.5 14		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り後ヘラナデ。内面胴部はヘラナデ。													
第677図 PL.558	7	土師器 壺	竈崩落粘土上 口縁部～胴部上 半	口	18.2		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口唇部は横ナデ、口縁部から胴部は縦方向のハケメ。内面は口縁部上位が横ナデ、中位と下位は横方向のハケメ、一部ナデ、胴部はヘラナデ、一部に指頭痕が残る。													
第677図 PL.558	8	土師器 鉢	竈焼土周辺床直 口縁部～体部下 位	口	18.8		細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/橙	内面体部下位に輪積み痕が残る。口縁部から体部上位は横ナデ、体部中位と下位はヘラ削り。内面は体部がヘラナデ。													

5区9号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴													備考
				口高	11.4 5.6			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
第678図 PL.558	1	土師器 杯	炉跡焼土内 3/4	口高	11.4 5.6		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。													
第678図 PL.558	2	土師器 杯	炉跡焼土内 3/4欠	口高	13.4 5.7		細砂粒・粗砂粒少 量/良好/橙～赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面は横ナデ。底部外面はヘラ削り。底部内面は丁寧なナデ。													底部外面は橙 色。
第678図 PL.558	3	土師器 鉢	炉跡焼土内 口縁部1/5、胴 部2/3	口	13.5		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明褐	口縁部は横ナデ。体部外面以下は単位が不明瞭なヘラナデ。体部内面以下はヘラナデ。残存部内面の1/2程の器表は黒色。													体部外面に小 黒斑。
第678図	4	土師器 甕か	炉跡焼土内 口縁部～胴部上 位1/8	口	12.6		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。胴部内外面はナデ。													

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第678図 PL.558	5	土師器 甕	炉跡焼土内 口縁部～胴部 1/4	口	15.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。胴部外面はやや雑なナデ。胴部内面上位は、一部に斜位ヘラナデの後に横位ナデ。		
第678図	6	土師器 甕	炉跡焼土内 口縁部～胴部	口	14.3		細砂粒・粗砂粒少 量/良好/にぶい黄 橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。		
第678図 PL.558	7	石製品 紡輪	南壁際床上13cm 1/3	長 幅	4.2 (3.3)	厚 重	(1.5) 17.1	滑石	表面には細かい線条痕が多数認められる。体部側面には縦方向の面取り整形痕が累積し刀子等工具による作出面の可能性がある。孔径約7mm。	逆台形状 (厚型)

5区10号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考								
第681図	1	土師器 杯	竈埋土 口縁部一部、底 部1/2	口	11.9		細砂粒・粗砂粒/ 良好/灰白	底部外面の器表は摩滅し、ヘラ削り痕は確認できない。底部内面周縁から口縁部外面は横ナデ。									
第681図 PL.558	2	土師器 杯	埋土 口縁部～底部 1/2	口	13.0		細砂粒少量/良好/ 橙	全体的に器表はやや摩滅。口縁部外面は横ナデ、体部外面はナデ、底部外面はヘラ削り。底部内面の一部にヘラ磨きが残るが、他の整形は不明。	器表はやや摩滅。								
第681図 PL.558	3	土師器 鉢	周堤盛土 口縁部1/4、底 部1/2	口 高	11.6 8.1		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ。体部内面以下はヘラナデ。体部外面以下はヘラナデ。	体部外面下端から底部周縁に黒斑。								
第681図	4	土師器 小型甕	竈左脇床直 胴部～底部	底	5.3		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい赤褐	胴部外面中位はナデ。胴部外面下位から底部外面はヘラ削り。胴部内面中位はナデ。胴部内面下位から底部内面はヘラ削りで、削り単位間の段差が著しい。									
第681図 PL.558	5	土師器 小型甕	南隅床上8cm 口縁部～胴部 1/2	口	10.8		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削りか、器面摩滅のため単位不鮮明。内面は胴部がヘラナデ器面剥落により単位不鮮明。									
第681図	6	土師器 甕	南東壁際埋土 口縁部1/4	口	16.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好/浅黄	口縁部は横ナデで、内面は胴部内面からのナデ上げが認められる。									
第681図 PL.558	7	土師器 甕	南隅床上8cm 口縁部～胴部上 位1/3	口	17.4		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラナデか。胴部内面はヘラナデ。									
挿図 PL.No.	No.	器種 細別器種	出土位置 残存率	法 量													観 察
第681図 PL.558	8	刀子 両関刀子	西部床上4cm 完形	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	両関刀子である。刃の先がかなり細くなり、使用による研ぎべりの可能性あり。棟部は角関で、刃関は、刃側と茎側の両方からゆるやかに盛り上がり、山形の関を見せるこの遺跡に特徴的なものである。茎には木質の付着なし。

5区11号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第684図 PL.558	1	土師器 杯	竈埋土 1/2	口	13.4		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は水平で、内斜口縁を押しつぶしたような形状。体部内面から口縁部外面は横ナデ。体部外面はナデ。底部外面はヘラ削り。底部内面はナデ。	平面形はやや歪む。	
第684図 PL.558	2	土師器 高杯	竈燃焼部灰面直上 杯部1/3	口	18.3		細砂粒/良好/赤褐	杯部口縁部は放射状ヘラ磨き、底部はヘラナデ。内面は底部から口縁部に放射状ヘラ磨き。		
第684図 PL.558	3	土師器 高杯	P2埋土上層 杯部と脚部1/2 欠	口 脚	17.7 14.0	高	13.3	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ後放射状ヘラ磨き。底部は脚部境から放射状のヘラナデ。内面底部はナデ後、口縁部に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨き。脚柱部外面は細い縦位ヘラ磨き。脚柱部内面は横位ヘラ削りで上部は絞り目。脚裾部は横ナデ。	
第684図	4	土師器 高杯	中央部床上6cm 脚部					細砂粒・粗砂粒、 径5ミリの小礫/ 良好/にぶい赤褐	杯身底部の突起を脚部に差し込み接合。脚部はナデ、裾部は放射状ヘラ磨き。内面は裾部が横ナデ、脚部はナデ。	
第685図 PL.558	5	土師器 埴	中央部床上9cm 胴部1/2片	頸 胴	5.4 17			細砂粒/良好/橙	内面胴部に輪積み痕が残る。頸部は横ナデ、胴部は上位がヘラナデ、中位から底部はヘラ削り。内面は頸部付近がナデ、底部から胴部はヘラナデ。	
第685図	6	土師器 甕	竈燃焼部 底部～胴部片	底	7			細砂粒・粗砂粒、 粗砂粒多い/良好/ 赤褐	底部はヘラ削り、胴部はヘラ削り後ヘラナデ。内面はハケメ。	
第685図	7	土師器 甕	竈焚口部灰面上 5cm 底部～胴部片	底	約4.0			細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	胴部下位は斜位のハケメで、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部に横位から斜位のハケメ。	
第685図 PL.558	8	礫 棒状礫	P2南縁床直 完形	長 幅	15.4 6.9	厚 重	4.3 682.6	粗粒輝石安山岩	棒状の円礫。	
第685図 PL.558	9	礫 棒状礫	南部床直 完形	長 幅	15.4 6.6	厚 重	4.2 599.2	粗粒輝石安山岩	棒状の円礫。表面の中央部がわずかに滑らかである。	
第685図 PL.558	10	礫 棒状礫	南西隅埋土上層 完形	長 幅	16.1 5.8	厚 重	4.6 402.0	粗粒輝石安山岩	棒状の亜円礫。	

5区16号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口高	高さ	底径			
第688図 PL.559	1	土師器 杯	竈右脇床直 完形	口高	13.1 6.1		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部内面から外面の端部付近は強い横ナデで、下位は弱い横ナデ。体部外面はナデ。底部外面はヘラ削り。体部内面は斜格子状のヘラ磨き。底部内面は丁寧なナデ。	
第688図 PL.559	2	土師器 杯	竈右脇床直 完形	口高	12.3 5.2		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面はナデで、底部外面はヘラナデ。体部内面は口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。底部内面は丁寧なナデ。	底部外面に黒 斑。
第688図 PL.559	3	土師器 杯	竈左脇床直 完形	口高	13.0 6.1		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面はナデ。体部外面から底部外面はヘラ削り。体部内面はヘラ磨きを斜格子状に交差させる。底部内面はナデ。	
第689図 PL.559	4	土師器 杯	竈燃焼部左袖内 2/3	口高	12.6 5.6		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面はナデ。底部外面はヘラ削り。体部内面から口縁部内面は端部に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨き。底部内面は丁寧なナデ。	
第689図 PL.559	5	土師器 杯	竈右脇床直 口縁部一部欠	口高	13.5 5.2		細砂粒・粗砂粒少 量/良好/明赤褐	口縁部内面から体部外面上位は横ナデ。体部外面はナデ。底部外面はヘラナデ。体部内面は口縁部に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨き。ヘラ磨きは弱く部分的に交差する。底部内面はナデ。	
第689図 PL.559	6	土師器 杯	竈右脇床直 完形	口高	14.2 5.7		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部内面から体部外面は横ナデ。底部外面はヘラ削り。体部内面は口縁部に向かい左傾の斜放射状ヘラ磨き。底部内面は丁寧なナデの後、ヘラ状工具による焼成前の暗文状刻み。	底部内面に暗 文状ヘラ記 号。
第689図 PL.559	7	土師器 鉢	竈右脇床直 胴部一部欠	口高	11.6 8.1		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙～ にぶい黄褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は磨きに近いヘラナデ。底部外面はヘラ削り。胴部内面は柔らかい工具による横ナデ。底部内面は丁寧なナデ。	胴部内面の器 表は黒色。
第689図 PL.559	8	土師器 鉢	竈燃焼部左袖内 口縁部一部欠	口高	12.1 8.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、体部は上位と中位がナデ、下位から底部はヘラ削り。内面は底部から体部がヘラナデ、器面摩滅のため単位不鮮明。	
第689図 PL.559	9	土師器 壺	埋土上層 口縁部1/4	口	15.4		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。外面胴部上位は一部残存するのみで横ナデ範囲不明瞭。口縁部外面は強い横ナデにより面取り状に平坦面となる。口縁部外面中位は口縁部外面と同様な工具による強い横ナデ。胴部内面上位は横ナデ。	
第689図 PL.559	10	土師器 壺	竈燃焼部支脚際上 口縁部一部欠	口底	15.7 7.7	高 30	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り後ヘラナデ、中位に器面摩滅力所あり。内面は底部から胴部がヘラナデ。	
挿図 PL.No.	No.	遺物名	出土位置 残存率	計測値(cm)			重量(g)	特徴など	
				長	幅	厚さ			
第689図 PL.559	11	埴形鍛冶滓	埋土 半欠	3.7	2.5	1.2	5.9	薄手の埴形鍛冶滓。上面は平滑で、下面は炉床土が付着している。気泡が多く内在し、比重が低く、主体は粘土質溶解物である。滓中に鉄部はほとんどない。	
第689図 PL.559	12	埴形鍛冶滓	埋土 一部欠損	4.6	3.6	2.2	32.7	やや厚手の埴形鍛冶滓。上面は平坦で、下面は炉床土が付着している。滓中に鉄部が多く内在し、炉床部を除く滓全体が強く錆化している。比重はやや低い。	

5区18号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口高	高さ	底径			
第695図 PL.559	1	土師器 杯	3号炉東床直 2/3	口底	10.6 6.0	高 5.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	体部内面から口縁部外面は横ナデ。体部外面は雑なナデで、口縁部下にはほぼ水平の輪積み痕。底部外面は粗いヘラ削り。底部内面はヘラナデの後丁寧なナデか。	
第695図 PL.559	2	土師器 杯	南部床直 3/4	口底	11.2 3	高 4.9	細砂粒・粗砂粒少 量/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部にヘラナデ。	
第695図 PL.559	3	土師器 杯	3号炉西床直 3/4	口高	13.4 5.5		細砂粒・粗砂粒少 量/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半ナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り、口縁部と体部上半に斜放射状ヘラ磨き。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第695図 PL.559	4	土師器 杯	南部床直 1/2	口	14.5		細砂粒・粗砂粒少 量/良好/橙	体部内面上半から体部外面上半は横ナデ。体部外面下半以下はヘラ削り。体部内面下半以下は丁寧なナデ。	
第695図 PL.560	5	土師器 杯	3号炉西床直 口縁部一部、底 部1/2	口高	13.8 4.4		細砂粒・大粒の赤 色粘土粒/良好/明 赤褐	内面の横ナデ境は不明瞭。口縁部外面は横ナデ。体部から底部外面の器表は摩滅気味でヘラナデ範囲不明瞭。内面のヘラ磨きは放射状からやや右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第695図 PL.560	6	土師器 杯	3号炉床上5cm 完形	口高	14.3 6.3		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	体部内面から体部外面上位は横ナデ。体部外面中位から下位はナデ。底部外面はヘラ削り。底部外面中央は窪む。底部内面はナデ。	体部内面の器 表は1/2剥離。
第695図 PL.560	7	土師器 杯	南部床上8cm 3/4	口高	14.8 6.5		細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面はナデ。底部外面はハケメとヘラ削り。体部から底部内面はやや雑なヘラナデ。	
第695図 PL.560	8	土師器 鉢	南壁沿い床直 口縁部1/3、底 部2/3	口高	12.6 6.7		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。口縁部外面の境は横ナデが不十分で折り返し状の痕跡が明瞭に残る。体部外面上半はヘラナデで、下半はナデ。底部外面はヘラ削り。体部内面はヘラナデで、底部内面はヘラ削りで単位毎に段差がある。	全体に整形が 雑。
第695図 PL.560	9	土師器 鉢	南壁際床直 口縁部一部欠	口高	11.8 7.2		細砂粒少量/良好/ 明褐	外面のくびれ部と底部内面を除く器表は剥離。底部内面周縁はナデで、底部内面はヘラナデ。	器表の大部分 は剥離。
第695図 PL.560	10	土師器 鉢	南部床直 口縁部一部欠	口高	14.4 9		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ一部にハケメが残る、底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部にヘラナデ。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第695図 PL.560	11	土師器 鉢	南壁際床面上 5cm 3/4	口 高	15.4 9.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、体部はナデ、一部にハケメが残る、底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部がヘラナデ。		
第695図 PL.560	12	土師器 鉢	中央部埋土上層 3/4	口 高	11.6 8.4		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ。口縁部内面下端は粘土が下部に突き出る。胴部外面は密な縦位ヘラナデ。底部外面は削りに近いヘラナデ。胴部内面はナデ。		
第696図 PL.560	13	土師器 高杯	埋土 杯部1/3	口	18.8		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部外面は端部に向かい左傾の斜放射状ヘラ磨き。内面は端部に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨き。底部内面の器表は剥離。	口縁部外面の 1/2黒斑。	
第696図	14	土師器 高杯	南部床上4cm 口縁部1/8、底 部1/4	口	16.4		細砂粒・粗砂粒少 量/良好/にぶい赤 褐	口縁部は横ナデ。底部外面はヘラナデで一部ヘラ削り。底部内面はナデ。		
第696図 PL.560	15	土師器 高杯	南部床直 杯部	口	18.0		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙色	口縁部付近を除く内面は黒色で外面の器表も部分的に黒変する。口縁部は横ナデ。底部内面はナデ。底部外面は粗いナデ。脚接合部中央に低い粘土ホゾが残る。		
第696図 PL.560	16	土師器 高杯	南部床直 杯部完形	口	17.8		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデで、内面にはヘラ状工具の痕跡が残る。外面の稜線部下はナデで、脚接合部付近には斜放射状の窪みが残る。底部内面はナデ。		
第696図	17	土師器 高杯	南部床直 脚部				細砂粒少量/良好/ 明赤褐	裾部と杯部境の外面は横ナデ。脚柱部外面は丁寧なナデ。脚柱部内面はヘラナデに近い削りと上部には絞り目が残る。		
第696図	18	土師器 高杯	1号炉床上8cm 脚部				細砂粒/良好/明赤 褐	脚部外面は磨きに近いヘラナデかヘラナデ後の単位不明の磨き。内面は絞り目があり、下部はヘラナデ。裾部は横ナデ。		
第696図 PL.560	19	土師器 壺	南部床直 口縁部～胴部上 位	口	18.4		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部内面器表の剥離は著しい。口縁部外面は横ナデ。胴部外面は丁寧なヘラナデか。胴部内面はヘラナデで器表剥離部分が多い。		
第696図	20	土師器 壺	1号炉東床直 胴部上半片				細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	内面胴部に輪積み痕が残る。外面はナデ、内面はヘラナデ、器面摩滅のため単位不鮮明。		
第696図 PL.560	21	土師器 壺	P2西側床直 胴部、底部一部 欠	口 底	18.3 8.0	高 28.5	細砂粒/良好/黒褐	器表は部分的ににぶい赤褐色。口縁部は横ナデで、内面にのみナデ上げ痕が残る。胴部外面はヘラナデ。底部はヘラ削り。胴部内面は横位ヘラナデで、単位不明瞭。胴部内面には輪積み痕残る。		
第696図 PL.560	22	礫 棒状礫	南壁際床上8cm 完形	長 幅	15.5 4.5	厚 重	3.6 347.5	粗粒輝石安山岩	棒状の垂円礫。	
第696図 PL.560	23	礫 棒状礫	北東隅床直 完形	長 幅	14.4 5.9	厚 重	4.0 437.1	石英閃緑岩	棒状の円礫。	
第696図 PL.560	24	礫 棒状礫	北東隅床直 完形	長 幅	14.7 6.0	厚 重	5.0 728.1	粗粒輝石安山岩	棒状の円礫。	
第696図 PL.560	25	礫 棒状礫	北東隅床直 完形	長 幅	15.7 5.3	厚 重	5.2 639.6	変質安山岩	棒状の垂円礫。	
第696図 PL.560	26	礫 棒状礫	東部床上7cm 完形	長 幅	16.3 5.8	厚 重	3.4 435.0	粗粒輝石安山岩	棒状の円礫。全体的に滑らかである。	
第696図 PL.560	27	礫 棒状礫	P1西脇床直 完形	長 幅	15.6 5.6	厚 重	4.2 533.7	粗粒輝石安山岩	棒状の円礫。	
第697図 PL.560	28	礫 棒状礫	北壁際床上8cm 完形	長 幅	12.9 5.0	厚 重	3.9 382.4	粗粒輝石安山岩	棒状の円礫。上端部に敲打痕が認められる。	
第697図 PL.560	29	礫 棒状礫	P4北脇床直 完形	長 幅	15.4 4.4	厚 重	4.2 345.9	粗粒輝石安山岩	棒状の垂円礫。	
第697図 PL.561	30	礫石器 磨石	埋土 完形	長 幅	9.6 6.9	厚 重	4.3 401.0	粗粒輝石安山岩	円礫を利用する。表裏面のほぼ全面に磨面が認められる。表面の左側縁に特に滑らかな部分が認められる。	
第697図 PL.561	31	礫石器 磨石	南壁際床直 完形	長 幅	7.6 6.4	厚 重	4.5 316.0	粗粒輝石安山岩	極円礫を利用する。表裏面の中央付近に磨面が認められる。	
第697図	32	石製品 砥石	埋土 完形	長 幅	9.8 6.5	厚 重	3.5 340.8	粗粒輝石安山岩	表面は全体的に滑らかであり砥面と判断される。裏面と左右両側面及び上下小口面は打割面である。	
第697図 PL.561	33	礫 金床石	中央部床直 完形	長 幅	40.0 44.0	厚 重	13.7 33460.0	粗粒輝石安山岩	表面のほぼ全面が滑らかであり右下方に著しく滑らかな部分が認められる。表面右下と下側面との境界付近に線条痕が集中する。表面の左下方には表皮の剥落が認められる。左側面には著しく滑らかな部分が認められ線条痕が集中する。左側面にはわずかに鉄錆が付着する。表面と側面は自然面で構成され大形円礫を利用する。裏面は打割面である。	
第697図 PL.561	34	石製品 石製模造品	埋土 ほぼ完形	長 幅	(3.5) 2.0	厚 重	0.4 3.3	蛇紋岩	暗緑灰色。表裏面共にほぼ平坦であり表面は斜め方向の裏面は縦方向の擦痕が認められる。孔径約1.5mm。	剣形

5区20号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第700図 PL.561	1	土師器 杯	竈前床直 1/2	口 高	15.0 4.7		細砂粒・大粒の赤 粘土粒/良好/明 褐	器表はやや摩滅し、内面の整形痕は不明。体部内面の一部に口縁部に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨きが残る。口縁部外面は横ナデ。体部外面以下はヘラ削りで、摩滅のため単位などは不明。	
第700図 PL.561	2	土師器 杯	掘方埋土 口縁部一部欠	口 高	12.6 5.7		細砂粒少量/良好/ 橙	内縁から口縁部外面は横ナデ。底部外面はヘラナデで、部分的に光沢を持ち磨き状を呈する。	底部外面に黒 斑。
第700図 PL.561	3	土師器 杯	竈埋土 1/3	口 高	12.2 6.0		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	底部内面周縁から口縁部外面は横ナデ。底部外面はヘラ削り。底部外面の器表は摩滅気味で削りの単位不明瞭。ヘラ削り。底部内面中央は丁寧なナデ。	
第700図 PL.561	4	土師器 甕	竈前床直 口縁部～胴部 1/3	口	13.5		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。胴部外面以下の器表はやや摩滅するが、ナデかヘラナデであろう。胴部内面はヘラナデ。底部内面はナデ。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	厚	重			
第700図 PL.561	5	土師器 甕	埋土 口縁部~胴部上 位1/4	口	18.0		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面上位は丁寧なナデ。胴部内面上位はヘラナデ。	
第700図 PL.561	6	石製品 管玉	P2南西部床直 完形	長 幅	1.8 0.8	厚 重	0.7 1.6	蛇紋岩	緑黒色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。上面には細かい線条痕が集中する。線条痕の内部は比較的粗く光沢は認められない。上下面の孔径約3mm。
第700図 PL.561	7	石製品 管玉	P1西脇床直 完形	長 幅	2.4 0.7	厚 重	0.7 2.1	蛇紋岩	緑黒色。全体的に丁寧に研磨整形されている。上下面は光沢が著しいが側面部は全体的に光沢は認められない。側面部を再加工している可能性がある。側面には部分的に断面U字状の溝状痕跡が認められる。上下面の孔径約3mm。
第700図 PL.561	8	石製品 白玉	埋土 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.2	蛇紋岩	緑黒色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横方向の擦痕がわずかに認められる。裏面の孔の周囲は広がっており表面からの穿孔の際に裏面側が破碎したと考えられる。孔径約2mm。
第700図 PL.561	9	石製品 白玉	竈前床直 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.5 0.2	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明瞭な張りはなく横~斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第700図 PL.561	10	礫 棒状礫	P2北側床直 完形	長 幅	15.0 7.8	厚 重	5.9 1008.3	変質安山岩	棒状の円礫。全体的に滑らかである。
第700図 PL.561	11	礫 棒状礫	西隅床直 ほぼ完形	長 幅	16.1 8.0	厚 重	5.6 1120.2	粗粒輝石安山岩	棒状の円礫。
第700図 PL.561	12	礫 金床石	埋土 ほぼ完形	長 幅	(24.1) (27.5)	厚 重	10.2 10200.0	粗粒輝石安山岩	表裏面に線条痕が認められる。表面には鉄錆が散在し裏面の一部にも鉄錆が付着する。大形亜円礫を利用する。

5区22号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考									
				口	厚	重												
第704図 PL.561	1	土師器 杯	南壁沿い床直 1/2	口 高	14.1 5.1		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。										
第704図 PL.561	2	土師器 杯	南壁沿い床直 完形	口 高	12.6 5.5		細砂粒/良好/にぶ い黄褐	口縁部は横ナデ。体部外面はヘラナデ。底部外面はヘラナデに近いヘラ削り。体部から底部内面はナデ。器面の残存状態は良好。	外面に不整形の黒斑。									
第704図 PL.561	3	土師器 高杯	貯蔵穴南脇床直 完形	口 底	15.7 11.7	高	12.9	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	杯部と脚部の接合方法不明。杯部は口縁部が斜放射状ヘラ磨き、底部はヘラナデ、脚部から裾部もヘラ磨き。内面は杯部は口縁部が斜放射状ヘラ磨き。底部は十文字状の力所にてヘラ磨き、脚部はナデ、裾部は横ナデ。									
第704図	4	土師器 高杯	南壁沿い床直 脚部					細砂粒・粗砂粒/ 良好/明褐	外面と内面の裾部はナデ。脚柱部内面はヘラ削り。									
第704図	5	土師器 壺	貯蔵穴東脇床上 5cm 胴部片	胴	26.4			細砂粒・粗砂粒/ やや軟質/橙	外面は器面摩滅のため整形不明。内面はヘラナデ。									
第704図 PL.561	6	石製品 白玉	中央部床直 完形	長 幅	0.4 0.4	厚 重	0.3 0.1	蛇紋岩	オリブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横~斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。									
第704図 PL.561	7	礫 棒状礫	北隅床直 完形	長 幅	13.4 5.6	厚 重	5.4 527.0	変質安山岩	棒状の亜円礫。									
第704図 PL.561	8	礫 棒状礫	南壁沿い床直 完形	長 幅	14.6 5.7	厚 重	4.3 461.7	粗粒輝石安山岩	棒状の亜円礫。									
第704図 PL.561	9	礫 棒状礫	北隅床直 完形	長 幅	15.5 5.0	厚 重	4.3 552.3	粗粒輝石安山岩	棒状の亜円礫。									
挿図 PL.No.	No.	器種 細別器種	出土位置 残存率	法 量													観 察	
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬		
第704図 PL.561	10	棒状鉄器	南隅床上12cm 両端部欠損	6.1+	0.2	0.2												棒状部がかなり長いことから、棒状鉄器としたが、針・錐の可能性もある。断面は四角形を呈する。
第704図 PL.561	11	鎌 有頸段邊脇 扶長三角形 鎌	西壁沿埋土上層 完形	11.4	左 4.2	右 3.2+	1.6	0.2	左 1.1	右 0.2+	左 8.3	右 8.6	0.8	0.2			左右の逆刺の長さが異なる段邊鎌である。刃部は長三角形で、図向かって右の逆刺は短かく薄手であり、左右の違いを意識していることが分かる。逆刺(左)を側面から見ると下面に下がっているの、鍛打は主に上から行ったと想定するが、下面は必ずしも平坦面ではなくゆるいレンズ状を呈しているの、裏側からも鍛打しているものと思われる。頸部と茎部の境の区がなく、茎に伴う木質の遺存もないので、頸部と茎部の区別ができない。	

5区23号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	厚	重			
第705図 PL.562	1	土師器 椀か	竈前床直 口縁部一部、底 部完	口	10.3		細砂粒/良好/明赤 褐	外面の器表はやや摩滅。口縁部内面は横ナデで、外面は不明。体部外面は丁寧なヘラナデかヘラ磨きで光沢を有する。体部内面は縦位ヘラ磨き。底部内面の器表は摩滅。	上部の残存が少なく、器形が図と異なる可能性あり。
第705図 PL.562	2	石製品 白玉	竈前床直 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.2 0.1	蛇紋岩	緑黒色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に張りが明瞭に認められ稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。

5区24号竪穴建物出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口高	13.7 5.0				
第708図 PL.562	1	土師器 杯	竈右脇崩落粘土 完形	口高	13.7 5.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面はナデ。底部外面はヘラナデに 近い状態で、部分的に光沢を持つ。体部内面は口縁部に向 かい右傾の斜放射状ヘラ磨き。底部内面はナデ。	
第708図 PL.562	2	土師器 壺	東隅床直 口縁部～胴部中 位2/3	口	17.2		細砂粒多・粗砂粒 少/良好/にぶい黄	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ、 上半は器面摩滅のため単位不明。	
第708図	3	土師器 壺	東隅床直 底部	底	6.0		細砂粒・粗砂粒/ 良好/黒褐	断面は灰白色。内面は丁寧なヘラナデ。外面はナデ。底部 外面はヘラ削り。	

5区1号竪穴遺構出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考									
				長幅	0.7 0.7	厚重 0.4 0.3												
第711図 PL.562	1	石製品 白玉	西部床直 完形	長幅	0.7 0.7	厚重 0.4 0.3	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。 側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕がわず かに認められる。孔径約2mm。										
第711図 PL.562	2	石製品 白玉	北部埋土 完形	長幅	0.6 0.6	厚重 0.4 0.2	滑石	オリブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められ ない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕 がわずかに認められる。孔径約2mm。										
第711図 PL.562	3	礫 粒状礫	西隅埋土 完形	長幅	1.7 1.4	厚重 0.5 1.5	チャート	暗灰色。小形の円礫。全体的にわずかに光沢がある。										
第711図 PL.562	4	礫 粒状礫	北部埋土 完形	長幅	1.0 0.7	厚重 0.4 0.3	珪質頁岩	灰色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。										
第711図 PL.562	5	礫 粒状礫	南部埋土 完形	長幅	0.8 0.5	厚重 0.4 0.2	チャート	灰色。小形の円礫。全体的にわずかに光沢がある。										
挿図 PL.No.	No.	器種 細別器種	出土位置 残存率	法 量													観 察	
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬		
第711図 PL.562	6	鍬 鍬茎片	南西隅床上5cm 茎部破片	2.4+											2.4+	0.6	0.3	茎に木質が巻かれている。樹 皮巻は認められ無い。

5区46号土坑出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				底	8.2				
第713図	1	土師器 甕	埋土 底部	底	8.2		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ、底部周囲のヘラ ナデはハケマが残る。	

4区2号屋外炉出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	11.0				
第721図 PL.562	1	土師器 杯	埋土 1/4	口	11.0		粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面は上位にナデの面を残し、以下 底部までは手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向け て右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第721図 PL.562	2	土師器 杯	埋土 口縁部～底部 1/4	口	11.6		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちヘラ削 り。内面はナデ。	

4区3号屋外炉出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	13.2 6.0	高 15.1			
第723図 PL.563	1	土師器 甕か?	炉西側 1/2	口底	13.2 6.0	高 15.1	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。体部外面は下位にヘラ削り。内面は縦位 の指ナデ。	器面磨滅。
第723図	2	土師器 壺	炉西側 口縁部～胴部下 位1/4	口	26.0		粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は中位に弱い段をなす。横ナデ。胴部外面は上位・ 中位にヘラナデ、下位は斜位のヘラ削り。内面は横位のヘ ラナデ。	
第723図 PL.563	3	土師器 壺	炉東側 口縁部～胴部下 位2/3	口	26.5		粗砂粒・細砂粒/ 良好/浅黄橙	口縁部は中位外面に弱い稜を有する。内外面とも横ナデ。 胴部外面は丁寧なヘラ削り。	外面磨滅。内 面磨滅・剥離。
第724図 PL.563	4	土師器 壺	炉西側 口縁部～胴部下 位1/3	口	26.6		粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は中位に弱い稜を有する。内外面とも横ナデ。頸部 内面の一部にヘラ磨きか。胴部外面は丁寧なヘラナデ。	内面器面剥 離。
第724図 PL.563	5	石製品 砥石	炉周辺 不明	長幅	(10.6) (10.4)	厚重 (1.7) 242.2	細粒輝石安山岩	表面はほぼ平坦で全体的に非常に滑らかであり細かい線条 痕がわずかに認められる。裏面は細かい凹凸が認められ凸 部分に滑らか面が形成される。	

5区25号遺構出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	15.3				
第726図	1	土師器 杯	S1下黒色土中 1/4	口	15.3		細砂粒少量/良好/ 橙	整形が丁寧で器形も整い、口縁端部はシャープ。内面から 口縁部外面は横ナデ。底部外面はヘラ削り。	
第726図 PL.562	2	土師器 高杯	S1下黒色土中 脚柱部				細砂粒少量/良好/ 橙	外面は縦位のヘラ磨き。内面は横位のヘラ削り。裾部内面 は横ナデ。	
第726図 PL.562	3	土師器 甕	S1下黒色土中 口縁部～胴部上 位	口	17.6		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第726図 PL.562	4	土師器 甕	S1下黒色土中 胴部一部欠	口底	18.2 7.3	高 32.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、頸部から胴 部上位はヘラナデ、胴部と底部はヘラ削り、胴部上半は器 面摩滅のため単位不鮮明。内面は底部から胴部はヘラナデ、 器面摩滅のため単位不鮮明。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値				胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口 底	17.3 高 7.8	30.1				
第726図 PL.562	5	土師器 甕	S1下黒色土中 胴部一部欠	口 底	17.3 高 7.8	30.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部、胴部上位は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り、胴部中位は器面摩滅のため単位不鮮明。内面は底部から胴部がヘラナデ、単位不鮮明。		
第726図 PL.562	6	礫石器 磨石	礫上 完形	長 幅	8.8 厚 7.5	7.4 664.5	石英閃緑岩	円礫を利用する。表面のほぼ全面に磨面が認められる。側面部にも平坦で滑らかな部分が2箇所認められ磨面と考えられる。		

4区1号炭化物集中出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値				胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	13.8					
第727図 PL.564	1	土師器 杯	炭化材周辺 口縁部～体部片	口	13.8		粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾する斜放射状ヘラ磨き。		
第727図 PL.564	2	土師器 甕	炭化材周辺 口縁部～胴部中 位1/2	口	13.6		赤色鉱物粒/良好/ 淡黄	口縁部はハケ状工具を用いた横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	器面やや磨滅。	

5区30号遺構出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値				胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第730図 PL.564	1	土師器 甕	埋土 口縁部片				細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	内外面器表の剥離が著しい。断面中央は黒色。	器表は剥離。	

4～6区遺構外出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値				胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口 高	12.8 5.3					
第733図 PL.564	1	土師器 杯	遺構外 完形	口 高	12.8 5.3		粗砂粒少量/良好/ にぶい橙	口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。		
第733図 PL.564	2	土師器 杯	遺構外 口縁部一部欠	口 高	12.2 5.8		粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状ヘラ磨き。	器面磨滅。	
第733図	3	土師器 杯	遺構外 1/3	口	13.2		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。		
第733図 PL.564	4	土師器 杯	遺構外 口縁部1/3、底 部3/4	口 高	13.0 5.9		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面はナデ。底部外面はヘラ削り。底部内面から体部内面は口縁部に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨きで、部分的に斜格子状となる。口縁部下のヘラ磨きは不明瞭。		
第733図	5	土師器 杯	遺構外 口縁部～体部片	口	14.6		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面は指ナデ・一部ヘラ削り。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。		
第733図	6	土師器 杯	遺構外 口縁部～体部 1/6	口	10.8		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。内面は体部から口縁部に向けて右傾する斜放射状ヘラ磨き。		
第733図 PL.564	7	土師器 杯	遺構外 底部欠	口	11.7		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面以下はヘラナデ。体部から口縁部内面は端部に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨き。底部内面はナデ。		
第733図 PL.564	8	土師器 杯	遺構外 1/2	口	12.6		粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。体部外面はナデ。底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾(他に比べ傾斜弱い)の斜放射状ヘラ磨き。	器面磨滅。	
第733図 PL.564	9	土師器 杯	遺構外 1/2	口	13.2		細砂粒少量/良好/ 橙	体部内面から口縁部外面は横ナデ。内面の横ナデはヘラ状工具の当て痕が残る。体部外面はナデ。体部外面以下はヘラ削り。底部内面は丁寧なナデ。		
第733図	10	土師器 杯	遺構外 1/3	口 底	12.2 4.0	高 6.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部内面は器表の剥離が著しい。体部内面から口縁部外面は横ナデ。体部外面はナデであるが、下半の器表は摩滅と斑状の剥離のため整形が不明瞭。体部外面下半には面取り状の痕跡が認められ、ヘラ削りの後、ナデの可能性はある。底部外面はヘラ削り。	部分的に器表剥離。	
第733図	11	土師器 杯	遺構外 口縁部～体部片	口 稜	12.2 11.6		細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	内面黒色処理。口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部と口縁部に斜放射状ヘラ磨き。		
第733図 PL.564	12	土師器 鉢	遺構外 2/3	口 高	12.4 7.1		粗砂粒少量/良好/ にぶい褐	口縁部は横ナデ。体部外面は丁寧なナデ。底部外面はナデに近いヘラ削り。内面はヘラナデ。		
第733図	13	土師器 鉢	遺構外 1/3	口	13.7		細砂粒・粗砂粒/ 良好/褐	口縁部は横ナデ。胴部外面上位は縦位のハケメに近いヘラナデ。胴部外面はヘラナデか。底部外面はヘラ削り。胴部内面は丁寧なナデ。		
第733図	14	土師器 鉢	遺構外 口縁部～底部片	口	17.9		細砂粒/良好/褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部にヘラナデ。		
第733図 PL.564	15	土師器 椀	遺構外 3/4	口 高	12.6 7.7		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中下位から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から口縁部にかけてヘラ磨き。		
第733図 PL.564	16	土師器 杯	遺構外 1/4	口 高	13.8 5.0		粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部外面の上位にわずかにナデの面を残す。以下底部までは手持ちヘラ削り。内面は丁寧なナデの上に体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。		
第733図 PL.564	17	土師器 杯	遺構外 1/4	口	14.0		粗砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面の上位にわずかにナデの面を残す。以下底部までは手持ちヘラ削り。内面は丁寧なナデの上に体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状ヘラ磨き。		
第733図 PL.564	18	土師器 杯	遺構外 1/3	口 高	14.2 5.2		粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾する斜放射状ヘラ磨き。		

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第733図	19	土師器 杯	遺構外 口縁部～体部片	口	15.8		粗砂粒/良好/橙	口唇端部は断面M字状。端部を外方に向ける。口縁部は横ナデ。一部横位のヘラ磨きを重ねる。体部は規則性のある横位のヘラ削り。内面は体部から口縁部に向かって右傾の斜放射状ヘラ磨き。一部粗雑。	
第733図	20	土師器 杯	遺構外 口縁部～体部片	口	14		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第733図	21	土師器 杯か	遺構外 口縁部小片				細砂粒/良好/にぶい褐	内外面は横ナデ。内面側の孔径が大きく、焼成後に内面側から穿孔したと考えられる。	焼成後の穿孔。
第734図 PL.564	22	土師器 杯	遺構外 口縁部～体部 1/3	口	14		細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ後一部にヘラ磨き、体部は上半ナデ、下半は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第734図 PL.564	23	土師器 杯	遺構外 1/2	口 高	13.5 5.6		細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部上半に斜放射状ヘラ磨き。	
第734図 PL.564	24	土師器 杯	遺構外 完形	口 高	13.6 5.1		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部内面から体部外面は横ナデ。底部外面はヘラ削り。体部内面は口縁部に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨き。底部内面の器表は剥離。	底部内面の器表剥離。
第734図	25	土師器 杯	遺構外 1/3	口 高	13.6 6.2		細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部がヘラナデ、体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第734図 PL.564	26	土師器 杯	遺構外 1/3	口 高	13.8 4.4		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面はナデで、体部外面以下はヘラ削り。体部内面から口縁部は斜放射状ヘラ磨き。底部内面は不定方向の短いヘラ磨き。	
第734図 PL.564	27	土師器 杯	遺構外 1/3	口	16.0		細砂粒少量/良好/ 橙	口縁部は横ナデ。体部から底部外面はヘラ削り。体部内面は口縁部に向かい右傾の斜放射状ヘラ磨きと部分的に横位のヘラ磨き。	
第734図 PL.564	28	土師器 杯	遺構外 1/4	口 高	13.6 5.7		細砂粒・粗砂粒少 量/良好/明赤褐	体部内面から口縁部外面は横ナデ。体部外面以下の器表はやや摩滅。体部外面はヘラナデか。底部外面はヘラ削りか。	外面の器表はやや摩滅。
第734図	29	土師器 高杯	遺構外 杯部1/3	口	17.6		粗砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデの上に、外面は左傾、内面は右傾する斜位のヘラ磨き。底部外面はヘラ削り。内面は丁寧なナデ。	
第734図	30	土師器 高杯	遺構外 脚部	脚	8.2		粗砂粒/良好/橙	内外面とも横ナデ・ナデ。	脚部内面に炭素吸着。
第734図 PL.564	31	土師器 高杯	遺構外 1/3	口 脚	18.1 13.8	高 14.7	粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい赤褐	杯部外面は口縁部が横位のナデ、底部がヘラ削り。内面は中央から口縁部先端に向けて放射状にヘラ磨き。脚部外面は脚柱部が丁寧なナデ。裾部は横位のナデの上に右傾するヘラ磨きを重ねる。内面は指ナデ。横ナデ。	
第734図 PL.564	32	土師器 高杯	遺構外 脚部	脚	14.2		細砂粒少量/良好/ 橙	脚部外面は丁寧なナデの後、縦位のヘラ磨き。柱部内面はヘラナデ。裾端部外面から裾部内面は横ナデ。	
第734図 PL.564	33	土師器 高杯	遺構外 脚部	脚	10.0		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	外面上半の器表は剥離。脚柱部外面はナデで裾部は横ナデ。裾部横ナデのナデ上げ部は内外面で一致する。底部内面の器表は斑状に剥離するが、残存する器表は平滑でヘラ磨きか丁寧なナデであろう。	
第734図	34	土師器 高杯	遺構外 杯部片	口	18.4		細砂粒/良好/赤褐	杯部底部と口縁部の間に接合痕が残る。口縁部は放射状ヘラ磨き、底部はナデ。内面は器面が荒れており整形不明。	
第734図	35	土師器 不詳	遺構外 口縁部片				細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄褐	口縁部は横ナデで、内面下半は横位のヘラ磨き。残存部内面下端にヘラ磨きは存在しない。ヘラ磨き部分の器表は黒色。	内面黒色処理か。
第734図	36	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部上 半片	口	8.8		細砂粒/良好/橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁部から胴部はヘラ磨き、一部器面摩滅のため単位不明。内面は口縁部がヘラ磨き、胴部はナデ。胴部中に穿孔あり。	
第734図 PL.565	37	土師器 壺	遺構外 口縁部～頸部	口	13.4		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明黄褐	内面頸部と胴部に輪積み痕が残る。口縁部は上半が横ナデ、下半から胴部は縦方向のナデ、一部単位不鮮明。内面は頸部から胴部がヘラナデ。	
第734図 PL.565	38	土師器 埴	遺構外 底部～胴部下 半	胴	10.2		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	底部から胴部はヘラ削り後ヘラ磨き、底部は器面摩滅のため単位不鮮明。内面はヘラナデ。	
第734図	39	土師器 小型甕	遺構外 口縁部～胴部中 位1/4	口	8.8		細砂粒少量/良好/ にぶい褐	口縁部内面から胴部外面屈曲部は横ナデ。胴部外面屈曲部以下はヘラ削り。胴部内面は丁寧なヘラナデ。	
第734図 PL.565	40	土師器 鉢	遺構外 1/2	口 高	12.5 9.2		粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラナデに近いヘラ削り。内面は丁寧なヘラナデ。ヘラ磨き状。	器面一部磨滅。
第735図 PL.565	41	土師器 壺	遺構外 2/3	口 底	13.4 8.0	高 21.6	粗砂粒・軽石粒/ 良好/灰白	口縁部は外面がナデ。内面が横ナデ。胴部外面は上位・中位がヘラナデ。下位が斜位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。底部外面はヘラ削り。	
第735図 PL.565	42	土師器 甕	遺構外 3/4	口 底	13.7 5.5	高 19.1	粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は上位が斜縦位のヘラナデ。中位以下は斜横位のヘラ磨き。底部寄りにヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。底部外面はヘラ削り。	
第735図 PL.565	43	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部下 位1/3	口	15.6		粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は横位を主とするヘラナデ。内面は横位のヘラナデ、一部にヘラ削り。	
第735図	44	土師器 甕	遺構外 口縁部小片				細砂粒/良好/浅黄 橙	口縁部内面から口縁端部は横ナデ。口縁部外面は凹凸のあるヘラ磨き。	
第735図 PL.565	45	土師器 壺	遺構外 胴部上位～底部 2/3	底	7.8		黒色鈹物粒/良好/ 浅黄橙	胴部外面はヘラナデで、部分的にヘラ磨き状となる。胴部内面は横位のヘラナデ。	内面の器表は剥離。
第735図	46	土師器 壺か甕	遺構外 底部	底	6.6		細砂粒少量/良好/ にぶい黄橙	断面は黒色。外面はハケメ。底部内面はヘラナデで、部分的にハケメ状となる。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第735図	47	土師器 鉢(ニチュア)	遺構外 底部片	底	4.0		細砂粒/良好/橙	体部内外面、底部外面ともヘラナデ。	
第735図	48	土師器 鉢(ニチュア)	遺構外 底部片	底	5.6		粗砂粒/良好/にぶ い褐	体部外面、底部外面はヘラナデ。体部内面は指ナデ。	
第735図	49	土師器 鉢か(ニチュア)	遺構外 体部～底部片				粗砂粒・軽石粒/ 良好/明赤褐	平底。体部外面はナデ。内面はヘラナデ。底部外面もナデ。	
第736図 PL.566	50	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部下 位1/2	口	30.0		粗砂粒/良好/にぶ い褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は上位から中位が斜縦位のハケ メ。下位はナデに近いヘラ削り。内面は上位・中位に横位 のヘラナデ。下位に横位のハケメ。	破碎後・被熱 を受けている。
第736図 PL.565	51	土師器 甕	遺構外 口縁部～頸部片	口	17.3		細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は中位に沈線状の変換点が見られる。内外面とも横 ナデ。	
第736図 PL.565	52	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部上 位片	口	19.6		粗砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は中位に変換点を有し、受け口状に立ち上がる。胴 部外面はヘラナデか。	内面は剥離が 著しい。
第736図	53	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部 1/4	口	20.9		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ。外面のくびれ部はヘラナデ。胴部内外面 はややナデ。	
第736図 PL.566	54	土師器 壺	遺構外 口縁部片	口	19.8		細砂粒・粗砂粒、 長石/良好/にぶい 黄褐	口縁部中位に凸帯状の膨らみを造り出している。口縁部は 上半が横ナデ、下半はヘラナデ、胴部はヘラ磨き。内面は 口縁部が器面剥落のため不明、胴部はヘラナデ。	
第736図 PL.565	55	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部上 位片	口	18.2		細砂粒・粗砂粒/ 良好/浅黄橙	口縁部は横ナデ。口縁部内面下位に折り返し状の痕跡。胴 部外面はナデかヘラナデ。胴部内面上位はヘラナデ。胴部 内面はナデ。	
第737図 PL.566	56	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部下 位	口	15.2		粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部から頸部直下の内外面は横ナデ。胴部外面は上位に ヘラナデ。中位は丁寧なナデ。下位にヘラ削り。内面は下 位にヘラナデ。これより上位は斜位のヘラ磨き。	
第737図 PL.566	57	土師器 甕	遺構外 完形	口 底	14.9 6.0～ 7.0	高 19.1	細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/明褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は 底部から胴部にかけてヘラナデ、胴部中位は器面摩滅のた め単位不明。	
第737図 PL.566	58	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部下 位3/4	口	26.2		粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は外面が横ナデ、内面は横位のヘラナデ。胴部外面 には斜縦位・あるいは横位のヘラナデに近いヘラ削り。内 面は横位のヘラナデ。	器面は剥離・ 磨滅の部分多 くあり。
第737図 PL.566	59	土師器 壺	遺構外 胴部下位～底部	底	7.2		粗砂粒/良好/にぶ い橙	胴部外面は2種類のハケメ後、横位のヘラナデ。内面は横 位のヘラナデ。底部は周縁部がリング状を呈し、中央が凹 む。	
第738図 PL.567	60	土師器 壺	遺構外 口縁部～胴部下 位	口	22.8		粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙	胴部の残りは不均等。口縁部は横ナデ。胴部外面は上半部 がヘラナデ。器面が磨滅気味で単位不明瞭。下半部も斜縦 位のヘラナデ。内面は横位のヘラナデ。	
第738図	61	土師器 甕	遺構外 口縁部片	口	20.6		粗砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ。頸部寄り縦位のヘラナデ。	
第738図	62	土師器 甕	遺構外 口縁部片	口	22.2		粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙	内外面とも横ナデ。	
第738図	63	土師器 甕	遺構外 胴部下位～底部	底	9.0		粗砂粒/良好/にぶ い橙	胴部外面はヘラナデ。内面もヘラナデ。底部外面は丁寧な ヘラ削り。中央に粉殻圧痕。	
第738図 PL.566	64	土師器 甕	遺構外 胴部下半～底部 1/4	底	6.6		細砂粒・粗砂粒少 量/良好/明赤褐	胴部はヘラ削り、下位はそのままであるが、中位ではヘラ ナデを施す。内面はヘラナデ。	
第738図 PL.567	65	土師器 有孔鉢	遺構外 1/4	口 底	19.4 6.9	高 17.1 2.6	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、体部上半はヘラナデ、下半はヘラ削り後 ヘラ磨きか、単位不鮮明。内面体部がヘラナデ。	
第739図 PL.567	66	須恵器 高杯	遺構外 2/3	口 脚	15.2 10.7	高 13.2	細砂粒・粗砂粒/ 酸化焰・燻し/灰 黄褐	ロクロ整形、回転右回りか不明。杯部と脚部は接合。杯部 は口縁部と体部の間に2段の稜が巡る。底部は回転ヘラ削 り。脚部に三方透孔。口唇端部は内傾する面を作り、凹線 が巡る。	
第739図 PL.567	67	須恵器 高杯	遺構外 杯部	口	11		細砂粒・赤色粘土 粒/酸化焰/橙	ロクロ整形、回転は右回り。底部外面は回転ヘラ削り。脚 部は欠損するが、3方透かしの切り込み跡が残る。	
第739図	68	須恵器 杯蓋	遺構外 天井部小片か				細砂粒/酸化焰/暗 灰黄	ロクロ整形、回転方向不明。天井部は回転ヘラ削り。	高杯杯部底部 片の可能性あ り。
第739図	69	須恵器 杯蓋	遺構外 天井部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。回転は左回りか。天井部外面に回転ヘラ削り。	
第739図	70	須恵器 杯蓋	遺構外 口縁部片				細砂粒/酸化焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。口唇端部は段をもつ作り。	
第739図	71	須恵器 杯蓋	遺構外 口縁部小片				細砂粒/酸化焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。口唇端部は段をもつ作り。	
第739図	72	須恵器 杯蓋	遺構外 天井部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。外面は回転ヘラ削り調整。	
第739図	73	須恵器 杯蓋	遺構外 口縁部片	口	11.0		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回りか。口唇端部は内側が削がれ尖 る。	
第739図 PL.567	74	須恵器 短頸壺か	遺構外 完形	口 底	8.2 6.2	高 7.7 11.8	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転は左回り。胴部最大径の位置に凸線を巡 らす。底部から胴部下位は回転ヘラ削り。内面の底部はナ デでロクロ痕が消されている。胴部上位には降灰が付着し ているが、頸部から0.8cmの間には降灰の付着が認められ ない。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考								
				①	②	③											
第739図 PL.567	75	須恵器 甕か	遺構外 口縁部片	口	8.2		細砂粒/還元焰/褐 灰	ロクロ整形。口唇部は外反、口縁部に稜をつくる。									
第739図	76	須恵器 甕	遺構外 口縁部片	口	8.8		夾雑物目立たない/ 還元焰/灰	ロクロ整形。回転は右回りか。口唇端部の内側が削られる。 外面に6本1単位のクシ状工具による波状文が施文される。									
第739図 PL.567	77	須恵器 小型短頸壺 か	遺構外 頸部～胴部上位 片				白色鉍微粒少量/ 還元焰やや軟質/ 灰	ロクロ整形、回転は右回りか。胴部中位に1段の波状文が 施文されている。									
第739図 PL.567	78	須恵器 杯身か	遺構外 底部片				細砂粒・粗砂粒少 量/還元焰/灰	断面は灰赤色。ロクロ整形、回転方向不明。底部外面は左 回転ヘラ削り。	外面の一部に 降灰付着。								
第739図 PL.567	79	須恵器 甕	遺構外 口縁部～頸部片	口	20.8		白色鉍微粒少量/ 還元焰/灰	ロクロ整形。口唇部は平坦面を作り、口唇部に断面三角 形の凸線が巡る。	内面に降灰付 着。								
第739図 PL.567	80	須恵器 甕	遺構外 口縁部1/4	口	20.8		細砂粒/還元焰/灰 白	断面中央は還元しきらずにぶい橙色。ロクロ整形、回転方 向不明。口唇部は1条の凹線により端部下端を凸線状に見 せる。口縁部外面のロクロ整形下に平行叩き状の痕跡が残 る。	内面の器表は 剥離。								
第739図 PL.567	81	須恵器 壺	遺構外 胴部片				夾雑物少量/還元 焰/黄灰	ロクロ整形。回転は右回り。外面は下半にカキメ。									
第739図 PL.567	82	須恵器 甕	遺構外 胴部片				夾雑物少量/還元 焰/灰	外面は平行叩き痕。内面はアテ具痕をナデ消している。									
第739図 PL.567	83	須恵器 甕か	遺構外 胴部片				夾雑物少量/還元 焰/褐灰	外面に降灰付着。内面はナデ。									
第739図 PL.567	84	須恵器 壺	遺構外 胴部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。外面は降灰が付着。									
第739図 PL.567	85	須恵器 甕か	遺構外 胴部小片				細砂粒微量/還元 焰/黄灰	外面は平行叩き痕が残るが、内面はアテ具痕をナデ消して いる。	小片のため上 下明瞭。								
第739図 PL.567	86	須恵器 杯蓋	遺構外 口縁部小片				細砂粒少量/還元 焰/灰	断面は灰赤色。ロクロ整形、回転方向不明。口縁部はや や窪む。欠損部内外面は広がる傾向にある。	外面に斑状の 降灰付着。								
第739図 PL.567	87	須恵器 甕か	遺構外 胴部小片				細砂粒・粗砂粒少 量/還元焰/黄灰	外面は沈線下に櫛状工具による刺突文。内面はロクロ整形 痕。	外面に降灰付 着。								
第739図 PL.567	88	須恵器 甕	遺構外 胴部片				夾雑物少量/還元 焰/黄灰	紐づくり成形。外面は平行叩き痕。内面はアテ具痕の上 にナデを重ねる。									
第739図 PL.567	89	須恵器 甕	遺構外 胴部片				黒色鉍微粒少量/ 還元焰/灰	外面は格子目状の叩き痕。内面はアテ具痕の上にナデを重 ねる。									
第740図 PL.567	90	韓式系土器 甕か	遺構外 胴部下位～底部 1/4	底	17.0		細砂粒/良好/明赤 褐	胴部外面は縦位のヘラ磨き。内面はヘラナデか。底部外面 は丁寧な磨き。縄文叩きを残す。底部に孔を配するか。	器面磨滅。								
第740図 PL.567	91	韓式系土器 甕	遺構外 胴部片				粗砂粒少量・白色 鉍微粒/良好・軟 質/明赤褐	外面格子叩き。内面は丁寧なナデ。									
第740図 PL.567	92	韓式系土器 甕	遺構外 2/3	口 高	18.8 35.1		粗砂粒・細砂粒(片 岩含む)/良好/に ぶい橙	口縁部は先端を横ナデ。以下頸部までは斜縦位のナデ。胴 部上半部がヘラナデか。下位は縄文叩きの上をなでてい るか。内面口縁部は斜横位のヘラナデ。内面はヘラナデか。 底部外面に靱殻圧痕。	器面全体に磨 滅。								
第740図 PL.568	93	土師器 円盤	遺構外 完形	長 径短 径	3.2 3.0	厚 0.8	細砂粒/良好/橙	土師器の胴部か底部片の湾曲が少ない部分を打ち欠き、周 囲を僅かに擦って円盤状に加工。内面側はヘラナデ。外面 側はヘラ削り。	二次加工品。								
第740図	94	土師器 高杯	遺構外 脚部				細砂粒/良好/橙	脚部は外面はナデ、内面はヘラナデ。	外面に靱痕が 残る。								
第740図 PL.568	95	石製品 管玉	遺構外 1/2	長 幅	2.9 1.0	厚 重 (0.6) 2.5	変質玄武岩	灰オリブ灰色。全体的に丁寧に研磨整形されておりわず かに光沢がある。孔は中央部で階段状に連結しており両面 穿孔と考えられる。孔の内面には横方向の細かい線条痕が 多数認められる。上下面の孔径約3mm。									
第740図 PL.568	97	石製品 石製模造品	遺構外 2/3	長 幅	(3.7) 1.6	厚 重 0.5 4.6	滑石	灰白色。表裏面共に平坦であり縦～斜め方向の擦痕が認め られる。上下の孔径約1.5mm。	剣形								
第740図 PL.568	98	石製品 石製模造品	遺構外 1/2	長 幅	(2.0) 1.3	厚 重 0.3 1.2	滑石	灰白色。表裏面共に平坦であり斜め方向の擦痕が認められ る。上下の孔径約1.5mm。	剣形								
第740図 PL.568	99	石製品 石製模造品	遺構外 2/3	長 幅	(3.0) (1.7)	厚 重 0.2 0.7	珪質準片岩	灰色。表裏面は平坦であり斜め方向の擦痕が認められる。	剣形								
第740図 PL.568	100	石製品 石製模造品	遺構外 1/3	長 幅	(2.8) (1.6)	厚 重 0.5 3.4	滑石	灰白色。表裏面ともほぼ平坦であり斜め方向の擦痕がわず かに認められる。	剣形								
第741図 PL.568	101	石製品 砥石	遺構外 不明	長 幅	(21.0) (13.7)	厚 重 8.0 3746.3	粗粒輝石安山岩	表面は全体的に非常に滑らかであり砥面と判断される。裏 面は滑らかな部分が無さく認められ初期段階の砥面と判 断される。左側面と下側面は打割面である。上側面には表 裏面側の対向する位置に加撃痕が認められ両極加撃により 故意に分割された可能性がある。									
挿図 PL.No.	No.	器種 細別器種	出土位置 残存率	法 量													観 察
第741図 PL.568	102	刀子 片関刀子	遺構外 柄端部欠損	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	明瞭な片関の刀子である。刃は刃部が少し湾曲しており研ぎべりと思 われる。刃関はほぼ直線状であるが、刃部に向かう形態は、内湾 気味で、この遺跡出土の刀子に良くある山形状の曲線に近似して いる。弥生時代の住居から出土するも片関であることや、刃関の形態 からして、古墳時代の刀子である。

挿図 PL.No.	No.	器種 細別器種	出土位置 残存率	法 量													観 察	
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬		
第741図 PL.568	103	刀子 片関刀子	遺構外 完形	7.3	3.1	1.2	0.2	4.2	0.9	0.2								片関で、刃関は、刃側と茎側の両方からゆるやかに上がり、山形の関を見せるものである。この形態を持つ刀子がいくつかあり、このムラ出土の刀子の一つの特徴である。刃部先端は、ゆるやかにふくらを持って棟に至るもので特徴的である。木質の遺存は無い。
第741図 PL.568	104	刀子 両関刀子	遺構外 完形	7.7	4.6	1.5	0.2	3.1	1.2	0.2								両関で、棟部は角関で、刃関は、刃側と茎側の両方からゆるやかに上がり、山形の関を見せるもので、先の103の刀子と両関・片関の差はあるがほぼ同じ形態を取る。刃部は先に行くにつれ細くなる形態である。木質の付着は無い。
第741図 PL.568	105	刀子 刃先破片	遺構外 刃部破片	2.0+	1.1	0.3												刀子刃先部の破片。
第741図 PL.568	106	鎌 直刃鎌	遺構外 ほぼ完形	7.6	2.1	0.1~ 0.15												柄の折り返しは無く、羽部の右側がやや尖る。下の刃部と想定される箇所は、上部の棟と想定される場所に比べて明らかに薄くなっているため、直刃鎌として良いだろう。柄・他の箇所に木質や植物繊維の痕跡は無い。
第741図 PL.568	107	刀子 刀子柄	遺構外 柄部破片					3.3+	0.9	0.3								刀子の柄部破片。木質が一部付着する。目釘孔は認められ無い。
第741図 PL.568	108	穂摘具・素 材	遺構外 完形		3.15+	1.55	2.5+	0.1	0.15 ~ 0.4									右端部が丸くなる形態や、薄手の身部、端に寄った箇所での穿孔など穂摘具の可能性が高い。素材片の可能性もある。
第741図 PL.568	109	板状鉄器	遺構外 上下端欠損	2.0+	0.9	0.2												薄手の板状品。上下に割れがあり、さらに延びるものと思われる。
挿図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値				胎土/焼成/色調 石材・素材等		成 形 ・ 整 形 の 特 徴								備 考
第741図 PL.568	110	石製品 管玉	遺構外 完形	長 幅	1.6 0.7	厚 重	0.6 1.2	蛇紋岩		オリーブ灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。上下面が特に黒光りしている。下面に研磨痕が残る。両面穿孔で上面に近い位置と中央付近にわずかなズレがある。上下面の孔径約2mm。								孔上.2、 下.2
第741図	111	土師器 杯	遺構外 1/4	口 高	11.6 4.7			粗砂粒少量/良好/ 橙		口縁部は横ナデ。体部外面の上位にナデの面を残し、以下底部まで手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に向けて右傾の斜放射状へら磨き。								
第741図	112	土師器 杯	遺構外 1/4	口	13.0			粗砂粒/良好/明赤 褐		口縁部は横ナデ。体部外面はナデの面を残す、以下底部まで手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に向けて左傾の斜放射状へら磨き。								
第741図 PL.568	113	土師器 杯	遺構外 2/3	口 高	14.1 4.4			粗砂粒/良好/明赤 褐		口縁部は横ナデ。体部外面の上位にナデの部分を残す。以下底部までは手持ちへら削り。								器面磨滅。
第741図	114	土師器 鉢か	遺構外 底部片	底	6.0			細砂粒/良好/にぶ い黄橙		体部内外面、底部外面ともへらナデ。								
第741図	115	土師器 鉢(ミチヤ)	遺構外 底部片	底	2.8			細砂粒/良好/にぶ い赤褐		体部と底部外面はへらナデ。体部内面は指ナデ。								
第741図 PL.568	116	土師器 甕	遺構外 1/2	口 底	14.8 6.6	高	23.1	粗砂粒/良好/赤褐		口縁部から頸部直下は横ナデ。胴部外面は上位に斜縦位のへらナデ。中位以下は斜横位のへら削り。内面は横位のへらナデ。底部外面はへら削り。								
第741図 PL.568	117	須恵器 甕	遺構外 胴部片					夾雑物少量/還元 焰/褐灰		外面に降灰付着。内面はナデ。								
第741図 PL.568	118	須恵器 甕	遺構外 胴部片					夾雑物少量/還元 焰/黄灰		外面はカキメ。内面は横ナデ。								
第741図 PL.568	119	須恵器 甕	遺構外 小片					夾雑物少量/還元 焰/黄灰		内外面ともナデ。部位不明。								
第742図 PL.568	120	石製品 石製模造品	遺構外 完形	長 幅	2.7 3.0	厚 重	0.4 6.7	蛇紋岩		灰色。表裏面は平坦であり斜め方向の擦痕が認められる。側面は複数の面で構成されそれぞれ擦痕が認められる。左右の孔は表面側でその周辺部がわずかに窪んでおり、裏面からの穿孔の際に表面側が破碎した可能性がある。左右の孔径約2mm。								有孔円板
第742図 PL.568	121	石製品 石製模造品	遺構外 完形	長 幅	3.0 2.9	厚 重	0.3 4.9	蛇紋岩		緑黒色。表裏面共に平坦である。表面は斜め方向の擦痕が裏面は横方向の擦痕が認められる。左右の孔は表面側でその周辺部がわずかに窪んでおり、裏面からの穿孔の際に表面側が破碎した可能性がある。左右の孔径約2mm。								有孔円板
第742図 PL.568	122	石製品 石製模造品	遺構外 完形	長 幅	6.1 2.0	厚 重	0.6 9.0	蛇紋岩		緑黒色。表面には部分的に鎊が表現される。裏面は平坦であり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約1.5mm。								剣形
第742図 PL.568	123	石製品 石製模造品	遺構外 完形	長 幅	5.3 2.2	厚 重	0.3 5.3	蛇紋岩		緑黒色。表裏面共に平坦である。表面は縦及び斜め方向の擦痕が、裏面は斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。								剣形
第742図 PL.568	124	石製品 管玉	遺構外 1/2	長 幅	0.6 (0.3)	厚 重	(0.2) 0.02	碧玉		深緑色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。側面部は一樣な曲面でなく縦方向の緩やかな稜線が5条認められ方形の区画部により構成される。								

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				長	幅	厚重				
第742図 PL.568	125	石製品 白玉	遺構外 完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.2 0.05	蛇紋岩	緑黒色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	
第742図 PL.568	126	石製品 白玉	遺構外 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.3 0.13	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第742図 PL.568	127	石製品 白玉	遺構外 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.3 0.13	滑石	オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	
第742図 PL.568	128	石製品 白玉	遺構外 完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.3 0.09	蛇紋岩	緑黒色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第742図 PL.568	129	石製品 白玉	遺構外 完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.2 0.06	蛇紋岩	緑黒色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第742図 PL.568	130	石製品 白玉	遺構外 完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.2 0.08	滑石	灰色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸で構成される。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第742図 PL.568	131	石製品 白玉	遺構外 完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.3 0.15	滑石	灰色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸で構成される。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第742図 PL.568	132	石製品 白玉	遺構外 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.3 0.12	滑石	灰白色。表裏面は平坦でなく凹凸で構成される。側面は中央に明瞭な張りはなく横～斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第742図 PL.568	133	石製品 白玉	遺構外 1/2	長 幅	(0.4) 0.6	厚 重	(0.1) 0.06	滑石	灰白色。表裏面は平坦でなく凹凸で構成される。側面は中央に明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第742図	134	土師器 杯	遺構外 口縁部～体部片	口	12.8			細砂粒/良好/褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ。内面は斜放射状ヘラ磨き。	
第742図	135	土師器 杯	遺構外 1/8	口	12.8			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部外面はナデ。底部外面はヘラ削り。内面は底部から体部に向かい左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第742図 PL.568	136	土師器 ミニチュア 壺形	遺構外 底部～胴部中位	底	4.6			細砂粒・粗砂粒少量/良好/赤褐	外面はやや丁寧なナデ。内面はやや雑なナデで器表に凹凸がある。	
第742図 PL.568	137	手捏ね土器 鉢形	遺構外 口縁部一部欠	口 底	4.8 3.8	高	4.8 ～ 5.5	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	手捏ね。底部の器壁は厚い。外面はやや丁寧なナデ。内面はやや雑なナデで器表に凹凸がある。	下半の器表は 黒色。
第742図	138	土師器 高杯	遺構外 脚部～杯部底部	脚	14			細砂粒/良好/明褐	脚部と杯部は接合。脚部は裾部が横ナデ、柱状部はナデ、杯部底部はヘラナデ。内面は脚部がヘラナデ。	
第742図	139	土師器 高杯	遺構外 杯部口縁部～底部片	口	15.9			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は放射状ヘラ磨き、底部はヘラナデ。内面は口縁部に斜放射状ヘラ磨き、器面剝離のため不鮮明。	
第742図	140	土師器 甕	遺構外 口縁部片	口	23.2			細砂粒/良好/橙	口唇部は横ナデ、口縁部から頸部はハケメ、一部器面摩滅のため単位不明。内面も同様。	
第742図	141	土師器 壺	遺構外 胴部一部、底部 1/3	底	6.8			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	内外面共に器面の凹凸が多い。胴部外面はヘラ削りで、窪んだ部分には及ばない。内面は幅の広いヘラナデ。胴部内面は輪積み痕と接合痕が残る。	
挿図 PL.No.	No.	遺物名	出土位置 残存率	計測値(cm)			重量(g)	特徴など		
				長	幅	厚さ				
第742図 PL.568	142	粘土質溶解物	遺構外 一部欠損	2.0	2.0	0.9	3.1	粘土質溶解物主体。小形で薄手の鍛冶滓か。上下面に凹凸がある。気泡が内在し、比重が低く、主体は粘土質溶解物である。滓中に鉄部はない。		
挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
長				幅	厚重					
第742図 PL.568	143	礫 粒状礫	遺構外 完形	長 幅	1.7 1.6	厚 重	1.0 4.0	チャート	赤褐色。小形の極円礫。全体的に非常に滑らかでありわずかに光沢がある。	
第742図 PL.568	144	石製品 石製模造品	遺構外 完形	長 幅	6.1 1.4	厚 重	0.6 8.4	滑石	オリーブ灰色。表裏面は斜め方向の擦痕が認められる。側面にも擦痕が認められる。表面の下側縁には刀子等工具による作出面が認められる。裏面左側縁と側面部との境界の稜上には刀子等工具による作出面が認められる。孔径約2mm。	剣形
第742図 PL.568	145	石製品 剥片	遺構外 1/3	長 幅	(2.2) 2.3	厚 重	0.3 2.5	ひん岩	暗緑灰色。表裏面共にほぼ平坦であり斜め方向の擦痕が認められる。	剥片
第742図 PL.568	146	石製品 砥石	遺構外 不明	長 幅	(3.2) 2.5	厚 重	0.7 10.6	粗粒輝石安山岩	表裏面は全体的に滑らかであり砥面と判断される。表面には研ぎ残しの粗い部分が認められる。左側面は全体的に滑らかであり砥面の可能性がある。右側面と上部小口面には滑らかな部分が認められ便宜的な砥面の可能性がある。	
第742図 PL.568	147	石製品 砥石	遺構外 完形	長 幅	6.0 3.3	厚 重	2.0 78.0	粗粒輝石安山岩	表裏面は全体的に滑らかであり砥面と判断される。左右両側面と上下小口面は全体的に滑らかであり砥面の可能性がある。表面は他の面と比べ全体的に著しく滑らかであり主要な砥面と判断される。	
第742図 PL.568	148	石製品 砥石	遺構外 完形	長 幅	10.0 4.6	厚 重	1.8 110.4	粗粒輝石安山岩	表裏面は全体的に滑らかであり砥面と判断される。左右両側面は全体的に滑らかであり砥面の可能性がある。下部小口面には滑らかな部分が認められ便宜的な砥面の可能性がある。上部小口面は平坦面が形成されているが滑らかでない。	
第742図 PL.568	149	石製品 砥石	遺構外 不明	長 幅	(14.0) 7.9	厚 重	(3.6) 629.4	粗粒輝石安山岩	表面は全体的に滑らかであり砥面と判断される。表面の上下端部に断面U字形の比較的幅の広い線条痕が集中する。裏面と左右両側面は打割面である。	



































































Table with 11 columns: 登錄番号, 区, 遺構No., 遺構種, 実測, 残存率, 長(cm), 幅(cm), 厚(cm), 重(g), 孔(cm), 石材. Contains data for 81474 to 81567.

Table with 11 columns: 登錄番号, 区, 遺構No., 遺構種, 実測, 残存率, 長(cm), 幅(cm), 厚(cm), 重(g), 孔(cm), 石材. Contains data for 81568 to 81661.



























































登録番号	区	遺構No.	遺構種	実測	残存率	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	石材	備考
74667	1	12	遺構			1.1	0.6	0.5	0.5	チャート	
74668	1	12	遺構			0.8	0.6	0.5	0.4	変質安山岩	
74669	1	12	遺構			0.9	0.6	0.3	0.3	変質安山岩	
74670	1	12	遺構			0.8	0.5	0.4	0.1	変質安山岩	
74671	1	12	遺構			1.0	0.4	0.4	0.3	変質安山岩	
74672	1	12	遺構			0.7	0.6	0.4	0.2	不明	
74673	1	12	遺構			0.8	0.5	0.3	0.2	不明	
74674	1	12	遺構			0.6	0.4	0.3	0.1	チャート	
74675	1	12	遺構			0.5	0.5	0.5	0.1	不明	
74676	1	12	遺構			0.5	0.3	0.2	0.1	不明	
74677	1	12	遺構			2.0	0.9	0.8	1.8	変質安山岩	
74678	1	12	遺構			1.6	1.0	0.5	1.3	ホルンフェルス	
74679	1	12	遺構			1.5	1.0	0.8	1.6	流紋岩	
74680	1	12	遺構			1.1	1.0	0.7	1.1	凝灰質砂岩	
74681	1	12	遺構			1.1	0.9	0.6	0.2	軽石	
74682	1	12	遺構	○	完形	1.5	0.8	0.5	0.8	砂岩	被膜
74683	1	12	遺構			1.2	0.7	0.3	0.5	変質安山岩	
74684	1	12	遺構	○	完形	1.0	0.8	0.4	0.4	チャート	被膜
74685	1	12	遺構			1.0	0.6	0.4	0.4	流紋岩	
74686	1	12	遺構			0.9	0.5	0.4	0.3	チャート	
74687	1	12	遺構			1.0	0.5	0.3	0.2	砂岩	
74688	1	12	遺構			0.5	0.5	0.3	0.1	珩質頁岩	
74689	1	12	遺構			0.9	0.6	0.3	0.2	不明	
74690	1	12	遺構			0.8	0.6	0.5	0.3	溶結凝灰岩	
74691	1	12	遺構			0.8	0.5	0.3	0.2	チャート	
74692	1	12	遺構			0.6	0.5	0.2	0.1	溶結凝灰岩	
74693	1	12	遺構			0.5	0.4	0.3	0.1	不明	
74694	1	12	遺構			0.6	0.5	0.3	0.1	珩質頁岩	
74695	1	12	遺構			0.6	0.4	0.3	0.1	変質安山岩	
74696	1	12	遺構			0.6	0.4	0.2	0.1	不明	
74697	1	12	遺構			3.8	2.4	1.6	22.6	文象斑岩	
74698	1	12	遺構			2.1	1.3	1.1	3.6	変質安山岩	
74699	1	12	遺構			1.6	1.4	0.9	2.2	チャート	
74700	1	12	遺構			1.8	1.0	0.9	2.1	変質安山岩	
74701	1	12	遺構	○	完形	1.4	1.0	0.7	1.2	流紋岩	被膜
74702	1	12	遺構			1.4	1.1	0.7	1.3	砂岩	
74703	1	12	遺構			1.6	0.8	0.8	1.3	砂岩	
74704	1	12	遺構			1.8	0.9	0.6	1.3	チャート	
74705	1	12	遺構			1.1	0.6	0.5	0.4	砂岩	
74706	1	12	遺構			1.1	0.7	0.5	0.5	変質安山岩	
74707	1	12	遺構			1.2	0.7	0.5	0.5	砂岩	
74708	1	12	遺構			1.4	0.7	0.5	0.7	砂岩	
74709	1	12	遺構			1.3	0.8	0.7	0.5	凝灰岩	
74710	1	12	遺構	○	完形	0.8	0.8	0.6	0.5	不明	被膜
74711	1	12	遺構			0.9	0.7	0.4	0.3	砂岩	
74712	1	12	遺構			0.8	0.7	0.4	0.2	粗粒輝石安山岩	
74713	1	12	遺構			0.7	0.4	0.4	0.2	チャート	
74714	1	12	遺構			0.5	0.5	0.4	0.2	チャート	
74715	1	12	遺構			0.5	0.5	0.4	0.2	チャート	
74716	1	12	遺構			0.6	0.4	0.3	0.1	チャート	
74717	1	12	遺構			1.8	1.0	0.9	1.9	珩質頁岩	
74718	1	12	遺構			1.5	1.4	0.5	1.5	変質安山岩	
74719	1	12	遺構			1.4	0.9	0.7	1.0	チャート	
74720	1	12	遺構			1.2	0.9	0.6	0.8	砂岩	
74721	1	12	遺構			1.2	0.8	0.7	0.8	砂岩	
74722	1	12	遺構			1.0	0.9	0.7	1.0	チャート	
74723	1	12	遺構			1.2	1.0	0.6	0.7	チャート	
74724	1	12	遺構	○	完形	0.9	0.8	0.4	0.4	珩質頁岩	被膜
74725	1	12	遺構			1.2	0.8	0.6	0.8	溶結凝灰岩	
74726	1	12	遺構			0.8	0.8	0.4	0.4	変質安山岩	
74727	1	12	遺構			0.7	0.6	0.4	0.3	変質安山岩	
74728	1	12	遺構			0.9	0.6	0.4	0.2	変質安山岩	
74729	1	12	遺構			0.8	0.4	0.3	0.2	変質安山岩	
74730	1	12	遺構			1.0	0.5	0.4	0.3	チャート	
74731	1	12	遺構			0.8	0.4	0.3	0.1	チャート	
74732	1	12	遺構			0.8	0.5	0.2	0.1	珩質頁岩	
74733	1	12	遺構			0.6	0.6	0.3	0.2	チャート	
74734	1	12	遺構			0.8	0.7	0.4	0.2	砂岩	
74735	1	12	遺構			0.9	0.5	0.4	0.2	変質安山岩	
74736	1	12	遺構			1.3	1.3	0.6	1.3	変質安山岩	
74737	1	12	遺構			3.0	1.6	1.4	8.9	テイスайд凝灰岩	
74738	1	12	遺構			2.4	2.0	1.1	5.9	変質安山岩	
74739	1	12	遺構			1.8	0.9	0.9	1.6	砂岩	
74740	1	12	遺構			1.7	1.1	0.6	1.3	砂岩	
74741	1	12	遺構			1.3	1.3	0.3	0.8	砂岩	
74742	1	12	遺構			1.2	1.0	0.8	1.2	チャート	
74743	1	12	遺構			1.3	1.0	0.7	1.0	チャート	
74744	1	12	遺構			1.3	0.8	0.5	0.3	凝灰岩	
74745	1	12	遺構			1.1	0.7	0.4	0.3	凝灰岩	
74746	1	12	遺構			1.4	0.6	0.5	0.7	珩質頁岩	
74747	1	12	遺構			1.0	0.7	0.4	0.3	砂岩	
74748	1	12	遺構			1.0	0.7	0.4	0.2	粗粒輝石安山岩	
74749	1	12	遺構	○	完形	0.9	0.8	0.4	0.4	チャート	被膜
74750	1	12	遺構			0.9	0.6	0.4	0.1	凝灰岩	
74751	1	12	遺構	○	完形	1.0	0.7	0.4	0.3	チャート	被膜
74752	1	12	遺構			0.8	0.7	0.4	0.3	砂岩	
74753	1	12	遺構			0.8	0.5	0.4	0.2	チャート	
74754	1	12	遺構			0.7	0.5	0.3	0.1	砂岩	
74755	1	12	遺構			0.7	0.5	0.2	0.1	不明	
74756	1	12	遺構			0.6	0.3	0.2	0.03	不明	
74757	1	12	遺構			1.4	1.1	0.5	1.1	砂岩	
74758	1	12	遺構			1.0	1.0	0.6	0.9	砂岩	
74759	1	12	遺構			1.0	0.7	0.5	0.5	雲母石英片岩	
74760	1	12	遺構			1.1	0.8	0.6	0.8	チャート	
74761	1	12	遺構			1.1	0.8	0.4	0.5	砂岩	
74762	1	12	遺構			1.0	0.7	0.4	0.4	溶結凝灰岩	
74763	1	12	遺構	○	完形	0.9	0.7	0.5	0.4	チャート	被膜
74764	1	12	遺構			1.1	0.7	0.5	0.4	変質安山岩	
74765	1	12	遺構			1.1	0.8	0.4	0.5	変質安山岩	
74766	1	12	遺構			1.1	0.6	0.4	0.4	砂岩	
74767	1	12	遺構			0.9	0.8	0.4	0.4	砂岩	
74768	1	12	遺構			0.9	0.5	0.4	0.2	砂岩	
74769	1	12	遺構			0.6	0.5	0.3	0.1	砂岩	
74770	1	12	遺構			0.8	0.6	0.5	0.3	流紋岩	
74771	1	12	遺構			0.7	0.6	0.4	0.3	チャート	
74772	1	12	遺構			0.9	0.6	0.3	0.3	砂岩	
74773	1	12	遺構			0.7	0.5	0.2	0.2	砂岩	
74774	1	12	遺構			0.6	0.4	0.3	0.1	珩質変質岩	
74775	1	12	遺構			0.4	0.3	0.3	0.1	チャート	
74776	1	12	遺構			0.3	0.3	0.1	0.03	頁岩	
74777	1	12	遺構			2.7	2.3	1.2	9.7	チャート	
74778	1	12	遺構			1.4	1.3	1.2	2.9	チャート	
74779	1	12	遺構			1.1	0.9	0.7	0.9	粗粒輝石安山岩	
74780	1	12	遺構			1.3	0.7	0.3	0.5	砂岩	
74781	1	12	遺構			1.1	0.7	0.4	0.4	粗粒輝石安山岩	
74782	1	12	遺構			1.0	0.5	0.5	0.3	粗粒輝石安山岩	
74783	1	12	遺構			0.9	0.7	0.3	0.3	チャート	
74784	1	12	遺構			0.9	0.6	0.3	0.1	凝灰岩	
74785	1	12	遺構			0.8	0.5	0.4	0.2	不明	
74786	1	12	遺構			0.7	0.6	0.3	0.2	チャート	
74787	1	12	遺構			0.5	0.4	0.2	0.1	粗粒輝石安山岩	
74788	1	12	遺構			0.3	0.2	0.1	0.01	粗粒輝石安山岩	
74789	1	12	遺構	○	完形	0.5	0.4	0.3	0.1	砂岩	被膜
74790	1	12	遺構			0.6	0.5	0.3	0.1	砂岩	
74791	1	12	遺構			0.6	0.4	0.2	0.1	珩質変質岩	
74792	1	12	遺構			0.5	0.3	0.2	0.04	砂岩	
74793	1	12	遺構			0.5	0.4	0.2	0.1	チャート	
74794	1	12	遺構			0.4	0.3	0.2	0.03	流紋岩	
74795	1	12	遺構			0.4	0.3	0.2	0.04	砂岩	
74796	1	12	遺構			0.6	0.4	0.3	0.1	砂岩	
74797	1	12	遺構			2.4	1.6	0.9	4.4	砂岩	
74798	1	12	遺構			2.1	1.7	1.5	6.3	変質安山岩	
74799	1	12	遺構			0.5	0.4	0.2	0.1	チャート	
74800	1	12	遺構			1.5	1.0	0.7	1.1	砂岩	
74801	1	12	遺構			1.1	0.8	0.6	0.7	砂岩	
74802	1	12	遺構			1.0	0.9	0.5	0.6	砂岩	
74803	1	12	遺構			1.0	0.7	0.4	0.5	チャート	
74804	1	12	遺構	○	完形	1.0	0.7	0.6	0.5	チャート	被膜
74805	1	12	遺構			1.0	0.6	0.6	0.5	変質安山岩	
74806	1	12	遺構			0.9	0.4	0.4	0.2	砂岩	
74807	1	12	遺構			0.7	0.6	0.3	0.2	チャート	
74808	1	12	遺構								

登録番号	区	遺構No.	遺構種	実測	残存率	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	石材	備考
74857	1	12	遺構			0.7	0.3	0.2	0.1	珪質頁岩	
74858	1	12	遺構			0.4	0.4	0.3	0.1	変質安山岩	
74859	1	12	遺構			0.5	0.4	0.3	0.1	変質安山岩	
74860	1	12	遺構			0.6	0.4	0.2	0.1	チャート	
74861	1	12	遺構	○	完形	0.6	0.5	0.4	0.2	チャート	被膜
74862	1	12	遺構			0.4	0.3	0.2	0.04	変質玄武岩	
74863	1	12	遺構			0.8	0.5	0.4	0.2	珪質頁岩	
74864	1	12	遺構			0.7	0.6	0.4	0.2	砂岩	
74865	1	12	遺構			0.8	0.4	0.3	0.1	チャート	
74866	1	12	遺構			0.9	0.6	0.2	0.2	ホルンフェルス	
74867	1	12	遺構			1.0	0.6	0.5	0.4	デイサイト	
74868	1	12	遺構			0.9	0.6	0.4	0.2	珪質頁岩	
74869	1	12	遺構			0.9	0.7	0.3	0.3	溶結凝灰岩	
74870	1	12	遺構	○	完形	1.1	0.7	0.7	0.7	流紋岩	
74871	1	12	遺構			1.1	1.0	0.5	0.8	不明	
74872	1	12	遺構			0.7	0.6	0.3	0.1	軽石	
74873	1	12	遺構			0.7	0.7	0.5	0.3	チャート	
74874	1	12	遺構			2.5	0.8	0.5	1.0	ホルンフェルス	
74875	1	12	遺構	○	完形	1.8	1.1	0.6	1.6	砂岩	
74876	1	12	遺構			0.8	0.6	0.2	0.2	変質玄武岩	
74877	1	12	遺構			0.6	0.5	0.4	0.2	珪質頁岩	
74878	1	12	遺構			0.8	0.6	0.4	0.3	砂岩	
74879	1	12	遺構			0.7	0.6	0.3	0.2	凝灰質砂岩	
74880	1	12	遺構			1.0	0.6	0.4	0.3	チャート	
74881	1	12	遺構			0.9	0.5	0.3	0.2	珪質頁岩	
74882	1	12	遺構			0.5	0.5	0.3	0.1	チャート	
74883	1	12	遺構			0.6	0.5	0.4	0.2	流紋岩	
74884	1	12	遺構			0.5	0.4	0.4	0.2	粗粒輝石安山岩	
74885	1	12	遺構			1.2	1.0	0.6	0.9	粗粒輝石安山岩	
74886	1	12	遺構			1.0	0.9	0.5	0.7	チャート	
74887	1	12	遺構			0.8	0.5	0.4	0.3	溶結凝灰岩	
74888	1	12	遺構			0.7	0.4	0.4	0.2	珪質頁岩	
74889	1	12	遺構			0.4	0.4	0.3	0.1	チャート	
74890	1	12	遺構			1.6	1.1	0.5	1.2	溶結凝灰岩	
74891	1	12	遺構			1.3	0.8	0.7	1.1	砂岩	
74892	1	12	遺構			1.0	0.8	0.5	0.5	粗粒輝石安山岩	
74893	1	12	遺構			0.6	0.5	0.2	0.1	粗粒輝石安山岩	
74894	1	12	遺構			1.6	0.9	0.5	0.8	変質安山岩	
74895	1	12	遺構			0.4	0.4	0.3	0.04	砂岩	
74896	1	12	遺構	○	完形	0.7	0.5	0.4	0.2	砂岩	被膜
74897	1	12	遺構			0.8	0.4	0.4	0.2	流紋岩	
74898	1	12	遺構			0.9	0.6	0.5	0.3	珪質変質岩	
74899	1	12	遺構			0.9	0.5	0.4	0.3	砂岩	
74900	1	12	遺構			0.6	0.5	0.4	0.2	珪質頁岩	
74901	1	12	遺構			0.7	0.4	0.3	0.1	粗粒輝石安山岩	
74902	1	12	遺構			0.8	0.5	0.4	0.2	砂岩	
74903	1	12	遺構			0.7	0.5	0.4	0.2	珪質変質岩	
74904	1	12	遺構			1.1	0.6	0.4	0.3	砂岩	
74905	1	12	遺構			0.8	0.6	0.4	0.3	変質安山岩	
74906	1	12	遺構			0.7	0.6	0.5	0.3	粗粒輝石安山岩	
74907	1	12	遺構			0.8	0.6	0.4	0.3	変質玄武岩	
74908	1	12	遺構			1.1	0.7	0.6	0.5	粗粒輝石安山岩	
74909	1	12	遺構			1.2	0.8	0.6	0.8	粗粒輝石安山岩	
74910	1	12	遺構			1.4	0.9	0.4	0.8	凝灰質砂岩	
74911	1	12	遺構			1.4	1.0	0.7	1.4	凝灰質砂岩	
74912	1	12	遺構			1.5	1.5	0.5	1.5	珪質頁岩	
74913	1	12	遺構			1.8	1.2	0.5	1.5	砂岩	
74914	1	12	遺構			2.6	1.6	0.6	2.6	チャート	
74915	1	12	遺構			0.4	0.3	0.2	0.1	チャート	
74916	1	12	遺構			0.5	0.4	0.3	0.1	粗粒輝石安山岩	
74917	1	12	遺構			0.6	0.4	0.3	0.1	不明	
74918	1	12	遺構			0.9	0.7	0.5	0.4	デイサイト	
74919	1	12	遺構			0.8	0.6	0.4	0.3	砂岩	
74920	1	12	遺構	○	完形	0.8	0.6	0.4	0.3	チャート	被膜
74921	1	12	遺構			0.9	0.6	0.5	0.4	玉髄	
74922	1	12	遺構	○	完形	1.1	1.0	0.4	0.5	流紋岩凝灰岩	被膜
74923	1	12	遺構			1.2	1.0	0.3	0.4	砂岩	
74924	1	12	遺構			0.9	0.7	0.4	0.3	砂岩	
74925	1	12	遺構			1.1	0.8	0.6	0.8	砂岩	
74926	1	12	遺構			0.7	0.6	0.4	0.3	変質安山岩	
74927	1	12	遺構			0.7	0.3	0.2	0.1	チャート	
74928	1	12	遺構			0.6	0.4	0.4	0.1	珪質変質岩	
74929	1	12	遺構			1.2	0.8	0.3	0.3	珪質頁岩	
74930	1	12	遺構			1.0	0.8	0.6	0.8	砂岩	
74931	1	12	遺構			1.0	0.9	0.6	0.7	砂岩	
74932	1	12	遺構			1.0	0.8	0.3	0.5	砂岩	
74933	1	12	遺構	○	完形	1.8	1.1	0.7	1.6	砂岩	被膜
74934	1	12	遺構			2.0	1.1	0.7	2.2	輝緑岩	
74935	1	12	遺構			0.9	0.4	0.3	0.1	デイサイト凝灰岩	
74936	1	12	遺構			0.6	0.5	0.4	0.2	珪質変質岩	
74937	1	12	遺構			0.7	0.5	0.3	0.2	砂岩	
74938	1	12	遺構			0.8	0.5	0.5	0.2	砂岩	
74939	1	12	遺構			0.4	0.4	0.3	0.1	砂岩	
74940	1	12	遺構			0.6	0.3	0.3	0.1	砂岩	
74941	1	12	遺構			1.1	0.8	0.5	0.6	砂岩	
74942	1	12	遺構			1.3	0.8	0.4	0.5	チャート	
74943	1	12	遺構			0.5	0.3	0.3	0.1	砂岩	
74944	1	12	遺構			0.9	0.5	0.4	0.3	チャート	
74945	1	12	遺構			0.9	0.6	0.4	0.2	チャート	
74946	1	12	遺構			0.5	0.4	0.3	0.1	粗粒輝石安山岩	
74947	1	12	遺構			1.2	0.7	0.4	0.4	砂岩	
74948	1	12	遺構			0.8	0.7	0.6	0.4	砂岩	
74949	1	12	遺構			1.0	0.7	0.5	0.4	砂岩	
74950	1	12	遺構			0.9	0.8	0.7	0.7	チャート	

登録番号	区	遺構No.	遺構種	実測	残存率	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	石材	備考
74951	1	12	遺構			1.4	0.7	0.6	0.6	チャート	
74952	1	12	遺構			1.6	1.1	0.7	1.4	砂岩	
74953	1	12	遺構			1.3	1.0	0.9	1.8	かこう岩	
74954	1	12	遺構			2.3	1.2	0.6	2.0	砂岩	
74955	1	12	遺構			1.3	0.9	0.4	0.5	デイサイト凝灰岩	
74956	1	12	遺構			0.7	0.6	0.4	0.2	粗粒輝石安山岩	
74957	1	12	遺構			0.6	0.5	0.4	0.2	砂岩	
74958	1	12	遺構			0.6	0.5	0.3	0.1	砂岩	
74959	1	12	遺構			1.2	0.7	0.6	0.6	変質安山岩	
74960	1	12	遺構			1.0	0.5	0.3	0.2	砂岩	
74961	1	12	遺構	○	完形	0.9	0.8	0.6	0.6	変質玄武岩	
74962	1	12	遺構			0.8	0.6	0.3	0.3	砂岩	
74963	1	12	遺構			0.7	0.4	0.3	0.2	チャート	
74964	1	12	遺構			0.5	0.4	0.3	0.1	石英	
74965	1	12	遺構			0.6	0.6	0.3	0.2	溶結凝灰岩	
74967	1	12	遺構			0.7	0.2	0.2	0.1	変質安山岩	
74968	1	12	遺構			0.9	0.7	0.6	0.5	砂岩	
74969	1	12	遺構			1.0	0.9	0.6	0.7	珪質準片岩	
74970	1	12	遺構			0.7	0.6	0.5	0.4	砂岩	
74971	1	12	遺構			0.8	0.6	0.3	0.2	チャート	
74972	1	12	遺構	○	完形	1.5	1.3	0.3	0.7	珪質頁岩	
74973	1	12	遺構			3.4	2.3	1.4	13.6	溶結凝灰岩	
74974	1	12	遺構			0.4	0.2	0.2	0.02	石英	
74975	1	12	遺構			0.7	0.5	0.3	0.2	チャート	
74976	1	12	遺構			1.2	1.0	0.5	0.8	珪質頁岩	
74977	1	12	遺構			1.1	0.7	0.3	0.4	粗粒輝石安山岩	
74978	1	12	遺構			0.6	0.5	0.3	0.1	チャート	
74979	1	12	遺構			0.7	0.6	0.2	0.3	砂岩	
74980	1	12	遺構			0.9	0.5	0.3	0.2	砂岩	
74981	1	12	遺構			0.6	0.5	0.4	0.1	砂岩	
74982	1	12	遺構			0.6	0.4	0.3	0.1	砂岩	
74983	1	12	遺構			0.5	0.3	0.3	0.1	チャート	
74984	1	12	遺構			0.4	0.4	0.2	0.1	チャート	
74985	1	12	遺構			0.5	0.5	0.3	0.1	砂岩	
74986	1	12	遺構			0.9	0.5	0.2	0.2	砂岩	
74987	1	12	遺構			0.8	0.5	0.3	0.2	砂岩	
74988	1	12	遺構			1.2	0.9	0.3	0.4	砂岩	
74989	1	12	遺構			1.1	0.5	0.5	0.4	砂岩	
74990	1	12	遺構			0.6	0.6	0.3	0.2	チャート	
74991	1	12	遺構			2.0	0.7	0.6	0.9	砂岩	
74992	1	12	遺構			1.4	1.2	0.6	1.5	砂岩	
74993	1	12	遺構			1.9	0.9	0.6	1.3	変輝緑岩	
74994	1	12	遺構			0.7	0.5	0.3	0.1	石英	
74995	1	12	遺構			1.8	0				

登録番号	区	遺構No.	遺構種	実測	残存率	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	石材	備考
75065	6	1	竪穴建物カマド			0.9	0.7	0.5	0.4	流紋岩	
75066	6	1	竪穴建物カマド			0.5	0.4	0.2	0.03	凝灰質砂岩	
75067	6	1	竪穴建物カマド			0.9	0.8	0.6	0.5	不明	
75068	6	1	竪穴建物カマド			1.4	1.2	0.5	1.1	チャート	
75069	6	1	竪穴建物カマド			1.2	0.8	0.4	0.6	砂岩	
75070	6	1	竪穴建物カマド			1.5	1.2	0.8	1.8	変質安山岩	
75071	6	1	竪穴建物カマド			0.9	0.5	0.3	0.2	溶結凝灰岩	
75072	6	1	竪穴建物カマド			0.9	0.6	0.6	0.4	不明	
75073	6	1	竪穴建物カマド			0.9	0.8	0.6	0.7	珪質頁岩	
75074	6	1	竪穴建物カマド			1.1	0.8	0.5	0.6	溶結凝灰岩	
75075	6	1	竪穴建物カマド			0.8	0.5	0.1	0.03	不明	
75076	6	1	竪穴建物カマド			0.9	0.8	0.7	0.7	砂岩	
75077	6	1	竪穴建物カマド			1.4	0.8	0.4	0.7	変質安山岩	
75078	6	1	竪穴建物カマド			1.1	0.9	0.3	0.5	変質安山岩	
75079	6	1	竪穴建物カマド			0.9	0.7	0.5	0.4	砂岩	
75080	6	1	竪穴建物カマド			1.6	1.0	0.9	1.6	珪質頁岩	
75081	6	1	竪穴建物カマド			1.3	1.0	0.6	1.2	珪質頁岩	
75082	6	1	竪穴建物カマド			1.6	1.1	0.5	1.5	変質安山岩	
75083	6	1	竪穴建物カマド			1.8	1.5	0.9	3.2	砂岩	
75084	6	1	竪穴建物カマド			0.8	0.5	0.4	0.2	珪質頁岩	
75085	6	1	竪穴建物カマド			1.1	0.7	0.4	0.4	溶結凝灰岩	
75086	6	1	竪穴建物カマド			0.8	0.4	0.3	0.1	流紋岩	
75087	6	1	竪穴建物カマド			1.0	0.7	0.5	0.4	珪質変質岩	
75088	6	1	竪穴建物カマド			2.1	1.1	0.8	2.5	変質安山岩	
75089	6	1	竪穴建物カマド			1.7	1.1	0.8	2.2	溶結凝灰岩	
75090	6	1	竪穴建物カマド			0.6	0.4	0.4	0.1	粗粒輝石安山岩	
75091	6	1	竪穴建物カマド			0.7	0.6	0.4	0.2	流紋岩	
75092	6	1	竪穴建物カマド			1.0	0.7	0.4	0.4	不明	
75093	6	1	竪穴建物カマド			1.8	1.6	0.9	2.7	流紋岩凝灰岩	
75094	6	1	竪穴建物カマド			1.5	1.4	1.0	2.9	砂岩	
75095	6	1	竪穴建物カマド	○	完形	1.6	0.8	0.7	1.1	珪質頁岩	
75096	6	1	竪穴建物カマド			1.7	1.4	0.7	2.0	溶結凝灰岩	
75097	6	1	竪穴建物カマド			0.8	0.5	0.3	0.2	砂岩	
75098	6	1	竪穴建物カマド			1.1	0.9	0.6	0.9	砂岩	
75099	6	1	竪穴建物カマド			1.0	0.9	0.5	0.6	溶結凝灰岩	
75100	6	1	竪穴建物カマド			0.9	0.7	0.5	0.3	流紋岩	
75101	6	1	竪穴建物カマド			2.3	1.4	0.7	2.9	輝緑凝灰岩	
75102	6	1	竪穴建物カマド			1.1	0.9	0.4	0.5	砂岩	
75103	6	1	竪穴建物カマド	○	完形	1.3	0.7	0.4	0.5	変質安山岩	被膜
75104	6	1	竪穴建物カマド			1.1	0.9	0.5	0.7	砂岩	
75105	6	1	竪穴建物カマド			1.0	0.7	0.6	0.5	粗粒輝石安山岩	
75106	6	1	竪穴建物カマド			1.2	0.7	0.5	0.5	砂岩	
75107	6	1	竪穴建物カマド			0.7	0.4	0.4	0.1	不明	
75108	6	1	竪穴建物カマド			1.0	0.7	0.4	0.4	溶結凝灰岩	
75109	6	1	竪穴建物カマド			2.3	1.6	0.8	3.7	チャート	
75110	6	1	竪穴建物カマド			1.3	1.3	0.7	1.7	砂岩	
75111	6	1	竪穴建物カマド			0.7	0.6	0.5	0.3	不明	
75112	6	1	竪穴建物カマド			1.1	0.8	0.5	0.6	砂岩	
75113	6	1	竪穴建物カマド			1.1	0.7	0.4	0.5	砂岩	
75114	6	1	竪穴建物カマド			1.4	0.8	0.5	0.9	砂岩	
75115	6	1	竪穴建物カマド			1.3	0.9	0.2	0.3	チャート	
75116	6	1	竪穴建物カマド			1.9	1.4	1.0	3.2	珪質頁岩	
75117	6	1	竪穴建物カマド			0.8	0.6	0.5	0.3	砂岩	
75118	6	1	竪穴建物カマド			1.2	0.9	0.6	0.8	砂岩	
75119	6	1	竪穴建物カマド			1.0	1.0	0.6	0.9	砂岩	
75120	6	1	竪穴建物カマド			1.1	0.8	0.6	0.6	砂岩	
75121	6	1	竪穴建物カマド			1.7	1.0	0.6	1.1	溶結凝灰岩	
75122	6	1	竪穴建物カマド			0.9	0.7	0.4	0.3	不明	
75123	6	1	竪穴建物カマド			1.1	0.5	0.4	0.3	不明	
75124	6	1	竪穴建物カマド			1.7	1.0	0.7	1.5	砂岩	
75125	6	1	竪穴建物カマド			1.9	1.4	0.7	1.9	砂岩	
75126	6	1	竪穴建物カマド			1.5	1.1	0.6	1.4	変質安山岩	
75127	6	1	竪穴建物カマド	○	完形	1.1	0.8	0.7	0.8	砂岩	
75128	6	1	竪穴建物カマド			1.6	1.5	0.8	2.5	砂岩	
75129	6	1	竪穴建物カマド			1.2	0.8	0.6	0.7	砂岩	
75130	6	1	竪穴建物カマド			1.0	0.7	0.5	0.4	珪質変質岩	
75131	6	1	竪穴建物カマド			1.2	0.7	0.5	0.4	溶結凝灰岩	
75132	6	1	竪穴建物カマド			0.9	0.5	0.3	0.2	珪質頁岩	
75133	6	1	竪穴建物カマド			0.8	0.5	0.4	0.2	溶結凝灰岩	
75134	6	1	竪穴建物カマド			0.9	0.7	0.4	0.3	砂岩	
75135	6	1	竪穴建物カマド			0.6	0.5	0.4	0.2	砂岩	
75136	6	1	竪穴建物カマド			0.5	0.2	0.2	0.03	溶結凝灰岩	
75137	6	1	竪穴建物カマド			0.9	0.9	0.8	1.0	チャート	
75138	6	1	竪穴建物カマド			0.8	0.7	0.4	0.2	変質安山岩	
75139	6	1	竪穴建物カマド			2.1	1.8	0.9	3.5	頁岩	
75140	6	1	竪穴建物カマド	○	完形	2.0	1.3	1.0	4.0	チャート	
75141	6	1	竪穴建物カマド			0.7	0.7	0.4	0.3	砂岩	
75142	6	1	竪穴建物カマド			0.9	0.6	0.6	0.3	不明	
75144	6	1	竪穴建物カマド			1.8	1.0	0.4	0.9	ホルンフェルス	
75145	6	1	竪穴建物カマド			0.8	0.7	0.5	0.4	砂岩	
75146	6	1	竪穴建物カマド			1.5	0.8	0.6	1.1	チャート	
75147	6	1	竪穴建物カマド			1.0	0.8	0.6	0.6	砂岩	
75148	6	1	竪穴建物カマド			1.8	0.9	0.5	0.6	砂岩	
75149	6	1	竪穴建物カマド			1.8	1.3	0.6	1.9	砂岩	
75150	6	1	竪穴建物カマド			1.1	0.7	0.6	0.6	溶結凝灰岩	
75151	6	1	竪穴建物カマド			0.8	0.5	0.5	0.3	砂岩	
75152	6	1	竪穴建物カマド			1.1	0.7	0.5	0.5	不明	
75153	6	1	竪穴建物カマド			1.8	1.3	1.0	2.6	溶結凝灰岩	
75154	6	1	竪穴建物カマド			1.0	0.9	0.5	0.7	不明	
75155	6	1	竪穴建物カマド			1.6	0.9	0.5	0.9	溶結凝灰岩	
75156	6	1	竪穴建物カマド			0.8	0.7	0.3	0.2	頁岩	
75157	6	1	竪穴建物カマド			0.6	0.4	0.2	0.1	変質安山岩	
75158	6	1	竪穴建物カマド			2.0	1.2	0.6	2.2	変質安山岩	
75159	6	1	竪穴建物カマド			1.7	1.2	0.8	2.5	粗粒輝石安山岩	

登録番号	区	遺構No.	遺構種	実測	残存率	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	石材	備考
75160	6	1	竪穴建物カマド			2.1	1.1	0.6	2.1	変質安山岩	
75161	6	1	竪穴建物カマド			2.0	1.5	1.2	4.2	溶結凝灰岩	
75162	6	1	竪穴建物カマド			1.0	0.8	0.4	0.4	珪質頁岩	
75163	6	1	竪穴建物カマド			1.3	0.9	0.6	0.8	砂岩	
75164	6	1	竪穴建物カマド			1.2	1.0	0.7	1.1	不明	
75165	6	1	竪穴建物カマド	○	完形	1.1	0.8	0.6	0.4	テラサイト凝灰岩	
75166	6	1	竪穴建物カマド			1.5	1.3	0.9	2.0	変質安山岩	
75167	6	1	竪穴建物カマド			1.1	0.6	0.4	0.3	珪質頁岩	
75168	6	1	竪穴建物カマド			0.7	0.5	0.4	0.2	チャート	
75169	6	1	竪穴建物カマド			—	—	—	—	ホルンフェルス	
75170	6	1	竪穴建物カマド			1.1	1.0	0.6	0.8	不明	
75171	6	1	竪穴建物カマド			0.7	0.5	0.4	0.2	不明	
75172	6	1	竪穴建物カマド			1.1	1.1	0.5	0.6	砂岩	
75173	6	1	竪穴建物カマド			1.5	0.7	0.7	1.0	不明	
75174	6	1	竪穴建物カマド			1.6	1.1	0.5	1.3	砂岩	
75175	6	1	竪穴建物カマド			1.2	0.7	0.5	0.6	流紋岩	
75176	6	1	竪穴建物カマド			2.0	1.3	0.7	2.7	チャート	
75177	6	1	竪穴建物カマド	○	完形	1.4	1.2	0.6	1.3	砂岩	
75178	6	1	竪穴建物カマド			1.8	1.2	0.7	1.8	砂岩	
75179	6	1	竪穴建物カマド			1.6	1.5	0.9	2.0	溶結凝灰岩	
75180	6	1	竪穴建物カマド			1.4	1.4	0.6	1.5	溶結凝灰岩	
75181	6	1	竪穴建物カマド			1.6	1.2	0.7	0.9	テラサイト凝灰岩	
75182	6	1	竪穴建物カマド			0.9	0.6	0.5	0.4	不明	
75183	6	1	竪穴建物カマド			1.5	1.4	1.2	3.1	チャート	
75184	6	1	竪穴建物カマド			2.7	1.3	0.8	2.8	珪質頁岩	
75185	6	1	竪穴建物カマド			1.4	1.3	0.7	1.5	変質安山岩	
75186	6	1	竪穴建物カマド			2.0	1.3	0.8	2.2	砂岩	
75187	6	1	竪穴建物カマド			1.2	0.9	0.8	0.7	粗粒輝石安山岩	
75188	6	1	竪穴建物カマド			2.2	1.4	0.8	1.8	ホルンフェルス	
75189	6	1	竪穴建物カマド			1.3	0.9	0.5	0.7	変質安山岩	
75190	6	1	竪穴建物カマド			1.9	1.4	0.5	1.6	珪質頁岩	
75191	6	1	竪穴建物カマド			1.0	0.9	0.2	0.2	砂岩	
75192	6	1	竪穴建物カマド	○	完形	2.0	1.3	1.1	3.3	珪質頁岩	
75193	6	1	竪穴建物カマド			0.9	0.9	0.5	0.6	砂岩	
75194	6	1	竪穴建物カマド			1.9	1.8	1.0	4.2	チャート	
75195	6	1	竪穴建物カマド			2.3	1.5	1.1	5.1	砂岩	
75196	6	1	竪穴建物カマド			1.4	0.9	0.5	0.8	流紋岩	
75197	6	1	竪穴建物カマド			1.2	0.9	0.7	0.8	変質安山岩	

登録番号	区	遺構No.	遺構種	実測	残存率	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	石材	備考
75255	6	1	竪穴建物カマド			1.3	0.8	0.5	0.8	珪質頁岩	
75256	6	1	竪穴建物カマド			0.7	0.5	0.3	0.1	砂岩	
75257	6	1	竪穴建物カマド			0.7	0.5	0.4	0.2	チャート	
75258	6	1	竪穴建物カマド			0.9	0.6	0.4	0.3	砂岩	
75259	6	1	竪穴建物カマド			0.7	0.5	0.4	0.1	珪質頁岩	
75260	6	1	竪穴建物カマド			0.7	0.6	0.4	0.2	粗粒輝石安山岩	
75261	6	1	竪穴建物カマド			0.9	0.7	0.5	0.5	不明	
75262	6	1	竪穴建物カマド			0.9	0.8	0.3	0.4	ホルンフェルス	
75263	6	1	竪穴建物カマド			0.8	0.7	0.3	0.3	砂岩	
75264	6	1	竪穴建物カマド			0.8	0.6	0.5	0.3	チャート	
75265	6	1	竪穴建物カマド			0.7	0.5	0.4	0.2	チャート	
75266	6	1	竪穴建物カマド			1.3	0.7	0.4	0.5	溶結凝灰岩	
75267	6	1	竪穴建物カマド			0.5	0.4	0.3	0.1	変質安山岩	
75268	6	1	竪穴建物カマド			1.2	0.9	0.7	1.0	珪質頁岩	
75269	6	1	竪穴建物カマド			1.9	1.5	0.9	2.9	砂岩	
75270	6	1	竪穴建物カマド	○	完形	1.1	1.0	0.6	0.9	流紋岩	
75271	6	1	竪穴建物カマド	○	完形	1.0	0.8	0.5	0.6	砂岩	
75272	6	1	竪穴建物カマド			1.1	1.0	0.7	1.0	チャート	
75273	6	1	竪穴建物カマド			0.9	0.8	0.5	0.5	チャート	
75274	6	1	竪穴建物カマド			1.2	0.7	0.4	0.5	砂岩	
75275	6	1	竪穴建物カマド			0.7	0.6	0.4	0.2	珪質頁岩	
75276	6	1	竪穴建物カマド			0.9	0.6	0.4	0.3	砂岩	
75277	6	1	竪穴建物カマド			1.1	1.0	0.5	0.7	砂岩	
75278	6	1	竪穴建物カマド			1.0	0.9	0.5	0.5	砂岩	
75279	6	1	竪穴建物カマド			0.9	0.4	0.3	0.2	珪質頁岩	
75280	6	1	竪穴建物カマド	○	完形	1.1	0.8	0.6	0.8	変質安山岩	
75281	6	1	竪穴建物カマド			0.8	0.7	0.4	0.3	ホルンフェルス	
75282	6	1	竪穴建物カマド			0.7	0.5	0.3	0.2	砂岩	
75283	6	1	竪穴建物カマド			0.7	0.5	0.5	0.1	粗粒輝石安山岩	
75284	6	1	竪穴建物カマド			1.2	0.9	0.3	0.4	溶結凝灰岩	
75285	6	1	竪穴建物カマド			0.6	0.5	0.3	0.1	不明	
75286	6	1	竪穴建物カマド			0.6	0.4	0.3	0.1	砂岩	
75287	6	1	竪穴建物カマド			0.7	0.6	0.5	0.3	溶結凝灰岩	
75288	6	1	竪穴建物カマド			1.0	0.9	0.3	0.4	溶結凝灰岩	
75289	6	1	竪穴建物カマド			0.8	0.6	0.4	0.3	溶結凝灰岩	
75290	6	1	竪穴建物カマド			-	-	-	0.04	不明	焼
75291	6	1	竪穴建物カマド			0.6	0.4	0.1	0.04	珪質頁岩	
75293	6	1	竪穴建物カマド			0.6	0.5	0.3	0.1	珪質変質岩	
75294	6	1	竪穴建物カマド			0.8	0.6	0.5	0.3	粗粒輝石安山岩	
75295	6	1	竪穴建物カマド			1.3	0.7	0.5	0.6	砂岩	
75296	6	1	竪穴建物カマド			0.6	0.5	0.3	0.1	変質安山岩	
75297	6	1	竪穴建物カマド			1.0	0.6	0.2	0.2	変質安山岩	
75298	6	1	竪穴建物カマド			1.3	0.6	0.5	0.4	溶結凝灰岩	
75299	6	1	竪穴建物カマド			1.9	1.2	0.5	1.4	砂岩	
75300	6	1	竪穴建物カマド			0.5	0.5	0.3	0.1	変質安山岩	
75301	6	1	竪穴建物カマド			0.5	0.4	0.4	0.1	珪質頁岩	
75302	6	1	竪穴建物カマド			0.8	0.4	0.3	0.2	チャート	
75303	6	1	竪穴建物カマド	○	完形	1.6	1.2	0.7	1.6	砂岩	
75304	6	1	竪穴建物カマド			0.9	0.5	0.4	0.2	砂岩	
75305	6	1	竪穴建物カマド			0.5	0.5	0.2	0.1	珪質頁岩	
75306	6	1	竪穴建物カマド			1.3	0.8	0.4	0.5	珪質変質岩	
75307	6	1	竪穴建物カマド	○	完形	1.2	0.6	0.4	0.4	変質安山岩	
75308	6	1	竪穴建物カマド			0.7	0.5	0.4	0.1	砂岩	
75309	6	1	竪穴建物カマド			0.7	0.4	0.2	0.1	不明	
75310	6	1	竪穴建物カマド			0.7	0.5	0.5	0.3	ホルンフェルス	
75311	6	1	竪穴建物カマド			2.4	1.6	1.1	4.8	砂岩	
75312	6	1	竪穴建物カマド			0.5	0.3	0.2	0.03	変質安山岩	
75313	6	1	竪穴建物カマド			2.6	1.8	0.9	5.5	変質安山岩	
75314	6	1	竪穴建物カマド			1.8	1.1	0.7	1.6	溶結凝灰岩	
75315	6	1	竪穴建物カマド			0.4	0.3	0.2	0.04	不明	
75316	6	1	竪穴建物カマド			0.3	0.3	0.3	0.03	不明	
75317	6	1	竪穴建物カマド			0.4	0.3	0.2	0.04	チャート	
75318	6	1	竪穴建物カマド	○	完形	2.0	1.7	0.5	1.7	変質安山岩	被膜
75319	6	1	竪穴建物カマド			0.4	0.3	0.2	0.01	粗粒輝石安山岩	
75320	6	1	竪穴建物カマド			0.6	0.4	0.2	0.04	変質安山岩	
75321	6	1	竪穴建物カマド			0.4	0.3	0.3	0.03	粗粒輝石安山岩	
75322	6	1	竪穴建物カマド			0.5	0.4	0.2	0.03	不明	
75323	6	1	竪穴建物カマド			0.4	0.4	0.3	0.03	粗粒輝石安山岩	
75324	6	1	竪穴建物カマド			0.5	0.3	0.3	0.04	溶結凝灰岩	
75325	6	1	竪穴建物カマド			0.4	0.3	0.3	0.03	溶結凝灰岩	
75326	6	1	竪穴建物カマド			0.4	0.3	0.2	0.03	溶結凝灰岩	
75327	6	1	竪穴建物カマド			0.4	0.3	0.2	0.02	粗粒輝石安山岩	
75328	6	1	竪穴建物カマド			0.4	0.3	0.3	0.03	溶結凝灰岩	
75329	6	1	竪穴建物カマド			0.4	0.3	0.2	0.03	粗粒輝石安山岩	
75330	6	1	竪穴建物カマド			0.3	0.2	0.2	0.02	粗粒輝石安山岩	
75331	6	1	竪穴建物カマド			0.3	0.2	0.2	0.01	不明	
75332	6	1	竪穴建物カマド			0.3	0.3	0.2	0.03	粗粒輝石安山岩	
75333	6	1	竪穴建物カマド			0.2	0.2	0.2	0.02	粗粒輝石安山岩	
75334	6	1	竪穴建物カマド			0.2	0.2	0.2	0.01	粗粒輝石安山岩	
75335	6	1	竪穴建物カマド			0.4	0.3	0.2	0.01	粗粒輝石安山岩	
75336	6	1	竪穴建物カマド			0.3	0.2	0.2	0.02	溶結凝灰岩	
75337	6	1	竪穴建物カマド			2.2	1.2	0.6	1.7	溶結凝灰岩	
75338	6	1	竪穴建物カマド			2.4	1.5	1.1	5.3	砂岩	
75339	6	1	竪穴建物カマド			2.1	1.2	1.2	3.8	ホルンフェルス	
75340	6	1	竪穴建物カマド			2.2	1.1	0.9	2.7	砂岩	
75341	6	1	竪穴建物カマド			2.2	1.9	0.7	4.6	砂岩	
75342	6	1	竪穴建物カマド			1.3	0.9	0.6	1.1	砂岩	
75343	6	1	竪穴建物カマド			1.2	1.1	0.7	1.3	砂岩	
75344	6	1	竪穴建物カマド			1.7	1.0	0.7	1.6	砂岩	
75345	6	1	竪穴建物カマド			2.1	0.9	0.5	1.4	砂岩	
75346	6	1	竪穴建物カマド			1.3	1.0	0.6	1.0	砂岩	
75347	6	1	竪穴建物カマド			1.1	0.8	0.4	0.5	チャート	
75348	6	1	竪穴建物カマド			1.6	1.5	0.9	2.4	砂岩	
75349	6	1	竪穴建物カマド			1.7	1.6	0.8	2.6	砂岩	

登録番号	区	遺構No.	遺構種	実測	残存率	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	石材	備考
75350	6	1	竪穴建物カマド			1.5	1.1	0.5	1.2	溶結凝灰岩	
75351	6	1	竪穴建物カマド	○	完形	1.4	0.9	0.5	1.0	砂岩	被膜
75352	6	1	竪穴建物カマド			1.3	0.8	0.6	0.9	黒色安山岩	
75353	6	1	竪穴建物カマド			1.5	1.2	0.5	1.1	粗粒輝石安山岩	
75354	6	1	竪穴建物カマド			2.2	1.5	0.8	2.8	砂岩	
75355	6	1	竪穴建物カマド			2.3	1.3	0.7	2.5	砂岩	
75356	6	1	竪穴建物カマド			2.4	1.3	0.6	2.6	砂岩	
75357	6	1	竪穴建物カマド	○	完形	3.1	1.2	0.7	4.1	変質安山岩	被膜
75358	6	1	竪穴建物カマド			1.4	1.3	0.9	2.1	溶結凝灰岩	
75359	6	1	竪穴建物カマド			2.0	1.3	0.9	3.3	チャート	
75360	6	1	竪穴建物カマド			2.2	1.6	0.5	2.4	砂岩	
75361	6	1	竪穴建物カマド			2.9	1.3	0.8	3.8	砂岩	
75362	6	1	竪穴建物カマド			1.7	1.3	0.8	2.1	砂岩	
75363	6	1	竪穴建物カマド			1.5	1.1	0.9	1.8	チャート	
75364	6	1	竪穴建物カマド			1.1	0.8	0.5	0.6	変はんれい岩	
75365	6	1	竪穴建物カマド			1.6	1.2	0.3	0.6	不明	
75367	6	1	竪穴建物カマド			1.3	0.8	0.4	0.6	砂岩	
75368	6	1	竪穴建物カマド			1.7	0.9	0.5	1.1	チャート	
75369	6	1	竪穴建物カマド			1.1	1.0	0.7	1.0	砂岩	
75370	6	1	竪穴建物カマド			1.6	1.0	0.7	1.3	チャート	
75371	6	1	竪穴建物カマド			1.7	1.0	0.8	1.9	砂岩	
75372	6	1	竪穴建物カマド			2.3	1.8	0.7	3.6	砂岩	
75373	6	1	竪穴建物カマド			1.3	0.6	0.6	0.7	砂岩	
75374	6	1	竪穴建物カマド			0.8	0.8	0.5	0.3	不明	
75375	6	1	竪穴建物カマド			1.0	0.6	0.5	0.4	粗粒輝石安山岩	
75376	6	1	竪穴建物カマド			1.2	1.1	0.5	0.6	砂岩	
75377	6	1	竪穴建物カマド			1.1	0.6	0.5	0.5	チャート	
75378	6	1	竪穴建物カマド			1.1	0.8	0.4	0.5	流紋岩	
75379	6	1	竪穴建物カマド			1.2	0.6	0.6	0.6	溶結凝灰岩	
75380	6	1	竪穴建物カマド			1.1	0.8	0.6	0.8	砂岩	
75381	6	1	竪穴建物カマド			1.1	0.9	0.4	0.6	砂岩	
75382	6	1	竪穴建物カマド			0.9	0.7	0.5	0.3	砂岩	
75383	6	1	竪穴建物カマド			1.3	0.8	0.6	0.7	変珪岩	
75384	6	1	竪穴建物カマド			0.9	0.8	0.7	0.6	溶結凝灰岩	
75385	6	1	竪穴建物カマド	○	完形	1.1	0.8	0.4	0.2	粗粒輝石安山岩	
75386	6	1	竪穴建物カマド			0.8	0.7	0.5	0.4	チャート	
75387	6	1	竪穴建物カマド			1.2	0.8	0.6	0.8	チャート	
75388											

登録番号	区	遺構No.	遺構種	実測	残存率	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	石材	備考
75600	5	1	掘立柱建物			0.7	0.5	0.3	0.1	不明	
75601	5	1	掘立柱建物			0.9	0.7	0.5	0.5	珧質頁岩	
75602	5	1	掘立柱建物	○	完形	0.8	0.6	0.5	0.3	チャート	被膜
75603	5	1	掘立柱建物			1.2	0.8	0.5	0.7	砂岩	
75604	5	1	掘立柱建物			1.3	0.6	0.4	0.4	流紋岩	
75605	5	1	掘立柱建物			0.8	0.5	0.3	0.2	チャート	
75606	5	1	掘立柱建物			1.0	0.5	0.3	0.3	砂岩	
75607	5	1	掘立柱建物			1.9	1.1	0.7	1.9	砂岩	
75608	5	1	掘立柱建物			1.5	1.2	0.7	1.5	砂岩	
75609	5	1	掘立柱建物			0.6	0.4	0.3	0.1	砂岩	
75610	5	1	掘立柱建物			0.7	0.6	0.4	0.2	チャート	
75611	5	1	掘立柱建物			0.5	0.4	0.3	0.1	チャート	
75612	5	1	掘立柱建物			0.7	0.5	0.3	0.1	流紋岩	
75613	5	1	掘立柱建物			0.3	0.3	0.2	0.03	粗粒輝石安山岩	
75614	5	1	掘立柱建物			0.8	0.3	0.3	0.1	粗粒輝石安山岩	
75615	5	1	掘立柱建物			0.6	0.5	0.3	0.1	チャート	
75616	5	1	掘立柱建物			0.7	0.6	0.3	0.2	不明	
75617	5	1	掘立柱建物			0.7	0.6	0.4	0.3	不明	
75618	5	1	掘立柱建物			0.9	0.4	0.3	0.2	砂岩	
75619	5	1	掘立柱建物			0.7	0.5	0.3	0.2	砂岩	
75620	5	1	掘立柱建物	○	完形	0.6	0.6	0.3	0.2	砂岩	
75621	5	1	掘立柱建物			0.6	0.4	0.3	0.1	不明	
75622	5	1	掘立柱建物			0.6	0.6	0.5	0.3	変質安山岩	
75623	5	1	掘立柱建物			0.7	0.6	0.4	0.2	不明	
75624	5	1	掘立柱建物			0.8	0.5	0.4	0.2	珧質変質岩	
75625	5	1	掘立柱建物			1.4	0.9	0.5	0.9	砂岩	
75626	5	1	掘立柱建物			1.1	0.8	0.5	0.4	変質安山岩	
75627	5	1	掘立柱建物			0.6	0.5	0.3	0.1	チャート	
75628	5	1	掘立柱建物			0.9	0.6	0.5	0.4	不明	
75629	5	1	掘立柱建物			1.0	0.6	0.4	0.4	チャート	
75630	5	1	掘立柱建物			1.4	1.0	0.6	1.2	砂岩	
75631	5	1	掘立柱建物			1.1	0.9	0.5	0.6	砂岩	
75632	5	1	掘立柱建物			1.3	0.8	0.5	0.7	変質安山岩	
75633	5	1	掘立柱建物			1.1	0.6	0.5	0.4	流紋岩	
75634	5	1	掘立柱建物			1.1	1.0	0.7	1.3	チャート	
75635	5	1	掘立柱建物			0.9	0.8	0.4	0.4	珧質頁岩	
75636	5	1	掘立柱建物			2.2	1.0	0.7	2.0	チャート	
75637	5	1	掘立柱建物			1.2	0.6	0.6	0.5	砂質頁岩	
75638	5	1	掘立柱建物			1.4	0.7	0.5	0.8	砂岩	
75639	5	1	掘立柱建物			1.3	1.0	0.5	0.9	粗粒輝石安山岩	
75640	5	1	掘立柱建物			1.1	0.9	0.6	0.8	砂岩	
75641	5	1	掘立柱建物			1.3	1.0	0.6	0.9	変質安山岩	
75642	5	1	掘立柱建物			1.1	1.0	0.5	0.7	変質安山岩	
75643	5	1	掘立柱建物			0.9	0.7	0.5	0.4	流紋岩	
75644	5	1	掘立柱建物			1.6	0.7	0.5	0.8	頁岩	
75645	5	1	掘立柱建物			1.2	0.8	0.5	0.6	チャート	
75646	5	1	掘立柱建物			1.4	0.8	0.6	1.0	不明	
75647	5	1	掘立柱建物			1.1	0.6	0.4	0.4	砂岩	
75648	5	1	掘立柱建物			0.6	0.5	0.3	0.2	チャート	
75649	5	1	掘立柱建物			1.3	0.7	0.6	0.7	砂岩	
75650	5	1	掘立柱建物	○	完形	0.9	0.5	0.4	0.2	流紋岩	被膜
75651	5	1	掘立柱建物			0.9	0.8	0.5	0.6	流紋岩	
75652	5	1	掘立柱建物			0.6	0.6	0.4	0.2	チャート	
75653	5	1	掘立柱建物			1.1	0.6	0.4	0.4	チャート	
75654	5	1	掘立柱建物	○	完形	0.7	0.6	0.3	0.2	チャート	
75655	5	1	掘立柱建物			0.8	0.5	0.4	0.2	チャート	
75656	5	1	掘立柱建物			1.0	0.7	0.5	0.4	砂岩	
75657	5	1	掘立柱建物			1.3	0.7	0.5	0.6	砂岩	
75658	5	1	掘立柱建物			1.2	0.9	0.4	0.7	砂岩	
75659	5	1	掘立柱建物			0.8	0.5	0.4	0.2	チャート	
75660	5	1	掘立柱建物			1.1	0.6	0.5	0.5	砂岩	
75661	5	1	掘立柱建物			1.0	0.6	0.5	0.4	不明	
75662	5	1	掘立柱建物			1.2	0.7	0.6	0.7	珧質頁岩	
75663	5	1	掘立柱建物			1.1	0.8	0.6	0.7	珧質頁岩	
75664	5	1	掘立柱建物			1.7	0.9	0.6	1.2	砂岩	
75665	5	1	掘立柱建物			0.8	0.6	0.4	0.3	デイサイト	
75666	5	1	掘立柱建物			0.9	0.9	0.6	0.6	流紋岩	
75667	5	1	掘立柱建物			1.2	1.0	0.7	1.0	砂岩	
75668	5	1	掘立柱建物			1.1	0.9	0.6	0.9	砂質頁岩	
75669	5	1	掘立柱建物	○	完形	1.2	0.7	0.6	0.6	チャート	
75670	5	1	掘立柱建物			0.9	0.7	0.4	0.4	砂岩	
75671	5	1	掘立柱建物			0.9	0.6	0.3	0.3	砂岩	
75672	5	1	掘立柱建物			0.7	0.6	0.4	0.2	チャート	
75673	5	1	掘立柱建物			0.6	0.5	0.3	0.2	チャート	
75674	5	1	掘立柱建物			0.6	0.4	0.3	0.1	粗粒輝石安山岩	
75675	5	1	掘立柱建物			0.5	0.4	0.3	0.1	溶結凝灰岩	
75676	5	1	掘立柱建物			0.5	0.4	0.3	0.1	デイサイト	
75677	5	1	掘立柱建物			0.7	0.4	0.3	0.1	砂岩	
75678	5	1	掘立柱建物			0.7	0.5	0.3	0.1	砂岩	
75679	5	1	掘立柱建物			0.7	0.5	0.4	0.2	砂岩	
75680	5	1	掘立柱建物			0.9	0.7	0.5	0.5	チャート	
75681	5	1	掘立柱建物			0.9	0.8	0.4	0.4	不明	
75682	5	1	掘立柱建物			0.7	0.5	0.4	0.2	砂岩	
75683	5	1	掘立柱建物			0.7	0.5	0.3	0.2	砂岩	
75684	5	1	掘立柱建物			0.7	0.6	0.4	0.2	玉髄	
75685	5	1	掘立柱建物			0.7	0.5	0.4	0.2	チャート	
75686	5	1	掘立柱建物			0.9	0.6	0.3	0.2	不明	
75687	5	1	掘立柱建物			0.7	0.6	0.4	0.2	砂岩	
75688	5	1	掘立柱建物			2.1	1.3	0.9	3.2	チャート	
75689	5	1	掘立柱建物			1.0	0.5	0.4	0.04	軽石	
75690	5	1	掘立柱建物			0.8	0.5	0.3	0.2	チャート	
75691	5	1	掘立柱建物			1.1	0.6	0.5	0.3	砂岩	
75692	5	1	掘立柱建物			1.1	0.7	0.3	0.3	粗粒輝石安山岩	
75693	5	1	掘立柱建物			0.8	0.6	0.4	0.3	チャート	

登録番号	区	遺構No.	遺構種	実測	残存率	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	石材	備考
75694	5	1	掘立柱建物			1.2	0.8	0.5	0.5	溶結凝灰岩	
75695	5	1	掘立柱建物			1.7	1.0	0.5	1.1	変質安山岩	
75696	5	1	掘立柱建物			1.5	1.2	0.6	1.2	砂岩	
75697	5	1	掘立柱建物			0.5	0.4	0.4	0.1	粗粒輝石安山岩	
75698	5	1	掘立柱建物			0.6	0.4	0.3	0.1	珧質頁岩	
75699	5	1	掘立柱建物			0.5	0.4	0.3	0.1	流紋岩	
75700	5	1	掘立柱建物			0.5	0.5	0.3	0.1	不明	
75701	5	1	掘立柱建物			0.8	0.6	0.4	0.3	チャート	
75702	5	1	掘立柱建物			0.7	0.6	0.4	0.2	変質安山岩	
75703	5	1	掘立柱建物			0.8	0.5	0.3	0.2	頁岩	
75704	5	1	掘立柱建物			0.7	0.6	0.4	0.2	珧質頁岩	
75705	5	1	掘立柱建物			1.0	0.5	0.4	0.3	砂岩	
75706	5	1	掘立柱建物			1.4	0.7	0.4	0.4	流紋岩	
75707	5	1	掘立柱建物			1.2	0.8	0.5	0.6	チャート	
75708	5	1	掘立柱建物			1.3	0.6	0.3	0.4	砂岩	
75709	5	1	掘立柱建物			1.3	0.9	0.7	1.1	チャート	
75710	5	1	掘立柱建物			1.2	0.9	0.5	0.8	砂岩	
75711	5	1	掘立柱建物			1.4	0.9	0.6	0.9	粗粒輝石安山岩	
75712	5	1	掘立柱建物			1.4	0.7	0.4	0.4	珧質頁岩	
75713	5	1	掘立柱建物	○	完形	1.4	1.0	0.6	1.1	砂岩	
75714	5	1	掘立柱建物			1.1	0.5	0.5	0.4	砂岩	
75715	5	1	掘立柱建物			1.9	1.1	0.7	1.9	珧質頁岩	
75716	5	1	掘立柱建物			1.0	0.9	0.5	0.4	凝灰質砂岩	
75717	5	1	掘立柱建物			0.3	0.2	0.2	0.01	粗粒輝石安山岩	
75718	5	1	掘立柱建物			2.5	1.1	0.9	3.3	砂岩	
75719	5	1	掘立柱建物			0.4	0.3	0.2	0.04	不明	
75720	5	1	掘立柱建物			0.7	0.5	0.4	0.2	砂岩	
75721	5	1	掘立柱建物			0.9	0.7	0.4	0.4	砂岩	
75722	5	1	掘立柱建物			1.0	0.6	0.5	0.3	不明	
75723	5	1	掘立柱建物			0.8	0.6	0.5	0.3	粗粒輝石安山岩	
75724	5	1	掘立柱建物			0.5	0.3	0.2	0.1	不明	
75725	5	1	掘立柱建物			0.7	0.5	0.4	0.2	粗粒輝石安山岩	
75726	5	1	掘立柱建物			0.5	0.4	0.3	0.1	チャート	
75727	5	1	掘立柱建物			0.4	0.2	0.2	0.02	不明	
75728	5	1	掘立柱建物			0.3	0.3	0.2	0.03	不明	
75729	5	1	掘立柱建物			1.0	0.5	0.4	0.3	砂岩	
75730	5	1	掘立柱建物	○	完形	2.4	1.5	0.8	3.6	砂岩	
75731	5	1	掘立柱建物			1.3	0.7	0.5	0.6	砂岩	
75732	5	1	掘立柱建物			0.4	0.4	0.3	0.1	粗粒輝石安山岩	
75733	5	1	掘立柱建物			1.3	1.0	0.6	0.9	変質安山岩	
75734	5	1	掘立柱建物			1.4	0.8	0.3	0.4	流紋岩	
75735	5	1	掘立柱建物	○	完形	0.6	0.4	0.3	0.1	流紋岩	
75736	5	1	掘立柱建物			1.0	0.8	0.4	0.4	珧質頁岩	
75737	5	1	掘立柱建物			0.7	0.4	0.3	0.1	不明	
75738	5	1	掘立柱建物								

登録番号	区	遺構No.	遺構種	実測	残存率	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	石材	備考
75788	5	1	掘立柱建物			0.6	0.4	0.3	0.1	流紋岩	
75789	5	1	掘立柱建物			1.2	0.8	0.6	0.8	チャート	
75790	5	1	掘立柱建物			0.7	0.4	0.3	0.1	不明	
75791	5	1	掘立柱建物			0.7	0.5	0.3	0.2	不明	
75792	5	1	掘立柱建物			1.0	0.8	0.6	0.7	チャート	
75793	5	1	掘立柱建物			0.9	0.7	0.5	0.4	チャート	
75794	5	1	掘立柱建物			0.8	0.6	0.3	0.2	チャート	
75795	5	1	掘立柱建物			1.1	0.8	0.6	0.7	砂岩	
75796	5	1	掘立柱建物			0.6	0.4	0.3	0.2	チャート	
75797	5	1	掘立柱建物	○	完形	0.7	0.5	0.5	0.2	かこう岩	
75798	5	1	掘立柱建物			0.4	0.4	0.3	0.1	珧質頁岩	
75799	5	1	掘立柱建物			0.6	0.3	0.2	0.1	珧質変質岩	
75800	5	1	掘立柱建物			1.1	0.9	0.5	0.7	凝灰質砂岩	
75801	5	1	掘立柱建物			0.8	0.6	0.5	0.4	不明	
75802	5	1	掘立柱建物			1.0	0.6	0.4	0.3	不明	
75803	5	1	掘立柱建物			0.9	0.8	0.4	0.4	砂岩	
75804	5	1	掘立柱建物			0.9	0.7	0.5	0.5	ホルンフェルス	
75805	5	1	掘立柱建物			0.9	0.7	0.4	0.4	流紋岩	
75806	5	1	掘立柱建物			1.4	0.8	0.4	0.6	チャート	
75807	5	1	掘立柱建物			1.2	0.7	0.6	0.7	不明	
75808	5	1	掘立柱建物			1.2	1.1	0.7	1.0	流紋岩	
75809	5	1	掘立柱建物			1.9	1.3	0.8	2.7	砂岩	
75810	5	1	掘立柱建物			0.8	0.4	0.4	0.2	チャート	
75811	5	1	掘立柱建物			0.4	0.4	0.2	0.1	珧質頁岩	
75812	5	1	掘立柱建物			0.6	0.4	0.4	0.1	珧質頁岩	
75813	5	1	掘立柱建物	○	完形	0.7	0.5	0.4	0.2	チャート	
75814	5	1	掘立柱建物			0.9	0.7	0.3	0.3	砂岩	
75815	5	1	掘立柱建物			0.7	0.5	0.4	0.2	石英	
75816	5	1	掘立柱建物			1.6	0.8	0.7	0.9	珧質変質岩	
75817	5	1	掘立柱建物			1.4	0.9	0.6	0.9	溶結凝灰岩	
75818	5	1	掘立柱建物			0.8	0.6	0.4	0.3	砂岩	
75819	5	1	掘立柱建物			0.8	0.7	0.5	0.3	砂岩	
75820	5	1	掘立柱建物			1.3	0.9	0.7	0.8	砂岩	
75821	5	1	掘立柱建物	○	完形	1.0	0.9	0.4	0.5	チャート	被膜
75822	5	1	掘立柱建物			1.1	0.5	0.4	0.2	チャート	
75823	5	1	掘立柱建物			0.9	0.8	0.6	0.6	チャート	
75824	5	1	掘立柱建物			1.3	1.0	0.6	1.0	不明	
75825	5	1	掘立柱建物			0.8	0.7	0.6	0.3	不明	
75826	5	1	掘立柱建物			1.4	0.9	0.9	1.8	チャート	
75827	5	1	掘立柱建物	○	完形	0.8	0.6	0.5	0.3	変珧岩	
75828	5	1	掘立柱建物			1.2	0.6	0.4	0.4	不明	
75829	5	1	掘立柱建物			1.1	0.9	0.6	0.7	砂岩	
75830	5	1	掘立柱建物			1.1	0.9	0.5	0.6	砂岩	
75831	5	1	掘立柱建物			1.5	1.0	0.7	1.4	砂岩	
75832	5	1	掘立柱建物			0.8	0.7	0.3	0.3	変質安山岩	
75833	5	1	掘立柱建物			0.6	0.5	0.4	0.2	珧質頁岩	
75834	5	1	掘立柱建物			1.4	1.0	0.7	1.3	砂岩	
75835	5	1	掘立柱建物			1.4	0.9	0.8	1.4	珧質頁岩	
75836	5	1	掘立柱建物			0.9	0.6	0.4	0.3	石英	
75837	5	1	掘立柱建物			1.3	1.2	0.5	1.1	砂岩	
75838	5	1	掘立柱建物			1.1	0.8	0.5	0.7	チャート	
75839	5	1	掘立柱建物			1.2	0.6	0.5	0.5	砂岩	
75840	5	1	掘立柱建物			1.2	0.7	0.5	0.6	粗粒輝石安山岩	
75841	5	1	掘立柱建物			2.7	1.5	0.8	4.4	砂岩	
75842	5	1	掘立柱建物			0.8	0.6	0.4	0.2	砂岩	
75843	5	1	掘立柱建物			0.7	0.7	0.4	0.3	チャート	
75844	5	1	掘立柱建物			0.9	0.7	0.5	0.4	流紋岩	
75845	5	1	掘立柱建物			1.0	0.5	0.4	0.3	不明	
75846	5	1	掘立柱建物			1.3	0.9	0.9	1.2	チャート	
75847	5	1	掘立柱建物			0.8	0.7	0.5	0.3	不明	
75848	5	1	掘立柱建物			1.1	0.5	0.4	0.2	チャート	
75849	5	1	掘立柱建物			0.8	0.6	0.3	0.2	砂岩	
75850	5	1	掘立柱建物			0.9	0.5	0.3	0.2	砂岩	
75851	5	1	掘立柱建物			0.9	0.8	0.4	0.4	砂岩	
75852	5	1	掘立柱建物			1.1	0.9	0.5	0.8	砂岩	
75853	5	1	掘立柱建物			1.3	0.8	0.3	0.4	砂岩	
75854	5	1	掘立柱建物			1.3	0.6	0.4	0.5	砂岩	
75855	5	1	掘立柱建物			1.0	0.7	0.6	0.6	砂岩	
75856	5	1	掘立柱建物			0.9	0.7	0.4	0.3	砂岩	
75857	5	1	掘立柱建物			1.1	0.8	0.5	0.6	チャート	
75858	5	1	掘立柱建物			1.2	0.9	0.6	0.9	チャート	
75859	5	1	掘立柱建物			1.5	0.9	0.8	1.6	不明	
75860	5	1	掘立柱建物			1.1	0.8	0.6	0.8	砂岩	
75861	5	1	掘立柱建物			1.5	0.9	0.8	1.4	チャート	
75862	5	1	掘立柱建物			0.9	0.7	0.3	0.3	砂岩	
75863	5	1	掘立柱建物			1.4	0.8	0.5	0.6	不明	
75864	5	1	掘立柱建物	○	完形	0.9	0.8	0.5	0.5	チャート	
75865	5	1	掘立柱建物			1.1	0.7	0.5	0.6	流紋岩	
75866	5	1	掘立柱建物			1.0	0.8	0.6	0.5	チャート	
75867	5	1	掘立柱建物			2.1	0.9	0.7	1.7	チャート	
75868	5	1	掘立柱建物			1.1	0.9	0.6	0.7	不明	
75869	5	1	掘立柱建物			1.4	1.1	0.9	1.7	珧質頁岩	
75870	5	1	掘立柱建物			1.1	1.0	0.6	0.8	粗粒輝石安山岩	
75871	5	1	掘立柱建物			1.3	0.9	0.6	0.9	砂岩	
75872	5	1	掘立柱建物			1.4	0.6	0.5	0.6	粗粒輝石安山岩	
75873	5	1	掘立柱建物			1.1	0.8	0.7	0.8	砂岩	
75874	5	1	掘立柱建物			1.3	1.0	1.0	1.3	凝灰岩	
75875	5	1	掘立柱建物			1.3	0.8	0.6	0.7	溶結凝灰岩	
75876	5	1	掘立柱建物			1.7	1.3	0.8	2.4	粗粒輝石安山岩	
75877	5	1	掘立柱建物			1.7	1.4	0.7	2.1	粗粒輝石安山岩	
75878	5	1	掘立柱建物			3.5	2.0	1.3	9.5	変質安山岩	
75879	5	1	掘立柱建物			0.9	0.8	0.6	0.5	粗粒輝石安山岩	
75880	5	1	掘立柱建物			1.2	0.9	0.8	1.1	不明	
75881	5	1	掘立柱建物			2.4	1.2	0.6	2.7	凝灰岩	

登録番号	区	遺構No.	遺構種	実測	残存率	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	石材	備考
75882	5	1	掘立柱建物			1.0	0.8	0.7	0.6	不明	
75883	5	1	掘立柱建物			1.6	1.0	0.8	1.6	流紋岩	
75884	5	1	掘立柱建物			1.2	0.6	0.4	0.4	砂岩	
75885	5	1	掘立柱建物			1.6	1.2	0.8	2.3	流紋岩	
75886	5	1	掘立柱建物			1.7	1.1	0.6	1.5	変質安山岩	
75887	5	1	掘立柱建物			1.7	0.6	0.5	0.6	粗粒輝石安山岩	
75888	5	1	掘立柱建物			1.0	0.9	0.6	0.6	粗粒輝石安山岩	
75889	5	1	掘立柱建物			1.6	1.1	0.6	1.4	砂岩	
75890	5	1	掘立柱建物			1.3	0.9	0.6	1.0	珧質頁岩	
75891	5	1	掘立柱建物			1.9	1.5	0.6	1.9	変質安山岩	
75892	5	1	掘立柱建物			1.8	1.1	0.5	1.4	チャート	
75893	5	1	掘立柱建物			1.0	0.9	0.6	0.6	不明	
75894	5	1	掘立柱建物			0.9	0.7	0.5	0.4	チャート	
75895	5	1	掘立柱建物			1.2	0.6	0.5	0.6	溶結凝灰岩	
75896	5	1	掘立柱建物			1.1	0.7	0.3	0.4	砂岩	
75897	5	1	掘立柱建物			1.1	0.8	0.4	0.5	砂岩	
75898	5	1	掘立柱建物			1.0	0.8	0.5	0.4	流紋岩	
75899	5	1	掘立柱建物	○	完形	1.4	0.8	0.5	0.9	変質安山岩	被膜
75900	5	1	掘立柱建物			1.1	0.6	0.4	0.4	砂岩	
75901	5	1	掘立柱建物			0.9	0.6	0.4	0.3	砂岩	
75902	5	1	掘立柱建物			0.9	0.7	0.5	0.4	流紋岩	
75903	5	1	掘立柱建物			0.8	0.7	0.6	0.4	チャート	
75904	5	1	掘立柱建物			0.9	0.7	0.3	0.2	流紋岩	
75905	5	1	掘立柱建物			1.8	0.7	0.4	0.7	不明	
75906	5	1	掘立柱建物			1.6	1.1	0.5	0.8	変質安山岩	
75907	5	1	掘立柱建物			0.9	0.9	0.6	0.6	珧質頁岩	
75908	5	1	掘立柱建物			1.0	0.6	0.5	0.4	チャート	
75909	5	1	掘立柱建物			1.2	0.9	0.6	0.8	砂岩	
75910	5	1	掘立柱建物			1.7	1.1	0.7	1.6	不明	
75911	5	1	掘立柱建物	○	完形	1.7	1.2	1.0	2.6	流紋岩	
75912	5	1	掘立柱建物			1.3	1.0	0.8	1.4	砂岩	
75913	5	1	掘立柱建物			1.0	0.7	0.4	0.3	流紋岩	
75914	5	1	掘立柱建物			1.0	0.7	0.6	0.6	砂岩	
75915	5	1	掘立柱建物			1.8	1.1	0.7	1.9	流紋岩	
75916	5	1	掘立柱建物			1.4	0.8	0.6	0.8	凝灰質砂岩	
75917	5	1	掘立柱建物			1.2	0.8	0.5	0.6	石英	
75918	5	1	掘立柱建物			1.0	0.8	0.4	0.5	凝灰質砂岩	
75919	5	1	掘立柱建物			1.0	0.7	0.4	0.4	砂岩	
75920	5	1	掘立柱建物			1.1	0.8	0.5	0.7	流紋岩	
75921	5	1	掘立柱建物			1.1	1.0	0.5	0.8	頁岩	
75922	5	1	掘立柱建物			1.1	0.8	0.5	0.5	珧質頁岩	
75923	5	1	掘立柱建物			1.0	0.7	0.5	0.5	粗粒輝石安山岩	
75924	5	1	掘立柱建物			1.3	0.8	0.4	0.6	珧質頁岩	
75925	5	1	掘立柱建物			1.7	1.3	1.0	3.4	珧質変質岩	
75926	5	1	掘立柱建物			0.9					

登録番号	区	遺構No.	遺構種	実測	残存率	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	石材	備考
75976	5	1	掘立柱建物			1.2	0.9	0.6	0.7	不明	
75977	5	1	掘立柱建物			1.0	0.8	0.7	0.7	チャート	
75978	5	1	掘立柱建物			1.2	0.7	0.5	0.5	チャート	
75979	5	1	掘立柱建物			1.2	0.8	0.4	0.5	不明	
75980	5	1	掘立柱建物			0.9	0.7	0.4	0.4	変質安山岩	
75981	5	1	掘立柱建物			1.5	0.8	0.5	0.8	チャート	
75982	5	1	掘立柱建物			1.1	0.7	0.4	0.5	砂岩	
75983	5	1	掘立柱建物			1.4	1.1	0.7	1.5	流紋岩	
75984	5	1	掘立柱建物			1.5	1.1	0.9	1.4	珩質変質岩	
75985	5	1	掘立柱建物			1.1	0.9	0.7	1.0	チャート	
75986	5	1	掘立柱建物	○	完形	2.0	1.2	0.7	2.3	砂岩	
75987	5	1	掘立柱建物			1.6	1.2	0.8	1.8	チャート	
75988	5	1	掘立柱建物			1.4	0.7	0.5	0.8	砂岩	
75989	5	1	掘立柱建物			1.5	0.9	0.6	1.2	砂岩	
75990	5	1	掘立柱建物			1.3	0.8	0.5	0.8	不明	
75991	5	1	掘立柱建物			1.3	1.1	0.7	1.2	流紋岩	
75992	5	1	掘立柱建物			1.6	1.1	0.6	1.4	凝灰質砂岩	
75993	5	1	掘立柱建物			1.4	0.8	0.7	1.0	不明	
75994	5	1	掘立柱建物			1.3	0.7	0.4	0.5	不明	
75995	5	1	掘立柱建物	○	完形	0.9	0.7	0.5	0.4	チャート	被膜
75996	5	1	掘立柱建物	○	完形	1.1	0.9	0.5	0.7	チャート	被膜
75997	5	1	掘立柱建物			0.9	0.8	0.5	0.5	砂岩	
75998	5	1	掘立柱建物			1.0	0.6	0.4	0.4	不明	
75999	5	1	掘立柱建物			1.4	0.9	0.7	1.0	砂岩	
76000	5	1	掘立柱建物			1.6	0.8	0.7	1.2	砂岩	
76001	5	1	掘立柱建物			1.2	0.9	0.8	1.4	不明	
76002	5	1	掘立柱建物	○	完形	1.8	1.2	0.6	1.6	変質安山岩	
76003	5	1	掘立柱建物			1.0	0.7	0.5	0.5	流紋岩	
76004	5	1	掘立柱建物			1.5	1.0	0.9	1.7	珩質変質岩	
76005	5	1	掘立柱建物			1.6	1.3	0.9	2.4	砂岩	
76006	5	1	掘立柱建物			1.3	0.7	0.6	0.7	砂岩	
76007	5	1	掘立柱建物			1.5	0.8	0.6	0.9	流紋岩	
76008	5	1	掘立柱建物			2.0	1.3	0.6	2.1	チャート	
76009	5	1	掘立柱建物			1.1	1.0	0.6	1.2	石英	
76010	5	1	掘立柱建物			1.1	0.8	0.5	0.6	粗粒輝石安山岩	
76011	5	1	掘立柱建物			1.2	0.6	0.5	0.6	流紋岩	
76012	5	1	掘立柱建物			1.3	0.8	0.6	0.9	砂岩	
76013	5	1	掘立柱建物			1.3	0.7	0.5	0.5	頁岩	
76014	5	1	掘立柱建物	○	完形	2.0	1.0	0.7	1.6	石英閃緑岩	被膜
76015	5	1	掘立柱建物			1.4	1.0	0.6	1.1	頁岩	
76016	5	1	掘立柱建物			1.5	0.8	0.6	1.0	珩質頁岩	
76017	5	1	掘立柱建物			0.9	0.6	0.4	0.3	チャート	
76018	5	1	掘立柱建物			1.2	0.7	0.5	0.5	チャート	
76019	5	1	掘立柱建物			0.9	0.7	0.4	0.4	砂岩	
76020	5	1	掘立柱建物			1.4	0.7	0.5	0.8	砂岩	
76021	5	1	掘立柱建物			1.8	1.5	1.1	3.2	チャート	
76022	5	1	掘立柱建物			1.7	1.2	0.7	1.5	粗粒輝石安山岩	
76023	5	1	掘立柱建物			2.9	1.9	1.1	6.8	粗粒輝石安山岩	
76024	5	1	掘立柱建物			2.3	1.1	0.5	1.9	流紋岩	
76025	5	1	掘立柱建物			1.6	0.9	0.7	1.2	不明	
76026	5	1	掘立柱建物			1.3	1.0	0.6	1.1	砂岩	
76027	5	1	掘立柱建物			2.1	1.4	0.9	3.1	チャート	
76028	5	1	掘立柱建物			0.9	0.6	0.4	0.3	珩質頁岩	
76029	5	1	掘立柱建物			1.5	1.1	0.9	1.8	チャート	
76030	5	1	掘立柱建物			1.2	0.9	0.9	1.2	チャート	
76031	5	1	掘立柱建物			1.9	1.4	0.7	2.6	チャート	
76032	5	1	掘立柱建物			1.1	1.0	0.2	0.2	凝灰質砂岩	
76033	5	1	掘立柱建物	○	完形	1.6	1.0	0.5	1.1	砂岩	
76034	5	1	掘立柱建物			1.4	1.0	0.6	1.2	砂岩	
76035	5	1	掘立柱建物			1.3	0.8	0.6	0.9	砂岩	
76036	5	1	掘立柱建物			1.2	1.0	0.6	0.8	粗粒輝石安山岩	
76037	5	1	掘立柱建物			1.1	0.7	0.6	0.6	流紋岩	
76038	5	1	掘立柱建物			0.8	0.8	0.4	0.3	砂岩	
76039	5	1	掘立柱建物			0.9	0.6	0.5	0.4	砂岩	
76040	5	1	掘立柱建物			1.6	0.8	0.7	1.2	砂岩	
76041	5	1	掘立柱建物			1.3	0.8	0.5	0.7	流紋岩	
76042	5	1	掘立柱建物			1.2	1.0	0.4	0.7	砂岩	
76043	5	1	掘立柱建物			1.3	0.9	0.7	1.0	不明	
76044	5	1	掘立柱建物			1.7	1.0	0.7	1.4	チャート	
76045	5	1	掘立柱建物			1.8	1.4	0.7	2.6	チャート	
76046	5	1	掘立柱建物			1.6	1.0	0.7	1.5	チャート	
76047	5	1	掘立柱建物			1.2	1.1	0.7	1.2	チャート	
76048	5	1	掘立柱建物			1.2	0.9	0.5	0.8	砂岩	
76049	5	1	掘立柱建物			2.0	1.8	1.0	4.9	粗粒輝石安山岩	
76050	5	1	掘立柱建物			1.4	0.7	0.5	0.8	頁岩	
76051	5	1	掘立柱建物			0.9	0.6	0.4	0.3	凝灰質砂岩	
76052	5	1	掘立柱建物			1.2	0.9	0.5	0.7	珩質変質岩	
76053	5	1	掘立柱建物			1.1	1.0	0.3	0.5	不明	
76054	5	1	掘立柱建物			1.0	0.6	0.4	0.4	流紋岩	
76055	5	1	掘立柱建物			1.3	0.8	0.5	0.7	砂岩	
76056	5	1	掘立柱建物			1.5	1.1	0.7	1.7	チャート	
76057	5	1	掘立柱建物			1.0	0.6	0.5	0.4	不明	
76058	5	1	掘立柱建物			1.5	0.8	0.6	0.9	砂岩	
76059	5	1	掘立柱建物			0.9	0.7	0.5	0.4	砂岩	
76060	5	1	掘立柱建物			1.3	0.9	0.7	1.0	不明	
76061	5	1	掘立柱建物			0.8	0.6	0.4	0.3	チャート	
76062	5	1	掘立柱建物			1.4	1.0	0.6	1.3	砂岩	
76063	5	1	掘立柱建物	○	完形	1.7	0.9	0.5	1.2	粗粒輝石安山岩	
76064	5	1	掘立柱建物			1.1	0.8	0.4	0.6	不明	
76065	5	1	掘立柱建物			1.3	1.1	0.5	0.9	チャート	
76066	5	1	掘立柱建物			0.8	0.8	0.6	0.5	チャート	
76067	5	1	掘立柱建物			0.8	0.6	0.5	0.3	砂岩	
76068	5	1	掘立柱建物			1.3	0.7	0.4	0.6	不明	
76069	5	1	掘立柱建物	○	完形	1.2	0.8	0.6	0.6	チャート	

登録番号	区	遺構No.	遺構種	実測	残存率	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	石材	備考
76070	5	1	掘立柱建物			2.1	1.2	0.8	2.7	チャート	
76071	5	1	掘立柱建物			1.3	0.8	0.5	0.7	砂岩	
76072	5	1	掘立柱建物			0.9	0.6	0.3	0.2	頁岩	
76073	5	1	掘立柱建物			1.2	0.9	0.6	0.8	不明	
76074	5	1	掘立柱建物			1.0	0.7	0.4	0.4	砂岩	
76075	5	1	掘立柱建物			0.8	0.8	0.5	0.5	流紋岩	
76076	5	1	掘立柱建物			1.2	0.7	0.4	0.5	溶結凝灰岩	
76077	5	1	掘立柱建物			1.6	1.0	0.6	1.4	砂岩	
76078	5	1	掘立柱建物			1.2	0.5	0.4	0.3	砂岩	
76079	5	1	掘立柱建物			1.4	0.7	0.6	0.7	砂岩	
76080	5	1	掘立柱建物			1.0	0.7	0.7	0.6	石英	
76081	5	1	掘立柱建物			1.2	1.2	0.7	1.4	チャート	
76082	5	1	掘立柱建物			1.1	0.9	0.5	0.6	粗粒輝石安山岩	
76083	5	1	掘立柱建物			1.2	1.2	1.1	2.3	チャート	
76084	5	1	掘立柱建物			2.0	1.2	0.7	2.0	不明	
76085	5	1	掘立柱建物			0.9	0.6	0.4	0.3	チャート	
76086	5	1	掘立柱建物			0.9	0.7	0.4	0.3	凝灰質砂岩	
76087	5	1	掘立柱建物			1.3	0.8	0.5	0.7	珩質頁岩	
76088	5	1	掘立柱建物			1.0	0.6	0.4	0.3	砂岩	
76089	5	1	掘立柱建物			0.6	0.5	0.3	0.1	溶結凝灰岩	
76090	5	1	掘立柱建物			0.9	0.7	0.4	0.3	砂岩	
76091	5	1	掘立柱建物			0.8	0.6	0.4	0.3	珩質頁岩	
76092	5	1	掘立柱建物			0.9	0.6	0.4	0.4	流紋岩	
76093	5	1	掘立柱建物			1.4	1.1	0.8	1.4	流紋岩	
76094	5	1	掘立柱建物			1.2	0.8	0.6	0.7	珩質頁岩	
76095	5	1	掘立柱建物			1.0	0.9	0.7	0.9	不明	
76096	5	1	掘立柱建物			1.5	0.9	0.6	1.3	チャート	
76097	5	1	掘立柱建物	○	完形	1.2	0.8	0.6	0.7	流紋岩	
76098	5	1	掘立柱建物			1.0	0.6	0.5	0.4	チャート	
76099	5	1	掘立柱建物			1.5	0.8	0.6	0.9	変質安山岩	
76100	5	1	掘立柱建物			1.6	1.1	0.9	2.0	チャート	
76101	5	1	掘立柱建物			1.4	0.7	0.6	0.9	変質安山岩	
76102	5	1	掘立柱建物			0.9	0.7	0.4	0.4	変質安山岩	
76103	5	1	掘立柱建物			1.0	0.6	0.5	0.4	凝灰質砂岩	
76104	5	1	掘立柱建物	○	完形	0.9	0.7	0.5	0.4	チャート	被膜
76105	5	1	掘立柱建物			0.9	0.6	0.5	0.4	不明	
76106	5	1	掘立柱建物			1.2	0.7	0.4	0.5	砂岩	
76107	5	1	掘立柱建物			1.1	0.9	0.7	1.0	珩質頁岩	
76108	5	1	掘立柱建物			1.1	0.8	0.3	0.3	凝灰岩	
76109	5	1	掘立柱建物			1.2	0.9	0.6	0.9	流紋岩	
76110	5	1	掘立柱建物			0.9	0.8	0.4	0.4	不明	
76111	5	1	掘立柱建物			1.4	1.2	0.6	1.2	流紋岩	
76112	5	1	掘立柱建物			1.6	0.8	0.7	1.1	チャート凝灰岩	
76113	5	1	掘立柱建物			1.7	0.8	0.7	1.4	流紋岩	
76114	5	1	掘立柱建物			1.6					

登録番号	区	遺構No.	遺構種	実測	残存率	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	石材	備考
76164	5	1	掘立柱建物			1.1	0.8	0.5	0.5	不明	
76165	5	1	掘立柱建物			1.9	1.2	0.9	2.8	砂岩	
76166	5	1	掘立柱建物			1.5	1.0	0.6	1.2	砂岩	
76167	5	1	掘立柱建物			1.5	1.1	1.0	2.4	チャート	
76168	5	1	掘立柱建物	○	完形	2.1	1.6	1.1	3.7	チャート	被膜
76169	5	1	掘立柱建物			1.1	0.9	0.5	0.7	雲母石英片岩	
76170	5	1	掘立柱建物			1.2	0.5	0.4	0.3	砂岩	
76171	5	1	掘立柱建物			1.6	0.9	0.7	1.3	流紋岩	
76172	5	1	掘立柱建物			1.7	1.2	0.6	1.8	凝灰質砂岩	
76173	5	1	掘立柱建物			1.3	1.0	0.5	0.8	流紋岩	
76174	5	1	掘立柱建物			1.3	0.8	0.7	0.8	チャート	
76175	5	1	掘立柱建物			0.9	0.6	0.4	0.3	チャート	
76176	5	1	掘立柱建物			1.1	0.6	0.4	0.4	粗粒輝石安山岩	
76177	5	1	掘立柱建物			1.6	0.7	0.5	0.9	頁岩	
76178	5	1	掘立柱建物			1.0	0.6	0.5	0.5	珩質頁岩	
76179	5	1	掘立柱建物			1.2	0.7	0.5	0.6	珩質頁岩	
76180	5	1	掘立柱建物			1.1	0.6	0.3	0.3	粗粒輝石安山岩	
76181	5	1	掘立柱建物			0.9	0.8	0.4	0.4	不明	
76182	5	1	掘立柱建物			0.7	0.6	0.2	0.1	凝灰質砂岩	
76183	5	1	掘立柱建物			0.8	0.5	0.5	0.2	チャート	
76184	5	1	掘立柱建物			0.7	0.6	0.5	0.3	不明	
76185	5	1	掘立柱建物			1.5	0.8	0.6	0.5	凝灰岩	
76186	5	1	掘立柱建物	○	完形	1.6	0.8	0.6	1.1	チャート	被膜
76187	5	1	掘立柱建物			1.2	0.9	0.6	0.8	変質安山岩	
76236	5	4	遺構	○	完形	0.7	0.5	0.3	0.1	流紋岩	
76237	5	4	遺構	○	完形	1.5	0.8	0.5	0.8	珩質頁岩	
76238	5	4	遺構	○	完形	0.7	0.5	0.4	0.2	変質安山岩	
76354	5	4	遺構	○	完形	1.4	1.2	0.8	1.7	チャート	被膜
76355	5	4	遺構	○	完形	1.6	0.9	0.7	1.4	変質安山岩	
76506	5	6	遺構	○	完形	1.5	0.9	1.0	1.7	黒色頁岩	
76507	5	6	遺構	○	完形	2.1	1.5	0.5	2.4	珩質頁岩	
76508	5	6	遺構	○	完形	2.4	1.7	0.8	4.7	砂岩	
76509	5	6	遺構	○	完形	1.7	1.0	0.2	0.6	変質安山岩	
76510	5	6	遺構	○	完形	1.2	0.8	0.5	0.7	変玄武岩	
76511	5	6	遺構	○	完形	1.3	0.9	0.6	0.9	粗粒輝石安山岩	
76512	5	6	遺構	○	完形	1.1	0.7	0.3	0.3	流紋岩	
76513	5	6	遺構	○	完形	0.9	0.6	0.4	0.3	珩質変質岩	
76532	5	6	遺構	○	完形	2.1	1.3	0.9	2.6	珩質変質岩	
76533	5	6	遺構	○	完形	1.2	0.9	0.4	0.5	砂岩	
76534	5	6	遺構	○	完形	1.1	0.7	0.5	0.4	砂岩	
76575	5	6	遺構	○	完形	1.9	1.1	0.6	1.6	滑石	
76577	5	6	遺構	○	完形	1.7	0.9	0.6	1.1	粗粒輝石安山岩	
76584	5	6	遺構	○	完形	2.1	1.5	0.6	2.6	砂岩	
76586	5	7	遺構	○	完形	1.0	0.9	0.4	0.3	粗粒輝石安山岩	
76587	5	7	遺構	○	完形	2.1	1.8	1.2	5.8	チャート	
76590	5	8	遺構	○	完形	1.1	0.5	0.5	0.5	流紋岩	
76592	5	10	遺構	○	完形	1.8	1.5	0.7	2.8	粗粒輝石安山岩	
76593	5	10	遺構	○	完形	1.4	1.1	0.6	1.2	砂岩	
76594	5	10	遺構	○	完形	0.9	0.6	0.6	0.4	変質安山岩	
76600	5	-	遺構外7C-M7黒色土	-	-	2.3	1.4	1.2	5.3	チャート	
76601	5	-	遺構外7C-O2黒色土	-	-	1.2	1.0	0.8	1.4	砂岩	
76602	5	-	遺構外7C-O5	-	-	1.2	0.6	0.4	0.4	変質安山岩	
76701	1	-	2C-S8FA下	-	-	2.0	1.6	0.8	3.4	チャート	
76702	5	-	7C-L3FA下	-	-	0.6	0.5	0.4	0.2	粗粒輝石安山岩	

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第684集

## 金井下新田遺跡《古墳時代以降編》遺構一覧表・遺物観察表編

(国)353号金井バイパス(上信自動車道)  
道路改築事業関連埋蔵文化財発掘調査報告書

---

令和3(2021)年3月19日 印刷

令和3(2021)年3月23日 発行

編集・発行／公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県渋川市北橘町下箱田784番地2

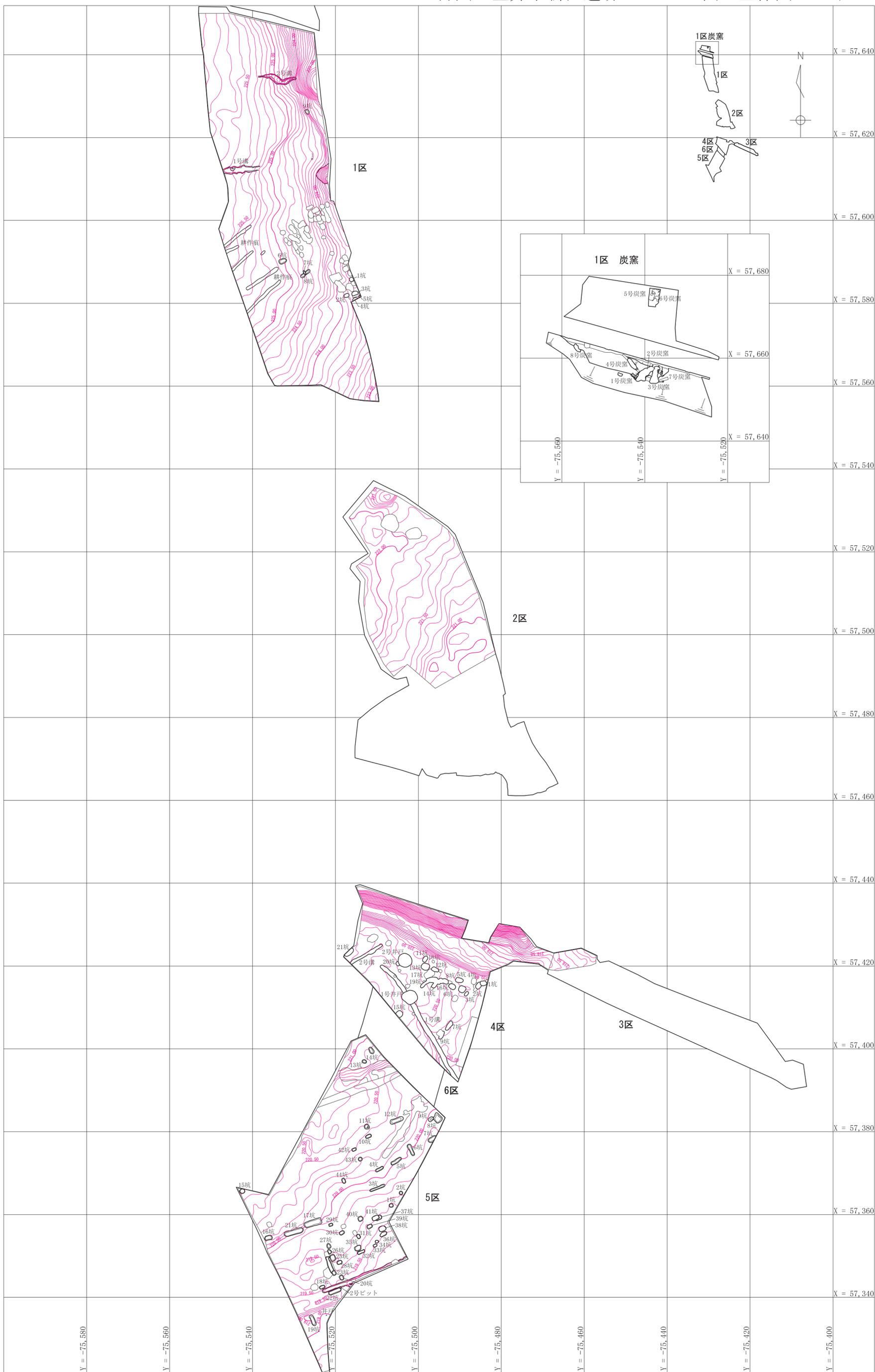
電話(0279)52-2511(代表)

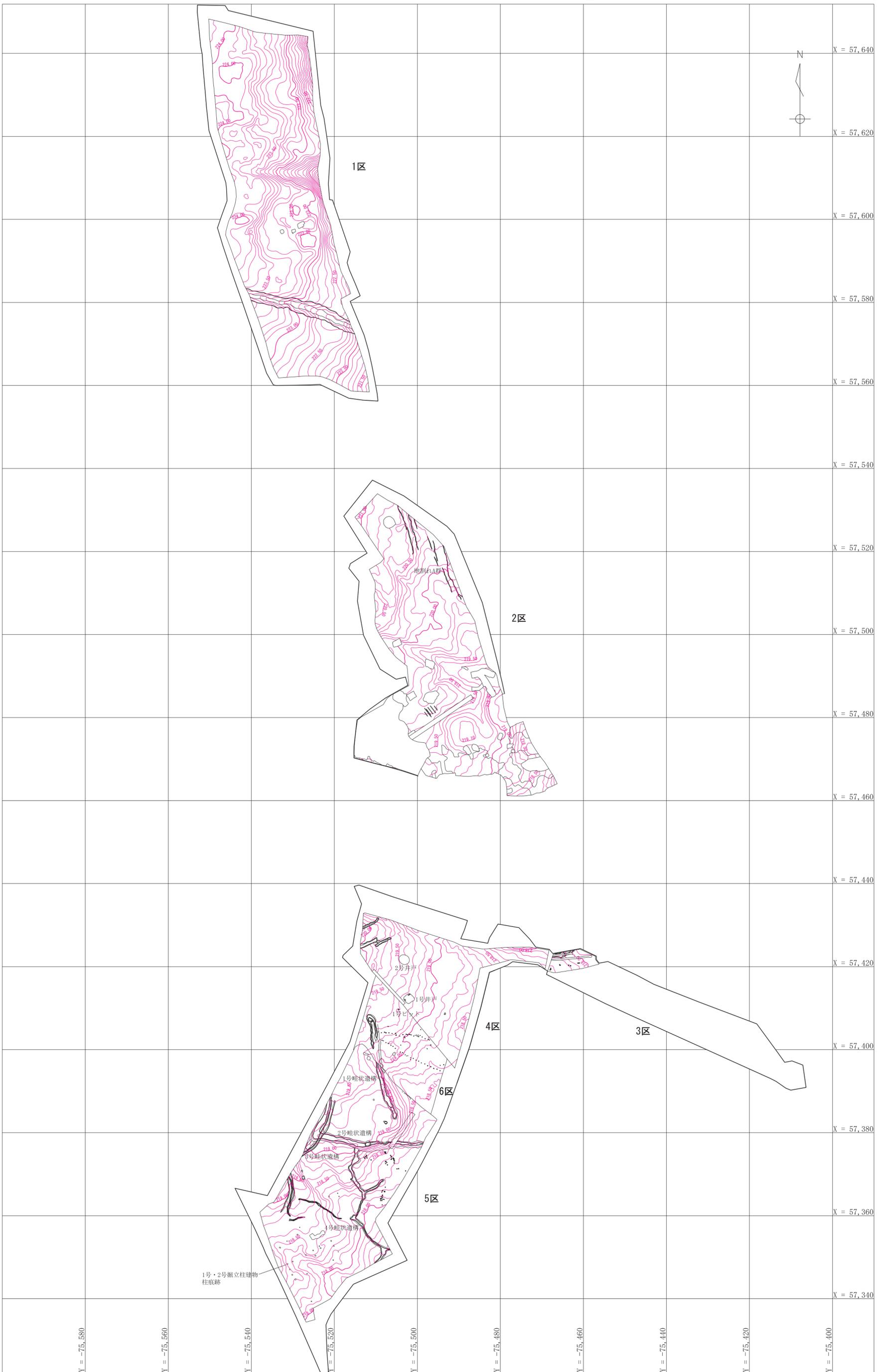
ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org/>

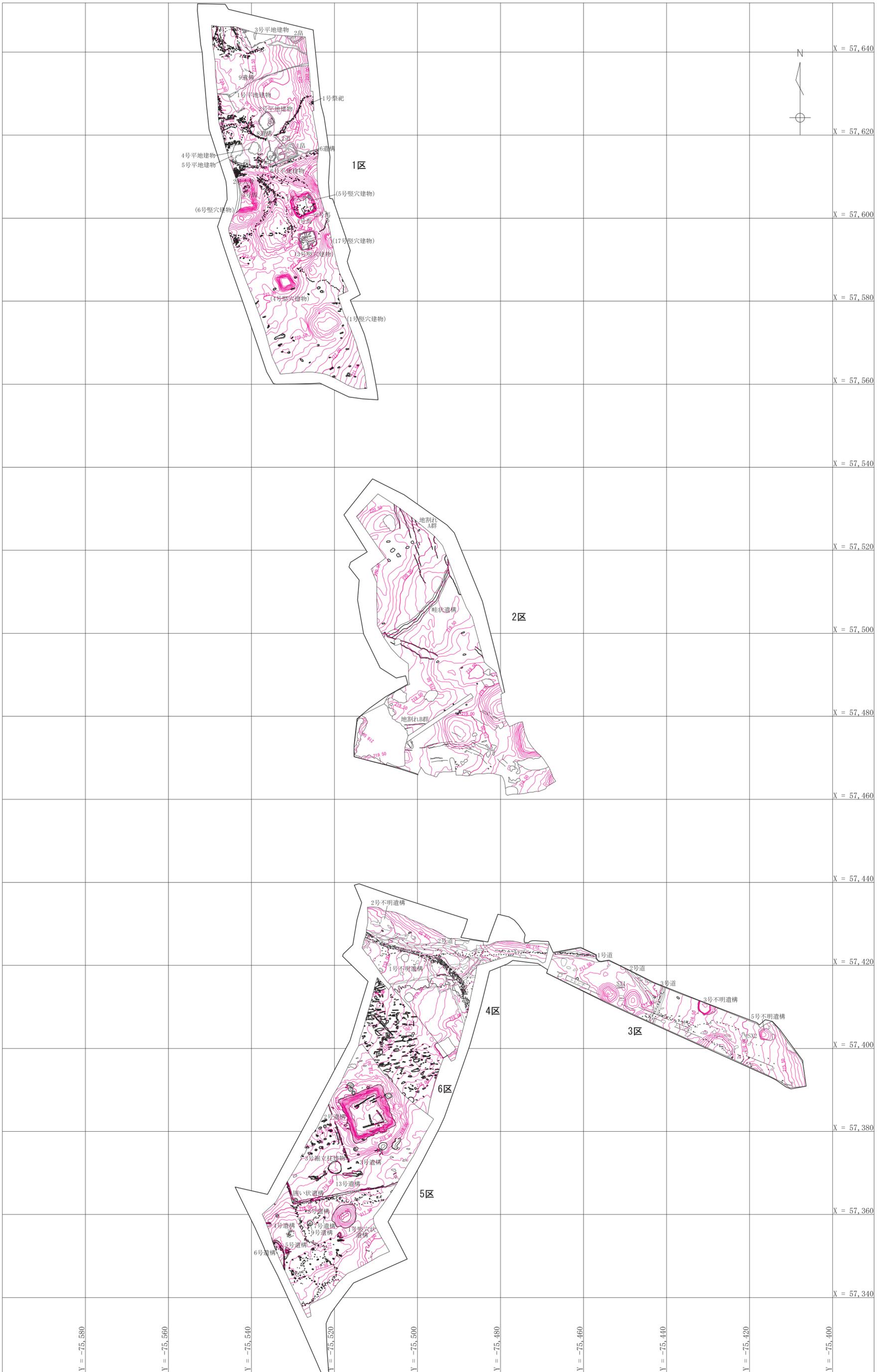
印刷／上毎印刷工業株式会社

---

付図1 金井下新田遺跡 Hr-FP上面 全体図 S=1/600









付図5 金井下新田遺跡 黒色土中 全体図 S=1/600

